令和６年度決算における

主要な施策の成果に関する説明書

安曇野市

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 233 条第５項の規定により、令和６年度決算における主要な施策の成果に関する説明書を次のとおり提出します。

令和７年８月 26 日

安曇野市長　　太田　寛

令和６年度決算における主要な施策の成果に関する説明書目次

令和６年度決算の概要 ……４

１　各会計予算額の推移
２　補正予算の内容（一般会計）
３　各会計別予算と決算の状況
４　重点事業

一般会計 ……11

１　一般会計決算の前年度との比較
２　地方債現在高の状況（一般会計）
３　基金残高の状況（特会含む）
４　財政健全化判断比率の状況
５　年度別市税の状況

部・課別の成果と評価

議会事務局 ……24
危機管理課 ……28
総務部
　総務課 ……34
　職員課 ……41
　財政課 ……45
　税務課 ……50
　収納課 ……54
　財産管理課 ……56
　契約検査課 ……63
選挙管理委員会事務局 ……68
監査委員事務局 ……72
公平委員会事務局 ……74
会計課 ……76
政策部
　政策経営課 ……78
　秘書広報課 ……92
　行革デジタル推進課 ……96
　人権共生課 ……99
市民生活部
　地域づくり課 ……104
　市民課 ……117
　環境課 ……123
　ゼロカーボン推進課 ……140
　移住定住推進課 ……141
福祉部
　福祉課 ……146
　高齢者介護課 ……164
　障がい者支援課 ……173
保健医療部
　健康推進課 ……182
　健康支援課 ……194
　国保年金課 ……203
農林部
　農政課 ……208
　耕地林務課 ……227
農業委員会事務局 ……248
商工観光スポーツ部
　商工労政課 ……250
　観光課 ……261
　スポーツ推進課 ……278
都市建設部
　建設整備課 ……288
　維持管理課 ……304
　都市計画課 ……315
　建築住宅課 ……323
上下水道部
　経営管理課 ……328
教育委員会　教育部
　学校教育課 ……332
　学校給食課 ……368
　生涯学習課 ……374
　文化課 ……389
　子ども家庭支援課 ……401
　こども園幼稚園課 ……421

特別会計

部・課別の成果と評価

国民健康保険特別会計 ……434
後期高齢者医療特別会計 ……472
介護保険特別会 ……482
山林財産区特別会計 ……521
産業団地造成事業特別会計 ……532
有明荘特別会計 ……536

令和６年度決算の概要

１　各会計予算額の推移

（単位：千円）

会計名	当初予算	①補正予算 （６月議会報告）	②補正予算 （６月議会提案）	③補正予算 （６月議会提案）	④補正予算 （９月議会提案）
一般会計	48,930,000	6,000	1,353,000	71,000	1,842,000
国民健康保険特別会計	9,378,058		4,934		53,163
後期高齢者医療特別会計	1,637,965				33,863
介護保険特別会計	10,068,784		4,854		301,443
上川手山林財産区特別会計	1,827				
北の沢山林財産区特別会計	790				
有明山林財産区特別会計	771				
富士尾沢山林財産区特別会計	700				
穂高山林財産区特別会計	730				
産業団地造成事業特別会計	5,185				209
有明荘特別会計	17,991				
合計	70,042,801	6,000	1,362,788	71,000	2,230,678

会計名	⑤補正予算 （12月議会報告）	⑥補正予算 （12月議会提案）	⑦補正予算 （３月議会提案）	⑧補正予算 （６月議会報告）	**最終予算額**
一般会計	59,000	277,000	1,543,000	△ 2,080,000	52,001,000
国民健康保険特別会計		136	95,748	△ 167,521	9,364,518
後期高齢者医療特別会計			8,173	△ 6,790	1,673,211
介護保険特別会計		10,130	6,327	△ 45,626	10,345,912
上川手山林財産区特別会計			585		2,412
北の沢山林財産区特別会計			51		841
有明山林財産区特別会計			2,434		3,205
富士尾沢山林財産区特別会計			△ 17		683
穂高山林財産区特別会計			40		770
産業団地造成事業特別会計				△ 775	4,619
有明荘特別会計				△ 1,798	16,193
合計	59,000	287,266	1,656,341	△ 2,302,510	73,413,364

２　補正予算の内容（一般会計）

補正予算	主な内容
①補正予算（専決第１号）	国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」により、定額減税を補足する給付として最大４万円を支給する事業が始まる。８～９月より対象世帯に給付開始を予定しているが、必要な相談に応じる窓口を事前に設置するための補正
②補正予算（補正第１号）	市民の安全確保や利便性確保のため緊急を要するものや早期着手が必要な案件に係る部分の増額補正。また、国のデフレ完全脱却のための総合経済対策として実施される定額減税・調整給付及び低所得世帯向け給付金を速やかに給付するための補正
③補正予算（補正第２号）	国のＳＤＧsモデル事業の採択を受けて実施する推進活動拠点の整備、推進計画策定に必要な経費など、早急に着手する必要がある事業の補正
④補正予算（補正第３号）	市民の安全確保や利便性確保のため緊急を要するものや早期着手が必要な案件に係る部分の補正
⑤補正予算（専決第２号）	令和６年10月27日執行の衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査に係る選挙執行経費の補正
⑥補正予算（補正第４号）	本年度の予算執行段階において見直し等を決定したものの増減、年度途中の実施に正当な事由がある事業等の補正
⑦補正予算（補正第５号）	明らかに不用額となる予算の減額補正、国の物価高騰対策など年度途中で実施に踏み込む正当な利用があるものや、翌年度当初からの事業実施のため必要となる経費の補正
⑧補正予算（専決第３号）	決算を踏まえた歳入の整理及び歳出不執行額の整理にかかる補正

3　各会計別予算と決算の状況

（単位：千円）

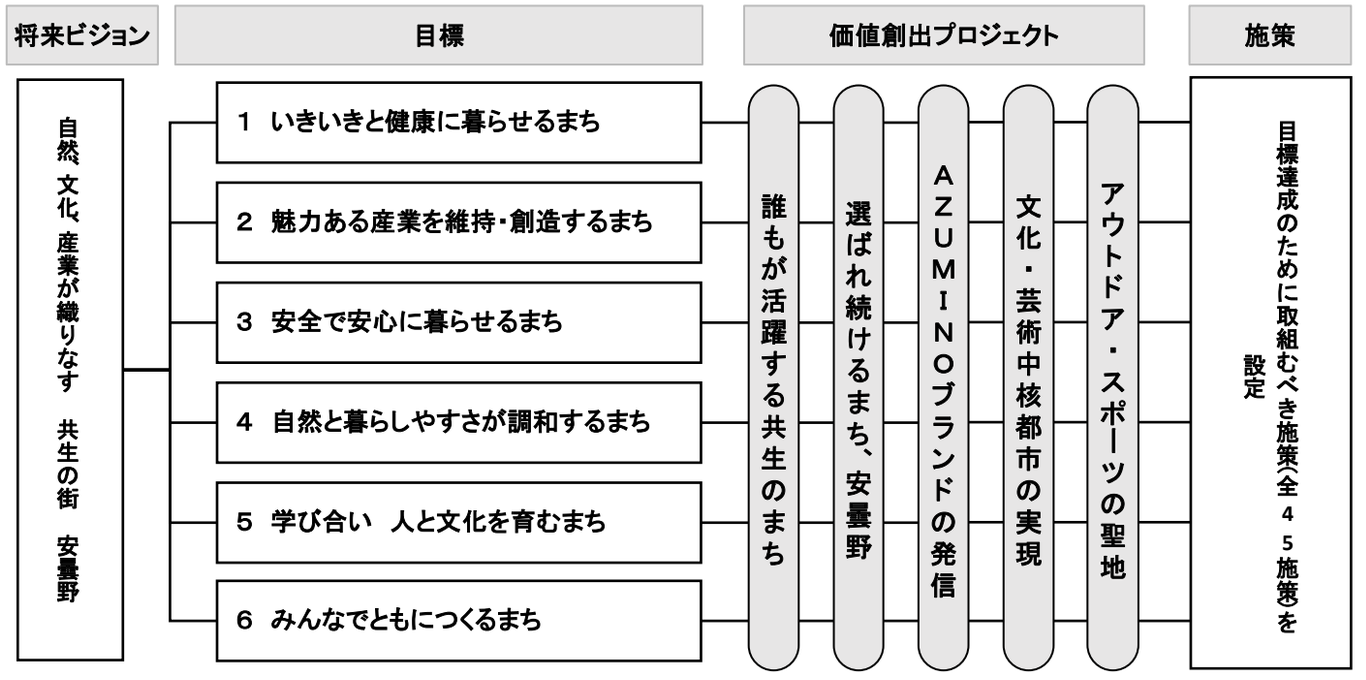
会計名	最終予算額	決算時の予算現額	決算額		予算現額に対する増減
一般会計	52,001,000	53,715,234	歳入	51,038,020	△ 2,677,214
			歳出	49,807,462	3,907,772
国民健康保険特別会計	9,364,518	9,364,518	歳入	9,386,862	22,344
			歳出	9,262,296	102,222
後期高齢者医療特別会計	1,673,211	1,673,211	歳入	1,677,927	4,716
			歳出	1,633,356	39,855
介護保険特別会計	10,345,912	10,345,912	歳入	10,351,523	5,611
			歳出	10,145,473	200,439
上川手山林財産区特別会計	2,412	2,412	歳入	2,410	△ 2
			歳出	1,136	1,276
北の沢山林財産区特別会計	841	841	歳入	642	△ 199
			歳出	233	608
有明山林財産区特別会計	3,205	3,205	歳入	3,207	2
			歳出	2,841	364
富士尾沢山林財産区特別会計	683	683	歳入	685	2
			歳出	211	472
穂高山林財産区特別会計	770	770	歳入	770	0
			歳出	290	480
産業団地造成事業特別会計	4,619	4,619	歳入	4,619	0
			歳出	4,547	72
有明荘特別会計	16,193	16,193	歳入	16,193	0
			歳出	16,187	6
合計	73,413,364	75,127,598	歳入	72,482,858	△ 2,644,740
			歳出	70,874,032	4,253,566

※決算額については、単位未満四捨五入しています。
※決算時の予算現額とは、当該年度の予算に前年度からの繰越明許費繰越額及び
　事故繰越し繰越額を加えたものになります。

４　重点事業

市では、総合計画に掲げた将来ビジョンの実現に向け、施策横断的に取組むこととしている「価値創出プロジェクト」に紐づく事業、および地域課題の解決や市民サービスの向上のための主要な取組を令和６年度の重点事業として取組みました。

総合計画後期基本計画　施策体系（概略）



価値創出プロジェクトとは

総合計画後期基本計画に掲げた将来ビジョン達成のため、組織横断的に注力する施策で、以下の５つのテーマを「価値創出プロジェクト」として設定しています。

誰もが活躍する共生のまち

- 互いの違いを認め合い、様々な人が活躍することのできるまちを目指す
- 「誰一人取り残さない」という理念のもとプロジェクトを推進する

選ばれ続けるまち、安曇野

- 地方共通の課題である、人口減少、少子高齢化への対策を講じる
- 関連施策が多岐にわたるため、優先度の高い事項に財源と人的資源を集中投下

ＡＺＵＭＩＮＯブランドの発信

- 各部門が有する安曇野の価値を「戦略をもって」国内外へ売り込む

文化・芸術中核都市の実現

- 安曇野が誇る歴史文化、芸術を生かし、文化・芸術の「拠点」を目指す

アウトドア・スポーツの聖地

- 豊かな自然環境を活用した各種スポーツを推進
- 多様なジャンルを組み合わせて発信、様々な層に安曇野の魅力を伝える

総合計画後期基本計画の目標ごとの重点事業

将来ビジョン

自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野

1　いきいきと健康に暮らせるまち

	事業	決算額
	穂高健康支援センター改修事業	642万9千円
	穂高社会就労センター改修事業	514万7千円
	結婚応援事業 （安曇野市結婚支援事業費の増など）	1,660万円
価	母子・子育て支援事業 （産科初回受診料費助成、産後ケア事業利用料助成など　）	7,468万１千円
	児童館運営事業（民間委託事業） （児童クラブの小学校６年生までの受入拡大など）	3億6,115万3千円
価	地域子育て支援拠点事業 （地域子育て支援補助金など）	100万円
	三郷東部認定こども園建設事業	676万3千円

2　魅力ある産業を維持・創造するまち

	事業	決算額
価	農産物等販路拡大事業 （関西圏での農作物販売PR、シンガポールでの農作物販売促進など）	2,240万6千円
	有害鳥獣駆除対策事業 （有害鳥獣捕獲助成の拡充など）	5,025万円
価	里山再生計画推進事業 （第３次里山再生計画の策定など）	546万6千円
価	しごと創出事業 （リモートワーカーの育成やマッチングの実施、サテライトオフィスの誘致など）	1,830万4千円
価	企業助成事業 （工場立地、デジタル化推進、省エネ機器の導入に対する支援など）	1億5,060万1千円
価	来訪者受入環境整備事業 （地域通訳案内士の活用、　観光総合アプリの構築など）	2,055万5千円
	登山道等整備事業 （三股登山口駐車場の混雑状況可視化システム構築、登山口トイレ改修など）	7,001万2千円
	かじかの里公園改修事業 （インクルーシブ遊具の整備、駐車場拡張など　）	4,725万9千円
	ハーフマラソン事業 （前日イベント『安曇野スポーツフェスティバル2024』の開催など　）	3,803万円
価	観光プロモーション事業 （アクティビティガイド養成、インバウンド向け観光誘客など）	4,027万8千円
	東部アウトドア拠点整備事業 （基本設計、かわまちづくり支援制度への申請など）	1,816万1千円

3 安全で安心に暮らせるまち

事業	決算額
防災行政無線設備新設・更新事業	2,031万7千円
消防団詰所更新・統廃合事業	8,681万円
内水対策事業 (万水川下流域内水排水路整備)	5,341万9千円

4 自然と暮らしやすさが調和するまち

	事業	決算額
	環境基本計画推進事業 (安曇野市版レッドデータブック改訂など)	906万6千円
	地域脱炭素化推進事業 (ゼロカーボン実現に向けた公共施設への太陽光発電設備の設置など)	1億3,733万4千円
	地球温暖化対策事業 (地球温暖化対策設備設置補助（対象：太陽光、蓄電池、電気自動車等充給電設備（V2H）、太陽熱利用システム）など)	3,176万7千円
価	移住定住推進事業 (安曇野PR動画作成、UIJターン就業・創業移住支援事業補助など)	4,554万8千円
	市道新設改良事業(松糸道路関連) (松糸道路のアクセス道路整備)	489万5千円
価	公共交通事業 (デマンド交通「あづみん」の土日祝日運行の開始など)	1億7,097万7千円
	空家等対策事業 (明科地域の空家対策等に向けた地域おこし協力隊の設置など)	4,484万円
	公園施設長寿命化事業 (インクルーシブ遊具の設置、トイレのバリアフリー化など)	2億1,061万6千円

5 学び合い　人と文化を育むまち

	事業	決算額
	学校支援員配置事業 （学校支援員の増員など）	1億9,586万9千円
価	キャリアフェスティバル推進事業 (市内中学１年生を対象として、市内企業を知り、働く大人にふれるなど、「キャリアフェスティバル」を開催)	359万7千円
	国民スポーツ大会実施運営事業費 （2028年に長野県内で開催される国民スポーツ大会に向けた準備）	56万5千円
価	小説「安曇野」による地域振興事業 （小説の復刊など）	952万1千円
	豊科近代美術館大規模修繕工事事業	2億8,820万円
価	新市立博物館準備事業 （新市立博物館整備への検討）	36万7千円
	給食センター総務費 （物価高騰による学校給食食材費の増額への対応）	7億3,031万9千円
価	文化財保全事業 （文化財保存活用地域計画の策定支援業務委託など）	1,147万7千円

6 みんなでともにつくるまち

事業	決算額
人権啓発費 （フォーラム、イベント、講座等の開催による人権意識の向上など）	1,314万1千円
ＤＸ推進事業 （行政手続きのオンライン化、スマート化の推進、情報システムの標準化、及び共通化への対応など）	1,444万9千円
住民異動・証明発行デジタル手続推進事業 （書かない窓口化の推進、住民票・印鑑登録証明書等を窓口以外で取得できるシステム導入など）	751万2千円

一　般　会　計

1　一般会計決算の前年度との比較

令和６年度一般会計歳入決算額は、前年度対比1.2%増の510億3,802万円、歳出決算額は前年度対比1.1%増の498億746万円で、形式収支は12億3,056万円となりました。翌年度に繰り越すべき財源２億9,769万円を除いた実質収支は、９億3,287万円の黒字となりました。

（１）歳入

各歳入項目の主な増減は次のとおりです。

市税　　…　法人市民税（△１億2,500万円）、個人市民税（△２億8,200万円）

地方交付税…○普通交付税　118億245万２千円（+３億5,300万円）
基準財政需要額24,570,991千円（こども子育て費+33億4,700万円、包括算定経費+１億1,000万円）
基準財政収入額12,768,536千円（市町村民税+2,000万円、地方特例交付金+３億2,600万円）
○特別交付税　７億6,236万６千円（+2,800万円）

国県支出金…　物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（+１億6,000万円）
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金（△１億7,200万円）
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（△６億1,300万円）

市債　　…　公民館等長寿命化事業（特例債）△３億7,100万円、保育所建設事業（特例債）（+８億5,000万円）
保育所建設事業（施設整備事業債）（+６億6,900万円）、借換債（臨時財政対策債）（+１億円）
借換債（総務債・旧合併特例事業債）（+13億4,500万円）

諸収入等　…　市制度資金貸付金元金収入（△５億円）

（単位：円）

項目	令和６年度	令和５年度	増減	前年度比(%)
市税	12,320,687,334	12,726,895,156	△ 406,207,822	96.81%
地方譲与税	508,899,000	505,275,000	3,624,000	100.72%
利子割交付金	5,261,000	3,821,000	1,440,000	137.69%
配当割交付金	94,632,000	70,079,000	24,553,000	135.04%
株式等譲渡所得割交付金	126,054,000	69,814,000	56,240,000	180.56%
法人事業税交付金	208,013,000	192,268,000	15,745,000	108.19%
地方消費税交付金	2,425,328,000	2,397,756,000	27,572,000	101.15%
ゴルフ場利用税交付金	35,591,042	37,585,750	△ 1,994,708	94.69%
環境性能割交付金	54,773,000	43,124,000	11,649,000	127.01%
地方特例交付金	556,021,000	119,044,000	436,977,000	467.07%
地方交付税	12,564,858,000	12,182,458,000	382,400,000	103.14%
交通安全対策特別交付金	10,725,000	11,451,000	△ 726,000	93.66%
分担金及び負担金	298,535,472	464,370,459	△ 165,834,987	64.29%
使用料及び手数料	307,769,034	305,465,507	2,303,527	100.75%
国庫支出金	5,883,529,123	6,284,047,623	△ 400,518,500	93.63%
県支出金	2,720,102,974	2,810,002,281	△ 89,899,307	96.80%
財産収入	120,928,562	60,502,224	60,426,338	199.87%
寄附金	667,203,230	600,525,770	66,677,460	111.10%
繰入金	1,756,762,002	1,632,590,760	124,171,242	107.61%
繰越金	1,157,578,696	1,497,482,156	△ 339,903,460	77.30%
諸収入	3,105,301,975	3,078,725,250	26,576,725	100.86%
市債	6,109,467,000	5,351,512,000	757,955,000	114.16%
合計	51,038,020,444	50,444,794,936	593,225,508	101.18%

※款別で集計しています。

（２）歳出

目的別歳出の主な増減は次のとおりです。

総務費…　寄附採納事務（+9,100万円）、財政４基金積立金（△10億4,100万円）

民生費…　安曇野市物価高騰家計支援給付金追加給付事業（非課税世帯分）（△５億6,000万円）、
三郷東部認定こども園建設事業（△５億7,200万円）、三郷西部認定こども園建設事業（△４億8,900万円）
安曇野市物価高騰家計支援給付金給付事業（非課税世帯分）（△２億4,200万円）

衛生費…　豊科保健センター施設改修事業（△２億4,100万円）、新型コロナウイルスワクチン接種対策事業（△１億5,700万円）

農林水産業費…　三郷堆肥センター解体事業（+２億6,100万円）、ほ場整備負担金（経営体育成基盤整備）（+１億2,600万円）、三郷農村環境改善センター多目的ホール天井耐震化工事（+7,700万円）

商工費…　制度資金貸付事業（△５億900万円）、【明許】プレミアム付商品券事業（+６億5,000万円）、登山道等整備事業（+3,900万円）、【事故】かじかの里公園改修事業（+3,100万円）

土木費…　下水道事業繰出金（△５億2,500万円）、【明許】都市再生整備計画事業（明科駅周辺）（△３億7,300万円）、県営新設改良事業負担金（△１億5,900万円）、
【事故】河川管理事務（△5,300万円）

消防費…　消防団詰所更新・統廃合事業（+3,800万円）、耐震性防火水槽新設・更新事業（+2,900万円）、消防団車両更新事業（+1,700万円）

教育費…　豊科近代美術館大規模修繕工事事業（+２億6,500万円）、堀金給食センター設備更新事業（+１億8,900万円）、穂高鐘の鳴る丘集会所施設整備事業（+１億7,300万円）、
安曇野高橋節郎記念美術館施設整備事業（+１億2,200万円）

（単位：円）

項目	令和６年度	令和５年度	増減	前年度比(%)
議会費	242,061,821	223,448,697	18,613,124	108.33%
総務費	5,814,892,854	6,509,000,586	△ 694,107,732	89.34%
民生費	16,189,563,012	16,910,958,542	△ 721,395,530	95.73%
衛生費	2,715,229,681	2,936,369,384	△ 221,139,703	92.47%
労働費	61,369,057	59,181,651	2,187,406	103.70%
農林水産業費	1,971,640,231	1,577,211,896	394,428,335	125.01%
商工費	3,369,203,234	3,256,806,802	112,396,432	103.45%
土木費	4,631,966,207	5,225,919,095	△ 593,952,888	88.63%
消防費	1,550,690,821	1,443,980,393	106,710,428	107.39%
教育費	5,997,878,939	4,950,562,336	1,047,316,603	121.16%
災害復旧費	8,228,000	455,596,900	△ 447,368,900	1.81%
公債費	7,254,738,484	5,738,179,958	1,516,558,526	126.43%
予備費	0	0	0	－
合計	49,807,462,341	49,287,216,240	520,246,101	101.06%

※款別で集計しています。

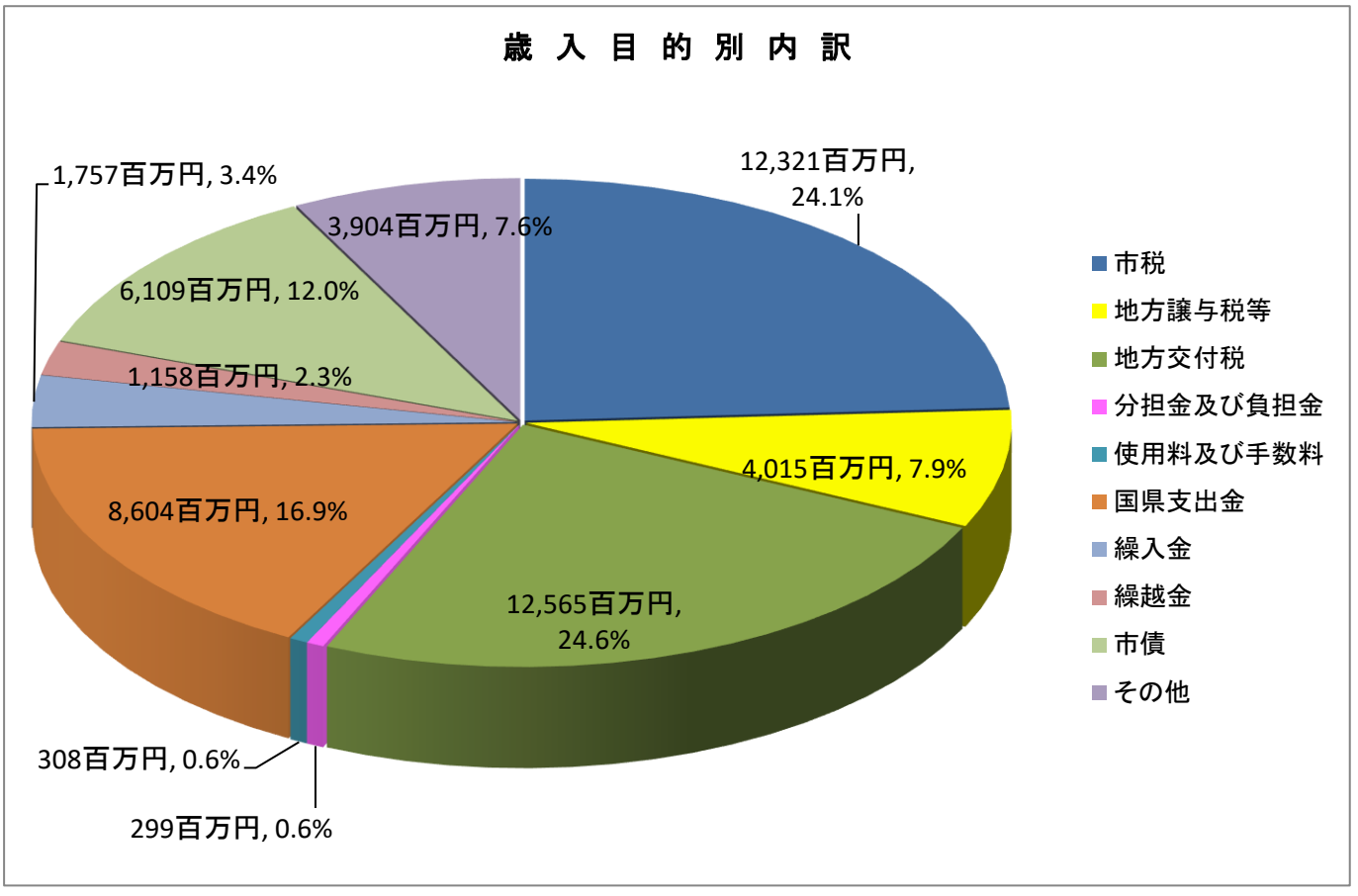
歳出（性質別）

（単位：千円）

項目	令和６年度	令和５年度	増減	前年度比(%)
人件費	7,391,266	6,926,456	464,810	106.71%
物件費	8,009,608	7,013,938	995,670	114.20%
維持補修費	190,007	148,022	41,985	128.36%
扶助費	7,029,235	6,908,801	120,434	101.74%
補助費	6,668,513	6,867,499	△ 198,986	97.10%
普通建設事業費	6,116,486	6,782,988	△ 666,502	90.17%
うち補助事業	1,658,734	2,453,453	△ 794,719	67.61%
うち単独事業	4,457,752	4,329,535	128,217	102.96%
災害復旧事業費	8,228	455,597	△ 447,369	1.81%
公債費	7,254,738	5,738,180	1,516,558	126.43%
積立金	1,475,960	2,431,673	△ 955,713	60.70%
投資及び出資金・貸付金	1,928,694	2,293,464	△ 364,770	84.10%
繰出金	3,734,727	3,720,599	14,128	100.38%
合計	49,807,462	49,287,217	520,245	101.06%

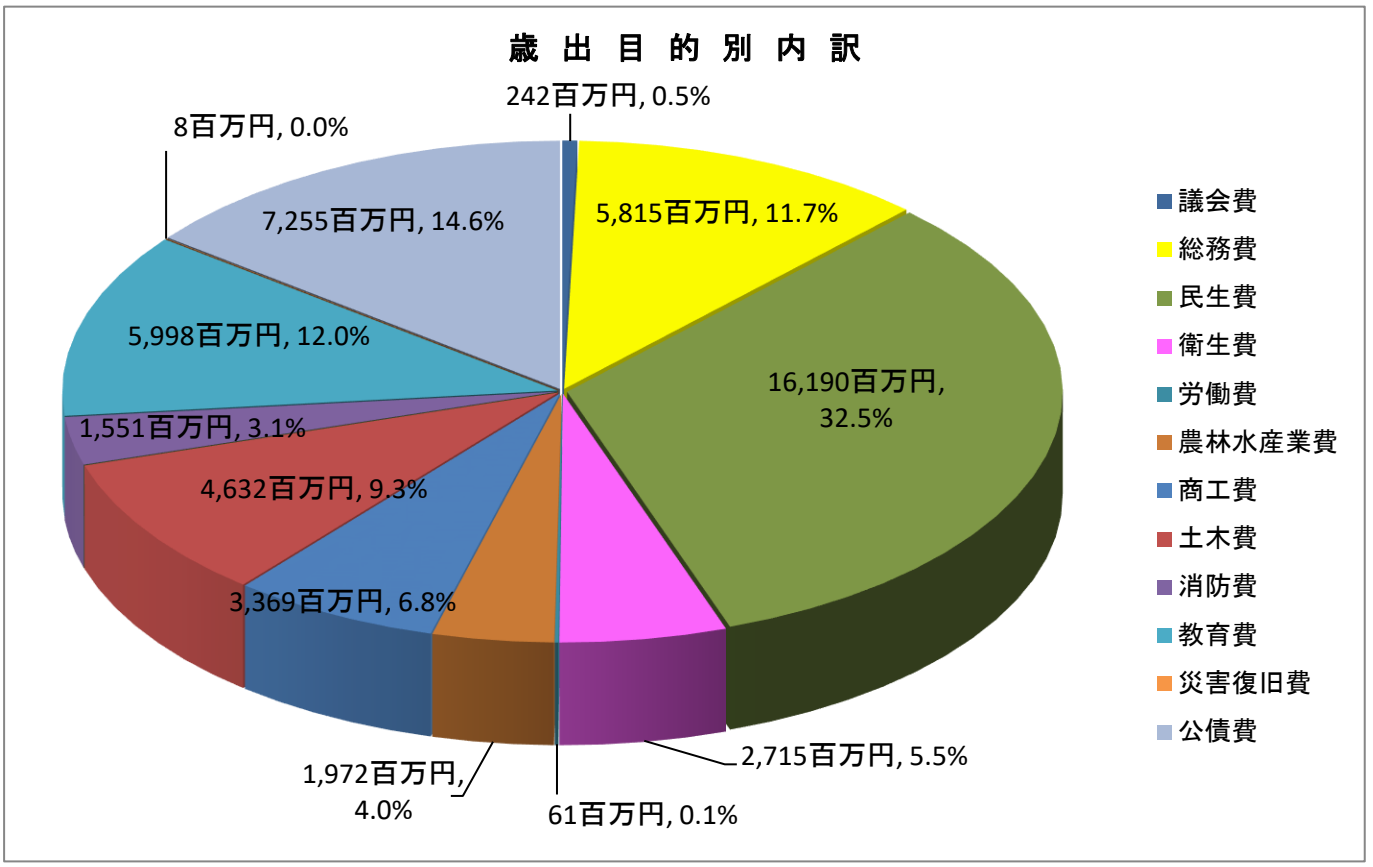
※上記の性質別決算額については、地方財政状況調査に準じて集計したものです。
単位は「千円」で、千円未満四捨五入しています。

【一般会計の決算額の内訳（グラフ）】　　（総額510億3,802万円）

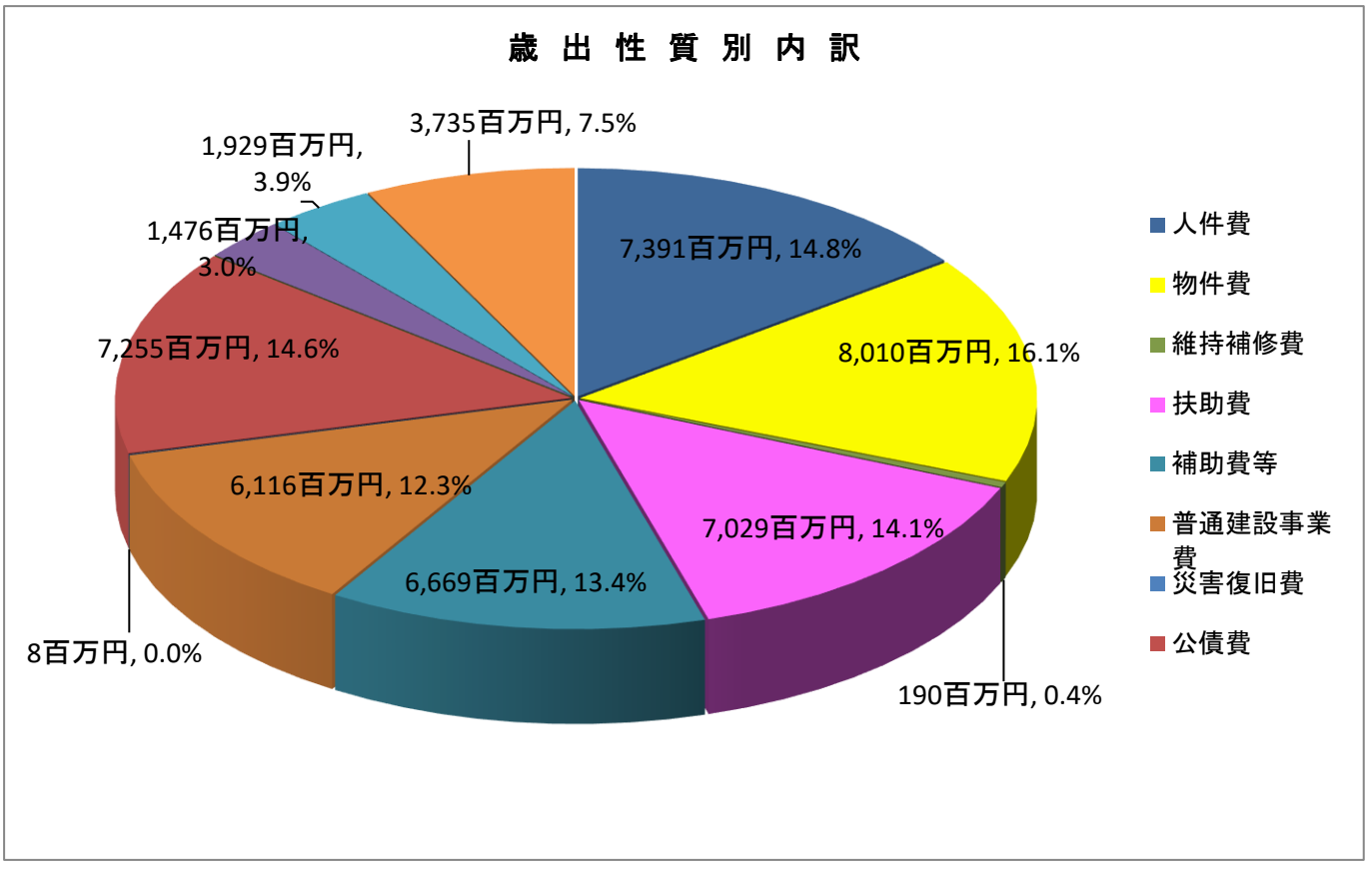


※百万円未満四捨五入により、合計額は一致しません。

【一般会計の決算額の内訳（グラフ）】　　（総額498億746万2千円）



※百万円未満四捨五入により、合計額は一致しません。
※構成比については、単位未満四捨五入により100%になりません。



※百万円未満四捨五入により、合計額は一致しません。
※構成比については、単位未満四捨五入により100%になりません。

2　地方債現在高の状況（一般会計）

（1）借入目的別

（単位：円）

区　　分	令和５年度 末現在高A	令和６年度 発行額　B	令和６年度元利償還額 元　金　C	利　　子	計　　D	差引現在高 A+B−C E
1　公共事業等債	1,336,646,080	8,600,000	258,205,789	2,919,230	261,125,019	1,087,040,291
うち　財源対策債等	7,243,622		4,462,624	105,080	4,567,704	2,780,998
2　防災・減災・国土強靭化緊急対策事業債	1,149,296,148	139,100,000	89,828,369	2,711,915	92,540,284	1,198,567,779
3　公営住宅建設事業債	229,943,132	59,800,000	26,052,382	2,714,955	28,767,337	263,690,750
うち　復旧・復興事業分						
うち　（旧）緊急防災・減災事業分						
4　災害復旧事業債	62,205,365		6,082,895	344,512	6,427,407	56,122,470
（1）単独災害復旧事業債	56,882,146		5,546,932	317,358	5,864,290	51,335,214
（2）補助災害復旧事業債	5,323,219		535,963	27,154	563,117	4,787,256
5　（旧）緊急防災・減災事業債						
6　全国防災事業債務	43,822,358		18,552,254	16,794	18,569,048	25,270,104
7　教育・福祉施設等整備事業債	2,447,634,163	35,000,000	377,288,667	13,925,219	391,213,886	2,105,345,496
（1）学校教育施設等	789,129,163	35,000,000	186,458,667	7,849,527	194,308,194	637,670,496
（2）社会福祉施設等						
（3）一般廃棄物処理						
（4）一般補助施設整備等						
（5）施設整備事業債(一般財源化分)	1,658,505,000		190,830,000	6,075,692	196,905,692	1,467,675,000
8　一般単独事業債	16,805,926,788	4,629,400,000	4,039,229,052	50,912,535	4,090,141,587	17,396,097,736
うち　防災対策事業債	101,820,000	31,700,000	27,220,000	291,994	27,511,994	106,300,000
うち　旧合併特例事業債	16,148,257,500	4,042,900,000	3,871,692,500	46,714,155	3,918,406,655	16,319,465,000
（1）旧市町村合併特例事業	16,148,257,500	4,042,900,000	3,871,692,500	46,714,155	3,918,406,655	16,319,465,000
（2）旧市町村合併推進事業						
うち　地方道路等整備事業債	154,279,288		68,746,552	2,545,474	71,292,026	85,532,736
うち　(新)緊急防災・減災事業債	12,440,000	106,700,000	9,830,000	38,061	9,868,061	109,310,000
うち　公共施設等適正管理推進事業債	192,130,000	3,900,000	27,770,000	472,047	28,242,047	168,260,000
（1）集約化・複合化事業分						
（2）長寿命化（公共用建物）事業分		3,900,000				3,900,000
（3）長寿命化（社会基盤施設）事業分	192,130,000		27,770,000	472,047	28,242,047	164,360,000
うち　緊急自然災害防止対策事業債	175,500,000	175,700,000	31,470,000	770,493	32,240,493	319,730,000
うち　緊急浚渫推進事業債	21,500,000		2,500,000	80,311	2,580,311	19,000,000
うち　脱炭素化推進事業債						
うち　こども・子育て支援事業債		268,500,000				268,500,000
9　辺地対策事業債						
10　過疎対策事業債	118,900,000	293,200,000	11,519,615	669,657	12,189,272	400,580,385
うち　過疎地域持続的発展特別事業分	25,100,000	25,000,000	2,431,811	141,365	2,573,176	47,668,189
11　公共用地先行取得等事業						
12　行政改革推進債						
13　厚生福祉施設整備事業債						
14　退職手当債（～平成17年度）						
15　退職手当債（平成18年度～）						
16　国の予算貸付・政府関係機関貸付債	142,614		142,614	4,988	147,602	
うち　転貸によるもの						
うち　地方道路整備臨時貸付金						
17　地域改善対策特定事業債						
18　財源対策債	133,423,035		51,531,265	2,290,487	53,821,752	81,891,770
19　減収補填債(S61･H5～7･9～30･R1～6年度分)	107,685,499		6,309,138	53,054	6,362,192	101,376,361
うち　令和2年度追加税目分	107,685,499		6,309,138	53,054	6,362,192	101,376,361
20　臨時財政特例債						
21　公共事業等臨時特例債						
22　減税補填債	25,875,648		16,990,313	27,713	17,018,026	8,885,335
23　臨時税収補填債						
24　臨時財政対策債	13,708,184,440	944,367,000	2,250,749,715	20,661,777	2,271,411,492	12,401,801,725
25　調整債（令和1～6年度分）						
26　減収補補填特例分(H14・19～30・R1～6年度分)						
27　都道府県貸付金						
28　特別減収対策債						
29　その他	7,064,058		3,466,987	151,313	3,618,300	3,597,071
合　計　（1～29）	36,176,749,328	6,109,467,000	7,155,949,055	97,404,149	7,253,353,204	35,130,267,273
うち　財源対策債等	140,666,657		55,993,889	2,395,567	58,389,456	84,672,768
うち　減収補填債	107,685,499		6,309,138	53,054	6,362,192	101,376,361

（２）借入利率別

（単位：円）

借　　入　　先	令和６年度末現在高	現在高の内訳					
		0.5%以下	1.0%以下	1.5%以下	2.0%以下	2.5%以下	3.0%以下
政府資金	10,565,270,576	8,475,164,064	1,055,962,613	633,095,022	249,559,426	150,193,792	1,295,659
(1)財政融資資金	10,191,650,795	8,466,278,729	992,521,035	633,095,022	98,460,350		1,295,659
うち旧資金運用部資金□	1,295,659						1,295,659
うち旧還元融資資金							
(2)旧郵政公社資金	373,619,781	8,885,335	63,441,578		151,099,076	150,193,792	
(ｱ)旧郵便貯金資金							
(ｲ)旧簡易生命保険資金	373,619,781	8,885,335	63,441,578		151,099,076	150,193,792	
地方公共団体金融機構	3,400,016,697	3,193,559,565	45,450,000	56,960,010	96,830,041	7,217,081	
うち旧公営企業金融公庫資金	100,280,863				93,063,782	7,217,081	
国の予算貸付等							
市中銀行	13,519,920,000	8,006,540,000	2,457,680,000	3,055,700,000			
その他の金融機関	7,645,060,000	3,718,670,000	3,315,090,000	611,300,000			
保険会社等							
交付公債							
市場公募債							
共済等							
政府保証付外債							
その他							
計	35,130,267,273	23,393,933,629	6,874,182,613	4,357,055,032	346,389,467	157,410,873	1,295,659

（注）利率が3.0%を超える地方債の借入残高はありません。

3　基金残高の状況（特会含む）

（単位：円）

区分		令和５年度	令和６年度				
		年度末現在高	積立額	積立利子	積立額計	繰入額	年度末現在高
一般	財政調整基金	5,368,446,448	538,000,000	12,842,435	550,842,435	548,707,000	5,370,581,883
	減債基金	3,094,807,284	162,456,000	6,408,379	168,864,379	254,976,000	3,008,695,663
	公共施設整備基金	5,360,572,288		11,100,071	11,100,071	226,000,000	5,145,672,359
	地域振興基金	2,280,124,454		4,721,425	4,721,425	130,200,000	2,154,645,879
	分収造林事業基金	4,303,869	3,083,047	8,911	3,091,958		7,395,827
	旧穂高町外１ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金	98,383,495	0	203,721	203,721	5,529,000	93,058,216
	旧穂高町外１ヶ町淺川山林組合に関する基金	5,430,987	0	11,245	11,245		5,442,232
	国際交流基金	15,817,077		32,752	32,752	289,000	15,560,829
	福祉基金	281,609,495		583,125	583,125	14,230,000	267,962,620
	ふるさと水と土保全基金	41,592,500			0		41,592,500
	豊科安曇野の里基金	988	610,000	2	610,002	610,000	990
	天蚕振興基金	3,845,323		7,962	7,962		3,853,285
	三郷農林漁業体験実習館基金	296	0	0	0	0	296
	堀金産地形成促進施設基金	7,794,226	2,340,000	16,139	2,356,139	1,280,488	8,869,877
	堀金観光開発基金	34,602,392	0	71,650	71,650	7,156,000	27,518,042
	安曇野市森林環境贈与税基金	75,233,833	28,469,000	155,785	28,624,785	4,206,400	99,652,218
	安曇野市山岳環境整備基金	34,834,729		72,131	72,131	6,765,000	28,141,860
	青少年育成基金	37,171		76	76		37,247
	青少年交流事業支援基金	6,491,356	10,000,000	13,441	10,013,441	0	16,504,797
	文化振興基金	33,380,444	14,000,000	69,120	14,069,120	8,660,000	38,789,564
	名誉市民田淵行男顕彰基金	1,729,963		3,582	3,582		1,733,545
	入学準備金貸付基金	93,710,169	1,941,800	194,044	2,135,844	15,650,000	80,196,013
	公式スポーツ施設整備基金	274,064,461		567,501	567,501		274,631,962
	ちくに生きものみらい基金	49,263,143		102,008	102,008	1,082,114	48,283,037
	霊園施設整備基金	140,380,175	17,275,000	290,683	17,565,683	3,653,000	154,292,858
	ふるさと寄附基金	2,471,555,600	655,191,300	5,117,819	660,309,119	526,000,000	2,605,864,719
土地	土地開発基金	253,542,136		415,449	415,449		253,957,585
	（うち現金）	200,633,575		415,449	415,449		201,049,024
	（うち土地）	52,908,561			0		52,908,561
国	国民健康保険支払準備基金	404,788,322	30,000,000	838,190	30,838,190	150,000,000	285,626,512
財産区	上川手財産区基金	15,128,104	1,095,000	31,325	1,126,325		16,254,429
	北の沢山林財産区基金	11,509,335	156,000	23,832	179,832		11,689,167
	有明山林財産区基金	34,191,687	2,695,000	70,800	2,765,800		36,957,487
	富士尾沢山林財産区基金	4,249,438	185,000	8,799	193,799		4,443,237
	穂高山林財産区基金	3,428,600	212,000	7,099	219,099		3,647,699
介	介護保険支払準備基金	1,141,547,225	80,224,955	2,363,787	82,588,742		1,224,135,967
基金合計		21,646,397,013	1,547,934,102	46,353,288	1,594,287,390	1,904,994,002	21,335,690,401

（注）　会計年度を基準とした基金の状況です。

４　財政健全化判断比率の状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が平成19年度に成立し、以来毎年前年度決算に基づいて算出した数値を公表しています。

公表内容は「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」です。企業会計については「資金不足比率」も公表します。

令和６年度については以下のとおりです。

令和６年度決算における安曇野市健全化判断比率（暫定値）

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
―	―	7.9	―
(11.91)	(16.91)	(25.0)	(350.0)

備考

１　実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合は「－」を記載しています。

２　早期健全化基準は括弧内に記載しています。

５　　年度別市税状況

令和６年度は、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」による物価高対策やこども・子育て政策の強化などが講じられました。景気は、雇用・所得環境が改善し個人消費は緩やかに回復しているものの、長引く物価上昇や原材料価格の高騰、世界経済の減速化により、依然として不安定な状況にある１年でした。

その結果、個人市民税は定額減税の実施により前年比調定額が２億9,106万円の減額、法人市民税も一部の製造業において落ち込みがあり約１億2,768万円の減額となりました。

また、純固定資産税は、評価替えによる在来家屋の減価により約591万円の減額となっています。一方、軽自動車税は課税対象台数の増加により約1,377万円が増額、入湯税も微増となりました。

区　　分		調　定　額			収　入　済　額		
		現年分	滞繰分	計	現年分	滞繰分	計
個人市民税	６年度	4,680,351,100	77,979,523	4,758,330,623	4,649,998,056	27,813,163	4,677,811,219
	５年度	4,971,415,700	73,346,913	5,044,762,613	4,935,738,287	24,777,978	4,960,516,265
	４年度	4,821,959,400	75,550,796	4,897,510,196	4,796,033,108	21,869,190	4,817,902,298
法人市民税	６年度	806,879,100	4,005,523	810,884,623	805,160,900	1,001,593	806,162,493
	５年度	934,558,200	1,532,197	936,090,397	931,338,600	709,370	932,047,970
	４年度	930,872,900	1,203,319	932,076,219	930,023,700	264,300	930,288,000
純固定資産税	６年度	5,725,066,000	135,147,914	5,860,213,914	5,679,125,350	45,864,585	5,724,989,935
	５年度	5,730,977,900	131,693,293	5,862,671,193	5,681,416,194	40,442,113	5,721,858,307
	４年度	5,543,524,700	134,629,997	5,678,154,697	5,500,022,057	38,458,588	5,538,480,645
国有資産等所在市町村交付金	６年度	31,306,100	0	31,306,100	31,306,100	0	31,306,100
	５年度	31,085,900	0	31,085,900	31,085,900	0	31,085,900
	４年度	29,661,000	0	29,661,000	29,661,000	0	29,661,000
軽自動車税（種別割）	６年度	388,215,800	6,268,668	394,484,468	385,578,185	1,438,326	387,016,511
	５年度	378,555,000	6,160,509	384,715,509	376,250,300	1,443,941	377,694,241
	４年度	367,173,700	6,080,005	373,253,705	365,150,410	1,352,311	366,502,721
軽自動車税環境性能割	６年度	30,259,300	0	30,259,300	30,259,300	0	30,259,300
	５年度	26,152,200	0	26,152,200	26,152,200	0	26,152,200
	４年度	26,220,500	0	26,220,500	26,220,500	0	26,220,500
市たばこ税	６年度	602,480,526	0	602,480,526	602,480,526	0	602,480,526
	５年度	618,588,173	0	618,588,173	618,588,173	0	618,588,173
	４年度	607,510,875	0	607,510,875	607,510,875	0	607,510,875
入湯税	６年度	60,115,250	546,000	60,661,250	60,115,250	546,000	60,661,250
	５年度	59,498,100	0	59,498,100	58,952,100	0	58,952,100
	４年度	54,818,600	0	54,818,600	54,818,600	0	54,818,600
合　　計	６年度	12,324,673,176	223,947,628	12,548,620,804	12,244,023,667	76,663,667	12,320,687,334
	５年度	12,750,831,173	212,732,912	12,963,564,085	12,659,521,754	67,373,402	12,726,895,156
	４年度	12,381,741,675	217,464,117	12,599,205,792	12,309,440,250	61,944,389	12,371,384,639

たばこ税は、健康増進法による受動喫煙防止等の影響もあり、販売本数は減少に転じ約1,611万円の減額となりました。

滞納繰越分を含めた市税全体の歳入決算額は、123億2,068万円で、前年比較で4億620万円の減額となりましたが、収納率は98.18％で前年比0.01ポイント上がりました。今後も原材料価格上昇による物価への影響や個人消費の動向など引き続き社会経済情勢に注視して参ります。

不　納　欠　損　額			収入未済額			収　納　率　（％）		
現年分	滞繰分	計	現年分	滞繰分	計	現年分	滞繰分	計
0	4,545,233	4,545,233	30,353,044	45,621,127	75,974,171	99.35	35.67	98.31
0	6,688,463	6,688,463	35,677,413	41,880,472	77,557,885	99.28	33.78	98.33
0	6,050,641	6,050,641	25,926,292	47,630,965	73,557,257	99.46	28.95	98.37
0	78,000	78,000	1,718,200	2,925,930	4,644,130	99.79	25.01	99.42
0	86,904	86,904	3,219,600	735,923	3,955,523	99.66	46.30	99.57
0	256,022	256,022	849,200	682,997	1,532,197	99.91	21.96	99.81
0	3,366,382	3,366,382	45,940,650	85,916,947	131,857,597	99.20	33.94	97.69
0	5,022,572	5,022,572	49,561,706	86,228,608	135,790,314	99.14	30.71	97.60
0	7,955,947	7,955,947	43,502,643	88,215,462	131,718,105	99.22	28.57	97.54
0	0	0	0	0	0	100.00	―	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	―	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	―	100.00
0	505,091	505,091	2,637,615	4,325,251	6,962,866	99.32	22.94	98.11
0	649,400	649,400	2,304,700	4,067,168	6,371,868	99.39	23.44	98.17
12,900	548,075	560,975	2,010,390	4,179,619	6,190,009	99.45	22.24	98.19
0	0	0	0	0	0	100.00	―	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	―	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	―	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	―	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	―	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	―	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	100.00	100.00
0	0	0	546,000	0	546,000	99.08	―	99.08
0	0	0	0	0	0	100.00	―	100.00
0	8,494,706	8,494,706	80,649,509	138,789,255	219,438,764	99.35	34.23	98.18
0	12,447,339	12,447,339	91,309,419	132,912,171	224,221,590	99.28	31.67	98.17
12,900	14,810,685	14,823,585	72,288,525	140,709,043	212,997,568	99.42	28.48	98.19

部・課別の成果と評価

議会事務局

令和７年度	
部	議会事務局
課	議会事務局
係等	庶務係

決算書ページ	61

予算				総合計画		
	款	01	議会費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	議会費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	議会費			
	事業	0101010	議会費		施策	デジタル技術を活用した行政変革

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
245,253,000	242,061,821	0	3,191,179	98.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　議会議員定数　　22人
　　議員数：令和５年３月22日から　20人

２　議会事務局職員　６人

３　議会の活動状況（特に記載のない限り、令和６年１月１日から同年12月31日までの期間）

（１）本会議

区　　分	定例会	臨時会	計
開催回数	４回	１回	５回
会期日数	97日	１日	98日
本会議日数	24日	１日	25日
傍聴者総数	105人	０人	105人

（注）日数と人数は延べ数

（２）本会議映像配信視聴件数（年度）［使用料：1,584,000円］
　　ライブ　1,471件（前年度比33.9％減）
　　録　画　2,034件（前年度比10.0％減）

（３）本会議における発言者の字幕表示の開始
　　12月定例会から字幕表示を試行し、令和７年３月定例会から本格実施しました。

（４）議案審議等

区　　分	条　例	予　算	決　算	その他	専決処分	計
市長提出事件数	34	43	13	47	11	148

区　　分	条　例	規　則	意見書	決　議	その他	計
議員提出議案件数			2			2
委員会提出議案件数	2	2	6			10

予算	款	01	議会費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	議会費		基本方針	みんなでともにつくるまち
	目	01	議会費			
	事業	0101010	議会費		基本施策	デジタル技術を活用した行政変革

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（５）請願・陳情

区　分	受　理 件　数	審　　査　　結　　果				
		採　択	不採択	継続審査	審査未了	その他
請　願	２	２				
陳　情	９	７		２		

（注）　配布のみは、６件でした。（受理件数には含まれていません。）

（６）常任委員会等

ア　総務環境委員会　　開催：９回　議案：21件　陳情：２件
イ　福祉教育委員会　　開催：11回　議案：42件　請願：２件　陳情：７件
ウ　経済建設委員会　　開催：８回　議案：56件
エ　議会運営委員会　　開催：20回
オ　議会広報特別委員会　　開催：18回
・議会だより（年度）４回発行　［印刷製本費：5,058,240円、事務事業委託料：52,800円］
カ　議会全員協議会　　開催：20回
キ　議会改革推進委員会　　開催：15回
ク　議会ICT研究会　　開催：４回

（７）議会報告会（年度）

開催期日	令和６年７月20日（土）	参 加 者	33人（うちオンライン参加５人）
開催方法	本庁舎４階大会議室及びオンライン開催（手話通訳者による同時通訳あり）		

（８）意見交換会（年度）

区 分	期　日	相手先
福祉教育委員会	令和６年７月24日	豊科高等学校
	令和６年７月29日	穂高商業高等学校
	令和６年11月14日	安曇野市社会福祉協議会
	令和６年11月14日	安曇野市ＰＴＡ連合会
	令和６年11月28日	安曇野市立小中学校校長会
経済建設委員会	令和６年８月２日	長野県宅地建物取引業協会及び 全日本不動産協会長野県本部

（９）委員会視察（年度）［記念品・土産等、費用弁償、事務事業委託料：876,449円］

区 分	期　日	視察先等
総務環境委員会	令和６年６月24日	市内
	令和６年７月23日、24日	千代田区、小田原市
福祉教育委員会	令和６年４月25日	佐久市
	令和６年６月５日	松本市
	令和６年８月６日、７日	鎌倉市、川崎市
	令和６年８月20日	市内
	令和６年11月18日	松本市
経済建設委員会	令和６年11月13日、14日、15日	多古町、福島市、岩手県

予算				総合計画		
	款	01	議会費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	議会費		基本方針	みんなでともにつくるまち
	目	01	議会費			
	事業	0101010	議会費		基本施策	デジタル技術を活用した行政変革

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　議員研修（年度）［費用弁償：225,370円、負担金：104,200円、講師謝礼：50,000円］
（１）市町村国際文化研修所研修　　来所受講４人　　オンライン受講１人
（２）市町村職員中央研修所研修　　来所受講７人
（３）令和７年１月27日開催　　内容：子どもの権利条例について

５　タブレット端末の運用　（年度）
（１）議会のグループウェアの活用による事務の効率化　［使用料：148,500円］
（２）令和６年４月の会議資料からペーパレスを実施しました。

６　政務活動費　（年度）［補助金：2,087,479円］

会派等名	金額（円）
日本共産党安曇野市議団	340,215
会派　あづみ野	480,000
会派　さきがけ	265,875
無所属の会	401,389
会派　きぼう	360,000
小林　純子	120,000
内川　集雄	120,000

７　市議会から市へ要望等
（１）「移住定住促進のさらなる充実に向けて」　（令和６年11月20日付け政策提言）
（２）土地利用制度に関する政策提言（令和７年３月５日付け政策提言）

上記の評価と課題等

オンライン及び手話通訳者を配置した議会報告会の開催、議員視察・研修の実施等を支援するとともに、議会活動におけるICT化の一環として導入したタブレットの本格運用により、ペーパレス化やグループウェアの活用によるスムーズな情報提供ができるなど業務の効率化が図られました。
今後も、より開かれた議会運営を行うとともに、議決結果や市政の諸課題について、市民への情報提供や意見を聴く機会を設け、併せて政策立案、政策提案及び政策提言などの取り組みを支援します。

危機管理課

令和７年度	
部	危機管理監
課	危機管理課
係等	消防防災係

決算書ページ	191

予算				総合計画		
	款	09	消防費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	消防費		目標	災害に強いまち
	目	01	常備消防費			
	事業	0109010	常備消防負担金		施策	消防・救急体制の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,021,832,000	1,021,830,170	0	1,830	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,194,470		高速自動車道救急支弁金	2,194,470		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

松本広域連合の構成団体として、松本広域連合規約第４条及び第18条により、消防に関する事務の経費（消防団に関する事務並びに消防水利施設の設置、維持及び管理に関する事務を除く）を負担しました。

穂高消防署における女性消防士受入れのための施設改修に伴う経費を負担しました。

「高速自動車国道における救急業務に関する覚書」に基づき、東日本高速道路株式会社と中日本高速道路株式会社から安曇野市へ支払われた支弁金を、高速道路における救急業務を実施している松本広域連合へ負担金として支出しました。

消防・救急業務が確実に実施され、市民の安全と安心の確保が図られました。

- 消防防災ヘリコプター運航協議会市町村負担金…2,717,700円
  （長野県航空消防防災体制整備要綱第5条）
- 松本広域連合市村負担金…1,010,639,000円
  （松本広域連合規約第18条）
- 松本広域連合消防費負担金…6,279,000円
  （女性専用設備特別負担金）
- 高速自動車国道救急事業負担金…2,194,470円

上記の評価と課題等

消防・救急業務は住民の生命、身体、財産を守り、地域の安全と安心を確保する上で欠かすことのできないものであることから、松本広域消防局との一層の連携強化に向けて取り組んでいく必要があります。

令和７年度	
部	危機管理監
課	危機管理課
係等	消防防災係

決算書ページ	191

予算				総合計画		
	款	09	消防費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	消防費		目標	災害に強いまち
	目	02	非常備消防費			
	事業	0109020	非常備消防費		施策	消防・救急体制の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
201,881,000	195,707,591	0	6,173,409	96.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
43,384,532		消防団員退職報奨金	11,545,000		
		消防団員福祉共済	75,460		
		消防団員等公務災害補償給付金	64,072		
		防災基盤整備事業債	31,700,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市消防団は16分団・35部・３隊、年度末の実団員数は681人（Ｒ７．３.31付退団者49人、Ｒ６．４．１付入団者数25人、Ｒ６.10.１付入団者数13人）の体制で、消防団の特性である地域密着性、即時対応能力、動員力を活かして、災害現場において常備消防と連携して活動を行いました。

前年に引き続き安曇野市のポンプ操法大会を実施しました。市の大会及び松本消防協会の大会を勝ち上がった第４分団および第11分団は県大会において小型ポンプ及びポンプ車でそれぞれ３位と健闘し消防ポンプ取扱い技術の維持・向上が図られました。また喇叭班は県大会で４位入賞となりました。

消防団車両更新事業として、登録から21年以上経過した消防ポンプ車及び小型動力ポンプ積載車の各１台を更新しました。

１非常備消防運営事業
・消防団員の出動件数　3,305件　出動延べ人数　20,903人
　内訳：火災28件（延べ1,225人）水防活動０件 行方不明者捜索２件（延べ61人）
　　警戒活動933件（延べ4,767人）訓練等683件（延べ4,712人）会議等1,661件（延べ10,138人）
・消防団出席謝礼（災害出動、警戒活動外）…33,024,300円
・消防団員退職報償金（令和５年度末該当退職者44人）…12,733,000円
・消防団員等公務災害補償等共済基金掛金…20,374,777円
・新ガイドライン対応防火衣、活動服・雨着・装備品一式他…17,751,470円
・消防団員募集啓発用品（マスコットキーホルダー他）…1,012,816円

２分団等運営補助金交付事業
・消防団分団等運営費補助金…11,420,000円

３消防団車両更新事業
・消防ポンプ自動車１台（第11分団第２部（穂高地域　新屋区））…29,612,970円（防災基盤整備事業債、充当率75%）※令和６年度債務負担行為
・小型動力ポンプ積載車１台(第５分団第１部…13,149,460円（防災基盤整備事業債、充当率75%）

上記の評価と課題等

消防団員の確保やイメージアップを図るために、消防団応援キャラクターを用いた消防団員募集啓発用品を作成し、各種イベント等において配布しました。

今後も消防団員の士気向上と、消防団のイメージアップを図り、家族等の理解と協力を得ながら消防団員を確保していくための、処遇改善や出動、訓練その他の活動内容を検討する必要があります。

令和７年度	
部	危機管理監
課	危機管理課
係等	消防防災係

決算書ページ	193

予算				総合計画		
	款	09	消防費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	消防費		目標	災害に強いまち
	目	03	消防施設費			
	事業	0109030	消防施設維持整備事業		施策	消防・救急体制の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
165,552,000	162,455,675	0	3,096,325	98.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
108,400,000		消防団詰所統廃合事業（特例債）	81,000,000		
		耐震性防火水槽整備事業（緊防債）	27,400,000		
				（入湯税）	(28,578,250)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

・第11分団第２部（穂高地区　新屋区）及び第３部（穂高地区　耳塚区・橋爪区）の統合詰所の新築工事を行いました。
・第12分団第３部（第３班・柏原区）詰所の火の見櫓撤去及びホースタワーの新設を行いました。
・地震発生時に対応するため住宅密集地を優先して穂高地域に耐震性貯水槽をに新設しました。併せて、既存の小規模の防火水槽撤去に伴い堀金地域に耐震性貯水槽を新設しました。

１　消防施設維持整備事業
・消防用資機材購入（消火栓用ホース外）…3,104,860円
・消火栓用ホース格納箱等設置工事…1,193,500円
・第12分団第３部（第３班）火の見櫓撤去工事及びホースタワーの新設工事…6,567,000円
・火の見櫓撤去工事（真々部区、宮中区）…847,000円
・防火水槽撤去工事（堀金２基）…1,958,000円
・消火栓用ホース格納箱購入…720,500円
・消火栓新設負担金（２基）…4,204,700円
・消火栓修繕等負担金（移設２基、交換３基、撤去２基、路面復旧11箇所）…11,343,800円
・消火栓維持管理負担金（上下水道事業会計：950円×２時間×3,100基）…5,890,000円（消火栓の設置及び管理に要する費用の補償（消防法第20条第２項））

２　消防団詰所更新・統廃合事業
・第11分団第２部・第３部統合詰所 新築工事…82,269,000円
・第11分団第２部・第３部統合詰所 新築工事監理業務委託…1,100,000円
・第11分団第２部・第３部旧詰所所　解体工事設計業務委託…1,100,000円
・第６分団第１部旧詰所　解体工事設計業務委託…836,000円

３　耐震性防火水槽新設・更新事業
・穂高柏原　工事費12,694,000円、堀金烏川　工事費15,609,000円

４　令和６年度末現在の消防水利の状況
・消火栓　公設3,153基　私設33基　合計3,186基・防火水槽　公設552基　私設 44基　合計596基

上記の評価と課題等

安曇野市公共施設再配置計画及び安曇野市消防団詰所統廃合事業計画に基づき、消防団詰所の統廃合を含めた組織再編を行い、詰所等の集約による適正な配置を行うことで、地域防災力の向上と出動体制の強化を図りました。消防法第20条第２項及び安曇野市公設消防水利施設設置基準に基づき、区等から要望があった消火栓の設置等を行い、消防水利の確保に努めました。

令和７年度	
部	危機管理監
課	危機管理課
係等	危機管理担当

決算書ページ	193

予算				総合計画		
	款	09	消防費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	消防費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	03	消防施設費			
	事業	0109040	防災無線維持管理費		施策	防災・減災対策の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
46,950,000	45,626,644	0	1,323,356	97.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　防災行政無線維持整備事業

災害時等における市民等への情報伝達手段である、防災行政無線施設の正常な機能の維持と、障害発生の未然防止を図るため、保守点検・維持管理業務を委託しました。

・デジタル移動系防災行政無線保守点検業務委託　　9,130,000円
・デジタル同報系防災行政無線保守点検業務委託　　6,853,000円

２　緊急割込み放送システム維持整備事業

市が発表する行方不明者の情報提供や避難所開設等の情報を、リアルタイムできめ細かく提供することが可能なコミュニティエフエムを利用した緊急割込み放送システムの保守点検・維持管理業務を委託しました。

また、システム内のネットワークルーターの保守期限が切れたため、機器の異常・故障等の際に保証が効かなくならないよう更新しました。

・緊急割込み放送システム保守点検業務委託　　3,960,000円
・緊急割込みネットワークルーター交換工事　　468,600円

３　防災行政無線設備新設・更新事業

電源途絶時にも同報系行政無線を放送するために、屋外拡声装置（屋外スピーカー）に備え付けられているバッテリー240個を交換しました。

また、移動系防災行政無線の直流電源装置蓄電池（押野山・室山・本庁舎）、及び基地局無線装置用ファンユニット（押野山・室山）を交換しました。

・防災行政無線屋外拡声装置バッテリー交換工事　　14,619,000円
・移動系防災行政無線直流電源装置蓄電池等交換工事　　5,698,000円

上記の評価と課題等

同報系・移動系の防災行政無線及び、緊急告知機能付き防災ラジオの割込み放送を的確に行うことができました。今回、ネットワークルーターを更新したことにより、緊急割込み放送を安定的に運用することが出来ました。また、屋外拡声装置の非常用バッテリーの交換により、電源が途絶した際にも放送が出来る体制を整えました。

今後も、経年劣化している設備の修繕及び入替工事を計画的に実施していくとともに、緊急告知機能付き防災ラジオの普及促進や市メール配信サービスへの登録など、様々な情報伝達手段の活用を呼び掛けていきます。

（防災ラジオ販売数：令和７年３月末4,801台）

令和７年度	
部	危機管理監
課	危機管理課
係等	危機管理担当

決算書ページ	195

予算				総合計画		
	款	09	消防費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	消防費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	04	災害対策費			
	事業	0109050	災害対策費		施策	防災・減災対策の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
129,964,000	125,070,741	0	4,893,259	96.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
12,575,000		社会資本整備総合交付金	2,575,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	10,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　防災啓発事業
　令和３年に発行した防災マップに中小河川の想定最大規模・計画規模想定を追加し、更新された土砂災害警戒区域を掲載する等改訂を行い、各戸配布により周知しました。
　穂高地域を対象に指定避難所開設訓練を実施し、災害対応力の向上を図りました。出前講座（実施回数37回）を実施し、市民の防災意識の向上を図りました。また、市民の皆さんの災害時の備えの拡充を図るため、防災用品の購入に対して補助金を交付しました。
・防災用品購入補助金　　5,925,300円（交付数404件）
・市防災ラジオ購入補助金　　761,800円（交付数119件）

２　防災組織支援事業
　「自主防災組織防災活動支援補助金」を交付し、各組織が実施する防災訓練や資機材の整備等を支援しました。
・補助金　　5,438,639円（52組織、延べ交付数69件）

３　防災広場管理事業
　施設内の清掃及び各種機械機器の点検を実施し、施設の適正な維持管理を行いました。

４　災害対策事業
　大規模災害に備えて備蓄品（消耗品及び備品）を計画的に購入しました。消耗品としては、アルファ米5,000食、おかゆ500食、クラッカー2,800食、即席みそ汁5,000食、ゼリー飲料3,200食、えいようかん2,000本、水3,840本（500mℓボトル）、簡易トイレ3,000回分等を購入しました。また、避難所における女性の生活に配慮してサニタリーショーツ400セット、生理用ナプキン9,072枚、乳児に配慮して粉ミルク16缶を購入しました。
　備品としては、発電機３台、投光器３台、ファミリールーム20張等を購入しました。また、避難所感染症対策用品として、プライベートルーム10張、ワンタッチテント10張を購入しました。
・消耗品　8,588,556円　　・備品　4,840,000円

上記の評価と課題等

　出前講座及び防災講演会の開催、指定避難所開設訓練等の実施により、市民の皆さんに防災への関心を高めてもらうことができました。また、改訂した防災マップを各戸配布し、被害を最小限に留めるために住民の防災意識の向上を図っていきます。
　防災用品購入補助金事業により、市民の自主的な備蓄が広がりました。また、自主防災組織防災活動支援補助金事業により、訓練等自主防災組織の活動に対する支援を行うことができました。
　今後も、市民の防災意識の一層の向上を目指します。また、地区防災計画が策定されていない自主防災組織に対して、策定について働き掛けをしていくとともに、全組織で防災訓練等が実施できるよう、各組織と連携を図っていきます。

総務部

令和７年度	
部	総務部
課	総務課
係等	総務係

決算書ページ	61

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102010	一般管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,023,144,000	1,019,615,661	0	3,528,339	99.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
71,236,061		自衛官募集事務委託金	40,000	税証明等郵送料申請者負担金	39,706
		特例処理事務交付金	2,012,000		
		住宅新築資金県補助金	203,000		
		派遣職員給与費負担金	68,941,355		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（１）平和推進事業関係

平成24年度から市内中学校から推薦いただいた生徒達を８月の広島平和記念式典に派遣する「広島平和記念式典参加事業」を実施しています。令和２年、３年はコロナ禍において中止しましたが、令和４年度から再開し、14名の生徒を広島に派遣しました。
令和６年度においても松本大学との連携事業として、平和学習サークル（平和創造研究会）の学生と式典参加をはじめ、事前学習会から成果発表会までサポート、アドバイスを受けながら実施しました。また、事業実施後には、成果発表会の様子や成果を動画にまとめたＤＶＤや感想文集を作成し、各中学校に配布し、市内図書館にも館内閲覧用として配置しています。

（２）固定資産評価審査委員会

固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服を審査決定するための委員会で、３人の委員を選任しております。
令和３年度の審査申出に対する審査決定に対し、審査申出人が決定を不服として長野地方裁判所へ提訴し、令和５年11月に判決がでましたが申出人が不服として控訴しました。令和６年５月に東京高等裁判所で棄却する判決がでましたが、申出人が最高裁判所へ上告しました。（令和５年（行コ）第356号　固定資産評価審査決定取消請求控訴事件）
令和６年度は固定資産評価替えの年となり、４月に固定資産評価審査申出書が提出されため、令和６年５月16日に委員会を開催し、審査の結果、棄却としました。
また、委員改選後の令和６年11月12日に委員会を開催し、固定資産税についての研修を実施しました。

（３）郵便・宅急便関係

郵便等の発送件数は、1,204,622件でした（特別会計を除く郵便料等：82,023,573円）。
令和６年10月1日からは郵便料金の改定があり、文書送達の経費を抑制するため、区内特別郵便の割引制度の活用等の周知・徹底を図りました。

（４）メール便関係

本庁舎と各支所及び穂高健康支援センター間の文書等の配達及び回収業務を行うのため、庁舎間メール便業務として１日当たり午後１便運行をしました（平成29年10月から午後２便を１便に減便）。令和２年度から、業務をアウトソーシングしています。

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102010	一般管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（５）顧問弁護士関係

市の行政運営における法律問題や不服申立て等に関する対応を的確に行うため、顧問弁護士として３人を選任しました。令和６年度の相談件数は60件でした。（令和５年度　43件）

○顧問弁護士に係る支出状況

事業名	弁護士名	決算額
顧問弁護士委託	安曇野法律事務所　宮澤　幸平弁護士 山根伸右法律事務所　山根　伸右弁護士 東京平河法律事務所　橋本　勇 弁護士	1,980,000円

（６）係争事件関係

弁護を委任している訴訟代理弁護士に諸経費等を支出しました。

○係争事件に係る支出

事件名	弁護士名等	決算額
令和５年（行コ）第356号固定資産評価審査決定取消請求控訴事件[報酬金]	東京平河法律事務所	2,398,000円

上記の評価と課題等

・平和推進事業は、令和５年度から松本大学と連携して「広島平和記念式典参加事業」を実施しています。生徒は大学生と共に学習することでより深い学びとなり、未来を担う若者が平和の大切さに関心を寄せる機会とすることができました。今後も、平和都市宣言の精神を尊重し市民の平和意識の醸成を図ります。

・法務関係では行政運営上、職員自身が憲法や民法のほか地方自治固有の法律を正しく解釈し、適切に運用していくことが必要となりますが、複雑な法解釈を適正に理解するためには、法律の専門家である弁護士の助言が不可欠であり、顧問弁護士に委託することは必要であると考えます。

令和７年度	
部	総務部
課	総務課
係等	総務係

決算書ページ	63

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102015	寄附採納事務		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
954,237,000	949,495,082	0	4,741,918	99.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
660,309,119		ふるさと寄附金利子	5,117,819		
		ふるさと寄附金	655,191,300		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（１）寄附採納関係（安曇野ふるさと寄附を除く。）

寄附申出を受け一般会計に歳入された寄附の決算額は6,455,930円でした。寄附金は、寄附者が指定する条件に沿った活用を行いました。

指定寄附　　21 件　　6,455,930円　　（前年度　15件　5,775,000円）
一般寄附　　0 件　　0円　　（前年度　1件　3,770円）

（２）安曇野ふるさと寄附の採納

ふるさと寄附として申出を受け一般会計に歳入された決算額は657,547,300円でした。
前年度比2,639件の増、66,200,300円の増額となりました。

安曇野ふるさと寄附　9,384件　657,547,300円　（前年度6,745件　591,347,000円）

（３）ふるさと寄附基金の活用状況

基金の活用状況については、基金を526,000,000円取り崩し、次の21事業に活用しました。
○企業助成事業○母子・子育て支援事業○公園施設長寿命化事業○予防接種事業○任意・予防接種事業○市農業振興作物等推進事業○外国語指導助手配置事業○子育て応援手当給付事業○ハーフマラソン事業○豊科東小児童クラブ整備事業○明科児童クラブ整備事業○空家対策事業○地球温暖化対策事業○不妊・不育症治療費助成事業業○観光プロモーション事業○災害対策事業○南穂高児童館エアコン更新事業○入浴料金割引券交付事業○コミュニティスクール事業○DX推進事業○交通安全対策推進事業○移住定住

ふるさと寄附基金残高　2,605,864,719円　（前年度　2,471,555,600円）

上記の評価と課題等

平成29年４月１日付け総務大臣通知に基づき、安曇野ふるさと寄附の全ての返礼品について、平成30年４月から返礼割合を３割以下としています。また、令和５年10月に制度の見直しにより返礼品要件等が厳格化されましたが、安曇野市の返礼品に大きな影響はありませんでした。

寄附件数は増加傾向で単年度ではこれまでを大きく上回り過去最高件数となりました。返礼品も見直しを加え過去最多327品を掲載しました。今後は継続した寄附申込みが見込める返礼品の開発と、全体的に在庫の確保が課題と考えます。引き続き、これまでお寄せいただいた寄附金の有効活用と、新たな返礼品事業者の発掘、魅力ある返礼品の開発に努めます。

令和７年度	
部	総務部
課	総務課
係等	法務係

決算書ページ	73

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	文書広報費			
	事業	0102190	文書管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,584,000	2,778,476	0	805,524	77.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
884,234		コピー等サービス料	548,051		
		豊科書庫電気料	336,183		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

ファイリング・システムを全部署へ導入して10年目に入り、職員研修や巡回調査を通じ、個人管理の文書から組織管理の文書への移行（文書の共有化）、文書量の削減、文書保管ルールの徹底を図り、文書検索の短縮と公文書の管理サイクル（文書の収受、作成、起案、決裁、施行、整理・保存、廃棄・移管）を徹底しました。

ファイリング・システム維持のための取組として、例年同様に職員研修（３回）を実施しました。ファイリング実施状況の庁内巡回調査では、総務課職員による実地確認を行い、ファイリング・システムによる文書管理のルールの徹底及び逸脱した運用となっている部署への指導及び再巡回を実施しました。

上記の評価と課題等

情報公開制度のスムーズな運用と文書量の圧縮を図るため、平成27年度からファイリング・システムを全庁に導入し、公文書等の組織共有化を進めております。導入に際しては、ファイリング・システムの確実な定着と適正な活用を図るため、システムを開発した外部専門家による指導、助言を受けております。公文書の管理サイクルの定着と、長期保存文書の増加に対応するため収納箱のサイズ縮小など工夫をし、執務室書棚内の移替えや４階書庫等への置き換えもスムーズに行われ、巡回調査では良好に管理されていました。引き続き保管ルールの徹底を図ります。

令和７年度	
部	総務部
課	総務課
係等	法務係

決算書ページ	73

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	文書広報費			
	事業	0102195	法務管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,950,000	4,360,609	0	589,391	88.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
131,000		コピー等サービス料	131,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

条例等の制定改廃に伴う事務等を実施しました。

（１）条例、規則等の制定改廃に伴う法規審査及び公布を行いました。

区　　分	公布本数
条例	48
規則	73
訓令（規程等）	23
告示（要綱等）	115

（２）条例、規則等の制定改廃に伴い、例規集等データベースの更新、維持管理を行いました。
（委託料：2,191,200円）
なお、本業務については、令和４年度から令和８年度までの長期継続契約に基づき事業を進めました。

（３）条例、規則等の制定改廃を含む法制執務のための判例を確認する支援システムを利用しました。
（賃借料：判例体系システム利用655,776円）

（４）関連する法令、判例、通知等のデータベースにリンクできるシームレス連携を活用した、法務に必要な法解説情報を検索できるシステムを利用しました。
（賃借料：コンシェルジュデスク利用934,560円）

（５）内部統制制度の適正な運用及び職員一人ひとりのコンプライアンス意識の向上のため、弁護士によるコンプライアンス研修を実施しました。
（委託料：コンプライアンス研修講師派遣業務委託220,000円）

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	文書広報費			
	事業	0102195	法務管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

情報公開制度と個人情報保護制度を適正に運用するとともに、市が保有する情報の公開を図るため、随時、開示請求のあった担当課との協議を行いました。
また、市が保有する情報は、市民の皆様の大切な情報であるとの共通認識のもと、個人情報の保護に努めました。

（１）情報開示請求及び個人情報開示請求の状況は、次のとおりです。　　（単位：件）

実施機関		請求	処理内訳					不服申立て
			全部開示	部分開示	不開示	うち不存在	取下げ	
市長	情報開示	93	28	42	46	42	6	
	個人情報	16	11	5			1	
議会	情報開示							
	個人情報							
教育委員会	情報開示	8	6	1	2	1		
	個人情報	2		2				
選挙管理委員会	情報開示	4	1	3			1	
	個人情報							
監査委員	情報開示	1		1	1	1		
	個人情報							
公平委員会	情報開示	1	1	1	2	1		
	個人情報							
農業委員会	情報開示	1		1	1	1		
	個人情報							
固定資産評価審査委員会	情報開示	1		1				
	個人情報							
合　　計	情報開示	109	36	50	52	46	7	0
	個人情報	18	11	7	0	0	1	0

請求と処理内訳の合計の相違は、請求書の内容により処理が複数あったことによるものです。

（２）安曇野市情報公開・個人情報保護審査会

委員数：５人　任期：令和６年６月１日から令和８年５月31日まで
会議等：審査会の開催状況は、不服申立てがなかったため１回のみでした。
○第１回審査会（令和６年６月12日）内容：令和５年度の経過報告等

（３）新規採用職員を対象とした研修の実施

新規採用職員を対象に情報公開・個人情報保護制度及び開示請求事務に係る研修（令和６年４月17日）を実施しました。
内容：制度の基本的な知識、個人情報の適正な取扱い等について

予算	款	02	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	文書広報費			
	事業	0102195	法務管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市行政不服審査会
委員数：５人　任期：令和６年６月１日から令和８年５月31日まで
会議等：審査会の開催状況は、不服申立てがなかったため１回のみでした。
○第１回審査会（令和６年６月12日）内容　令和５年度の経過報告等

上記の評価と課題等

例規の見直しを含めて、259本の制定改廃を行いました。
（新規制定：19本　改正：233本　廃止：７本）
今後も法令等の改正を注視し、リアルタイムに市の例規に反映させ、事務等に支障を来さないように努めます。
令和６年度における開示請求について、前年度と比較して情報開示請求、個人情報開示請求ともに増加しました。請求状況の増減にかかわらず、情報公開制度、個人情報保護制度ともにおおむね適正な運用が図られたものと思われます。今後も、市が保有する情報は市民の大切な情報との認識の下、情報公開制度、個人情報保護制度の適切な運用に努めます。また、引き続き事前に開示する公文書の絞り込みや情報提供による対応に努めます。
現行の行政不服審査制度では、市の行政処分に対して上級庁がない場合、処分を下した課以外の課の職員が審理員として審理することになるため、職員の責務は非常に重くなっています。
市民の信頼を確保するため、引き続き組織としての法務能力の向上に努めながら、適正な審査制度の運用に努めます。

令和７年度	
部	総務部
課	職員課
係等	職員担当

決算書ページ	65

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102030	職員管理		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
895,338,000	886,851,018	0	8,486,982	99.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,598,357		職員健康診断共済組合補助	99,000	その他雑入（職員担当）	6,500
		団体定期保険事務費外	224,857		
		共済組合研修会助成	100,000		
		職員駐車場利用料	5,168,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　職員数
　令和６年４月１日は733人（内28人は再任用職員）で、前年度から２人の減員となりました。
　令和７年４月１日は738人（内26人は再任用職員）で、昨年度と比較して５人の増員となりました。条例の職員定数は750人です。
　令和６年６月１日現在の障がい者の雇用率は3.06%でした。（法定雇用率2.8%）

２　職員構成及び配置
　令和６年４月１日の新規採用職員24人、再任用職員28人、10月１日に経験者採用７人の任用を行いました。
　また、令和６年４月１日の会計年度任用職員数は730人で、前年度と比較すると４人の増員となっています。

参考：令和７年４月１日の新規採用職員19人、再任用職員26人、会計年度任用職員723人

３　職員派遣
（１）自治法派遣
　地方公共団体相互間の協力援助に関する派遣
　［派遣］:松本広域連合（３人）、長野県後期高齢者医療広域連合（１人）、穂高広域施設組合（１人）、安曇野・松本行政事務組合（１人（再任用職員））
　［受入］:長野県（１人）、長野県教育委員会（２人）、松本広域連合（１人）
（２）研修派遣
　派遣先機関のノウハウを習得し、人脈を築くことで、職員自らのスキルアップを図り市政に活かすことなどを目的とした派遣
　［派遣］:長野県（３人）、全国市町村国際文化研修所（１人）
（３）その他の派遣
　［派遣］:国土交通省千曲川河川事務所（１人）、輪島市（２人）
　［受入］:長野県警察（２人）

４　分限・懲戒・表彰
　処分は、分限休職10人、訓告６人、厳重注意（文書13人、口頭３人）でした。

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102030	職員管理		施策	市民の視点に立った行財政運営

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

5　職員給与

（１）一般行政職の給与の状況　　（各年４月１日現在）

年度	平均給料額	平均給与額	平均年齢	ﾗｽﾊﾟｲﾚｽ指数
令和６年度	307,382円	346,068円	41歳８月	97.2
令和５年度	304,655円	346,665円	42歳１月	97.5

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の給与水準を示す指数

（２）給与改定の実施

人事院勧告に準拠し、給料表、初任給、期末手当・勤勉手当の支給割合を改定しました。

・給料表・・・・平均で3.0％の引上げ
・初任給・・・・大卒者23,800円、高卒者21,400円の引上げ
・期末手当及び勤勉手当・・・支給月数をともに0.05月分引上げ
（期末・勤勉手当の年間の支給割合を4.6月）

6　職員研修　4,704,437円(旅費：1,038,128円、委託料：2,023,359円、負担金補助金：1,642,950円)

人材育成基本方針に基づく「職員研修実施計画」により、各種研修を実施しました。

平成28年度より階層別研修の体系化に取組み９年目を迎えました。職層ごとに必須研修、推奨研修を設け、継続して実施しています。

・庁内研修受講者　延べ3,195人　・出張研修受講者　延べ121人
・通信教育講座受講申込者数　94人、うち修了者数　76人

7　健康管理・福利厚生　18,656,175円

（報酬：1,035,000円、消耗品：310,211円、委託料：9,462,112円、負担金：7,848,852円）

（１）健康診断等

ア　安全衛生委員会事業計画に基づき、指定健診機関における定期健康診断を実施し、149人(30歳未満の職員108人、30歳未満の会計年度任用職員41人)が受診しました。また、健診機関と委託契約を締結し、各健診機関において人間ドック、巡回健診を奨励し、受診した職員(30歳以上の職員481人、30歳以上の会計年度任用職員545人)に対して、事業主負担分を健診機関へ支払いました。その他、契約医療機関以外の受診者６人を含め、全体の受診率は87.9%でした。

イ　心の健康づくり計画に基づき、ストレスチェック検査を実施し、1,133人が受験しました。受検率は89.1％でした。
また、新たにスマートフォンでの受検も可能としました。

（２）職員の福利厚生事業(市職員互助会事業を含む)

ア　メンタルヘルス対策として産業カウンセラーが庁舎内で相談に応じる月１回の定例相談日を設け、延べ28人(実人数14人)が利用しました。また、新規採用職員、新任係長、66人に対して、産業カウンセラーとの面談を実施しました。
そのほか、休日に本庁舎以外で相談に応じる「カウンセリングルーム」は年12回開催し、延べ４人の利用がありました。

イ　職員相互の親睦と健康増進を目的とした職員互助会親睦ボウリング大会を開催し、116名（５日間）の参加がありました。

8　職員勤務管理　587,950円　（消耗品：88,000円、委託料：499,950円）

平成30年度から、職員の入退庁の打刻記録を可視化（時間帯グラフ）できる入退庁記録参照システムを取り入れ、入退庁時間を正確に把握できるようにしました。

管理職が職員の入退庁時間を正確に把握することで、時間外勤務命令などを含めた職員の勤務管理に努めています。

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		基本方針	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102030	職員管理		基本施策	市民の視点に立った行財政運営

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

９　人事評価制度の運用　（委託料：189,380円）
　能力評価及び業績評価の結果に応じ、勤勉手当の成績率及び昇給（昇格）への反映を行うとともに、人事配置での配慮や人材育成等に活用しました。
（１）勤勉手当の成績率への反映（再任用職員を除く支給対象者673人）（毎年６月・12月）
　令和５年度人事評価結果に基づく各評価ランクの職員数
　Ａ：24人(3.6%)、Ｂ：643人(95.5%)、Ｃ：６人(0.9%)
（２）昇給（昇格）への反映（昇給対象者639人）（毎年１月）
　Ａ：４人(0.6%)、Ｂ：635人(99.4%)

10　係長昇任試験を実施
　職員の主体的キャリア選択を可能とする複線型昇任制度の運用により、係長昇任試験を実施しました。令和７年４月の人事異動では、今回の合格者を含めた係長昇任候補者の中から、17人を係長に登用しました。

11　会計年度任用職員制度
　会計年度任用職員の任用については、地方公務員法に定める平等取扱いの原則及び成績主義を踏まえて、新たな募集及び再度の任用を行いました。

上記の評価と課題等

職員数については、公務員の定年延長が実施される中、退職予定者数の正確な把握に努め、新規採用者数とのバランスを図っていきます。
特定事業主行動計画に掲げた取組を実行し、職員が働きながら子育てを実現できるとともに、女性職員が十分に能力を発揮し活躍できる環境づくりに努めていきます。
人材育成基本方針に基づく職員研修実施計画により、体系的な階層別研修を実施するとともに、受講した職員の満足度や理解度を上げるために研修内容の見直しと充実を図ります。
人事評価制度の運用は、組織目標の達成に向けて職員の能力を引き出すとともに、能力開発、人材育成といった人事管理の基礎として活用します。評価の信頼性、納得性を高めるために、引き続き研修等を行うほか、必要な見直しを行っていきます。
職員勤務管理では、職員の健康保持やワークライフバランスを目指し、引き続き適正な労働時間の管理を徹底していきます。
安曇野市職員心の健康づくり計画に基づくストレスチェック検査は、更なる受検率の向上を図り、高ストレス者に対する対応に努めていきます。また、職場ごとの集団分析を行い、職場環境改善に繋げていきます。
会計年度任用職員の任用については、事業ごとに必要性を精査し、業務委託の可能性などを検討しながら任用をしていきます。
障がい者の雇用を促進するため、多様な雇用のあり方について検討を進めていきます。

令和７年度	
部	総務部
課	職員課
係等	職員担当

決算書ページ	67

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102047	災害派遣事業		施策	防災・減災対策の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,585,000	3,515,130	0	69,870	98.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和６年１月１日に発生した令和６年能登半島地震における被災地支援のため、職員の旅費を支出しました。

１．派遣の内訳

≪短期派遣≫

令和６年４月13日から４月18日　石川県輪島市　給水作業　４名
令和６年４月21日から４月27日　石川県羽咋市　家屋調査　２名
令和６年５月２日から５月７日　石川県輪島市　家屋調査　２名

≪中長期派遣≫

令和６年４月から２年間　石川県輪島市　技師１名、保健師１名（半年交代）

上記の評価と課題等

関係機関からの要請に基づき、被災地支援を行うことができました。
石川県輪島市への中長期派遣は、技師１名、保健師１名を半年交代で派遣しています。

令和７年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書ページ	75

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	03	財政管理費			
	事業	0102230	財政管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,252,000	2,209,345	0	42,655	98.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　消耗品費　　122,095円
２　委託料　　2,087,250円

健全かつ効果的な財政運営を目指し、次の事務に取り組みました。

（１）　当初予算・補正予算の編成
（２）　地方交付税の算定
（３）　地方財政状況調査(決算統計）の作成
（４）　健全化判断比率の算定
（５）　地方公会計制度による財務書類（バランスシート、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書）の作成
（６）　半期毎の財政状況の公表

上記の評価と課題等

必要な住民サービスを必要な時期に提供するため、８回の補正予算を編成しました。
今後もより効果的な財政運営に努めていきます。

令和７年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書ページ	75

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	03	財政管理費			
	事業	0102250	基金積立金		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
735,531,000	735,528,310	0	2,690	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
35,072,310		財政調整基金利子	12,842,435		
		減債基金利子	6,408,379		
		公共施設整備基金利子	11,100,071		
		地域振興基金利子	4,721,425		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

財政調整基金については、将来的な財源調整に備え、令和５年度決算剰余金から繰越財源を控除した額の２分の１を下らない額を、次のとおり積み立てました。

減債基金については、令和７・８年度の臨時財政対策債の償還財源が令和６年度の普通交付税で措置されたため、次のとおり積み立てました。

財政調整基金	538,000,000円
減債基金	162,456,000円

市債の償還、地域の振興及び財源調整のため、次のとおり基金からの繰入れを行いました。

財政調整基金繰入金	548,707,000円
減債基金繰入金	254,976,000円
公共施設整備基金繰入金	226,000,000円
地域振興基金繰入金	130,200,000円

年度末各基金の現在高は、次のとおりです。

財政調整基金	5,370,581,883円
減債基金	3,008,695,663円
公共施設整備基金	5,145,672,359円
地域振興基金	2,154,645,879円

上記の評価と課題等

財政計画を念頭に、各基金の設置目的に基づき繰入、積立を行いました。引き続き、持続可能な財政運営、健全財政の堅持に努めていきます。

令和７年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書ページ	247

予算				総合計画		
	款	12	公債費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	公債費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	元金			
	事業	0112010	長期借入金償還元金		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
7,156,650,000	7,155,949,055	0	700,945	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市債について通常償還（元金）と、借換債を発行せず繰上げ償還しました。

年度末地方債現在高は、35,130,267,273 円です。
そのうち、地方債現在高の大きなものは次のとおりです。
・「旧合併特例事業債」　16,319,465,000円
・「臨時財政対策債」　12,401,801,725円

借換債を発行し、臨時財政対策分850,000,000円と総務費・旧合併特例債分1,314,500,000円を借換えました。
また、総務費・旧合併特例債分210,900,000円と教育費・旧合併特例債分432,600,000円は、借換債の発行を行わず償還しました。

上記の評価と課題等

一般会計の地方債現在高は減少傾向が続いています。引き続き、償還額と借入額とのバランスに留意していきます。

令和７年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書ページ	247

予算				総合計画		
	款	12	公債費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	公債費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	利子			
	事業	0112020	長期借入金償還利子		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
98,905,000	98,789,429	0	115,571	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市債の償還（利子）を行いました。
また、年度当初及び年度末の歳計現金の不足を補うため、財政調整基金の繰替運用を行い、この分の利子を一時借入金利子から支出しました。

１　通常償還分利子　　97,404,240円

２　一時借入金利子　　1,385,189円
（R６．４．１～R６．５.31）　20億円　　利子 220,602円
（R６．４.16～R６．５.31）　25億円　　利子 201,643円
（R６.10.15～R７．３.31）　15億円　　利子 581,055円
（R６．２.13～R７．３.31）　30億円　　利子 333,944円
（R７．３.31～R７．４.１）　25億円　　利子　47,945円

上記の評価と課題等

借入にあたっては、見積入札による低利な借入に努めていきます。

令和７年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書ページ	247

予算				総合計画		
	款	13	予備費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	予備費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	予備費			
	事業	0114010	予備費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
32,650,000	0	0	32,650,000	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

予備費70,000,000円について、充用件数24件 充用額37,350,000円を充用しました。

○原因別の内訳は次のとおりです。

１ 災害に起因して必要となった経費	７件	16,596,000円
２ 施設・設備の故障等に起因して必要となった経費	９件	7,591,000円
３ 能登半島地震への職員派遣で必要となった費用	２件	190,000円
４ その他（弁護士委託諸経費、法人市民税還付金ほか）	６件	12,973,000円

○充用先科目の内訳は次のとおりです。

１ 報償費	１件（弁護士等謝礼）	2,398,000円
２ 需用費	14件（消耗品費１件、燃料費１件、食糧費１件、修繕費11件）	12,298,000円
３ 委託料	３件（管理委託料１件、事務事業委託料２件）	1,716,000円
４ 使用料及び賃借料	１件（使用料１件）	4,000円
５ 工事請負費	２件（工事請負費２件）	10,368,000円
６ 備品購入費	１件（原材料１件）	594,000円
７ 償還金、利子及び割引料	２件（還付金２件）	9,972,000円

※決算書に表示の件数は、重複科目への充用を考慮しているため、上記件数と一致しません。

上記の評価と課題等

予備費充用については、今後も充用基準に沿って適切に運用していきます。

令和７年度	
部	総務部
課	税務課
係等	市民税担当・諸税係

決算書ページ	89

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	徴税費		目標	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	税務総務費			
	事業	0102460	税務総務費		施策	健全財政の堅持

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
449,717,000	446,328,211	0	3,388,789	99.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
131,440,316		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	2,717,000		
		県民税徴収事務委託金	128,722,716		
		その他税務関係雑入	600		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　公平・公正・適正な賦課と捕捉率向上の取り組み

（１）申告受付：令和７年２月５日から３月17日までの間、市内５会場で開催しました。
受付者数：6,831人（前年比 92人増）
LINEを活用した予約システムの導入やe-Tax研修会の開催により、申告者の利便性向上と業務の効率化を図りました。

（２）未申告者の解消：申告勧奨通知の送付や電話連絡を実施しました。

（３）庁内各種内部資料、国、県資料による課税の是認、否認。
税務署への閲覧や中信県税事務所の照会、修正申告等適宜に対応し適正な課税に努めました。

（４）課税原票管理システムによる事務の効率化
事業費：3,446,520円（12委託料 2,090,000円、13借上料 1,356,520円）
各種法定調書のイメージ化で、課税、更正事務の効率化に寄与しています。

	給与支払報告書	年金個票	確定申告書	市県民税申告書	その他
イメージ読取	73,919枚	48,383枚	20,324枚	4,586枚	5,812枚

（５）ｅＬＴＡＸ(地方税ポータルシステム)（給与支払報告書、法人市民税の申告、償却資産の申告等について電子データでの送信）による事務の効率化及び税務署への全件データ引継ぎの実施
事業費：11,598,703円(13使用料 5,966,400円、18負担金 5,632,303円)

○地方税電子申告支援サービス

	給与支払報告書	年金個票	法人市民税申告	償却資産申告	給与特徴異動届
全提出件数	66,085件	48,337枚	3,475件	5,319件	4,098件
内電子申告	47,049件	47,499枚	2,915件	1,926件	972件
前年比増減率	0.80%	△0.16%	4.09%	△1.46%	7.36%

	市たばこ税申告	入湯税申告	特徴税額通知のデータ送付	
全提出件数	36件	535件	事業所用のみ	975件
内電子申告	29件	18件	個人用のみ	13件
前年比増減率	80.56%	3.17%	両方	265件

令和５年10月から市たばこ税・入湯税の電子申告が始まりました。
令和６年度から特徴（給与天引）税額通知書のデータ送付が始まりました。

○市の申告会場で受付けた確定申告データを税務署に送信する「データ引継ぎ」を実施
引継件数：4,743件（前年比 120件増）

予算				総合計画		
	款	02	総務費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	徴税費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	税務総務費			
	事業	0102460	税務総務費		基本施策	健全財政の堅持

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（６）軽自動車税（種別割）の課税

長野県市長会との契約に基づき提供される軽自動車申告書(登録・廃車・所有権移転・転出等)のデータ及び軽自動車検査情報市区町村提供サービス業務(J-LIS)に基づき課税事務を行いました。

事業費：1,766,635円（12委託料 1,403,544円　13使用料 363,091円）

〈件数〉（125CC以下のバイク、小型特殊自動車を除く）

申告書取扱委託	申告書データ化業務	J-LIS検査情報	市外転出車両情報
12,788件	12,092件	29,472件	963件

なお、環境性能割は市税ですが、当分の間、長野県が賦課徴収を行うものとされています。

（７）課税の更正

確定申告、住民税申告の他、他市町村及び税務署からの通知、法人からの更正請求、償却資産の修正申告、固定資産税・軽自動車税の減免申請等の事由による更正処理を行いました。

	個人市県民税	法人市民税	固定資産税	軽自動車税
更正件数	9,491件	43件	407件	668件
還付額	14,584,146円	92,772,100円	1,463,900円	48,700円

（８）個人住民税の特別徴収の推進

特別徴収制度を運用することで従業員等の納税の利便性向上のため、原則すべての事業主を特別徴収義務者に指定し、個人住民税の特別徴収を徹底しています。

	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
特別徴収義務者数	5,665人	5,714人	5,856人	5,911人	5,989人

２　広報活動の充実等により、税に対する理解を深め納税意識の高揚を図り安定した財政基盤を確保する取り組み

（１）　租税教育推進事業　　事業費　452,301円（07記念品 452,301円）

安曇野市租税教育推進委員会を組織し、市教育委員会、税務署、税理士会等の協力のもと、租税教室が市内小学校９校、中学校６校、高等学校４校（合計19校）で開催されました。

税に関する作文・ポスターの募集を市内の高等学校・中学校に呼びかけ、作文682編、ポスター115作品の応募があり、その中から40作品について表彰をしました。

市長賞	教育委員会賞	松本税務署長賞外
10 作品	22 作品	８作品

（２）　広報活動

広報紙・ホームページ・デジダルサイネージ・新聞等を活用した税の広報を実施しました。

市独自で行う「税に関するポスター」市長賞の２作品を活用し、所得税・市県民税の申告用ポスターを作成し、申告会場、駅、市内金融機関等に掲示し啓発を図りました。

上記の評価と課題等

公平・公正・適正な賦課に向けて、論理チェック・数値等の確認を行うとともに、事務処理の効率化に向け機械処理できるものと人的処理が必要なものを区分して適正な課税事務を進めます。

ｅ-Ｔａｘ（国税電子申告・納税システム）、ｅＬＴＡＸ(地方税ポータルシステム)で行う手続きが増えてきたため、今後も周知を図り有効活用に努めます。

納税意識の高揚を図るため、今後も租税教育や広報活動を関係機関と連携し実施していきます。

令和７年度	
部	総務部
課	税務課
係等	土地係・家屋担当

決算書ページ	89

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	徴税費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	賦課徴収費			
	事業	0102470	資産税費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
44,041,000	41,884,014	0	2,156,986	95.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
60,650		固定資産土地精通者謝金	60,650		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　事業の目的及び内容

固定資産税の公平・公正・適正な賦課を行うための課税客体の把握及び調査を実施しました。

２　事業の実績

（１）公平・公正・適正な賦課のための業務委託

ア　課税客体調査事業　15,431,000円

土地評価に係る各種補正の適用の根拠となる地理情報システムへの土地の形状、その他異動情報の更新業務(7,755千円)を行うとともに、土地評価に係る業務支援システム(GIS)の基図となる各種データの更新業務(7,425千円)を行いました。

イ　評価体系集約化（土地評価システム）業務　5,115,000円

市内及び隣接市町村との価格バランス等を確保しつつ、評価基準等に基づいた適正な土地の評価替えを行うことを目的に、令和６年度からの３年間で、令和９年度評価替え作業に必要な諸資料等の整備を行います。

１年目の令和６年度は、土地価格形成の要因調査、路線の整備、路線データの作成、状況類似地域の区分の検討等を実施しました。

ウ　標準宅地時点修正に係る鑑定業務　3,163,424円

固定資産税における土地の価格は、地価の下落があり基準年度の価格を据え置くことが適当でないときは、据置年度でも価格を修正することとされているため、市内の標準宅地の鑑定評価を委託し、令和７年度の価格に反映しました。

（２）固定資産税の賦課業務　（免税点未満を含む。）

課税客体	面積・棟・申告者数	評価額（千円）	課税標準額（千円）	納税者数
土　　地	139,565,740㎡	318,855,523	126,800,483	45,995
家　　屋	72,788棟	202,792,046	202,629,479	
償却資産	4,882人 (内法人2,652人)	92,452,229	91,815,682	

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	徴税費		基本方針	みんなでともにつくるまち
	目	02	賦課徴収費			
	事業	0102470	資産税費		基本施策	市民の視点に立った行財政運営

その２

上記の評価と課題等
＜家屋＞ 令和６年建築の新増築家屋564棟の評価を実施し、令和７年度の価格に反映しました。 所得税申告書の閲覧等により課税客体の調査及び把握を行い、償却資産申告のない事業者に対して勧奨を行い公平な課税に努めました。

令和７年度	
部	総務部
課	収納課
係等	管理係・整理担当

決算書ページ	91

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	徴税費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	賦課徴収費			
	事業	0102480	収納費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
50,879,000	47,762,785	0	3,116,215	93.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
42,564,683		県民税徴収事務委託金	40,000,000		
		督促手数料	1,943,181		
		雑入	621,502		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　滞納整理の取り組み

自主財源の確保と税負担の公平性を図るため、４税（市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税）２料（後期高齢者医療保険料、介護保険料）合わせて、令和５年度末累積滞納額３億８千６百万円の縮減を目指して滞納整理を実施しました。

具体的な取り組みとしては、現年度徴収の強化として自主納付を広く推進し、納税コールセンターによる電話催告や催告書の送付によりコロナ禍以降の生活習慣の変化や消費動向の変容は受けたものの、市税の現年度収納率は、前年度を0.07ポイント上回る99.35％となりました。

また、差押等の滞納処分、長野県地方税滞納整理機構への移管や連携等により、市税累積滞納額は前年度より約400万円の減額となりました。

・催告書の発送　4,492件（前年比9.49%減）
・差押件数　745件（前年比5.58％減）
・差押金額　114,461,123円（前年比9.43％増）
・換価及び自主納付21,913,752円(前年比18.17％減)
・執行停止　33件　8,158,814円
・不納欠損処分　　24,955,808円

・納税コールセンター業務委託　5,544,000円
　業務委託により、初期滞納者に対し電話による自主納付の勧奨を行いました。民間の専門事業者へ委託することで、休日や夜間など、納税者が電話に応答し易い時間帯にも納付の呼びかけができることから、年間で38,590,940円（架電件数13,677件）の自主納付がありました。納め忘れによる滞納防止に効果を上げています。

２　徴収体制の強化に向けた取り組み

（１）長野県地方税滞納整理機構への徴収移管

国民健康保険税を含め100万円以上の高額滞納や不動産公売を要する滞納者などの納付困難案件となっている45件について、長野県地方税滞納整理機構へ徴収移管しました。

・徴収移管額　48,641,197円（令和６年６月移管）
・長野県地方税滞納整理機構徴収額　16,108,419円（令和６年４月～令和７年３月滞納整理機構徴収分）
・長野県地方税滞納整理機構への負担金　6,255,000円

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	徴税費		基本方針	みんなでともにつくるまち
	目	02	賦課徴収費			
	事業	0102480	収納費		基本施策	市民の視点に立った行財政運営

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（２）納税相談の実施

期限内納付が困難な納税者や滞納している税金を一括して納付することが困難な方に対して、納税相談を実施し、分割納付等の個々の実情に即した納付計画を提案しました。

・相談による納付計画件数298件

３　口座振替、コンビニ収納の状況（市税３月末時点　現年度分）

（１）　口座振替納税の推進

納付の利便性と収納業務の簡素化及び納期内納付の促進を図るため、当初納付書(市県民税普通徴収・固定資産税)発送時にハガキタイプの口座振替依頼書と口座振替推進のチラシを同封し、口座振替による納付を勧奨しました。

（ア）　口座振替納税の状況

区分 / 税目	令和６年度		口座振替率
	納税義務者　A	口座登録者　B	B/A
市県民税	16,189人	7,092人	43.81%
固定資産税	46,018人	31,607人	68.68%
軽自動車税	34,410人	9,253人	26.89%
合計	96,617人	47,952人	49.63%

（２）コンビニ収納の状況（スマホ決済はバーコード収納によるコンビニ収納連携分）

納付手段の一つとして定着したコンビニ収納（市県民税普通徴収、固定資産税、軽自動車税）の利用実績は以下のとおりです。

（ア）コンビニ納付利用率等

・コンビニ納付件数　　69,459件（スマホ決済含　前年比　1,903件減）
・総納付件数に対する割合　　25.56％（前年比0.38％減）
・口座振替以外の納付件数に対する割合　　61.94％（前年比1.36％減）

（イ）コンビニ取扱手数料　4,650,294円（スマホ決済含　前年比125,598円減）

４　地方税統一QRコードを活用した電子納付の状況

市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税の納付書に印刷されたQRコードを読み取ることでスマートフォン決済アプリによるキャッシュレス納付やQRコードに対応する全国の金融機関窓口で地方税の納税ができる電子決済サービスによる納付実績。

・スマホアプリ等を利用した電子決済サービスによる納付　9,222件（前年比2,839件増）
・金融機関窓口でのQRコードを利用した納付　　50,255件（前年比3,590件増）

上記の評価と課題等

今後も自主財源確保の観点と税負担の公平性から、計画的な自主納付を呼びかけるとともに納税者が、市税等を納めやすい環境づくりを進める中で、関係課、関係機関との連携協力により、市税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料合わせて令和６年度末累積滞納額約３億８千２百万円の更なる縮減に取り組みます。

令和７年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書ページ	63

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102020	本庁舎管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
245,902,000	241,942,979	0	3,959,021	98.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,558,441		資源ごみ売却代（本庁舎）	30,563		
		自動販売機設置電気料（本庁舎）	281,586		
		公衆電話料（本庁舎）	13,900		
		その他雑入（本庁舎）	3,232,392		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　歳入

公共施設目的外使用料（本庁舎）　　5,484,466 円

２　歳出

（１）本庁舎総合管理業務　　112,493,700 円

施設の常駐管理、設備管理、警備宿日直、清掃、受付案内、電話交換、郵便物等受発送、植栽管理、除雪等を一括業務委託しています。

（２）本庁舎の光熱水費等の使用状況

項目	令和４年度		令和５年度		令和６年度	
電気	1,430,810kWh	39,333,047円	1,476,068kWh	31,069,639円	1,519,052kWh	41,434,844円
水道	2,663㎥	759,338円	2,710㎥	768,832円	2,539㎥	697,388円
下水道	5,268㎥	1,141,800円	5,505㎥	1,193,940円	5,732㎥	1,243,880円
灯油	51,550ℓ	6,149,440円	52,000ℓ	6,575,800円	43,800ℓ	5,751,460円

（３）コピー用紙の使用状況

項目	令和４年度		令和５年度		令和６年度	
用紙	7,570,000枚	7,734,100円	8,323,000枚	11,245,712円	6,635,000枚	9,885,480円

３　その他来庁者に関する事項

項目	令和４年度	令和５年度	令和６年度
休日来庁者	15,079人	11,275人	11,229人
視察	8団体（294人）	2団体（12人）	3団体（139人）

上記の評価と課題等

機器の適切なメンテナンスの実施、職員に対する節電・節水等の呼びかけ等を行い、引き続き経費の抑制に努めます。

本庁舎も開庁から10年経過し、経年による設備故障が発生し始めています。

行政運営に支障を出さないために、必要な修繕を実施するとともに、計画的な設備の更新を図っていく必要があります。

令和７年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書ページ	67

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102080	公用車管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
29,266,000	26,952,949	0	2,313,051	92.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

公用車を適切に管理することで安全運行と環境負荷の低減と延命を図りました。
また、任意保険の加入により事故の補償に備えました。

１　主な歳出

（１）燃料費	ガソリン代	5,996,631 円
（２）役務費	自動車損害共済基金分担金	6,590,610 円
（３）使用料	高速道路等使用料	2,604,711 円

２　公用車の事故

公用車の事故は14件発生しました。そのうち、相手方への損害賠償金（治療費、修理費等）が発生した事故は７件ありました。

３　公用車の更新

市全体では、29台の車両を廃車し、10台の車両を購入しました。
そのうち共用車両１台を環境性能の高いハイブリッド車に更新しました。

上記の評価と課題等

車両を安全に運行するために点検や整備を行いました。車両を共用管理することで適正な車両台数を維持し、整備不良や点検・車検漏れなどを防ぐよう管理をしています。保険加入や事故対応を一元化していることで効率的な運用をしています。

また、経過年数が20年以上、または15万km以上走行した車両については更新対象に位置づけ、環境に配慮した車両に切り替えていきます。

令和７年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書ページ	67

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102083	ＡＥＤ維持管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
18,383,000	17,979,720	0	403,280	97.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

公共施設へ自動体外式除細動器（ＡＥＤ）を配備することで、突然の心停止に対し救命処置を行えるようにしました。
本年度は耐用年数を迎えた本体、パッド及びバッテリーの更新を行うとともに、新規に屋外体育施設13箇所にＡＥＤを設置しました。
また、市ホームページ「あづみのマップ」及び「全国ＡＥＤマップ」にＡＥＤの設置場所及び使用可能時間の情報を更新し、利便性の向上を図りました。

１　ＡＥＤの整備状況
（１）保有台数　127 台
（２）設置施設数　107 施設
（３）内貸出用　11 台

２　本体の更新及び新規設置台数　16,594,600 円
（１）更新　29 台　8,549,200 円
（２）新規（屋外用設置ＢＯＸを含む）　13 台　8,045,400 円

３　パッド及びバッテリーの更新　1,313,840 円
（１）パッド（２年）　68 台　799,040 円
（２）バッテリー（４年）　13 台　514,800 円

４　使用回数　0 回

上記の評価と課題等

ＡＥＤは平成22年度から各施設に整備を開始しました。
市内小中学校に設置しているＡＥＤは、学校開放により夜間・休日等にスポーツクラブ等が活動している現状を踏まえ、全ての体育館へ設置しています。
なお、導入した時期が近く、消耗品も含め多数のＡＥＤが同時に耐用年数を迎えてしまうため、耐用年数を迎える前に確実に更新していく管理が必要となります。

令和７年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書ページ	77

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	05	財産管理費			
	事業	0102270	財産管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
49,194,000	45,809,718	0	3,384,282	93.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　財産マネジメント担当

低未利用地の活用及び不要となった財産の処分を行い、自主財源の確保に努めました。

また、市の所管する財産の整理を進めるとともに、建物共済や損害賠償責任に関わる事務を行いました。

（1）主な歳入

使用料	行政財産目的外使用料	25 件	1,626,105 円
財産運用収入	市有土地貸付収入	43 件	5,565,226 円
	市有建物貸付収入	6 件	1,338,308 円
財産売払収入	市有地売払収入	9 件	5,251,869 円
	不用品売払収入（公用車等）	12 件	12,191,776 円

（2）主な歳出

保険料	建物総合損害共済	6,795,995 円
	総合賠償補償保険料	8,770,104 円
委託料	普通財産の管理委託料	1,053,910 円
	固定資産台帳等データ異動更新業務	4,081,000 円
	エネルギーサービスプロバイダー業務	19,984,800 円

上記の評価と課題等

今後も不要となった財産を定期的に処分し、自主財源の確保に努めます。

新電力の導入が可能な施設は、引き続き新電力会社から電力を購入し、電気料金の削減を図ります。

予算	款	02	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		基本方針	みんなでともにつくるまち
	目	05	財産管理費			
	事業	0102270	財産管理費		基本施策	市民の視点に立った行財政運営

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

２　施設経営担当

（１）　施設の長寿命化と維持管理コストの低減

公共施設の新築、増築、改修及び付帯する外構工事といった、市が発注する一定金額以上の（予定価格が130万円以下の少額随契を除く）建築、設備等の工事に対し、建設に伴う各種申請書類の作成から設計業務委託の発注、工事監督員、変更設計積算等の監理業務の実務に至るまで、施設を所管する事業担当課と共に実施設計の段階からしゅん工、引渡しに及ぶ工事管理に一元的に携わり技術協力することで建築コストの適正な管理と施設経営の良好な運営を支援するとともに、長寿命化に憂慮した技術提案や設備機能の最適化により維持管理コストの低減に努めています。

実績件数	令和４年度	令和５年度	令和６年度
建設工事の発注、監督員業務	38 件	67 件	66 件
設計・監理業務に係る発注、監督、積算等	109 件	156 件	128 件
新築、改修等の設計業務	77 件	101 件	77 件
工事に伴う監理業務	32 件	55 件	51 件
工事費及び設計監理料（見積書）の算定	308 件	313 件	272 件

上記の評価と課題等

施設経営の良好な運営を支援する施設経営担当として工事全般に主体的に携わり、施設担当課と共に実施した建築、設備等の工事並びに設計業務委託等については、公共建築としての適正な品質と機能を確保し、概ね計画どおりに進捗しました。

今後も公共施設として必要な設備機能を維持しながら建築（建設）工事におけるコスト、工法、工程の最適化、効率化を図るとともに、利用者の視点に立ったきめ細かな施設整備の充実と効果的な施設経営に努めて参ります。

令和７年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書ページ	79

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	06	企画費			
	事業	0102090	公共施設管理方針調整事業		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
101,000	45,500	0	55,500	45.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　指定管理者制度導入事務

（１）安曇野市公の施設指定管理者審査委員会の開催　　3 回

募集要項の確認、団体審査及びモニタリング評価の報告を実施しました。

（２）指定管理者制度導入施設数

公募 34 施設　非公募 46 施設　計　80 施設

２　公共施設再配置計画の進捗管理

公共施設再配置計画10年計画については、市の政策との関連性や市民ニーズなども踏まえた上で、関係課へのヒアリングを実施し、譲渡若しくは廃止とした施設については、地元を含め利害関係者等への早期の説明と合意形成に向けた取り組みを指導しました。

向こう10年に譲渡若しくは廃止、改修を予定する施設及び建築後30年、60年の節目を迎える施設をまとめた「公共施設再配置計画10年計画（令和７年度版）」の更新・公表をしました。

上記の評価と課題等

指定管理者制度導入事務については、指定管理者の選定及びモニタリングを通じ、市民の利便性の向上に寄与できました。

公共施設の譲渡若しくは廃止を行っていくには、地域住民や関係者などの理解を得るために早い段階から丁寧な説明を行い、合意形成を図っていく必要があります。

令和７年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書ページ	81

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	06	企画費			
	事業	0102340	土地開発基金費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
468,000	467,013	0	987	99.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
415,449		土地開発基金利子	415,449		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

土地開発基金は、公用もしくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要のある土地を先行取得することにより、公共事業の円滑な執行を図ることを目的としています。
本年度の新たな土地の取得はありませんでした。

上記の評価と課題等

土地開発基金による公共用地の先行取得の必要性は薄れてきています。
今後も適正な管理運営に努めていきます。

令和７年度	
部	総務部
課	契約検査課
係等	検査係

決算書ページ	73

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102180	検査管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
266,000	122,390	0	143,610	46.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　検査関係

（１）　契約額が130万円以上の工事および100万円以上の業務委託と、80万円以上の物品購入を対象に実施しました。令和６年度の検査総数は508件でした。

年度末	種別	危機管理課	総務部	政策部	市民生活部	福祉部	保健医療部	農林部	商工観光スポーツ部	都市建設部	上下水道部	教育部	選挙管理委員会	農業委員会	総数（件）
令和６年度	部計	**15**	**161**	**14**	**23**	**15**	**13**	**29**	**14**	**83**	**81**	**58**	**2**	**0**	**508**
	工事	4	49	0	1	5	1	6	4	42	50	11	0	0	173
	業務	1	52	11	18	5	10	20	9	38	26	15	2	0	207
	物品	10	60	3	4	5	2	3	1	3	5	32	0	0	128
令和５年度	部計	13	168	20	9	4	12	37	16	123	85	54	2	1	544
	工事	3	61	0	2	0	0	12	6	68	47	6	0	0	205
	業務	1	59	15	7	1	11	22	9	48	30	10	2	1	216
	物品	9	48	5	0	3	1	3	1	7	8	38	0	0	123
令和４年度	部計	9	99	12	12	7	13	34	20	112	75	29	5	2	429
	工事	0	29	0	0	0	0	12	6	65	46	1	0	0	160
	業務	1	35	8	12	1	12	19	11	44	22	5	4	1	174
	物品	8	35	4	0	6	1	3	3	3	7	23	1	1	95

予算				総合計画		
	款	02	総務費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		基本方針	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102180	検査管理費		基本施策	市民の視点に立った行財政運営

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（２）　契約額300万円以上の88件の工事を対象に成績評定を実施しました。
評定点の平均は80.4点となりました。（企業会計分を除く）　（件）

	評定総数	平均点（点）	区分	44点以下（劣る）	45～59点（やや劣る）	60～71点（普通）	72～84点（良好）	85点以上（優良）
令和６年度	88	80.4		0	0	3	80	5
令和５年度	116	80.1		0	0	1	105	10
令和４年度	89	77.7		0	0	2	80	7

２　安曇野市技術審査会関係
市の技術系職員で組織する安曇野市技術審査会において、工事施工の適正化と施工技術の向上を図るため令和６年度優良建設工事表彰式を開催しました。また、技術系職員のスキルアップを図ることを目的に現場研修会（黒沢川調整池建設工事）を開催し、ICT建機を活用した建設工事現場見学会を催し理解を深めました。

（１）優良工事表彰の実施（85点以上）

工　事　名	施　工　者
令和４年度　債務負担行為 三郷西部認定こども園建設事業　建築主体工事	山共建設 株式会社
令和４年度　上川手認定こども園改修事業 大規模改修工事	株式会社 相模組　中信支店
令和４年度　債務負担行為 三郷西部認定こども園建設事業　電気設備工事	三協・協信特定建設工事共同企業体
令和４年度　都市構造再編集中支援事業 明科駅前広場整備工事（２工区）	横山建設　株式会社
令和５年度　三郷体育館　耐震補強工事	吉川・山共特定建設工事共同企業体
令和４年度 都市構造再編集中支援事業 明科駅前広場整備工事（１工区）	山﨑建設 株式会社
令和５年度　豊科保健センター大規模改修工事	株式会社　佐原建設
令和５年度　三郷東部認定こども園建設事業 造成工事	株式会社　山本組
令和５年度　合併特例債事業 市道豊科２級３号線ほか道路改良工事（１工区）	株式会社 振興建設
令和４年度債務負担行為 三郷西部認定こども園建設事業　機械設備工事	株式会社 中部水工

上記の評価と課題等

品質・出来栄えに劣る工事物件はなく、質の高い施設整備につながってきていると伺えます。
課題としては、年度末に集中してしまう業務完了・しゅん工検査について、時間の限られたなかでもあり、検査調書の作成が優先されるため、特にしゅん工検査後の工事成績評定に影響を及ぼすおそれもあることから、業務完了・しゅん工時期の平準化が求められます。

令和７年度	
部	総務部
課	契約検査課
係等	契約係

決算書ページ	77

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	05	財産管理費			
	事業	0102260	契約管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,114,000	4,356,502	0	757,498	85.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　契約締結状況について

(1) 建設工事等

契約件数は193件で、うち一般競争入札分147件、指名競争入札13件、随意契約33件でした。

年度	区分	土木工事	舗装工事	管工事	電気工事	建築工事	その他	契約数	合計
Ｒ６	一般会計	29件	14件	14件	7件	27件	47件	138件	193件
	企業会計	12件	7件	0件	0件	0件	36件	55件	
Ｒ５	一般会計	30件	21件	10件	6件	36件	38件	141件	193件
	企業会計	10件	7件	0件	1件	0件	34件	52件	
Ｒ４	一般会計	37件	22件	8件	7件	14件	30件	118件	165件
	企業会計	1件	4件	0件	0件	1件	41件	47件	

(2) 物品役務・コンサルタント業務等

契約件数は627件で、一般競争入札17件、指名競争入札215件、随意契約395件でした。

年度	区分	報償費	需用費	役務費	委託料	使用料	備品等	契約数	合計
Ｒ６	一般会計	0件	23件	12件	461件	41件	55件	592件	627件
	企業会計	0件	2件	0件	33件	0件	0件	35件	
Ｒ５	一般会計	0件	24件	17件	452件	40件	58件	591件	628件
	企業会計	0件	1件	0件	35件	0件	1件	37件	
Ｒ４	一般会計	1件	21件	36件	388件	24件	56件	526件	565件
	企業会計	0件	4件	0件	32件	1件	2件	39件	

2　使用料　　入札情報システム等使用料　　63,461円

上記の評価と課題等

令和６年４月より建設工事において、完全週休二日制の導入を進め、基本全ての案件に対し、発注者指定型による週休２日工事を執行しました。

また、令和６年10月より長野県との共同利用による入札参加資格審査システムの運用が開始となり、令和７・８・９年度の入札参加資格申請の受付をオンラインで行いました。従来まで県や市町村ごとに提出していた申請書類を共同受付窓口で一元化することで、事業者負担が軽減され、当初申請者数は前年比約1.3倍となり大幅に増加しました。

選挙管理委員会事務局

令和７年度	
部	選挙管理委員会事務局
課	選挙管理委員会事務局
係等	選挙管理委員会事務局

決算書ページ	93

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	選挙費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	選挙管理委員会費			
	事業	0102500	選挙管理委員会事務費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
17,219,000	16,642,309	0	576,691	96.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,985		在外選挙人名簿登録事務委託費	3,985		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

公平・公正な選挙執行のためには、正確な有権者把握が重要なため、選挙管理委員会を開催し、適正な選挙人名簿の調製を行いました。
また、各種選挙管理委員会連合会の総会や事務研究会などに出席し、県内各市との情報交換を行い、事務の改善に努めました。

（１）選挙管理委員　４名
（２）選挙管理委員会定例会　12　回開催
　　選挙管理委員会臨時会　２　回開催

上記の評価と課題等

各種選挙の執行に備え、公正・公平で正確な選挙事務を行うことができるよう日頃から準備を進めていたことで、突然の執行となった衆議院議員総選挙についても執行することができました。
選挙権は、国民が持つ一番基本的な権利であるので、誰もが投票しやすい投票環境について検討していく必要性があります。

令和７年度	
部	選挙管理委員会事務局
課	選挙管理委員会事務局
係等	選挙管理委員会事務局

決算書ページ	95

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	選挙費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	明るい選挙推進費			
	事業	0102510	明るい選挙推進事業		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
738,000	541,294	0	196,706	73.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市明るい選挙推進協議会の主催により、市内小中学校、高等学校に「明るい選挙推進ポスターコンクール」の作品を募集し、市審査会を経て県審査会へ出展しました。
県審査へ出展した45 作品に市の入賞作品４点を加えた49 作品を市役所ロビーに展示し、広く市民へ公開しました。

（１）明るい選挙推進協議会委員　８名
（２）明るい選挙推進ポスターコンクール応募状況　合計　７校 353点
（内訳：小学校　６校 250点、中学校　１校 103点）

また、中信四市統一の取り組みとして、市内在校の高校生への啓発を目的に啓発物品の配布を行いました。あわせて、選挙管理委員と学校長及び生徒代表との懇談を行い、主権者教育に関する意見交換を行いました。

（１）配 布 先 豊科高校・南安曇農業高校・穂高商業高校・明科高校
（２）啓発物品 選挙啓発チラシ、啓発物品（蛍光ペン）1,530 本
（３）決 算 額 181,764 円

市内の児童・生徒に実際の投票の雰囲気を体験してもらえるよう、希望する学校には、児童・生徒会選挙が行われる際に投票箱・記載台の貸し出しを行いました。

(1)貸出状況 小学校１校・中学校３校・高等学校３校

上記の評価と課題等

将来の有権者である児童、生徒にポスター制作に取り組んでもらうことで選挙に関心を持ってもらうだけでなく、明るい選挙実現の一助とすることができました。
本年度は、若年層の投票率向上の取り組みとして高校で生徒代表との懇談をはじめて実施し、率直な意見交換を行うことができましたが、主権者教育の一環として実施している出前講座については、実施することができませんでした。各高校に対してより一層の働きかけを行って行く必要があります。
また、主権者教育は、より若いうちから取り組むことで効果が高まると言われておりますので、小中学校での実施に向けた取り組みも必要となってきます。

令和７年度	
部	選挙管理委員会事務局
課	選挙管理委員会事務局
係等	選挙管理委員会事務局

決算書ページ	95

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	選挙費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	04	衆議院議員選挙費			
	事業	0102550	衆議院議員選挙費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
45,881,000	45,874,611	0	6,389	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
45,650,719		衆議院議員選挙委託金	45,650,719		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行管理を行いました。

公示日	令和６　年10　月15　日
期日前投票期間	令和６　年10　月16　日～令和６　年10　月26　日まで（11　日間）
投開票日	令和６　年10　月27　日
当日有権者数※	男39,010　人　女41,943　人　計80,953　人
投票者数※	男23,015　人　女23,745　人　計46,760　人
投票率※	男59.00％　女56.61％　計57.76％

※小選挙区

上記の評価と課題等

選挙人名簿の調製、入場券の発送、公営ポスター掲示場の設置、投開票所の設置などを着実に実施し、適切に選挙を執行することができました。

また、投開票管理者・職務代理者・立会人などを担っていただいた地域の皆様、そして投開票事務に携わっていただいた多くの職員の協力により、適正な選挙を執行することができました。

ただ、二重交付と思われる事案が発生してしまいましたので、そのようなミスが発生しにくい投票所の運営について、検討を進めてまいります。

監査委員事務局

令和７年度	
部	監査委員事務局
課	監査委員事務局
係等	監査委員事務局

決算書ページ	97

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	06	監査委員費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	監査委員費			
	事業	0102640	監査委員事務費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
27,054,000	25,081,443	0	1,972,557	92.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
30,000		監査委員事務局雑入	30,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

監査等の実施状況は次のとおりです。

１　例月出納検査
　地方自治法第235条の２第１項の規定による例月出納検査を実施（年12回）

２　決算審査及び基金運用状況審査
　地方自治法第233条第２項及び同法第241条第５項並びに地方公営企業法第30条第２項の規定による決算審査及び基金の運用状況審査を実施（令和６年６月17日～８月６日）

３　地方公共団体財政健全化判断比率等審査
　地方公共団体の財政の健全化に関する法律第３条第１項の規定による健全化判断比率審査を実施（令和６年７月31日～８月６日）、同法第22条第１項の規定による資金不足比率審査を実施（令和６年６月17日～８月６日）

４　定期監査
　地方自治法第199条第１項及び第４項の規定による実地監査及び定期監査を実施
　（令和６年10月15日～令和７年１月14日）
　実地監査：豊科公民館及び明科北認定こども園

５　財政援助団体等監査
　地方自治法第199条第７項の規定による財政援助団体等監査の対象となる団体について実施
　（令和７年１月17日～令和７年３月13日）
　監査対象団体：株式会社ファインビュー室山及び株式会社ほりでーゆー

上記の評価と課題等

監査計画に基づき各種監査等を実施し、その結果の報告・公表を行い、市の事務等の改善に寄与しました。

今後も都市監査委員会等で開催する研修会に参加し、有効的な監査等の実施に努めます。

公平委員会事務局

令和７年度	
部	公平委員会事務局
課	公平委員会事務局
係等	公平委員会事務局

決算書ページ	99

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	07	公平委員会費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	公平委員会費			
	事業	0102650	公平委員会事務費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
522,000	320,208	0	201,792	61.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　公平委員会委員　　３人

２　公平委員会事務局　２人（議会事務局併任）

３　共同設置する団体　５団体（安曇野市、穂高広域施設組合、安曇野松筑広域環境施設組合、
　　安曇野・松本行政事務組合、安曇野市・松本市山林組合）

４　公平委員会の活動状況
（１）公平委員会　　１回開催　［報酬：28,500円］
（２）勤務条件に関する措置の要求の状況　　なし
（３）不利益処分に関する審査請求の状況　　なし
（４）職員からの苦情の処理の状況　　なし
（５）研修会等への参加　［費用弁償・旅費：133,980円　負担金：26,900円］
　ア　長野県公平委員会連合会総会・研究会
　　（令和６年５月22日　松本市、委員１人・事務局１人）
　イ　全国公平委員会連合本部研究会
　　（令和６年７月29日・30日　東京都、委員２人・事務局１人）
　ウ　全国公平委員会連合会北信越支部総会・研究会
　　（令和６年10月３日・４日　岡谷市、委員２人・事務局１人）
５　地方公務員法第53条に基づく職員団体の登録数　２団体
　（安曇野市教職員組合、安曇野市職員労働組合）

上記の評価と課題等

勤務条件に関する措置の要求、不利益処分に関する審査請求及び職員からの苦情の処理は、ありませんでした。

各研究会に参加し、各種制度内容や現在の行政課題、公平審査業務の状況などが確認できました。

今後も公平かつ適切な判断による対応に努めるよう、各種研究会等にも参加しながら取り組んでいきます。

会計課

令和７年度	
部	会計管理者
課	会計課
係等	出納係

決算書ページ	75

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	04	会計管理費			
	事業	0102240	会計管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
26,087,000	24,760,012	0	1,326,988	94.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,303,630		財務会計処理実費徴収	1,300,000		
		会計雑入	3,630		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

① 資金の保管及び運用
歳計現金、歳入歳出外現金は、ペイオフ対策として指定金融機関等の決済用預金（無利息普通預金）で保管し、比較的余裕のある際に一部を短期定期預金により運用しました。
基金は、資金運用方針に基づき、全体を定期預金（105億円）と債券（57.6億円）にて運用し、運用収益（45,102千円）は、各基金へ配分しました。また債券は地方債など、13億円購入しました。
歳計現金が不足した4月1日から5月31日まで20億円、10月15日から3月27日まで15億円、2月13日から3月31日まで30億円を、財政調整基金から繰替え運用しました。
各庁舎や施設では、窓口等の収納用につり銭用現金（43箇所・1,585千円）を保管しました。
11月に保管場所22か所の抜き打ちつり銭検査を実施しました。いずれの場所においても、「安曇野市公金等現金取扱（窓口収納）マニュアル」に沿った取り扱いを確認しました。
② 審査・出納事務
法令及び財務会計の手引き内容等に準じて収入支出の審査確認・出納事務を実施、出納閉鎖後には、決算書の調製を行いました。また、4月・10月には新規採用職員研修会、7月に延べ３回の予算事務担当者及び担当係長を対象に会計事務講習会(参加者延べ183名)を開催し、適法かつ適正な支払い事務及び収入事務となるよう周知を行いました。
また、令和４年度から導入を行った公共料金明細通知サービスにより、全庁的な公共料金支払伝票の起票事務について拡充を図りました。
③ 備品台帳、指定物品管理事務
備品の購入や所管換え、廃棄など、備品台帳の確認を行い備品システムのデータ更新を行いました。
指定物品の市共通使用封筒等を一括印刷発注し、払い出しを行いました。
④ 指定金融機関等の検査
2月に、地方自治法施行令第168条の4の規定に基づき、指定金融機関及び指定代理金融機関の検査を行い、いずれも適正に処理されていることを監査委員に報告しました。

上記の評価と課題等

適正かつ効率的な会計事務の処理となるよう、担当への指導や講習会などを行い、適正な公金の管理・運用・執行ができました。
今後も講習会等を行い、職員の意識、能力の維持向上を図り、適正な会計事務に努めます。
公共料金明細通知サービスの利用拡充により、全庁的な伝票起票事務の負担軽減を進めます。
つり銭用現金等の管理については、毎年検査を行い、適正な公金等現金の取扱いになるよう指導していきます。

政策部

令和７年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	企画担当

決算書ページ	79

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	06	企画費			
	事業	0102320	企画総務費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
50,403,000	46,635,377	0	3,767,623	92.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
10,880,160		土地利用規制対策交付金	17,000	安曇野ナンバー導入経費負担金	29,000
		元気づくり支援金	1,576,000	地域おこし協力隊員用住居借上料（隊員自己負担分）	24,000
		指定寄附金	510,000	文書館刊行物等頒布代	2,668,160
		ふるさと寄附金	2,356,000	過疎対策推進事業（過疎債）	2,600,000
		企業版ふるさと納税	1,100,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　実施計画（2025(令和７)年度-2027(令和９)年度）の策定

実施計画は、直近の行政評価の結果や各種個別計画の進捗、社会経済情勢等を踏まえた上で、令和５年度からスタートした第２次安曇野市総合計画・後期基本計画の目標達成に向けて、３か年を計画期間として策定をしました。また、実施計画事業の策定にあたっては、以下の３点（①～③）を基本的な考え方としました。

①第２次安曇野市総合計画・後期基本計画で示す５つの「価値創出プロジェクト」を実施する事業
（※価値創出プロジェクト…安曇野市の価値を創出すべく、重点的・施策横断的に実施する事業）

【５つの価値創出プロジェクト】
- ○誰もが活躍する共生のまち
- ○選ばれ続けるまち 安曇野
- ○AZUMINOブランドの発信
- ○文化・芸術中核都市の実現
- ○アウトドア・スポーツの聖地

②施策の主体となる事業…施策を代表する事業及び、施策に対し、重点的に取組みを実施する事業
③施設を新設、改築、用途変更、廃止するハード事業　※対象は総額5,000万円以上

2　行政評価の実施

行政評価は、事務事業評価、施策評価、政策評価に加え、市民意識調査により総合的に点検するとともに、総合計画審議会において進捗評価を実施しました。

行政評価の結果については、議会へ情報提供したほか市ホームページに公表するとともに、実施計画策定にあたっての基礎資料としました。

なお、令和５年度からは総合戦略を総合計画に統合したことから、本評価は総合戦略の効果検証を兼ねるものとなります。

3　広域行政

(1) 第42回中信四市市長懇談会（実施日…令和７年２月13日(木)／場所：松本市立博物館１階講堂）
(2) 松本広域連合総務費負担金

予算				総合計画		
	款	02	総務費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		基本方針	みんなでともにつくるまち
	目	06	企画費			
	事業	0102320	企画総務費		基本施策	市民の視点に立った行財政運営

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　小説『安曇野』による地域振興

安曇野の名を全国に広めるきっかけとなった小説「安曇野」を通じて、安曇野市の魅力発信や知名度向上に向けた取り組みを実施しています。令和６年度は小説の復刊に取組み、この話題は度々全国紙でも取り上げられ、安曇野の名を改めて全国へ広げる機会とすることができました。

●復刊部数
市内の図書館や学校等への配本・寄贈分400部／販売分700部　　計1,100部
※販売分については、３月２日の発売開始から約３ヶ月で完売
※復刊本の配本・寄贈にあたっては、元気づくり支援金を活用。

●クラウドファンディングの実施
計201の個人・団体・企業の皆様から、総額2,966,000円の寄付をいただき復刊費用に活用

●復刊本の完成を祝う「小説『安曇野』復刊本　お披露目会・販売会」の開催
開催日…令和７年３月２日（日）／　場所…堀金総合体育館サブアリーナ
講師……文芸評論家　斎藤美奈子 氏　（演題：　小説『安曇野』のここがスゴい！）

５　過疎対策

明科地域の活性化を任務とする地域おこし協力隊を、令和６年１月の１名に続き令和６年４月から追加で１名、計２名任命し、明科地域の活性化や賑わいづくりに向け活動しました。
※東部アウトドア拠点関連の取組みについては、令和６年度から事業を別事業として分離。
「東部アウトドア拠点整備事業」のページを参照のこと。

６　安曇野ナンバー推進事業

安曇野ナンバーについては、安曇野市、池田町、松川村、生坂村の４市町村で、導入に向け準備を進めてきました。

図柄のデザインについては、令和５年12月に国へ申請し、令和７年１月に決定されました。

令和６年度中は、令和７年５月７日からの安曇野ナンバー交付開始に向け、チラシやポスターの作成や広報紙への掲載を通じ、住民に制度の周知を図りました。

７　その他地域振興

(1) 電源立地地域交付金（歳入）　　決算額10,896,000円(充当先：認定こども園管理費)
(2) 市町村振興協会交付金（歳入）
　①基金交付金（サマージャンボ）　　決算額12,246,392円(充当先：図書館費)
　②市町村交付金（ハロウィンジャンボ）　　決算額14,726,721円(充当先：図書館費)
(3) あづみ野テレビ株式会社出資配当金(歳入)　　決算額512,500円(一般財源)

上記の評価と課題等

総合計画後期基本計画は、令和７年度は計画の折返し地点となることから、令和６年度で策定した令和７～９年度の実施計画に基づき各種事業を実施するとともに、次期計画を見据えた事業運営の在り方も検討が必要です。

小説『安曇野』の復刊は全国各地から反響があり、安曇野のＰＲにつなげることができました。一方で、若年層への認知度はいまだ低いため、令和７年度は市内小中学生向けの解説動画を作成し周知に取組みます。

安曇野ナンバーについては、無事交付決定に漕ぎつけることができました。今後は、ナンバー導入の効果をさらに広げるための普及啓発を行っていきます。

令和７年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	企画担当

決算書ページ	81

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	06	企画費			
	事業	0102330	公共交通事業		施策	持続可能な公共交通の形成

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
173,182,000	172,766,610	0	415,390	99.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
17,815,000		デジ田交付金（地方創生推進タイプ）	17,815,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　公共交通事業

(１)デマンド交通「あづみん・のるーと安曇野」、コミュニティバス（市定時定路線バス）の運行

ア　デマンド交通「あづみん・のるーと安曇野」

「あづみん・のるーと安曇野」は平成19年９月から運行を開始しました。輸送人数確保及び運行効率向上のため１乗車の移動範囲に制限はあるものの、自宅から目的地までドアツードアでの送迎が可能で、バス停等まで徒歩で長距離を移動する必要がありません。主に高齢者の通院や買い物、障がい者の通所などを目的として多く利用をいただいています。

年末年始（12/29～1/3）を除く通年運行しており、計16台の車両が市内全域（山間地等を除く）を網羅し、交通空白を作らないよう稼働しています。運行は市内タクシー事業者、予約等運行管理は市社会福祉協議会に委託をしています。

＊令和６年度　運行実績等
・利用者延べ人数98,047人（１日平均273人）　前年比13.5%増
・デマンド交通運行市負担金　130,175,954円

○デマンド交通の充実に向けた取組み
・土日祝日の通年運行（令和６年３月30日（土）～）
・キャッシュレス決済の導入準備（サービス開始は令和７年度から）
・経路検索アプリ「乗換案内」（株式会社ジョルダン提供）との連携

イ　コミュニティバス（市定時定路線バス）

朝夕の通勤通学時間帯に、デマンド交通車両等を活用して定時定路線型のバスを運行しています。運行区間は、穂高明科路線、豊科田沢路線の２路線、主な利用者は市内の高校に通う学生になります。

デマンド交通と同様、運行は市内タクシー事業者に委託しています。

＊令和６年度　運行実績等
・利用者延べ人数21,332人（１日平均88人）　前年比33.0%増　※過去最多
・定時定路線運行市負担金　10,757,450円

予算				総合計画		
	款	02	総務費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		基本方針	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	06	企画費			
	事業	0102330	公共交通事業		基本施策	持続可能な公共交通の形成

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（２）市地域公共交通協議会の会議等

ア　定例総会

年２回の総会を開催し、前年度決算報告や次年度事業計画、デマンド運行の国庫補助金申請にかかる計画の審議、コミュニティバスやあずみ野エンジョイバス、中房線など、市内運行路線の時刻表等について協議・決定を行いました。

イ　市地域公共交通計画の推進

・市内高校生及びJR東日本長野支社と連携し、鉄道利用促進啓発を実施
・新たな山岳用バス路線（三股線）の検討
・来訪者向けの公共交通案内の作成

ウ　負担金

安曇野市地域公共交通協議会への負担金額　　157,589,024円
（内、デマンド交通等運行費用 141,016,700円　協議会会議費等 16,572,324円）

２　篠ノ井線松本地域活性化協議会

安曇野市は本協議会の事務局を務めています。令和６年度は、５月21日に定期総会を開催し、令和５年度事業報告及び収支決算報告、令和６年度の事業計画案及び収支予算案を承認頂きました。

利用促進事業として、９月１日から令和７年１月31日までの間、松本駅をスタート地点とする地域回遊イベント「信州ぶらりなぞ巡り」を開催しました。参加に必要となる謎解きガイドブックを4,000部用意し、駅や自治体窓口に配布して実施しました。年末にはすべてのガイドブックがなくなるほど好評でした。なお、本事業は長野県地域発元気づくり支援金を活用して実施しました。

上記の評価と課題等

デマンド交通については、土日祝日の通年運行の開始に伴い利用者が増加しました。平日の利用者数は令和５年度とほぼ同値であり、土日祝日の移動ニーズに対して必要な移動手段を提供することができました。また、キャッシュレス決済や経路検索アプリとの連携に向けた準備を行い、既存利用者だけでなく新たな利用者を獲得するための環境整備を行いました。持続可能な地域公共交通を継続して確保するため、引き続き事業改善を行います。

一方で、デマンド交通への需要超過の状態が続いており、エリア及び時間帯によっては予約が取りづらい状況です。適正な車両配置や運営方法について、地元タクシー事業者や社会福祉協議会、予約管理システム提供ベンダーとも継続的な検討を行い、改善に努めます。

令和７年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	企画担当

決算書ページ	87

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	11	諸費			
	事業	0102430	国内友好交流事業		施策	交流活動の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
7,181,000	5,312,871	0	1,868,129	74.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,025,000		交流事業参加負担金	1,025,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国内７つの友好(交流)都市と行った令和６年度の交流事業は、以下のとおりです。

１　江戸川区

（１）　安曇野市・江戸川区友好都市盟約50周年関係
・ホテルシーサイド江戸川にて記念式典。
市長、議長、教育長、各会派長及び随行職員が出席　（８月25日）
・20～30代を対象に、穂高荘　燕岳登山ツアーを開催。
合計25人（江戸川区18人、安曇野市７人）が参加。（９月５～７日）

（２）　第47回江戸川区民まつりへ政策部長が代理出席（10月13日）

（３）　江戸川総合人生大学20期生と安曇野市の市民活動団体との交流(11月12日)
・人生大学の北野大学長含む65名が来訪
・安曇野市からは、安曇野案内人倶楽部・あづみの国際化ネットワーク・あづみ野風土舎の３団体が参加

（４）　安曇野市・江戸川区　交流囲碁対局(２月23～24日)
・江戸川区から31名、安曇野市から39名の計70名が参加し、対局を通じて交流

２　三郷市・三郷町

（１）　第38回三郷・安曇野友好都市交流推進協議会（５月29～30日、三郷町）

（２）　三郷・安曇野住民ふれあい事業（11月30～12月１日）
・対象…子育て関係団体
・参加…以下42名が参加
三 郷 市：つどいの広場いちごサロン／民生児童委員18名、事務局２名
三 郷 町：親子広場さんごう／民生児童委員10名、事務局２名
安曇野市:こちょこちょの会／ぱおぱお８名･、事務局２名

（３）　三郷・安曇野友好都市交流推進協議会事務担当者会議（12月19～20日、三郷町）

３　武蔵野市

（１）武蔵野市交流市町村協議会（職員研修会）（７月17～19日、新潟県長岡市）

（２）第45回あづみ野祭りにおける関係者受入（７月27日）
武蔵野市の市長、市議会正副議長、事務局２名が来訪し、安曇野市関係者と意見交換会

（３）第33回武蔵野桜まつりに副市長、市議会議長が出席（３月30日）

予算				総合計画		
	款	02	総務費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		基本方針	みんなでともにつくるまち
	目	11	諸費			
	事業	0102430	国内友好交流事業		基本施策	交流活動の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　真鶴町

（１）真鶴よさこい大漁フェスティバル2024に市長が来賓出席（11月９日）

５　東金市

以下の行事に市長、市議会議長が来賓として出席。行事前日には、東金市関係者との意見交換会がありました。

（１）東金市市制施行70周年記念式典（11月16～17日）

（２）2025東金・九十九里波乗りハーフマラソン（２月22～23日）

６　福岡市東区

（１）福岡市東区との市民交流事業　（第63回博多どんたく港まつり参加）（５月３～５日）
公募市民20名および市長、議長などの市関係者６名の計26名が参加。

（２）東区自治組織会長会の視察受入（９月27～28日）
東区の自治組織会長会15名ほか東区役所職員４人が視察で来訪。市区長会と空き家対策や区長会組織について意見交換会を行いました。

７　その他

（１）友好都市関連協議会へ負担金を支出
① 武蔵野市交流市町村協議会　100,000円
② 三郷・安曇野友好都市交流推進協議会　250,000円

（２）安曇野市開催イベントへの参加
①「信州安曇野ハーフマラソン」への参加
・東金市から鹿間陸郎市長、伊藤博幸議長が来賓として参加したほか、東金市職員と共に給水ボランティアに従事
・真鶴町の小林伸行町長が来賓として参加したほか、ハーフマラソンに出場し完走
・江戸川区からが文化共育部長が来賓出席

（３）市民団体による活動
次の市民団体主催の交流事業に補助金を交付しました。
①武蔵野市とのサッカー交流（８月３日、67名招待）（交付額：67,000円）
②江戸川区とのサッカー交流（１月11、12日、40名訪問）（交付額：80,000円）

（４）物販及び青少年交流
上記のほか、各友好都市での物産販売（農政課所管）、青少年交流（子ども家庭支援課所管）は各所管が担当しました。

上記の評価と課題等

Ｒ６年度は、恒例事業に加え若年層を対象とした事業や視察の受入れなど交流の幅を広げることができました。特に江戸川区との共催で開催した「穂高荘　燕岳登山ツアー」では、参加者同士が現在もＳＮＳで繋がり自主的に交流を継続するなど、広がりのある交流活動とすることができました。

趣味や余暇の過ごし方の多様化により、若年層の交流事業参加が少ない傾向にあります。互いの地域への関心を高め双方の地域活性化につながる交流を継続するために、幅広い世代・分野の皆様に関わってもらえるよう工夫しながら、今後も交流事業を展開していきます。

令和７年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	企画担当

決算書ページ	87

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	11	諸費			
	事業	0102440	国際友好交流事業		施策	交流活動の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
21,084,000	10,801,983	9,762,000	520,017	51.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,074,193		青少年交流事業支援基金利子	13,441		
		国際交流基金利子	32,752		
		国際交流基金繰入金	228,000		
		交流事業参加負担金	800,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　姉妹都市・クラムザッハへの青少年派遣事業

実施日：３月11日（火）～22日（土）の12日間
訪日者：市内在住の16～17歳の青少年８名（男子２名、女子６名）、市職員２名が同行
行　程：３月11日　　羽田前泊
　　３月12～18日　クラムザッハ滞在
　　３月19～21日　ザルツブルグ～ウィーン
　　３月22日　　帰国
概　要：安曇野市発足以降、クラムザッハへの青少年派遣は、平成24年３月以来２回目。
　　クラムザッハでは、派遣者は４軒の家庭に２人ずつ分かれてホームステイ。
　　滞在中は、ガラス専門学校や青少年センターを訪問したほか、近隣の街を見学するなど、オーストリアの文化に触れながら現地の皆様と交流しました。
　　また、派遣者がInstagramのアカウント「azukram」を開設し、派遣事業の取り組みやクラムザッハの魅力を発信しました。
　　※本事業は繰越明許費を設定し、令和７年度に入ってから委託料を支出。
　　※令和６年度は、旅行保険、国内バス運行委託料、職員特別旅費を支出。

２ 市内国際交流団体への補助事業

補助団体：安曇野・クラムザッハ友好会　（補助金額：228,698円）
　同友好会では、姉妹都市のオーストリア共和国クラムザッハと交流や同国の文化等について市民へＰＲするため、令和６年10月19日（土）に「第６回安曇野クラムザッハ友好市民コンサート」を市と共催で開催しました。

３ 青少年交流事業支援基金への積立て

クラムザッハとの若者世代による交流を推進するための資金として、本基金を積み増ししました。（積立額：10,000,000円）

上記の評価と課題等

　クラムザッハとの交流については、令和５年度の相互訪問の際にクラムザッハと安曇野市の双方で若者世代への交流活動の継承が課題との認識を確認し、事業の実施に至った経過があります。派遣者は今回の派遣を通じてクラムザッハの魅力に触れることで、市民にも交流の取組みを知ってもらいたい、今後も事業に協力したいなど意欲を持ってくれました。今回の派遣で、30年余り続くクラムザッハとの交流を次世代に受け継ぐ一歩を進めることができました。

令和７年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	統計係

決算書ページ	95

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	統計調査費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	統計調査総務費			
	事業	0102570	統計調査総務費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
127,000	65,589	0	61,411	51.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
35,300		統計調査員確保対策事業委託金	35,300		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 各種施策に利活用することを目的として、また、児童・生徒等の情報教育に役立ち市民に身近な資料とするため、統計図表（グラフやイラスト図を掲載）と統計資料の２部構成にて「2024 安曇野市の統計」の冊子印刷及びホームページの掲載を行いました。また、長野県の統計書等に倣い、最新年次の資料を掲載するように努め、年次推移は最近５か年、あるいは特定年次を列記しました。
- 国が行う統計調査の実施にあたり、調査員・指導員の推薦を行うとともに、調査を円滑に実施するための登録調査員(56名)への登録意向確認及び、次年度の予定等を周知しました。
- 2025年度に実施される国勢調査等に向け、多くの調査員を確保するため広報・ホームページによる周知及び、各支所窓口・ながの電子申請による募集を行い、７名の応募・登録がありました。

(1) 安曇野市の統計

「2024 安曇野市の統計」を作成し、市ホームページ等で公表するとともに冊子版を印刷し、市内図書館、文書館、小中学校、議会等へ配布しました。

(2) 調査員の確保対策

ア　登録調査員台帳の整備等

イ　統計情報研究開発センター発行冊子「統計調査員のしおり」の送付(56名)

ウ　令和６年度末現在の登録者(56名)

※令和５年度末(52名)から登録取消(３名)、新規登録(７名)

※県の登録基準は46名（経済センサス－基礎調査区数：92調査区の1/2)

上記の評価と課題等

- 登録調査員の確保は、市広報等による公募及び調査経験者への登録意向確認により「県登録基準の46名」を超える状況です。
- 令和６～７年度にかけて農林業センサス・国勢調査の実施年のため、調査員・指導員の確保手段の見直しをすすめました。令和６年度は前回調査従事者への再依頼、農林業関係者（市農業委員・農地利用最適化推進委員）への従事依頼、調査対象区長への調査員推薦依頼を行いました。令和７年度は前回調査従事者への再依頼及び、市職員への調査員・指導員協力依頼を実施し、不足する調査員の確保に努め、今後も各調査の特性に応じた従事依頼をすすめます。

令和７年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	統計係

決算書ページ	95

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	統計調査費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	基幹統計費			
	事業	0102580	学校基本調査費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
18,000	17,543	0	457	97.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
17,376		学校基本調査委託金	17,376		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

・ 学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に、令和６年５月１日を調査基準日として実施しました。

(1) 所管省庁　文部科学省
(2) 調査周期　毎年
(3) 調査対象　市内の小学校(10校)、中学校(７校)、幼稚園(１園)、幼保連携認定こども園(１園)、安曇野市教育委員会
(4) 調査方法　教育委員会を通じて調査協力依頼及び関係書類を配布（調査は全てオンライン回答）
(5) 調査基準日　令和６年５月１日現在
※不就学学齢児童生徒調査については前年度１年間
(6) 調査内容　学校数、在学者数、教職員数、学校施設、卒業後の進路状況等

上記の評価と課題等

・ 統計法及び施行令第４条に基づく法定受託事務により調査を実施し、結果について報告しました。
・ 調査結果は学校教育全般にわたる諸施策策定上の基礎資料として活用されます。また、地方交付税の算定の基礎としても利用されます。

令和７年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	統計係

決算書ページ	97

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	統計調査費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	基幹統計費			
	事業	0102600	農林業センサス		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
9,934,000	9,185,659	0	748,341	92.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
9,185,659		農林業センサス委託金	9,185,659		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 2025年農林業センサスは、我が国の農林業・農山村の実態を明らかにし、農林業行政に関する諸施策及び、農林業の推進に必要な資料を得ることなどを目的として実施します。
- 調査の事前準備として調査周知広報、指導員・調査員の県推薦事務、調査客体等配布資料の準備、調査員説明会の開催を行いました。
- 調査の実施にあたり、指導員・調査員・調査客体からの問合せ対応、回収された調査票の点検審査・県提出を行いました。

(1) 所管省庁　農林水産省
(2) 調査周期　５年周期
(3) 調査対象　農林業経営体（農林産物の生産を行うか又は委託を受けて農林業作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭羽数が一定規模以上の「農林業生産活動を行う者」。）を調査します。
(4) 調査方法　調査員（219名）が実地に巡回し、担当調査区（１名あたり平均２調査区）に居住する農業を担う者等から経営状況を確認し、調査票を配布・回収します。また、指導員（11名）による調査準備、回収した調査票の点検作業等を行いました。
(5) 調査基準日　令和７年２月１日現在
(6) 調査内容　【農林業経営体調査】
経営の様態、世帯状況、農業労働力、耕地、農業生産の概況、農作業の受委託、農産物の販売、農業経営の特徴、山林・林業作業、林業労働力、素材生産、林産物の販売、林業作業の受託　等

上記の評価と課題等

- 統計法及び施行令第４条に基づく法定受託事務により調査を実施し、結果について報告しました。
- 農林業センサスの結果は、食料・農業・農村基本法に基づく計画策定の際の基礎資料、地方交付税法に基づく普通交付税算定の際の、農業・林野行政費の算出根拠として活用されます。調査精度の確保のため、前回調査経験者及び農業委員等に依頼し、順調に調査を終了することができました。

令和７年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	統計係

決算書ページ	97

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	統計調査費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	基幹統計費			
	事業	0102620	全国家計構造調査費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,169,000	1,047,896	0	121,104	89.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,047,896		全国家計構造調査委託金	1,047,896		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 令和６年全国家計構造調査は、家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにすることを目的として実施しています。
- 調査の事前準備として調査周知広報、指導員１名・調査員４名の県推薦事務、調査客体等配布資料の準備、調査員説明会の開催を行いました。
- 調査の実施にあたり、指導員・調査員・調査客体からの問合せ対応、回収された調査票の審査・提出を行いました。

(1) 所管省庁　　総務省

(2) 調査周期　　５年周期

(3) 調査対象　　安曇野市内より４調査区（令和２年国勢調査区を利用し、穂高・堀金地域より各２調査区）抽出し、更に１調査区あたり12世帯を対象世帯として抽出、調査を実施します。

(4) 調査方法　　調査員を通じて、調査協力依頼及び関係書類を配布(調査回答方法はオンライン、郵送回答及び調査員回収)します。

(5) 調査内容　　①【基本調査】は、令和6年9月～11月の3ヶ月間、『世帯票』『家計簿（10・11月分）』『年収・貯蓄調査票』等の記入を依頼、回収する調査です。

②【簡易調査】は、令和6年10月～11月の2ヶ月間、『世帯票』『年収・貯蓄調査票』等の記入を依頼、回収する調査です。

①②回答内容は、日々の家計の収入と支出、預貯金等の金融資産、借入金、世帯構成、世帯員の就業・就学状況、現住居、年間収入の状況などです。

上記の評価と課題等

- 統計法及び施行令第４条に基づく法定受託事務により調査を実施し、結果について報告しました。
- 全国家計構造調査の結果は、年金や介護等の社会保障制度の在り方やその水準を検討するための資料として、また、生活扶助基準の見直しの基礎資料として利用されます。また、国民経済計算や県民経済計算の推計、消費者物価指数の作成に利用されます。

令和７年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	統計係

決算書ページ	97

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	統計調査費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	基幹統計費			
	事業	0102700	国勢調査費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
497,000	460,133	0	36,867	92.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
459,155		国勢調査調査区設定委託金	459,155		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

・ 令和７年国勢調査は、国内の人口及び世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的として実施します。

・ 令和７年度調査にあたり、事前準備として対象となる調査区の確認・修正を行い、調査区の設定のほか、調査区情報の収集等を行いました。

また、市担当職員の調査準備説明会参加、調査資料の準備、調査員・指導員の県推薦事務等の準備を行いました。

(1) 所管省庁　　総務省
(2) 調査周期　　５年周期
(3) 事業内容

①令和６年度は、令和７年10月１日基準日で行われる本調査に先立ち、市町村担当者打合せ会への出席、令和２年国勢調査区を基準に、宅地造成等による世帯数の増加、過疎地域の人口減、社会施設等の新設の確認など、調査区の設定修正を行い、県へ報告しました。

②調査員・指導員の県推薦準備（調査員確保のため、前回調査従事者への再依頼）を行いました。

上記の評価と課題等

・ 統計法及び施行令第４条に基づく法定受託事務により調査を実施し、結果について報告しました。

・ 国勢調査の結果は、衆議院の小選挙区の画定、地方交付税の交付額の配分、都市計画の策定、過疎地域の要件などに利用されます。また、我が国の少子高齢化の将来予測、地域の人口の将来見通し、住みよい街づくりのための計画策定、防災計画策定などに利用されます。

・ 前年度より調査員の確保に努め、前回（R２）調査経験者及びR６農林業センサス従事者等に協力依頼を行い、調査員定数の約半数を確保しました。

令和７年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	企画担当

決算書ページ	245

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	06	保健体育費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	保健体育施設費			
	事業	0110459	東部アウトドア拠点整備事業		施策	アウトドア・スポーツを核としたまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
21,184,000	18,160,989	0	3,023,011	85.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
12,727,000		過疎対策推進事業（過疎債）	12,300,000		
		企業版ふるさと納税	400,000		
		交流事業参加負担金	27,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　東部アウトドア拠点整備事業（ハード事業）

過疎指定を受けた明科地域を、アウトドアを通じて活性化を図るため、令和６年３月に策定した「安曇野市東部アウトドア拠点整備基本構想」に基づき、整備に係る設計業務を発注しました。また、事業実施に合わせて国土交通省の「かわまちづくり支援制度」への申請を行い、８月に登録認定を受けました。

（１）委託料

ア　前川カヌーコース関係機関・資料作成業務委託　495,000 円

イ　ＵＡＶ地形測量業務委託　5,390,000 円

※債務負担行為設定による、前川カヌーコース整備実施設計及び公園・施設の基本設計業務に着手。

2　東部アウトドア拠点整備事業（ソフト事業）

拠点完成に向け、住民の機運醸成のためのイベント等を開催しました。また、拠点の運営、拠点を中心に地域と連携した取り組みを進めていく体制の整備を行いました。

（１）委託料

ア　イベント等運営支援業務ほか　2,346,103 円

あやめまつりウォーキングツアー　／　ＬＮＴレベル１インストラクター養成講座

家族連れを対象とした体験イベント「アウトドアミーティング」

イ　基本構想推進支援業務　4,799,300 円

基本構想に基づき想定される拠点の在り方や、地域との連携した賑わい創出のモデル事業、拠点の管理運営方法等を検討

3　東部アウトドア拠点整備基本構想・犀川×前川かわまちづくり推進協議会の開催

国・県(千曲川河川事務所、安曇野建設事務所)ほか識見者や地域団体代表者ら23名による協議会を４回開催。かわまちづくり支援制度への登録や拠点整備の進捗状況について情報共有しました。

【協議会の開催】　①６月６日　②７月29日　③８月21日　④12月18日

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	06	保健体育費		基本方針	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	保健体育施設費			
	事業	0110459	東部アウトドア拠点整備事業		基本施策	アウトドア・スポーツを核としたまちづくり

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　「かわまちづくり」支援制度への登録

東部アウトドア拠点整備基本構想に基づき「安曇野市犀川×前川かわまちづくり計画」を策定し、同制度への登録を申請。令和６年８月８日付けで登録され、９月４日に安曇野市役所で登録証伝達式を行いました。

５　外部人材の招聘

東部アウトドア拠点の内容や運営等の検討にあたり、次の２名を外部人材として招聘、依頼しました。

① 地域活性化企業人　…　(株)協栄　　吉田　拓　氏

派遣元は、2021年の東京五輪カヌー競技会場であり日本で唯一の人工カヌーコースを有する「葛西スラロームセンター」の指定管理者である(株)協栄。同社の知見を活かし、施設の管理体制や運営手法等の検討に携わっていただいています。

② ウォータースポーツ関連アドバイザー　…　安藤　太郎　氏(シドニー五輪カヌー日本代表)

前川カヌーコースの監修や、水辺の魅力を活かした賑わい創出に関するアドバイザーとして携わっていただいています。

上記の評価と課題等

令和６年度は、令和６年３月に策定した「市東部アウトドア拠点整備基本構想」に基づき、整備内容の具体的な検討に入りました。

前川カヌーコースについては、国県との調整を進め整備の方向性を決めることができました。令和７年度には実施設計を固め工事の発注を行う予定です。

拠点施設については、整備箇所における各種法令との関連やインフラの状況等を踏まえ、条件整理を進めています。また、拠点の具体的な活用の場面を踏まえて、拠点の規模や包含する機能等について、引続き検討を進めていきます。

また、拠点整備後には、この場所から継続的に末永く賑わいが生まれていく環境を育むため、地域との連携手法や地域資源と拠点エリアをつなぐ機運醸成にも取り組む必要があります。

令和７年度	
部	政策部
課	秘書広報課
係等	秘書広報担当

決算書ページ	67

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102060	秘書・渉外		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,242,000	4,608,388	0	1,633,612	73.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　市長表彰の実施

市功労表彰式を１月６日（月）に実施し、市表彰規則に基づき表彰状を交付しました。また、市政に協力し、顕著な功績のあった者に感謝状を交付しました。

区　　分	表　彰　状	感　謝　状
令和6年6月4日		１人（団体）
令和6年6月13日		１人（団体）
令和6年10月25日		１人（団体）
令和6年11月1日		１人（団体）
令和6年11月6日		１人（団体）
令和6年11月20日		１人（団体）
令和6年12月17日		１人（団体）
令和7年1月6日	14人（団体１・個人13）	17人（団体２・個人15）
令和7年3月11日		１人（団体）
令和7年3月26日		１人（団体）
計	14人	26人

2　市長交際費の支出

市交際費支出基準に基づき、行政職務執行上において外部との交渉・交際を進める経費として支出しました。

慶　弔　費	101,340円
会　　費	374,500円
激　励　費	52,298円
計	528,138円

予算				総合計画		
	款	02	総務費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		基本方針	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102060	秘書・渉外		基本施策	協働によるまちづくり

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　各種会議への対応

各市との連絡協調を図り、市政の円滑な運営と地方自治の振興に努めるとともに、市政に関する課題を県及び国へ要望書として提出しました。

長野県市長会関係　（総会・定例会・部会）	６回
長野県市長会関係　（副市長総務担当部長会議）	２回
北信越市長会関係　（総会）	２回
全国市長会関係　（総会・都市問題会議）	２回

４　市長定例記者会見の実施

市の主要事業他、市政全般の情報提供を行い、開かれた市政を目指すことを目的に、記者会見を12回開催しました。

５　共催・後援の承認

市の共催及び後援に関する事務取扱要綱により、基準に基づいて公益性のあるものを承認しました。

共　催	事業の企画又は運営に参画し共同主催者として事業の推進に当たること	40件
後　援	事業の趣旨に賛同しその開催を援助すること	164件

上記の評価と課題等

市長表彰については、引き続き多くの市民等の功績を称えるため、対象者の掘り起こしに努めていきます。

令和７年度	
部	政策部
課	秘書広報課
係等	秘書広報担当

決算書ページ	75

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	文書広報費			
	事業	0102210	広報費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
63,510,000	62,039,806	0	1,470,194	97.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,729,760		広告料収入	2,729,760		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　広報紙の発行、配布

市政情報・市からのお知らせなどを掲載した広報紙「広報あづみの」を発行し、市内全戸へ配布しました。取材を通じ多くの市民の方と関わりながら親しみやすく、見やすい紙面作りに努めています。令和６年12月からは広報紙の初稿データから印刷前完成データまでを庁内で作成する方法（内製化）に変更し、より伝わりやすく見やすい紙面づくりの向上と事務の効率化を図りました。

（発行、配布内容）
発行時期・・・各月20日の属する週の木曜日
ページ数・・・平均32ページ
費　　用・・・19,212,600円　※単価　４月～11月：46,000円/頁(税抜き)
　　12月～３月：43,500円/頁（税抜き）
配布件数・・・　866,169件　※平均：37,660件
配布費用・・・24,153,573円　※基本単価25円/件（税抜き）

２　インターネットを活用した市政情報等の提供

ホームページの訪問者数、スマートフォン用広報紙閲覧アプリ「マチイロ」の登録者、X（旧Twitter）のフォロワー数、YouTubeのチャンネル登録者は共に増加しています。また、令和６年４月からLINEでのプッシュ通知による行政情報やイベント情報などの発信を開始しました（令和６年度配信数203件）。ホームページを中心にSNSを効果的に利用し、市民のニーズに合った情報発信を行っています。

●ホームページ・マチイロ・SNS（X（旧Twitter）、YouTube、LINE）登録者数等
（年度末現在　※Xについてはアナリティクス機能廃止のためR7月5月末現在）

種別	R6	R5	差
ホームページ訪問者数	1,907,760	1,610,645	297,115
マチイロ	3,960	3,772	188
X（旧Twitter）	8,362	6,979	1,383
YouTube	1,443	1,065	378
LINE	45,417	－	－

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		基本方針	みんなでともにつくるまち
	目	02	文書広報費			
	事業	0102210	広報費		基本施策	協働によるまちづくり

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　コミュニティーエフエムを活用した市政情報番組の提供

音声による情報伝達手段として、コミュニティーエフエムを活用した市政情報番組の放送を実施しました。「広報あづみの暮らしのガイド」は、市政情報や市が実施するイベントの案内などで積極的な活用を図りました。「まちづくり多士済々」は、職員や市民が出演し、市施策や地域の取り組みをPRしました。放送業務委託料として総額7,920,000円を支出しました。

① 広報あづみの暮らしのガイド（５分番組）（月～日曜、7:55/11:55/18:55）
② まちづくり多士済々（水曜、11:00～12:00「中柴香苗の水色の時間」のコーナー中）

４　デジタルサイネージ

導入費及び運用費を広告収入で賄い、市からの情報を発信できるデジタルサイネージ「わが街NAVI」では、市内の大型商業施設に設置した大型モニターにより、市政情報（協働のまちづくりのための出前講座の紹介やパブリックコメントの募集情報など）を発信しています。

（概要）
１．場所・・・イオン豊科店1階
２．期間・・・令和４年９月から３年間（令和7年度に２年間延長）
３．デジタルサイネージの大きさ　・・・　2,330㎜×1,775㎜
４．情報内容・・・①インフォメーションパネル（静止画：最大15秒×20枚）
　　②情報パネル（動画：300MB）

５　会見場による情報発信等

市と市民及び市内の事業者等による情報発信や記者の記事作成の場として利用可能な会見場を庁舎４階に設置・運営しています。

（概要）
会見場利用状況・・・64回　（内訳）・市長定例記者会見、記者懇談会等　18回
・市広報動画版等撮影　12回
・協定締結式、表敬訪問等　21回
・市民、団体等による会見　3回
・記者による利用　10回

６　広告事業

広報紙の印刷経費やホームページの維持管理の一部の財源確保を図るため、広報紙及びホームページへの広告掲載による広告料として2,729,760円を収入しました。

７　広聴事務

ホームページの「お問い合わせフォーム」、「市長への提案」と題した郵便を秘書広報課でとりまとめ、理事者等への報告と関係各部等との情報共有を図りました。また、市長とグループなどが直接意見を交わす懇談会「ゆたかの飛耳長目」を令和６年度は、全５回開催し、グループなどが設定するテーマにより、活動内容や市に対する提案などの意見交換を行いました。

上記の評価と課題等

広報紙やホームページのほか、SNS（X（旧Twitter）、YouTube、LINE）、コミュニティーエフエムの番組などにより積極的に情報発信しました。今後も広報紙とSNSなどを組み合わせ、より多くの市民の方にわかりやすく伝わる行政情報の発信に努めていきます。同時にスマートフォンやSNSの普及による市民のニーズを把握し、タイムリーな情報発信を行っていきます。

令和７年度	
部	政策部
課	行革デジタル推進課
係等	行革デジタル推進担当

決算書ページ	79

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	06	企画費			
	事業	0102310	行政改革		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
100,000	80,350	0	19,650	80.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　有識者会議委員の自治体委託業務等災害補償保険に加入しました。
　令和６年度加入実績　44団体　610人

上記の評価と課題等

災害補償保険に加入することで、安全に委託業務を実施することができます。

令和７年度	
部	政策部
課	行革デジタル推進課
係等	情報システム係

決算書ページ	83

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	07	情報施策費			
	事業	0102370	電算管理費		施策	デジタル技術を活用した行政変革

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
321,698,000	317,875,680	0	3,822,320	98.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,750,000		自治体中間サーバプラットフォーム更改事業補助金	3,876,000		
		財務会計処理実費徴収	874,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　行政情報システムの適正な管理・運営を行い、安定稼働の維持に努めました。
　日々多様化・深刻化するセキュリティリスクに適切に対応し、ぜい弱性対策プログラムの適用などを実施し、情報セキュリティ事故防止に努めました。

２　ＬＧＷＡＮ（内部情報）系パソコン170台、プリンタ15台、ファイルサーバの更新を行いました。

３　令和７年12月８日本稼働予定の基幹系標準準拠システム移行に向けて、現行システムとの差異を確認し対策を検討するためのＦｉｔ＆Ｇａｐ作業を終了させるとともに、システム移行に係る予算作成、契約に向けた機器構成、台数等の調整、仕様書の作成を行いました。
　また、標準準拠システム移行に係る補助金申請及び、クラウド利用に係る利用手続きの申請を行いました。

４　多様化・深刻化する情報セキュリティリスク対策としてインターネットのｅ‐ラーニングを活用した職員研修の実施及び情報セキュリ　ティ内部監査を実施しました。
・情報セキュリティ研修　　915人受講
・マイナンバー事務取扱者研修　　230人受講
・情報セキュリティ内部監査　４課の監査を実施

上記の評価と課題等

　情報セキュリティ等に関する最新の情報収集を行い、高度な情報システムの更新や対策を継続して推進します。また、情報セキュリティ対策や情報漏洩対策を継続的に行うため、職員研修を実施します。
　令和７年12月の基幹系標準準拠システム移行に向け、移行作業及び基幹系パソコン、プリンタ等の機器入れ替え、システムの機能変更等による業務手順の見直しなどを進めます。

令和７年度	
部	政策部
課	行革デジタル推進課
係等	行革デジタル推進担当

決算書ページ	85

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	07	情報施策費			
	事業	0102380	地域・行政情報化推進事業		施策	デジタル技術を活用した行政変革

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
15,565,000	14,449,650	0	1,115,350	92.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
10,880,000		デジタル基盤改革支援補助金	880,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	10,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　業務プロセス改革の推進

（１）安曇野市スマート自治体推進アドバイザー西村元男氏との連携

担当課からの相談を受け、改善策の検討、提案、実装を行いました。

【例】国保年金課：国民年金事務所から送付される国保資格異動等のCSVデータから、自動で基幹系システムへ入力し処理できるしくみをRPAにより構築しました。

（２）ガバメイツピットを活用した業務改善

改善を希望する業務を庁内から募集し、応募のあった６業務について、業務フロー作成システム導入業者（ガバメイツ）のコンサルティングにより、オンラインで打ち合わせを行いながら業務改善の方向性等を検討しました。

【例】地下水井戸採取届出事業（環境課）、地区公民館活動補助金（生涯学習課）、福祉医療費給付業務（福祉課）　他

２　LINEを活用した市民サービスの充実

「安曇野市スマホ窓口」の機能充実を図り、市民の暮らしの利便性向上を図りました。

・LINE公式アカウント友達登録者数　45,417人（R7.3.31）

・安曇野市スマホ窓口業務（R6構築分）

【例】メニュー更新、水道の開閉栓、健診予約、定額減税給付金、こども園一時預かり　他

３　定型・スポット的業務の包括的委託

職員の事務処理負担を軽減するため、定型・スポット的な業務で職員が行う必要のないノンコアな業務について包括的に委託しました。

【例】会議録作成28件、各種文書の発送24件、データ入力28件、文書資料の整理保存22件　他

４　文字同定作業の実施

標準準拠システムで使用する文字の標準化に対応するため、国庫補助（デジタル基盤改革支援補助金）を活用し国から仕様が提示された「行政事務標準文字MJ+」の文字要件に規定された文字へ同定する作業を行いました。

上記の評価と課題等

「安曇野市DXの実行」に基づき、行政事務の効率化、くらしの利便性向上、社会課題の解決等に繋がる施策を実施しました。業務見直しに対する職員の意識は醸成されつつありますので、業務改善に繋がった事例等を共有し、庁内全体の業務改善へ繋げます。

令和７年度	
部	政策部
課	人権共生課
係等	人権共生係

決算書ページ	85

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	10	人権啓発費			
	事業	0102410	人権啓発費		施策	共生社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
16,727,000	13,140,616	0	3,586,384	78.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,983,211		厚生住宅使用料	48,000	国際交流基金繰入金	61,211
		厚生住宅使用料滞納繰越分	2,000		
		外国人受入環境整備交付金	3,579,000		
		元気づくり支援金	1,293,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

「安曇野市多様性を尊重し合う共生社会づくり計画」に基づいた事業を実施しました。

１．共生社会づくり広報紙「きらり」を発行、今年度から市内全戸配布に変更し、周知を図りました。
　※理解しやすい「やさしい日本語」による内容で、第５号を38,500部、第６号を38,500部発行

２．男女共同参画・性の多様性推進事業
（１）安曇野市ジェンダー平等推進ネットワークとの協働し、講座・パネル展等を開催しました。
　○若年層の性暴力被害予防月間パネル展（4/1～4/26）、　○共生社会づくり講座（4/5）、
　○男女共同参画パネル展示（6/17～6/28）、　○共生社会づくりフォーラム（7/28）、
　○性教育講座（11/9）、　○女性に対する暴力をなくす運動パネル展（11/9、11/11～11/29）、
　○ピンクシャツデーパネル展示（2/17～28）、　○国際女性デーパネル展示（3/4～3/29）
（２）元気づくり支援金を活用し、男性育休推進のため、オンライン父親学級（年４回）、管理職研修（7/10）を実施しました。

３．多文化共生推進事業
（１）市民団体（あづみの国際化ﾈｯﾄﾜｰｸ・安曇野市国際交流協会）と協働し、講座等を開催しました。
　○あづみの国際DAY!2024（8/11）、　○日本語deスピーチ大会（10/27）、
　○ニュースポーツ多文化交流会（11/10）、　○多文化共生講座（オランダ編2/2）
（２）外国籍市民相談窓口を運営しています。
　出入国在留管理庁の「外国人受入環境整備交付金」を活用して整備を行っています。
　生活相談員２名を任用し、映像通訳等と合わせて20言語に対応しています。
（３）展示や研修を通じて、やさしい日本語を推進しました。
　○第３版「やさしい日本語版生活のガイドブック」1,000部増刷（外国人受入環境整備交付金活用）
　○「安曇野市外国人の生活マニュアル」（６言語）の作成
　○やさしい日本語、多文化共生にかかるパネル展示（多文化共生推進月間・人権週間）

４．ユニバーサルデザインの推進
　多様な個性や違いに関わらず、誰もが暮らしやすい社会を目指して、ユニバーサルデザインの普及を進めました。
（１）市職員を対象にユニバーサルデザイン研修（10/18）を開催しました。
（２）職員向け「やさしい日本語研修」（1/20）を実施しました。

予算				総合計画		
	款	02	総務費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		基本方針	みんなでともにつくるまち
	目	10	人権啓発費			
	事業	0102410	人権啓発費		基本施策	共生社会の実現

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

５．犯罪被害者支援

（１）令和６年度犯罪被害者支援員養成講座を受講しました。
　犯罪被害者からの相談に備え、必要な知識を身につけるため犯罪被害者支援ボランティア養成講座及び支援員養成研修を受講しました。（7/18～10/31　全８回、２名受講）

（２）「ホンデリング」（11/25）を開催し、犯罪被害者支援の啓発をしました。
　古書等5,114点の寄贈があり、収益他143,949円を全国被害者支援ネットワークへ寄付しました。

６．人権尊重事業

（１）パネル展示、イベントでの人権啓発活動を行いました。
　○貞享義民記念館でのパネル展示「安曇野から考える人権展」（12/3～12/20）
　○二十歳の集い（1/12）での啓発物品（ポストカード）等の配布

（２）人権週間（12/4～12/9）に合わせ「人権のつどい」を開催しました。（12/7）
　○中学生人権作文入選作品の披露
　○講演「女性が活躍できる社会・会社について考える」エムケー精工㈱代表取締役 丸山将一 氏

（３）その他
　○松本人権擁護委員協議会安曇野部会による人権特設相談所「人権なんでも相談」（全12回）の設営協力や街頭活動への参加
　○安曇野地区保護司会と協働した「社会を明るくする運動」の街頭活動（7/1）と啓発展示

７．団体への活動支援

（１）負担金	○松本人権擁護委員協議会	279,828 円
	○松本人権擁護委員協議会安曇野部会	180,000 円
	○特定非営利活動法人　長野犯罪被害者支援センター	186,000 円
	○矯正施設所在自治体会議事務局	10,000 円
（２）補助金	○安曇野市ジェンダー平等推進ネットワーク	550,000 円
	○国内友好交流推進団体	61,211 円
（３）交付金	○安曇野地区保護司会	432,000 円

上記の評価と課題等

　令和５年度からスタートした「安曇野市多様性を尊重し合う共生社会づくり計画」に基づき、取組みを着実に進めていく必要があり、審議会において計画の進捗管理を行っています。
　新規に取組んだ事業が多く、今後は内容の検証、実情に合わない部分や効果を上げるための修正・調整を丁寧に行っていく必要があります。
　多様性を受け入れた共生社会が浸透していくためには、引き続き市民や事業所等に対する啓発を続けていく必要があります。

令和７年度	
部	政策部
課	人権共生課
係等	人権共生係

決算書ページ	89

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	12	人権同和推進費			
	事業	0103225	住宅新築資金貸付事業		施策	共生社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
103,000	46,360	0	56,640	45.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
46,000		住宅新築資金県補助金	46,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　住宅新築資金等貸付元利金の償還（債権回収）事務
（１）督促、臨戸集金等により住宅新築資金等貸付元利金の返済を促しました。
（※令和６年度末の未収額は合計121,909,383円）
（２）市債権管理条例に基づき、債権整理に取り組みました。
（３）令和６年度の回収額は1,566,000円（前年比+292,000円）でした。
（４）今後の回収業務について、弁護士と法的手続きを含めて協議しました。
（５）住宅新築資金等貸付事業償還事務担当者研修会に参加し、知識の習得に努めています。
（※11月22日大阪市にて開催、１名参加）

２　特定財源（住宅新築資金県補助金）について
住宅新築資金県補助金203,000円は、徴収事務費として一般管理費へ充当しました。

上記の評価と課題等

高齢化に伴って年金生活の債務者が増えており、返済へ回す資財が乏しい状況が続いています。債務を知らずに相続して償還請求の説明に苦慮する場合や、債務者の死亡で相続人全員が相続放棄している場合など、徴収を非常に困難している案件が存在しています。
回収の見込みが立たない案件については、債権放棄の手続きを検討し、進める必要があります。

市民生活部

令和７年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	まちづくり推進担当

決算書ページ	69

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102095	豊科地域事業		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,970,000	3,827,824	0	142,176	96.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

豊科地域の区等の地域力向上を支援し、地域課題の解決に向けた支援を行いました。また、市民との協働により地域の活性化を図るなど、心豊かで幸せな市民生活の実現を目指しました。

１　豊科地域区長会支援

地域区長会では、市との連絡調整を行うとともに、地域課題について情報交換を行いました。

（１）地域区長会の開催（会議４回、出席謝礼　308,000円）

（２）先進地視察研修の実施（新潟県小千谷市）

２　第45回あづみ野祭りの実施（補助金　3,200,000円）

市民の連帯感の醸成と地域の活性化に寄与することを目的に、7月27日（土）に開催しました。（踊り連参加　33連　約2,300人）実行委員会に補助金を交付するなど、安全なお祭りの実施に向けて運営を支援しました。

上記の評価と課題等

豊科地域区長会では新任区長研修、視察研修などを実施し、様々な課題について情報交換し、解決に向けた検討を行いました。今後も各区と課題を共有し、課題解決に向けた仕組みづくりを支援します。

あづみ野祭りには、約15,000人が訪れ、市民の連帯感の醸成と「心のふるさとづくり」、また、地域経済の活性化に寄与することができました。夏の風物詩として、今後も踊りをメインに据えながら安全かつ楽しい催事となるよう取り組みます。

令和７年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	穂高地域担当

決算書ページ	69

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102110	穂高支所費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
28,068,000	24,579,316	0	3,488,684	87.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
439,447		穂高支所雑入	150,757		
		コピーサービス料等	8,690		
		個人番号カード交付事務費補助金	280,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 穂高支所等施設管理運営事業

地域活動の拠点となる支所施設を維持管理するため、施設修繕費や光熱水費、保守点検などの管理委託料の支出を行い、利用者の利便性向上を図りました。

（１）穂高支所施設管理に係る経費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設修繕費	1,952,500円	91,300円	574,200円
光熱水費	2,916,985円	2,261,912円	3,079,280円
管理委託料	2,340,860円	2,510,875円	2,445,709円

（２）穂高支所駐車場の借地料　（３筆／１名）　1,947,375円

（３）公用車管理事務

公用車を安全に運行するため、車検・整備、燃料費等の管理を行いました。

51,007円

2 穂高地域区長会の支援

地域区長会を開催し、市との連絡調整及び地域課題解決のための検討を行いました。

（会議４回、研修視察１回、出席謝礼　297,500円）

3 穂高納涼祭補助金（まちづくりイベント事業補助金）　2,500,000円

8月3日に開催した「第41回穂高納涼祭」を支援し、ふるさと意識の醸成と地域の活性化を図りました。

上記の評価と課題等

市民に身近な行政サービスの窓口として、庁舎の維持管理を進め、利便性と安全で快適な施設環境の提供に努めました。

地域区長会では意見交換会を行い情報共有を図りました。区役員のなり手不足、未加入世帯の増加、区長の負担軽減等の多様な課題に対して支援する必要があります。

穂高納涼祭は、穂高会館駐車場でステージ発表や盆踊りを行い地域の一体感を高めました。令和7年度は、穂高神社北神苑での開催に向け実行委員会と連携を強化する必要があります。

令和７年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	三郷地域担当

決算書ページ	69

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102130	三郷支所費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
23,829,000	21,390,129	0	2,438,871	89.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
403,720		三郷支所雑入	123,720		
		個人番号カード交付事務費補助金	280,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 三郷支所等施設管理運営事業

地域活動の拠点となる支所施設を維持管理するため、施設修繕費や光熱水費、保守点検などの管理委託料の支出を行い、利用者の利便性向上を図りました。

（１）三郷支所施設管理に係る経費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設修繕費	273,680円	225,500円	12,100円
光熱水費	5,782,229円	4,586,981円	4,223,385円
管理委託料	4,842,666円	4,986,387円	3,319,012円

（２）三郷支所敷地、駐車場の借地料　（６筆／２名）　2,878,212円

（３）公用車管理事務

公用車を安全に運行するため、車検・整備、燃料費等の管理を行いました。

164,052円

2 三郷地域区長会の支援

地域区長会を開催し、市との連絡調整及び地域課題解決のための検討を行いました。

（会議４回、研修視察１回、出席謝礼　189,000円）

3 ふるさと夏祭り補助金（まちづくりイベント事業補助金）　2,000,000円

8月11日に開催した「第39回ふるさと夏祭り」を支援し、ふるさと意識の醸成と地域の活性化を図りました。

上記の評価と課題等

市民に身近な行政サービスの窓口として、複合施設の維持管理を進め、利便性と安全で快適な施設環境の提供に努めました。令和６年度は施設の長寿命化工事（三郷公民館、保健センター）を行ったことで維持管理の向上が期待できます。

区役員のなり手不足、未加入世帯の増加、区長の負担軽減等の多様な課題に対して支援する必要があります。

令和７年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	堀金地域担当

決算書ページ	71

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102150	堀金支所費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
46,105,000	43,551,656	0	2,553,344	94.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,090,295		堀金支所雑入	810,295		
		個人番号カード交付事務費補助金	280,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　堀金支所等施設管理運営事業

地域活動の拠点となる支所施設を維持管理するため、施設修繕費や光熱水費、保守点検などの管理委託料の支出を行い、利用者の利便性向上を図りました。

施設のキュービクル高圧機器等更新工事を実施しました。

（１）堀金支所施設管理に係る経費

	令和４年度	令和５年度	令和６年度
施設修繕費	412,170円	570,900円	916,740円
光熱水費	9,397,147円	7,772,360円	12,089,597円
管理委託料	5,705,372円	7,950,263円	8,360,716円

（２）堀金支所敷地、駐車場の借地料　（２筆／２名）　　1,821,658円

（３）公用車管理事務（157,390円）

公用車を安全に運行するため、車検・整備、燃料費等の管理を行いました。

（４）堀金支所キュービク囘高圧機器等更新工事　　設計監理業務委託費　　1,283,700円

工事請負費　　11,891,000円

2　堀金地域区長会の支援

地域区長会を開催し、市との連絡調整及び地域課題解決のための検討を行いました。

（会議４回、研修視察１回、出席謝礼　126,000円）

3　常念フィスティバル補助金（まちづくりイベント事業補助金）　　383,000円

８月24日に開催した「第８回常念フィスティバル」を支援し、市民の交流と地域の活性化を図りました。

上記の評価と課題等

市民に身近な行政サービスの窓口として、施設の維持管理を進め、利便性と安全で快適な施設環境の提供に努めました。

区役員のなり手不足、未加入世帯の増加、区長の負担軽減等の多様な課題に対して支援する必要があります。

施設の竣工から約20年が経過し、不具合が発生しているため、計画的に改善を図る必要があります。

令和７年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	明科地域担当

決算書ページ	73

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102170	明科支所費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
18,709,000	16,627,988	0	2,081,012	88.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,034,904		明科支所雑入	54,904		
		明科地域づくり事業（過疎債）	1,700,000		
		個人番号カード交付事務費補助金	280,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　明科支所等施設管理運営事業

地域活動の拠点となる支所施設を維持管理するため、施設修繕費や光熱水費、保守点検などの管理委託料の支出を行い、利用者の利便性向上を図りました。

（１）明科支所施設管理に係る経費

	令和４年度	令和５年度	令和６年度
施設修繕費	130,460円	808,060円	352,000円
光熱水費	4,652,861円	3,377,321円	4,504,457円
管理委託料	4,993,497円	5,638,771円	5,666,814円

（２）庁舎案内看板用地借地料　（１筆／１名）　960円

（３）公用車管理事務

公用車を安全に運行するため、車検・整備、燃料費等の管理を行いました。

222,872円

2　明科地域区長会の支援

地域区長会を開催し、市との連絡調整及び地域課題解決のための検討を行いました。

（会議４回、研修会２回、出席謝礼　189,000円）

3　安曇野明科あやめまつり補助金（まちづくりイベント事業補助金）　1,700,000円

６月15日及び16日に開催した「第40回安曇野明科あやめまつり」を支援し、約１万５千人の来場者で賑わいました。世代を超え市民相互の交流促進につながりました。

上記の評価と課題等

市民に身近な行政サービスの窓口として、複合施設の維持管理を進め、利便性と安全で快適な施設環境の提供に努めました。施設の長寿命化のため、改修が必要な箇所を把握し計画的に進めていく必要があります。

区役員のなり手不足、未加入世帯の増加、区長の負担軽減等の多様な課題に対して支援する必要があります。

令和７年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	生活安全係

決算書ページ	75

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	02	文書広報費			
	事業	0102220	市民相談事業		施策	消費者保護の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
904,000	902,000	0	2,000	99.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

多様化、複雑化する相談に対して各種相談会を開催し、専門的な法律相談機会の提供を図りました。

1　弁護士会による無料法律相談（委託料 871,200円）
長野県弁護士会松本在住会との委託契約により24回開催　相談件数:157件

2　司法書士による登記・法律無料相談
長野県司法書士会松本支部安曇野区会の協力により年９回開催　相談件数:47件
長野県下一斉司法書士相談会における会場手配協力（令和６年10月開催）

3　行政書士による無料相談
長野県行政書士会松本支部(現・中信支部)主催の無料相談会における会場手配協力(年12回)

4　総務大臣から委嘱された行政相談委員の活動への協力（負担金30,000円）
安曇野市社会福祉協議会主催の心配ごと相談と併設して行政相談を実施
特設行政相談所の開設への協力（令和６年10月開催）

上記の評価と課題等

各相談会の日程を広報し、専門的な相談の機会を図ることができました。
引き続き、専門的な相談ができる機会を設け、多様化・複雑化する相談への対応に努めます。

令和７年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	まちづくり推進担当

決算書ページ	81

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	06	企画費			
	事業	0102350	協働のまちづくり推進事業		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,724,000	6,001,284	0	722,716	89.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,000,000		地域振興基金繰入金	2,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

「安曇野市つながりひろがる協働推進計画」に基づき市民一人ひとりが主役のまちづくりを推進し、心豊かで幸せな市民生活の実現を目指しました。

1　「安曇野市つながりひろがる協働推進委員会」の開催（会議３回、委員出席謝礼　91,000円）
安曇野市つながりひろがる協働推進計画の推進に向けて、施策の取組状況の検証を行いました。

2　協働のまちづくり出前講座　（83講座　実施回数：116回）
市職員が市民の集会等の場に出向き、市政や制度などについて説明しました。

3　つながりひろがる地域づくり事業補助金　（14団体　補助金　2,089,000円）
市民活動団体が行う自主的・主体的で、つながりをひろげる事業に対して補助金を交付しました。市民活動の掘り起こしや支援の充実を図るため、補助限度額を20万円から30万円に増額しました。

4　市民活動サポートセンターの運営　（登録団体　198団体）
市民活動フェスタの開催、講座の開催、相談受付、情報の収集・発信、交流の場の提供等のコーディネートを行い、市民活動の支援及び活性化を図りました。

5　その他協働事業
市民との協働により、光城山1000人SAKURAプロジェクトやアルプス花街道事業を実施しました。

上記の評価と課題等

各種事業の実施により、協働によるまちづくり推進を図ることができました。つながりひろがる地域づくり事業補助金の補助限度額を増額したことにより、申請団体数が増加しました。
更なる協働によるまちづくりの推進を図るため、「安曇野市つながりひろがる協働推進計画」に基づき、「つながりひろげ一緒につくろうわたしたちのまち」をコンセプトに、若者から高齢者まで幅広い世代のまちづくり参画支援や交流の場づくりの充実、市民活動サポートセンターの新たな拠点整備などが課題となります。

令和７年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	まちづくり推進担当

決算書ページ	83

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	06	企画費			
	事業	0102355	区等地域力向上事業		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
113,170,000	112,601,134	0	568,866	99.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
108,301,800		その他証明手数料	1,800		
		地域振興基金繰入金	97,500,000		
		コミュニティ助成事業助成金	10,800,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

多様化・複雑化する地域課題の解決に向けて、区長会と連携し、課題の共有及び解決に向けた支援に努めました。

1　安曇野市区長会支援

（1）安曇野市区長会専門部会の実施

４部会（デジタル技術活用部会、区費等のあり方部会、防災部会、高齢者支え合い部会）にて、区長等の計36名とともに、各７回の審議の支援を行いました。専門部会の成果として、「区デジタルツール活用マニュアル」及び「災害時区長ハンドブック」を作成しました。

（2）地域を考える研究集会の実施

「若者と考える自治会の今とこれから」をテーマに開催しました。大学生、高校生が参加し、区役員と自治会について語り合う意見交換会を行いました。

2　区等交付金の交付

令和４年度	令和５年度	令和６年度
96,772,500円	97,028,490円	97,579,200円

3　自治会活動保険補助金　（安曇野市区長会　534,643円）

4　コミュニティ助成事業補助金　（採択６件　10,800,000円）

うるおいのある地域社会、コミュニティの健全な発展を図ることを目的に交付しました。

区分	件数	金額	財源
一般コミュニティ	４件	8,400,000円	一般財団法人自治総合センター助成金
地域防災	２件	2,400,000円	公益財団法人長野県市町村振興協会助成金

上記の評価と課題等

各区では、区役員等の担い手不足や区未加入など、持続可能な運営体制に課題を抱えていることから、相談支援や部制度導入支援、区の負担軽減に継続して取り組む必要があります。

また、市区長会では、令和８年度から独自に専属の事務局員を雇用する方針を決定されました。市区長会と連携し、スムーズな事務局の移行ができるよう支援が必要です。

令和７年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	生活安全係

決算書ページ	85

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	08	交通安全対策費			
	事業	0102390	交通安全対策費		施策	防犯・交通安全の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
15,773,000	13,960,075	0	1,812,925	88.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
11,185,500		自転車用ヘルメット購入支援事業補助金	185,500		
		指定寄附金	1,000,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	10,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

第４次安曇野市交通安全計画に基づき、各種交通安全対策を次のとおり推進しました。

１　関係機関・団体と連携した広報啓発活動

安曇野交通安全協会、安曇野警察署等の関係機関・団体と連携し、季別の交通安全運動期間中における広報啓発活動、年金支給日等のあらゆる機会で街頭啓発活動を実施して、交通安全意識の浸透と高揚を図りました。

２　交通安全教育（決算額　2,404,600円）

⑴　認定こども園、幼稚園における交通安全教室　42回（委託料　1,986,600円）

交通安全教育を専門的に行うＮＰＯ法人に業務委託し、春季と秋季の２回、園児の心身の発達や理解力に応じた交通安全教室を開催しました。

⑵　小中学校、高等学校における交通安全教室　７回（委託料　308,000円）

前記ＮＰＯ法人に業務委託し、市内各小中学校及び高等学校において、スケアード・ストレイト方式（交通事故再現を通じて危険を学ぶ教育手法）等による交通安全教室を開催しました。

⑶　参加・体験・実践型高齢者交通安全教室　２回（使用料　300,000円）

自動車学校の教習コースを利用した、参加・体験・実践型交通安全教室を開催し、参加した高齢者に車両の運転や歩行時の注意点を見直す機会を設け、高齢者の交通事故防止を図りました。

⑷　地域（区）訪問型高齢者交通安全教室　２回（委託料　110,000円）

前記ＮＰＯ法人に業務委託して、各地域（公民館等）を訪問する交通安全教室を開催し、ミュージカル形式による交通事故防止ポイントの説明を交えながら、普段交通安全教育を受ける機会の少ない高齢者を対象とした交通事故防止を図りました。

３　運転免許証自主返納支援事業（支援額　2,250,000円）

デマンド交通「あづみん」の乗車回数券（9,000円相当）を運転免許証自主返納者を対象に、交付することにより、運転に不安を持つ市民の運転免許証自主返納を支援しました。

	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
自主返納者数	406	332	366	297	326
支援者数	307	267	309	257	272
支援率	75.6%	80.4%	84.4%	86.5%	83.4%

※「自主返納者数」は、安曇野警察署運転免許窓口で受理した自主返納受付数

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		基本方針	安全で安心に暮らせるまち
	目	08	交通安全対策費			
	事業	0102390	交通安全対策費		基本施策	防犯・交通安全の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　自転車ヘルメット購入費補助金事業（支援額1,933,700円）
　自転車を利用する市民のヘルメット着用の促進を図るため、ヘルメットの購入に要する経費に対し、補助金を交付しました。
　申請件数は、823件あり、多くの市民にヘルメットの所持着用を図りました。

５　交通安全協会（負担金　安曇野交通安全協会963,000円　安曇野支部3,372,000円）
　安曇野警察署管内を広域的に連携する安曇野交通安全協会の運営に必要な負担金及び同協会安曇野支部の組織的な活動を支援するために必要な負担金を交付しました。

市内の交通事故（人身事故）発生件数を死者数（件／暦年）

	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
件数	279	302	260	292	263
死者	2	1	3	4	3
傷者	335	372	310	357	318

安曇野警察署管内の高齢者（65歳以上）関与の事故発生状況（件／暦年）

	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
件数	129	150	106	142	127
事故割合	45.4%	47.9%	40.0%	48.6%	48.3%

安曇野警察署管内の子供（中学生以下）関与の事故発生状況（件／暦年）

	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
件数	16	20	12	23	11
事故割合	5.7%	6.6%	4.5%	7.8%	4.2%

安曇野市内のヘルメット着用率

	令和５年度	令和６年度
着用率	29.5%	34%

上記の評価と課題等

令和６年中の交通事故発生件数は、昨年に比べて総件数が減少し、死者、傷者のいずれも減少しました。
発生件数は減少したものの、高齢者が関与する交通事故の割合は昨年とほぼ同じ割合であり、子供が関与した事故も依然として発生していることから、高齢者交通事故抑止対策や、子どもに対する交通安全教育の更なる推進が求められます。
また、自転車乗車時のヘルメット着用が義務化されましたが、令和５年度、令和６年度の着用率は３割程度と低調であることから、着用率を向上させるとともに、自転車利用者の交通事故ゼロを目指して安全教育を推進していく必要があります。

令和７年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	生活安全係

決算書ページ	85

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	09	防犯対策費			
	事業	0102400	防犯対策費		施策	防犯・交通安全の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
29,480,000	28,146,674	0	1,333,326	95.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
160,000		地区防犯灯新設分担金	160,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　防犯灯管理運営費（決算額　25,555,314円）
⑴　防犯灯新設（工事請負費　2,581,249円）
内訳：地域要望等防犯灯新設　41基（うち指定通学路20基）
⑵　防犯灯修繕　132基（施設修繕費　3,806,442円）
⑶　照明柱等共架更新工事　13基（工事請負費　2,624,314円）
既設の独立柱防犯灯の劣化状況を調査し、倒壊等の危険が認められる独立柱防犯灯を撤去、電柱へ共架等することで安全性の確保を図りました。
⑷　防犯灯電気料（光熱費　16,362,909円）
契約灯数：8,975基（３月末の電力契約数）

2　防犯対策推進事業（決算額　2,591,360円）
⑴　防犯協会分担金（金額　2,408,000円）
安曇野警察署管内の関係機関・団体が広域的に連携協力する安曇野防犯協会連合会の運営に必要な分担金を負担しました。
⑵　特殊詐欺等被害防止対策機器設置補助事業（補助金：67,200円　申請件数14件）
高齢者を対象とした特殊詐欺、悪質商法等の被害防止のため、特殊詐欺等被害防止対策機器の設置費用に係る補助金を交付し、対策機器の普及促進を図りました。
⑶　街頭啓発等活用消耗品　（金額　116,160円）
市民の防犯意識を醸成するため、啓発物品を活用して啓発活動を実施しました。

市内の刑法犯認知件数（件／暦年）				
令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
324	187	282	294	245

令和６年中の特殊詐欺等発生状況				
	県内		安曇野市内	
	特殊詐欺	SNS型詐欺	特殊詐欺	SNS型詐欺
被害件数	224	141	11	7
被害金額（単位：千円）	948,285	1,755,220	146,976	136,071

上記の評価と課題等

各区からの要望に基づいて計画的な防犯灯設置を進めるとともに、劣化した独立防犯灯を更新し、夜間における犯罪の防止を図りました。昨年の市内における犯罪被害状況については、刑法犯認知件数は減少したものの、特殊詐欺被害の発生は前年に比べて件数、被害額ともに増加しています。また、匿名・流動型犯罪グループによる犯罪被害が全国的に発生している状況から、今後市内での被害も予想されます。市民の防犯意識を醸成し、被害防止を図るため、安曇野防犯協会連合会、安曇野警察署、自主防犯ボランティア団体等の関係団体と連携した市民参加による防犯活動を引き続き推進する必要があります。

令和７年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	明科地域担当

決算書ページ	137

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	07	飲料水供給費			
	事業	0104190	飲料水供給費		施策	上下水道の安定経営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,499,000	4,221,894	0	277,106	93.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
115,600		飲料水供給施設使用料	115,600		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

山間地域にある安曇野市明科飲料水供給施設を適正に維持管理し、金井沢地区へ安全で安心な飲料水の供給を行いました。給水対象戸数は、金井沢集会所を含めて７戸です。

○飲料水供給施設管理に係る経費

	令和４年度	令和５年度	令和６年度
施設修繕費	0円	0円	0円
光熱水費	190,385円	209,192円	323,932円
管理委託料	1,899,700円	2,184,600円	2,303,400円

○浄水ユニット機器に装着する「ろ過膜モジュール」を購入しました。備品購入費1,540,000円

上記の評価と課題等

適正な維持管理と必要な修繕等を行うことで、安全で安心な飲料水を供給することができています。
山間地域のため供給戸数や使用量の増加を見込める状況にありませんが、市民の生活に必要不可欠な事業であることから、今後も施設の適正な維持管理を継続していく必要があります。

令和７年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	生活安全係

決算書ページ	173

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	04	消費者行政対策費			
	事業	0107180	消費者行政対策費		施策	消費者保護の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,103,000	7,916,173	0	186,827	97.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
31,000		地方消費者行政活性化事業	31,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

各種消費者相談に対応するとともに、消費者被害防止のための啓発活動に努めました。

1　安曇野市消費生活センター　相談員(会計年度任用職員)2名(報酬、手当　7,031,956円)

⑴　消費生活相談受付状況

令和６年度　相談受付件数：685件(内訳は次のとおり)

相談別	苦情(605)									問い合わせ要望
	店舗購入	訪問販売	通信販売	マルチ・マルチまがい	電話勧誘販売	ネガティブオプション	訪問購入	その他無店舗	不明・無関係	
件数	132	45	162	6	47	1	8	0	204	80

※　国民生活センター全国消費生活情報ネットワーク・システム（PIO-NET)での集計分類

⑵　助言、あっせんによる救済（被害未然防止・被害回復）

消費生活相談員による助言、あっせんに係る救済金額　合計 75,246,308円

2　消費者教育(需用費　746,177円)

出前講座：開催回数12回（参加者206人）

年代ごとに身近な話題の啓発用物品を購入し、中学２年生、高校２年生、２０歳、高齢者に配布しました。

上記の評価と課題等

消費生活相談員による助言、斡旋により、消費者被害の減少を図りました。

ＳＮＳを介した投資詐欺や簡単に稼げる副業などを謳った詐欺まがい商法等、連絡が取れない相手方との取引きにより救済不可能な相談内容が増加した一方、契約金額の大きい屋根工事等の被害回復あっせんにより救済額は前年よりも大きく上回りました。

相談者に対しては防犯対策や横行している手口の教示をする等、被害拡大防止に努めました。

消費者トラブルに関しては、新しい手口が発生したり流行りの手口の変遷等がめまぐるしいことから引き続き、消費生活相談員のスキルアップを図りながら、各種消費者相談に対応し、消費者被害の防止と解決に努めます。

令和７年度	
部	市民生活部
課	市民課
係等	市民担当

決算書ページ	91

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	戸籍住民基本台帳費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	戸籍住民基本台帳費			
	事業	0102490	戸籍住民基本台帳管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
193,590,000	190,391,586	0	3,198,414	98.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
68,790,873		戸籍住民基本台帳手数料	38,994,900	人口動態調査委託金	87,171
		個人番号カード交付事務費補助金	21,736,000	その他雑入（市民課）	56,392
		法改正等に伴うシステム改修整備費補助金	1,309,000	デジタル基盤改革支援補助金	2,376,000
		中長期在留者住居地等事務委託金	459,000	デジ田交付金（デジタル実装タイプ）	3,772,410

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　主な事業

●マイナ保険証一元化等の国の施策や、市の個人宅出張申請事業の実施等により、マイナンバーカードの普及が更に進み、また有効期限の経過によりマイナンバーカード・電子証明書更新件数が増加したため、市民課の受付体制を強化して対応し、令和６年度中に9,028件のマイナンバーカード交付・更新を行いました。

●デジタル化を推進して窓口の恒常的な混雑の緩和を図るため、デジタル田園都市国家構想推進交付金（デジタル実装タイプ）を活用して各支所に窓口申請ツールを設置し、市民課にキオスク端末を設置し、交付手数料を一律100円値下げして証明書コンビニ交付の推進を図りました。また、市民課に書かない窓口を導入しました。

●法改正により戸籍に振り仮名を付して通知を発出する必要が生じたため、システム改修整備費補助金を活用して戸籍システムの改修を行いました。

●令和７年度に戸籍システムの標準化を実施する必要が生じたため、デジタル基盤改革支援補助金を活用して戸籍システムの標準化に必要なデータクレンジングを行いました。

2　戸籍住民基本台帳事務

（1）戸籍事務

ア　本籍数及び本籍人口

区分	R6.3月末現在①	R7.3月末現在②	増減（②－①）
本籍数（戸籍）	39,759	39,650	△ 109
本籍人口（人）	95,879	95,247	△ 632

イ　戸籍事件取扱件数　（令和６年度）

事件名	件数	事件名	件数	事件名	件数
出　　生	664	離　　婚	236	帰　　化	6
国籍留保	0	法77条の2	91	転　　籍	295
養子縁組	57	死　　亡	1,569	訂正・更生	75
養子離縁	23	入　　籍	170	その他	71
婚　　姻	847	分　　籍	24	合計	4,128

予算				総合計画		
	款	02	総務費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	戸籍住民基本台帳費		基本方針	みんなでともにつくるまち
	目	01	戸籍住民基本台帳費			
	事業	0102490	戸籍住民基本台帳管理費		基本施策	市民の視点に立った行財政運営

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（２）住民基本台帳事務

ア　人口・世帯数

区分	R6.3月末現在①	R7.3月末現在②	増減（②－①）
人口（人）	95,953 （内外国人：1,476）	95,555 （内外国人：1,599）	△ 398 （内外国人：123）
世帯数（戸）	41,669 （内外国人：1,192）	42,101 （内外国人：1,308）	432 （内外国人：116）

イ　異動処理件数　（令和６年度）

区分	件数
転入	2,493
転出	2,372
転居	1,123
世帯変更	1,509
附票関係	11,327
合計	18,824

ウ　主な国籍別外国人住民人口　（令和７年３月31日現在）

国籍	人数（人）	外国人に占める割合
中国	300	18.76%
ベトナム	280	17.51%
ブラジル	229	14.32%
韓国・朝鮮	158	9.88%

（３）証明書・マイナンバーカード関係

ア　証明書交付手数料関係　（令和６年度）

区分		件数	手数料（円）	内コンビニ交付件数	前年コンビニ交付件数	コンビニ交付増加率
戸籍	戸籍謄抄本	13,957	6,137,150	3,140	2,646	119%
	除籍、改製原戸籍	11,110	8,332,500			
	その他戸籍関係証明	888	279,150			
住民票	住民票の写し	34,633	9,884,600	11,686	8,638	135%
	その他住民票関係証明	2,399	490,350			
	戸籍の附票の写し	2,345	691,500	285	232	123%
	住民票広域交付	41	12,300			
印鑑	印鑑登録証明書	26,000	7,377,000	10,470	8,091	129%
	印鑑登録	2,985	895,500			
税務関係諸証明		12,829	4,342,700			
臨時運行許可証		635	476,250			
その他証明		294	75,900			
合計		108,116	38,994,900	25,581	19,607	130%

予算				総合計画		
	款	02	総務費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	戸籍住民基本台帳費		基本方針	みんなでともにつくるまち
	目	01	戸籍住民基本台帳費			
	事業	0102490	戸籍住民基本台帳管理費		基本施策	市民の視点に立った行財政運営

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

イ　コンビニ交付証明書（※）関係　（R7.1.4以降は1件当たり手数料一律100円減額）
（※）上記アのうち戸籍謄抄本・住民票の写し・戸籍の附票の写し・印鑑登録証明書

年度	件数	内コンビニ交付件数	コンビニ交付割合	手数料（円）	内コンビニ交付手数料（円）
R5年度	78,299	19,607	25.04%	25,772,400	6,279,000
R6年度	76,935	25,581	33.25%	24,090,250	7,061,500
増減数	△ 1,364	5,974	8.21%	△ 1,682,150	782,500

ウ　マイナンバーカード申請・交付・保有状況　（申請・交付は更新・再発行を含む）

年度	1月1日住基人口	延べ申請件数	延べ交付件数	年度末保有率
R5年度	96,605	79,803	72,441	71.24%
R6年度	96,249	89,333	81,469	77.50%
増減数	△ 356	9,530	9,028	6.26%

上記の評価と課題等

マイナンバーカード保有率が75%を超えたこと、また、デジタル田園都市国家構想推進交付金（デジタル実装タイプ）を活用して証明書コンビニ交付環境を整備したことで、コンビニ交付利用率が8.21%上昇しました。このことにより、窓口での証明書交付件数が減少したため、窓口周辺の混雑を緩和することができました。今後はマイナンバーカード・電子証明書更新の来庁者増加が予想されるため、書かない窓口システムのより有効な活用方法を検討することで、窓口周辺の混雑を抑止し、全体の待ち時間短縮と利便性の向上につなげます。

令和７年度に戸籍振り仮名対応やシステム標準化を行うため、社会保障・税番号制度システム整備費補助金及びデジタル基盤改革支援補助金により、対応に必要なシステム改修等を行いました。システム標準化によりシステムが変更されるため、令和７年度は窓口事務処理手順の見直しと、従来システムと新システムについて市民ほか外部への周知が必要です。

令和７年度	
部	市民生活部
課	市民課
係等	市民担当

決算書ページ	93

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	戸籍住民基本台帳費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	戸籍住民基本台帳費			
	事業	0190010	【明許】戸籍総合システム管理業務		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,580,000	5,412,000	0	3,168,000	63.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,412,000		【明許】法改正等に伴うシステム改修整備費補助金	5,412,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

戸籍法・住民基本台帳法の一部改正により、戸籍情報システム・戸籍附票システムの改修を行って戸籍・戸籍附票に振り仮名を付すため、令和５年度に社会保障・税番号制度システム整備費補助金交付申請を行いましたが、システムの定義変更等によるシステム改修業務着手の遅延があったことで法務省・総務省が予算の明許繰越を行ったことから、市においても繰越明許を行いました。
令和６年７月１日に事業委託契約を締結し、令和７年２月28日にシステム改修が完了しました。

●事業費及び補助金

・令和５年度補助事業交付決定額　8,580,000円
　うち法務省分（戸籍情報システム）　4,026,000円（R6.2.29交付決定）
　うち総務省分（戸籍附票システム）　4,554,000円（R6.2.27交付決定）

・令和６年度補助事業交付変更決定額　6,226,000円
　うち法務省分（戸籍情報システム）　4,026,000円（変更なし）
　うち総務省分（戸籍附票システム）　2,200,000円（R6.7.29変更決定、△2,354千円）

・令和６年度実績額　5,412,000円
　うち法務省分（戸籍情報システム）　3,212,000円
　うち総務省分（戸籍附票システム）　2,200,000円

上記の評価と課題等

戸籍情報システム・戸籍附票システムの改修が完了し、令和７年５月26日から実施となる戸籍・戸籍附票への振り仮名の記載に必要な機能を搭載しました。

令和７年度	
部	市民生活部
課	市民課
係等	市民担当

決算書ページ	93

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	戸籍住民基本台帳費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	戸籍住民基本台帳費			
	事業	0190020	【明許】証明書コンビニ交付事業		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,156,000	2,156,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,156,000		【明許】法改正等に伴うシステム改修整備費補助金	2,156,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

戸籍法・住民基本台帳法の一部改正により、コンビニ交付システムの改修を行って戸籍・戸籍附票・住民票に振り仮名を付すため、令和５年度に社会保障・税番号制度システム整備費補助金交付申請を行いましたが、システムの定義変更等によるシステム改修業務着手の遅延があったことで総務省が予算の明許繰越を行ったことから、市においても繰越明許を行いました。
令和６年７月１日に事業委託契約を締結し、令和７年３月28日にシステム改修が完了しました。

●事業費及び補助金

・令和５年度補助事業交付決定額　　2,156,000円（R6.2.27交付決定）

・令和６年度実績額　　2,156,000円

上記の評価と課題等

コンビニ交付システムの改修が完了し、令和７年５月26日から実施となる戸籍・戸籍附票・住民票への振り仮名の記載に必要な機能を搭載しました。

令和７年度	
部	市民生活部
課	市民課
係等	市民担当

決算書ページ	93

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	戸籍住民基本台帳費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	戸籍住民基本台帳費			
	事業	0190030	【明許】市民総務費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,963,000	2,962,300	0	700	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,962,000		【明許】法改正等に伴うシステム改修整備費補助金	2,962,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

戸籍法・住民基本台帳法の一部改正により、住民基本台帳システムの改修を行って住民票に振り仮名を付すため、令和５年度に社会保障・税番号制度システム整備費補助金交付申請を行いましたが、システムの定義変更等によるシステム改修業務着手の遅延があったことで総務省が予算の明許繰越を行ったことから、市においても繰越明許を行いました。
令和６年７月１日に事業委託契約を締結し、令和７年３月28日にシステム改修が完了しました。

●事業費及び補助金

・令和５年度補助事業交付決定額　　2,962,000円（R6.2.27交付決定）

・令和６年度実績額　　2,962,000円
（事業費2,962,300円、補助金千円未満切捨て）

上記の評価と課題等

住民基本台帳システムの改修が完了し、令和７年５月26日から実施となる住民票への振り仮名の記載に必要な機能を搭載しました。

令和７年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	環境政策担当

決算書ページ	83

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	06	企画費			
	事業	0102360	水資源対策事業		施策	自然環境の保全

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
31,402,000	29,831,631	0	1,570,369	95.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
300,000		企業版ふるさと納税	300,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　安曇野市水環境審議会の開催　〔報酬・出席謝礼・費用弁償：450,220円〕

安曇野市水環境審議会（有識者、市民ら18人から構成する審議会）では、水環境基本計画及び同行動計画の施策・評価・検証等を実施し、水資源の保全・涵養並びに各種調査、水資源利用の適正化の促進について協議しました。これらの計画期間を通じた協議のほか、水環境保全の地域の担い手への普及・広報活動、安曇野の水資源を保全・PRのため設けた「あづみの水結」登録制度の充実化を検討しました。

【４/30】　第１回水環境審議会
令和５年度事業実績、地下水位・井戸水質調査結果、水収支評価、令和４年度分地下水利用状況 等

【７/29】　第２回水環境審議会
地域の担い手への普及・広報活動、地下水に関する市民アンケートの実施 等

【10/17】　第３回水環境審議会
中間年次評価と意見聴取、あづみの水結の活動報告、大阪公立大学（遠藤ゼミ）との交流報告

【３/13】　第４回水環境審議会
犀川三川合流部における地下水流動解析と涵養エリアの特定（中間報告）、あづみの水結制度要綱改正の協議、安曇野市水環境基本計画・行動計画の中間年次評価、第２次計画策定に向けての提言 等

2　地下水位等観測調査　〔委託料：4,620,000円〕

地下水位観測13か所（豊科地域６か所（内わさび田１）、穂高地域５か所（内わさび田１）、堀金地域２か所）と、湧水量観測２か所の継続実施しています。令和５年度中の地下水量は、ほぼ例年並みで、令和２年度に観測された豊科湧水観測施設（田淵行男記念館周辺）での枯渇はありませんでした。また、経年の水位変動は10年前頃から横ばいですが、最高水位が以前より低い傾向が見受けられました。

地域別では、市内北部（穂高）の水位にわずかな低下傾向が認められ、市内南部（豊科南部・堀金）ではほぼ横ばい傾向でした。

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		基本方針	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	06	企画費			
	事業	0102360	水資源対策事業		基本施策	自然環境の保全

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　水環境基本計画及び行動計画の推進　〔負担金・委託料・保険料　14,114,963円〕

人為的な地下水涵養施策として、他課と連携して、麦の刈り取り後の転作田に水を張る「麦あと湛水事業」を継続して取り組みました。（186.5万㎥／年の涵養量）

小中学校３校で出前授業、市民団体等４団体に水環境に関わる講座やワークショップを実施しました。（402人）

また、安曇野市の水環境を保全・PRする「あづみの水結」登録者の拡大と活動の充実化を図るため、加入要件や手続き方法の見直しを行いました。（登録者：25者）

４　（仮称）松本盆地流域水循環計画策定に向けた協議

アルプス地域地下水保全対策協議会において、（仮称）松本盆地流域水循環計画の策定、令和７年度の一斉測水の実施等について全５回に渡り、協議を行いました。10月には信州大学榊原助教を講師に招き自治体職員対象の地下水勉強会を実施しました。２月には、担当者会議において、計画規模・項目・事業案をまとめました。令和８年度の策定に向けて、引き続き協議を進めます。また、令和７年度に構成11町村の地下水位を調査する一斉測水の実施内容や方法について協議しました。

５　新たな人為的涵養施策の研究・検討〔委託料：6,669,998円〕

麦後湛水事業の地下水涵養効果を新たに検証しました。14か所のうち10か所で水位上昇の効果が認められましたが、冬期の涵養については課題となっています。第２次安曇野市水環境基本計画・同行動計画策定（令和９年度施行）に向け、手法や今後の方向性について協議します。また、水利権の課題については、令和６・７年度　信州大学研究業務「犀川三川合流部地下水涵養施策の効率化へ向けた地下水涵養・流動の解析」の結果を検証し、関係部署、土地改良区と協議する予定です。

上記の評価と課題等

安曇野市内における地下水位等を継続観測することで現況把握、監視等を行い、地下水の保全に取り組みました。健全な地下水環境の創出に向け、市民・事業者・市が取り組む施策を具体的に示した「水環境基本計画」に基づく行動計画の各行動施策をスケジュールに沿って進めました。８割の施策において水準を上回る・概ね水準を上回る達成度となりました。

今後は、広域的な取り組みの強化として（仮称）松本盆地水循環計画策定に向けた調整を策定事務局として進めます。また、第２次水環境異本基本計画の策定に向け、これまで蓄積した知見を活用し、より効果的な人為的涵養施策を研究・実施と、「あづみの水結」を中心とした市民や来訪者への普及啓発を行います。

令和７年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	環境保全担当

決算書ページ	133

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	04	霊園管理費			
	事業	0104140	霊園管理費		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
33,255,000	32,484,064	0	770,936	97.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
32,484,064		霊園管理料	9,507,281	霊園基金利子	290,683
		霊園管理料滞納繰越分	57,300	霊園基金繰入金	3,653,000
		霊園使用料	18,965,000		
		霊園事務手数料	10,800		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　市営10 霊園（全区画：3,786 区画）の維持管理を実施しました。
　(1) 新規販売　２区画（990,000円）　(2) 返還による再販売 18区画（6,860,000円）
　(3) 穂高墓地公園合葬墓　個別34体（累計228体）　共同153体（累計704体）
　　計187体（累計927体）
　【※新規販売可能区画 97区画（荻原公園墓地）】

2　聖域・聖地修繕 〔施設修繕費：2,662,339円〕
　(1) アルプス霊園不凍栓不良修繕 26,180円
　(2) 西浦霊園聖地区画番号表示板修繕 314,160円
　(3) 飯田霊園外灯ランプ取替修繕 124,300円
　(4) 穂高墓地公園水飲水栓漏水修繕 7,337円
　(5) 豊科３霊園外灯塗装等修繕 478,500円
　(6) 堀金霊園トイレ浄化槽ブロアー交換修繕 488,462円
　(7) 堀金霊園トイレ棟屋根瓦修繕 693,000円
　(8) 堀金霊園北３号聖地納骨室水抜き修繕 180,000円
　(9) 返還聖地修繕 350,400円

3　霊園管理〔役務費・委託料：9,272,450円〕
　(1) 〈浄化槽定期点検、し尿汲み取り、水道設備開閉栓、蜂の巣駆除：160,600円〉
　　・アルプス霊園5,000円、上沢霊園17,700円、飯田霊園3,300円、黒澤霊園 13,500円、
　　堀金霊園 81,500円、荻原公園墓地 39,600円
　(2) 〈霊園等清掃ほか：7,644,890円〉
　　・アルプス霊園･上沢霊園･西浦霊園 1,199,990円、飯田霊園 484,000 円、
　　穂高墓地公園 2,521,200円、黒沢霊園 1,379,400円、堀金霊園 573,100円、
　　下押野霊園 178,200円、荻原公園墓地 1,089,000円、みどりヶ原霊園 137,500円、
　　穂高墓地公園(合葬墓) 82,500円
　(3) 〈浄化槽維持管理：120,560円〉
　　・アルプス霊園 22,660円、堀金霊園 97,900円

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		基本方針	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	04	霊園管理費			
	事業	0104140	霊園管理費		基本施策	良質な住環境の整備

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

(4) 〈埋蔵：851,400円〉
・穂高墓地公園(合葬墓) 851,400円
(5) 〈樹木伐採等：495,000円〉
・穂高墓地公園支障木伐採 495,000円

４　霊園整備工事 〔工事請負費：495,000円〕
(1) ３霊園案内板改修工事495,000円

上記の評価と課題等

年間を通じて、市営霊園10か所3,786 区画、合葬式墳墓932体（個別埋蔵室228体、共同埋蔵室704体）の適切な維持管理と経営運営を行いました。
合葬墓について承継者がいない方や遺骨があっても埋蔵場所のない方でも安心して使用できるよう２基目の建築を令和８年度に計画しています。合葬墓を提供することにより墓じまいへの対応、家族墓の無縁化を防ぐことが期待できます。

令和７年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	環境政策担当

決算書ページ	133

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	環境衛生費			
	事業	0104150	環境基本計画推進事業		施策	自然環境の保全

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
10,441,000	9,066,350	0	1,374,650	86.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
417,920		その他刊行物頒布代（レッドデータブック）	122,920		
		ちくに生きものみらい基金繰入金	293,000		
		郷土博物館刊行物等分布代	2,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　安曇野市環境審議会の開催
安曇野市環境審議会（環境基本法の規定により、設置）では、第２次環境基本計画を推進するため、「環境審議会」を４回開催し、環境行動計画に基づく、実施計画の事業の推進や啓発活動、進捗状況の確認、評価・意見を行い、年次報告書を作成しました。

２　「安曇野環境フェア」10/12・13　　［報償・消耗品・委託：3,190,290円］
「安曇野環境フェア」は「環境にやさしい安曇野ぐらし、身近なライフスタイルを変えてみよう」をテーマに開催し、出展ブース47団体（環境に関する課題を提供する）の参加がありました。
来場者数　2,100人（１日目約1,000人　2日目約1,100人）

３　「安曇野環境市民ネットワーク」活動
「安曇野環境市民ネットワーク」には、環境活動を行っている23団体が加盟しています。登録団体の開催するイベント、環境関連情報は、メーリングリストや、市サブサイトのWebページ「安曇野エコプラン.net」等にて発信しました。
主催・共催事業の開催については広報誌で周知の他、チラシの配布、「環境学習プログラム」については、市内小・中学校等に配布しました。
（※メーリングリスト：登録した複数の受信者に同じメールを同時に配信）

5/25　第１回　環カフェ「緑のカーテン講座」　参加者43名
7/26　第２回　環カフェ　「特定外来生物　アライグマ　の学習」　参加者19名

４　環境講座（環境学習会）活動［自然観察会委託：880,000円］
自然観察会
7/6　第１回　光城山で生き物を探してみよう　　抽選により35人（申込76人）
7/27　第２回　清流烏川にどんな生きものがいるか探してみよう　抽選により28人（申込101人）
2/22　第３回　清流高瀬川で続くカジカ漁を学ぼう　　抽選により35人（申込88人）

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		基本方針	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	環境衛生費			
	事業	0104150	環境基本計画推進事業		基本施策	自然環境の保全

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

5　安曇野市版レッドデータブック改訂版［委託：1,529,000円　製本・概要版：1,857,900円］

絶滅のおそれのある種の現状を明らかにし、種の保全に取り組むための基盤となる「安曇野市版レッドデータブック2014」の内容を最新のものに改訂した概要版のコンパクト展示、普及啓発のための安曇野環境フェア2024での発表を行いました。

販売数（R7.3.31　現在）

安曇野市版レッドデータブック2014　　66冊

安曇野市版レッドデータブック2024　　44冊

6　特定外来生物駆除事業

アレチウリは各区の一斉駆除で、延べ5,338人に活動を行っていただきました。

市民団体などの協力のもとオオカワヂシャも駆除しました。

上記の評価と課題等

・環境フェアは、出展ブース４７団体と来場者2,100人となり、出展者と来場者が交流を深め、環境に関する課題を市民が共有できる場となっています。

・自然観察会年３回行い、申込者が多く今後、どのような体制で行うかを検討し進める必要があります。

令和７年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	環境保全担当

決算書ページ	135

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	環境衛生費			
	事業	0104160	環境衛生総務費		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
263,787,000	262,017,777	0	1,769,223	99.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,726,409		狂犬病予防注射済票交付手数料	2,524,600		
		犬の登録手数料	1,350,800		
		霊園管理料	851,009		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　狂犬病予防事業（決算額：2,425,038円）
　(1) 犬の登録と狂犬病予防注射を実施し、それぞれ鑑札、注射済票を交付しました。
　(2) 狂犬病予防注射は、広報及び飼い主への年１回のはがき郵送による周知を行いました。
　・登録頭数 5,152頭（前年度 5,256頭）
　・新規登録（鑑札交付件数） 584頭（前年度 651頭）
　・再登録（鑑札交付件数） 38頭（前年度 33頭）
　・注射済票の交付数 4,594頭（新規4,584頭+再交付10頭）（前年度 4,714頭）

2　動物の愛護及び管理
　犬の糞の持ち帰り啓発用看板を希望者に貸与しました。
　・迷い犬等保護件数 41件（前年度 35件） 看板貸出数 48件（前年度 30件）
　・ニャンでも相談 ２回13件（前年度２回11件）

3　猫不妊・去勢手術費用補助 〔補助金：426,323円〕
　飼い主のいない猫の増加を防止し、猫被害の拡大を防止するため、動物愛護団体に対して、地域猫の不妊・去勢手術費用を補助しました。
　・不妊、去勢手術頭数 35頭（ｵｽ12頭、ﾒｽ23頭）（前年度32頭（ｵｽ８頭、ﾒｽ24頭）

4　迷い犬捕獲業務 〔委託料：14,850円〕
　市内において迷い犬を捕獲した際、確保された場所から市役所へ迷い犬を搬送し、飼い主から保護確認があるまで一定期間預かりました。
　・搬送頭数 41頭（前年度 35頭）

5　公衆便所の管理 （決算額：1,230,202円）
　公衆便所２か所（豊科駅前・豊科新田公民館前）の適正な管理を行いました。

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		基本方針	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	環境衛生費			
	事業	0104160	環境衛生総務費		基本施策	良質な住環境の整備

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

６　安曇野松筑広域環境施設組合負担金、火葬料扶助費　〔負担金・扶助費：70,835,000円〕

(1)広域豊科葬祭センターの管理経営費を拠出しました。

・組合負担金 61,763,000円（前年度 54,364,000円）

(2)火葬料無料化に伴う負担金　（広域豊科葬祭センター利用分）

遺　体	1,255件	8,785,000円	（前年度 1,195件　8,365,000円）
死産児	10件	35,000円	（前年度　５件　17,500円）
計	1,265件	8,820,000円	（前年度 1,200件　8,382,500円）

(3)広域豊科葬祭センター以外の火葬場を使用した場合の火葬炉使用料（一部）を扶助しました。

申請件数　遺体36件（前年度　遺体16体）

支出合計　252,000円（前年度 112,000円）

上記の評価と課題等

狂犬病予防の集合注射を年３回（４月・６月・10月）実施しました。

市民が火葬施設を使用する場合の火葬費用の負担を補助し、市民の経済的負担軽減に努めました。

豊科駅前公衆便所は、給排水管等の老朽化が見受けられることから、機能や快適性の向上を図るため、内装及び水設備等の改修を令和８年度に計画します。

令和７年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	環境保全担当

決算書ページ	135

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	環境衛生費			
	事業	0104170	合併浄化槽補助事業		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
12,606,000	12,563,000	0	43,000	99.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,804,000		浄化槽設置整備補助金（国庫支出金）	3,588,000		
		浄化槽設置整備補助金（県支出金）	3,216,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　合併浄化槽補助事業　〔補助額：12,556,000 円〕

　下水道事業計画区域外の水洗化を図るため、合併処理浄化槽の設置費用の一部を補助することで生活環境の向上及び公共用水域の水質改善を図りました。

2　設置基数

人 槽	設置基数	補助金額（千円）	内　　訳
５人槽	20基		豊科地域３基、穂高地域16基、明科地域１基
6～7人槽	３基	国　3,558千円	穂高地域３基
8～10人槽	１基	県　3,216千円	穂高地域１基
合計	24基		

上記の評価と課題等

　下水道事業計画区域外の地域の生活環境の向上及び公共用水域の水質改善を図るため、関係機関と協力して、浄化槽の維持管理を指導しました。

令和７年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	環境保全担当

決算書ページ	137

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	06	公害対策費			
	事業	0104180	公害対策費		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,976,000	5,805,296	0	1,170,704	83.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　公害対策費　〔委託料：4,318,600円〕

河川水質・地下水質・大気中窒素酸化物・道路騒音・自動車騒音常時監視等の各種検査、測定を実施し、公害の発生を監視しました。

- 大気中窒素酸化物測定調査　３地点（通年）　376,200円
- 自動車交通騒音測定　８地点（12月）　1,529,000円
- 自動車騒音常時監視及び面的評価業務　３路線　990,000円
- 河川水質検査 26箇所（８月）　396,000円
- 地下水（井戸水）水質検査 28地点（７・２月）　770,000円
- 地下水（井戸水）硝酸態窒素検査　257,400円

2　臭気対策事業　〔委託料ほか：1,292,498円〕

三郷地域の畜産臭気を把握するため、臭気モニターによる臭気確認、公害監視員による巡回監視と畜産事業者の臭気指数測定を実施しました。

- 畜産臭気指数調査　６か所18回（７～９月）　653,290円
- 畜産臭気指数調査　２か所２回（２月）　110,000円
  ※夏期に指数超過した畜産農家のみ
- 臭気対策アドバイザー派遣業務　256,108円
- 臭気モニター15名（12か月）への調査謝礼　180,000円
- 公害監視員２名（週１回：計98日）への調査謝礼　93,100円

上記の評価と課題等

公害測定（環境調査）の実施や常時監視により、健康で快適な市民生活環境を保持しました。

三郷地域の畜産臭気指数測定（７～９月、延べ18 回）では、畜産業者６者のうち２者で計４回規制値を超過しましたが、令和７年２月に再度測定したところ規制値以下となりました。

引き続き臭気指数測定を実施し、監視体制の継続を行うとともに、必要に応じて指導を行います。

令和７年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	資源循環推進担当

決算書ページ	139

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	清掃費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	清掃総務費			
	事業	0104210	清掃費		施策	循環型社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
769,480,000	765,801,692	0	3,678,308	99.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
107,698,614		一般廃棄物許可申請等手数料	340,000		
		可燃ごみ処理手数料	100,550,000		
		動物死骸処理手数料	841,500		
		資源売却代	5,967,114		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　廃棄物収集運搬事業（決算額　372,237,141円）

市内の指定集積場所に排出される一般廃棄物（可燃・不燃ごみ）の収集運搬を５事業者に委託し、穂高クリーンセンター等へ搬入しました。

令和６年度に穂高クリーンセンターに搬入された家庭系可燃ごみは、約12,808tで前年度比1.0%増加しました。また、穂高クリーンセンター及び一般廃棄物最終処分場等に搬入された不燃ごみは、約325tで、前年度比3.7%減少しました。

【ごみ処理量の推移】（事業系ごみを除く）　（単位：ｔ）

年度	２年度	３年度	４年度	５年度	６年度
可燃物	13,520	13,557	13,528	12,680	12,809
不燃物	463	404	366	339	326
計	13,983	13,983	13,894	13,019	13,135

※不燃物は、ガラス・陶器類と金物類及びブロック・瓦等の合計

２　し尿処理

し尿（し尿浄化槽汚泥・農集排施設汚泥を含む）処理は、許可業者４事業者が収集し、穂高クリーンセンターへ搬入しました。搬入量は、10,575kℓで前年度比20.7%増加しました。

（単位：kℓ）

年度	２年度	３年度	４年度	５年度	６年度
し尿	7,572	6,891	6,590	6,350	6,650
浄化槽等	2,886	3,294	2,805	2,411	3,925
計	10,458	10,185	9,395	8,761	10,575

※浄化槽等は浄化槽汚泥と農集汚泥の計

３　不法投棄対策事業（決算額　4,695,538円）

不法投棄防止と投棄物の早期発見のため、15人の不法投棄監視連絡員を委嘱し、常習箇所を中心にパトロールを延べ628日実施しました。

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	2	清掃費		基本方針	自然と共存・共生するまち
	目	1	清掃総務費			
	事業	0104210	清掃費		基本施策	快適な生活環境の創造

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　市内一斉清掃の実施

５月26日と11月３日を市の一斉清掃日として、年２回の市内一斉清掃を実施しました。
延べ395団体34,526人の参加をいただきました。

５　穂高広域施設組合事業（決算額　385,122,000円）

穂高広域施設組合の管理運営及び施設整備等の負担金を拠出しました。

上記の評価と課題等

市民や事業者の皆さんによる「市内一斉清掃」は、地域の美化につながる大切な取り組みとして、毎年行われています。

また、不法投棄の監視を行う「不法投棄監視連絡員」が定期的にパトロールをしており、ゴミが捨てられやすい場所を把握し、防止看板の設置などの対策をとっています。

今後もこうした活動を続けていくとともに、市民一人ひとりが「ゴミをポイ捨てしない」という意識を持てるよう、小学生向けの環境学習や、市の広報紙・ホームページなどを通じた啓発活動を行い、きれいなまちを守っていきます。

令和７年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	資源循環推進担当

決算書ページ	139

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	清掃費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	じんかい処理費			
	事業	0104220	ごみ減量化再利用対策事業		施策	循環型社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
27,515,000	24,004,499	0	3,510,501	87.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,018,000		資源売却代	3,733,000		
		再商品化合理化拠出金配分金	285,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１ごみ減量化再利用対策事業

（１）「ごみ・資源物収集カレンダー」、ごみ分別促進アプリ「さんあ～る」により分別方法の周知等に努めました。（4,382,000円）
- 「ごみ・資源物収集カレンダー」作成・・・1,817,200円
- 「さんあ～る」配信システム使用料・・・158,400円
- 「令和７年４月改訂版　家庭用資源物・ごみ出し方の手引」作成・・・2,406,400円

（２）緑のリサイクル事業により、家庭から出るせん定枝の資源化に務めました。（2,824,800円）
- 緑のリサイクル事業せん定枝破砕業務委託料・・・976,800 円
- 緑のリサイクル事業　樹木粉砕機購入・・・1,848,000円

（３）生ごみ処理機器等購入補助金を交付し、生ごみの減量を図りました。
- 生ごみ処理機器等購入費補助金・・・248件、4,135,800円
  （内訳：生ごみ処理機161件、コンポスター72件、せん定枝破砕機15件）

上記の評価と課題等

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律第３３条第１項に規定する認定を受けプラスチック資源の回収を令和７年度から実施する環境が整いました。

市内一斉清掃（年２回）が定着しており、令和６年度は令和５年度に比べ実施団体は横ばいとなっています。

市内の小学４年生が行う穂高クリーンセンターの施設見学に合わせ、市の担当者が出向き、ごみの分別方法や資源化について説明し、ごみを減らすために一人ひとりができる取り組みについて案内しました。

また、生ごみ処理機器等の購入補助、広報紙、ホームページ、ごみ分別促進アプリ及びラインを活用し、ごみ減量化の推進に取り組みます。

プラスチック資源の回収開始のため、「令和７年４月改訂版　家庭用資源物・ごみ出し方の手引」作成・配布を実施しました。

令和７年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	資源循環推進担当

決算書ページ	141

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	清掃費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	じんかい処理費			
	事業	0104230	最終処分場施設管理事業		施策	循環型社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,602,000	6,910,000	0	1,692,000	80.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　最終処分場施設管理事業

（1）三郷一般廃棄物最終処分場及び小岩岳不燃物処理場周辺の環境整備に努めるとともに、地下水への影響を調査するため、水質検査を実施しましたが、異常は認められませんでした。

・放流水・周辺地下水等水質検査及びダイオキシン類検査業務委託・・・3,787,960円
※検査場所は、旧豊科最終処分場、小岩岳不燃物処理場、三郷一般廃棄物最終処分場

（2）小岩岳不燃物処理場を管理運営し、家庭から排出されるブロック、コンクリート、瓦、タイル、壁土及び土砂並びに地区河川清掃等から排出される土砂約184tを処分しました。

上記の評価と課題等

三郷一般廃棄物最終処分場は、令和３年度末に埋立終了となりましたが、引き続き水質検査等を実施し、跡地利用（緑地化）に向け適正な維持管理を行います。

小岩岳不燃物処理場についても協定に基づき、引き続き適正な管理・運営に努めます。

令和７年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	資源循環推進担当

決算書ページ	141

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	清掃費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	じんかい処理費			
	事業	0104240	リサイクルセンター管理運営事業		施策	循環型社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
15,927,000	14,251,035	0	1,675,965	89.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,562,910		木くず受入処理手数料	913,110		
		資源売却代	1,345,000		
		リサイクルセンター再生品販売代	304,800		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　リサイクルセンター施設管理事業

市内３施設で資源物の受け入れを行い、事業者委託による資源物の適正運搬及び施設の点検により、確実に施設を開場することができました。

施設利用者数は、３施設の合計が53,601人で前年度からは微増となりました。

緑のリサイクルでは受け入れることのできないせん定枝（太さが８cmを超えるもの）や木製の家具等を豊科リサイクルセンターで有料で受け入れる「木くずのサーマルリサイクル事業」では、51,820kgを熱源としてリサイクルすることができました。

また、事業系一般廃棄物の減量を目的とし、３施設において事業系資源物(紙類)を受け入れています。

なお、市内３施設で回収した不要自転車は、修繕後、安曇野環境フェア2024において「リサイクル自転車」として59台を販売しました。

【稼働実績】

施設名	年度	利用者数	資源物受入日数	１日平均利用者数
豊科リサイクルセンター	6	27,242	126	216.2
	5	27,283	128	213.1
	4	26,350	126	209.1
	3	26,535	126	210.6
	2	24,627	126	195.5
穂高リサイクルセンター	6	26,601	102	260.8
	5	25,348	104	243.7
	4	23,110	102	226.6
	3	22,458	102	220.2
	2	23,237	102	227.8
明科リサイクルセンター	6	3,918	48	81.6
	5	4,025	48	83.9
	4	4,141	47	88.1
	3	4,109	46	89.3
	2	4,126	46	89.7
合　計	6	57,761	―	―
	5	56,656	―	―
	4	53,601	―	―
	3	53,102	―	―
	2	51,990	―	―

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	清掃費		基本方針	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	じんかい処理費			
	事業	0104240	リサイクルセンター管理運営事業		基本施策	循環型社会の実現

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

【資源物の受入量】　（単位：ｔ）

施設名	年度	新聞	雑誌・雑紙	段ボール	紙パック	紙製容器包装	衣類
豊科リサイクルセンター	6	48.93	43.61	23.48	0.90	11.53	16.03
	5	57.54	45.97	25.35	1.00	10.70	16.59
	4	64.70	60.23	28.24	0.99	10.97	19.08
	3	64.52	62.97	31.75	1.07	10.81	33.03
	2	68.87	71.00	32.03	1.09	12.20	20.50
	年度	ペットボトル	ガラスびん	缶	プラ製容器包装	蛍光管・乾電池	合計
	6	6.63	54.06	5.97	19.66	3.02	233.82
	5	6.76	53.70	6.35	19.22	3.00	246.18
	4	6.44	52.69	6.65	18.47	3.11	271.57
	3	6.78	49.52	7.13	18.14	3.27	288.99
	2	5.99	51.14	7.26	16.50	3.27	289.85

施設名	年度	新聞	雑誌・雑紙	段ボール	紙パック	紙製容器包装	衣類
穂高リサイクルセンター	6	39.07	36.26	24.01	1.05	11.79	13.07
	5	43.83	37.09	22.92	1.18	12.43	16.60
	4	47.90	44.72	25.92	1.05	11.66	23.05
	3	48.91	43.62	27.03	1.08	10.82	29.08
	2	45.08	48.55	25.33	1.14	10.70	13.63
	年度	ペットボトル	ガラスびん	缶	プラ製容器包装	蛍光管・乾電池	合計
	6	9.73	59.48	8.74	16.79	—	219.99
	5	9.73	60.10	8.68	17.50	—	230.06
	4	9.64	56.13	9.04	17.74	—	246.85
	3	8.96	55.26	8.31	16.60	—	249.67
	2	8.19	52.15	8.70	14.71	—	228.18

施設名	年度	新聞	雑誌・雑紙	段ボール	紙パック	紙製容器包装	衣類
明科リサイクルセンター	6	16.94	10.03	7.47	0.15	3.54	3.46
	5	19.62	10.83	7.64	0.11	2.42	4.19
	4	21.95	14.15	8.31	0.27	3.35	5.74
	3	24.10	13.14	9.52	0.22	3.55	6.07
	2	23.66	16.79	9.94	0.17	3.89	4.58
	年度	ペットボトル	ガラスびん	缶	プラ製容器包装	蛍光管・乾電池	合計
	6	2.16	9.73	1.59	6.09	0.81	61.97
	5	1.95	9.40	2.01	6.46	1.00	65.63
	4	1.95	10.82	1.87	5.85	0.86	75.12
	3	1.76	10.63	2.00	6.07	1.05	78.11
	2	2.04	11.02	2.37	6.08	1.34	81.88

令和７年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	資源循環推進担当

決算書ページ	141

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	清掃費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	03	雑排水処理費			
	事業	0104260	雑排水処理事業		施策	循環型社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
23,919,000	22,057,517	0	1,861,483	92.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
30,523		穂高生活雑排水浄化処理場水道使用料	30,523		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　生活雑排水処理施設管理事業

（１）生活雑排水浄化処理場の管理を委託し、４事業者が定期的に市内で汲取った生活雑排水汚水・汚泥を処理場に搬入し、希釈後に下水道へ放流しました。

　定期的に槽の清掃等を実施し、適正な施設管理に努め、下水道に放流される水質検査を実施しました。また、臭気対策として、環境調査事業者による臭気測定を実施しています。

（単位：kℓ）

年度	２年度	３年度	４年度	５年度	６年度
雑排水汚泥処理量	2,708.3	2,540.7	2,409.4	2,344.0	2,270.0

・管理作業委託　　4,766,850円
・槽清掃　第１貯留槽　　981,200円（年２回実施）
　　第２貯留槽　　2,442,000円（年６回実施）
　　沈砂槽　　1,498,200円（年３回実施）
・消防用設備等点検　　44,000円
・水質検査　　132,000円（年６回実施）
・臭気指数測定　　426,800円（年４回実施）

（２）柏原団地に設置されている穂高柏原生活雑排水浄化処理場を管理し、放流水質の安定を図りました。老朽化した施設であり、軽微な故障も多くなっていますが、安定的な管理に努めています。

・ポンプ等修繕　　237,050円

上記の評価と課題等

　下水道の普及に伴い家庭雑排水の処理量は減少してきていますが、下水道に接続していない家庭から排出される家庭雑排水による水質汚濁を防止するため、現在の処理体制を継続し維持することが必要です。

　なお、老朽化が進む穂高柏原生活雑排水浄化処理場については、計画的な施設修繕を行い安定した水処理が行えるよう管理運営に努めます。

令和７年度	
部	市民生活部
課	ゼロカーボン推進課
係等	ゼロカーボン推進係

決算書ページ	135

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	環境衛生費			
	事業	0104155	ゼロカーボン推進事業		施策	脱炭素社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
202,453,000	169,101,398	33,185,000	166,602	83.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
153,334,000		地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	137,334,000		
		企業版ふるさと納税	1,000,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	15,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　住宅用地球温暖化対策設備設置補助

市民ニーズの高まりを踏まえ、補助件数・金額を拡充して対応しました。

	R5		R6	
対象設備	件数	補助金額	件数	補助金額
太陽光発電システム	192	14,400,000	236	17,700,000
定置型蓄電システム	117	8,775,000	161	12,075,000
電気自動車等充給電設備（V2H）	9	675,000	11	825,000
太陽熱利用システム	5	250,000	9	450,000
合計	323	24,100,000	417	31,050,000

※補助額・・・太陽光発電システム、定置型蓄電システム、V2H：一律75,000円
太陽熱利用システム　：一律50,000円

2　地域資源活用による脱炭素化推進事業

環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）」を活用し、地域エネルギー会社と連携して、再エネの地産地消の拡大に取り組みました。

・令和６年６月に安曇野RE株式会社と「再生可能エネルギー導入促進等の脱炭素に向けた取組みに関する連携協定」を締結
・公共施設等への自家消費型太陽光発電設備の設置（PPA方式）：13か所
・地域資源を活用したバイオマス燃料製造設備の整備：1か所

上記の評価と課題等

住宅や公共施設等への太陽光発電設備等の設置により、再生可能エネルギーが活用されることで、二酸化炭素排出量が削減されました。また、温浴施設等へのバイオマス燃料の供給に向け、地域の未利用資源を活用した燃料製造設備の整備を図りました。

ゼロカーボンシティの実現に向けては、市民や事業者と危機意識を共有しながら、市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策を着実に推進する必要があります。

令和７年度	
部	市民生活部
課	移住定住推進課
係等	移住定住推進係

決算書ページ	79

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	06	企画費			
	事業	0102322	移住定住推進事業		施策	移住・定住の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
63,382,000	62,148,517	0	1,233,483	98.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
31,727,000		地域少子化対策重点推進交付金	8,008,000		
		結婚応援イベント参加者負担金	69,000		
		UIJターン就業移住事業	22,650,000		
		UIJターン補助金返還金	1,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　結婚応援事業

○ 結婚応援事業

結婚相談業務を委託し、ながの結婚マッチングシステムへの本登録業務や、個別相談に対応しました。また婚活イベントを委託にて開催し、県内外から23名の参加がありました。

・結婚相談　相談件数　年間 1,139件　・婚活イベント11月30日（参加者23人）

・結婚応援事業全体での成婚 2件、交際への発展 23件

○ 結婚新生活支援補助

夫婦ともに39歳以下であり、前年夫婦の合計所得が500万円未満の新婚世帯を対象に、結婚に伴う新生活への支援を目的として住宅取得や家賃、引っ越し費用等に対して補助金を交付しました。結婚を機に37人が市内へ転入し社会動態の増加にもつながりました。

補助金交付件数(世帯)	年度	令和５年度	令和６年度
	新規	29世帯	38世帯
	継続	－	12世帯
	交付金額	9,512,000円	15,476,000円

※新規世帯には前年度資格認定世帯含む

2　移住定住推進事業

市のサポートを通じて県外から移住した人（行政サポート移住者）は、59世帯112人となり、令和５年度と比較し17世帯21人増加しました。なお長野県が公表する毎月人口異動調査に基づく令和６年の社会増加数は467人、総務省が公表する令和６年住民基本台帳人口移動報告に基づく「0歳から14歳まで」の年少人口の社会増加数は160人、「25歳から49歳まで」の子育て世代の社会増加数は364人となりました。各統計からも継続して社会増となっています。

行政サポート移住者数	年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
	移住者数	42人	92人	91人	112人
	世帯数	22世帯	45世帯	42世帯	59世帯
	(内子育て世帯)	(5世帯)	(8世帯)	(13世帯)	(9世帯)

※子育て世帯は18歳未満の者を含む世帯（当該年度4月1日時点）

長野県毎月人口異動調査に基づく社会増加数	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
	197人	574人	407人	467人

予算				総合計画		
	款	02	総務費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		基本方針	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	06	企画費			
	事業	0102322	移住定住推進事業		基本施策	移住・定住の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○ 信州安曇野ぐらしPR展の開催

東京駅に隣接する「KITTE丸の内」地下1階「東京シティアイ」にて安曇野で暮らす魅力を発信するイベントを開催しました。あづみの移住大使 篠原信一氏のトークショーと移住相談のほか農産物の試食販売、観光案内、安曇野観光メタバース体験、ワークショップ等を実施しました。他部署と連携し、安曇野市の多様な魅力を発信し体感できる出展を行いました。

・開催日　10月18日（金）、19日（土）　施設全体への来場者数　6,467人（スタッフ出入含）

○ 安曇野暮らしセミナー・移住交流ツアー等の開催、移住フェアへの出展

東京・名古屋・大阪にて市主催のセミナー・相談会を開催したほか、オンラインセミナーや移住ツアーを開催し、移住希望者へ安曇野の暮らしを紹介しました。また全国の自治体が集結する「移住フェア」や、長野県主催の「移住セミナー」等へ出展し、安曇野市で生活する魅力の発信や相談を行いました。

・市主催セミナー・相談会の開催　全７回　（参加者 88人）
・オンラインセミナーの開催　全６回　及び過去のセミナー配信　（参加者 280人）
・移住ツアーの開催　全３回　（参加者 56人）
・移住フェア等への出展　全10回　（安曇野市ブースへの来訪者数 378人）

○ 個別相談対応

移住希望者と窓口、電話、メール、オンラインにて個別の相談を行いました。

相談受付数	年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
	相談件数	135件	167件	244件	288件

○ おためし住宅

三郷小倉にある旧教員住宅を、移住希望者が生活体験をするための施設として貸付を行いました。

利用者数	年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
	申請件数	19件	47件	94件	99件
	利用人数	48人	135人	229人	248人

○ UIJターン就業・創業移住支援事業補助金

東京圏及び愛知県、大阪府からの移住者が県のマッチングサイトで就職した場合など各種要件を満たす方を対象に、移住に伴う費用への支援を目的として補助金を交付しました。

		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
補助金 交付件数(世帯)	移住者数	1人	14人	43人	58人
	世帯数	1世帯	7世帯	18世帯	28世帯
	(内子育て世帯)	－	－	(9世帯)	(11世帯)
	交付金額	600,000円	5,400,000円	25,000,000円	40,800,000円

※子育て世帯は18歳未満の者を含む世帯（当該年度4月1日時点）

※令和６年度については、交付後の交付取消（戻入）により決算額は27世帯35,800,000円

上記の評価と課題等

【結婚応援事業】

結婚新生活支援補助は、利用者の新婚生活スタートアップ支援を目的として一定の効果がありましたが周知が課題です。今後は、市内企業へのPRなど周知方法を工夫し、結婚前の認知度向上を図ります。

【移住定住推進事業】

都市部で開催された移住フェアへの参加等により、移住先を探している方へ市の認知度を高める効果がありました。今後も市の社会増が継続するよう、ターゲット層である子育て世代や若者に向けた安曇野で暮らす魅力の発信強化や、情報入手先となっている市の移住ポータルサイトのリニューアル、官民連携による相談対応などにより、移住支援体制の充実を図ります。

令和７年度	
部	市民生活部
課	移住定住推進課
係等	空家活用係

決算書ページ	135

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	環境衛生費			
	事業	0104185	空家等対策事業		施策	空き家対策の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
45,691,000	44,839,753	0	851,247	98.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
21,628,000		空き家対策総合支援事業補助金	6,628,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	15,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

空家対策を総合的に推進するため、第２次安曇野市空家等対策計画（令和５年度～令和９年度）の目標達成につながるよう、予防・管理・利活用・適正管理への対応を官民連携により実施しました。

1　空家等対策事業

○空家等対策協議会

事業計画の推進、特定空家の認定報告、改正空家特措法に係る管理不全空家への対応、空家等管理活用支援法人の指定に関する要件等について協議を行いました。

○安曇野市空き家バンク

空き家バンク登録事業者との連携強化を図るため、物件登録の効果的な方法の講義やバンク要綱の改正、空家の情報提供、補助金制度の周知とともに、事業者との意見交換会を行いました。

○空家データの更新

実態に近い空家戸数を把握するため、区協力（ゼンリン住宅地図活用）による空家に関する報告や相談、苦情案件を精査し、GIS等による空家台帳を更新しました。解体や利活用により空家の解消を進めていますが、所有者の高齢化等を背景に令和６年12月末時点では前年末より増加となっています。

市が把握している空家数（各年度の12月末時点）	令和３年末	令和４年末	令和５年末	令和６年末
	1,086戸	931戸	979戸	1,024戸

○苦情案件や特定空家等に係る空家調査

管理不全による環境や景観、保安上問題のある空家等について、現地確認、所有者等調査を行ない、改善すべき事案の具体的な助言、指導を行いました。

・苦情件数185件に対し現地確認等を実施
・令和６年度末特定空家数23戸
（令和５年度末特定空家戸数12戸、令和６年度新規認定数13戸、令和６年度解消件数２戸）

○地域おこし協力隊員の採用

令和６年度から明科地域を中心に空き家の掘り起こし、マッチング促進のため地域おこし協力隊員１名を採用しました。「人と地域をつなぐ空家活用へのチャレンジ」をミッションとして民間団体と連携し、空き家活用と移住促進に取り組みました。

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		基本方針	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	環境衛生費			
	事業	0104185	空家等対策事業		基本施策	空き家対策の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○空家等対策補助金

補助メニューや補助率、補助金額の拡充を行い、所有者及び活用希望者のニーズに対応しました。

令和５年度			令和６年度		
メニュー	件数	補助金額	メニュー	件数	補助金額
片付け・清掃	13	1,122,000	片付け・清掃	10	914,000
解体	17	9,731,000	解体	29	16,803,000
解体（重点支援空家）	3	3,000,000	解体（重点支援空家）	0	0
ようこそ。安曇野へ	11	8,800,000	ようこそ。安曇野へ	15	11,657,000
活かそう。地域資源	5	1,431,000	活かそう。地域資源	3	900,000
おかえり。安曇野へ	6	2,440,000	おかえり。安曇野へ	0	0
長期体験。安曇野くらし	0	0	長期体験。安曇野くらし	0	0
空き家バンク登録支援	7	738,000	空き家バンク登録支援	10	1,122,000
空き家バンク移住者支援	8	651,000	空き家バンク移住者支援	12	1,181,000
地域活性化空家活用事業	0	0	地域活性化空家活用事業	1	2,400,000
地域活性化土地活用事業	0	0	地域活性化土地活用事業	0	0
	70	27,913,000		80	34,977,000

２　官民連携による事業

○令和６年７月に一般社団法人全国古民家再生協会長野県連合会と古民家・空き家活用に関する包括連携協定を結びました。

○明科駅周辺まちあるき空き家空き店舗見学会　連携事業者：明科駅周辺まちづくり委員会

過疎地域における賑わい創出と持続可能なまちづくりを目的に、空家等の利活用を促進するため、地域の魅力を伝達しながら、所有者と活用希望者とのマッチングを行いました。年４回開催で９物件を紹介し、うち５物件の利活用者が決まりました。

・５月18日、８月24日、11月９日、２月15日　全４回開催（参加者：全48名）

○空家啓発講演会

令和６年４月から相続登記の申請が義務化されたことにより、相続等に関心が高まっていることから、一般社団法人全国古民家再生協会長野県連合会との共催で下記のテーマによる講演会を開催しました。

・２月８日開催（参加者　26名）

「法定相続・遺言・遺産分割」　～あなたの想いを未来につなげる相続手続き～

「空き家1000万戸時代」　～我が家・実家を空き家にしないために今からできる事～

○啓発冊子の作成及び配布

空き家問題への関心を高め、自発的な行動につなげるため、【安曇野”住まいの終活のススメ”ハンドブック」～空家の予防・診断・活用チェックシート～】と題した冊子を民間業者と共同で作成しました。

上記の評価と課題等

空家対策補助金により、空家の解体や市空き家バンクへの登録による利活用が進んだことで、生活環境の改善や移住定住が促進されました。

空家課題に関する所有者や地域の意識は高いとは言えず、管理不全空家の防止、利活用されない空き家の改善に向けて意識醸成につながるイベントの企画、広報やSNSなどの活用による情報発信の強化が必要です。

改正空家特別措置法に対応し、空家対策に取組む民間団体との連携を強化し、所有者と活用希望者の情報を効率的に活用できる体制を整えることで、移住や創業の機会を逃さない多様なマッチングの機会を創出する必要があります。

福祉部

令和７年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書ページ	99

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103010	社会福祉総務費		施策	地域福祉の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
407,657,000	404,660,950	0	2,996,050	99.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
14,998,265		民生委員活動委託金	13,062,800		
		民生委員協議会委託金	1,207,440		
		福祉基金利子	583,125		
		社会福祉雑入	144,900		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　民生児童委員（福祉委員）活動

福祉委員報償費　　18,720,000円
協議会運営補助金　　2,643,840円
民生委員活動交付金　14,270,240円

民生児童委員は、市民の福祉の最も身近な相談者として、地域住民の福祉向上のための相談、支援、調査等の自主的な活動や研修、市民と行政の相談調整役として日々活動をしています。令和４年12月の一斉改選後、コロナウイルス感染症の猛威もようやく沈静化してきたという情勢下において、令和６年度は従来の活動がほぼ再開されており、地域福祉を担う存在として、これまでより更に重要視されています。

委員定数(人)：　豊科(62)、穂高(64)、三郷(38)、堀金(22)、明科(30)　合計216人

活　動　内　容			
項　目	令和５年度	令和６年度	対前年比（%）
高齢者に関する相談・支援（件）	2,179	2,152	98.8%
障がい者に関する相談・支援（件）	246	205	83.3%
子どもに関する相談・支援（件）	459	583	127.0%
そ の 他 の 相 談・支 援（件）	910	1,101	121.0%
活動延べ日数（日）	25,821	24,664	95.5%

２　地域福祉計画推進策定事業

行政や市社会福祉協議会、福祉団体や民間事業者などと地域住民が連携し、地域福祉を推進するため、行政と市社会福祉協議会が個々に策定していた計画を一体的にした「安曇野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の第４期計画を、令和６年３月に策定しました。
第４期計画の推進及び進捗管理のため、令和７年度にあらためて推進・策定委員会を組織し、年２～３回の委員会を開催する予定です。

予算				総合計画		
	款	03	民生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103010	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　心配ごと相談事業委託業務　　委託料　　589,500円

地域住民の日常生活上のあらゆる悩みや相談に広く応じ、安心した生活に資することを目的として、市社会福祉協議会に委託し、相談者が気軽に出掛けられる相談窓口を地域ごとに設置し、年間45回開設しました。（うち、要予約の回：21回　予約不要の回：24回）

年間相談数　49件（令和５年度41件）

４　戦没者追悼式

令和４年度以降、追悼式の開催は概ね３年に１回とする方針としたため、令和６年度は開催しませんでした。次回は、令和７年度に開催を予定しています。

５　災害時避難行動要支援者名簿作成事業　　勧奨通知封入業務委託料　　32,135円

災害時避難行動要支援者情報を一元管理し、要支援者の把握と個別の支援計画を策定するための電算化システムを導入し運用しており、総合福祉事務システムの高齢者、障がい者、要介護認定者等の情報を一元処理しています。

本人同意を得て作成する「災害時避難行動要支援者名簿」を更新し、区、民生委員他関係機関に提供しました。

年度比較	令和４年度	令和５年度	令和６年度
該当者数（人）	12,541	13,730	14,242
同意者数（人）	8,614	9,496	9,614
同意率（%）	68.7	69.2	67.5

※集計数は、各年度３月現在

６　豊科ささえあいセンター管理委託事業　　指定管理料　　5,410,000円

市社会福祉協議会を豊科ささえあいセンターの指定管理者に指定して、市のボランティアの活動拠点として利用を推進しました。

指定管理期間　令和６年４月１日～令和11年３月31日

年度比較	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
利用者数（人）	2,781	2,464	3,102	4,269	4,697

７　市戦没者遺族会補助金　　補助金　　109,000円

安曇野市遺族会の活動を支援しました。

主な活動としては、役員会及び総会の開催、国・県の戦没者追悼式等への参加など慰霊事業を助成しました。

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103010	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

８　市社会福祉協議会への助成

すべての住民が住み慣れた家庭や地域の中で、その人らしい安心した生活が送れるよう、法や制度で担いきれないニーズへの対応や行政の手の届かない部分の地域福祉の展開とその充実のため、社会福祉協議会の運営に助成しました。

・社会福祉協議会地域福祉推進事業補助金　94,757,685円
・日常生活自立支援事業補助金　7,359,000円

上記の評価と課題等

民生児童委員活動は、地域福祉の推進に重要な役割を果たしています。地域住民の身近な相談役として困りごとのある人に寄り添い、必要な支援サービスへのつなぎ役としての活動を行っています。

心配ごと相談事業は、相談時間等の予約制を採用したことで、利用件数は微増しました。専門の相談窓口が整備されて来ている状況ですが、相談内容の大小に関わらず無料で多角的な相談に応じられる窓口は必要であり、市民の安心へと繋がります。

名簿提供の同意を得た要支援者等を記載した「災害時避難行動要支援者名簿」を更新し、各区、民生児童委員等関係機関に提供しました。世帯状況の変化に対応しながら、引き続き同意率の引き上げを図っていきます。

令和７年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書ページ	101

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103020	福祉医療費給付事業		施策	地域福祉の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
671,069,000	669,810,258	0	1,258,742	99.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
285,415,320		福祉医療給付事業補助金	276,682,000		
		福祉医療費貸付金元金収入	7,634,528		
		福祉医療費県補助返還金	1,082,361		
		福祉医療費市補助返還金	16,431	(地方消費税交付金（社会保障財源化分）)	(103,000,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　福祉医療費給付事業

児童、障がい者、母子・父子家庭の医療費自己負担分の給付を行い福祉の増進を図りました。

医療給付費実績及び補助金内訳　　（令和６年度実績値の右側は対前年比％　６年度／５年度）

区　分	年　度	受給者数(人)		給付額(円)		給付金県補助金（円）	
		実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比
児童(0～18歳)	6	12,858	97.7	279,861,537	96.9	112,289,000	143.2
	5	13,157		288,927,203		78,438,000	
障がい者・児	6	3,878	99.9	293,033,880	100.8	130,375,000	99.1
	5	3,883		290,676,713		131,516,000	
母子(母・児童)	6	1,832	101.7	47,044,157	96.9	18,897,000	97.5
	5	1,801		48,544,346		19,390,000	
父子(父・児童)	6	217	89.3	5,532,931	101.6	1,049,000	99.3
	5	243		5,448,291		1,056,000	
計	6	18,785	98.4	625,472,505	98.7	262,610,000	114.0
	5	19,084		633,596,553		230,400,000	

事務手数料実績及び補助金内訳

医療機関事務手数料　（円）			事務費県補助金(円)		
令和６年度	国保連合会　(25円)	2,484,675円	令和６年度	国保連合会	1,616,000円
	〃　(62円)	1,303,984円		社保支払基金	3,700,000円
	社保支払基金（49円※）	8,435,584円		医療機関	8,756,000円
	医療機関　(195円)	20,157,735円		補助金合計	14,072,000円
	手数料合計	32,381,978円			
令和５年度	国保連合会　(25円)	2,525,575円	令和５年度	国保連合会	1,484,000円
	〃　(62円)	1,351,972円		社保支払基金	2,731,000円
	社保支払基金（51円※）	8,685,152円		医療機関	8,875,000円
	医療機関　(195円)	20,498,400円		補助金合計	13,090,000円
	手数料合計	33,061,099円			

（　　）内は単価。　※社保支払基金は手数料各種の各年度の平均単価

予算				総合計画		
	款	03	民生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103020	福祉医療費給付事業		基本施策	地域福祉の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

２　福祉医療費貸付事業

福祉医療費受給対象者の内、医療機関窓口での医療費の支払いが困難な受給者に対して医療費の支払いに充てる事で受診控えによる重症化を防ぐため、資金を貸し付けました。

貸付事業の受給対象者については、医療機関窓口で自己負担すべき額を、後日、市が医療機関へ立て替えて支払う仕組みです。受給対象者本人へ直接医療費を貸し付けるものではないため、滞納は発生しません。

（令和６年度／令和５年度）

年度	利用者数（人）	貸付延件数	貸付金額（円）
令和６年度	80	1,708	7,634,528
令和５年度	87	1,751	9,958,855
対前年比	92.0%	97.5%	76.7%

上記の評価と課題等

福祉医療費給付事業では、経済的不安を減らし、安心して医療機関等へ受診ができるよう、給付を行いました。令和４年４月より児童の年齢要件を18歳到達年の年度末まで拡大し、子育て世帯の医療費負担の軽減が図られています。コロナウイルス感染症の５類移行から年月が経過し、従来から医療機関を受診する機会が多い児童等の前年度を大幅に上回る需要が特徴的でした。

福祉医療費貸付事業は、医療機関等での支払いが困難な方を支援する制度として、早期受診に寄与しています。受給資格の範囲拡大による財政的な課題はありますが、対象者の医療費負担の軽減、早期受診を促進することで、引き続き福祉の増進を図ります。

令和７年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書ページ	101

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103036	低所得者支援及び定額減税補足給付金給付事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
911,566,000	911,557,753	0	8,247	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
911,557,753		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（給付金・定額減税一体支援枠）	911,557,753		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づき、定額減税を補足する給付金及び令和６年度に新たに住民税非課税及び均等割のみ課税となった世帯へ給付金を給付しました。

１　令和６年度定額減税に係る調整給付金給付事業　　事業費（給付金）　743,330,000円
　　事務費（委託料等）　21,188,217円

定額減税を補足する給付金として、最大で１人４万円（所得税分３万円、住民税分１万円）を給付する調整給付金を支給しました。本事業については、令和７年度に不足額給付を支給することで完結する予定です。
・支給対象者数　18,723世帯
・支給実績　18,067世帯

２　令和６年新規住民税非課税化世帯給付金給付事業　　事業費（給付金）　89,800,000円
　　事務費（委託料等）　1,497,271円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者を支援するため、令和６年度に新たに住民税非課税となった世帯に対し、１世帯あたり10万円を支給しました。
・支給対象世帯数　1,115世帯
・支給世帯数　898世帯

３　令和６年新規住民税均等割のみ課税化世帯給付金給付事業　事業費（給付金）　55,300,000円
　　事務費（印刷費等）　442,265円

２と同様に物価高騰の影響を受けた生活者を支援するため、令和６年度に新たに住民税均等割のみ課税となった世帯に対し、１世帯あたり10万円を支給しました。
・支給対象世帯数　625世帯
・支給世帯数　553世帯

上記の評価と課題等

定額減税に係る調整給付金については、全国的に初めての事業でしたが、税務課と協働で対応したこともあり、円滑に支給することができました。また、マイナンバーと連携した振込口座情報の取得等により、迅速な給付を行うことができました。なお、LINEでの手続も導入し、申請及び事務処理の簡略化を図りました。

非課税世帯等を対象とした給付金については、過去のデータを活用し、申請者に負担の少ない方法を取ったことにより、迅速な給付が可能となりました。特に、前回の給付金の支給実績があり、世帯状況が変わらない世帯に対しては、申請書類等の提出が不要な方法により、短期間での給付を行うことができました。

令和７年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書ページ	101

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103041	低所得者支援給付金給付事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
410,434,000	2,708,374	407,721,000	4,626	0.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,708,374		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（低所得世帯支援枠分）	2,708,374		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」に基づき、エネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けた生活者を支援するため、住民税非課税世帯に対して３万円を支給しました。（国事業）

また、国の住民税非課税世帯への給付金（３万円）の支給対象とならない住民税均等割のみ課税世帯に対して、長野県の事業として２万円を支給し、更に市独自で１万円を上乗せ支給して、合計３万円の給付金の支給に向けて準備を進めました。（県２万円＋市独自分１万円＝３万円）

本事業については、全額令和７年度に繰越して実施します。

１　住民税非課税世帯給付金給付事業　　事業費（給付金）　0円
　　事務費（委託料等）　2,708,374円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者を支援するため、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、「安曇野市物価高騰対応重点支援給付金」として１世帯あたり３万円を支給しました。（国事業）

年度内に完了しない事業であるため、令和７年度に予算を繰越して事業を実施しました。令和６年度は支給に向けた事務費のみ支出し、給付金については全額令和７年度に支給します。

・支給対象世帯数　8,121世帯

【令和７年度へ繰越　事業費　315,000,000円　事務費　9,776,000円　計324,776,000円】

２　住民税均等割のみ課税世帯給付金給付事業（県補助分）　　（全額繰越）

上記１の国による給付金（３万円）の対象とならない住民税均等割のみ課税世帯に対し、「安曇野市価格高騰対策支援金」として１世帯あたり２万円を支給します。（県事業）

年度内に完了しない事業であるため、予算を令和７年度に全額繰越して事業を実施します。

・支給対象世帯数　2,222世帯

【令和７年度へ繰越　事業費　50,000,000円　事務費　6,845,000円　計　56,845,000円】

３　住民税均等割のみ課税世帯給付金給付事業（市独自分）　　（全額繰越）

上記２の県による給付金の支給対象世帯に対して、市独自分として１万円を上乗せして支給します。（市独自事業）

年度内に完了しない事業であるため、予算を令和７年度に全額繰越して事業を実施します。

・支給世帯数　2,222世帯（２の世帯へ支給）

【令和７年度へ繰越　事業費　25,000,000円　事務費　1,100,000円　計　26,100,000円】

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103041	低所得者支援給付金給付事業		基本施策	生活の安定と自立への支援

その２

上記の評価と課題等
過去の非課税世帯等を対象とした給付金のデータを活用し、申請者に負担の少ない方法を取ったことにより、迅速な給付が可能となりました。特に、前回の給付金の支給実績があり、世帯状況が変わらない世帯に対しては、申請書類等の提出が不要な方法により、短期間での給付を行うことができました。なお、一部の給付金では、LINEでの手続も継続し、申請及び事務処理の簡略化を図りました。 また、県の事業により住民税均等割のみ課税世帯への給付が行われることとなり、幅広い世帯への支援が行われます。併せて、市独自で上乗せ給付を行うことで、非課税世帯と同等の支援を行う予定としています。

令和７年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	生活支援担当

決算書ページ	107

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103125	生活困窮者自立支援事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
36,537,000	31,568,329	0	4,968,671	86.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
24,333,000		生活困窮者自立相談支援事業負担金	10,842,000	家計改善支援事業補助金	2,585,000
		生活困窮者住居確保給付金負担金	1,782,000	一時生活支援事業補助金	673,000
		子ども学習支援事業補助金	5,158,000	福祉基金繰入金	2,613,000
		就労準備支援事業補助金	680,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○生活困窮者自立支援制度

平成27年４月より施行の生活困窮者自立支援法に基づき、現に経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者に対し、生活困窮状態からの自立を支援しました。

１　必須事業

（１）生活困窮者自立相談支援事業　（国庫負担金：補助率3/4）

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却するため、対象者の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施しました。市社会福祉協議会が設置する安曇野市生活就労支援センター「愛称：まいさぽ安曇野」に業務を委託しました。（委託料：10,675,100円）

相談・プラン作成数（件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規相談数	11	14	15	24	13	23	17	15	8	13	18	20	191
プラン作成	4	2	6	2	3	0	2	0	2	1	1	3	26

働きたくても働けない、住む場所がないなど、生活に困っている方の相談について、一人ひとりの状況に合わせた生活支援プランを作成し、相談者に寄り添いながら、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を継続しています。

（２）住居確保給付金の給付　（国庫負担金：補助率3/4）

離職や休業等により収入が減少し、住宅を失った又は失うおそれのある生活困窮者に対して、求職活動等を実施することを条件に、家賃相当（上限あり）の給付金を３か月（最長９か月）支給しました。

給付実績

年度比較	令和４年度	令和５年度	令和６年度
支給金額	1,845,900円	2,390,700円	2,527,200円
支給者数	23人	20人	15人
支給延件数	58件	70件	79件

令和６年度受給者のうち、就労等の収入増つながった者は８名でした。

予算				総合計画		
	款	03	民生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103125	生活困窮者自立支援事業		基本施策	生活の安定と自立への支援

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

２　任意事業

（１）家計改善支援事業　（国庫補助金：補助率2/3）

自立相談支援機関に相談に訪れた困窮者で、家計に関わる問題を抱えている人に対し家計支援計画を提案し、継続して助言することで自らの家計の課題に気づき管理意欲を引き出し、早期に生活再生できるように支援しました。

委託先：（福）安曇野市社会福祉協議会　委託料：3,387,236円　支援計画作成：２世帯

（２）一時生活支援事業　（国庫補助金：補助率2/3）

一定の住居を持たない生活困窮者への一時的な宿泊場所や食費の提供を行うことにより、安定した生活を営めるように支援をしました。全ての支援対象者の住居確保につながりました。

支援対象者：８名　　延べ宿泊日数：41泊　　支給額：389,932円

（３）就労準備支援事業　　（国庫補助金：補助率2/3）

仕事を探せない、就労の経験がない等、就労に関しての悩みがある生活保護受給者、生活困窮者に対し、一般就労に従事するための準備段階（生活自立段階、社会自立段階、就労自立段階）としての基礎能力の形成を計画的かつ一貫して支援しました。

県との共同実施（県が代表で委託契約し、市は負担金を拠出）
委託先：ワーカーズコープながの　負担金：1,020,000円　利用人数：１名（支援継続中）

（４）子どもの学習支援・生活支援事業　　（国庫補助金：補助率1/2）

貧困の連鎖の防止をねらいとし、将来生活困窮者になるおそれのある子どもに対し、学習支援や交流を通じて、社会性や協調性を育むことを目的に実施しました。また、子ども及びその保護者等に対する生活習慣、育成環境の改善、教育、就労に関する支援を行いました。

今年度の子どもの参加人数は57人で前年度より25人増加し、支援を必要とする子どもへの受け皿の確保ができています。

対象者：生活保護世帯、生活困窮世帯、ひとり親家庭、不登校、ひきこもり状態である児童・生徒。また、対象者の保護者等。

委託先	委託料	子どもの人数	実施頻度
（福）安曇野市社会福祉協議会	391,641円	４人	月１回
NPO法人Gland・Riche	9,850,000円	57人	週に延べ6回（実施4か所）

３　独自事業

子どもの居場所づくり支援事業補助金　　補助金交付額：2,613,000円

困難を抱える子どもや家庭を地域で見守るため、子どもが安心して過ごせる居場所（子ども食堂等）づくりを推進する団体等に対して補助金を交付しました。

補助金交付団体数：７団体　（前年度交付団体数：３団体）
延べ開催回数：111回　（前年比：55回増）　　延べ参加人数：1,569人　（前年比：614人増）

上記の評価と課題等

令和６年度の自立相談支援事業の新規相談件数は191件で、前年度より58件増加しました。解決までに時間を要する相談が増えており、繰り返し食料支援を求めてくるケースや障がい者・高齢者からの就労相談が目立つ状況です。

子ども学習・生活支援事業での支援内容は、家庭問題、学校連携、学習支援、進路相談、就労相談など多岐にわたっており、１人の子どもに対する支援回数も増えています。今後も学校等と連携し支援を必要としている子どもの早期発見に努めます。

一時生活支援事業の対象者は、ほぼ横ばいでした。一定期間の宿泊場所や食事を提供することで、新たな住居確保につなげることができました。

子どもの居場所づくり支援事業補助金は前年度より４団体増の７団体に交付しました。さらに制度の周知を図り、取り組みを全市に広げていきたいと考えます。

令和７年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書ページ	107

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0190040	【明許】安曇野市物価高騰対策支援金給付事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
60,579,000	13,477,613	0	47,101,387	22.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
13,477,613		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（給付金・定額減税一体支援枠）	13,477,613		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づく、「給付金・定額減税一体措置」として、住民税均等割のみ課税世帯へ給付金を支給しました。本事業は、令和５年度から予算を繰越して事業を実施しました。

○安曇野市物価高騰対策支援金給付事業　　事業費（給付金）　12,500,000円
事務費（委託料等）　977,613円

デフレ完全脱却のための総合経済対策に基づき、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者を支援するため、住民税均等割のみ課税世帯に対し、１世帯あたり10万円を支給しました。（国事業）
令和５年度に支給を開始し、令和６年４月末を申請期限として、給付金を支給しました。
・支給対象世帯数　2,173世帯
・支給世帯数　2,052世帯（R5:1,927世帯・R6:125世帯）

上記の評価と課題等

過去の非課税世帯等を対象とした給付金のデータを活用し、申請者に負担の少ない方法を取ったことにより、迅速な給付が可能となりました。特に、前回の給付金の支給実績があり、世帯状況が変わらない世帯に対しては、申請書類等の提出が不要な方法を採用することにより、短期間での給付を行うことができました。

令和７年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	生活支援担当

決算書ページ	123

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	生活保護費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	生活保護総務費			
	事業	0103510	生活保護総務費		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
761,229,000	757,830,023	0	3,398,977	99.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
484,047,069		生活保護費国庫負担金	456,676,500	生活保護費県負担金	6,394,079
		生活困窮者就労準備支援事業等補助金	1,056,000	生活保護支援貸付金元金収入	180,000
		被保護者就労支援事業負担金	2,155,720	返還金・徴収金	13,090,719
		被保護者健康管理支援事業負担金	2,521,809	返還金・徴収金（過年度分）	1,470,242
		適正実施推進事業補助金	331,000	福祉基金繰入金	171,000
				（地方消費税交付金（社会保障財源化分））	(29,000,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　生活保護の動向

令和５年３月31日現在、307世帯・351人で保護率は3.8‰でした。
令和６年３月31日現在、298世帯・341人で保護率は3.6‰でした。
令和７年３月31日現在、305世帯・348人で保護率は3.6‰でした。

《令和６年度月別生活保護状況（各月末現在）》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
世帯	299	303	307	310	305	298	298	298	297	300	302	305
人数	340	343	347	352	347	339	338	338	337	342	345	348

2　生活保護開始・廃止の状況

前年度と比較し、開始件数が17件、廃止件数が３件増加となりました。

年度比較	令和４年度	令和５年度	令和６年度
申請件数	71件（取り下げ６件）	51件（取り下げ３件）	66件（取り下げ３件）
開始件数	59件	43件	60件
廃止件数	71件	48件	51件

3　扶助費の支給

生活保護扶助費の総額は572,006,975円と、前年比41,806,514円増となりました。増額の主な要因は、医療扶助費が前年比28,111,630円の増、救護施設事務費が10,148,939円となっています。このほかは保護世帯微増に伴う生活扶助等の保護費の増です。

4　就労自立給付金の支給

就労収入により生活保護が廃止となった世帯に対し、申請に基づき就労自立給付金を支給しました。５世帯に139,740円支給し、前年比１件、34,530円の増額となりました。

5　就労支援事業費　　2,800,374円

生活保護受給者及び生活困窮者の就労を促進し、経済的自立を図ることを目的に、就労支援員が就労に関する情報等を収集し、助言及び指導を行いました。

6　健康管理支援事業費　　2,864,798円

規則正しい生活習慣、健康的な食習慣を送れていない者が多いため、健診受診勧奨を行い健康管理への意識付けを促しました。

予算				総合計画		
	款	03	民生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	生活保護費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	生活保護総務費			
	事業	0103510	生活保護総務費		基本施策	生活の安定と自立への支援

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

《生活保護費内訳》

扶助別区分	令和５年度　（円）	令和６年度　（円）	前年比（%）	構成比（%）
生活扶助	142,669,888	146,068,152	102.4	25.5
住宅扶助	72,705,082	71,094,177	97.8	12.4
教育扶助	1,062,382	1,057,793	99.6	0.2
介護扶助	12,620,460	13,782,502	109.2	2.4
医療扶助	259,890,420	288,002,050	110.8	50.3
出産扶助	0	0	0.0	0.0
生業扶助	552,554	553,794	100.2	0.1
葬祭扶助	647,737	1,113,100	171.8	0.2
保護施設事務費	39,946,728	50,095,667	125.4	8.8
就労自立給付金	105,210	139,740	132.8	0.0
進学準備給付金	0	100,000	0.0	0.0
合計	530,200,461	572,006,975	107.9	100.0

7　生活保護適正実施推進事業（レセプト点検委託）　335,992円
医療扶助におけるレセプト点検作業を委託により実施しました。（点検件数：6,942件）

8　行旅者対策事業費　支給額：7,050円
支援件数：１件
帰来先を有する行旅者等に、帰来先までの旅費を支給しました。

9　生活保護支援資金貸付　貸付額：210,000円
利用件数：16件
生活保護申請者の中には、保護の開始が決定されるまでの生活資金がない人もおり、対象者には支援資金貸付を行いました。保護開始後最初の保護費支給時に一括返還を求め、滞納にならないよう務めています。

10　償還金（令和５年度精算分）
・生活保護扶助費等（国庫負担金）　111,697,517円

上記の評価と課題等

生活保護受給者の人数及び申請件数は微増であり、廃止件数は死亡や稼働収入増による廃止の事由が多い傾向にありました。前年度と比較して申請や開始件数が増加した要因は、就労収入の減少と傷病により収入がないことが挙げられます。引き続き、生活保護受給者の生活実態の把握に努め、他法他施策の活用や、就労支援により多くの生活保護受給者が自立した生活ができるよう努めます。
生活保護の対象とならない生活困窮者については、生活困窮者自立支援制度へ繋げるよう「まいさぽ安曇野」による自立相談支援事業や子どもの学習・生活支援事業等を活用し、生活保護制度と生活困窮者自立支援制度の両輪による支援が機能するよう、さらに連携を強化してまいります。

令和７年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	生活支援担当

決算書ページ	123

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	生活保護費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	社会就労センター費			
	事業	0103520	社会就労センター管理費		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
82,719,000	81,955,540	0	763,460	99.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
41,245,395		公共施設目的外使用料	8,300		
		生活保護費国庫負担金	40,500,000		
		障害者就労支援センター電気料	663,490		
		社会就労センター自販機電気料	73,605		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

社会就労センター全施設の指定管理事業者である一般社団法人安曇野エルチとの基本協定に基づき、指定管理料の支出と修繕工事等を行いました。
（指定期間：令和３年４月1日～令和８年３月31日）

１　令和６年度指定管理委託料（年度協定額）
（１）豊科社会就労センター（定員数：30人）　16,499,000円
（２）穂高社会就労センター（定員数：30人）　17,286,000円
（３）三郷社会就労センター（定員数：30人）　16,987,000円
（４）明科社会就労センター（定員数：40人）　23,121,000円

２　主な施設維持管理費（修繕、工事、物品購入等）
（１）食堂パーテーション修理　297,000円（穂高）
（２）外回り排水管の詰まり修理　33,000円（三郷）
（３）駐車場区画線修繕　80,300円（三郷）
（４）公用車エンジン修繕　416,482円（明科）

予算				総合計画		
	款	03	民生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	生活保護費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	社会就労センター費			
	事業	0103520	社会就労センター管理費		基本施策	生活の安定と自立への支援

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　豊科社会就労センター

（１）職員配置　　所長１人　　事務員１人　　作業指導員５人（１人非常勤）

（２）施設利用状況（R7.3.31現在）

ア 利用定員　　30人

イ 利用状況　　30人（障がい者17人、65歳以上高齢者８人、その他５人）

ウ 認定状況　　生活保護法　　13人（内　保護費受給者６名）

障害者総合支援法　14人

エ 認定者以外の利用　３人（内２人は70歳以上）　施設利用料：55,663円（工賃の3%分）

（３）授産の状況

年度	取引企業	受注収入額（円）	消費税（円）	工賃支給額（円）	工賃月額平均(円)	前年比(%)※
6	14社	10,905,408	827,800	10,077,608	31,008	81.0
5	12社	13,366,271	962,200	12,404,071	38,284	105.1
4	12社	12,364,756	961,900	11,402,856	36,431	109.8

※工賃月額平均の前年比

４　穂高社会就労センター

（１）職員配置　　所長１人　　事務員１人　　作業指導員５人

（２）施設利用状況（R7.3.31現在）

ア 利用定員　　30人

イ 利用状況　　29人（障がい者13人、65歳以上高齢者13人、その他３人）

ウ 認定状況　　生活保護法　　10人（内　保護費受給者１名）

障害者総合支援法　12人

エ 認定者以外の利用　７人（内６人は70歳以上）　施設利用料：215,750円（工賃の３%分）

（３）授産の状況

年度	取引企業	受注収入額（円）	消費税（円）	工賃支給額（円）	工賃月額平均(円)	前年比(%)※
6	13社	26,565,848	2,016,500	24,549,348	68,004	119.8
5	17社	22,323,461	1,607,000	20,716,461	56,757	97.0
4	15社	24,425,973	1,900,000	22,525,973	58,515	84.7

※工賃月額平均の前年比

上記の評価と課題等

（豊科）取引企業もコロナ禍の影響を引きずる状況が続き、元請け企業の長期減産調整や食品関係の受注量の変化等が影響し、受注収入額が前年度比81.6%、工賃支給額で約230万円の減額となりました。利用者は入所者６名、退所者４名で、９月から定員を満たしました。今後も障がい者や高齢者、生活困窮者が働きやすい環境整備に取り組み、取引企業とのコミュニケーションを図りながら更に新規企業の開拓に努め就労継続支援、社会事業授産に貢献していきます。

（穂高）取引企業の生産が上向きとなり、電子部品関連の受注が回復したため作業量も増加傾向となり、最終的に受注収入額が前年度比119.0%、工賃支給額で約380万円の増額となりました。利用者は入所者６名、退所者６名で、定員を上回る人数となる月もありましたが、年度末には前年度と同数になりました。引き続き、利用者の工賃支給額の上昇を視野に入れながら、各自の特性に応じた作業内容となるよう心がけ、利用者の満足度を更に向上させるために職員一丸となって努力していきます。施設の大規模改修を控えており、利用者の利用方法に配慮しながら改修を進めます。

予算				総合計画		
	款	03	民生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	生活保護費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	社会就労センター費			
	事業	0103520	社会就労センター管理費		基本施策	生活の安定と自立への支援

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

５　三郷社会就労センター

（１）職員配置　　所長１人　　事務員１人　　作業指導員４人

（２）施設利用状況（R7.3.31現在）

ア 利用定員　　30人

イ 利用状況　　29人（障がい者12人、65歳以上高齢者11人、その他６人）

ウ 認定状況　　生活保護法　　13人（内　保護費受給者３名）

障害者総合支援法　12人

エ 認定者以外の利用　４人（内２人は70歳以上）　施設利用料：50,715円（工賃の３％分）

（３）授産の状況

年度	取引企業	受注収入額（円）	消費税（円）	工賃支給額（円）	工賃月額平均(円)	前年比(%)※
6	７社	13,270,261	1,007,200	12,263,061	38,203	73.6
5	６社	19,117,276	1,376,100	17,741,176	51,875	68.0
4	４社	31,825,632	2,475,600	29,350,032	76,234	85.2

※工賃月額平均の前年比

６　明科社会就労センター

（１）職員配置　　所長１人　　事務員１人　　作業指導員５人

（２）施設利用状況（R7.3.31現在）

ア 利用定員　　40人

イ 利用状況　　27人（障がい者９人、65歳以上高齢者15人、その他３人）

ウ 認定状況　　生活保護法　　12人（内　保護費受給者２名）

障害者総合支援法　９人

エ 認定者以外の利用　６人（内５人は70歳以上）　施設利用料：130,550円（工賃の３％分）

（３）授産の状況

年度	取引企業	受注収入額（円）	消費税（円）	工賃支給額（円）	工賃月額平均(円)	前年比(%)※
6	15社	17,564,314	1,333,200	16,231,114	51,527	107.3
5	18社	17,536,522	1,262,300	16,274,222	48,007	91.2
4	15社	18,272,191	1,421,300	16,850,891	52,659	111.2

※工賃月額平均の前年比

上記の評価と課題等

（三郷）長年、主力企業の一つであった食品加工工場が令和６年３月で全面撤退しました。また、食品部門の仕事量は波が激しく、その他の企業は、産業構造の変化や企業統合の影響で減収となりました。新たな企業開拓に取り組みましたが、受注収入額が前年度比69.4%、工賃支給額は約540万円の減額となりました。利用者は入所者10名、退所者は７名でした。

社会情勢の変化と共に、企業の動向が注視されるところですが、利用者に適した作業の確保と「誰もが自信を持って働き、生きがいの場」として機能する社会事業授産施設となるようこれからも努めていきます。

（明科）受注収入額は前年度比100.2%、工賃支給額は約４万円の減額とほぼ前年度並みとなり、工賃月額平均は7.3%の増額となりました。利用者は入所者１名、退所者２名で１名減となりました。

過疎化が進む地域特性がありますが、今後も社会福祉施設の目的を踏まえて利用者の確保と、働く喜びと生きがいの場としての授産施設の機能強化に努めていきます。

令和７年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	生活支援担当

決算書ページ	125

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	生活保護費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	社会就労センター費			
	事業	0103530	社会就労センター施設改修事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,147,000	5,146,900	0	100	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,900,000		公共施設等適正管理事業債	3,900,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

公共施設再配置計画に沿って、大規模改修に向けた実施設計等を委託し、安定的な利用者サービスを提供するための施設整備を推進しました。

○穂高社会就労センター改修事業
　アスベスト調査業務委託　746,900円
　大規模改修工事実施設計業務委託　4,400,000円

上記の評価と課題等

大規模改修工事を実施することで、利用者の安全性の確保、利便性やサービスの向上につながります。また、施設の長寿命化、性能及び機能を向上させ、維持管理等にかかるコストの縮減を図ります。

令和７年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書ページ	125

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	災害救助費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	災害救助費			
	事業	0103570	災害救助費		施策	地域福祉の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
870,000	870,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○災害救助費　　災害見舞金　870,000円

火災罹災者に対し見舞金を支給しました。

区　分	見舞金の額	令和５年度	令和６年度
		件数	件数
(1) 火災により死亡	10万円	0	1
(2) 被害面積：住居の延床面積70%以上	５万円	1	10
(3) 被害面積：住居の延床面積20%以上	３万円	0	9

上記の評価と課題等

火災で罹災された方及びご遺族へ迅速に見舞金及び弔慰金を支給することで、生活の安定に資する事ができ罹災者にとって有効な制度となっています。令和６年度については、集合住宅等の火災により支給件数が増加しました。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	長寿福祉係

決算書ページ	109

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103130	老人福祉総務費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
218,694,000	214,916,395	0	3,777,605	98.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
9,909,000		シニアクラブ活動助成事業補助金	909,000		
		ふるさと寄付基金繰入金	9,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　高齢者の生きがいづくりに寄与する事業

(1) 朗人大学の開催

高齢者の仲間づくりや生きがいづくり活動を推進するため、教養講座や実践講義を通じ地域での社会活動のリーダーを育成することを目的に朗人大学を開催しました。

受講者数　63人（修了生数　58人）　　事業委託料　2,853,443円

(2) 入浴料金割引券交付事業

高齢者の健康増進及び外出支援のため、70歳以上の高齢者で希望する人に、市内約16入浴施設で利用できる入浴割引券を、対象者１人に対し12枚（200円/枚）交付しました。

年度	対象者数	申請率	使用枚数	施設への支払額	利用率
令和６年度	24,190人	41.9%	42,586枚	8,517,200円	35.1%
令和５年度	24,113人	41.6%	41,201枚	8,240,200円	33.8%
令和４年度	23,915人	40.6%	38,138枚	7,627,600円	32.4%

2　要介護者及びその家族を支援する事業

家庭介護者介護慰労金支給事業

要介護３以上の高齢者を、一定の要件を満たして在宅介護する家族等に対し50,000円の慰労金を支給しました。

支給者数　383人　　支給金額　19,150,000円

3　高齢者敬老祝賀事業

「敬老の日」に併せ、最高年齢者及び100歳を迎えられた高齢者を敬愛し、長寿を祝うため、市長等が訪問して記念品を贈呈しました。88歳（米寿）を迎えられた高齢者へは、民生児童委員が訪問し長寿をお祝いしました。

対象者　最高齢者　男女各１人
100歳　36人
88歳　641人

記念品支出総額　2,846,545円

予算				総合計画		
	款	03	民生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103130	老人福祉総務費		基本施策	高齢者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　各種団体補助及び施設運営補助等

(1) シニアクラブ連合会運営補助

シニアクラブ連合会及び単位シニアクラブが行う社会参加型事業に対し助成を行い、高齢者による地域づくり・明るい長寿社会づくりを促進しました。令和４年度に明科地区のシニアクラブが連合会から脱退するなど、会員数、加入団体数は減少傾向にあります。

会　員　数		加入団体数	補助金額等
（令和６年度末現在）	1,681人	28　団体	2,854,500円
（令和５年度末現在）	1,940人	31　団体	3,080,000円
（令和４年度末現在）	2,162人	33　団体	3,486,000円

(2) シルバー人材センター運営補助

会員数は年々、減少傾向となっていますが、長年培った経験・知識・技能を発揮できる就労の場確保により社会参加の機会、生きがい活動の充実、地域社会へ貢献が図られました。

会　員　数		就業延日人員	補助金額
（令和６年度末現在）	820人	91,960人日	11,175,000円
（令和５年度末現在）	840人	100,160人日	11,129,000円
（令和４年度末現在）	865人	119,063人日	11,329,000円

(3) 老人福祉センター運営補助

地域の高齢者の仲間づくりや生きがい活動の拠点として利用されている施設の運営に対し運営事業者である社会福祉協議会へ補助金を交付しました。

施　設　名	年度	補助金額	施設利用者
豊科老人福祉センター	令和６年度	12,851,520円	18,571人
	令和５年度	13,265,435円	20,109人
	令和４年度	10,470,000円	18,944人
堀金老人福祉センター	令和６年度	※1,529,233円	10,569人
	令和５年度	8,063,164円	7,351人
	令和４年度	8,021,977円	7,589人

※堀金老人福祉センターの補助金額は4月1日から9月末まで。
10月1日から3月末までは、委託料1,375,000円へ振替え施設運営管理を委託。
（区分所有の解消により施設全体が市所有となったため。）

５　福祉有償運送運営協議会の開催

法人等が計画する白ナンバーの車両を用いた福祉目的の有償運送について、事業の適格性を協議するための組織として安曇野市福祉有償運送運営協議会を設置しています。（委員11人）

上記の評価と課題等

安曇野市の高齢化率は32.2%（令和７年４月１日現在）で、増加傾向です。超高齢化社会の中で、高齢者が健康で生きがいを持ちながら日々の生活を送ることが求められており、高齢者の生きがいづくりや仲間づくりの活動と社会参加の推進が重要な課題です。

朗人大学（あづみの活躍カレッジ）やシニアクラブの活動への参加、シルバー人材センターへの就労はフレイル予防や高齢者福祉の推進に効果的な施策であるため、継続した支援を行っていく必要があります。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	長寿福祉係

決算書ページ	109

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103140	在宅福祉事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
12,639,000	11,745,139	0	893,861	92.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,512,101		高齢者に優しい住宅改良促進事業補助金	315,000	軽度生活援助利用料	132,900
		緊急通報システム利用料	1,014,641	軽度生活援助利用料滞納繰越分	800
		緊急通報システム利用料滞納繰越分	500	配食サービス利用料滞納繰越分	11,000
		生活管理短期宿泊利用料	37,260		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　在宅の高齢者の生活を支援するサービス

事　業　名	年度	利用人数	延べ利用数	決算額
配食サービス事業（R4廃止）	令和４年度	143人	30,867食	23,446,990円
緊急通報サービス事業	令和６年度	166人		5,315,619円
	令和５年度	186人		6,040,796円
	令和４年度	219人		6,816,626円
生活管理短期宿泊事業	令和６年度	２人	27日	122,310円
	令和５年度	４人	44日	199,320円
	令和４年度	６人	257日	1,164,210円
軽度生活援助事業	令和６年度	41人	1,278回	596,506円
	令和５年度	53人	1,504回	632,516円
	令和４年度	57人	1,814回	756,398円
訪問理美容サービス事業	令和６年度	73人	208回	416,000円
	令和５年度	81人	233回	466,000円
	令和４年度	77人	196回	390,000円

2　高齢者通院等支援サービス

要介護３以上の在宅高齢者が医療機関や福祉施設へ通院・通所する際のタクシー等利用料金について助成を行いました。

事　業　名　称	年度	利用人数	助成金額
高齢者通院等支援サービス	令和６年度	475人	2,223,560円
	令和５年度	483人	2,521,650円
	令和４年度	456人	2,521,850円
寝たきり高齢者等通院等支援サービス	令和６年度	45人	619,705円
	令和５年度	29人	378,365円
	令和４年度	27人	205,025円

予算				総合計画		
	款	03	民生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103140	在宅福祉事業		基本施策	高齢者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　高齢者の健康づくり等の活動に対する支援事業

○　高齢者の生きがいと健康づくり推進事業補助金

地区公民館主催による高齢者のための敬老会事業、スポーツ大会等の開催又は地域での学習活動の講師謝礼及び会場使用料に対して補助金を交付しました。

年度	支給件数	対象者人数	補助金額
令和６年度	57件	1,324人	1,748,839円
令和５年度	47件	1,152人	1,471,841円
令和４年度	84件	11,452人	2,789,792円

※　アクティブシニアがんばろう事業

補助金事業で、高齢者が健康増進や介護予防のための活動を定期的に行う団体に対し、講師謝礼や会場使用料を支援します。

令和6年度から介護保険特別会計へ移管して実施しました。

上記の評価と課題等

高齢化の進展とともに、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加するなか、高齢者が住み慣れた地域で継続して暮らすことができるよう生活支援のサービスを実施しています。

高齢者の生活状況や身体的状況等によって必要なサービスを利用していただくために、民生児童委員の訪問による相談活動やケアマネジャー等の介護相談を通じて、サービス内容を紹介し利用につなげています。

高齢者の生きがいと健康づくり推進事業は、活動が徐々ではありますが増加しており、57団体が活動しました。今後も高齢者の交流、ふれあいにつながる活動を促すことで、健康増進及び介護予防の充実が図られ高齢者の健康寿命延伸に資するものと考えます。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	長寿福祉係

決算書ページ	109

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103150	老人福祉施設入所措置事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
91,996,000	91,789,336	0	206,664	99.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
18,289,726		老人入所措置費個人負担金	18,289,726		
				（地方消費税交付金（社会保障財源化分））	(22,000,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○　養護老人ホーム入所措置事業

環境的な理由や経済的な理由により在宅において生活が困難な人の入所措置を行いました。
措置者数は前年度と同じですが、安曇寮２人減、温心寮１人増、瀬古第2マザー園
１人増となりました。

措置人員 (R7.3.31現在)	年度の入退所者数	措置費	施設名
40人	入所者 ７人 退所者 ７人	91,775,836円	安曇寮　20人 温心寮　16人 松風園　１人 鹿島荘　１人 和楽荘　１人 瀬古第2マザー園　１人 （盲養護老人ホーム）

上記の評価と課題等

令和６年度は養護老人ホームに７人の新規入所措置を行い、安定した生活の場を確保しました。
高齢者のひとり暮らしの増加や家族間の疎遠、虐待など、高齢者を取り巻く社会環境を踏まえ、今後も個々のケースに応じた支援を実施していく必要があります。
養護老人ホームへ入所措置できる人数には限りがある中で、引き続き適切な対応をしていきます。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	長寿福祉係

決算書ページ	109

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103160	老人福祉施設管理事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
384,224,000	381,111,253	0	3,112,747	99.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
246,049,147		豊科ふれあいホール使用料	153,950	高齢者福祉施設自販機電気料	66,347
		デイサービスセンター指定管理者納付金	5,990,000		
		総合福祉センター管理費等徴収金	14,638,850		
		福祉センター事業（特例債）	225,200,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　指定管理委託

	施設名	期間	指定管理者名	年度	指定管理委託料	年間利用者数	備考
1	穂高地域福祉センター	R5.4.1～R10.3.31	（福）安曇野市社会福祉協議会	6	15,771,000円	19,103人	大規模改修に伴う利用者制限あり
				5	14,743,000円	22,646人	
				4	14,396,000円	19,858人	
2	三郷福祉センター	R6.4.1～R11.3.31	（福）安曇野市社会福祉協議会	6	16,852,000円	12,909人	※借地料あり
				5	17,134,000円	9,554人	
				4	16,190,000円	8,804人	
3	三郷屋内ゲートボール場	R6.4.1～R11.3.31	（福）安曇野市社会福祉協議会	6	95,000円	1,213人	
				5	95,000円	1,794人	
				4	95,000円	1,320人	

※　三郷福祉センター施設用地借地料

令和４年度　3,247,245円　令和５年度　3,247,245円　令和６年度　3,263,750円

	施設名	期間	指定管理者名	年度	指定管理納付金	年間利用者数
4	穂高デイサービスセンター	R5.4.1～R10.3.31	（福）安曇野市社会福祉協議会	6	1,530,000円	8,492人
				5	1,530,000円	9,794人
				4	1,530,000円	9,235人
5	三郷デイサービスセンター	R6.4.1～R11.3.31	（福）安曇野市社会福祉協議会	6	1,430,000円	9,697人
				5	1,430,000円	9,399人
				4	1,430,000円	8,277人
6	堀金デイサービスセンター	R6.4.1～R11.3.31	（福）安曇野市社会福祉協議会	6	1,470,000円	8,781人
				5	1,470,000円	8,493人
				4	1,470,000円	8,817人
7	明科デイサービスセンター	R6.4.1～R11.3.31	（福）安曇野市社会福祉協議会	6	1,560,000円	9,070人
				5	1,560,000円	9,070人
				4	1,560,000円	8,403人

予算				総合計画		
	款	03	民生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103160	老人福祉施設管理事業		基本施策	高齢者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

２　主な修繕費

（１）明科総合福祉センター修繕

ア　高天井照明器具更新工事（ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ）　2,530,000円

イ　人工温泉殺菌装置交換修繕　184,250円

（２）三郷福祉センター修繕

ア　加圧給水ポンプユニット交換修繕　1,969,000円

イ　自動火災報知設備等更新工事（ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ）　8,415,000円

３　大規模改修費

（１）穂高地域福祉センター大規模改修工事　145,640,000円
　　債務負担行為（R6～R7）40％前払い

（２）堀金総合福祉センターエアコン更新工事　126,500,000円

上記の評価と課題等

指定管理施設の利用者数は増加傾向がみられます。

大規模改修等は長寿命化計画に基づき、穂高地域福祉センター（債務負担行為：令和6年度～令和7年度）と、堀金総合福祉センターのエアコン更新工事を実施しました。今後も指定管理者と協議を行いながら計画的に施設改修を行うことで施設の長寿命化を図り、安定した福祉施設の運営、サービス提供が可能となるよう実施していきます。

また、所管施設全体の経年劣化に伴い、突発的に不具合が生じるケースが多くなっているため、大規模改修に限らず適時対応が必要となっています。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	111

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103180	介護保険対策費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,439,536,000	1,412,767,848	26,603,000	165,152	98.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
57,615,633		低所得者保険料軽減国庫負担金	36,361,269		
		低所得者保険料軽減国庫負担金過年度分	1,727,820		
		低所得者保険料県負担金	18,180,634		
		低所得者保険料県負担金過年度	863,910		
		介護保険事業補助金	482,000	（地方消費税交付金（社会保障財源化分））	(394,534,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

介護保険制度における低所得者対策等として、社会福祉法人等が行う利用者負担軽減措置に対し、補助を実施しました。利用者の実人数（認定者数）が前年度と同数50人で、事業額は1.1%減少しております。

介護保険特別会計への繰出金は、前年度に比べ29,274,889円増加しました。

事業名	内　容	人数・件数等 () 内は前年度	決算額 () 内は前年度
社会福祉法人等による生計困難者に対する利用者負担額軽減措置事業	社会福祉法人が利用者負担の1/4を軽減し、法人の軽減額の一部に対して、国・県・市が補助しました。	50人 (50人) ※認定者数	649,471円 (656,795円)
繰　出　金	介護保険特別会計へ繰出しました。		1,399,065,889円 (1,369,791,000円)

上記の評価と課題等

介護保険特別会計の介護給付（市負担12.5%）、事務費（市負担100%）、地域支援事業（総合事業：市負担12.5%、総合事業以外19.25%）、低所得者保険料軽減負担金（市負担分25%）に繰出して、介護保険特別会計運営の安定化に努めました。前年度に比べ2.14%の増加となりました。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	長寿福祉係

決算書ページ	111

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103190	在宅介護福祉事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
9,420,000	7,559,540	0	1,860,460	80.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○　成年後見支援センター委託事業

「成年後見制度の利用に関する法律」および「成年後見制度の利用促進基本計画」に基づき、安曇野市、松本市を含む２市５村の共同設置による中核機関「成年後見支援センターかけはし」（事務局：松本市社会福祉協議会）に業務委託しました。

委託内容は、地域連携ネットワークによる中核機関業務のほか、法人後見の受任に関すること及び成年後見制度に関わる関係機関等との連携等です。

年度比較	令和４年度	令和５年度	令和６年度
委託金額	8,254,880 円	8,463,210 円	7,559,540 円

※家族介護用品購入助成事業は令和6年度から介護保険特別会計へ移管して実施しました。

上記の評価と課題等

成年後見支援センターかけはしは、中核機関として地域の権利擁護支援・成年後見制度利用促進機能の強化に向けて司令塔的役割と地域連携ネットワークの調整役を担い、成年後見制度地域連携ネットワーク協議会の事務局を当番市と担当しています。市においては、成年後見制度に関する周知啓発を行い、権利擁護の体制整備を推進しています。

令和７年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	障がい福祉担当

決算書ページ	101

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103040	障がい者支援センター費		施策	障がい者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
72,513,000	71,203,117	0	1,309,883	98.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,991,000		地域生活支援事業補助金【国】	2,597,000	障害者活動支援センター指定管理者納付金	510,000
		地域福祉総合助成金【県】	1,586,000	障害者就労支援センター指定管理者納付金	1,000,000
		地域生活支援事業補助金【県】	1,298,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

「障がい者支援センター費」では、指定管理施設７か所の予算を管理しています。これらの施設は障がいのある方が主に利用しています。特に障害者活動支援センターは、市内で数少ない特殊浴槽を完備する生活介護施設として、重度障がい者の方が多く利用しています。建築から30年近く経過する施設があり、令和７年度に改修工事に着手する予定です。

１　指定管理料

施設名	指定管理事業者	建築年	指定管理委託料	指定管理者納付金
障害者活動支援センター	（福）安曇野市社会福祉協議会	1994年	0円	510,000円
豊科たんぽぽ		1994年	0円	360,000円
穂高わたぼうし		2004年	26,698,000円	100,000円
三郷すみれの郷		2000年	12,257,000円	0円
堀金かえでの家		1991年	0円	540,000円
明科ふきぼこの家		2000年	18,851,123円	0円
ひめこぶしの家	NPO法人ほのぼの会	2007年	10,987,000円	0円

障害者活動支援センター、豊科たんぽぽ、堀金かえでの家は、自立支援給付費（介護給付費、訓練等給付費）等により運営費が賄われているため、市から指定管理委託料は支出されていません。穂高わたぼうしは、地域活動支援センターであるため市から指定管理委託料を支出していますが、放課後等デイサービスも行っており、給付（障害児通所支援給付費）を受けているため、市へ指定管理者納付金を納付しています。

２　修繕・工事請負費等（10万円以上の案件）

○ 三郷すみれの郷　正面入り口内側自動ドア駆動装置一式交換修繕　429,000円
○ ひめこぶしの家　便器交換　220,968円

予算				総合計画		
	款	03	民生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103040	障がい者支援センター費		基本施策	障がい者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　施設の状況

ひめこぶしの家、穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、明科ふきぼこの家では、地域活動支援センターを開設しており、利用者の障がいの程度や状態等に応じ、一般就労に向けた基礎訓練や余暇活動等を行っています。特に、穂高わたぼうしと明科ふきぼこの家では、県の地域福祉総合助成金を活用して看護師を配置するなど医療的ケアを必要とする障がい者の受け入れができる体制を維持しています。

４　施設の利用者数（延べ人数）　（単位：人）※（ ）は前年度比

施設名	事業	定員	R5年度	R6年度
障害者活動支援センター	生活介護	20	2,724	2,334（ -390）
	放課後等デイサービス・児童発達支援		737	823（ +86）
	日中一時支援		40	40（ 0）
豊科たんぽぽ	就労継続支援B型	20	3,946	3,975（ +29）
堀金かえでの家		20	4,449	4,485（ +36）
三郷すみれの郷	地域活動支援センター	10	1,447	1,359（ -88）
明科ふきぼこの家		20	2,261	1,930（ -331）
ひめこぶしの家		10	1,632	1,626（ -6）
穂高わたぼうし		20	1,491	1,092（ -399）
	放課後等デイサービス	10	2,535	2,958（ +423）

上記の評価と課題等

就労継続支援B型事業所の収益は、景気の影響や作業に関わる人員の増減により大きく左右されます。利用者の工賃収入に繋がるよう、新たな自主製品の開発や施設外就業事業にも力を入れるなど、増益を図っていく必要があります。

施設の利用者数については、他の施設に移るなどの理由により昨年度に比べ利用者減となる施設がある一方で、放課後等デイサービスの利用者は増加しています。利用者のニーズに合わせたサービス内容を検討する必要があります。

障害者活動支援センターは大規模改修の設計が終わり、令和７年度改修工事に着手します。工事期間中のサービス提供については、堀金保健センターを改修しサービス提供を予定しています。

令和７年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	支援給付担当

決算書ページ	103

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103050	障がい者支援事業		施策	障がい者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,593,670,000	2,591,421,799	0	2,248,201	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,909,710,337		自立支援給付費負担金【国】	961,758,500	自立支援給付費負担金【県】	487,197,862
		自立支援医療負担金【国】	19,500,000	障害児入所給付費等負担金【県】	144,927,356
		障害児入所給付費等負担金【国】	288,045,088	自立支援医療負担金【県】	7,624,639
		自立支援給付支払システム改修補助金【国】	539,000	高額障害福祉サービス等給付費等返還金	117,892
				（地方消費税交付金（社会保障財源化分））	(191,000,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　自立支援給付事業　決算額：1,989,514,131円

主な事業決算額		R5		R6		前年比（金額）
		件数	金額（円）	件数	金額（円）	
医療費扶助	更生医療費	355	20,870,808	371	17,389,595	83.3%
	育成医療費	27	89,037	17	159,424	179.1%
	療養介護医療費	198	13,530,408	192	12,949,540	95.7%
	計	580	34,490,253	580	30,498,559	88.4%
自立支援給付サービス費等扶助	介護給付費等	6,450	886,573,509	6,864	969,350,783	109.3%
	訓練等給付費	6,569	786,156,151	7,024	886,670,631	112.8%
	補装具給付費	146	17,171,484	149	19,902,641	115.9%
	相談支援給付費	3,040	43,989,645	3,087	47,110,437	107.1%
	特定障害者特別給付費	2,141	19,457,034	2,129	21,039,955	108.1%
	高額障害福祉サービス費	585	5,216,372	564	4,880,734	93.6%
	計	18,931	1,758,564,195	19,817	1,948,955,181	110.8%

2　障害児通所支援給付事業　決算額：591,143,985円

主な事業決算額	R5		R6		前年比（金額）
	件数	金額（円）	件数	金額（円）	
障害児通所支援給付費等	5,807	465,647,132	6,689	547,878,128	117.7%
障害児相談支援給付費	1,756	29,168,414	1,797	31,785,467	109.0%
計	7,563	494,815,546	8,486	579,663,595	117.1%

上記の評価と課題等

自立支援給付事業では、主に育成医療と補装具給付費が増額しました。育成医療は入院分が増加し、補装具給付費は高額品目の購入者が増加しました。

障害児通所支援給付事業の利用者増加は、障害児等の増加と共に親の知的障害や発達障害に対する認知度があがり関心が深まっていることが要因と考えられます。

障がい者（児）本人の最善の利益を図り、自立の促進と共生社会の実現に向けた支援のために公正にその支給量を判断し決定しました。

令和７年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	支援給付担当

決算書ページ	103

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103070	地域生活支援事業		施策	障がい者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
65,685,000	62,806,672	0	2,878,328	95.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
22,979,000		地域生活支援事業補助金【国】	15,319,000		
		地域生活支援事業補助金【県】	7,660,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　理解促進研修・啓発事業　　決算額：50,000円

障がい者等への理解を深めるため、研修や啓発事業を実施しています。令和６年度は身体障害者補助犬の制度や、介助犬のデモンストレーションを交えた講演会を開催しました。また、12月の障害者週間に合わせて、身体障害者補助犬について広報誌に掲載すると共に、庁舎西側ロビーにおいてパネル展示を行い、デフリンピック・パラスポーツの紹介や長野県障がい者文化芸術祭の作品展示を行いました。

日　程：令和６年12月14日（土）会　場：安曇野市役所本庁舎　４階大会議室
講　義：「介助犬を知ろう！！」
講　師：公益財団法人　日本補助犬協会　代表理事外１名
参加者：28名

２　手話奉仕員養成講座事業　　決算額：422,250円

聴覚障がい者等との交流活動の促進等のため、日常会話程度の手話表現技術習得を目的とした手話奉仕員の養成研修を実施しました。令和６年度は、『入門編』を実施しました。

日　程：令和６年６月１日～令和６年11月２日　全23回
会　場：豊科交流学習センターきぼう　学習室１
講　師：聴覚障害者協会会員
修了者：16名（受講対象者は17名）

３　意思疎通支援事業（手話通訳者等派遣事業）　　決算額：1,868,535円

（１）　役務費：1,847,085円

事業名		区分	令和５年度	令和６年度	前年比
手話通訳者等派遣事業	手話通訳	利用者	21人	23人	109.5%
		派遣回数	232回	246回	106.0%
		実績額	1,486,470円	1,594,360円	107.3%
	要約筆記	利用者	2人	4人	200.0%
		派遣回数	15回	45回	300.0%
		実績額	85,608円	252,725円	295.2%
	合計	利用者	23人	27人	117.4%
		派遣回数	247回	291回	117.8%
		実績額	1,572,078円	1,847,085円	117.5%

（２）　負担金補助及び交付金：21,450円

感染症や災害等においても聴覚障がい者の情報補償を確保するため、長野県の遠隔手話通訳システムを令和３年度より導入しており、体制を整備しています。費用は県と利用市町村で共同負担しました。

予算				総合計画		
	款	03	民生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103070	地域生活支援事業		基本施策	障がい者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　委託事業（100万円以上）　　決算額：　　28,553,444円

移動支援事業	実利用者数	66人	80人	121.2%
	利用時間	4,603時間	5,132時間	111.5%
	実績額	8,910,003円	9,910,812円	111.2%
日中一時支援事業	実利用者数	71人	52人	73.2%
	利用日数	2,224日	1,802日	81.0%
	実績額	7,067,510円	6,874,350円	97.3%
訪問入浴サービス事業	実利用者数	12人	12人	100.0%
	利用回数	668回	784回	117.4%
	実績額	8,416,800円	9,878,400円	117.4%
成年後見支援センター事業	相談件数	93件	103件	110.8%
	法人後見等受任件数	16回	16回	100.0%
	実績額	2,115,800円	1,889,882円	89.3%

５　補助金　　決算額：2,523,643円

（１）社会参加支援

・レクリエーション活動等支援、芸術文化活動振興事業　２団体　1,322,000円

（２）自発的活動支援事業　４団体　1,201,643円

６　扶助費　　決算額：　　26,621,594円

事業名	区分	令和５年度	令和６年度	前年比
日常生活用具給付等事業	件数	2,417件	2,491件	103.1%
	実績額	25,066,085円	26,481,594円	105.6%
地域活動支援センター事業（Ⅱ型）	実利用者数	1人	1人	100.0%
	実績額	330,000円	140,000円	42.4%
成年後見制度利用支援事業（成年後見人費用扶助）	件数	1件	0件	0.0%
	実績額	198,500円	0円	0.0%

７　障がい者基幹・総合相談支援センター事業

令和５年度から市直営化した基幹相談センターに加え、総合相談も直営化し、安曇野市障がい者基幹・総合相談支援センターを開設しました。障がい者等の地域生活を支援するために官民が協働し相談体制や施策の構築検討を行うための協議会である自立支援協議会の組織改編を行いました。

個別相談支援件数	実人員	348人	延べ件数	1,900件
自立支援協議会開催回数	協議会	2回	部会回数	８回

上記の評価と課題等

理解促進研修・啓発事業では介助犬のデモンストレーションを交えた市民を対象とした講演会を開催し、身体障害者補助犬の制度について理解を深めていただきました。また、12月の障害者週間に合わせ、庁舎西側ロビーにおいて、デフリンピック・パラスポーツを紹介するパネル展示や長野県障がい者文化芸術祭の作品展示を行い、障がい者への理解についての啓発につなげました。

手話奉仕員養成研修事業は、手話養成講座「入門編」を開催し受講者16名が修了することができました。将来の手話通訳者養成に向けレベルアップ講座の受講につながるよう必要な支援等を行いました。

障がい者基幹・総合相談支援センターでは、障がい者等への相談支援を行うとともに地域の相談支援体制強化や専門的な相談を主として行う基幹相談業務を実施しています。自立支援協議会では、事業者に加え、障がい者家族及び関係機関に参加いただき情報共有と障がい者施策への意見交換を行いました。また、センター職員が医療的ケア児等コーディネーターを兼務し、医療的ケア児への支援体制の構築を進めています。

外出を伴う移動支援事業は、事業者の受け入れ態勢の充実により、利用者が増加しました。障がい者の日常生活の便宜を図り、自立や社会参加の促進につながったと考えます。

令和７年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	支援給付担当

決算書ページ	105

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103080	精神障がい者居宅生活支援事業		施策	障がい者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,570,000	6,176,535	0	393,465	94.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 精神障がい者居宅生活支援事業　　決算額：6,176,535円

（１）精神障がい者家族教室の開催　１コース３回

目　　的：当事者や家族等が障がいと上手に付き合いながら、その人らしい生活を送るために、家族等が交流を図りながら、精神障がいについての正しい理解、適切な対処の方法などを学ぶこと

参加人数：延べ人員　６人

内　　容：①個別相談、うつ病・うつ状態について　②関わり方の工夫　③様々な資源の活用

講　　師：精神保健福祉士　二宮　美和　氏

（２）精神障がい者相談支援　　実人員808人　延べ件数1439件

（３）安曇野市精神障害者社会復帰施設等連絡会　2回

目　　的：「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築」に向けて体制整備を行うために、市内の精神障害者社会復帰施設等の関係者が情報の共有や学習会等を行い、地域の課題を認識すること

内　　容：①　研修　テーマ：精神障がい者の地域移行の現状と支援について　参加30人

講師：村井病院医療相談室　澤谷香織氏・西島貴哉氏

ハートラインまつもと　岡田　千秋氏

②　意見交換・情報共有　　参加27人

テーマ(１)地域移行後の支援について

(２)関係機関での状況、取組

(３)課題解決に向けて必要なこと

上記の評価と課題等

精神障がい者及び精神保健に課題を抱える者の相談内容や課題は多様化しています。初期相談では保健師等が担当し、当事者の心身の状態に応じた適切な支援が受けられるよう、相談内容に応じて障がい福祉サービス利用に向けた調整や必要な部署へのつなぎ等をしています。また、当事者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように支援する体制づくりに向けて、市内の精神障がい者の支援者と共に、意見交換、学習会をしています。

当事者の支援者でもある家族が学べる機会、悩みを抱える家族を支援する機会も作っています。

今後も関係機関と連携し、当事者それぞれの状況に応じたきめ細やかな対応を実施していきます。

令和７年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	障がい福祉担当

決算書ページ	105

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103090	障がい者福祉総務費		施策	障がい者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
158,244,000	139,750,217	13,259,000	5,234,783	88.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
43,264,319		特別障害者手当負担金【国】	40,505,287		
		地域福祉総合助成金【県】	1,747,000		
		特別児童扶養手当事務委託金【県】	1,012,032		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　指定管理委託料　　決算額：478,000円

豊科身体障害者会館を安曇野市身体障害者福祉協会に指定管理委託しています。
（令和６年度から５年間）

○ 利用状況　　※（ ）は前年度比

開館日数	延べ利用者数	平均利用者数
32日(-59)	304人 (-184)	9.5人(+4.1)

2　負担金・補助金及び交付金

障がい者や関係する福祉団体に対して補助金の交付を行い、障がい者への援助や各種団体の活動を支援しました。コロナによる制限緩和の動きが広がりつつあり、活動の再開も進んでいくと思われます。また、児童発達支援事業所、さらに医療的ケア児の受け入れが可能な事業所の参入を促すために補助金制度の周知等を行っていきます。

【補助金】　11,631,413円

① 安曇野市手をつなぐ育成会　484,000円
② 安曇野市身体障害者福祉協会運営費補助金　510,000円
③ 軽度・中等度難聴児補聴器購入補助事業（購入4件、修理7件）　504,000円
④ 通所・通園補助事業（障がい児（者）施設へ通う有料道路通行料・通園費等の補助）
　ア：県補助分（０件　※有料道路通行料金の1/2）　0円
　　県内の身障者施設等の入所者の帰省時に利用する有料道路代の補助
　イ：安曇野市単独分（301人分）　1,570,344円
　　障がい児の放課後等デイサービス及び児童発達支援施設への通所・通園に係る
　　燃料代の補助（R6年度県単価181円/ℓ×往復距離/10×通所･通園回数×1/2で算出）
⑤ 障害者にやさしい住宅整備事業　３人　1,132,000円
⑥ 障害児通園施設利用児療育支援補助事業　２施設　23,239円
⑦ ふれあいバスの旅事業補助金　((福)安曇野市社会福祉協議会実施)　950,000円
⑧ あったカフェ運営協議会補助金　240,000円
⑨ 児童発達支援事業運営支援補助金　４施設　1,400,000円
⑩ 重症心身障害児児童発達支援事業所医療的ケア事業補助金　２施設　4,618,400円
⑪ 自動車運転免許取得・改造助成事業　１件　100,000円
⑫ 障害者余暇活動支援事業補助金　１件　99,430円

予算				総合計画		
	款	03	民生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103090	障がい者福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　扶助費　決算額：　115,174,836円

特別障害者手当、見舞金、福祉金等の給付を行いました。

扶助費種類		R5年度		R6年度		支給額
		件数・人数	支給額（円）	件数・人数	支給額（円）	前年比％
障害児・者タイムケア		35	2,356,820	35	2,458,190	104.3%
障害者手当	特別障害者手当	1,630	45,423,120	1,556	44,646,280	98.3%
	障害児福祉手当	580	8,792,080	584	9,116,900	103.7%
	福祉手当（経過的）	0	0	0	0	－
特定疾患患者見舞金		488	5,856,000	506	6,072,000	103.7%
障害者外出支援事業		570	4,296,430	570	4,221,750	98.3%
重度心身障害児者福祉金		1,592	36,704,000	1,730	39,330,000	107.2%
家庭用介護用品購入助成		108	1,078,279	89	991,168	91.9%
重度心身障害者介護慰労金		110	5,500,000	110	5,500,000	100.0%
腎臓透析利用者通院支援		105	2,656,589	100	2,387,048	89.9%
身障者補助犬飼育費助成		1	15,000	1	36,000	240.0%
しゃくなげの湯家族風呂（暖らんの湯）利用補助		65	247,500	67	415,500	167.9%

上記の評価と課題等

障がい者団体に対し、公益性や事業の継続性に配慮しながら補助金交付をしています。

なお、団体の活動内容は、外出支援や地域との共生を支える意味で重要な活動であるため補助金の効果は高いと考えます。

また、ニーズが高まっている医療的ケア児の受入が可能な事業所を増やすために事業所へ補助の周知を行います。

様々な補助金及び手当等の交付事業は、在宅での生活支援の一助になるものと考えております。手帳交付時やホームページなどで周知し、必要な方に必要なサービスを引き続き提供していきます。

保健医療部

令和７年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書ページ	125

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104010	保健衛生総務費		施策	保健衛生の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
341,375,000	339,244,059	0	2,130,941	99.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,800,000		一体的実施事業委託金	5,800,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　献血推進事業（松本地域献血推進協議会　負担金：75,000円）

	令和４年度	令和５年度	令和６年度
市内献血者数	1,120人 （目標値　1,340人） （達成率　83.5%）	1,224人 （目標値　1,340人） （達成率　91.3%）	1,128人 （目標値　1,335人） （達成率　84.5%）
市内献血箇所（延べ）	50箇所	51箇所	50箇所

2　救急医療等事務

（１）在宅（休日）当番医制事業

（主要事業　委託料　医師会：5,912,775円、歯科医師会：1,118,251円）

休日等における初期医療を必要とする急病患者の医療確保を図る事業で、市医師会及び市歯科医師会と委託契約を行い実施しています。（　）内は前年度

医院　　３医院/日で年間75日間（75日間）　9,442人（8,829人）

歯科医院　１医院/日で年間76日間（77日間）　347人（　391人）

（２）病院群輪番制病院運営事業（主要事業　負担金：20,386,000円）

休日または夜間における入院治療等を必要とする重症救急患者の二次病院での医療確保を図る事業です。人口と利用者数により３市５村で負担金を払っています。

（３）災害時医療救護活動

・松本広域医療コーディネートチーム設置訓練

松本広域圏災害時医療連携指針に基づいた訓練。（令和６年度は豪雨による災害対応のため中止）

・安曇野市医療救護活動訓練

安曇野市災害対策本部訓練と併せた安曇野市医療救護活動訓練を実施しました。本部医務班・医療救護所の開設、情報伝達、医療救護活動等の動きを確認することができました。

・災害時医療救護活動マニュアルの見直し

災害時医療救護活動マニュアル検証委員会を開催し、マニュアルの見直しを行いました。

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104010	保健衛生総務費		基本施策	保健衛生の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　公的病院等運営費助成金交付事業（安曇野赤十字病院：49,870,000円）

地域医療の充実と救急医療体制の確保を図るため、市民病院的な役割を持つ安曇野赤十字病院の経営改善に向けて財政支援を行いました。（特別交付税による措置あり）

上記の評価と課題等

市内献血者数は前年度より減少しましたが、目標達成を目指して引き続き、周知を行い、献血事業の推進を図ります。

松本広域災害医療コーディネートチームと連携を図りながら、大規模災害に備えます。また、安曇野市医療救護活動訓練を行い、災害時の活動内容等を把握し災害時に備えます。

災害時医療救護活動マニュアルは、今後も引き続き関係機関と調整し、見直しを行います。

令和７年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書ページ	129

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104078	がん患者アピアランスケア支援事業		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,200,000	735,000	0	465,000	61.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
339,000		がん患者へのアピアランス助成事業補助金	339,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　がん患者アピアランスケア支援事業（主要事業　補助金：735,000円）

がん患者の心理的負担をやわらげ、社会的参加を応援するため、がんの治療で生じた外見の変容を補う頭髪補整具、乳房補整具及びその他補整具の購入費用を助成します。

(1)対象となる補整具と助成回数

区　　分	補整具の種類	助成回数
頭髪補整具	ウィッグ、ウィッグ装着用ネット、毛付き帽子	１人１回限り
乳房補整具	補整パッド、補整下着、専用入浴着、人工乳房	左房・右房につき、 それぞれ１人１回限り
その他補整具	エピテーゼ（補整用人工物）	１人１回限り

(2)申請件数及び助成内容

	令和６年度	
区　　分	申請件数	助成額
頭髪補整具	38件	709,000円
乳房補整具	右　0件	0円
	左　2件	26,000円
その他補整具	0件	0円
計	40件	735,000円

上記の評価と課題等

今後も医療機関と連携を図りながら、事業について周知を行います。

令和７年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書ページ	129

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104080	骨髄バンクドナー助成事業		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
800,000	400,000	0	400,000	50.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
200,000		骨髄バンクドナー助成事業県補助金	200,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　　骨髄バンクドナー助成事業（主要事業　補助金：400,000円）補助率1/2

骨髄または末梢血幹細胞（以下骨髄等）の適切な提供およびドナー登録の促進を図るとともに、ドナーやドナーの勤務する事業所への負担軽減のために、骨髄等提供のための入院・通院費等の助成をします。

（１）助成対象者

ドナー：公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄等の提供を完了した方

勤務事業所：ドナーが勤務している国内の事業所

（２）助成額

ドナー：骨髄等の提供のために通院・入院等に要した日数で１人１日につき、20,000円助成。10日を上限。

勤務事業所：ドナーが骨髄等の提供のために通院・入院等に要した日数で週休日以外の勤務を要する日。１人１日につき、10,000円助成。10日を上限。

（３）助成件数

ドナー：2件

上記の評価と課題等

骨髄バンクドナー登録の促進のため、関係機関と連携を図りながら事業について周知を行います。

令和７年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書ページ	129

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	予防費			
	事業	0104060	予防接種事業		施策	保健衛生の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
587,461,000	581,430,254	0	6,030,746	99.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
159,012,486		予防接種健康被害給付費負担金	45,173,000	新型コロナウイルスワクチン市外接種委託金	40,986
		新型コロナウイルス定期接種ワクチン助成金	38,283,750	予防接種事故対策事業補助金	15,750
		感染症予防事業費等国庫負担（補助）金	5,801,000	子ども・子育て応援市町村交付金	698,000
		ふるさと寄附基金繰入金	69,000,000	（地方消費税交付金（社会保障財源化分））	(98,000,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　定期予防接種

（１）接種状況（主要事業　委託料：450,450,155円）

個別予防接種		（接種等延べ人数）単位：人		
		令和４年度	令和５年度	令和６年度
Ｂ型肝炎		1,542	1,540	1,364
三種混合		0	0	0
二種混合		722	702	641
麻疹・風疹（MR）		1,218	1,208	1,134
日本脳炎		3,621	2,740	2,503
ＢＣＧ		523	522	473
子宮頸がん（HPV）		623	1,320	2,862
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ菌b（Hib）		2,069	2,129	619
小児用肺炎球菌		2,076	2,133	1,833
不活化（生）ポリオ		0	1	0
四種混合		2,119	2,232	714
五種混合				1,180
水痘		1,060	1,016	1,078
ロタウイルス		1,114	1,157	941
高齢者肺炎球菌		902	1026	271
高齢者ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ		21,072	20,574	19,523
新型コロナウイルス				10,137
風しん※（成人）	抗体検査	724	397	359
	予防接種	172	101	72

※風しん追加対策事業は、昭和37年４月２日～昭和54年４月１日生まれの男性を対象に、令和元年度から実施しており、令和６年度は最終年度です。

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	予防費			
	事業	0104060	予防接種事業		基本施策	保健衛生の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

２　任意予防接種事業（小児インフルエンザ・妊婦インフルエンザ）

（１）目的：任意予防接種（インフルエンザワクチン）に対して、費用の一部を助成することで、疾病予防及び重症化の予防を図りました。

（２）対象：小児（生後６か月から小学校６年相当まで）
妊婦（９月末時点で妊娠中の妊婦および10月１日から翌年１月31日までに妊娠届を提出または転入した妊婦）

（３）内容：任意予防接種（インフルエンザワクチン）に対して、小児は１回1,000円の支援券を１人２枚、妊婦は１回2,000円の支援券を１人１枚助成をしました。

（４）接種状況

	対象者	接種人数		接種率	
		1回目	2回目	1回目	2回目
小児(HAワクチン)	8,697人	3,310人	3,068人	38%	35%
小児（フルミスト）		426人		5%	
妊婦	453人	109人		24%	

※ HAワクチンは2回接種で完了　　フルミスト（経鼻弱毒生インフルエンザ）は1回接種で完了

３　任意予防接種事業（おたふくかぜ・帯状疱疹）　※令和６年度新規事業

（１）目的：任意予防接種（おたふくかぜ・帯状疱疹）に対して、費用の一部を助成することで、疾病予防及び重症化の予防を図りました。

（２）対象：おたふくかぜ（１歳の誕生日から３歳の誕生日の前日まで）
帯状疱疹（満50歳以上の方）

（３）内容：おたふくかぜ予防接種に対して、3,000円を1回に限り助成。
帯状疱疹予防接種に対して、生ワクチンは3,000円を1回に限り、または不活化ワクチンは6,000円を2回まで助成します。（助成は生涯１度のみ）

（４）接種状況

	対象者	接種人数	接種率
おたふくかぜ	566人	420人	74%

	50歳以上人口	申請者数		接種人数	
	(R6.4.1時点)	1回目	2回目	1回目	2回目
帯状疱疹（生ワクチン）	51,117人	223人		165人	
帯状疱疹（不活化ワクチン）		596人	652人	518人	450人

上記の評価と課題等

定期予防接種の対象者には、対象月齢（年齢）となる前に接種勧奨を行っています。また、未接種者に対しては、再度勧奨を行い接種率の向上に努めました。今後も、対象者が適正に接種できるように個人通知などにより周知を行い、混乱しないように接種勧奨を行います。

子宮頸がんワクチンについては、積極的勧奨を中止していた期間に接種機会を逃してしまった方へのキャッチアップ接種と、定期接種対象者に案内通知を発送しました。令和６年度末に接種期限を迎えるキャッチアップ接種及び定期接種の未接種者に対し受診勧奨を行いました。

風しん追加的対策事業も令和元年度から令和６年度までの６年間となっており、未実施者にはクーポン等を発行するとともに、検査実施の勧奨を行いました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書ページ	131

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費			
	事業	0104130	未熟児養育医療事業		施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
10,005,000	9,300,979	0	704,021	93.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
8,815,673		養育医療国庫補助金（前年度精算分）	801,986		
		養育医療国庫補助金	4,500,000		
		養育医療県補助金	1,928,089		
		未熟児養育医療費徴収金	1,585,598		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　　未熟児養育医療事業（主要事業　扶助費：9,300,979円）

母子保健法第20条の規定に基づき、養育（出生体重2000グラム以下の乳児または、医師が入院による養育を必要とした場合）のため病院または、診療所に入院することを必要とする未熟児に対し、医療の給付を行うため、国（1/2）・県（1/4）からの補助を受け、該当者から所得等に応じた負担金を徴収し実施しています。

（１）年度別申請者数等の状況

区　　分	令和４年度	令和５年度	令和６年度
給付実人員	25人	55人	30人
延べ給付件数	45件	104件	82件
給付金額	4,659,637円	10,796,563円	9,297,957円

上記の評価と課題等

対象となる乳児に必要な医療の給付を行うことにより、対象児の健康増進と保護者への経済的支援を行います。引き続き関係部署と連携して、円滑に事業を推進します。

令和７年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書ページ	131

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費			
	事業	0104131	母子・子育て支援事業		施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
130,026,000	125,156,926	0	4,869,074	96.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
113,518,000		母子保健衛生費国庫補助金	9,830,000	子ども子育て応援交付金（県）	645,000
		出産・子育て応援交付金事業国庫補助金	36,169,000	ふるさと寄附基金繰入金	56,000,000
		出産・子育て応援交付金事業県補助金	8,289,000		
		子ども子育て支援交付金（国）	2,585,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　母子・子育て相談事業　（主要事業　報酬・職員手当：3,847,379円）

本庁健康推進課11番窓口に「母子・子育て相談窓口」を開設して、妊娠期から子育て期にある家庭を対象に、専任の保健師が各種の相談に応じています。令和６年度に子ども家庭支援課に設置された「安曇野市こども家庭センター」の母子保健部門の窓口として対応しています。

（単位：件）

相談種別	妊娠届	新生児連絡票	転出入者	予防接種	相談	その他	合計
令和６年度	452	400	318	176	37	441	1,824
令和５年度	461	523	416	194	31	607	2,232
令和４年度	553	456	394	278	13	429	2,123

＊その他：出産・子育て応援給付金等の妊娠期から出産期にかけての各種申請対応が含まれています。

2　妊婦一般健康診査（主要事業　委託料：47,898,300円）

妊娠届出時に妊婦一般健康診査（基本健診）受診票14枚、追加検査受診票４種類５枚と超音波検査受診票４枚を交付しています。

健康診査は県医師会・県助産師会に委託し健診料金を補助します。（23枚　126,640円/人）

○受診状況　（単位：件）

	基本健診①～⑭	追加検査①	追加検査②-1	追加検査②-2	追加検査③	追加検査④	超音波検査①～④	合計
令和６年度	5,005	435	410	363	406	374	1,637	8,630
令和５年度	5,801	467	486	454	484	475	1,907	10,074
令和４年度	6,053	533	493	463	495	477	1,995	10,509

○実人数　（単位：人）

令和４年度	令和５年度	令和６年度
848	783	682

○県外受診　実人数　（単位：人）

令和４年度	令和５年度	令和６年度
25	15	24

※里帰り出産等により県外で妊娠健診を受けた場合、受診費用の一部を補助します。

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費			
	事業	0104131	母子・子育て支援事業		基本施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3　産婦健康診査（主要事業　　委託料：3,955,000円）

産後うつの早期発見と産後の継続支援を目的に健康診査を県医師会・県助産師会に委託し、実施しています。産婦健康診査受診券を交付し、健診料金を助成しています。

（１回上限5,000円　２回分：概ね産後２週間および１か月時）

（単位：件）

令和４年度	令和５年度	令和６年度
535	566	445

＊県外受診を含む

4　　乳児一般健康診査　（主要事業　　委託料：2,150,410円）

出生後に乳児一般健康診査受診票を送付しました。健康診査は県医師会に委託し、健診料金を補助しています。　（１枚　5,990円/人）

（単位：件）

令和４年度	令和５年度	令和６年度
400	361	358

＊受診は生後３～11か月が対象、受診者には集団健診は含みません。

5　新生児聴覚検査（主要事業　　委託料：2,101,470円）　※令和５年度からの新規事業

出産後に産科医療機関等で実施する新生児聴覚検査の検査費用を助成し、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、疾病の早期発見、早期治療のため検査の推進を図ります。

（助成券１枚交付　上限5,500円）

（単位：件）

令和５年度	令和６年度
473	412

＊県外受診を含む

6　オプショナル新生児スクリーニング検査費助成（主要事業　負担金補助及び交付金：1,714,430円）

オプショナル新生児スクリーニング検査（原発性免疫不全症、脊髄性筋萎縮症等）の検査費用を助成し、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、疾病の早期発見、早期治療のために検査の推進を図ります。令和７年１月生まれの児から、10疾患の検査が拡大されました。

（助成額　　オプショナル6,000円、拡大8,500円）

※ 県内での検査はR6.10生まれからオプショナルは自己負担なし（県の事業へ以降）

（単位：件）

令和４年度	令和５年度	令和６年度
122	444	260（オプショナル217　拡大43）

＊県外受診を含む

7　産後ケア事業　（主要事業　委託料：7,070,160円）

・医療機関や助産院で宿泊、通所、また、自宅への訪問によって母体の管理や育児支援を行い、育児不安等の軽減と母のセルフケア能力の向上を図ります。費用の８割を助成します。

利用型	利用可能期間	利用日数・回数・時間等
宿泊型	出産による入院終了後120日以内	１泊２日から６泊７日まで
通所型	出産による入院終了後180日以内	７回まで（半日、１日合算）
訪問型	出産による入院終了後180日以内	40時間まで（１回の訪問につき２時間まで、１日２回の訪問を上限）

・産後ケア事業利用料の減免　　※令和６年度新規事業

1回につき2,500円を限度に5回までの減免券を交付します。

利用枚数404枚（宿泊105枚、通所58枚、訪問241枚）、利用実人員129人

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費			
	事業	0104131	母子・子育て支援事業		基本施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

８　母乳相談等助成事業　（主要事業　委託料：350,000円）

委託医療機関・助産院で実施する母乳相談などの費用の一部を助成しています。申請により2,000円の助成券を２枚交付し有効期限は産後１年未満です。

○産後ケア事業・母乳相談等助成事業利用実績　（単位：人）

事業名	産後ケア事業			母乳相談等助成
	宿泊型	通所型	訪問型	
令和６年度	38（32）	103（37）	360（103）	延175
令和５年度	40（33）	49（24）	253（66）	延235
令和４年度	29（27）			延269

＊利用延人数　（　）内：利用実人数

９　母乳・育児相談　（主要事業　報償費：1,830,715円）

市内２か所（豊科・穂高）の保健センターで月３～４回開催し、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、助産師等の専門職が育児等に関する相談を実施しました。（三郷保健センター改修工事のため実施せず）

（単位：人）

令和４年度	令和５年度	令和６年度
延1,631	延1,714	延1,596

10　出産子育て応援給付金事業　（主要事業　委託料・扶助費：47,156,505円）

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう相談に応じ、必要な支援を行うとともに、経済的支援を一体的に行う事業です。

妊娠届時の面談と新生児訪問等の面談を実施後に申請により給付します。

（１）伴走型相談支援

妊産婦及び新生児等を対象に、家庭訪問等を実施しました。（単位：人）

事業名	パパママ相談（訪問）	産婦・新生児等訪問指導
令和６年度	延189	延443
令和５年度	延171	延574

（２）出産・子育て応援給付金の給付　※令和５年３月１日給付開始

給付額：出産応援給付金は妊婦に対し妊娠１回につき50,000円給付
子育て応援給付金は養育者に対し児童１人につき50,000円給付

（単位：件）

令和４年度	令和５年度	令和６年度
982	1292	900

11　初回産科受診費用助成　※令和６年度新規事業

低所得の妊婦を対象に産科医療機関を受診して妊娠判定検査に要した費用に対し10,000円を限度に助成します。　助成件数：２件

上記の評価と課題等

妊娠期から乳児期までの健康の保持増進・疾病等の早期発見と経済的負担の軽減を目的に、医療機関等で行う健康診査及び検査の助成を実施しました。

妊娠から出産・子育てまで多様な課題を抱える対象者がいるため、個々の状況に応じた支援や対応が必要です。多様な相談内容に対応できるように関係機関や関係部署とスムーズな連携体制を確保し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を目指します。

令和７年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書ページ	133

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費			
	事業	0104133	不妊・不育症治療費助成事業		施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
13,600,000	13,118,360	0	481,640	96.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
12,000,000		ふるさと寄附基金繰入金	12,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　　不妊・不育症治療費助成事業（主要事業　補助金：13,118,360円）

少子化対策の充実を図るため、不妊・不育症治療を行っている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療に要した医療費の一部を助成します。助成金の交付は、医療機関等が証明した治療期間を１回とし、同一の夫婦に対して通算して５回、医療費の自己負担額の2/3、１回30万円を限度として実施しています。

（１）助成状況

項　　目	令和４年度	令和５年度	令和６年度
申請件数	84件	92件	85件
助成額	10,644,552円	13,866,859円	13,118,360円

上記の評価と課題等

令和６年度申請者のうち、約６割の方の妊娠届出がありました。
今後も少子化対策の事業として、引き続き周知に努めます。

令和７年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書ページ	137

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	08	診療所費			
	事業	0104200	夜間急病センター運営費		施策	保健衛生の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
22,868,000	21,069,158	0	1,798,842	92.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,637,392		夜間急病センター診療手数料	5,247,832		
		夜間急病センターその他手数料	1,560		
		小児初期救急医療体制整備補助金	1,388,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　夜間急病センター運営費

（主要事業　報酬・報償費・需用費・役務費・委託料・使用料及び賃借料：20,914,068円）

夜間の急病患者（主に内科・小児科）に対する１次救急を行うため、安曇野市医師会に加入している医師が当番制で診察を行っています。

（１）診療科目　　小児科・内科
（２）診療日　　月～土曜日
（３）休診日　　日曜日、祝日、年末年始（12/30～1/3）、お盆（8/14～8/16）
（４）診察時間　　午後７時～10時
（５）職員体制　　・医師　１人　・看護師　１人　・事務者　１人
（ただし、インフルエンザ等流行時期の繁忙期は複数人で対応）
（６）診療日数　　290日

○　年齢別利用者の内訳　（単位：人）

年　齢	令和４年度	令和５年度	令和６年度
０～５歳	74	135	99
６～10歳	38	87	64
11～19歳	24	142	108
20～39歳	23	121	123
40～59歳	43	117	109
60歳以上	26	56	44
総数	228	658	547

上記の評価と課題等

夜間に医療が受けられることは、市民にとって安心につながります。
感染予防に努めながら、今後も安心して医療サービスが受けることができるよう、運営に関して夜間急病センター運営協議会で検討し、関係機関と連携を図りながら地域医療体制を考えていきます。

令和７年度	
部	保健医療部
課	健康支援課
係等	健康支援担当

決算書ページ	125

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104015	予防総務費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
48,202,000	46,772,376	0	1,429,624	97.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,707,000		デジタル基盤改革支援補助金	4,235,000		
		一体的実施事業委託金	3,334,000		
		その他衛生費雑入	138,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　附属機関・有識者会議の開催

健康づくり施策の推進を目的として健康づくり推進協議会を開催しました。有識者の意見を得て令和５年度の保健事業を検証した上で、令和６年度の保健事業の実施に反映させました。

会議の名称等	開催回数	委員数	出席者（延べ）
健康づくり推進協議会	２回	13人	23人
健康づくり推進協議会（歯科口腔保健部会専門部会）	２回	８人	16人

２ 市民の健康管理のため各健診（検診）データを一元的に管理し、効果的・効率的に保健事業を実施するために運用しました。

(1)　健康管理システム保守業務　2,530,440 円
(2)　システム改修業務（特定保健指導第４期対応）　825,000 円
(3)　システム標準化準備作業業務　4,235,000 円
(4)　各種検診申し込み票代行印刷業務　695,200 円
(5)　健康管理システムリース料　1,867,140 円

３　パートタイム会計年度任用職員報酬・諸手当等

保健師２人、管理栄養士４人、歯科衛生士２人、事務補助４人　※延べ人数

上記の評価と課題等

健康づくり推進協議会を開催し、令和５年度保健事業計画の実施状況の検証しました。また、令和６年度の保健事業実施及び令和７年度の保健事業計画に有識者の意見を反映させました。

健康管理システムを有効に活用し、各種保険事業を効果的・効率的に実施することができました。令和７年度には健康支援システムの標準化が予定されているため、適切に対応します。

令和７年度	
部	保健医療部
課	健康支援課
係等	健康支援担当

決算書ページ	127

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104020	健康づくり事業		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
977,000	928,878	0	48,122	95.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
77,000		地域自殺対策強化事業補助金	77,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　健康づくり事業

（１）健康づくり推進員会

「自らの健康は自らつくる」の意識の高揚、保健事業の拡充強化を図るために、各地域から選出された健康づくり推進員83人で各地区において地域の健康づくりを推進しました。

・全体活動（県・支部研修会含む）

健康づくり推進員会、総会、研修会等　計９回実施　延べ参加者191人

・地区活動

66地区　延べ77回実施　延べ参加者1,293人

（主な内容　生活習慣病予防、脳の健康、健康体操、正しい歩き方、歯と口の健康）

（２）精神保健事業

項目	令和４年度	令和５年度	令和６年度
訪問指導	（実116人）308人	（実95人）273人	（実97人）288人
来所相談	（実145人）341人	（実127人）272人	（実136人）315人
電話相談	（実260人）801人	（実229人）852人	（実233人）891人

（３）自殺対策

・自殺対策推進庁内会議を開催し、自殺対策計画の推進のため庁内関係者との連携・協議を行いました。

・　自殺予防の啓発として年２回広報紙に記事を掲載しました。

・　ゲートキーパー研修会を実施し、延べ151人が参加しました。

上記の評価と課題等

健康づくり推進員等と市の地区担当保健師が連携し、健康講座を開催しました。健康づくり推進員制度廃止以降、各区の健康づくりの推進にむけ、区の実情に合わせて区や健康づくりに関する各種団体等と市の地区担当保健師が連携して健康講座を実施していきます。

自殺対策ではゲートキーパー研修会を実施し人材育成を行い、広報等で市民への啓発を行うことができました。今後も自殺対策計画に沿って事業を推進していきます。

令和７年度	
部	保健医療部
課	健康支援課
係等	健康支援担当

決算書ページ	127

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104025	穂高健康支援センター管理費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
35,142,000	33,699,601	0	1,442,399	95.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,884,215		公共施設目的外使用料	4,150		
		保健センター自販機電気料	38,199		
		穂高健康支援センター外部団体光熱水費	1,841,866		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　施設の維持管理

市の基幹センターとして稼働率は100％に近いため、通年をとおした施設の維持管理が必要です。法定・定期点検等の他、故障や不具合個所（トイレ自動フラッシュバルブ、調理室・スタッフルーム水栓、自家発電設備バッテリー交換等）の修繕を行い、施設管理に努めました。

- 施設修繕費　761,420 円
- 光熱水費　9,548,938 円
- 管理委託料　4,517,925 円

２　公用車（22台）、物品の管理

- 燃料費　729,161 円
- 手数料　635,895 円
- 保険料　194,440 円
- 自動車重量税　76,600 円

上記の評価と課題等

穂高健康支援センターは建築から20年以上が経過し、修繕が必要な箇所が増えています。

施設の不具合を直し建物の耐久性を高めることに加え、建物の機能や性能を引き上げることを目的に令和７年度に大規模改修工事を実施予定です。

令和７年度	
部	保健医療部
課	健康支援課
係等	健康支援担当

決算書ページ	127

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104027	穂高健康支援センター改修事業		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
7,083,000	6,429,500	0	653,500	90.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,400,000		穂高健康支援センター改修事業（特例債）	5,400,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

穂高健康支援センター改修事業

１　概要

公共施設再配置計画及び公共施設長寿命化計画に基づき、令和７年度に大規模改修工事を実施するため、アスベスト調査と実施設計を業務委託しました。

施設の改修により市民の保健事業を実施する基幹センターとして、また、災害時の医療救護所としての機能維持を図ります。

２　委託料

・アスベスト調査業務委託　　176,000円
・実施設計業務委託　　5,703,500円
・単価入替業務委託　　550,000円

３ 建物の詳細

・建築年：2004年（平成16年）
・延床面積：2,767㎡
・建物構造：ＲＣ造（鉄筋コンクリート造）、１階建

上記の評価と課題等

工事期間中は利用者等の安全に十分配慮しながら保健事業を通年実施します。老朽改修（屋根全面フッ素塗装及び部分改修、軒樋取替及び追加、インターロッキング補修、天井雨漏れ部分張替え、エアコン・給湯設備・建具の更新、床タイルカーペット張替え、自動ドアエンジン部更新他）と機能改修（照明更新LED化、トイレ洋式化他）を行います。

令和７年度	
部	保健医療部
課	健康支援課
係等	健康支援担当

決算書ページ	127

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104030	地域保健センター管理費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,123,000	2,161,216	0	961,784	69.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,600		保健センター使用料	6,600		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　施設の維持管理

豊科、三郷、堀金、明科の地域保健センターで健(検)診等各種保健事業を実施するため、施設を適正に維持・管理します。

(1) 日常管理の委託等

- 豊　科　：高齢者集会施設と併せてシルバー人材センターに委託（高齢者介護課）
- 三　郷　：三郷複合施設として三郷支所で管理（三郷支所）
- 堀金・明科：複合施設として社会福祉協議会に委託（高齢者介護課）

(2) 維持管理費用　（単位：円）

保健センター名	豊科	三郷	堀金	明科	計
燃料費（灯油）	0	0	―	―	0
光熱水費（ガス）	16,118	―	―	―	16,118
施設修繕費	7,700	―	37,400	―	45,100
管理委託費	1,355,662	30,030	102,000	（高齢者介護課）	1,487,692
日常清掃（床・窓等）	204,512	30,030	102,000		336,542
エアコンクリーニング	144,650	（三郷支所）	0		144,650
警備保障	528,000		（高齢者介護課）		528,000
昇降機	396,000				396,000
自動扉開閉装置	82,500				82,500
建物定期調査	0				0
計	1,379,480	30,030	139,400	0	1,548,910

※光熱水費は豊科、堀金、明科保健センターは高齢者介護課、三郷保健センターは三郷支所より支出

上記の評価と課題等

・各地域保健センターを適正に維持・管理し、市民にとってより身近な地域で健診（検診）等の保健事業を実施しました。※三郷保健センターは長寿命化工事のため令和６年６月から令和７年３月まで休館（工事は三郷公民館と一体的に実施）

・各地域保健センターの老朽化のため、必要かつ緊急性の高い箇所は修繕等を適正に実施しながら長寿命化計画等に基づき、計画的に改修を進めてます。

令和７年度	
部	保健医療部
課	健康支援課
係等	健康支援担当

決算書ページ	129

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104070	成人検診事業		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
78,060,000	76,972,516	0	1,087,484	98.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,473,000		がん検診推進事業補助金	182,000		
		国民健康保険特別会計繰入金	353,500		
		成人検診徴収金	3,937,500		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　成人検診　（単位：人）

受診者数の推移	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和５年度との比較
胃がん検診	2,018	1,860	1,766	△ 94
大腸がん検診	4,860	4,685	4,744	59
子宮頸がん検診	3,740	3,673	3,718	45
マンモグラフィ検診	2,734	2,773	2,803	30
乳房超音波検診	523	493	505	12
肺がんＣＴ検診	599	574	531	△ 43
結核検診	2,222	2,123	1,935	△ 188

（１）がん検診の推進

検診対象者には検診申込ハガキを送付しました。また、検診受診の動機付けを目的に特定年齢の方（子宮頸がん検診21歳・乳がん検診41歳）に無料で検診が受けられるクーポン券を送付しました。なお、クーポン券未利用者や大腸がん検診申込者の未受診者への再受診勧奨、乳幼児健診でのチラシ配布や市ホームページによる受診勧奨を行いました。

（２）精密検査未受診者への受診勧奨

精密検査の未受診者を減らすため、未受診者への受診勧奨を行いました。

上記の評価と課題等

がんは早期発見で死亡率が減少するため、自覚症状のない段階で検診を受けることが大切です。このため検診に関心を持ち受診に繋がるような啓発、年齢層を絞った受診勧奨を継続します。また、がんによる死亡率を低下させるには、要精密検査の未受診者を減らすことも必要不可欠です。精密検査未受診者も一定数いるため、受診勧奨を継続します。

令和７年度	
部	保健医療部
課	健康支援課
係等	健康支援担当

決算書ページ	129

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104075	健康増進事業		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
14,152,000	11,961,996	0	2,190,004	84.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,854,000		医療施設運営費等補助金	652,000	健康診査徴収金	369,000
		保健事業補助金	4,782,000		
		国民健康保険特別会計繰入金	1,413,000		
		一体的実施事業委託金	638,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　健康増進事業

- 生活習慣病の発症予防・重症化予防を目的に、特定健診で抽出した者に対し個々の状態に合わせた個別保健指導を行いました。
- 肝炎・骨・歯科の各健(検)診は、節目年齢の対象者に、疾患の早期発見等を目的に実施しました。
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を、関係課と連携し実施しました。

	令和４年度	令和５年度	令和６年度	比較(Ｒ５)
保健指導（実人数）	860	638	677	39
特定保健指導(再掲)				
対象者数（人）	653	624	実施中	
終了者数（人）	428	274	(確定は年度末)	
実施率（%）	(確定)65.5	(確定)43.9		
健康診査（受診者数）				
健康診査（健康増進法）	38	43	37	△6
若年者健診	203	191	227	36
肝炎ウイルス検診	1,077	1,060	967	△93
骨粗しょう症健診	198	200	305	105
成人歯科健診	246	263	399	136
健康教育（回数/延人数）	29回/359人	33回/351人	8回/121人	△25回/△230人
健康相談（延人数）	899	974	978	4
一体的実施事業				
個別的支援（実人数）	326	175	227	52
通いの場等への支援	36箇所/実568人	45箇所/実592人	42箇所/実640人	△3箇所/48人

上記の評価と課題等

医療費や介護給付費などの社会保障費の安定のため、生活習慣病の発症予防や重症化予防などの個別保健指導、各種健(検)診、健康教育・相談を実施します。社会保障費の安定化に資する一体的実施事業（後期高齢者における保健事業や介護予防の取組）は今後も課題分析を行い、関係機関等と連携し、個別及び集団支援に取り組みます。

令和７年度	
部	保健医療部
課	健康支援課
係等	健康支援担当

決算書ページ	131

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費			
	事業	0104090	母子保健事業		施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
14,341,000	13,363,435	0	977,565	93.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,985,000		母子保健衛生費国庫補助金	114,000		
		医療施設運営費等補助金	2,033,000		
		指定寄附金	838,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　母子保健事業

（1）乳幼児健診・相談・教室

乳幼児が健やかに成長発達し、将来にわたる健康的な生活習慣の基礎ができるよう、各専門職が連携し健診や相談等を実施しました。また、保護者が見通しをもって育児に取り組めるよう、教室において情報提供を行うとともに、必要に応じて個別に相談を行いました。

歯科保健においても、健診や教室等で口腔の健康に関する知識の普及に取り組みました。

	令和４年度		令和５年度		令和６年度	
	実施回数（回）	受診者数（人）	実施回数（回）	受診者数（人）	実施回数（回）	受診者数・（受診率）
４か月児健康診査	24	540	25	533	24	459人（98.7%）
１歳６か月児健康診査	24	556	24	559	25	567人（100.4%）
３歳児健康診査	24	663	29	647	24	604人（97.9%）
10か月児健康相談	24	546	24	515	25	527人（96.2%）
２歳児健康相談	24	561	24	589	24	560人（98.4%）
育　児　教　室	24	364	24	371	24	308人
離 乳 食 教 室	24	328	24	334	24	314人
親 子 歯 科 教 室	24	448	24	414	24	443人
育 児 支 援 相 談	5	延７	17	延28	16	延28人
乳幼児クリニック	14	延44	13	延39	12	延44人
保育施設視力検査(年中児)	22施設	710	22施設	630	22施設	712人
フ ッ 化 物 洗 口	39施設	7,514	39施設	7,337	39施設	7,159人
訪問指導(乳幼児・学童)		延124		延163		延173人
随 時 相 談（電話）		延742		延781		延640人
随時相談（来所相談）		延407		延523		延447人

＊集団健診の受診が難しい健診未受診者等に対しては、地区担当保健師が保護者へ連絡し状況把握を行うとともに、個別に相談や訪問で対応しました。また、保護者が育児に困難を感じるなど、専門的な支援が必要な場合は、子ども家庭支援課と連携を図っています。

予算	款	04	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費			
	事業	0104090	母子保健事業		施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（２）妊婦歯科健診

	令和４年度	令和５年度	令和６年度
受診者（人）	200	205	180
妊婦数（人）	577	500	488
受診率（%）	34.7	41.0	36.9

＊妊婦数については、各年度末までに妊娠届を提出した妊婦数としました。
（妊婦の転入者を含みます。）

上記の評価と課題等

将来にわたる健康的な生活習慣の基礎ができるよう、また保護者が児の発育発達について見通しをもち安心して子育てが行えるよう、健診や相談等を実施しました。健診会場への来所が難しい場合は、地区担当保健師が個別に対応し、訪問による相談等を実施しました。

社会情勢の変化等により支援を必要とする対象者が増えています。母子保健事業においても虐待予防の視点を持ちながら対応ができるよう、今後も、必要に応じて関係機関と連携を図り、継続的な支援を行います。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	107

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103120	国保会計繰出金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
556,153,000	556,152,195	0	805	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
341,636,663		保険基盤安定負担金	85,011,101		
		保険基盤安定負担金	256,625,562		
				（地方消費税交付金（社会保障財源化分））	(63,000,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険特別会計繰出金の各繰出科目と金額は次の表のとおりです。

区分		令和６年度決算額(円)
保険基盤安定分	保険税軽減分	285,493,350
	保険者支援分	165,197,490
	未就学児軽減分	3,492,500
	産前産後保険税繰入金	1,332,212
出産育児一時金分		10,804,460
財政安定化支援事業		33,135,183
事務費分		56,697,000
支出合計		556,152,195
保険基盤に対する負担金収入	国	85,011,101
	県	256,625,562
収入合計		341,636,663

上記の評価と課題等

国民健康保険事業の実施により法令等で定められた額を繰出し、国保加入者の負担を軽減することができました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	111

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103200	後期高齢者医療事業		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,567,494,000	1,567,230,001	0	263,999	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
256,263,291		後期高齢者医療保険基盤安定負担金	231,140,879		
		後期高齢者健康診査事業補助金	24,151,600		
		市町村特別対策広報等事業補助金	970,812		
				（地方消費税交付金（社会保障財源化分））	(365,000,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　事業の成果

後期高齢者医療の運営に必要な療養給付費が安定的に確保できることで、保険者である長野県後期高齢医療広域連合の健全な事業運営を保つことができています。

団塊世代の後期高齢者医療への加入による被保険者数の増加に伴い、令和６年度の個別健診および人間ドック、いずれの受診者数も前年より増加しました。

後期高齢者健康診査　受診率（令和７年６月１日現在）

	令和４年度	令和５年度	令和６年度
受診率(%)	17.6%	19.9%	22.1%
対象者数(人)	16,599	16,320	16,924
受診者数(人)	2,916	3,254	3,746

※令和５年度以降の受診率等は、国の基準をもとに算出しています。

後期高齢者健康診査　受診状況内訳　（人）

	令和４年度	令和５年度	令和６年度
集団健診	36	－	－
個別健診	1,759	1,874	2,179
人間ドック	1,121	1,358	1,574
内訳)一日ドック	1,073	1,301	1,519
内訳)一泊ドック	48	54	55
脳ドック	376	455	519
計	3,292	3,687	4,272

上記の評価と課題等

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、決められた負担金を延滞なく後期高齢者医療広域連合へ納入することができ、健全な運営が保たれています。

健診受診者には、個々の受診結果データをもとにして一体的実施事業等における個別保健指導へつなぎ、介護予防・重症化予防を目指します。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	113

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	国民年金事務費			
	事業	0103210	国民年金事務費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
78,850,000	77,030,515	0	1,819,485	97.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
25,597,246		国民年金事務委託金	25,597,246		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　国民年金適用事務

・被保険者　総数　13,919人　（令和７年３月31日現在）

第１号被保険者　9,193人

任意加入被保険者　138人

第３号被保険者　4,588人

・国民年金保険料免除被保険者数

区　分	法定免除	申請免除（全額）	申請免除（3/4）	申請免除（1/2）	申請免除（1/4）	学　生納付特例	納付猶予	免除者総数
令和4年度	1,052	1,175	84	70	36	894	393	3,704
令和5年度	1,096	1,141	73	65	32	855	369	3,631
令和6年度	1,127	1,157	103	71	50	829	380	3,717

２　国民年金給付業務に係る取扱件数

年金種別	令和４年度	令和５年度	令和６年度
老齢基礎年金裁定請求	3	5	5
障害基礎年金裁定請求	34	29	36
遺族基礎年金裁定請求	－	2	3
未支給年金請求	705	738	722
死亡一時金裁定請求	10	9	11
年金生活者支援給付金請求	19	34	49
合計	771	817	826

上記の評価と課題等

法定受託事務として、国民年金被保険者の各種資格届出や保険料の免除申請等を多数扱い、日本年金機構へ提出することで、被保険者の利便性の確保を図りました。

農林部

令和７年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農業政策担当

決算書ページ	145

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	農業総務費			
	事業	0106030	農業総務費		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
151,887,000	147,964,756	0	3,922,244	97.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,760,000		元気づくり支援金	1,760,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　農業振興事業一般管理事務　141,529,815円
　職員給料・手当・共済費・賃金・需用費・公用車管理・補助金等

２　安曇野市農業農村振興計画推進委員会運営　6,434,941円
　出席謝礼・費用弁償・事務事業委託料
　22名の推進委員による委員会を２回開催しました。
　第３次安曇野市農業・農村振興基本計画（令和４から８年度）の中間見直しとして、令和４・５年度の事業実施結果及び令和６年度以降の目標の見直しを行い、事業の進捗状況の点検・評価・検証結果を推進委員会に報告しました。
　本計画は第１次計画から引き継いできた「稼ぐ」「守る」「農と生きる」の３つの施策の柱を継承し、「田園風景と共生する農と暮らし～次世代へつなぐ、ゆたかな安曇野～」を受け継ぎ基本理念としています。

上記の評価と課題等

　市農業農村振興計画の推進にあたり、ＰＤＣＡのチェック機関として推進委員会から第三者的視点で点検評価を行ってもらい、進捗状況の確認と、今後の課題に対する振興策を検討し、実行に移していきます。

令和７年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農業政策担当

決算書ページ	147

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	農業総務費			
	事業	0106040	農業振興地域整備促進費		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
528,000	436,120	0	91,880	82.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,600		農振関係証明手数料	6,600		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市農業振興地域整備計画に基づく農業の総合的振興を図ることを目的として、計画変更に係る申し出の受付を、年２回（前期・後期）行いました。また、２アール未満の用途変更は、随時受付を行っています。

１　前期農業振興地域整備計画変更の概要（受付期間：令和６年５月20日～６月20日）
(1) 受付状況
(ｱ) 除　　外　　14件 10,297.89㎡
(ｲ) 用途変更　　３件　2,083.21㎡（2アールを超える案件）
(ｳ) 編　　入　　２件　2,187㎡
２　後期農業振興地域整備計画変更の概要（受付期間：令和６年11月20日～12月20日）
(1) 受付状況
(ｱ) 除　　外　　25件 20,462.75㎡
(ｲ) 用途変更　　２件　2,241.66㎡（2アールを超える案件）
(ｳ) 編　　入　　２件　4,193㎡
３　随時受付（２アール未満の用途変更）による農業振興地域整備計画変更の概要
(1) 受付状況　　17件　1,876.81㎡

４　市農業委員会意見聴取
(1)開催状況　令和６年８月29日（前期）　令和７年１月30日（後期）
５　市農業振興地域整備促進協議会の開催
(1)開催状況　令和６年８月29日（前期）　令和７年１月30日（後期）

上記の評価と課題等

農業経営基盤強化促進法による「地域計画」との調整を図りながら、農振法に基づき適正な計画変更に取り組んでいきます。

令和７年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書ページ	147

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	農業振興費			
	事業	0106060	農業生産振興費		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
7,511,000	7,323,479	0	187,521	97.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,460,375		環境保全型農業直接払交付金	3,460,375		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１＜市農業再生協議会実施事業＞　　市交付金　3,580,319 円

農家・JA・農業農村支援センター・農業共済組合・市・市農業委員会が連携し、農業技術等の向上を図るため、検証事業を実施しました。

【米穀類生産振興事業】スマート農業検証事業 外６事業
【そ菜生産振興事業】　環境にやさしい害虫防除調査事業 外２事業
【果樹生産振興事業】　地下水保全対策データ収集分析事業 外２事業
【花卉生産振興事業】　花きの病害虫防除及び品質向上事業 外１事業
【畜産振興事業】　安曇野牛ブランド化推進事業　外３事業

２＜水田機能維持・地力増進推進事業負担金＞　13,651,789 円　【市農業再生協議会事業】

麦収穫後のほ場を湛水し、地力増進、抑草等の効果について検証を実施しました。

３＜環境保全型農業直接支払交付金＞　3,280,500 円

地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動（有機栽培・カバークロップ等）に取組む農業者へ対して14,000円/10ａを上限に国(1/2)・県(1/4)・市(1/4)を補助しました。

【令和６年度実績】
対象面積：3,906a
交付金：3,280,500円（内訳：国1,640,250円・県820,125円・市820,125円）

上記の評価と課題等

＜市農業再生協議会実施事業＞

農業農村支援センターやＪＡ等関係機関と情報共有を図りながら、農家の所得向上と農作業の省力化等を目的とした検証事業を実施し、実績報告書としてまとめ関係機関へ配布しました。また、安曇野市農業再生協議会のホームページへも掲載し、市民の皆さんへの周知を図りました。

＜環境保全型農業直接支払交付金＞

安全・安心な生産物を求める消費者が増えています。また、生産者についても環境へ配慮した営農が求められています。引き続き国や県、ＪＡ等と連携を図り、適切な情報提供に努めます。

令和７年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書ページ	147

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	農業振興費			
	事業	0106070	水田農業振興事業		施策	生産振興と販売力の強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
15,916,000	15,916,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
15,916,000		経営所得安定対策等推進事業費補助金	15,916,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

＜経営所得安定対策＞　交付金　15,916,000円

経営所得安定対策推進のため、特定財源「経営所得安定対策等推進事業補助金」全額を市農業再生協議会へ交付しました。

米の生産数量目標＜目安値＞（面積換算）　2,850.2ha
主食用米生産面積　　（実績）　　2,855.9ha

令和６年度安曇野市農業再生協議会経営所得安定対策推進事業

項　目	決算額	主な内容
謝金	24,500円	会議等の出席謝礼
事務等経費	15,275,500円	再生協事務職員報酬等
委託費	616,000円	ﾀﾌﾞﾚｯﾄ型現地調査支援ｼｽﾃﾑ保守 外
合　計	15,916,000円	

上記の評価と課題等

県農業再生協議会が示す「目安値」による米生産の取組みが平成30年から始まり、「目安値」の範囲内で作付けが実施されています。引き続き米の適正生産に向けた取組みを推進していきます。

令和７年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書ページ	147

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	農業振興費			
	事業	0106080	畑作園芸振興事業		施策	生産振興と販売力の強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
76,354,000	74,036,133	0	2,317,867	97.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
56,478,430		きのこ培地資材価格高騰緊急対策事業	6,429,000		
		農作物等災害緊急対策事業補助金	49,430		
		ふるさと寄附基金繰入金	50,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 ＜市農業振興作物等推進事業＞　64,901,181円

生産振興作物支援事業　11,983,749円

経営所得安定対策の実績を基に、予算の範囲内で補助金を交付しました。（申請額が予算額を上回ったため、基本単価を調整して交付）

対象作物	交付対象	基本単価	交付金額
重点作物 玉ねぎ、ジュース用トマト、黒豆	77.3ha	10ａ当たり 10,710円以内	8,283,114円
産地化加算 玉ねぎ、ジュース用トマト、黒豆	63.7ha	10ａ当たり 6,426円以内	3,598,533円
ブランド推進（黒豆）	2,431kg	1kg当たり 42円	102,102円
合　　計			11,983,749円

担い手支援対策事業　35,026,375円

対象作物	交付対象	基本単価	交付金額
担い手助成　麦・大豆・そば・飼料用米	1081.6ha	10ａ当たり 2,856円以内	29,036,602円
団地化加算　麦・大豆・そば・飼料用米	344.1ha	10ａ当たり 1,785円以内	5,989,773円
合　　計			35,026,375円

玉ねぎ振興事業　5,865,057円

玉ねぎ生産推進のため、苗及び苗植機械の購入費に対し支援を行いました。

	件数	補助率	交付金額
機械植え用苗代補助	45	3分の1	5,116,124円
機械購入補助	2	3分の1	639,433円
玉ねぎ祭り苗代補助金	2	1,500円/a	109,500円
合　　計			5,865,057円

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	農業振興費			
	事業	0106080	畑作園芸振興事業		施策	生産振興と販売力の強化

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

きのこ培地資材価格高騰対策事業　　6,429,000円

原材料の価格上昇により、きのこ培地資材価格が高騰したため市内きのこ生産者へ、県の補助事業によりきのこ培地資材費の一部を支援しました。

収入保険加入促進事業　　5,597,000円　　令和６年度対象農家：196件

自然災害による収量減収や価格低下をはじめ、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクに備えるため、「収入保険」への加入促進を図るため、掛金の助成を行いました。

２　＜果樹生産農家支援事業＞　　5,736,361円

果樹共済掛金助成事業　　1,398,300円　　令和６年度実績：102件

近年、異常気象による自然災害の発生リスクが高まる中、果樹農家の経営安定及び「果樹共済」への加入促進を図るため、掛金の助成を行いました。

果樹新植支援事業　　4,338,061円

果樹栽培面積拡大のため、苗木購入費、果樹棚の設置費及び未収益期間（４年間）について支援を行いました。

補助内容	申請件数	対象	補助金額	摘要
苗木代補助	6	543本	565,831円	補助率1/3
未収益期間補助	24	75,444.6㎡	3,772,230円	50千円/10a(4年間)

上記の評価と課題等

＜市農業振興作物等推進事業＞

玉ねぎの交付対象面積は39.4haと前年と比較すると3.1ha減少しました。経営リスク回避のため、作付け作物の分散化や高齢化による離農等の理由により面積減少の傾向ではあるが、引き続き、その他の作物も含めた生産振興に向けた取組みます。

＜果樹生産農家支援事業＞

共済掛金の1/3に対して助成をしており、果樹農家の加入率は結果樹面積対比で16.7%となっています。果樹共済と同様の救済制度となる収入保険制度と併せ、加入率の増加に向けて長野県農業共済組合と連携しながら取り組んでいきます。

令和７年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農業政策担当

決算書ページ	149

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	04	消費拡大対策費			
	事業	0106100	消費拡大対策事業		施策	生産振興と販売力の強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
24,531,000	22,405,433	0	2,125,567	91.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,954,000		デジ田交付金（地方創生推進タイプ）	1,245,000		
		元気づくり支援金	2,709,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

農産物等販路拡大事業（22,405,433円）

海外での安曇野市産農産物用の販路拡大および産地としての魅力の発信のため、シンガポールで開催された「The Japan Rail Fair 2024」への出展をしました。このイベントではわさびをメイン食材とし、清らかで豊かな水環境の魅力を訴求することでインバウンド誘客にもつなげるようPRを行いました。またイベント参加に併せて、１ヶ月のマンスリー企画として、現地飲食店３店舗で信州サーモンやわさびを使用したオリジナルメニュー提供および酒類・農産加工品の販売を行いました。

特急あずさ号を活用して運搬し販売する「安曇野市×あずさマルシェ」開催に合わせて、㈱ルミネが取り組む農業プロジェクト「ルミネアグリプロジェクト」と連携したマルシェ開催にしたことで、生産者自らが首都圏の生活者に対して安曇野市の農産物等を宣伝する機会を設けました。

関西圏でのPRイベントを「安曇野SUNSUNマルシェ」として開催しました。あずさマルシェで好評の「スイートコーン」を販売したところ関西圏でも同様に好評で、安曇野市産農産物および産地の魅力をPRすることができました。

その他、友好都市イベントなどに積極的に出展することで安曇野市産農産物の魅力発信や販売促進につながることを目指すほか、インターネットを活用した通販サイトでの販売補助を行うことで、自ら販路拡大を目指す農業者等への支援を行いました。

産直センター運営事業は、一般社団法人豊科開発公社へ委託し、銀座NAGANOやアンテナショップ等を通じて、安曇野産農産物のPRを行い、ふるさと納税返礼品や野菜BOXの発送業務を行いました。

(1)　農産物等販路拡大事業12,941,882円
(2)　安曇野市農産物販路拡大推進補助金（マルシェ等出店補助金）1,463,668円
(3)　安曇野市農業再生協議会交付金1,985,783円
(4)　産直センター運営支援事業5,974,100円
(5)　長野県農産物等輸出事業者協会負担金40,000円

上記の評価と課題等

「安曇野市×あずさマルシェ」「安曇野SUNSUNマルシェ」ではスイートコーンの販売が好評で、訴求力が高い農産物でもあるため引き続きイベントでの活用を図ります。また、生産者がマルシェに参加し直接商品説明することで消費者の購買意欲向上につなげることができたため、今後も積極的に参加を募っていきます。シンガポールでの安曇野市農産物等プロモーションでは、わさびへの関心が高く評価も高いことから、引き続きわさびを中心にプロモーションを行います。また、わさびを育む水環境をPRすることで他の農作物へも関心を誘い、安曇野ブランド全体の発信につなげます。販路拡大に意欲のある生産者に対し「通販サイト出店補助事業」「マルシェ出店補助事業」「海外物産展等出店補助事業」を積極的に情報発信し、収益増加につなげていきます。

令和７年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農業政策担当

決算書ページ	149

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	04	消費拡大対策費			
	事業	0106110	直売加工施設運営事業		施策	生産振興と販売力の強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
26,000,000	25,642,271	0	357,729	98.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　豊科南部地区産地形成促進施設
　豊科南部地区新鮮市組合（旬彩市）に指定管理し、効率的な管理運営に努めました。
2　豊科農産物加工交流センター（1,734,600円）
　豊科農産物加工交流センター管理運営委員会に指定管理し、効率的な管理運営に務めました。
　(1)指定管理委託料1,390,000円、(2)施設修繕費（排水溝及、水道管）344,600円
3　穂高農業活性化施設（9,747,184円）
　穂高農業活性化施設（Vif穂高、こねこねハウス、穂高農産物加工所）は、企業組合Vif穂高に指定管理し、一体的な管理に努めました。
　(1)指定管理委託料6,202,000円、(2)施設修繕費（不凍栓、電気設備）1,466,136円、
　(3)借地料(こねこねﾊｳｽ 1,454㎡)940,548円、
　(4)備品購入費(冷蔵用ショーケース、冷凍冷蔵庫)1,138,500円
4　三郷産地形成促進施設（1,662,282円）
　㈱三郷サラダ市に指定管理し、効率的な管理運営に務めました。
　(1)施設修繕費（屋根塗装）1,188,000円、(2)借地料（1,209㎡）474,282円
5　三郷畜産活性化施設（312,400円）
　㈱綿半三原商店に指定管理し、効率的な管理運営に努めました。
　(1)施設修繕費（壁掛けエアコン）132,000円、(2)備品購入費(冷凍用ショーケース)180,400円
6　堀金物産センター及び堀金農産物処理加工施設（8,315,627円）
　堀金物産センター、堀金農産物処理加工施設は、農事組合法人旬の味ほりがね物産センター組合に指定管理し、効率的な管理運営に努めました。
　(1)指定管理委託料1,234,000円、(2)借地料（5,675㎡）3,445,000円、
　(3)施設修繕費（店舗床）1,280,488円、(4)積立金（基金積立金、基金積立金利子）2,356,139円
7　明科農産物加工交流施設（3,859,178円）
　あかしな農産物加工交流ひろば組合Ebeya（えべや）に指定管理し、効率的な運営に努めました。
　(1)指定管理委託料2,596,000円、(2)借地料（943㎡）240,178円、
　(3)備品購入費(麹用自動醗酵機)1,023,000円
8　旧三田工業団地食堂（11,000円）
　旧三田工業団地食堂の消防設備等の維持をしている。
　(1)委託料（消防設備点検）11,000円

上記の評価と課題等

直売加工施設の指定管理を行い、施設修繕や備品購入を計画的に進め、引き続き効率的な管理運営に努めます。指定管理の期間満了に伴う更新手続きを行い、施設運営の継続を図りたい。

令和７年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書ページ	149

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費	目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	05	農業交流促進費		
	事業	0106115	市民農園事業	施策	生産振興と販売力の強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
468,000	460,592	0	7,408	98.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
374,400		市民農園利用料	374,400		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　市民農園事業

市民の農ある暮らしの充実を図るために、市民農園の運営・管理を行いました。

（1）市民農園の開設状況

地　域	箇所数	区画数	面積(㎡)	借地料(円)
豊　科	5	107	6,597	197,910
三　郷	3	99	6,661	121,670
堀　金	1	36	1,974	59,220
計	9	242	15,232	378,800

（2）市民農園の利用状況

地　域	利用者数（人）	区画数	利用区画数	利用率(%)	利用料（円）
豊　科	87	107	107	100.0	182,400
三　郷	58	99	96	97.0	134,400
堀　金	26	36	36	100.0	57,600
計	171	242	239	98.8	374,400

（3）ハイジの里市民農園（あづみ農業協同組合所有）

市の補助金を活用し平成29年4月1日に開設しており、市民農園事業における相互の発展のため、連携・協力する覚書を締結しています。

上記の評価と課題等

市管理の市民農園の利用率は、令和７年３月31日現在98.3%でありました。

引き続きホームページや広報誌を活用し空き区画の案内・募集を行い、利用率の維持・向上を図っていきます。

また、畦畔や通路の草刈等の整備を進めたり、利用者への農園の利用方法の周知を徹底させたりして、利用しやすい市民農園の運営を目指します。

令和７年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農業政策担当

決算書ページ	149

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費	目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	05	農業交流促進費		
	事業	0106120	農村都市交流促進事業	施策	生産振興と販売力の強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
10,905,000	9,649,520	0	1,255,480	88.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
95,400		小倉多目的研修集会施設使用料	95,400		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　三郷やすらぎ空間施設運営事業（4,170,700円）
　株式会社かまくらやに指定管理し、効率的な管理に努めました。
　(1)施設修繕費（壁掛型空調機）753,500円、(2)委託料（支障木伐採）194,700円
　(3)指定管理委託料893,000円、(4)借地料（4,659㎡）2,329,500円

2　小倉多目的研修集会施設運営事業（2,970,420円）
　令和３年度から施設を市が直接管理し、地区住民の健康増進及び活力ある農村づくりの用に供しています。
　(1)消耗品費（バッテリー）42,900円、(2)施設修繕費（暗幕等、排煙窓、外灯）1,945,130円、
　(3)光熱水費504,238円、(4)通信運搬費（電話料等）39,502円、
　(5)委託料（清掃業務、消防点検業務等）438,650円

3　農家民宿（2,508,400円）
　令和６年度から本格的に宿泊を伴う農家民泊の受入を再開し、国内の中学校２校の教育体験旅行と台湾からの訪日教育旅行２校の受け入れをすることができました。また、受け手側（農家側）と送り手側（学校側）の受入期間を越えた交流の継続と、農家民泊・農作業体験の内容や成果等を保護者をはじめとした地域住民とも共有することで活動内容のＰＲすることを目的に、受入校に農家が出向いて農家民泊中に作付けした農産物等を販売するフェアを開催しました。
　受入農家の獲得のため勧誘会を実施し、２軒の農家が新規に協議会に加入しました。
　(1)委託料（バス運行業務）62,920円、(2)安曇野市農家民宿連絡協議会負担金2,420,000円、
　(3)補助金（農家民宿開業補助）25,480円

上記の評価と課題等

・三郷やすらぎ空間施設は、指定管理による農村都市交流施設の設置目的に沿った効率的な管理運営に努めます。
・小倉多目的研修集会施設は指定避難所でもあるため、必要最小限の費用で施設維持を図ります。
・農家民泊は、現在の協議会会員の受入状況から生徒数120人以内としていますが、これを越える学校からの問い合わせも多いため新規受入農家の確保に努めます。また、台湾や中国からの訪日教育旅行についても増加傾向にあるため、訪日受入の農家の拡充にも努めます。

令和７年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書ページ	151

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	06	農村集落支援費			
	事業	0106160	担い手支援事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
38,948,000	15,514,590	21,945,000	1,488,410	39.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,446,858		農業経営基盤強化資金利子助成事業補助金	23,858		
		地域計画策定推進緊急対策事業補助金	1,423,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　地域計画（令和７年３月31日策定）

令和５年４月に「農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、新たに「地域計画」を策定しました。

２　経営体育成事業（国庫）　【繰越】　21,945,000円

国の12月補正予算による担い手確保・経営強化支援事業について、市内の１経営体の支援が国に採択されました。（令和７年度への明許繰越事業）

補助率１/２、トラクター、ロータリー、乗用管理機等の農業用機械の取得費用の補助。

３　集落営農組織等機械施設整備支援事業　8,256,000円

集落営農組織が取得する農業用機械・施設に対し補助金を交付しました。

補助率３/10以内、上限300万円、交付実績７件（コンバイン、ブロードキャスター、トラクター、田植え機等）

４　集落営農組織支援事業　4,018,131円

集落営農組織の地域の農業振興の取り組みに対し補助金を交付しました。

交付実績24組織

交付額：経営面積に応じ５、８、10万円、法人化等の取組内容に対し２万円を加算

ブロックローテーション取組加算3,000円/10a

上記の評価と課題等

地域農業を担う認定農業者や集落営農組織などを支援することで所得確保や経営力アップにつながっているとともに、農業・農村の活性化や農業の持つ多面的な機能の維持・向上につながっています。今後も地域農業の維持のために担い手の確保・育成が重要です。

「農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、従来の「人・農地プラン」が法定化され「地域計画」を策定しました。策定にあたり、地域での協議等を、農業委員等と連携して進めることができました。

令和７年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書ページ	153

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	06	農村集落支援費			
	事業	0106165	中心経営体支援事業（過疎対策事業）		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
11,167,000	11,167,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
10,000,000		中心経営体支援事業（過疎債）	10,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　補助経過
　川手水稲共同育苗施設利用組合で使用中の、育苗施設の播種設備（水稲種子播種設備）は、取得から15年が経過しており、耐用年数（７年）を大幅に経過し、度重なる故障が生じ水稲苗の安定的な供給に支障をきたしていたことから、老朽化対策（機械更新）への補助を行うことにより、故障にともなう稼働停止がなくなるとともに、水稲苗の安定生産とスムーズな運営が見込まれるため、過疎債を充当し農業の振興を図りました。

２　補助根拠
　安曇野市過疎地域持続的発展計画（令和４年度～令和７年度）に基づきます。

３　補助額（交付額）　11,167,000円　【総事業費　52,871,720円】

４　事業実施主体　川手水稲共同育苗施設利用組合

５　補助内容　育苗施設の播種設備の老朽化対策（機械更新）への補助
　１）育苗箱自動供給設備　一式
　２）播種プラント　１台
　３）育苗箱自動積重装置　１台
　４）コンプレッサー　１台

　明科地域の持続的発展を目指すため、川手水稲育苗施設の播種設備の老朽化対策（機械更新）に対する補助を行うことにより、過疎地域の重要な農業施設を維持するとともに、地域の基幹産業である農業の振興が図られました。

令和７年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書ページ	153

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	06	農村集落支援費			
	事業	0106170	後継者育成事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
38,081,000	36,755,146	0	1,325,854	96.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
20,986,500		新規就農者住宅使用料	390,000		
		農業次世代投資資金（経営開始型）	20,596,500		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　新規就農者育成総合対策（経営開始資金）（国庫）　16,950,000円
　経営が軌道に乗るまでの間、新規就農者に対して最長５年間（Ｒ４からは３年間）給付金を支給しています。（H24～）
　　給付額：150万円/年以内、交付実績12人

２　親元就農支援金　6,200,000円
　認定農業者である親元等に就農した者（後継者）に対して最長５年間支援金を支給しています。（H25～）　給付額：20万円/年、交付実績31人

３　親元就農機械施設等補助金　2,798,000円
　２の親元就農支援金受給者に農業用機械・施設の整備費用を補助しました。（H25～）
　　補助率：３/10以内、上限100万円、交付実績４件（田植え機、高所作業者等）

４　新規就農者支援事業　640,000円
　新規就農者の賃貸住宅に係る賃借料を補助しました。　（H28～）
　　給付額：10,000円/月、期間：最長3年間、交付実績６人

５　新規就農者育成総合対策・経営発展事業（国庫）3,646,000円
　新規就農者１名が導入した水稲用のトラクター及び歩行型除草機購入費に対する補助金。（補助率３/４以内）

上記の評価と課題等

　農業経営者の高齢化と後継者不足が進行している中ですが、上記の施策を活用して新規参入者・農業後継者を確保しています。（令和６年度は７人が新規就農）
　令和６年度の新規就農相談数は56件でした。国の新規就農者育成総合対策経営開始資金の情報は周知され、交付金の活用を希望する新規就農者の相談も増加しています。
　また、担い手農家の後継者を確保するとともに、新規就農者の受け入れを促進し、農業関係人口の増加を図る必要があります。

令和７年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当・農業政策担当

決算書ページ	153

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	06	農村集落支援費			
	事業	0106175	職農教育推進事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
621,000	454,833	0	166,167	73.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　農業塾等農業者育成活動支援事業　319,000円
　新たな農業者の育成及び農に触れる機会の創出を目的に、農業技術の指導を行っている農業塾や体験農場の活動に対し補助金を交付し支援しています。
　① あかしな農業塾　　158,000円
　② 烏川体験農場　　161,000円

２　南農高校連携事業　135,833円
　平成27年に市と南安曇農業高等学校が、農業の振興や人材育成を目的とした「農業振興に関する連携協定」を締結したことに伴い連携事業を推進しています。
　「安曇野オリジナル商品開発プロジェクト」として、市内の加工・販売事業者４社と連携し、事業者見学会、商品企画をとおして試作品を製作しました。その後、試食会を経て、最終的には10品目の商品案が事業者採用されました。また、わさび研究支援として、苗栽培用の種芋を提供し、種や育苗の研究への支援を行いました。研究により開発されたミスト装置を利用した養成方法（ミスト育苗）で生育されたわさび苗を植え付け、無事収穫することができました。収穫したわさびを種芋とし、そこからさらに苗を生育する研究にも進めることができました。

上記の評価と課題等

　農業塾等支援事業については、農業の担い手となる人材の育成と共に、農ある暮らしの充実のため農に触れる機会を提供することを目的に支援を行っていきます。活動の継続を図るために、新しい実践的リーダーや指導者の確保が今後の課題となっています。
　南農高校連携では、わさび栽培に関する研究やオリジナル商品開発プロジェクトに引き続き支援をしていくとともに、市内事業者と連携し、販売に繋がるような新商品の開発を目指します。

令和７年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書ページ	153

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	06	農村集落支援費			
	事業	0106180	荒廃農地対策事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
100,000	93,000	0	7,000	93.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　荒廃農地解消事業補助金　93,000円

荒廃農地を解消しその後３年間耕作を行う農業者等に、補助金を交付しました。（R１～）
補助額：５万円/10a、令和６年度の対象者は１人、解消面積0.2ha

（直近３カ年の活用状況）

年　度	申請件数（件）	補助金額（千円）	解消面積（ha）
令和４年度	1	101	0.2
令和５年度	1	50	0.1
令和６年度	1	93	0.2

2　荒廃農地解消施策への取組み【市農業再生協議会事業】

市内の軽微な荒廃農地を解消・再生するため、その農地を耕作または耕作を予定している者に対し、歩行型草刈機を無料（燃料は満タン返し）で貸出しています。

設置台数：３台　Ｒ６活用実績：79件

（直近３カ年の活用状況）

年　度	件数
令和４年度	66
令和５年度	67
令和６年度	79

上記の評価と課題等

荒廃農地面積は、農業委員会の利用状況調査の結果13.2haとなっており、今後も引き続き、農業委員会等と連携して調査を行うとともに、荒廃農地の解消と発生防止に努めていきます。

令和７年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書ページ	153

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	06	農村集落支援費			
	事業	0106190	中山間地域等支援事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
16,050,000	15,668,128	0	381,872	97.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
9,585,164		中山間地域等直接支払交付金	9,580,164		
		中山間地域等直接支払推進交付金	5,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　中山間地域等直接支払制度（国事業）　13,085,259円

耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能の確保を図る観点から、農業生産条件の不利を補正する国の中山間地域農業直接支払事業を実施しています。５年間（令和２～６年度）の農業生産活動を継続する協定を締結した８集落に対し、協定面積に応じて交付金を交付しました。

（交付実績）

地　域	協定集落数	協定面積（㎡）	交付額（円）
穂　高	2	133,584	2,805,264
堀　金	1	11,556	242,676
明　科	5	612,977	10,037,319
計	8	758,117	13,085,259

（交付金財源内訳：円）

国　費	6,075,082	県　費	3,505,082	市　費	3,505,095

2　安曇野市中山間地域農業直接支払事業　2,565,727円

国の制度では交付対象とならない農振農用地外等の中山間地域について、国の対策に準じて集落協定（令和６～８年度）を締結した上で、協定面積に応じて市単事業の交付要綱に基づく交付金を交付しました。

地　域	協定集落数	協定面積（㎡）	交付額（円）
豊　科	2	122,971	1,291,195
穂　高	2	121,384	1,274,532
計	4	244,355	2,565,727

上記の評価と課題等

農業の担い手不足や高齢化が進む昨今、特に中山間地域の農地は荒廃化が危惧されています。国の中山間地域等直接支払制度を活用した取組みは、集落の活性化とともに農業生産条件の不利を補正する制度として有効な対策のひとつです。また、国の直接支払制度の対象は農業振興地域内農用地（青地）に限られるため、市独自の支援策として安曇野市中山間地域農業直接支払事業交付金を市内４集落に交付しています。

両制度を活用し、引き続き農地の多面的機能を維持していく必要があります。

令和７年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書ページ	153

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	07	畜産業費			
	事業	0106210	畜産振興事業		施策	生産振興と販売力の強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
17,444,000	17,367,820	0	76,180	99.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,654,776		家畜防疫事業収入	55,000		
		物価高騰臨時交付金	1,599,776		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１＜農業共済組合家畜診療所負担金＞　1,195,000 円

長野県農業共済組合が運営する中信地域家畜診療所の獣医師を雇用し、診療体制を構築するとともに、人工授精や疾病等の防疫活動などを行うなど、地域の畜産振興を図るため、市の畜産経営規模等により算出された負担金を交付しています。

２＜畜産公害防止事業＞　14,306,861 円

畜産経営に係る環境面への対策を推進するため、畜産農家が購入する悪臭対策資材、防虫対策資材等に対して２分の１（上限額：悪臭対策資材８万円、防虫対策資材２万円）の補助金を交付しました。また、堆肥センター廃止に伴う原料搬入農家に対し堆肥舎整備の補助金を交付しました。

３＜環境整備リース事業補助金等＞　71,249 円

「畜産環境整備リース事業」等を利用した農家に対し「附加貸付料」及び「保証料」を補助し、施設周辺の環境保全を図りました。（対象農家：２農家）

４＜畜産悪臭対策事業＞　147,000 円

畜産が起因となっている悪臭問題について、以下の事業を実施し対策を図りました。
ア　対策会議開催（畜産悪臭対策協議会３回及び畜産現場確認２回）
イ　臭気測定関係

５＜家畜伝染病法定検査防疫事業＞　47,934 円

家畜伝染性疾病の発生を予防し、伝染病の蔓延を防止するため、家畜伝染病予防法に基づく定期検査及び予防注射を実施した農家に対し助成しました。

６＜配合飼料価格高騰支援事業＞　1,599,776 円

社会情勢等の影響により配合飼料価格が高騰していることから、畜産農家が経営安定化を図るために加入している配合飼料価格安定制度への加入掛金の一部を補助しました。

上記の評価と課題等

＜畜産経営安定化事業＞＜畜産悪臭対策事業＞
三郷地域の畜産臭気問題については、平成24年度に167件あった悪臭苦情件数が令和６年度は20件になるなど改善は図られています。今後も、悪臭防止法の規制数値以下となるよう、畜産農家に対する指導を関係機関と連携して実施していきます。

令和７年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書ページ	155

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	07	畜産業費			
	事業	0106220	三郷堆肥センター運営事業		施策	生産振興と販売力の強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
273,854,000	273,850,218	0	3,782	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
183,500,000		旧合併特例事業債	183,500,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１＜三郷堆肥センター維持管理費＞　　8,800,000円

ア　三郷堆肥センター指定管理業務
㈱三郷農業振興公社に指定管理し、効率的な管理運営に努めました。
指定管理委託料：7,000,000円（令和６年４月～９月）

イ　堆肥センター借地料（施設用地9,850㎡）　1,800,000円

２＜三郷堆肥センター解体事業＞　　265,050,218円

ア　三郷堆肥センター浄化槽清掃業務委託　　76,680円
堆肥センター解体にあたり、浄化槽の清掃業務を委託しました。

イ　三郷堆肥センター・水分調整施設不動産鑑定業務委託　　490,600円
畜産再編総合対策事業国庫補助金返還にあたり、時価評価額を調査するため不動産鑑定業務を行いました。

ウ　三郷堆肥センター廃棄物撤去・処分業務委託　　498,300円
三郷堆肥センター解体にあたり、センター内の廃棄物等の撤去・処分業務を行いました。

エ　水分調整施設（２施設）解体工事（債務負担行為）　　24,200,000円
三郷堆肥センターの付属施設である水分調整施設（２施設）の解体工事を実施しました。

オ　三郷堆肥センター解体工事（債務負担行為）　169,000,000円
三郷堆肥センターの解体工事を実施しました。

カ　畜産再編総合対策事業国庫補助返還金　70,344,638円
三郷堆肥センター・水分調整施設の解体にあたり、畜産再編総合対策事業国庫補助金の返還を行いました。

上記の評価と課題等

令和７年度の閉鎖に向けて、製造された有機堆肥を販売し在庫の処分を行いました。また、県内農家を対象に施設内で使用していた公用車・設備等を公売しました。堆肥センター・水分調整施設の解体については、国の畜産再編総合対策事業国庫補助金の返還し、解体工事に着手しました。今後は、令和７年度中の解体工事完了及び借地返還に向けて手続きを進めます。

令和７年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書ページ	163

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	水産業費	目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	水産業振興費		
	事業	0106360	水産業振興事業	施策	生産振興と販売力の強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
185,000	185,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

＜水産業振興事業＞　185,000円

水産資源拡大補助事業

漁業法により長野県内水面漁場管理委員会が定めた、犀川漁業協同組合管内でのニジマス増殖指示量を基に、組合が実施したニジマス稚魚の放流量（430kg）に係る経費に対し補助金を交付し、水産資源の確保を支援しました。

上記の評価と課題等

犀川漁業協同組合が漁業法の増殖義務により実施する、放流事業に支援を行いました。

河川での資源確保に向けて、カワウ等による被害の軽減を目的とした鳥獣駆除や、稚魚の放流を組み合わせながら、自然増殖による資源の拡大方法についても県水産試験場や犀川漁業協同組合と連携し検討をしていきます。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	147

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	農業総務費			
	事業	0106050	有害鳥獣駆除対策		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
53,663,000	50,250,361	0	3,412,639	93.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,287,000		野生鳥獣総合管理対策事業補助金	2,287,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　有害鳥獣捕獲等委託
　ア　農作物や林産物に被害をもたらす野生鳥獣の捕獲業務　　委託料　6,237,000円
　　市内全域を対象に、安曇野市猟友会へ委託しました。
　イ　野生小動物死体回収業務　　委託料　973,500円
　　市道等での死獣回収業務を業者へ委託しました。

２　ツキノワグマ緊急捕獲等業務　　委託料　964,350円
　人家周辺に出没したツキノワグマ捕獲に伴う檻の設置等を安曇野市猟友会へ委託しました。

３　ニホンザル農作物等被害対策業務委託　　委託料　6,094,000円
　各群れのニホンザルを捕獲しGPS首輪発信機を装着し、ニホンザルの追払い等に活用しました。

４　狩猟者確保事業補助
　新規狩猟者確保のため、免許取得に係わる経費に対して補助を行いました。
　　新規狩猟者５名　　内訳　新規銃狩猟者　４名
　　新規わな猟者　３名　　補助金　323,000円

上記の評価と課題等

　計画的な有害鳥獣捕獲により農林業被害の軽減を図ることが出来ました。
　有害鳥獣駆除を実施し、ﾆﾎﾝｼﾞｶ288頭、ｲﾉｼｼ26頭、ﾆﾎﾝｻﾞﾙ274頭（内91頭は一斉捕獲）、ｶﾗｽ254羽等を捕獲し、農作物の被害防止に努めました。
　狩猟免許取得経費を補助することにより、新規狩猟者５名を確保することが出来ました。
　GPS首輪発信機の位置情報を基に、追払い隊、猟友会にご協力いただき、ニホンザルの一斉捕獲を行い農作物被害の軽減を図ることができました。
　広域電気柵の維持管理につきましても、実施隊により管理を行い被害の軽減を図ることができました。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	155

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	林業振興費			
	事業	0106230	林業振興事業		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
117,371,000	115,465,132	0	1,905,868	98.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
29,191,496		信州ペレット消費拡大事業補助金	825,000	指定寄付金	50,000
		地方創生支援事業費補助金	19,374,708	分収造林事業木材売払収入	3,083,047
		緑の募金緑化交付金	29,000	分収造林事業基金利子	8,911
		旧穂高町外１ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金繰入金他	5,743,966		
		市有土地貸付収入(旧山林組合関係)他	76,864		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　里山SDGsモデル事業

　安曇野市の「SDGs未来都市」への選定にあたり採択された「自治体SDGsモデル事業」として、里山におけるSDGs達成に向けた各種事業を実施しました。

(1)さとぷろ。基盤整備等支援業務	委託料	4,774,000円
(2)さとぷろ。拠点施設整備	工事請負費	9,981,895円
(3)さとぷろ。活動備品等購入	備品購入費	5,660,842円

２　安曇野市里山再生計画推進事業

　安曇野市里山再生計画に基づく取り組み「さとぷろ。」の各種活動を推進し、市民・事業者と協働で里山再生に向けた取組を継続しました。また令和７年度から始まる第３次計画を策定しました。

(1)計画推進支援業務(３次計画策定、広報支援、活動推進の助言等)	委託料	968,000円
(2)さとぷろ。機構負担金(プロジェクト活動費等)	負担金	1,250,000円
(3)堀金中学校アカマツ天板製作・取り換えワークショップ	委託料	1,049,400円

３　その他林業振興総務事業

(1)緑化木配布事業に伴う苗木購入等（公共施設へ）	原材料費	48,620円
(2)ペレットストーブ導入補助（15台）	補助金	1,499,000円
(3)長峰山絆の森遊歩道、森の小径歩道、蝶の森整備	労務謝礼	250,000円
(4)塚原区公民館外LED化工事補助（一ノ沢）	補助金	5,329,500円
一ノ沢山林組合運営補助	補助金	200,000円

上記の評価と課題等

　令和６年度においては、国の「自治体SDGsモデル事業」補助金を活用し、里山再生活動「さとぷろ。」のプラットフォームとなる「(一社)さとぷろ。機構」の設立をはじめとした各種事業に取り組みました。今後は、このさとぷろ。機構が中心となって、より多くの市民や事業者がさとぷろ。の活動に関わることができるような仕組みの構築を図っていきます。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	157

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	林業振興費			
	事業	0106240	松くい虫被害対策事業		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
139,754,000	138,963,244	0	790,756	99.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
42,642,500		森林健全化推進事業補助金	42,642,500		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

松くい虫防除対策事業

1　松枯損木の伐倒処理業務委託　　補助事業：85,118,000円、市単事業：12,848,000円

地　区	処理作業	処理本数	材　積	内補助対象外
豊　科	伐倒処理等	22 本	30 ㎥	22 本
穂　高	伐倒処理等	809 本	1,009 ㎥	181 本
三　郷	伐倒処理等	429 本	616 ㎥	23 本
堀　金	伐倒処理等	367 本	772 ㎥	2 本
明　科	伐倒処理等	54 本	75 ㎥	54 本
計		1,681 本	2,502 ㎥	282 本

2　特別防除業務（薬剤空中散布）　211,200 円
3　安全確認調査業務　２地区　（気中・水質検査）　847,000 円
4　環境影響調査及び効果検証調査　２地区　2,046,000 円
5　被害木調査業務　203,500 円
6　樹幹注入業務等　4,734,400 円
7　貯木場整備業務　206,800 円
8　市単補助業務　32,115,576 円

内訳　伐倒駆除の補助（枯損木のみ）　124件　10,681,585 円
　　伐倒駆除の補助（健全木含む）　59件　20,435,665 円
　　樹幹注入の補助　77件　998,326 円

上記の評価と課題等

・　松くい虫防除対策としての薬剤空中散布を実施するにあたり、地元住民とのリスクコミュニケーションを図り進めました。また、実施後においては周囲の環境調査や効果検証を実施しています。
・　穂高権現宮などの健全なアカマツに対し薬剤の樹幹注入を実施しました。
・　松くい虫被害防除対策として市単補助金制度の利用を促進し、被害の蔓延防止を図りました。
・　伐採駆除に関しては、電話や窓口での問い合わせが数多く、被害が増えていることが伺えます。
・　松くい虫被害木の全量駆除が困難なことから、倒木による被害等が懸念されています。
・　森林巡視員や区長からの報告等を十分精査し、危険個所の特殊伐採処理や燻蒸処理を進めます。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	157

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	林業振興費			
	事業	0106250	市有林の造成及び管理		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
18,717,000	18,592,786	0	124,214	99.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
10,103,231		森林造成事業費補助金	3,348,700		
		市有林木材売払収入	5,554,531		
		森林の里親促進事業支援金	1,100,000		
		指定寄付金	100,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　市有林整備事業

(1)森林経営計画「小野沢右岸団地」に基づき、計画的に市有林整備を実施しました。

①主伐

4044林班（堀金）約1.83ha　事業費　11,990,000円

②下刈り

4045林班（堀金）約3.37ha　事業費　770,000円

③植栽

4044林班（堀金）約1.45ha　事業費　1,870,000円

④ドローンによる資源量調査・解析

4018林班（堀金）　約7.00ha　事業費　495,000円

(2)その他市有林整備

三郷小倉「室山」森林整備　事業費　727,056円

森林の里親契約地の森林整備(堀金、穂高)　事業費　993,300円

上記の評価と課題等

市有林の多くの樹木は伐期を迎えており、二酸化炭素の吸収源としての機能の増進を図るためにも、森林の若返りを進める必要があります。このため、堀金地域の森林経営計画地「小野沢右岸団地」を中心に、公共施設等での木材活用も考慮しながら、計画的な主伐再造林を進めてます。

今後は、適切な森林管理によるJ-クレジットの創出等を推進することにより、持続可能な森林づくりを推進していきます。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	157

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	林業振興費			
	事業	0106260	間伐対策事業		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
13,550,000	12,996,600	0	553,400	95.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,550,000		森林整備支援事業補助金	4,550,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　森林造成事業補助　　申請件数：６件　　補助金額計：8,446,600円

森林造成事業補助金交付要綱に基づき、国・県の補助を受けて林業事業体が実施する森林整備に対し、安曇野市として県補助金査定経費の10%～20%の嵩上げ補助金を交付しました。

2　森林病害虫被害枯損木利活用事業補助　　4,550,000円

各地域の課題に対応するため、森林整備等に要する経費に対して補助を行いました。

令和５年度から県の補助事業の内容が変わり、森林整備を行う林業事業体ではなく市が事業主体となり事業を進めてきました。

上記の評価と課題等

本事業における民有林（私有林等）の森林整備については、県の補助事業「信州の森林づくり事業」を活用しています。林業事業体が実施者となり、県の査定経費に対して市は嵩上げ補助を行っていますが、令和６年度においては長野県の当該事業予算が不足する事態となり、事業体による民有林の整備が停滞する懸念があります。

今後は安曇野市としても、県や林業事業体とも連携し、安心安全な山林の環境を維持するための施策を検討していく必要があります。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	157

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	林業振興費			
	事業	0106265	森林環境譲与税事業		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
32,832,000	32,831,185	0	815	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,362,185		森林環境譲与税基金利子	155,785		
		森林環境譲与税基金繰入金	4,206,400		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　森林経営管理制度の推進

(1)森林経営管理制度運用業務委託　委託料　488,400円
・意向調査対象森林の現況調査、森林整備方針及び集積計画策定可否の検討

(2)林地台帳更新等業務委託　委託料　1,188,000円
・林地台帳システム、森林簿、所有者情報等の更新

(3)森林経営管理制度に基づく森林整備事業　委託料　2,530,000円
・3009林班(三郷)　森林整備(搬出間伐等)業務委託

(4)森林環境譲与税基金積立金　積立金　28,469,000円

(5)森林環境譲与税基金利子積立金　積立金　155,785円

上記の評価と課題等

森林経営管理制度運用業務により、穂高地域の意向調査対象森林における森林の現況調査を行い、今後の施業方針の検討を行いました。これに基づき、次年度以降当該地域の意向調査を実施します。

また、森林所有者から委託され森林経営管理権を設定した森林約1.00haにおいて、搬出間伐等の森林整備を実施しました。

今後は、森林環境譲与税基金を活用し、林業事業体の経営基盤強化や私有林整備の促進を図るための市単補助金の創設等を検討し、安曇野市内の林業の活性化を図っていきます。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	157

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	林業振興費			
	事業	0106270	林道重点整備・維持管理事業		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
66,644,000	65,203,976	0	1,440,024	97.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
10,369		公共補助林道事業補助金	8,078,000		
		地すべり防止施設等管理サポート事業	99,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

林道の路面清掃及び側溝清掃と刈払い等を行い、利用者が安全に通行できるよう維持管理に努めました。また、交通量の多い幹線林道において大規模な落石や倒木から被害を防ぐため、危険個所の重点的な維持・改良工事を行いました。

1　委託料
- 林道草刈り枝払い等業務　委託料　4,936,096円
  業務委託場所：　烏川線、長峰線、城山線、一の沢線、北沢線他
- 地すべり防止施設管理業務　委託料　99,000円
  業務委託場所：　明科長久保地すべり防止施設

2　工事請負費（補助事業）
- 林道烏川線改良工事　工事費　16,401,000円
  落石防護網工　L＝10.1m
  山留ブロック工　L＝14.9m

3　林道改良工事（単独事業）
- 林道維持補修等工事　工事費　39,004,130円
  工事場所　・烏川線・一の沢線・北沢線・黒川線
  ・二の沢線・安曇野線・城山線・長峰線
  ・白牧線・北の沢線・小水沢線他　28箇所

上記の評価と課題等

林道利用者が安心安全に通行できるよう維持管理に努めました。

林道烏川線は森林整備関係者だけでなく観光客や登山者等の利用も多く、安全性を備えた林道整備を進めていく事が求められているため、改良工事を実施する事により危険個所の整備が図れました。

東山の林道は倒木の恐れのある松くい虫被害危険木早期伐採の対応が必要となります。

西山の林道は大雨や地震直後の落石や法面崩落への対応が必要となります。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書ページ	159

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	耕地総務費			
	事業	0106280	耕地総務費		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
162,118,000	159,493,482	0	2,624,518	98.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
85,827,452		農村環境改善センター維持管理分担金	1,089,402	三郷農村環境改善センター耐震化工事（緊防債）	79,300,000
		国営造成施設管理体制整備促進事業補助金	5,028,000	耕地費雑入	38,050
		地滑り防止施設管理委託金	252,000		
		高瀬川左岸水利運営調整費	120,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　三郷農村環境改善センター
・指定管理者ＪＡあづみ・指定管理期間　令和６年から５年間・指定管理料（年間）8,000,000円
・土地借地料 契約者２件 2,744,085円（内ＪＡあづみ負担分…1,089,402円）

２　年間通水負担金、水利維持管理負担金
・新田堰土地改良区　1,195,200円（年間通水及び水利系維持管理負担金）
・安曇野市矢原堰土地改良区　1,000,000円（年間通水負担金）
・安曇野市烏川土地改良区　1,068,000円（水利系維持管理負担金）
・長野県梓川土地改良区　330,000円（特別排水路維持管理負担金）
・安曇野市土地改良区連絡協議会　2,697,085円（堰で発生したゴミ処理支援負担金）

３　三郷農村環境改善センター多目的ホール天井耐震化工事
・三郷農村環境改善センター多目的ホール天井耐震化工事監理業務委託　3,850,000円
・三郷農村環境改善センター多目的ホール天井耐震化工事　76,142,000円

４　建設負担金（県単農業農村整備事業負担金）
・安曇野市矢原堰土地改良区　600,000円
・長野県梓川土地改良区　564,000円

上記の評価と課題等

指定管理者制度により、三郷農村環境改善センターの適切な維持管理を行うことができました。
また、指定緊急避難場所となっている当施設の多目的ホールの天井が特定天井となっていたため、耐震化工事を行い天井の落下防止策を講じて施設の安全が図れました。
施設が平成６年度に完成し30年経過していることから、令和５年度に策定した長寿命化計画に基づき計画的に施設の改修等を行う必要があります。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書ページ	159

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	耕地総務費			
	事業	0106290	土地改良施設維持管理適正化事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
302,000	302,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　事業概要

土地改良施設の計画的な維持補修や更新を行うため、施設を管理する土地改良区や水利組合等が、あらかじめ地元負担分を全国土地改良事業団体連合会に積み立ててから行う補助事業です。

５年間で事業費の３割を均等割りした額を拠出金として積み立て、実施年度に積立金（30%）と国（30%）、県（30%）の補助金を合算した金額（90%）が交付されます。

【負担割合】国30%、県30%、市20%、地元20%

２　建設負担金

負担先	金額
長野県梓川土地改良区	302,000円

上記の評価と課題等

市内では昭和40から60年代にかけて積極的に農業基盤整備が進められましたが、近年では水利施設の老朽化が著しく漏水等により営農に支障が生じています。

今後も土地改良施設維持管理適正化事業を導入し、土地改良区・水利組合と連携を図りながら計画的に水路改修工事を進めていく必要があります。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書ページ	159

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	耕地総務費			
	事業	0106300	国営土地改良事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
11,098,000	11,091,567	0	6,433	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　一部事務組合負担金
・広域排水路の管理を行っている安曇野松本行政事務組合への負担金を支出しました。
安曇野・松本行政事務組合負担金　10,112,567円

2　工事請負費
・国営土地改良事業穂高有明地区沈砂池フェンス更新工事　979,000円
工事概要　フェンス更新　１カ所

上記の評価と課題等

安曇野地区広域排水事業は、安曇野市と松本市に跨る約6,200haを受益地として平成7年度から平成17年度にかけて基幹的な排水路整備を行っています。この排水路を適切に管理することで、近年の集中豪雨等による洪水に対して被害防止に寄与しています。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書ページ	161

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	農村整備事業			
	事業	0106310	市単土地改良事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
51,521,000	49,292,915	0	2,228,085	95.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
809,925		土地改良事業地元分担金	723,800		
		ふるさと・水と土保全基金利子	86,125		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　工事関係

工事内容	件数	金額
水路補修、漏水補修等工事	25件	17,711,400円
水路土砂撤去工事	12件	7,021,300円
その他工事（耕地復旧等）	11件	7,175,300円
合　　計	48件	31,908,000円

2　土地改良事業補助金関係

申請団体	件数	金額
土地改良区	28件	8,397,450円
水利組合	15件	3,008,255円
合　　計	43件	11,405,705円

3　管理委託関係

（１）契約件数　　10件

（２）委託料　2,204,771円

（３）管理委託内容　排水路草刈、支障木伐採、排水水門ゴミ片付け等

4　原材料支給関係

（１）支給件数　　８件

（２）工事用原材料費　1,191,974円

（３）内容　水路目地補修資材、土のう用洗砂、縞鋼板等

上記の評価と課題等

農業水利施設改修要望の内容を確認し、多面的機能支払交付金に係る組織や関係土地改良区と調整を図り、市単土地改良事業として計画的かつ効率的に実施されるよう進めています。

しかし、改修費に対する地元負担金が担保できない箇所の改修が困難となっています。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書ページ	161

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	農村整備事業			
	事業	0106320	県営土地改良事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
9,781,000	9,776,200	0	4,800	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
8,600,000		県営かんがい排水事業（公共事業等債）	8,600,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市内で実施される県営土地改良事業の市負担金を支出しました。

1　建設負担金

（1）県営畑地帯総合土地改良事業　中信平左岸地区

・事業概要　　畑地かんがい施設更新工事　一式
・事業費　　1,000,000円
・建設負担金額　　96,200円
・建設負担割合　国：50%、県：27．5%、松本市と安曇野市：11.25%、土地改良区：11.25%

（2）県営かんがい排水事業　須砂渡地区

・事業概要　　農業用水利施設更新工事　一式
・事業費　　91,800,000円
・建設負担金額　　9,639,000円
・建設負担割合　国：50%、県：29%、安曇野市：10.5%、土地改良区：10.5%

2　県営事業割賦課金

長野県土地改良事業団体連合会賦課金　41,000円

上記の評価と課題等

県営畑地帯総合土地改良事業中信平左岸地区は、かんがい施設を制御する無線周波数の切替に伴う施設整備費用を負担することにより、農家の利便性向上につながりました。また、県営かんがい排水事業須砂渡地区は、頭首工施設更新等の施設整備費用を負担しました。今後も県営事業に関する地元協議に関わりながら事業を推進し、農業用施設の更新を図っていきます。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書ページ	161

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	農村整備事業			
	事業	0106330	団体営土地改良事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
26,257,000	25,812,539	0	444,461	98.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,040,000		団体営土地改良事業補助金	7,040,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国・県補助金を活用し、老朽化の進んだ農業水利施設の更新を進めました。

１　設計監理委託料
・農業水路等長寿命化・防災減災事業　三郷及木地区測量設計業務委託　　2,475,000円

２　工事請負費
（１）農業水路等長寿命化・防災減災事業　三郷及木地区排水路改修工事　8,701,000円
・工事概要　水路改修　U600　L=150.7m　U360Ｂ　L=47.0m
・事業年度　令和６年度～令和８年度
・負担割合　国：50%、県：14%、市：36%

３　事業割賦課金
・長野県土地改良事業団体連合会賦課金　50,000円

上記の評価と課題等

国・県補助金を活用できる団体営土地改良事業により農業水利施設の整備が推進され、施設の長寿命化及び防災・減災につながりました。令和３年度に策定された農業水利施設個別施設計画に基づき、計画的に団体営土地改良事業を導入し、土地改良区及び水利組合と連携を図りながら整備を進めていきます。

三郷及木地区の排水路改修を行い、適正な通水断面を確保しつつ水利施設の長寿命化を図ることができました。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書ページ	161

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	農村整備事業			
	事業	0106340	多面的機能支払交付金事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
253,623,000	253,550,215	0	72,785	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
191,312,177		多面的機能支払推進交付金	188,065,413		
		多面的機能支払交付金返還金	3,246,764		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

多面的機能支払交付金事業は、農地や農業用水などの農業基盤と農村環境の保全と質的向上を図るため、地域住民等が主体となる地域ぐるみの活動を支援しています。

令和６年度は、豊科、穂高、三郷、堀金、明科地域の５つの広域組織を１つの広域組織に統合し、安曇野市広域協定運営委員会として活動しました。

１　取り組み状況について
- 組織数　　17組織（豊科　１組織、穂高　８組織、三郷　３組織、堀金　２組織、明科　２組織、広域協定運営委員会　１組織）
- 取組面積　　3,717ha（豊科 709ha、穂高 1,185ha、三郷 1,060ha、堀金 586ha、明科 177ha）
- 補助金額　　249,673,884円（うち市負担分62,418,471円）
- 負担割合　　国50%、県25%、市25%

２　広域化による事務軽減の内容
- 資源向上支払交付金（長寿命化）の工事の契約、工事監理、検査、支払を事務局で行いました。
- 農地維持支払交付金、資源向上支払交付金（共同）の事務について、活動組織に希望を取り、作業日当支払い事務等を広域事務局で行いました。

３　使用料及び賃借料
- 交付金支援システム借上料　898,920円（うち交付金810,000円）

上記の評価と課題等

各活動組織の活動により、農地と水路・農道が保全され、農業用施設の維持補修と更新工事を行い、施設の長寿命化が図られました。

広域化により、各組織が行っていた交付申請、会計、工事事務などの事務が軽減されました。

今後も市内農地と水路・農道の保全のため、交付対象農地の拡大を図ります。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書ページ	161

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	農村整備事業			
	事業	0106350	経営体育成基盤整備事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
130,750,000	130,637,668	0	112,332	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
106,707,000		団体営土地改良事業補助金	106,167,000		
		土地改良事業地元分担金	540,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

烏川地区では、面整備が終了し１区画における面積が拡大したことから、地域の農業が将来にわたり持続する取り組みとして、担い手農家への農地集積・集約化を進めたことにより、実行委員会へ促進費が交付されました。

久保田・塚原地区では、新たなほ場整備事業を令和７年度新規事業採択を目指して、換地計画素案等の作成を行いました。

１．烏川地区

（１）農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業：農業経営高度化支援事業）に係る促進費

127,598,000円

・負担割合　国：55%、県：27.5%、市：17.5%

２．久保田・塚原地区

（１）農業競争力強化農地整備事業　久保田・塚原地区経営体育成促進換地等調整業務委託

1,980,000円

・負担割合　国：50%、市：25%、地元：25%

（２）農業競争力強化農地整備事業　久保田・塚原地区換地計画概要書作成業務委託

990,000円

上記の評価と課題等

烏川地区では、経営体面的集積促進事業で、担い手に農地集積を行い、面的集積面積が116.9ha、集積向上率が31.1%となり目標値を達成したため、事業費の４%の促進費を実行委員会に交付しました。

この促進費により、地元負担の軽減が図られました。

久保田・塚原地区では、国、県のヒアリングを受け、令和７年度県営事業新規採択に向けて、長野県に新規採択申請書を提出しました。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	245

予算				総合計画		
	款	11	災害復旧費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	農林水産施設災害復旧費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	林業施設災害復旧			
	事業	0111020	林道災害復旧事業		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
36,810,000	2,167,000	34,643,000	0	5.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
0					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

林道一の沢線災害復旧工事は、測量設計を行いましたが、冬季の積雪により工事を実施できなかったため、監督補助業務委託費と工事請負費を繰り越しました。

測量設計業務委託　　2,167,000円

繰越
監督補助業務委託　　1,826,000円
工事請負費　　32,817,000円

上記の評価と課題等

工事中の登山者等歩行者の通行を確保し、安全に工事を実施する必要があります。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書ページ	163

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	農村整備事業			
	事業	0190070	【明許】農業施設維持工事（市単）		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
30,000,000	30,000,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
23,892,000		【明許】農業施設維持工事（過疎債ソフト）	9,900,000		
		【明許】潮区水管橋撤去工事負担金	13,992,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

現在、使用していない農業用水路水管橋と上水道水管橋の撤去を行いました。

1　工事請負費
（１）明科潮地区　水管橋撤去工事　　30,000,000円
・工事概要　水管橋撤去　一式

上記の評価と課題等

潮地区水管橋撤去工事は、入札が不調となったことから令和５年度より明許繰越しました。
今年度は、老朽化し不要となった水管橋の撤去工事が完了し農業用施設の景観保全が図れました。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書ページ	163

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	農村整備事業			
	事業	0190170	【明許】農業用排水路工事・農道舗装工事（団体営）		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
10,070,000	10,010,000	0	60,000	99.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,800,000		【明許】団体営土地改良事業補助金	6,800,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国・県補助金を活用し、老朽化の進んだ農業水利施設の更新を進めました。

1　設計監理委託料
（1）農業水路等長寿命化・防災減災事業　矢原堰地区実施設計業務委託　990,000円

2　工事請負費
（1）農業水路等長寿命化・防災減災事業　矢原堰地区排水門自動化工事　9,080,000円
・工事概要　白金放水路水門自動化　一式
・負担割合　国：50%、県：18%、市：32%

上記の評価と課題等

国・県補助金を活用できる団体営土地改良事業により農業水利施設の整備が推進され、防災・減災につながりました。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書ページ	163

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	農村整備事業			
	事業	0190180	【明許】ほ場整備負担金（経営体育成基盤整備）		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
25,102,000	25,102,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
18,801,000		【明許】土地改良事業地元分担金	6,301,000		
		【明許】団体営土地改良事業補助金	12,500,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

久保田・塚原地区では、新たなほ場整備事業を令和７年度新規事業採択を目指して、実施計画等の作成を行いました。

1. 久保田・塚原地区

（１）農業競争力強化農地整備事業　久保田・塚原地区実施計画策定業務委託　25,102,000円

・負担割合　国：50%、市：25%、地元：25%

上記の評価と課題等

久保田・塚原地区では、国、県のヒアリングを受け、令和７年度県営事業新規採択に向けて、長野県に新規採択申請書を提出しました。

農業委員会事務局

令和７年度	
部	農業委員会事務局
課	農業委員会事務局
係等	農業委員会事務局

決算書ページ	143

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	農業委員会費			
	事業	0106010	農業委員会費		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
87,019,000	85,305,172	0	1,713,828	98.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
16,729,697		国有農地管理事務委託金	528,000	農業者年金事務費	320,000
		農業費負担金	9,114,000	農地売買支援事業交付金	125,000
		機構集積支援事業費補助金	85,000	農業投資価格評定謝金	8,600
		農地利用最適化交付金	6,544,830	その他雑入（農業委員会事務局）	4,267

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　農業委員会の運営　農業委員24名（R6.7.20任命）、農地利用最適化推進委員27名（R6.7.22委嘱）
　　農業委員１名の欠員に伴う補充（R7.3.27任命）
　・毎月、定例総会、地域委員会（５地域）、三役・地域長会を開催し、農地の所有権移転、利用権の設定、農地転用等の審議を行いました。（改選のため７月は除く）
２　全国農業新聞の普及推進　令和７年３月31日現在　購読者数：89件
３　農地パトロールの実施及び遊休農地解消に向けた取り組み
（１）遊休農地の実態調査として、農地パトロールと解消に向けた取り組み（指導や農地のあっせん等）を行いました。
　　年度末の遊休農地面積38.4ha（緑区分：25.2ha、黄区分：13.2ha）解消面積12.1ha
（２）山林原野化した農地について、25筆（1.4ha）を非農地決定しました。
４　家族経営協定の推進
　・令和７年３月31日現在　協定締結数108件（うち新規３件）
５　情報提供
（１）農業委員会だよりを発行しました。（７月・12月）
（２）賃借料情報一覧及び農作業標準労賃・機械作業料金協定表を作成し、配布しました。
６　農業者年金の諸届等の事務と加入推進
　・令和７年３月31日現在　受給者全体：270名　被保険者：51名（うち新規加入：１名）
７　タブレット端末の委員への貸与
　・タブレット端末を農業委員及び農地利用最適化推進委員へ貸与し、農地パトロールに活用しました。また、令和７年１月より定例会の議案書や各種通知等をペーパーレス化しました。
８　地域計画の策定に伴う目標地図（素案）の作成
　・農政課と連携して協議の場に農業委員及び農地利用最適化推進委員が参加し、地域の担い手と一緒になって地域の農業の将来の在り方について話し合いを行い、目標地図（素案）を作成しました。

上記の評価と課題等

遊休農地対策は、大きな課題として、各地域で農業委員・農地利用最適化推進委員が中心となり対策に取り組んでいますが、農業者の高齢化と後継者不足、耕作意欲の低下等により、遊休農地の発生に苦慮している状況です。

今後も行政、農協、地域が連携し、遊休農地対策と土地所有者への啓発に努めるとともに、土地所有者と担い手との農地のマッチングに取り組みます。また、関係部署と連携して農業委員が首都圏における就農相談会に出席し、相談に応じることで新たな農業者の確保を図ります。

引き続き、農業委員会が中心となって農地の利用関係の調整、農政課と連携して策定した地域計画の実現に向けて地域での話し合いを継続し、目指すべき地域農業を具体化していきます。

商工観光スポーツ部

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	143

予算				総合計画		
	款	05	労働費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	労働費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	労働諸費			
	事業	0105010	勤労者福祉事業		施策	多様な働き方への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
57,350,000	57,350,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
50,000,000		勤労者資金元金	50,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　勤労者資金融資あっせん（預託金額50,000,000円）

勤労者の生活の安定と福祉の向上に資するため、長野県労働金庫あづみ野支店の協調を得て生活資金のあっせんを行いました。（預託融資倍率1.5倍で長野県労働金庫と協定）

【利用状況】

年　度	新規利用件数	新規融資金額計	年度末融資残高
令和４年度	０件	０円	25,647,000円
令和５年度	１件	2,400,000円	18,962,000円
令和６年度	０件	０円	12,249,000円

２　安曇野市勤労者住宅建設資金融資利子補給金（補給金2,800,000円）

勤労者が市内に延床面積150㎡以内の住宅を建設、または敷地面積330㎡以内の宅地を購入するために長野県労働金庫から融資を受けた際に利子の一部を補給しました。

【利用状況】

年　度	新規利用件数	３年分の利子総額	補給金総額
令和４年度	34件	26,406,333円	1,700,000円
令和５年度	33件	26,782,649円	1,650,000円
令和６年度	56件	55,591,767円	2,800,000円

３　安曇野市勤労者互助会運営事業（負担金4,250,000円）

市内に事業所を有する中小の事業者及び従業員の環境整備や福利厚生の向上を目的に、安曇野市勤労者互助会の運営を支援しました。なお、令和６年度末会員数は1,500人（対前年18人減）でした。

上記の評価と課題等

勤労者資金融資あっせん事業、勤労者住宅建設資金融資利子補給事業及び勤労者互助会運営事業は、中小企業、小規模事業者の従業員の福利厚生や生活の安定に寄与していることから、引き続き制度の周知を図り、市内事業者の加入促進、利用率向上を図ります。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	143

予算				総合計画		
	款	05	労働費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	労働費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	労働諸費			
	事業	0105020	労働雇用対策事業		施策	多様な働き方への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,365,000	4,019,057	0	345,943	92.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　ふるさとハローワーク（安曇野市地域職業相談室）管理事業（事業費3,999,807円）

県安曇野庁舎１階に相談室を開設し、就職希望者に対してハローワークの職員が４名体制で主に就職相談、あっせんを行いました。会計年度任用職員を総合受付に配置しました。

【地域職業相談室利用状況】

年 度	相談日数	相談者数	１日平均	紹介件数	就職者数	就職者数/紹介件数
令和４年度	244日	9,914人	41人	2,887件	955人	33.1%
令和５年度	243日	9,428人	39人	2,823件	985人	34.9%
令和６年度	243日	9,220人	37.9人	2,716件	893人	32.8%

２　雇用対策事業（事業費19,250円）

個人の労働一般に関する相談に対し、専門の相談員を配置し対応しました。

年　度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
生活労働相談 （毎月第２木曜日、日中・夜間）	５件	10件	10件
わかもの就職サポート相談 （毎月第３金曜日、日中３枠）	27件	36件	34件
若年者ひきこもりやブランクのある人向けの個別就労相談（毎月最終火曜日、日中）	53件 （24回/年実施）	31件 （12回/年実施）	39件 （12回/年実施）
チャレンジ面接会in安曇野 （年３回）	求人16社 参加者205人	求人24社 参加者249人	求人21社 参加者192人

上記の評価と課題等

引き続き長野労働局や松本公共職業安定所と連携し、求職者のニーズに応じて丁寧な相談業務を行うと共に、雇用情勢の分析等を行い、地域の就労環境向上を図っていきます。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	163

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	商工総務費			
	事業	0107010	商工総務費		施策	商工業の振興

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
298,726,000	295,326,692	0	3,399,308	98.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　商工会補助金（補助額51,946,666円）
①経営改善普及事業（事業費18,446,666円）
　市内小規模事業者の振興と経営安定を図るため、市商工会が実施する経営改善、技術改善のための経営支援員による巡回や、創業・経営指導、金融斡旋等事業及び税務・金融個別指導などに対して支援しました。
②地域総合振興事業（事業費33,500,000円）
　市内商工業者の発展を図るため、市商工会が実施する各事業を支援しました。
　商工会では、事業継続計画（BCP)策定支援としてのセミナー開催や小規模企業持続化補助金取得支援、国及び県等の各種協力金・支援金の給付支援事業を実施しました。

２　信州安曇野食の感謝祭（負担金11,216,000円）
　昨年度からイベント名称を「食の感謝祭」と改め、来場者と出展者相互の交流機会の創出と安曇野の「食」と特産品の魅力を再発見していただくイベントとして、11月２日（土）、３日（日）の２日間、穂高神社で開催しました。新規15ブースを含む76ブースの出展があり、初日は天候不良により終了時間を繰り上げたものの、2日目は好天となり、2日間で延べ20,000人をお迎えしました。

上記の評価と課題等

　安曇野市商工会への補助事業を通じ、事業者の経営革新や経営に関する相談・支援等を行うことで市内小規模事業者等の経営安定化のほか、地域の賑わいの創出と、商業振興、工業振興等に資することができました。
　次年度以降に県補助金の見直しによる減額が見込まれるため、その際には市補助金額も減額となり、将来的に現状の支援体制の維持が難しくなることが危惧されます。商工業の振興、地域活性化に繋がっていく事業の実施について、商工会とこれまで以上に協調し、検討・実施していく必要があります。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	165

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	商工総務費			
	事業	0107020	ＪＲ・高速乗合バス利用対策事業		施策	商工業の振興

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
19,381,000	17,691,708	0	1,689,292	91.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,565,422		市営駐車場使用料	2,485,400		
		JR乗車券類等発売業務	2,080,022		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　駅関連施設管理事業（事業費14,552,727円）

ＪＲ駅無人化対策として、大糸線の５駅（安曇追分駅、有明駅、柏矢町駅、中萱駅、梓橋駅）及び篠ノ井線の田沢駅の計６駅の乗車券類の発売を、安曇野市簡易委託駅連合会に委託しました。また、市内11駅中、公設駐輪場のある10駅の駐輪場の管理を行い、利用者の利便性向上を図りました。

【簡易委託駅の状況】

委託駅６駅合計	令和４年度	令和５年度	令和６年度
乗車券取扱総額	50,204,590円	56,956,740円	55,093,550円
受託金収入額 ※	1,799,155円	2,059,307円	2,080,022円

※ 乗車券類の販売手数料として取扱総額の５％(定期券は1.8%)を受託金として収入

２　市営駐車場管理業務（事業費3,138,981円）

長野道安曇野バス停を乗降所として運行しているバスを利用する人等の利便性向上のため、安曇野インターチェンジ東駐車場の管理を行いました。

年　度	総件数	左の内バス利用件数	バス利用者割合	使用料収入額
令和４年度	17,805件	8,812件	49.49%	2,493,600円
令和５年度	18,393件	9,261件	50.35%	2,560,200円
令和６年度	9,684件	715件	7.38%	2,485,400円

上記の評価と課題等

簡易委託駅については、当面は現在の営業時間（午前7時～正午）で営業を継続し、ＪＲによるSuica導入に伴う乗車券・定期券の販売数への影響を注視していきます。また、各駅の放置自転車の整理についても、利用者に不都合が生じないように計画的に実施していきます。

市営駐車場については、引き続き除草や除雪等を行い、施設の適切な維持管理をしていくと共に、利用者に不便が生じないよう設備点検を行っていきます。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	165

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	商工振興費			
	事業	0107030	商業振興事業		施策	商工業の振興

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
11,495,000	10,789,401	0	705,599	93.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
85,777		産業会館光熱水費	85,777		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　明科産業会館管理運営（事業費632,401円）
明科地域の商業振興のための施設として貸館業務を行いました。
管理業務を委託し施設管理を実施しました。
令和６年度の延利用者数は353人、延利用団体数は25組でした。

２　商業事業者支援事業

○街路灯維持管理事業（事業費2,280,000円）
商店街が管理する街路灯に係る電気料金に対し、10/10の助成をしました。

年度	対象本数	補助金額
令和４年度	316本	2,230,000円
令和５年度	416本	1,777,000円
令和６年度	424本	2,280,000円

○販路拡大展示会出展事業補助金（事業費1,570,000円）（国内は30万円、海外は40万円を限度）
展示会の出展小間料等に対し、5/10以内の助成をしました。

年度	利用件数	補助金額
令和４年度	４件	155,000円
令和５年度	９件	1,319,000円
令和６年度	８件	1,570,000円

○空き店舗等改修支援事業補助金（事業費6,307,000円）（80万円を限度）
令和４年度から開始し、事業を営むために掛かる空き店舗等の改修費用等に対し、5/10以内の助成をしました。

年度	利用件数	補助金額
令和４年度	５件	1,427,494円
令和５年度	11件	8,625,000円
令和６年度	９件	6,307,000円

上記の評価と課題等

街路灯維持管理事業では、街路灯を維持管理している商店街の負担軽減を図りました。
今後の課題として、新たなニーズへの対応や制度設計等の見直しが課題となっています。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	165

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	商工振興費			
	事業	0107050	工業振興事業		施策	商工業の振興

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
163,663,000	163,219,320	0	443,680	99.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
51,942,000		ふるさと寄附基金繰入金	50,000,000		
		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	1,942,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　中小企業等サポート事業（事務事業委託料4,136,529円）

「中小企業事業者支援業務」を安曇野市商工会へ委託し、製造業等企業への情報提供、ビジネスマッチング支援、個別企業の課題解決等の支援を実施することで、企業の成長と雇用の安定を図ることを目的に実施しました。

【主な業務件数】

	件　数		
	令和４年度	令和５年度	令和６年度
市内事業者訪問による情報収集及び経営支援等	251	63	29
ビジネスマッチング支援等	2	2	10
市等が助成する各種助成金に関する支援	2	0	0
経営強化に関する支援	2	0	32
関係機関・団体との連携強化によるビジネス創出支援	5	0	6
安曇野工業の発展促進化支援	3	0	0
合　計	265	65	77

２　企業誘致

市内への立地を希望する企業の受け皿となる産業用地の確保を目的として、令和５年度から穂高北穂高地区産業用地整備事業を進めています。青木花見産業団地及び島新田工業団地の周辺地を開発候補地として設定し、官民連携による開発を進めるべく（株）ヤマウラ及び（株）ｄ－ネクストと官民連携協定を締結しました。

市内の雇用促進や地域経済活性化に寄与する企業を官民連携により誘致活動を行い、第一期開発地に進出を希望する企業の募集を行いました。

予算				総合計画		
	款	07	商工費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		基本方針	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	商工振興費			
	事業	0107050	工業振興事業		基本施策	商工業の振興

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　企業への助成制度の充実

新たな企業誘致と既存企業の設備投資・事業拡大などの支援のため、工業系は14の助成制度を設けています。助成制度の利用促進に向け、助成制度に関するチラシ作成や市ホームページへの掲載により周知に努めると共に制度説明会を開催するほか、市商工会に広報を依頼するなど普及活動に努めました。

【交付実績】（　　）は前年度数値

事　　業　　名	件数	補助金額	備　考
工場等設置事業	５件 （６件）	6,843,800円 (8,399,300円)	新規２件 ２年目１件、３年目２件
特定工場立地事業	０件 （０件）	0円 (0円)	
生産設備取得事業	19件 (16件)	94,840,000円 (43,894,000円)	新規12件 ２年目４件、３年目３件
工場用地取得事業	１件 （２件）	442,200円 (893,800円)	新規０件 ２年目０件、３年目１件
空き工場等活用促進事業	９件 （８件）	6,906,000円 (4,901,000円)	新規２件 継続７件
デジタル化推進支援事業	１件 （－件）	289,000円 （－円）	
建物附属設備設置事業	８件 （－件）	2,292,000円 （－円）	
技術・製品等展示会出展事業	13件 （４件）	3,454,000円 (970,000円)	
新製品・新技術開発支援事業	０件 （０件）	0円 (0円)	
工場等緑化事業	１件 （０件）	235,000円 (0円)	
国際（国内）規格取得支援事業	２件 （０件）	301,000円 (0円)	
製造業等人材育成事業	３件 （２件）	76,000円 (30,000円)	
地域経済牽引企業工場用地取得事業	５件 (11件)	34,078,000円 (122,113,000円)	新規０件 継続５件
本社機能移転企業雇用創出事業	０件 （０件）	０円 (0円)	
合　　計	67件 (48件)	149,757,000円 (181,201,100円)	

上記の評価と課題等

工場用地取得等の様々な助成制度により、市内への企業誘致、企業留置、雇用機会創出に繋がっています。また、生産設備の更新、導入等を促すことで、中小企業の労働生産性の向上や、受注等対応力向上により、主要産業である製造業等の基盤強化を図りました。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	165

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	商工振興費			
	事業	0107060	市制度資金貸付事業		施策	市内事業者の経営強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,785,077,000	1,774,990,458	0	10,086,542	99.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,706,395,761		市制度資金元金	1,700,000,000		
		制度資金保証料補給金返還金	6,395,761		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　制度資金貸付状況（預託金1,700,000,000円）・・・預託金額の５倍まで融資可能

市内の中小企業・小規模事業者に必要な資金を円滑に供給するため、金融機関及び長野県信用保証協会の協調を得て融資を実行しました。

【融資件数の状況】

		令和４年度		令和５年度		令和６年度	
		融資件数	融資額	融資件数	融資額	融資件数	融資額
市	運転資金	52	190,200,000	53	190,860,000	81	366,100,000
	設備資金	25	87,530,000	30	139,060,000	41	208,340,000
	計	77	277,730,000	83	329,920,000	122	574,440,000
県	運転資金	72	776,120,000	76	1,188,310,000	72	1,154,588,000
	設備資金	28	185,530,000	35	304,280,000	27	236,292,000
	計	100	961,650,000	111	1,492,950,000	99	1,390,880,000
計	運転資金	124	966,320,000	129	1,379,170,000	153	1,520,688,000
	設備資金	53	273,060,000	65	443,340,000	68	444,632,000
	計	177	1,239,380,000	194	1,822,870,000	221	1,965,320,000

２　制度資金保証料補給金及び利子補給（補給金54,599,552円）

保証貸付を受ける者が負担すべき保証料は、年2.20%以下で保証協会が定める率で賦課されますが、市はその4/5から5/5に相当する保証料を補給しました。また、融資を実行した翌年度において、１年に限りその利子の１％を上限に補助金として交付しました。

保証料補給金：217件　39,799,924円　利子補給金：191件　14,799,628円

上記の評価と課題等

多くの市内事業者の資金需要に対応することができ、これにより事業継続が図られ従業員の雇用確保にも繋がりました。

引き続き、物価高騰対策や、事業継続、事業転換等を支援する新たな資金メニューの創出や、利用実績の乏しい資金メニューの見直しについて、信用保証協会等の関係各所の意見収集、県制度資金の動向を見ながら検討していきます。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	165

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	商工振興費			
	事業	0107070	産業連携推進事業		施策	市内事業者の経営強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,672,000	6,633,000	0	39,000	99.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　産業支援コーディネーターによる支援（事業費6,633,000円）

販路・流通・マーケット戦略などを食品流通系に詳しい法人に業務委託して、市内中小事業者の経営支援・事業者間連携による新商品開発を支援しました。

受託業務項目	Ｒ４年度活動件数	Ｒ５年度活動件数	Ｒ６年度活動件数
市内事業者訪問による経営支援	56	59	87
地域ブランドの構築・発信	206	190	131
地域内事業者連携支援	18	63	77
合計	280	312	295

上記の評価と課題等

産業支援コーディネーターにより、事業者の伴走型支援と共に広域的な人材マッチング等、販路・流通・マーケット戦略といった企業支援を行いました。

今後の課題として、安曇野市のブランド力向上のため、Web広告やSNS等を通じた情報発信の強化が必要です。また、地域ブランド構築のため、地域企業の技術力や地域資源を活用した企業間連携による新商品開発も必要となります。このため、地域内事業者の交流・連携機会の創出による事業者間連携の向上を図ります。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	167

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	商工振興費			
	事業	0107130	しごと創出事業		施策	多様な働き方への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
18,828,000	18,303,732	0	524,268	97.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,922,000		デジ田交付金(地方創生推進タイプ)	6,922,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　創業実現セミナー事業（負担金1,800,000円）
　商工会と共同で経営・財務・人材育成・販路といった創業に必要な基礎知識の習得、経営への心構えなどレベルに応じ３講座を開催しました。
　・創業基礎セミナー（21名参加）
　・創業実現セミナー（23名参加）
　・次世代経営者育成塾等（６名参加）
　当該セミナーの受講を通じて、５名の方が創業されました。

２　サテライトオフィス誘致支援業務委託（事業費3,845,160円）
　専門事業者に業務委託して、地域資源や地域課題からみえる企業ニーズに応じたサテライトオフィス誘致に係る戦略を策定しました。

３　リモートワーカー育成支援業務委託（事業費9,999,000円）
　育児や介護など、時間的に制約のある方をリモートワーカーとして育成するとともに、企業が求めるスキルを習得させ、リモートワーカーの受注拡大につながることを目的として、専門事業者に業務委託して、各種セミナーを開催しました。

上記の評価と課題等

　創業実現セミナーなどを通して市内で新規創業を目指す者を支援しました。また、創業に至った後も自走に繋がっていくようにアフターフォローを継続して行っていく必要があります。
　これまで育児や介護などによりフルタイムで働くことができなかった者をリモートワーカーとして育成し、地域の労働者不足の課題解決に寄与することを目指しました。
　また、安曇野市の独自の地域資源を活用して、地域の課題を解決するためにサテライトオフィス誘致に関する戦略を策定しました。今後、この戦略に基づいて新たな企業の誘致につなげます。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	167

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	商工振興費			
	事業	0190160	【明許】プレミアム付き商品券事業		施策	商工業の振興

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
675,793,000	650,183,672	0	25,609,328	96.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
645,987,155		【明許】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	161,287,155		
		【明許】商品券販売収入	484,700,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　プレミアム付商品券事業（総事業費660,183,672円）
R5概算10,000,000円＋R6精算払650,183,672円
物価高騰の影響を受けている市内経済と市民生活の活性化を図るためプレミアム付き商品券の作成・換金業務等を委託しました。物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が繰り越されたこと、年度内での事業完了が困難であることから、令和５年度から令和６年度にかけて繰越して実施しました。販売数は、48,470セット（1セット13,000円分商品券を10,000円で販売、プレミアム率30%）

上記の評価と課題等

プレミアム商品券応募希望数が多数となったことから、販売枚数を抽選により調整しました。50,000セットを用意し、48,470セットを販売。販売率は、96.94%となりました。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書ページ	151

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	05	農業交流促進費			
	事業	0106130	安曇野の里運営事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
30,213,000	28,029,002	0	2,183,998	92.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,221,000		安曇野の里基金利子	1,000		
		安曇野の里基金繰入金	610,000		
		安曇野の里施設利用料	610,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

豊科安曇野の里自然活用村施設（ビレッジ安曇野ほか関連施設）の管理を指定管理し、効率的な管理と各種農業体験や武蔵野市等との交流、各種イベントの企画による都市農村交流など、農業振興事業に努めました。

また、プラザ安曇野の食堂・直売所部分を株式会社薬師平リゾートへ指定管理しました。

○ビレッジ安曇野ほか

指定管理者	一般社団法人豊科開発公社		
指定管理施設	ビレッジ安曇野、プラザ安曇野（１階東、２階）、わさび田広場、あづみ野ガラス工房、あづみ野第２ガラス工房		
指定期間	令和５年４月１日　から　令和８年３月31日　まで		
指定管理料	14,600,000円	市への納付金	R2～R6全額免除（4,790,000円）
利用者数	ビレッジ安曇野宿泊者数 9,208人（前年度比 +1,347人）		

○プラザ安曇野1階西

指定管理者	株式会社薬師平リゾート		
指定管理施設	プラザ安曇野１階西（食堂・直売所）		
指定期間	令和３年４月１日　から　令和８年３月31日　まで		
指定管理料	768,000円	市への納付金	610,000円
利用者数	施設利用者数 18,048人（前年度比　2,288人）		

○共通経費

借地料	3,624,210円（12,630.33㎡）	
改修修繕等	プラザ安曇野　高圧機器修繕	4,488,000円
	ビレッジ安曇野自動ドア装置緊急修繕	770,000円

上記の評価と課題等

安曇野の里については、光熱費等の高騰による管理経費の増加など厳しい経営状況が続いていますが、施設利用者はコロナ前の約７割まで回復するなど、経営改善にも取り組み宿泊施設として適正なサービス提供を行っています。

経年経過による施設の損耗や、設備の不具合などによる修繕の増加、令和５年９月から営業休止したプラザ安曇野２階チロルの設置目的に沿った活用方法の検討などの課題があります。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書ページ	151

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	05	農業交流促進費			
	事業	0106140	ファインビュー室山運営事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,192,000	3,462,360	0	729,640	82.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,000		三郷農林漁業体験実習館基金利子	1,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

三郷農林漁業体験実習館（ファインビュー室山）の管理を、株式会社ファインビュー室山に指定管理し、効率的な管理と農業体験をはじめイベント等の企画を通じた都市農村交流に努めました。

○ファインビュー室山

指定管理者	株式会社ファインビュー室山		
指定期間	令和５年４月１日　から　令和８年３月31日　まで		
指定管理料	なし	市への納付金	R2～R6全額免除（19,060,000円）
利用者数	宿泊者数 7,421人（前年度比 -161人）		
主な工事・修繕	給水ポンプ緊急取り換え工事		790,900円
	正面自動ドア緊急修繕		695,200円
	宿泊棟脱衣所床修繕		706,860円

上記の評価と課題等

ファインビュー室山については、光熱費等の高騰による管理経費の増加など厳しい経営状況が続いていますが、施設利用者はコロナ前の約７割まで回復するなど、経営改善にも取り組み、宿泊施設として適正なサービス提供を行っています。

経年経過による施設の損耗や、設備の不具合などによる修繕の増加が課題となっています。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書ページ	151

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	05	農業交流促進費			
	事業	0106150	ほりでーゆ～運営事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
13,492,000	13,443,016	0	48,984	99.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,559,000		堀金観光開発基金利子	71,000		
		堀金観光開発基金繰入金	7,156,000		
		建物総合損害共済金	332,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

ほりでーゆ～四季の郷及び周辺施設を、株式会社ほりでーゆ～に指定管理し、効率的な管理運営と農業体験をはじめとしたイベント等の企画を通じた都市農村交流に努めました。

○ほりでーゆ～四季の郷

指定管理者	株式会社ほりでーゆ～		
指定管理施設	ほりでーゆ～四季の郷（本館・南館）、パター・マレットゴルフ場、コテージ四季の郷、須砂渡キャンプ場、憩いの森オートキャンプ場		
指定期間	令和５年４月１日　から　令和８年３月31日　まで		
指定管理料	2,300,000円	市への納付金	R2～R6全額免除（53,970,000円）
利用者数	ほりでーゆ～四季の郷宿泊者数 15,102人（前年度比 -1,285人）		
借地料	3,578,966円（165,654.81㎡）		
主な工事	機械室修繕他工事		1,040,600円
主な修繕	宴会場床張替修繕		3,740,000円
	南館３階全室・４階廊下非常用照明修繕		1,287,000円
	本館機械室貯湯槽修繕		1,089,000円

上記の評価と課題等

ほりでーゆ～四季の郷については、光熱費等の高騰による管理経費の増加など厳しい経営状況が続いていますが、施設利用者はコロナ前の約７割まで回復するなど、経営改善にも取り組み、宿泊施設として適正なサービス提供を行っています。

経年経過による施設の損耗や、設備の不具合などによる修繕の増加が課題となっています。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書ページ	157

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	林業振興費			
	事業	0106232	長峰山森林体験交流センター事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
27,403,000	26,528,772	0	874,228	96.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,599,000		建物総合損害共済金	1,599,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

長峰山森林体験交流センター（天平の森）の管理を指定管理し、効率的な管理と森林体験や天体観測等の体験の機会を増進し、地域や都市との交流の促進に努めました。
また、老朽化したハンググライダーの発射台を更新し競技者はもとより、登山客をはじめ訪れる観光客が安心して絶景を楽しめるスポットとして整備しました。

○長峰山森林体験交流センター

指定管理者	穂高カントリー株式会社		
指定期間	令和元年４月１日　から　令和８年３月31日　まで		
指定管理料	16,755,000円	市への納付金	なし
利用者数	コテージ利用者数1,520人（前年度比-22人）キャンプ場利用者数730人（前年度比-138人）		
主な修繕	長峰山頂上ポンプ室ポンプ他修繕		3,817,000円
	火災受信機修繕		1,056,000円
	給湯機取替修繕		338,800円
	男女浴室浴槽修繕		338,800円
	分電盤他電気設備修繕		214,170円
主な工事	コテージエアコン設備工事		878,900円
	本館エアコン設備工事		1,236,950円
	長峰山頂上配水池量水器取替工事		288,200円

上記の評価と課題等

長峰山森林体験交流センターは、施設及び設備の老朽化に伴う修繕や自然災害による修繕等が発生していますが、利用者への影響を最小限に抑え適正な管理運営が図られています。
公共施設再配置計画に基づき施設の譲渡に関して進めており、老朽化した施設・設備の管理等が課題となっています。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光促進担当

決算書ページ	167

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107080	地域ブランド化構築事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
14,831,000	13,574,776	0	1,256,224	91.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,962		天蚕振興基金利子	7,962		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　安曇野ブランド創出事業の支援（600,800円）
　観光地ブランドの要素となる地域資源を守り育てる活動を続けている、市民団体（屋敷林と歴史的まちなみプロジェクトほか全５プロジェクト）の活動支援を行いました。各団体の自主的運営が継続できるよう、プロジェクトの方向性の見直しや補助金以外の自主財源確保等、自立に向けた取り組みを進めています。

2　安曇野の食の魅力を高める取り組み（200,000円）
○安曇野やさいスイーツフェアの開催
　令和６年10月１日から10月31日まで開催。共同販売イベントは市役所庁舎で実施し、初の試みとしてフェア期間中の10月17日、18日に開催しました。
　安曇野の豊かな自然が育んだ根菜類をテーマにスイーツを商品化し、期間限定で市内の菓子店等で販売しました。【参加店舗】12店舗

○「安曇野林檎ナポリタン」のPR　(159,280円)
　平成24年度に安曇野市のＢ級グルメとして商品開発された「安曇野林檎ナポリタン」への参加店舗は、13店舗（12業者）となりました。また、安曇野のご当地料理としてイベントや市内小中学校の給食でも提供されました。
　PR用のチラシやポスター、のぼり旗を作成し、観光案内所、観光施設などに設置したほか「安曇野林檎ナポリタン」を提供している店舗を周遊してもらうため、割引チケットキャンペーンを実施しました。

3　メディア・ロケ誘致推進事業
　メディア関係者の取材や映画・テレビ番組等の撮影を誘致するため、ロケ支援専用ホームページなどによりロケ地情報の提供や、取材・撮影に同行し撮影の支援を行いました。
ロケ支援作品やテレビ番組も複数放映され市のPRにつながりました。
【ロケ支援対応】映画：１件　テレビ：16件　ＣＭなど：３件

4　「朝が好きになる街」ブランドづくり事業（341,000円）
　視覚的な統一を図ることにより市の存在感を高めるVI（ビジュアルアイデンティティー）構築に取り組みました。「朝が好きになる街　安曇野」とVIロゴマークが記載されたクリアファイルを作成し観光キャンペーン等で活用しました。
　また、市内企業等のVIロゴマーク使用申請は12件ありました。

予算				総合計画		
	款	07	商工費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		基本方針	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107080	地域ブランド化構築事業		基本施策	地域独自の観光資源の活用

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

5　天蚕振興事業

○安曇野市天蚕センターの指定管理（指定管理料　4,292,000円）

安曇野市天蚕振興会に指定管理し、天蚕に関する資料・機器具・工房等が広く一般に公開され、施設活性化のための創造事業として機織り体験等のワークショップも実施されました。

来場者数	令和６年度	3,024人	前年度比　５％ 増
	令和５年度	2,881人	前年度比　12％ 増
	令和４年度	2,583人	前年度比　27％ 増

○天蚕飼育

長野県が所有する旧蚕業センター有明試験地を賃借し、天蚕の飼育を行いました。

面　積　　22,234.65㎡　　借地料　　9,990円

○天蚕振興会運営支援（補助金　1,720,000円）

市内の天蚕飼育者等で組織されている安曇野市天蚕振興会へ運営支援のため、補助金を交付しました。天蚕振興会では、天蚕の飼育、繰糸、機織、製品づくり、後継者育成として研究事業等の一連の事業を行いました。

① 生産実績　　収繭数：9,788粒、生糸繰糸量：2.05kg、紬糸：0.02kg
反物制作数：着尺４反、小物用生地２枚、ショール等36枚
安曇野ハーフマラソン2024天蚕布製メダルストラップ６セット

② 後継者育成　繰糸部による技術講習会等の開催
穂高西小学校、明科明北小学校、穂高東中学校、豊科南中学校、国営公園あづみの学校で出前授業等の実施

③ 研究事業　　信州大学との包括連携事業として繊維学部との調査研究事業

○広域連携

市が加盟する各種協議会事業へ参加し、天蚕振興会と共に天蚕をPRしました。

・信州シルクロード連携協議会事業等への参加
・大日本蚕糸会事業との連携

○天蚕業の振興とリブランディング（3,300,000円）

・穂高天蚕糸を国内外で広く認知してもらうことを目的に、将来の担い手となりうる服飾系専門学校の学生と、安曇野市天蚕振興会との交流事業および天蚕糸を使用したビジネスプランの企画造成を行い、ビジネスプランコンテストを銀座NAGANOで実施しました。

上記の評価と課題等

地域ブランド構築化に向けメディアへの安曇野の食や美しい景観・自然などの情報提供や、SNSを活用したVI事業などを通じ、市のイメージアップに取り組みました。貴重な地域資源の一つである天蚕については、中心となる安曇野市天蚕振興会への支援を実施し、後継者の育成と生産量の確保に取り組みました。

今後も、市民の皆さんの力を活用しながら「わさび」「山岳観光」「天蚕」など、地域ブランドの差別化を明確に図りつつ、観光プロモーション事業と連携しWeb、SNS、メタバース空間など観光DXにつながる情報発信を図り、市民・来訪者に対する安曇野ブランドの認知度向上と観光誘客へとつなげていきます。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光促進担当

決算書ページ	167

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107090	観光イベント事業		施策	戦略的な観光プロモーション

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
12,531,000	12,336,124	0	194,876	98.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
				（入湯税）	(10,432,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

交流人口拡大、地域経済の活性化を図るため各実行委員会を支援しイベントを実施しました。（各種イベントへの補助金 12,209,000円）

1 第41回早春賦まつり
４月29日（月・祝）新型コロナウイルス感染症が５類に移行となり、５年ぶりの通常開催となりました。

2 第17回安曇野花火
８月14日（水）あいにくの雨となりましたが約4,000発の花火が打ちあがり、訪れた約15,000人の観覧者から大きな拍手が起きるなど盛況となりました。

3 安曇野ロゲイニング
11月30日（土）初めてとなる堀金地域を競技エリアとし３時間の部、５時間の部を設け開催しました。当日は県内外から205名が参加しました。

4 安曇野神竹灯
11月29日（金）～12月１日（日）、12月６日（金）～８日（日）の６日間、約10,000本の竹灯籠を穂高神社境内に配置し開催しました。神楽殿でのライブやキッチンカー、クラフトが出店する「あづみ野てらす」も同時開催し、期間中会場には約28,000人の来場がありました。

上記の評価と課題等

花火大会などのイベントを開催し、県内外から多くの方に訪れていただき安曇野を楽しんでもらえる機会を創出できました。
自然現象による開催条件と内容の検討、実行委員の構成などの課題もありますが、各イベント実行委員会関係者と協議を続けながら交流人口拡大に繋がるイベントの推進に努めます。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光促進担当

決算書ページ	169

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107100	受入体制整備事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
103,376,000	102,506,958	0	869,042	99.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,870,250		デジ田交付金（地方創生推進タイプ）	4,870,250		
				（入湯税）	(14,065,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　安曇野市への来訪者の状況等

観光地利用者統計調査結果によると、令和６年の観光地延利用者数は前年比約98％の約400万人となり前年を下回りました。観光消費額も前年比約95％の約100億円となりました。減少した理由については、悪天候（台風）や能登半島地震の影響が大きな要因だと考えられます。

	年	観光地延利用者数（千人）				観光消費額（百万円）
		合計	前年比（％）	日帰り・宿泊別		
				日帰り	宿泊	
安曇野市	令和6年	3,995	98.4	2,988	1,007	10,018
	令和5年	4,059	108.8	2,967	1,092	10,506
	令和4年	3,731	119.5	2,784	947	9,387
	令和3年	3,121	107.3	2,492	629	7,215
	令和2年	2,908	58.2	2,310	598	6,693

県全体	令和5年	未発表（8月公表予定）				
	令和5年	80,141	106.2	54,158	25,993	308,687
	令和4年	75,447	143.3	52,707	22,740	282,524
	令和3年	52,589	102.2	36,676	15,913	183,286
	令和2年	51,476	59.8	34,865	16,611	184,140

２　受入体制の充実

○安曇野市観光協会との連携

安曇野市観光協会への補助事業・委託事業により、着地側での観光情報の発信や着地型旅行商品の造成、周遊バスの運行やシェアサイクルの活用による二次交通の充実など、受入体制の充実を図りました。

① 運営補助金（16,632,000円）

事務所経費、らくらくタクシー運行等経費、シェアサイクルの運営等に対する補助

② 観光案内・情報発信等業務委託（64,251,220円）

・観光案内業務（穂高駅前観光情報センター及び観光情報スペース）
・着地体験型旅行商品の造成・販売業務
・あづみ野エンジョイバス運行（周遊バス）
・独自パンフレット作成（あづみ野ガイドマップ、あづみ野エンジョイバスルートMAPなど）

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		基本方針	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107100	受入体制整備事業		基本施策	地域独自の観光資源の活用

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○第２次安曇野市観光振興ビジョンの推進
　令和５年度に策定した、第２次安曇野市観光振興ビジョンの各施策を進めています。実施している各施策については、安曇野市観光ビジョン推進委員会を設置し評価・点検を行っています。

○観光地情報アプリの構築（9,741,000円）
　「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用し、スマートフォン等で利用可能な地域情報、ルート検索、チケット造成、販売、決済機能などを持たせたアプリを構築し、観光客の利便性の向上を図りました。

○山岳観光の推進（4,300,000円）
　安曇野市山岳観光推進実行委員会への補助事業を行い、ライトユーザーや若者層をターゲットに山岳・平地観光の魅力を発信しました。YouTube上で北アルプス登山や安曇野観光の魅力をPRするためのオンラインイベントを初開催し北アルプスの魅力を発信しました。

① 北アルプスパノラマ銀座山小屋リピート企画
② パノラマ銀座英語版Webサイトの改修
③ 安曇野ひがし山の魅力を伝えるガイド付きツアーの実施
④ YouTubeを活用した山岳情報の発信

○地域おこし協力隊員の活動
　地域おこし協力隊員最終年度（３年目）の活動として、飼育・繰糸技術の習得のほか天蚕振興会と協力して県外でPR活動を実施したり、市内の認定こども園や小学校などで天蚕の飼育技術などについて学習会を開催するなど、天蚕を次世代につなげる取り組みを行いました。卒隊後も市内に在住し、天蚕の普及にご協力いただける予定です。

上記の評価と課題等

　観光推進組織である安曇野市観光協会と連携し、観光情報センターや観光案内所での情報発信、地域資源を活用した着地型旅行商品の造成・販売を行い、市内での宿泊に繋げることができました。
　また、ルート検索などの機能を持たせた観光地情報アプリを構築し、来訪者の受入体制を整えることができました。山岳観光では、北アルプスパノラマ銀座及び「ひがし山」の魅力発信を行い、誘客や受入体制の充実を図りました。
　今後は、来訪者の市内での滞在時間延長を図るべく、自然や歴史的文化財などを活かした受入体制の整備を実施していきます。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光促進担当

決算書ページ	169

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107110	安曇野ブランド情報発信事業		施策	戦略的な観光プロモーション

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
51,945,000	49,073,000	0	2,872,000	94.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
36,254,765		デジ田交付金（地方創生推進タイプ）	6,254,765		
		ふるさと寄附基金繰入金	30,000,000		
				（入湯税）	(3,402,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　誘客宣伝の充実
交流人口の拡大を図るため、様々な媒体で広告掲載をおこなったほか、安曇野市観光協会とも連携し誘客活動を実施しました。
○雑誌等への広告料（4,738,117円）
・雑誌等への広告掲載（るるぶ・ハイウェイマップ等）、高速バスラッピング（新宿－松本線）都営浅草線車内ポスター、JR関西空港駅マルチビジョン広告掲載
○パンフレット・ポスター作成、WEBによるPR等の委託料（2,249,720円）
・安曇野市観光パンフレット修正・増刷　　・Webを活用した観光PR情報発信
・安曇野インスタグラムフォトコンテスト等
○首都圏コミュニティエフエム等での情報発信（エフエム江戸川）

2　戦略的な観光プロモーション
①安曇野の資源を活かした訪日教育旅行の誘致（2,224,375円）
・インバウンド対策としてリピーター率の高い台湾をターゲットに、長野県の訪日教育旅行誘致活動と連携し台湾現地にて関係者とのネットワークの構築を図りました。

②インバウンド戦略・プロモーション（6,336,000円）
・訪日外国人向けに安曇野市の認知度向上を図りインバウンド観光客の増加と継続的なPR・受け入れ体制の強化に繋げるため、英語版Webページの改修や地域通訳案内士の活用とブラッシュアップなどに取り組みました。

3　観光デジタル化推進事業（12,509,530円）
・観光でのＤＸ推進を図るため「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用し、課題調査および市内へのデジタル技術普及を進めるための事業を実施しました。

①メタバースを活用した観光情報発信
・北アルプスからの眺望をはじめとしたインパクトのある風景をメタバース上に出現させ、イベント等を開催しながら本市の認知機会とデジタル関係人口の創出を図りました。

②メタバース活用観光プロモーション
・メタバースの周知及び利用促進と若年層を中心とした更なる交流人口拡大等を図るめ、YouTuberを活用したイベントを実施しました。

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		基本方針	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107110	安曇野ブランド情報発信事業		基本施策	戦略的な観光プロモーション

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

③観光事業者を対象としたデジタル活用人材育成
・OTAやGoogleビジネスプロフィールなど観光DXを活用し、地域一体での集客体制を整えていくため観光協会・商工会と市内事業者向けの研修会等を実施しました。

4　関連団体との広域連携による観光振興の推進（負担金8,795,000円）
広域で組織された観光関連団体に参画するとともに、広域的な観光プロモーション事業の実施や、首都圏等での誘客活動等に参加し、安曇野の情報発信を行いました。

≪主な団体≫
- 信州まつもと空港地元利用促進協議会　4,610,000円
- 日本アルプス観光連盟　1,100,000円
- モンベルフレンドエリア　924,000円
- 大糸線ゆう浪漫委員会　876,000円
- 安曇野アートライン推進協議会　300,000円　等

上記の評価と課題等

旅行雑誌やラッピングバスなど多方面で効果的な広告掲出を行い、市の情報接触者の獲得につなげることができました。また、Web、SNS、観光メタバースの活用では新たな年齢層に向けた観光プロモーションを図ることができました。

インバウンド等の取り込みを課題として、引き続き観光メタバースなどのデジタルコンテンツを活用していきます。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書ページ	169

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107140	温泉活用施設事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
11,828,000	10,767,250	0	1,060,750	91.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
11,828,000		林産物買受負担金	2,100,000		
		しゃくなげの湯外施設使用料	9,728,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

湯多里山の神、安曇野しゃくなげの湯について、指定管理者による管理運営を行いました。

○湯多里山の神

指定管理者	株式会社芙蓉		
指定期間	平成31年４月１日　から　令和11年３月31日　まで		
指定管理料	なし	市への納付金	0 円 (1,090,000 円　全額減免)
利用者数	入浴者数 52,825人（前年度比 +1,945人）		
主な修繕	メインボイラー修繕		192,500円
	消防設備修繕		122,100円
	受水槽漏水修繕		113,300円

○安曇野しゃくなげの湯

指定管理者	ユアーズ静岡株式会社		
指定期間	令和４年４月１日　から　令和９年３月31日　まで		
指定管理料	なし	市への納付金	13,500,000円
利用者数	入浴者数 230,724人（前年度比 +10,879人）		
主な修繕	パッケージエアコン緊急修繕		1,298,000円
	浴室引戸クローザー修繕		770,000円
主な工事	井水ポンプ交換工事		1,265,000円

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		基本方針	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107140	温泉活用施設事業		基本施策	地域独自の観光資源の活用

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市民や来訪者が気軽に利用できる天然温泉を活用した無料の施設として、八面大王足湯・待合所の維持管理を行いました。

○八面大王足湯・待合所

受託者	シルバー人材センターほか	
主な業務	足湯・待合所清掃等管理業務	570,166円

上記の評価と課題等

湯多里山の神及びしゃくなげの湯について、それぞれの指定管理者により適正に管理運営がされました。湯多里山の神では、コロナ禍で減少した利用者数が回復しない状況です。また両施設とも設備修繕等が増加しており、計画的・予防的修繕が課題です。

八面大王足湯については適正に維持管理を行い、多くの観光客等に利用いただいています。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書ページ	171

予算				総合計画		
	款	7	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	1	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	3	観光費			
	事業	0107150	潮沢廃線敷整備事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
9,150,000	7,860,459	0	1,289,541	85.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,000,000		廃線敷維持点検管理事業（過疎債）	4,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

来訪者が、旧国鉄篠ノ井線廃線敷を安全にトレッキング等を楽しむことができるよう、三五山トンネル及び漆久保トンネルの安全確保のため、継続監視業務、補修設計業務、公衆便所の清掃等管理業務を委託しました。

○事業内容

支　出　内　容	支　出　額
トイレ清掃、門扉開閉等管理委託	952,604円
トンネル継続監視等業務（点検等）、補修設計業務	3,657,500円

廃線敷施設の維持、修繕を行いました。

○事業内容

支　出　内　容	支　出　額
排水側溝の土砂撤去	933,900円
橋梁路面改修	847,000円

地元有志の団体「ケヤキの道」に除草・倒木処理等の管理業務を行っていただきました。
10月にはＪＲの「駅からハイキング」イベントに併せて三五山トンネル等を利用して「安曇野APPLE HALLOWEEN」が行われるなど、誘客イベントが実施されました。

○事業内容

支　出　内　容	支　出　額
廃線敷遊歩道等整備謝礼	350,000円

上記の評価と課題等

来訪者に廃線敷を楽しんでいただけるよう、地元ボランティア団体である「ケヤキの道」との連携により施設管理を行うことができました。
今後は廃線敷の魅力をより広く発信していくことを課題として、三五山・漆久保の両トンネルを安全に通行できるよう継続監視を引き続き実施することに加え、趣を残した補修工事を行うとともに、地元ボランティア団体にも声を聞きながら、協力して魅力発信に努めます。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書ページ	171

予算				総合計画		
	款	7	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	1	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	3	観光費			
	事業	0107160	施設管理整備事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
170,546,000	154,790,172	5,000,000	10,755,828	90.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
81,281,000		かじかの里公園改修事業（特例債）	44,800,000	観光公園使用料	53,000
		地域ﾃﾞｼﾞﾀﾙ基盤活用推進事業	20,202,000	指定寄附金	10,000
		山岳環境整備基金繰入金	11,765,000	しゃくなげの湯外施設使用料	3,772,000
		観光施設駐車場負担金	597,000	指定寄付金	10,000
		山岳環境整備基金利子	72,000	（入湯税）	(4,184,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市への来訪者のみならず、市民も快適に観光施設（公園・公衆トイレ・駐車場等）が利用できるよう、既存施設の修繕、清掃等の維持管理を行いました。
また、観光客が利用する市所有トイレを改修し、利用者の満足度向上を図りました。

１ 登山道等整備事業として、登山者用駐車場等の施設維持管理、中房線登山車両誘導業務、北アルプス南部地区登山道整備のために登山道等維持連絡協議会への負担金支出等、観光客用駐車場確保のため、補助金交付等を行いました。また、登山口駐車場における混雑を解消するため駐車場管理システムの構築を行いました。

２ 観光施設公園管理事業として、公園・観光施設・公衆トイレ30箇所等の管理を行いました。また、かじかの里公園の改修事業では、研修棟等の改修や遊具の設置、駐車場整備工事等を行いました。

○主な事業内容

支 出 内 容	支 出 額
報償費 ・登山道等整備謝礼	1,845,000円
施設修繕費 ・登山口施設修繕 ・トイレ施設修繕 ・公園施設修繕	1,307,020円
委託料（管理業務等） ・公園・トイレ管理業務 ・中房登山車両誘導業務 ・光城山登山口駐車場警備業務	9,916,361円
委託料（事務事業等） ・登山者カウンター保守管理 ・登山口駐車場管理システム構築業務 ・駐車場用地土質、測量設計業務　ほか	45,185,600円

予算				総合計画		
	款	7	商工費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	1	商工費		基本方針	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	3	観光費			
	事業	0107160	施設管理整備事業		基本施策	地域独自の観光資源の活用

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○主な事業内容

支　出　内　容	支　出　額
委託料（設計監理等） ・中房登山口公衆トイレ洋式化工事監理業務 ・かじかの里公園 施設改修工事設計業務	4,750,900円
借上料 ・仮設トイレ、目隠しフェンス等	1,249,930円
借地料 ・市内観光施設借地 ・トイレ等借地	2,000,411円
工事請負費 ・中房登山口公衆トイレ洋式化工事工事　6,765,000円 ・一の沢登山口トイレ蓄電池更新工事　1,925,000円 ・登山道標設置工事　1,075,844円 ・御宝田遊水地駐車場敷砂利工事　1,188,000円 ・かじかの里公園 施設改修Ⅰ期工事　24,640,000円　ほか	48,226,844円
公有財産購入費 ・かじかの里公園駐車場用地	5,675,000円
負担金 ・北アルプス登山道等維持連絡協議会　5,000,000円 ・北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会　419,000円 ・国有林観光施設協議会　55,000円 ・北アルプス登山案内人組合連合会　50,000円 ・中部山岳国立公園指定90周年記念事業実行委員会　100,000円	5,624,000円
補助金 ・穂高駐車場運営協議会補助金	2,690,000円

○かじかの里公園指定管理

指定管理者	静岡ビル保全株式会社		
指定期間	令和３年４月１日　から　令和８年３月31日　まで		
指定管理料	4,032,000円	市への納付金	なし
利用者数	かじかの里公園キャンプ場利用者数 5,313人（前年度比 -478人）		

上記の評価と課題等

公園・トイレ施設の維持管理を定期的に行い、来訪者に快適に使用いただくことができました。施設の維持管理については、必要に応じ修繕を行なっていますが、老朽した施設も多く、計画的な改修等を行なっていく課題があります。

かじかの里公園の改修については、管理棟の改修や遊具の更新、駐車場の整備により、アウトドアの振興や地域の公園として、利用者の満足度と利便性の向上が図られるようになりました。

山岳観光分野では、北アルプス登山道等維持連絡協議会に負担金を支出し、山小屋等による登山道の維持整備を進めることができました。また、登山口における混雑を解消するため登山口駐車場管理システムの構築事業を行い、駐車場情報をお知らせすることで混雑の解消に向けた新たな取り組みを開始しました。山岳における環境保全や安全の確保等課題は多く、引き続き関係省庁や山岳関係団体と協議していく必要があります。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書ページ	173

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107170	自然交流センター		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,014,000	3,987,540	0	26,460	99.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市自然体験交流センターの管理運営を「せせらぎ」を愛する会に指定管理し、各種教室等への貸館と各種自主事業を実施しました。
令和６年度はコロナ前と同等に施設利用の受入れを行い、イベント等も中止や制限することなく実施しました。

○事業実績（利用者推移）

	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
開館日数	307日	309日	309日	314日	310日
来館者数	6,354人	5,810人	5,476人	5,435人	5,218人
来館者数前年度比	-695人	-544人	-334人	-41人	-217人
増減比率	-9.9%	-8.6%	-5.7%	-0.7%	-4.0%

○主な利用目的

・健康麻雀教室	49回	来館者数	397人
・童謡教室	24回	来館者数	318人
・写真教室	15回	来館者数	285人
・ミュージックベル教室	23回	来館者数	179人
・キルト教室	23回	来館者数	76人 など

上記の評価と課題等

「せせらぎ」を愛する会が指定管理者となり、自然体験を提供する施設として運営・管理が適切に行われています。本施設は地元住民による利用が多く、実施される自主事業も固定化しており、令和２年度以降から来館者数が減少し回復が難しい状況です。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書ページ	81

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	06	企画費			
	事業	0102324	自転車活用推進事業		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
970,000	642,940	0	327,060	66.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　自転車活用推進事業

（１）安曇野市自転車活用推進計画の事業展開

令和６年８月に安曇野市自転車活用推進協議会を開催し、本計画に基づく施策事業の進捗状況等について報告し、利用者目線に立った自転車の活用方法等を協議しました。

（２）サイクリングコースマップの作成

前年度に引き続き、安曇野市サイクリングコースのＡ・Ｂ・Ｃコースマップを市内公共施設等に配布しました。

本年度は、コース上の観光スポットやコンビニ等の案内詳細をグーグルマップに掲載し、走行しながらでも確認できるコンテンツを構築し公開しました。

（３）安曇野市サイクリングコース利用実態調査

自転車通行に関わる課題や今後の施策展開に向けての提案を探るため、安曇野市サイクリングコース利用実態調査を松本大学に委託し、分析結果の報告を受けました。

（４）安曇野環境フェアへの出展

令和６年10月に開催された「安曇野環境フェア」で、E-bikeの試乗体験会を実施し、広い年齢層に楽しんでもらいながら、サイクルスポーツの利用促進に努めました。

上記の評価と課題等

自転車利用向上のため、協議会における委員からの意見等を踏まえ、これまでの実施事業を継続していくとともに、大会やイベント等の開催による集客力の向上やサイクルオアシスなどの環境整備に努めていきます。

今後、アンケート調査の結果を参考に、サイクリングコースのあり方や活用方法などについて調査研究を進めていきます。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書ページ	169

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107095	ハーフマラソン事業		施策	アウトドア・スポーツを核としたまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
38,186,000	38,029,799	0	156,201	99.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
31,400,000		スポーツ振興くじ助成金	6,400,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	25,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　ハーフマラソン事業

大会名：第10回記念信州安曇野ハーフマラソン
開催日：2024年６月２日(日)
場　所：豊科南部総合公園(スタート・フィニッシュ)
種　目：ハーフの部(21.0975km)　ファミリーランの部(２km)

●ハーフの部集計

種目	申込者数	出走者数	出走率	完走者数	完走率
ハーフの部 男子	4,484	3,811	85.0%	3,749	98.4%
ハーフの部 女子	1,512	1,272	84.1%	1,216	95.6%
計	5,996	5,083	84.8%	4,965	97.7%

●ファミリーランの部集計

種目	申込組数	出走組数	出走率	完走組数	完走率
ファミリーラン(２人)	291	250	85.9%	250	100.0%
ファミリーラン(３人)	62	54	87.1%	54	100.0%
計	353	304	86.1%	304	100.0%
				計	662

※雨による天候不良でしたが、例年並みの出走者数並びに完走者数で開催することができました。

上記の評価と課題等

第１回大会（第６・７回大会を除く）から連続出場するランナーに特別仕様のアスリートビブスを、第10回記念にちなんで完走者のうち10の倍数の着順のランナーに特産品を、ファミリーラン完走者には記念ステッカーを贈呈し、例年より盛り上がった大会として開催できました。
前回大会を教訓に医療救護において万全な体制で臨むことができました。不備な箇所などについては、次回大会に反映し安心安全な大会が開催できるよう努めていきます。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書ページ	189

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	03	公園事業費			
	事業	0108253	豊科南部総合公園管理運営事業		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
82,361,000	82,160,180	0	200,820	99.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,000,000		ネーミングライツ料	1,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　豊科南部総合公園管理運営事業

（１）管理運営（市総合体育館、テニスコート、マレットゴルフ場を含む）

豊科南部総合公園管理運営業務を一元化し指定管理者に委託しました。

指定管理料：80,473,020円

指定管理者：ミズノ・安曇野市スポーツ協会・Ａ＆Ｓグループ

指定期間：令和４年１月１日から令和９年３月31日まで（５年３ヶ月）

（２）利用実績　　（人・円）　　（%）

施設名	令和５年度		令和６年度		利用者数前年比
	利用者数	施設利用料	利用者数	施設利用料	
1 メインアリーナ	46,924	3,627,800	50,405	4,149,800	107.5
2 サブアリーナ	23,235	1,612,450	21,861	1,880,700	94.1
3 柔剣道場	8,267	389,800	10,072	683,500	121.9
4 ランニングコース	3,667	－	5,503	－	150.1
計	82,093	5,630,050	87,841	6,714,000	107.1
5 会議室	7,266	577,100	9,291	745,600	127.9
6 応接室	477	44,400	374	124,200	78.5
計	7,743	621,500	9,665	869,800	124.9
7 テニスコート	17,755	2,081,250	21,110	2,408,250	118.9
総計	107,591	8,332,800	118,616	9,992,050	110.3

※施設利用料は、減免適用後の金額となります。

上記の評価と課題等

各競技別の大会やイベント等が開催されたことにより、利用者数は前年度を10%程度上回りました。

指定管理者と定例会を年４回開催し、利用者が快適に利用できるよう情報共有しながら安全管理の徹底や施設環境の改善に取り組むことができました。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書ページ	241

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	06	保健体育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	01	保健体育総務費			
	事業	0110440	社会体育総務費		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
16,334,000	14,053,973	0	2,280,027	86.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　安曇野市スポーツ推進委員会

代表者会議（12人）を年３回、全体会議（30人）を年２回開催したほか、体力測定やスポーツ教室の競技指導、運動会や公民館事業の運営協力など、スポーツコーディネーターとしてスポーツの普及及び推進に取り組みました。

２　安曇野市スポーツ協会

スポーツの振興や指導者の育成、スポーツする機会の提供など、市民が健康的で明るい生活を営むための重要な役割を担うスポーツ協会に対し、財政面で支援しました。
加盟団体：83団体　登録者数：4,589人　補助金額：6,300,000円

３　安曇野市スポーツ少年団

スポーツ活動支援補助事業や指導者養成事業など、青少年健全育成に向けた重要な役割を担うスポーツ少年団に対し、財政面で支援しました。
加盟団体：62団体　団員数：1,440人　登録指導者：148人　補助金額：3,031,000円

４　安曇野市各種競技会及び発表会出場者激励金

交付要綱により、全国大会以上の出場者に激励金を交付しました。
該当者：143名
交付額：1,324,000円（全国大会：138人　世界大会：5人(国内１人・国外４人)）

５　松本山雅ホームタウン事業

令和６年10月に松本山雅ＦＣホームゲーム安曇野市ホームタウンＰＲデーに出展し、特産品の無料配布やニュースポーツ体験会などを行い、安曇野市を広くアピールすることができました。

６　国民スポーツ大会実施運営事業

令和６年10月に実行委員会設立発起人会を立ち上げ、設立趣意書の起草や委員選定方法などを協議し、実行委員会設立までの過程などを確認しました。また、先催地を視察し、会場設営や大会運営における業務分担や手法などを学びました。

上記の評価と課題等

2028年信州やまなみ国スポ・全障スポの開催に向け、関係団体との情報共有や連携強化を図りつつ、個人及び団体への活動補助や激励金の交付により支援しました。
また、実行委員会設立発起人会を立ち上げ趣意を明確にしたことで、今後、市民の理解と協力を得ながら、運営準備や環境整備を進めていきます。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書ページ	243

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	06	保健体育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	01	保健体育総務費			
	事業	0110445	スポーツ推進事業費		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
15,753,000	12,945,212	0	2,807,788	82.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
619,850		スポーツ教室参加料	619,850		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　スポーツ推進事業

（１）子どもや親子を対象とした教室の開催(教室数：20教室　参加延べ数：5,284人)

教室名	対象者	延参加者数	参加率
①親子ウキウキ体操教室(３教室)	２歳～３歳程度 ３歳程度～未就園児	520人	73%
②わんぱくＧＹＭ教室(２教室)	年長児・年中児	564人	75%
③動きづくり運動教室	小学低学年	131人	87%
④前川ウォータースポーツ体験会	小学生とその保護者	28人	93%
⑤松本山雅親子ふれあい教室	小学生とその保護者	29人	83%
⑥ファミリースポーツカフェ（８回）	親子等	237人	自由参加
⑦ＣＯＴキッズ教室（２教室）	小学１・２年、年長児	116人	81%
⑧ＣＯＴ指導者派遣事業	市内幼保の園児	3,659人	100%
⑨ジュニアスポーツ選手育成事業	中学生	497人	71%

（２）大人（18歳以上）対象とした教室の開催（教室数：７教室　参加延べ数：536人）

教室名	対象者	延参加者数	参加率
①エクササイズ教室	18歳以上	142人	79%
②姿勢改善エクササイズ教室		162人	85%
③座って簡単トレーニング教室		41人	82%
④ピラティス教室		156人	78%
⑤ポールウォーキング体験会		5人	25%
⑥バランスボール体験会		10人	72%
⑦スポーツ指導者講習会		20人	100%

（３）市民スポーツ祭の開催

市とスポーツ協会が中心となって実行委員会を組織し、競技種目ごとに企画運営し、本年度は16種目、2,127人が参加して、スポーツを通じて相互に交流を深めることができました。

上記の評価と課題等

東部アウトドア拠点整備に伴い、龍門渕公園周辺で親子ウォータースポーツ体験会を開催し、新たな試みとして楽しんでもらうことができました。

また、参加者の少ない教室については、原因を究明したうえで継続の可否を判断するとともに、時代のニーズに応じた新たな教室の開催も検討していきます。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書ページ	243

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	06	保健体育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	保健体育施設費			
	事業	0110450	社会体育施設管理費		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
392,007,000	214,263,352	171,839,000	5,904,648	54.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
99,456,246		文化公園施設使用料	1,169,100	建物総合損害共済金	78,000
		学校施設使用料	3,155,400	社会体育施設自動販売機電気料	419,426
		社会体育施設使用料	9,569,300	社会体育施設公衆電話料	20
		社会体育施設整備事業	19,883,000	体育施設除却事業（特例債）	65,100,000
		指定寄附金	160,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　社会体育施設管理費

（１）管理施設（46施設）

施設分類	施設数	施設分類	施設数	施設分類	施設数
1 体育館	7 施設	5 マレットゴルフ場	7 施設	9 アーチェリー場	1 施設
2 屋内運動場	1 施設	6 ゲートボール場	4 施設	10 学校開放施設	各学校施設
3 屋外運動場	14 施設	7 柔剣道場	5 施設		
4 テニス場	5 施設	8 弓道場	1 施設		

（２）主な維持管理費等

・施設修繕費　　8,126,813 円　（堀金総合運動場テニスコート修繕他）
・光熱水費　　34,643,004 円
・管理委託料　　35,265,489 円　（社会体育施設等管理業務委託他）
・借地料　　7,674,802 円　（権現宮マレットゴルフ場他）

（３）指定管理者制度による施設管理

	施設名	指定管理者	委託料
1	豊科水辺公園マレットゴルフ場、豊科水辺マレットノース18	豊科マレットゴルフ協会	1,370,000 円
2	権現宮マレットゴルフ場	穂高マレットゴルフ協会	2,650,000 円
3	穂高立足マレットゴルフ場	立足マレットゴルフ同好会	1,000,000 円
4	三郷黒沢マレットゴルフ場	三郷マレットゴルフ協会	1,390,000 円

上記の評価と課題等

利用者が安心安全に利用できるよう、施設の予約受付や維持管理などにおいて適切な運営ができました。また、不具合や故障等が生じた場合も、速やかに現場を確認しながら対応することができました。

マレットゴルフ場においては、日常のコース点検とともに、安全に配慮しながら維持管理することができました。また、コース内の倒木などが発生した場合も、安全面を最優先にしながら、枯損木等の伐採処理ができました。

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	06	保健体育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	保健体育施設費			
	事業	0110450	社会体育施設管理費		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

２　マウンテンバイクコース管理費

令和４年４月に開場したマウンテンバイクコースは、令和５年度から指定管理者により管理運営を委託しています。

安全確保を最優先に考えた入念なコース整備やレンタルバイク等の定期メンテナンスを徹底的に実施しています。

子どもや初心者を受け入れるための新たなコース整備やマウンテンバイク教室の開催、ゴールデンウイークなどの長期休暇中の連続営業などの取り組みにより、前年度よりも利用者が増加しました。

（１）利用実績

営業期間 4/20～11/30	令和５年度	令和６年度
営業日数	128 日	141 日
延利用者	1,801 人	2,494 人
レンタルバイク 延利用者	557 人	929 人

（２）指定管理料　18,829,000円（一般社団法人ＭＳＪ）

（３）工事費　786,060円（施設案内看板設置工事）

（４）備品購入費　798,600円（レンタルマウンテンバイク４台購入）

（５）借地料　300,000円

３　豊科武道館剣道場解体工事

公共施設長寿命化計画の年次計画に基づき、豊科武道館剣道場の解体工事を行いました。

（１）監理業務委託　1,430,000円

（２）解体工事　67,100,000円

４　豊科武道館柔道場非構造部材耐震化工事

公共施設長寿命化計画の年次計画に基づき、大規模改修工事を行うための設計業務等を委託しました。

（１）アスベスト調査業務委託　557,700円

（２）大規模改修工事設計業務委託　3,300,000円

上記の評価と課題等

指定管理者のノウハウを生かしたコース整備や安全確保に努めたことで、マウンテンバイクコースの適切な管理運営ができました。

10月には開場３周年記念イベントを開催し、市内外から約200人の来場者が集まり、子どもから大人までマウンテンバイクを楽しみながら自然を満喫してもらうことができました。

令和８年７月には全日本自転車競技選手権大会の開催地に決定したことで、全国から多数のライダーが集結するこの大会を契機に、リピーターの確保や知名度の向上などを図っていきます。

公共施設長寿命化計画に基づき、体育施設の統廃合による豊科武道館剣道場解体工事を行いました。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書ページ	245

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	06	保健体育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	保健体育施設費			
	事業	0110457	社会体育施設整備費		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
568,000	567,501	0	499	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
567,501		公式スポーツ施設整備基金利子	567,501		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　公式スポーツ施設整備基金積立金

（円）

年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
積立金	272,701,110	273,192,714	273,604,891	274,064,461
積立金利子	491,604	412,177	459,570	567,501
計	273,192,714	273,604,891	274,064,461	274,631,962

上記の評価と課題等

公式スポーツ施設整備計画による基金の積立となっており、前年度同様に本年度も利子分を積み立てました。

今後、施設整備計画に基づく対象施設の規模等に応じて、関係部局と協議しながら効率的な活用を図っていきます。

都市建設部

令和７年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書ページ	173

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	土木管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	土木管理費			
	事業	0108010	土木総務費		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
212,804,000	209,924,342	0	2,879,658	98.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
34,888,677		道路占用料	28,466,360		
		公共物占用料	4,137,077		
		国道19号明科駅前歩道整備事業用地事務委託	1,654,400		
		その他雑入	630,840		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　建設技術者等資格取得費補助金交付事業

災害時における応急対応や復旧・復興の担い手である市内建設事業者の技術者を育成し、災害時の担い手確保や事業者の経営と雇用の安定を図るため、資格取得費用補助を行いました。

（１）補助金交付額　　455,538円（９社15名）

上記の評価と課題等

令和６年度については令和５年度と同程度の補助金交付件数でした。市内建設業に係る技術者の人材育成を図ることで、市内建設業の体制強化と経営安定が図られました。

令和７年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書ページ	175

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	道路橋梁維持費			
	事業	0108040	道路橋梁総務費		施策	自然と発展が織りなすまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
993,000	718,470	0	274,530	72.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　道路関係同盟会事業

事業促進のため、各種同盟会に参画し、関係機関に対し事業促進の要望を行いました。

（１）旅費（普通旅費）　179,970円

ア　地域高規格道路松本糸魚川連絡道路建設促進期成同盟会ほか中央要望

イ　中部縦貫自動車道建設促進長野・岐阜連絡協議会整備促進大会　ほか

（２）負担金　538,500円

ア　地域高規格道路松本糸魚川連絡道路建設促進期成同盟会

イ　地域高規格道路松本糸魚川連絡道路長野県側ルート建設促進協議会

ウ　穂高・松川・大町間道路建設連絡協議会

エ　中部縦貫自動車道（松本～中ノ湯間道路）建設・国道158号整備促進期成同盟会

オ　長野県道路整備期成同盟会　ほか

上記の評価と課題等

新型コロナウイルス感染症が５類感染症移行となったことにより、関係機関に対して対面による要望が可能となりました。対面による要望活動により事業の一層の促進が図られました。引き続き、関係団体と連携し要望活動に努めます。

令和７年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書ページ	177

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108090	県営新設改良事業		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
222,996,000	125,699,980	97,078,000	218,020	56.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
107,123,000		社会資本整備総合交付金	58,923,000		
		国土強靭化債	48,200,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　県営新設改良事業
　　県発注の事業に対し、負担割合による負担金を納めました。
（１）負担金
　　市道三郷1級12号線赤沢橋架替工事に係る負担金　　110,000,000円

上記の評価と課題等

黒沢川調節池設置に伴う赤沢橋架替工事及び、地域住民の要望に基づく各種県事業の促進が図られました。

令和７年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書ページ	179

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108100	市道新設改良事業		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
565,760,000	467,577,268	95,942,000	2,240,732	82.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
341,200,000		市道新設改良事業（特例債）	215,200,000		
		公共施設整備基金繰入金	126,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　市道新設改良事業（市単独）

各区からの改良要望に基づき事業を実施しました。
18路線で事業を実施し、市道穂高4160号線外３路線の事業が完了しました。

（１）委託料

ア　測量設計委託費	13 件		12,056,000 円
イ　用地測量委託	11 件		30,888,800 円
ウ　補償調査委託	８ 件		12,045,000 円
エ　その他業務	３ 件		1,004,300 円

（２）工事請負費

ア　改良舗装	６ 件	L=481.6m	55,528,000 円
イ　側溝整備	３ 件	L=281.4m	24,156,000 円
ウ　グリーンベルト	11 件	新設　L=1,182m	11,649,000 円
エ　サイクリングコース整備	２ 件		1,389,300 円
オ　小規模、その他工事	18 件	安全施設ほか	17,933,960 円

（３）用地補償費

ア　公有財産購入費	17 件		11,593,482 円
イ　物件補償費	16 件	電気通信施設等含む	49,861,326 円

予算				総合計画		
	款	08	土木費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		基本方針	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108100	市道新設改良事業		基本施策	道路整備の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

２　市道新設改良事業（合併特例債）

合併特例債を財源とした２路線の改良事業を実施しました。

（１）市道豊科１級26号線（豊科吉野地籍、道路改良）

ア	用地測量・補償調査	３ 件		1,485,000 円
イ	工事請負費	１ 件	R6-R7債務負担行為	32,780,000 円
ウ	公有財産購入費	５ 件		80,440,395 円
エ	物件補償費	４ 件		10,502,429 円

（２）市道豊科２級３号線ほか（市総合体育館周辺、道路改良）

ア	工事請負費	２ 件	L=257.3m	84,535,000 円
イ	公有財産購入費	３ 件		1,409,890 円
ウ	物件補償費	６ 件	電気通信施設等含む	23,599,628 円

上記の評価と課題等

令和６年度においては、拡幅改良４路線と交差点安全対策工事１箇所が完了し、道路交通の安全・安心が図られました。

提出された要望に対し優先度の高い路線から順次整備を実施し、早期事業完成を目指していますが、限られた予算の中で目的を達成するためには、選択と集中による事業箇所の見極めが重要となります。

合併特例債事業については、道路整備推進計画に基づき幹線道路の整備を進めています。

令和６年度で用地取得が完了したことから、集中して工事を行い、早期完成を目指します。

令和７年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書ページ	179

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108110	社会資本整備総合交付金事業		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
272,773,000	216,833,405	54,757,000	1,182,595	79.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
213,308,000		道路改良費補助金	81,508,000		
		市道新設改良事業（特例債）	131,800,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　社会資本整備総合交付金事業（市道新設改良事業）

道路整備推進計画に基づく路線について、社会資本整備総合交付金及び交通安全対策補助を活用し、幹線道路整備を実施しました。

（１）市道穂高１級６号線（道路改良、穂高南小学校東）　全体計画Ｌ＝800m

ア　測量設計委託費	１　件	495,000 円
イ　工事請負費	１　件	39,050,000 円
ウ　物件補償費	１　件	260,150 円

（２）市道豊科１級25号線（道路改良、県民豊科運動広場南）　全体計画Ｌ＝550m

ア　不動産鑑定	３　件	796,400 円
イ　測量設計委託費	４　件	8,052,000 円
ウ　公有財産購入費	３　件	5,568,738 円

（３）市道豊科１級23号線（歩道設置、上沢霊園南東）　全体計画Ｌ＝80m

ア　工事請負費	１　件	19,063,000 円
イ　公有財産購入費	１　件	1,093,612 円
ウ　物件補償費	１　件	1,950,291 円

（４）市道豊科１級29号線（歩道設置、梓橋駅入口交差点北）　全体計画Ｌ＝500m

ア　測量設計委託費	１　件	183,958 円
イ　工事請負費	３　件	30,272,000 円
ウ　公有財産購入費	８　件	16,078,519 円
エ　物件補償費	17　件	76,255,952 円

（５）市道堀金１級１号線（歩道設置、堀金中学校西）　全体計画Ｌ＝310m

ア　不動産鑑定	３　件	530,200 円
イ　測量設計委託費	１　件	484,000 円

予算				総合計画		
	款	08	土木費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		基本方針	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108110	社会資本整備総合交付金事業		基本施策	道路整備の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（６）市道豊科１級７号線（歩道設置、豊科南部認定こども園北西）　全体計画Ｌ＝620ｍ

ア	補償調査委託費	４ 件	912,648 円
イ	工事請負費	１ 件	847,000 円
ウ	公有財産購入費	２ 件	5,641,950 円
エ	物件補償費	１ 件	62,387 円

上記の評価と課題等

道路整備推進計画に基づき幹線道路の整備を進め、令和６年度事業においては、１箇所の歩道設置が完了し、道路交通における歩行者の安全・安心が図られました。

継続路線の中には、用地交渉が難航している路線があり、継続した交渉が必要となります。

なお、令和４年度から新設された交通安全対策補助制度の活用により、令和６年度に１路線の新規路線に着手し、事業規模の拡大を図りました。

令和７年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書ページ	181

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	河川費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	01	河川費			
	事業	0108130	河川総務費		施策	砂防・治水事業の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
56,286,000	55,119,450	0	1,166,550	97.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
53,401,300		内水対策事業（緊自債）	53,400,000		
		公共物占用料督促手数料	1,300		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　河川関係同盟会事業
　　事業促進のため、各種同盟会に参画し、関係機関に対し事業促進の要望を行いました。
（１）　旅費（普通旅費）　105,368円
　ア　犀川直轄期成同盟会、中央要望
　イ　長野県治水砂防協会通常総会　ほか
　ウ　災害復旧促進全国大会、治水事業促進全国大会
　エ　北陸直轄河川治水期成同盟会連合会要望会

（２）　負担金　1,595,500円
　ア　長野県治水砂防協会
　イ　大町ダム等再編事業促進期成同盟会
　ウ　高瀬川高水敷整備促進期成同盟会
　エ　長野県河川協会　ほか

２　内水対策事業
　　万水川下流域の内水対策により内水被害の最小化を図り安全安心な地域づくりを目指しています。令和６年度は、引き続き工事を推進するとともに用地補償を実施しました。
（１）　委託料　10,010,000円
　ア　設計委託費
（２）工事請負費　34,428,000円
　ア　排水路設置工事
（３）公有財産購入費　252,974円
　ア　用地取得費
（４）補償補填及び賠償金　8,727,608円
　ア　物件移転補償費

上記の評価と課題等

　新型コロナウイルス感染症が５類感染症移行となったことにより、関係機関に対して対面による要望が可能となりました。対面による要望活動により事業の一層の促進が図られました。引き続き、関係団体と連携し要望活動に努めます。
　内水対策事業については、一部の工事が完了し事業の進捗が図られました。用地取得等を計画的に行い引き続き事業を推進します。

令和７年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書ページ	183

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	河川費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	01	河川費			
	事業	0108150	河川改修事業		施策	砂防・治水事業の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
44,900,000	44,044,000	0	856,000	98.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　河川改修事業

区からの要望に基づき事業化した勝手沢、権田川の改修工事を実施しました。

（１）勝手沢

ア　設計委託費	１件		495,000 円
イ　工事請負費	２件	L=20.0m	7,689,000 円
ウ　物件補償費	１件	上水道補償	4,400,000 円

（２）権田川

ア　工事請負費	１件	L=70.5m	31,460,000 円

上記の評価と課題等

安全・安心な河川環境を整えるため、洪水、氾濫の恐れのある箇所の早期改修を目指し、２河川の改修工事に着手しました。

両河川とも沿線が農地であることから施工時期が限られるため、適正な工事量と発注時期を判断し、事業の進捗を図ります。

令和７年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書ページ	179

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108230	国県事業推進費		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,349,000	2,573,095	0	775,905	76.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　国県事業推進事業
　松本糸魚川連絡道路ＩＣアクセス道路「市道明科4036号線」及び、市道三郷1級12号線赤沢橋架替工事の事業促進を求める要望活動を実施しました。
　地域特性に配慮した自主避難計画（１地区）の作成支援を行いました。
（１）　旅費（普通旅費）　156,980円
　ア　松本糸魚川連絡道路ＩＣアクセス道路の要望

（２）　需用費　35,200円
　ア　地域特性に配慮した自主避難計画の印刷（豊科光区）

上記の評価と課題等

　松本糸魚川連絡道路ＩＣアクセス道路「市道明科4036号線」の事業促進を求める要望活動を行ったことにより、令和６年度補正予算及び、令和７年度当初予算が確保され、事業進捗が図られました。
　土砂災害に対するソフト対策として、地域特性に配慮した自主避難計画の作成支援を行い、地域住民の防災意識向上が図られました。
　引き続き、国・県と連携し事業促進を図っていきます。

令和７年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書ページ	245

予算				総合計画		
	款	11	災害復旧費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	土木施設災害復旧費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	土木施設災害復旧費			
	事業	0111010	災害復旧事業		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,066,000	6,061,000	0	5,000	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　道路災害復旧事業
　豪雨により崩落した路肩の復旧工事を実施しました。

（１）委託費
　ア　設計委託費　　１ 件　　495,000 円

（２）工事請負費
　ア　災害復旧工事　　１ 件　　ブロック積み　A=43㎡　　5,566,000 円

上記の評価と課題等

崩落した路肩の復旧工事を行い、安全な交通確保を図りました。

令和７年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書ページ	181

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0190080	【明許】市道新設改良事業（交付金）		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
80,200,000	80,190,000	0	10,000	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
73,004,000		【明許】道路改良補助金	40,804,000		
		【明許】市道新設改良事業（特例債）	32,200,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　社会資本整備総合交付金事業（市道穂高１級６号線外）

令和５年度 道路局所管補助金が追加交付されたため、繰越明許により事業を執行しました。

（１）市道穂高１級６号線

ア　工事請負費	１　件	6,589,000 円

（２）市道豊科１級25号線

ア　測量設計委託費	１　件	4,114,000 円

（３）市道豊科１級29号線

ア　補償調査委託費	５　件	6,666,000 円
イ　工事請負費	１　件	17,006,000 円

（４）市道豊科１級23号線

ア　測量設計委託費	１　件	1,694,000 円
イ　補償調査委託費	１　件	1,122,000 円

（５）市道堀金１級１号線

ア　測量設計委託費	１　件	9,724,000 円
イ　補償調査委託費		14,575,000 円

（６）市道豊科１級７号線

ア　測量設計委託費	１　件	18,205,000 円
イ　補償調査委託費		495,000 円

上記の評価と課題等

国からの交付金の追加交付により、事業の進捗が図られました。

令和７年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書ページ	181

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0190100	【明許】市道新設改良事業（松糸道路関連）		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
40,800,000	40,436,000	0	364,000	99.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
40,000,000		【明許】道路改良補助金	22,000,000		
		【明許】松糸アクセス道路事業（過疎債）	18,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　市道明科4036号線（道路改良、松本糸魚川連絡道路ICアクセス道路）　全体計画Ｌ＝800ｍ
地元調整に時間を要したため、繰越明許により事業を執行しました。

（１）委託料　40,436,000円
ア　測量設計委託費　１件
イ　地質調査委託費　１件

上記の評価と課題等

説明会など地元調整の実施により事業進捗が図られました。

令和７年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書ページ	181

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		目標	利便性の高いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0190320	【事故】市道新設改良事業（市単独）		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,150,000	5,149,336	0	664	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　市道新設改良事業（市単独）
　　補償対象物件の移転が遅れたため、繰越により事業を執行しました。

（１）市道穂高0889号線

ア　公有財産購入費	１件	490,770 円
イ　物件補償費	１件	4,658,566 円

上記の評価と課題等

物件移転の完了により、事業用地が確保されました。

令和７年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書ページ	181

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		目標	利便性の高いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0190330	【事故】市道新設改良事業（合併特例債）		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
12,582,000	12,461,206	0	120,794	99.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
11,900,000		【事故】市道新設改良事業（特例債）	11,900,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　市道新設改良事業（合併特例債）
　　補償対象物件の移転が遅れたため、繰越により事業を執行しました。

（１）市道豊科２級３号線
　ア　公有財産購入費　　２件　　4,416,944 円
　イ　物件補償費　　２件　　8,044,262 円

上記の評価と課題等

物件移転の完了により、事業用地が確保されました。

令和７年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書ページ	183

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	道路橋梁費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	01	道路橋梁新設改良費			
	事業	0190340	【事故】内水対策事業		施策	砂防・治水事業の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
56,170,000	56,170,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
56,100,000		【事故】内水対策事業（緊自債）	56,100,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　内水対策事業
　　主要資材（大型フリューム）の生産に日数を要したため、繰越により事業を執行しました。

（１）工事請負費　　56,170,000円
　　ア　排水路設置工事

上記の評価と課題等

工事の実施により事業進捗が図られました。

令和７年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	管理登記担当

決算書ページ	175

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	土木管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	土木管理費			
	事業	0108020	地籍管理費		施策	自然と発展が織りなすまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
27,698,000	27,081,283	0	616,717	97.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
324,600		公図写等発行手数料	324,600		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　土地台帳、公図管理事務

法務局からの土地登記済通知書を基に、「安曇野市地籍管理システム」の地図データ、台帳データ及び土地所在図データの更新を年６回、委託により行いました。

また、境界立会等で発見された公図錯誤や未登記事案の解消に向け、地図等作成業務を委託しました。

（１）委託料

ア　地籍管理システム土地異動更新業務委託

属性修正(所有者・地目・地積)土地台帳変換・図形修正　11,317件　16,808,000円

イ　公図錯誤解消に伴う地図等作成委託

地図訂正・地積更正及び未登記解消測量業務委託　12件　1,904,981円

２　官民境界確認立会事務

道路・水路の管理者として、境界確認立会申請書に基づき官民境界の確認事務を行いました。

官民境界確認実施件数　352件

３　公共用地登記事務

安曇野市が取得及び用途廃止した用地の嘱託登記事務を行いました。

所有権移転・地目変更地積更正・分筆登記等　548件

上記の評価と課題等

令和７年度からホームページで公開している道路台帳により、境界立会等で必要な基準点座標の位置を確認できるようにレイヤーを整備しました。利用者へのサービス向上が期待できます。

更新する地図情報は、本市ＧＩＳシステムの基礎として利用され、タイムリーな土地情報の提供及び共有化と土地関係業務の効率化が図られています。

令和７年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書ページ	175

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	土木管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	土木管理費			
	事業	0108030	建設機械管理費		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,206,000	1,758,874	0	447,126	79.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　道路維持作業車整備事業

市が保有する維持作業車５台及び草刈機等作業機械の保守・管理を行いました。

（１）消耗品費

作業車タイヤ、部品等　354,245円

（２）燃料費

作業車燃料（軽油代）　293,274円

（３）物品修繕費

作業車車検、点検に伴う修繕費　462,550円

（４）手数料

作業車車検、定期点検手数料　321,235円

（５）保険料

作業車自賠責保険料　59,270円

（６）備品購入費

草刈機 、チェーンソー　142,000円

（７）自動車重量税

作業車自動車重量税　126,300円

上記の評価と課題等

引き続き維持作業車、作業機械の保守点検等を行い、良好な状態を保つよう管理に努めます。

令和７年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	管理登記担当

決算書ページ	175

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	道路橋梁維持費			
	事業	0108050	道路橋梁管理費		施策	自然と発展が織りなすまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
27,112,000	26,864,321	0	247,679	99.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
913,740		地図等交付代	25,740		
		道路占用料	888,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　道路台帳加除事業

道路法第28条の規定に基づき整備している道路台帳の更新修正に伴う道路台帳図のデータ更新を行いました。

整備したデータは道路行政の基礎資料として使用し、道路台帳図は市のホームページで閲覧、印刷が可能です。

（1）委託料

ア　道路台帳補正業務委託　25,421,000円

新設・改良50m以上　6.91ｋｍ

新設・改良50m未満　88箇所

舗装箇所　３箇所　延長換算　10箇所

上記の評価と課題等

業務効率化のため、道路及び公共物の占用物件のデータ化を実施しました。システム管理を行うことにより、更新、権利譲渡等の申請時の確認作業時間が短縮となります。

また、道路台帳補正業務は引き続き的確なデータの更新を行い、良好な状態で維持し適正な利用が図られるよう台帳管理に努めます。

令和７年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	管理登記担当

決算書ページ	177

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	道路橋梁維持費			
	事業	0108060	道の駅維持管理		施策	自然と発展が織りなすまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
31,276,000	31,049,800	0	226,200	99.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　道の駅管理業務

道の駅「アルプス安曇野ほりがねの里 」の情報交流室、トイレ、駐車場の施設管理を「株式会社旬の味堀金物産センター」（令和７年３月１日、農事組合法人から株式会社へ変更）との指定管理委託により行いました。

（１）委託料

道の駅「アルプス安曇野ほりがねの里」指定管理業務委託　4,036,000円

（２）工事請負費

道の駅情報館・公衆トイレ、屋根・外壁改修工事　26,158,000円

上記の評価と課題等

利用者の利便性向上のため、指定管理者による管理を行っています。
今後も快適な休憩空間を提供するため、適正な施設管理に努めます。

令和７年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書ページ	177

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	道路橋梁維持費			
	事業	0108070	道路橋梁維持費		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
361,244,000	359,374,628	0	1,869,372	99.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
208,900,000		道路復旧費原因者負担金	50,000,000		
		道路橋梁維持事業（緊自債）	58,900,000		
		公共施設整備基金繰入金	100,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　道路橋梁維持事業

道路維持作業員による日常的な巡視点検に加え、職員による定期的な道路パトロールを行いました。巡視時や市民からの通報及びLINEを活用した通報による道路情報を基に、欠損部の補修や除草等の道路管理を行いました。

併せて、区からの要望を含めた道路施設の補修及び幹線道路の路面補修、原因者負担による路面復旧受託などの維持工事を実施しました。

また、工事発注の平準化に向けた取組みとして、債務負担行為による生活道路の舗装工事等を実施しました。

（１）委託料

ア　草刈り、側溝清掃作業ほか	74件	30,016,811円
イ　境界復元測量、設計業務ほか	４件	1,980,000円

（２）工事請負費

ア　道路橋梁維持・補修工事	157件	204,468,000円
イ　道路占用路面復旧受託工事	３件	50,017,000円
ウ　緊急自然災害防止対策事業	２件	58,938,000円

（３）原材料費

ア　道路補修用資材		
補修用アスファルト	1,120袋	1,971,090円
その他（水切工、補修資材ほか）		794,979円
イ　資材支給（除草剤、土のう袋、洗い砂）	８件	362,266円

上記の評価と課題等

道路施設の老朽化は年々進んでいるため、維持工事費を予算の範囲内で効率的・効果的に実施する必要があります。

道路パトロールの強化を図り、安全・安心な道路環境を提供できるよう維持管理に努めます。

令和７年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書ページ	177

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	道路橋梁維持費			
	事業	0108080	除雪対策費		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
144,360,000	141,334,620	0	3,025,380	97.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,300,000		除雪融雪事業（緊自債）	7,300,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　除雪融雪業務

市道約1,688kmのうち、除雪指定路線約874kmの除雪作業と凍結防止剤散布路線約105kmの融雪作業を市内71事業者に業務委託し、冬期の交通確保に努めました。

除雪用建設機械を保有することが困難となっている事業者等に対して、市が保有する機械21台と借上げ機械32台を貸与し、除雪体制を整えました。

（１）消耗品費

ア　塩化カルシウム	230ｔ	20,355,000円

（２）委託料

ア　除雪作業	延べ 254 時間	10,863,400円
イ　凍結防止剤散布作業	延べ 340 時間	6,991,800円
ウ　除雪等機械管理費	69台	42,361,300円
エ　貸付機械保険加入費	58台	2,610,000円

２　除雪車両の整備

（１）借上料

ア　除雪ドーザ（８ｔ級）	10台	16,456,000円
イ　除雪ドーザ（５ｔ級）	２台	2,904,000円
ウ　除雪ドーザ（３ｔ級）	20台	19,932,000円

（２）備品購入費

ア　車載式小型凍結防止剤散布機	１台	1,474,000円
イ　除雪機	１台	7,370,000円

上記の評価と課題等

除雪機械については、計画的な機械購入や借上げによって補うほか、除雪機械配置の見直しを行います。オペレーターについては、新規受託者の確保に努めます。

広域農道やオリンピック道路などの管理者が混在している路線の除雪については、引き続き長野県安曇野建設事務所との連携強化に努めます。

除雪は、行政、市民、地域の企業などの協力によって行う必要があることから、除雪協力を引き続き要請し、広報紙、ホームページ、コミュニティＦＭなどを活用した情報発信に努めます。

令和７年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書ページ	179

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108111	社会資本整備総合交付金事業(修繕)		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
163,351,000	135,784,000	27,000,000	567,000	83.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
122,529,000		道路修繕費補助金	67,329,000		
		市道修繕事業（特例債）	55,200,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　社会資本整備総合交付金事業　（道路橋梁修繕事業（交付金））

社会資本整備総合交付金・道路メンテナンス事業を活用し、舗装維持管理計画・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、舗装修繕・橋梁修繕を行いました。

（１）舗装修繕

ア　工事請負費　23,551,000円

市道豊科1級1号線　L=300.0ｍ

（２）橋梁修繕

ア　委託料　24,981,000円

橋梁長寿命化修繕計画策定　n=57橋

詳細設計業務委託　n=３橋

（堀金76号橋、前川３号橋、三郷230号橋）

イ　工事請負費　87,252,000円

市道明科3017号線（中條跨線道路橋）

市道明科4173号線（堂沢橋）

市道明科4253号線（東栄町跨線橋）

市道明科3011号線（中電２号橋）

市道三郷１級５号線（二木山道橋）

上記の評価と課題等

舗装維持管理計画・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化した舗装・橋梁の修繕を進めます。

令和７年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書ページ	181

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	03	交通安全施設費			
	事業	0108120	交通安全施設整備費		施策	防犯・交通安全の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
30,100,000	29,907,350	0	192,650	99.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　交通安全施設整備費

安曇野市交通安全計画や区・ＰＴＡ等からの要望に基づき、道路区画線や道路反射鏡などの交通安全施設を設置するとともに、信号機や横断歩道設置などの要望を取りまとめ、長野県公安委員会へ交通安全施設整備の要望を行いました。

（１）工事請負費

ア　道路区画線設置	14,957m	10,817,400円
イ　道路反射鏡設置・補修	71箇所	12,306,800円
ウ　ガードレール、柵設置	84m	3,124,000円
エ　その他（標識、看板、ポール設置・補修など）		3,659,150円

上記の評価と課題等

道路利用者に対し、安全・安心な道路環境の提供に努めました。

今後も道路パトロールにより老朽化した交通安全施設を把握し、施設の更新を進め事故防止に努めるとともに、区やＰＴＡ等からの要望に基づき、施設の維持管理や整備を進めます。

令和７年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	管理登記担当

決算書ページ	183

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	河川費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	01	河川費			
	事業	0108140	河川管理費		施策	砂防・治水事業の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,045,000	4,175,436	0	1,869,564	69.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
606,045		取水占用料	606,045		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　河川管理事務

（１）役務費　435,000 円

河川環境の保全のため、市内普通河川等の除草清掃管理を地元区や河川愛護会の協力により実施しました。

赤川（狐島区）
権田川（株式会社　清澤）
富士尾沢川（NPO法人マイトリー虹）
穂高川（穂高河川愛護会）

（２）委託料　2,327,600円

桜並木等の剪定及び支障木等の伐採を行い維持管理に努めました。

実施箇所数　６箇所（拾ケ堰・黒沢川沿いほか）

水害に備え、内水氾濫対策用として導入した「排水ポンプ車」の動作確認及び訓練作業、実践作業を緊急体制を整えている建設業組合に委託し訓練を実施しました。

訓練実施　　年５回　　407,720円

（３）備品購入費　363,000円

豪雨災害などによる内水氾濫に対処するため、排水ホース用備品を購入しました。

排水サポーター　口径200ｍｍ　　２個

上記の評価と課題等

今後も河川環境の美化及び維持を目的に適正な河川管理に努めます。

令和７年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書ページ	183

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	河川費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	01	河川費			
	事業	0108160	河川維持費		施策	砂防・治水事業の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
17,830,000	16,749,842	0	1,080,158	93.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　河川維持事業

市が管理する河川について、堤防の除草、河床整理及び施設の修繕を行いました。
また、災害時に使用する土のう袋、ブルーシートなどを補充し災害に備えました。

（１）委託料

堤防の除草、沈砂池の清掃など　7,976,348円

（２）工事請負費

河床整理、沈砂池浚渫など　7,546,000円

２　水防倉庫施設管理事業

水防倉庫７棟の施設管理を行うとともに、災害用応急資材の補充を行いました。

（１）消耗品費（土のう袋、ブルーシートなど）　374,531円
（２）施設修繕費（シャッター修繕）　198,000円
（３）光熱水費　532,946円
（４）物品修繕費（洗車機修繕）　49,500円
（５）原材料（洗滌砂）　72,517円

上記の評価と課題等

河川の環境保全、機能を維持するための維持管理に努めました。
河川及び施設のパトロールを実施し現状把握に努め、適時適切な維持補修を行うことで、出水時の被害防止に努めます。

令和７年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書ページ	181

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0190090	【明許】道路橋梁修繕事業（交付金）		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
30,000,000	28,424,000	0	1,576,000	94.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
17,895,000		【明許】道路修繕費補助金	14,795,000		
		【明許】道路整備事業（補正予算債 加速化対策分）（国土強靭化債）	3,100,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　社会資本整備総合交付金事業

　社会資本整備総合交付金等の補正予算により明許繰越した事業について、工事が完了しました。

（1）橋梁修繕

　ア　委託料　25,454,000円

　　橋梁長寿命化修繕計画策定　n=104橋

　　詳細設計業務委託　n= ３橋

　　（堀金76号橋、前川３号橋、三郷230号橋）

　イ　工事請負費　2,970,000円

　　市道明科4173号線（堂沢橋）

上記の評価と課題等

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化した橋梁の修繕を進めます。

令和７年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	計画係

決算書ページ	183

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	都市計画総務費			
	事業	0108180	都市計画総務費		施策	自然と発展が織りなすまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
238,810,000	235,230,618	0	3,579,382	98.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
25,009,000		都市再生推進事業費補助金	15,000,000		
		都市計画図等交付代	9,000		
		公共施設整備基金繰入金	10,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　都市計画総務費

（１）都市計画基本図修正業務　30,283,000 円

都市計画法第14条に規定する計画図等の基礎となる都市計画基本図（２次元地図）の更新及び国が推進する同基本図の３Ｄ化（３次元地図）を進めています。令和６年度は対象区域198.41k㎡のうち70.30k㎡の整備を行いました。

（２）土地利用制度適正化推進業務　13,618,000 円

土地利用制度の運用状況や市民アンケートの結果等の検証・分析を行い、令和７年度に議会への上程を予定している条例の改正素案、並びに土地利用基本計画の変更素案のとりまとめを行いました。

（３）土地利用審議会（委員報酬等）　327,220 円

土地利用条例の規定に基づく市長の諮問に応じ、主に特定開発事業の認定について審議を行うために組織された審議会です。令和６年度は審議会を12回開催し、事業認定に関する審議を行いました。

（４）都市計画審議会（委員報酬等）　35,000 円

都市計画法の規定に基づき設置される付属機関で、主に市が定める都市計画について調査審議するために組織された審議会です。令和６年度は１回の審議会を開催し、都市計画道路（松本糸魚川連絡道路）、ごみ焼却場及び汚物処理場の決定変更について審議しました。

（５）制度評価委員会（委員報酬等）　176,037 円

平成23年度から運用している土地利用制度の評価検証のために組織された委員会です。令和６年度は２回の委員会を開催し、制度改定の方針等について議論しました。

（６）安曇追分駅・有明駅駐輪場屋根整備　24,173,000 円

駅利用者の利便性向上のため、安曇追分駅の駐輪場工事を実施しました。

上記の評価と課題等

市では、都市計画マスタープラン、立地適正化計画、土地利用基本計画などの計画と安曇野市の適正な土地利用に関する条例等により、開発事業に対して適正な制度運用を行うことで、秩序ある土地利用に繋げています。

都市計画審議会及び土地利用審議会は、都市計画法や条例に基づく審議を行う重要な機関です。

今後も秩序ある土地利用が図られるよう、制度の適正な運用と評価検証を行います。

令和７年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書ページ	187

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	街路事業費			
	事業	0108211	都市再生整備計画事業（都市整備分）		施策	自然と発展が織りなすまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,599,000	1,168,360	0	430,640	73.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　都市再生整備計画事業　明科駅周辺
　令和５年度で都市再生整備計画の事業が完了したことから、評価委員（市都市再生整備計画評価委員会設置要綱）による、事後評価を行いました。

（１）報酬
　ア　事後評価委員会報酬　10,500 円

（２）委託料
　ア　駅前活性化支援、フラッグ作成等　660,660 円
　イ　境界復元業務　497,200 円

上記の評価と課題等

明科地域の特性を活かした、安曇野市の東の玄関口にふさわしいまちの形成を目指し、事業進捗を図りました。
引き続き、過疎債を活用した周辺整備工事を行ないます。

令和７年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書ページ	187

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	都市計画総務費			
	事業	0108213	明科駅前広場維持管理事業		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
7,773,000	6,505,672	0	1,267,328	83.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,143,700		明科駅前駐車場利用料	3,383,700		
		地域デジタル基盤活用推進事業	1,760,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　明科駅前広場維持管理事業
　令和５年度完了の都市再生整備計画事業（明科駅周辺）により設置した広場・トイレ・駐車場の維持管理を行いました。

（１）需用費
　ア　消耗品(トイレットペーパーほか)　107,154 円
　イ　施設修繕（新紙幣対応機器交換）　132,000 円
　ウ　光熱水費（電気・水道）　739,779 円

（２）委託料
　ア　管理委託（シルバー人材センター）　496,608 円

２　駐車場維持管理
　12台のコインパーキングの混雑状況がインターネット上で確認できるように機器の設置を行いました。

（１）役務費
　ア　通信費　74,691 円

（２）委託料
　ア　精算機管理業務　1,293,600 円
　イ　駐車管制機器点検業務　80,740 円
　ウ　駐車場管理システム構築業務委託　3,520,000 円

（３）原材料費
　ア　花苗（花壇緑化）　61,100 円

上記の評価と課題等

　安曇野市の東の玄関口として、また、交通の結節点として、快適な利用ができるよう維持管理を行いました。
　駅前駐車場（コインパーキング）は、多くの皆様にご利用いただいてます。インターネットを経由して駐車場の混雑状況がリアルタイムでわかるようになり、利用者の利便性向上につながりました。

令和７年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	公園緑地担当

決算書ページ	187

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	03	公園事業費			
	事業	0108220	都市公園等維持管理事業		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
309,279,000	300,890,615	0	8,388,385	97.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
148,192,383		行政財産目的外使用料	5,840	常念ふれあい公園太陽光発電売電	3,185
		碌山公園使用料	2,584,810	講座参加料	45,000
		室山アグリパーク施設使用料	63,330	都市公園事業（特例債）	29,300,000
		都市公園使用料	167,860	都市公園事業（過疎債）	93,100,000
		都市公園占用料	922,358	都市公園事業（こども債）	22,000,000

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　都市公園等維持管理事業

都市公園(44箇所：面積37ha)、その他公園(８箇所：37ha)、農村公園(10箇所：面積2.8ha)について、利用者が安全で快適に利用できるよう維持管理に努めました。

日常的な草刈りや清掃等の維持業務は、市内造園業者やシルバー人材センター等へ委託しました。また、公園愛護会（区、ボランティア組織等）の協力により、各地区の公園の日常管理を行いました。

公園の遊具については、都市公園で月１回、その他の公園で３カ月に１回の日常点検、また年１回の定期点検を実施しました。

公園施設の経年劣化に対応するため「公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に施設の長寿命化を進めています。令和６年度は、起債事業を活用し、37件の修繕と20件の補修工事を行いました。

緑の基本計画を推進する取り組みとしては、市民や企業と協働で行う沿道緑化事業に31団体が取り組み、市内の道路沿いを彩りました。

（１）需用費

ア　施設修繕費　37件（公園施設長寿命化計画による遊具等修繕）	11,280,970円
イ　光熱水費	8,976,336円
ウ　消耗品費	
①沿道緑化苗代　31件	521,799円
②公園掃除用品等	2,173,901円
エ　燃料費、物品修繕費外	783,289円

（２）役務費

ア　通信運搬費	148,209円
イ　手数料、保険料	399,750円

予算				総合計画		
	款	08	土木費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		基本方針	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	03	公園事業費			
	事業	0108220	都市公園等維持管理事業		基本施策	良質な住環境の整備

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（３）委託料

ア　管理委託料	362件	79,015,753円
イ　事務事業委託料	７件	11,832,700円
ウ　設計監理委託料	９件	9,535,900円

（４）使用料及び借地料

ア　借地料	25件	5,260,607円
イ　借上料		129,040円
ウ　使用料		463,257円

（５）工事請負費（公園施設長寿命化計画による）

①旧合併特例事業債（起債）堀金中央公園トイレバリアフリー化工事	30,250,000円
②過疎対策事業債（起債）龍門渕公園テニスコート照明改修工事	49,192,000円
③過疎対策事業債（起債）あやめ公園木橋改修工事	47,608,000円
④こども・子育て支援事業債（起債）豊科南部総合公園インクルーシブ遊具設置工事	7,150,000円
⑤こども・子育て支援事業債（起債）豊科南部総合公園日除けシェルター設置工事	17,303,000円
⑥室山アグリパークブランコ設置工事外19件	15,572,800円

（６）負担金補助及び交付金

ア　負担金	日本公園緑地協会外４件	99,054円
イ　交付金	安曇野市公園愛護会交付金　29公園	2,911,000円

（７）報償費　99,000円

（８）旅費　17,640円

（９）原材料費　99,000円

(10) 備品購入費　67,610円

上記の評価と課題等

今後も定期的に公園パトロールを実施することで不具合箇所等を把握し、市民が安全・安心に公園を利用できるよう計画的な公園の施設整備と保全管理に努めます。

市民の緑化への意識の高揚を図るため「緑の基本計画」に基づく事業を行い、花や緑であふれる潤いのあるまちづくりを進めます。

令和７年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書ページ	189

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	04	都市下水路事業費			
	事業	0108240	都市下水路維持管理費		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,368,000	4,233,061	0	1,134,939	78.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　都市下水路維持管理事業

市街地における雨水を円滑に排水し、浸水を防除するため、都市下水路(延長3.8km)の維持管理を行いました。

（１）委託料

ア　管理委託（新田都市下水路、成相都市下水路）　300,000 円

イ　清掃業務（町尻都市下水路）　484,000 円

ウ　現況測量業務（町尻都市下水路）　2,255,000 円

２　潮雨水ポンプ場維持管理

豪雨時の内水対策のため、潮雨水ポンプ場の維持管理を行いました。

（１）需用費

ア　施設修繕　69,300 円

イ　光熱水費（電気）　152,801 円

（２）委託料

ア　管理委託（維持管理、点検、システム管理）　971,960 円

上記の評価と課題等

都市下水路の管理委託や維持工事を実施し、浸水被害に備えることができました。令和６年度は町尻都市下水路の現況測量を実施し、流下能力や土砂堆積状況を把握することができました。今後は、内水対策検討の資料として利用します。

また、潮雨水ポンプ場の維持管理を行い、内水被害に備えることができました。

令和７年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書ページ	189

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	04	都市下水路事業費			
	事業	0108250	市街地排水路改修事業		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
10,600,000	10,161,800	0	438,200	95.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　市街地排水路改修事業
　　住環境整備のため、拠点市街区域内の水路改修や浚渫を実施しました。
（１）委託料
　　ア　清掃業務　　3,718,000 円

（２）工事請負費
　　ア　市街地排水路改修工事（７件）　　6,443,800 円

上記の評価と課題等

要望のあった拠点市街区域内の水路を改修し、浸水被害等を未然に防ぐことができました。
水路老朽化による維持改修要望が年々増える中で、事業費の確保が課題となっています。
他部署との連携を図り、効率的な維持管理を行う必要があります。

令和７年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書ページ	187

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	街路事業費			
	事業	0190350	【事故】都市再生整備計画事業（明科駅周辺）		施策	自然と発展が織りなすまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
7,275,000	7,275,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,200,000		【事故】明科駅周辺整備事業（過疎債）	7,200,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　都市再生整備計画事業　明科駅周辺
　　令和５年度からの繰越により、道路整備工事を行いました。

（１）工事請負費
　　ア　市道明科4145号線　　7,275,000 円
　　（令和５年度支出済額　4,000,000 円）

上記の評価と課題等

道路整備工事を行い、安全な通行ができるようになりました。

令和７年度	
部	都市建設部
課	建築住宅課
係等	建築景観係

決算書ページ	185

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	都市計画総務費			
	事業	0108190	景観整備事業		施策	暮らしと調和する景観の保全

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
10,607,000	8,646,834	0	1,960,166	81.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
586,400		屋外広告物許可手数料	586,400		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　景観づくり住民協定活動補助金　2,579,659円

景観づくり住民協定締結地区の活動に対し、補助金を交付して活動の支援を行いました。また、市連絡会においては新潟県糸魚川市を視察し、特徴的な取り組み等について研修を行いました。（補助団体：住民協定16団体、市連絡会１団体）

2　景観条例に基づく行為の届出

安曇野市景観条例で定める届出対象行為について、安曇野市景観計画の基準により審査を行い、写真等による確認のうえ、行為制限短縮通知の交付を行いました。
【届出件数】810件（内訳：建築物688件、工作物11件、土地形質等111件）

3　屋外広告物条例に基づく許可及びパトロール

屋外広告物条例に基づき、広告物掲出に関する相談や指導、許可事務を行いました。また、許可手続き漏れがないように、制度の周知とパトロールを実施しました。
【許可件数】　57件数169基（内訳：第１種地域　27基、第２種　49基、第３種　93基）
【許可更新件数】52件数176基（内訳：第１種地域　21基、第２種　82基、第３種　73基）

4　緑のまちづくり事業

緑に囲まれた安らぎを感じる環境づくりとして、記念樹の配布や生垣設置等への助成を行いました。

【 実　績 】記念樹　申請件数 348件（重複32件）、配布本数455本　1,975,950円
生　垣　申請件数　27件（内、ブロック塀撤去併用３件）　1,629,000円

上記の評価と課題等

自主的に景観を守る活動を実施している「景観づくり住民協定」の締結地区に対して、引き続き情報提供及び活動支援を行います。

景観条例及び屋外広告物条例について、適正に運用することができました。引き続き、良好な景観づくりのため、窓口や現場での指導・パトロールに努め、制度に関する周知を継続して行います。

緑のまちづくり事業については、住宅地等、緑化促進のため、広報誌やホームページ等、周知活動の充実を図り、利用拡大に努めます。

令和７年度	
部	都市建設部
課	建築住宅課
係等	開発調整係

決算書ページ	185

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	都市計画総務費			
	事業	0108200	土地利用調整事業		施策	自然と発展が織りなすまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
719,000	560,229	0	158,771	77.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　土地利用条例の運用

（１）開発事業の承認

市内で行う開発事業として184件の提案がありました。 関係部署との協議・調整を踏まえ審査を行ない、土地利用基本計画に整合すると認めたものを事業承認しています。

（２）特定開発事業の認定

土地利用基本計画の基準に定めのない開発事業として31件の提案がありました。関係部署との協議・調整、説明会及び土地利用審議会の意見を踏まえ審査を行い、特定開発事業の認定に関する指針等に照らして適正な開発事業として判断したものを事業認定しています。

【土地利用条例における開発事業の承認、特定開発事業の認定申請件数及び面積（区域別）】

区　域	拠点市街	準拠点市街	田園居住	田園環境	山麓保養	森林環境	合　計
	909.0ha	183.5ha	215.5ha	11,085.9ha	1,331.0ha	19,453.1ha	33,178.0ha
開発事業承認申請	27件	3件	9件	131件	14件	0件	184件
	5.8ha	1ha	0.7ha	14.6ha	1.3ha	0.0ha	23.4ha
特定開発認定申請	1件	0件	0件	30件	0件	0件	31件
	0.1ha	0.0ha	0.0ha	6.6ha	0.0ha	0.0ha	6.7ha

※ 開発事業承認の件数は、特定開発の認定後に承認申請へ移行したものを含みます。

上記の評価と課題等

土地利用条例の運用においては、窓口・電話相談等に対する丁寧な説明や、申請案件等の事務処理を適切に行い、適正かつ合理的な土地利用を推進しました。市民及び開発事業者の方に条例の趣旨をご理解いただくよう、引き続き丁寧な説明に努めます。

令和７年度	
部	都市建設部
課	建築住宅課
係等	住宅係

決算書ページ	187

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		目標	災害に強いまち
	目	01	都市計画総務費			
	事業	0108205	耐震改修促進事業		施策	防災体制の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
30,256,000	29,332,003	0	923,997	96.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
21,764,000		住宅・建築物安全ストック形成事業補助金	14,509,000		
		住宅・建築物耐震改修促進事業補助金	7,255,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　住宅・建築物耐震改修促進事業

（１）耐震診断業務委託　6,500,000円

昭和56年５月末日以前に着工された既存木造住宅の耐震診断業務を県建築士事務所協会へ委託し、100件の診断を実施しました。

（２）住宅耐震改修補助　22,519,000円

耐震診断を実施した住宅のうち、申請のあった24件に対して耐震改修・除却工事に係る費用を補助しました。

（３）耐震化促進に向けた取組み

国の総合支援メニューに基づいて、昨年度に引き続き、「安曇野市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム」を計画して取組みました。取組みの内容としては、住宅の耐震化に関する情報の市ホームページや広報紙への掲載、旧耐震基準で建築された住宅の所有者へのダイレクトメール（3,053通）の送付など、フォローアップに努めました。

上記の評価と課題等

今後も耐震化が図られるよう、耐震診断、耐震改修工事補助制度活用の事業ＰＲに努めます。

令和７年度	
部	都市建設部
課	建築住宅課
係等	住宅係

決算書ページ	191

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	安全・安心で快適なまち
	項	05	住宅費		目標	住みやすさを感じるまち
	目	01	住宅管理費			
	事業	0108290	住宅管理費		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
357,800,000	354,336,947	0	3,463,053	99.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
255,178,946		公営住宅使用料	52,267,300	公営住宅等整備事業補助金	46,605,000
		公営住宅駐車場使用料	3,388,190	アルプス団地生活雑排水処理施設除却費負担金	16,816,000
		公営住宅使用料滞納繰越分	125,300	太陽光発電売電等	28,266
		公営住宅駐車場使用料滞納繰越分	8,890	公営住宅建設事業債	59,800,000
		公営住宅等ストック総合改善事業補助金	76,140,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　公営住宅等維持管理事業

市営住宅14団地317戸、特定公共賃貸住宅２団地20戸の維持管理を行いました。

（１）　需用費（消耗品費、施設修繕費、外）　7,779,438円

（２）　役務費（手数料等、保険料）、委託料（管理委託料、外）　5,793,624円

２　公営住宅等長寿命化事業

安曇野市公営住宅等長寿命化計画に基づく予防保全型の維持管理（耐久性の向上等）を実施しました。

（１）外壁・屋根改修　44,286,000円

追分団地：Ｄ棟・Ｆ棟外壁・屋根改修工事、Ｅ棟設計業務委託、ほか

３　公営住宅整備事業

長寿命化計画に基づく工事及び設計等を行い施設の長寿命化と住環境整備等を進めました。

（１）委託料　19,063,000円

○ 柏原団地：現地測量　○ 穂高団地：耐震診断、耐震設計、改修工事設計ほか

○ 柏原団地：改修、外構工事設計　○ アルプス団地：7棟・雑排水処理施設解体工事監理ほか

（２）工事請負費　275,682,000円

○ 穂高団地：改修１棟、解体１棟　○ アルプス団地：解体７棟、雑排水処理施設解体、雑排水処理埋設物撤去

（３）補償金　808,500円

○ 穂高団地：改修工事に伴う移転補償　３件　○アルプス団地解体に伴う移転補償１件

上記の評価と課題等

市営住宅及び特定公共賃貸住宅の入居者が良好な住宅環境で居住できるよう、施設の点検・修繕等を行いました。また、長寿命化計画に基づく計画的な施設改修、維持管理に努めました。

上下水道部

令和７年度	
部	上下水道部
課	経営管理課
係等	庶務担当（上下水）

決算書ページ	143

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	上水道費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	上水道施設費			
	事業	0104300	水道事業		施策	上下水道の安定経営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
59,362,000	59,361,152	0	848	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

18節　負担金補助及び交付金

地方公営企業である、水道事業の安定化を図るため、合併前の旧豊科町において政策的に実施した水道施設の整備費用に対して一般会計から負担しました。

負担金

・光ニュータウン関連水道事業負担金　7,827,876円
・下水道工事関連水道事業負担金　51,533,276円

決算額　59,361,152円

上記の評価と課題等

水道事業施設の整備費用の負担金として、光ニュータウン関連水道事業分は令和10年度まで、下水道工事関連水道事業分は令和16年度まで、一般会計から支出します。

令和７年度	
部	上下水道部
課	経営管理課
係等	庶務担当（上下水）

決算書ページ	189

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	下水道事業費			
	事業	0108270	下水道事業		施策	上下水道の安定経営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,418,349,000	1,363,364,182	50,500,000	4,484,818	96.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
46,500,000		一般会計出資債（旧合併特例事業債）	46,500,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

23節 投資及び出資金

出資金 46,500,000円及び翌年度繰越額 50,500,000円は、下水道施設統廃合事業（管路工事、現場技術業務委託、上水道補償、路面復旧工事）に係るものです。

27節 繰出金

下水道事業経営の健全化を促進し、経営基盤の強化を図るため、一般会計から繰出しを行いました。

下水道事業会計繰出金

・基準内で繰出すもの　1,313,856,326円

・基準外で繰出すもの　776,396円

（農業集落排水事業325,746円　特定地域生活排水事業450,650円）

・生活保護受給者に対する下水道使用料の基本使用料減免分　2,231,460円

決算額　1,316,864,182円

上記の評価と課題等

下水道事業は資産規模が大きいことから、企業債償還額の負担も大きく、住民生活に密着したサービス提供を行うためには、一般会計の繰出金が重要な財源です。

一般会計からの繰出金については、総務省で定める下水道事業の繰出基準などにより繰出しを行っています。

令和７年度	
部	上下水道部
課	経営管理課
係等	庶務担当（上下水）

決算書ページ	191

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	下水道事業費			
	事業	0190110	【明許】下水道施設統廃合事業		施策	上下水道の安定経営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
108,700,000	108,700,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
108,700,000		一般会計出資債（旧合併特例事業債）	108,700,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

23節 投資及び出資金

繰越明許額 108,700,000円は、下水道施設統廃合事業（管路工事、現場技術業務委託、上水道補償）に係る出資金です。

上記の評価と課題等

旧合併特例事業債を活用して下水道事業会計に出資し、下水道施設統廃合事業を推進しました。

教育委員会　教育部

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育総務係

決算書ページ	195

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	01	教育委員会費			
	事業	0110010	教育委員会費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
10,931,000	9,285,567	0	1,645,433	84.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　教育委員会

教育委員会は、教育長、教育長職務代理者、委員３名の計５名で構成されています。

	R4.11.9	R5.11.9	R6.11.9
教育長	橋渡　勝也	橋渡　勝也	橋渡　勝也
教育長職務代理者	須澤　真広	遠藤　正志	遠藤　正志
教育委員	横内　理恵子	二村　美智子	羽田野　賢二
	二村　美智子	羽田野　賢二	川北　久美
	羽田野　賢二	川北　久美	金子　孝

（R7.3.31.現在）

教育委員会会議

会議は、12回の定例会及び１回の臨時会を開催し、教育委員会規則等の制定・改廃の審議その他の教育行政に係る案件についての審議を行いました。

（１）　定例会

No.	期　日	No.	期　日	No.	期　日	No.	期　日
1	4/24	2	5/23	3	6/21	4	7/19
5	8/27	6	9/19	7	10/24	8	11/28
9	12/18	10	1/24	11	2/17	12	3/26

（２）　臨時会　7/29

2　総合教育会議

地方教育行政法に基づく「総合教育会議」を開催し、市長と教育委員会が本市の教育の課題及び目指す姿等について、認識の共有を図りました。

回数	期　日	主　な　議　題
第１回	R6.7.24	安曇野市教育大綱と安曇野市教育振興基本計画の統合について
第２回	R7.2.13	安曇野の特色ある自然・文化・芸術に触れ、感性を高める教育の在り方について

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		基本方針	学び合い人と文化を育むまち
	目	01	教育委員会費			
	事業	0110010	教育委員会費		基本施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　「安曇野市教育振興基本計画」策定
第１次安曇野市教育振興基本計画（計画期間：R7～R10）を策定しました。

上記の評価と課題等

事務局が提案した案件及び本市の教育を取り巻く諸問題について、教育委員会定例会で議論を深めるとともに、課題等の解決を図りました。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	197

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110015	事務局費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
288,514,000	281,815,610	0	6,698,390	97.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
19,139,244		入学準備金貸付基金利子	194,044	公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金	1,325,000
		入学準備金貸付基金繰入金	15,650,000	地域自殺対策強化事業補助金	27,000
		入学準備貸付金	1,926,400		
		入学準備貸付金滞納繰越金	16,800		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　事務局費総務

（１）教育指導員の配置

教育指導室へ指導員を配置し、指導体制の充実を図っています。

区分	人数	決算額
教育指導員	４人	12,325,762 円

（２）いじめ・不登校対策事業

学校教職員への研修や校長会・教頭会への指導助言を行いながら、児童生徒のいじめ不登校等への支援方法や早期発見、早期対応への研究、関係機関との意見交換を行いました。

（３）就学相談

就学相談調査員８名が学校や認定こども園等を訪問し、就学に関する相談を実施しました。就学相談委員会(委員18名、開催15回)において、知的障がいや心身障がい等の特性のある子どもの学びの場について検討し、判断を行いました。

対象者	人数	判断結果			判断と異なる就学者
		通常学級	特別支援学級	特別支援学校	
幼児	102	23	64	15	0
児童	137	15	118	4	0
生徒	10	2	8	0	0
小計	249	40	190	19	0

予算				総合計画		
	款	10	教育費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		基本方針	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110015	事務局費		基本施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（４）各種大会等出場者補助金(交付先:各学校長)
　　各種大会等へ参加する際の費用負担軽減のため補助を行いました。(基本的に県大会以上)

区分	体育大会		合唱・吹奏楽ｺﾝｸｰﾙ等		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
小学校	10	128,900 円	13	2,095,200 円	23	2,224,100 円
中学校	81	2,097,200 円	17	942,120 円	98	3,039,320 円
合計	91	2,226,100 円	30	3,037,320 円	121	5,263,420 円

（５）私立高等学校運営費補助金　5,590,000円
　　対象校７校、補助対象生徒数　559人

２ 学校システム管理事業
（１）教育用システム・サーバの借上げ
・センターサーバ（令和２年度、令和３年度　更新５年リース）　7,623,528円
　教育委員会管理のセンターサーバを設け、学校との情報ネットワークの再構築と一元化、セキュリティの確保を行っています。
・学校図書館システム（令和６年度更新・５年リース）　5,287,260円
　学校図書館の蔵書管理システムを構築することにより貸出・返却を効率的に管理します。
（２）主な委託事業
・センターサーバ管理保守、学校ネットワーク用機器管理保守　8,087,200円
・ＩＣＴ支援員業務委託　18,700,000円
（３）GIGAスクール構想の推進
・GIGAスクール運営支援センター業務委託　3,977,600円
・GIGAスクール端末フィルタリングサービス使用料　2,556,136円
・授業目的公衆送信補償金　1,001,896円

３ 学校安全対策事業

事業名等	金額	備考
学校安全対策用品の購入(熊よけ鈴)	148,500円	購入数100個
通学路安全マップの作成	594,000円	関係者に配布
学校安全連絡メール配信システム使用料	1,065,900円	
通学路標識工事・修理の実施	666,600円	地域要望への対応
GIS通学路マップデータ更新委託	308,000円	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		基本方針	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110015	事務局費		基本施策	学校教育の充実

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　入学準備金貸付事業

未来を担う人材の育成を図るため、入学の準備に要する費用を保護者に対して無利子で貸し付ける「安曇野市入学準備金貸付制度」の運用を平成28年11月から行っています。

【Ｒ６年度利用実績】

公立高校	私立高校	国公立大学・短大・専修学校	私立大学・短大・専修学校	計
１件	５件	２件	23件	31件
100,000円	1,500,000円	800,000円	13,250,000円	15,650,000円

上記の評価と課題等

就学相談は、幼児期からの早期支援により、公立認定こども園等だけでなく、私立保育園や認可外保育園、児童発達支援施設等との連携も推進しています。就学判断数は前年度と同程度ですが、年中児の参観・相談が増加傾向となっています。

学校システム管理事業では、ＩＣＴ支援員による各校への定期的なＩＣＴ活用支援を実施することで、ＩＣＴを活用した教育の更なる推進や、教職員の負担軽減につながりました。

学校安全対策事業では、通学路合同点検で確認した点検結果による対策内容は、交通管理者（警察）、道路管理者（国県、市）と連携し、対応していきます。

入学準備金貸付金事業については、より利用しやすい内容となるよう検討し、令和６年８月に所得要件緩和の規則改正を行いました。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育指導室

決算書ページ	199

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110020	学校支援員配置事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
198,746,000	195,869,488	0	2,876,512	98.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,071,000		小中学校看護師配置事業補助金	4,071,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 報酬・職員手当　　186,593,235円
2 謝礼　　5,473,370円
3 旅費　　3,786,399円

（1）学校支援員の配置

学校からの支援員配置要望に基づき、県教委による教職員等の配置や学校実情を勘案し、適正な人材配置に努めました。

職　種	人　数	備　考	職　種	人　数	備　考
医療支援員	4人		学力向上指導員	5人	(中学校)
自立支援員	17人		特別支援教育支援員	42人	
合　計				68人	

（2）スクールカウンセラー及び障がい児等指導相談員、放課後学習室支援員等の派遣

配慮を要する児童生徒への支援や学校職員による指導の相談対応のため、市費でスクールカウンセラー及び障がい児等指導相談員（学校心理士・作業療法士・言語聴覚士）を派遣しました。また、学習意欲の刺激や理解促進のため、放課後の学習支援を実施しました。

職　種	人　数	備　考	職　種	人　数	備　考
スクールカウンセラー	7人	(巡回型)	障がい児等指導相談員	3人	(巡回型)
放課後学習室支援員	49人		合　計	59人	

上記の評価と課題等

学校支援員の配置により、教員と連携しながら個に応じた支援を行い、子どもが安心して学校生活を送る環境を整えています。不登校（傾向）の児童生徒に対しては、自立支援員・スクールソーシャルワーカー・自立支援コーディネーターが学校内外の支援者と連携を図りつつ、多様な学びの場の保障に努めています。配慮を要すると考えられる児童生徒は、家庭環境や社会状況などの複合的な要因から年々増加しています。

また、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」に基づき、地域の学校でも医療的ケアを要する子どもの受け入れ体制の整備、医療支援員（看護師）の配置を求められる機会は増える可能性があります。今後も学校支援員の配置要望は高まる可能性があるため、子どもの状況や学校の実情に配慮した適正人員の配置に努めます。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育指導室

決算書ページ	199

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110022	キャリアフェスティバル推進事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,174,000	3,596,552	0	577,448	86.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　「安曇野市中学生キャリアフェスティバル」の運営

キャリア教育の一環として堀金中学校の学年行事で実施した会を全市開催とする形に発展させた事業。生徒が、地元安曇野市にある企業などを知り、そこで働く大人の姿や考えに触れることで、自らの生き方や働く意味を考える機会とすると共に、地域の大人とのつながりを通して郷土愛をもてるようにする目的で、安曇野市７中学校の１年生全員を対象として初開催しました。

事業を実施するにあたり、中学生の実行委員会（各校２名ずつ、計14名）を組織しました。当日の開会式・閉会式における司会進行は、実行委員会の中学生が主に担いました。

また、当日は56の事業所（企業や団体、個人事業者）が出展者として参加いただき、仕事の内容紹介、自分がその仕事についたきっかけ（就職の動機）、やりがいや夢、苦労を生徒たちに伝えてもらい、交流しました。

節名称	決算額	備考
10　需用費	538,262円	消耗品、印刷製本
12　委託費	2,161,500円	会場設営・撤収業務、学習用素材の作成、音響機器設営業務
13　借上料	896,790円	大型バス借上

上記の評価と課題等

市の事業としては令和６年度初開催でしたが、安曇野市を拠点とする企業や団体、個人事業者の協力を得て、当日は56出展者が参加し、生徒たちに仕事の紹介・自身の働く思いを伝えてもらうことができました。また、大人と生徒だけではなく、産学官の取り組みとして出展者間や生徒間での交流も図る場面も作ることに留意しました。この会を通して、中学２年生で実施する職場体験の受入先として相談できる事業所との出会いも生まれています。今後は、事業に協力いただける出展者（多様な職種）を確保していくことや、生徒実行委員会との連携を更に深めていくことを大事にしていきたいです。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校教育担当

決算書ページ	199

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110025	コミュニティスクール事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,804,000	3,225,811	0	1,578,189	67.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,000,000		ふるさと寄附基金繰入金	3,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　　学校運営協議会（コミュニティ・スクール）

地域住民、保護者、地域コーディネーター等が、学校運営に参画し、意見を反映させ、学校運営の強化を図ります。

委員総数　123人	会議回数　51回	808,500円

2　　地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）

地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の企画・立案や学校と地域の連絡・調整等を行う役割を担います。

・連絡会議（事業確認・情報交換）　２回開催

地域コーディネーター総数　34名	314,200円

3　　学校運営協議会活動支援交付金

学校運営協議会の運営事業や地域と学校が連携・協働して実施する教育活動に必要な費用を支援します。

申請学校数　17校	1,154,000円

上記の評価と課題等

コミュニティスクール事業が目指す「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の実現に向け、学校と地域における育てたい子ども像や目指す教育ビジョンの共有化を図っていきます。また、学校に地域の人が足を踏み入れやすい環境整備を図ることなどの調整を行っていきます。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校教育担当

決算書ページ	199

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110027	外国語指導助手配置事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
57,182,000	56,893,915	0	288,085	99.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
50,000,000		ふるさと寄附基金繰入金	50,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　　小学校外国語指導助手配置事業

市内小学校10校の児童数に応じて、外国語指導助手（ＡＬＴ）を配置し、外国語活動の実施、外国語（英語）教育の推進を図っています。

ＡＬＴの配置	４人	19,483,200円

２　　中学校外国語指導助手配置事業

市内中学校７校に外国語指導助手（ＡＬＴ）を配置し、外国語活動の実施、外国語（英語）教育の推進を図っています。

ＡＬＴの配置	７人（各校１名）	34,095,600円

３　　中学校英語課外授業、小学校オンライン国際交流事業

中学校では、２年生を対象に各校で英会話の課外授業を実施し、小学校では、５年生を対象に海外講師とオンラインで交流する国際交流事業を実施することで、英語学習への意欲を高めることや異なる文化への理解を深める機会の提供を図っています。

オンライン国際交流事業	10校　25クラス	1,940,049円
英語課外授業の実施	46人（各校参加生徒数合計）	1,349,040円

上記の評価と課題等

小学校においては、ＡＬＴが担任教諭等と連携した授業を実施することで、児童が楽しみながら英語に触れ、親しむ体験を通して、英語で自分の意見を伝えたり、相手の話を理解する力を身につける学習の場を提供しています。

中学校では、通年で各校１名のＡＬＴを配置し、生徒の英語でのコミュニケーションを図る能力の育成や国際感覚の基盤を培う機会の確保を図っています。

令和６年度から、小学校５年生を対象としたオンライン国際交流事業をすべての小学校10校25クラスで実施しました。児童や英語教諭からも好評の事業のため、継続実施していきます。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育指導室

決算書ページ	199

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110030	教育支援センター運営事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
22,019,000	20,406,876	0	1,612,124	92.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

教育支援センターは豊科公民館内に設置しています。スクールソーシャルワーカーをはじめ、学校や関係機関と連携しながら、児童生徒の支援や保護者等への相談を実施しています。

１　教育支援センターの運営状況

（１）開室日：原則小中学校の登校日

（２）人員体制：指導員５名（常勤２名、非常勤３名）
自立支援コーディネーター２名、教育施設連携促進コーディネーター２名配置
スクールソーシャルワーカー４名（市による委嘱２名、県による市派遣２名）

（３）教育支援センター利用の推移（単位：人）　※アウトリーチ支援は除く

利用者数	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
小学生	15	24	20	26	31
中学生	18	14	16	27	29
小　計	33	38	36	53	60

（４）出張教室：週１回、穂高会館・穂高総合体育館を活用して出張教室を実施
内容：運動、調理実習など

（５）民間施設と共同で実施した体験的活動：４回
内容：ラフティング体験、スマートフォンの使い方（つきあい方）の学習会、
現役高校生との座談会、ドローン体験

上記の評価と課題等

教育支援センターは、年間で60人が通室や相談等で利用しました。くわえて、アウトリーチ支援として、28名に家庭訪問等で支援を実施しました。また、令和６年度は出張教室の実施や、民間施設と共同で実施できる体験的活動に取り組みました。

子どもの中には、教育支援センターまで通うことが難しい場合もあることから、アウトリーチ支援を継続して教育支援センターの機能充実を図りつつ、関係機関との連携を推進する必要があります。子どもの多様な学びの場の保障と支援ができるよう努めます。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	201

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110035	学校バス運行事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
115,320,000	114,049,467	0	1,270,533	98.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　スクールバス運行事業

市内小(中)学校遠距離通学児童の安全確保のため、スクールバス等の運行を委託しました。
なお、令和２年度より安曇野市タクシー運営協議会と市内全路線一括契約し、運行しています。

【日数】合計　3,311日　　(前年度3,281日)

地域	学校（路線）	基本運行時間	日数
豊科	豊科南小（たつみ原線）	登校2便　下校2便	206
	豊科南小（飯田・真々部線）	登校2便　下校2便	203
	豊科南小（臨時便）	下校1便	117
	豊科南小（応援車両：たつみ原線）	登校2便　下校2便	198
	豊科南小（応援車両：飯田・真々部線）	登校2便　下校1便	203
	豊科北中（大口沢線）	登校1便　下校1便	183
穂高	穂高北小（北穂高･有明線）	北穂高（狐島）登校1便　下校2便	206
		有明（豊里・小岩岳）登校2便　下校2便	205
		有明（宮城・立足）登校2便　下校2便	206
	穂高北小（臨時便）	下校1便	90
	穂高西小（牧線）	登校2便　下校2便	206
	穂高西小（臨時便）	下校1便	153
三郷	三郷小（小倉線）（通常2台運行）	登校2便　下校2便	205
	三郷小（臨時便）	下校1便	93
明科	明南小（大足線）	登校1便　下校2便	206
	明南小（押野線）	登校1便　下校2便	207
	明北小、明科中（潮沢線）	登校1便　下校2便	210
	明北小、明科中（犀川線）	登校2便　下校4便	214

市バスと業者バスを併用してスクールバスを運行しています。
利用基準は地域性、地形的なことを配慮し、距離を基準としている学校と、地区を基準としている学校があります。

予算				総合計画		
	款	10	教育費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		基本方針	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110035	学校バス運行事業		基本施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

２　学校行事バス運行事業

学校行事等における児童の送迎を、市所有バス・民間バス借り上げにより対応しました。

令和６年度はバスを利用した行事への参加クラス数が増加したこと等により、運行台数が増加しました。

	市バスの運行(運転委託)		借り上げバス	
	台　数	金　額	台　数	金　額
令和5年度	203 台	3,113,140 円	55 台	4,357,890 円
令和6年度	202 台	3,673,840 円	80 台	6,081,187 円

上記の評価と課題等

＜スクールバスの運行＞

市内全路線を安曇野市タクシー運営協議会と一括契約を締結することで、配車できる車両規格を複数種類用意し、緊急時にも柔軟に対応できる体制を構築しています。

＜学校行事バス＞

行事の回数や参加クラス数の増等により、運行台数が多くなりましたが、市バスの利用ができなかった場合は業者バスを借り上げることで、滞りなく行事を実施できました。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校教育担当

決算書ページ	201

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110070	学校保健事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
37,471,000	33,582,901	0	3,888,099	89.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　小・中学校保健指導事業

（1）児童生徒の定期健康診断、歯科指導等

種　別	決算額		備　　考
	小学校	中学校	
学校医報酬	7,932,000円	4,813,900円	学校医、学校歯科医、学校薬剤師
歯科指導等謝礼	455,190円	121,118円	
看護師謝礼	13,860円	6,300円	
養護教諭補助者等派遣事業謝礼	237,016円	―	

（2）来年度入学児童の就学時健診

種　別	決算額	備　　考
医師謝礼	1,010,000円	
歯科衛生士謝礼	10,648円	
看護師謝礼	10,080円	
健診事務補助者報酬･通勤費	422,210円	報酬382,463円　通勤費39,747円

（3）児童生徒の各種検査

種　別	決算額		備　　考
	小学校	中学校	
尿検査	2,713,392円	1,359,072円	全児童生徒
心電図検査	2,409,660円	1,233,430円	小学１・４年生、中学１年生
血液検査	1,377,805円	1,447,710円	小学５年生、中学２年生

予算				総合計画		
	款	10	教育費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		基本方針	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110070	学校保健事業		基本施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（４）飲料水・簡易水道の水質検査、教室内化学物質標準検査等

種　別	決算額		備　　考
	小学校	中学校	
水質検査	663,300円	456,500円	飲料水、簡易水道、プール
揮発性有機化合物濃度測定	88,000円	61,600円	教室内化学物質標準検査

（５）健康診断用機器の点検、修繕

種　別	決算額		備　　考
	小学校	中学校	
点検	280,500円	218,900円	ｵｰｼﾞｵﾒｰﾀ校正点検 小学校10台、中学校８台
修繕	52,580円	―	オートクレーブ（豊科南小学校）

２　教職員健康推進事業

学校関係職員の健康維持のための健康診断、カウンセリング事業等

種　別	決算額	備　　考
学校職員健康管理医謝礼	1,440,000円	健康管理医（産業医）２人を配置
教職員カウンセリング	94,600円	日本産業カウンセラー協会　単価契約
教職員ストレスチェック	61,595円	公立学校共済組合　単価契約
教職員健康診断	3,059,155円	長野県労働基準協会連合会　単価契約

３　健康診断用機器の購入

種　別	決算額		備　　考
	小学校	中学校	
オージオメータ	210,320円	―	穂高西小学校
オートクレーブ	404,800円	412,500円	明南小学校、明科中学校

上記の評価と課題等

児童生徒の健康維持、疾病の早期発見のため、学校や関係団体と連携を取りながら実施しました。結果を基に、かかりつけ医等への受診を勧めるため、必要な児童生徒の保護者に「勧奨通知」を出しています。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	201

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	03	住宅管理費			
	事業	0110040	教職員住宅運営事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,462,000	4,510,226	0	951,774	82.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,992,444		住宅貸付料	2,979,700		
		その他雑収入	12,744		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市立学校に勤務する教職員の住環境等整備のために設置している教職員住宅を管理しました。

1　施設管理状況

管理戸数	63戸		
住宅貸付料	2,979,700円		
使用料の月額	5,550円～29,800円		
主な管理経費	施設修繕費	1,650,000円	給排水設備、内外装等の施設修繕
	事務事業委託料	403,319円	未利用用地の測量業務
	工事請負費	1,686,630円	壁紙、フローリング改修工事
入居状況	19戸（令和６年度末）　入居率　30.16%		

2　施設の整理

公共施設再配置計画に基づく教職員住宅の用途廃止を進めてきました。

令和６年度は、南中教職員住宅の財産管理課への所管換えについて協議を続けています。

上記の評価と課題等

自宅からの通勤、民間アパート等を活用する教員の増加、また、管理施設の多くが老朽化している状況があるため、教員住宅のあり方や必要性を検討していきます。

令和６年度末の入居率は30.16%と３分の1程度であり、今後も老朽化した住宅の用途廃止や、利用可能な住宅は他の用途への用途変更等、有効活用について関係部署と引き続き取り組みを進めます。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	207

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	01	学校管理費			
	事業	0110075	小学校総務管理費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
405,588,000	388,740,787	0	16,847,213	95.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,182,169		公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金	993,000		
		その他雑入（学校教育課）	134,064		
		公共施設目的外使用料（学校教育課）	55,105		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

報償費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費等学校別に予算を編成した方が執行管理上効率的と思われる事業費については各学校別予算とし、一括管理した方が効率的と考えられる事業費について、総務管理費として管理しました。

1　小学校総務管理費

（１）学校事務員・学校庁務員・図書館司書の配置

小学校に市費職員として、事務員（7人）・庁務員（10人）・学校図書館司書（10人）（会計年度任用職員）を配置し、学校運営の円滑化を図っています。　84,090,082円

事務員・庁務員・学校図書館司書　報酬・職員手当・費用弁償(通勤費)　83,944,176円
事務員・庁務員・学校図書館司書・支援員　費用弁償(出張旅費)　145,906円

（２）主な委託事業

業務名	決算額	内容等
学校施設保守業務等	17,345,350 円	警備業務、自家用電気工作物保安、プール施設点検、消防用設備点検、防火設備点検、地下タンク保守、エレベータ保守、FFストーブ等

2　市内10小学校の総務管理費

（１）市内小学校の児童数等(R6.5.1現在 ｸﾗｽ数には特別支援学級数を含む)　() 内R5年度

学校名	児童数	クラス数	学校名	児童数	クラス数
豊科南小学校	700 (709)	29 (29)	穂高西小学校	384 (380)	17 (16)
豊科北小学校	532 (543)	26 (26)	三郷小学校	915 (913)	38 (37)
豊科東小学校	173 (168)	10 (10)	堀金小学校	417 (423)	18 (18)
穂高南小学校	630 (607)	24 (25)	明南小学校	189 (202)	10 (11)
穂高北小学校	587 (611)	27 (28)	明北小学校	80 (85)	8 (8)
			合計	4,607 (4,641)	207 (208)

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		基本方針	学び合い人と文化を育むまち
	目	01	学校管理費			
	事業	0110075	小学校総務管理費		基本施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（２）各小学校には、実情に応じた予算を配当し、執行を行いました。

節名称	決算額	主な内容
07　報償費	2,081,983 円	講師謝礼他
10　需用費	140,697,555 円	学校管理用消耗品、燃料費、施設修繕、光熱水費、印刷製本、物品修繕外
11　役務費	11,866,696 円	通信運搬費、マット等のレンタル、楽器調整、庭木の剪定、クリーニング外
12　委託料	9,236,510 円	粗大ごみ処理、芝生管理外
13　使用料及び賃借料	1,395,084 円	コピー機使用料、学校田等賃借料外
17　備品購入費	10,701,951 円	児童用の机椅子、草刈り機外
18　負担金及び補助金	5,518 円	水利組合
合　　計	175,985,297 円	※10小学校の総額

（３）　学校用地の賃借　　4,931,018円
学校運営のために必要な学校用地及び駐車場・スクールバス停用地の借用

（４）　カラー複合機の借上げ　　5,478,000円
市内10小学校の職員室・事務室の印刷機器をカラー複合機に入れ替えました。

（５）　管理備品等の購入　6,547,611円
石油温風暖房機購入

（６）災害共済給付掛金　　4,306,720円
児童の「学校の管理下」(登下校を含む)における災害等の対策として、日本スポーツ振興センターの災害給付制度に加入しています。

加入者数	共済掛金	災害発生件数	給付件数	給付額
4,607人	4,306,720円	302件	448件	2,774,621円

３　　小学校情報教育推進事業（学校ICT事業の推進）
- 学校システム管理（委託料）　　15,985,849円
- 教育用(パソコン教室)及び校務用パソコン等のリース(借上料)　　35,889,238円
  ※令和６年度に豊科・三郷地域の校務用パソコン、プリンタ等を更新
- 校務支援システム負担金　　5,689,920円

上記の評価と課題等

学校生活環境を快適なものとするため、市内10小学校の適正な管理運営を実施しました。
児童数は、R5年度は対前年比減(121人減)でしたが、R6年度も減少(R5：4,641人、R6：4,607人　34人減)し、学級数も1学級減りました。
GIGAスクール構想に基づいて整備したICT機器を活用し、引き続きICTを活用した教育の推進を図っていきます。
学校運営に必要な経費を計上支出することで学校生活や学習活動を支える条件整備など、きめ細やかな対応が行えました。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	209

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	教育振興費			
	事業	0110130	小学校教育振興費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
98,835,000	96,834,388	0	2,000,612	98.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,309,000		特別支援教育就学奨励費補助金	3,987,000		
		要保護児童生徒援助費補助金	11,000		
		理科教育設備整備費補助金	1,180,000		
		指定寄附金	1,131,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　小学校就学援助事業

（1）要保護・準要保護児童生徒就学援助費　　35,841,718円

経済的理由によって就学が困難と認められる児童に対して就学援助費を支給しました。

対象経費:学用品費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費等

(支給実績)

要保護児童		準要保護児童		合　計	
1人	22,690円	481人	35,819,028円	482人	35,841,718円

※要保護児童の国庫補助対象経費：修学旅行費（国庫補助率：対象経費の1/2)

※要保護児童は修学旅行費のみが対象

（2）特別支援教育就学援助費　　対象児童数:210人　支給額:8,884,681円

特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、就学援助費を支給しました。

対象経費:学用品費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費等

※国庫補助率：対象経費の1/2

(新入学児童生徒学用品費に市独自加算があり、独自加算分は補助対象外)

- 要保護とは生活保護受給者(年度内廃止者含む)
- 準要保護とは所得要件(世帯収入)
- 特別支援教育就学奨励費とは特別支援学級在籍かつ所得要件(世帯収入)

2　小学校教科用指導書等購入事業

教科書改訂に伴う教師用教科書及び指導書の購入　　6,483,459円

人権教育副読本「あけぼの」（児童用）の購入外　　384,731円

予算				総合計画		
	款	10	教育費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		基本方針	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	教育振興費			
	事業	0110130	小学校教育振興費		基本施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　市内10小学校

学校で必要な教材用消耗品、教材備品、児童用図書を購入して学習環境の整備を進めました。

節名称	決算額	主な内容
10　需要費	16,577,199 円	教育事業を進めるために必要な消耗品
17　備品購入費（教材）	12,231,892 円	吹奏楽等楽器、理科振興備品、サッカーゴール、ミシン、体育用マット外
17　備品購入費（図書）	9,006,444 円	図書館配備図書　達成率121.04％
合計	37,815,535 円	

※達成率：国が目標と定めた蔵書数（学校図書館図書標準）に対しての達成率

上記の評価と課題等

児童が安心して教育を受け、学校生活を送れるよう、経済的支援や、学習面・生活面における支援を必要とする家庭について、学校長等と連携しながら対応していきます。

学校別の教育振興費消耗品及び備品購入費は、基本額・人数割・クラス割により予算額を算出し配当しています。また、図書購入費は達成率を基に予算額を算出して配当しています。

配当された予算内で必要な教材や備品等を購入していますが、高額な備品（楽器など）で老朽化が著しいものについては、一度に整備することが困難であるため、学校と協議・調整を行いながら計画的に購入しています。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育指導室

決算書ページ	209

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	教育振興費			
	事業	0110185	小学校通級指導教室事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,024,000	896,676	0	127,324	87.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　言語障がい通級指導教室「ことばの教室」、LD等通級指導教室「まなびの教室」の運営

※LDとは、Learning Disabilitiesの略、学習障がいを意味します。

（１）言語障がい通級指導教室「ことばの教室」

設置校：穂高北小学校２教室

「ことばの教室」は、通常の学級に在籍している言語障がい等を有する児童に対し、各教科等の指導は主として通常の学級で行いつつ、個々の障がいの状態に応じた特別の教育課程による指導を県費加配担当教員２人が実施しています。

（２）LD等通級指導教室「まなびの教室」

設置校：穂高北小学校２教室、三郷小学校２教室

サテライト校：豊科北小学校１教室、堀金小学校１教室

「まなびの教室」は、設置校２校の他にサテライト教室を開設しています。通常の学級に在籍する情緒障がいや学習障がい等を有する児童に対し、各教科等の指導は主として通常の学級で行いつつ、個々の障がいの状態に応じた特別の教育課程による指導を県費加配担当教員４人が実施しています。また、グループソーシャルスキルトレーニングを行うために市費補助指導員２人を配置し、小集団での指導を行いました。

２　令和６年度通級及び相談支援実績

	通級人数	グループＳＳＴ	教育相談
ことばの教室	33人		20人
まなびの教室	75人	6人	54人
小　計	108人	6人	74人
合　計			188人

上記の評価と課題等

通級指導教室が２校６教室となり、サテライト教室も開設していることから、支援件数と教育相談件数は増加しています。通級及び相談支援件数は延べ188人になり、通常学級での支援・家庭での関わり方についての助言や、通級指導教室での指導により児童の主訴改善を図ることができています。

令和７年度から、「ことばの教室」はサテライト教室を三郷小学校に設置する予定です。「まなびの教室」は５教室に増設となり、サテライト教室１教室を継続します。言語や発達の障がいだけでなく、複合的な要因からコミュニケーションの課題や学びづらさを抱える児童の相談が増えています。在籍校や家庭と連携した指導・支援に努め、子どもたちが通級指導教室で学んだことを、生活場面においても発揮できること（汎化）を目指します。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	209

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0110190	小学校施設維持修繕事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
41,752,000	39,472,076	0	2,279,924	94.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市内小学校10校について、児童の安全・安心の学校施設環境を維持するための修繕を実施しました。

1　施設修繕　　20,620,731円（ガラス破損などの軽微なものは学校予算にて対応）

主な修繕	件数	決算額	実施校
照明修繕（蛍光灯からLED照明へ）	13件	1,288,034円	豊科北小学校外
プール関連設備修繕	５件	1,730,071円	明南小学校外
給排水設備修繕	11件	1,110,307円	豊科南小学校外
その他修繕	99件	16,492,319円	

2　遊具点検業務の実施　　484,000円

3　業務委託　　4,485,391円

主な業務委託	件数	決算額	内容等
草刈・剪定作業	18件	1,678,055円	シルバー人材センター外
エアコン設置工事設計業務委託	１件	465,410円	明南小学校・明北小学校
冷風機等賃貸借	１件	1,342,000円	全校
公立学校施設台帳作成	１件	497,200円	市内全小学校

4　工事請負費　11,897,930円

主な工事	件数	決算額	実施校
換気設備設置工事（網戸等）	５件	1,844,414円	豊科南小学校外
空調設備設置等工事	３件	3,446,300円	明北小学校外
トイレ等関連工事	５件	2,323,530円	豊科東小学校外
その他工事	11件	4,283,686円	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		基本方針	学び合い人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0110190	小学校施設維持修繕事業		基本施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

5　学校施設の点検業務

項　目		頻　度
建築物定期調査	建築基準法12条に基づく、建築物及び建築設備の点検	３年に１度
防火設備点検	シャッターの動作及び動作制御盤やシャッターと連動している煙感知器の保守点検	毎年
消防用設備点検	消防法に規定される設備、機器（制御盤、感知器及び消火栓設備）等の保守点検	毎年
昇降機保守点検	常用エレベーターの保守点検	毎年
自家用電気工作物点検	自家用電気工作物の保安管理	毎年
プール設備点検	水泳プール循環機等の点検	毎年
高架水槽・受水槽清掃点検	学校の飲料水を清潔に保つための清掃・点検	毎年
遊具点検	小学校内の遊具の安全点検	毎年
空調機定期点検	フロン排出抑制法に基づく空調機定期点検	３年に１度

上記の評価と課題等

学校施設を常に健全な状態に保ち、安全安心で快適な教育環境を維持するためには、老朽化や機能の低下が生じる前に予防的な修繕を行う必要があります。従来の事後保全での整備と比較して施設を長く使用することができる「学校施設の長寿命化」を図るうえで「計画保全」の考え方が重要になります。

効率的、効果的な保全を行うためには、その判断材料となる施設の定期的な点検業務を確実に行っていくことが重要です。

本市の学校施設では点検業務を着実に実施し、活用していきます。また、施設の基礎情報や保守記録とあわせ、点検結果の情報を集積し、一元的に管理しています。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	211

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0110195	小学校施設改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,001,532,000	146,865,340	1,854,046,000	620,660	7.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,693,634,000		学校施設環境改善交付金	422,734,000	学校施設改修事業（国土強靭化債）	46,600,000
		学校施設整備事業（特例債・施設）	506,200,000		
		学校施設改修事業	334,100,000		
		学校施設改修事業（補正予算債）	384,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

豊科南小学校：空気中総繊維数（アスベスト）調査を行いました。
三郷小学校：長寿命化改良工事に着手しました。

穂高北小学校：北グラウンドの進入路を拡幅しました。
【繰越明許事業】　学校施設環境改善交付金の前倒し交付により令和７年度に繰越
穂高西小学校：令和６年度につづき、老朽化したトイレの改修及び洋式化工事を行います。

1　委託料　　3,317,340円

業務名	決算額
豊科南小学校　空気中総繊維数調査業務委託	576,840円
三郷小学校　長寿命化改良工事　監理業務委託	2,740,500円

2　工事請負費　　39,268,000円

主な工事	決算額
三郷小学校　長寿命化改良工事	36,232,000円
穂高北小学校　北グランド駐車場整備工事	3,036,000円

3　借上料　　104,280,000円

主な工事	決算額
三郷小学校　長寿命化改良工事　仮説校舎リース	104,280,000円

上記の評価と課題等

豊科南小学校アスベスト調査を実施しました。
三郷小学校は長寿命化改良工事に着手しました。普通教室棟１棟と特別教室棟１棟の工事が完了し、供用が開始されました。
穂高北小学校の学校周辺の駐車場不足解消のため、北グラウンドの進入路を拡幅しました。利便性の向上と安全の確保ができました。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	211

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0190120	【明許】小学校冷房設備等整備事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
49,058,000	32,494,000	0	16,564,000	66.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
30,982,000		学校施設環境改善交付金	5,182,000		
		学校施設整備事業（特例債・施設）	15,600,000		
		学校施設改修事業（国土強靭化債）	10,200,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

穂高地域小学校３校（穂高南小・穂高北小・穂高西小）において、普通教室及び特別支援教室として使用する教室に冷房設備を導入し学習環境の改善を図ることができました。

１　設計監理委託料　　660,000円

２　工事請負費　　31,834,000円

上記の評価と課題等

令和元年の空調機導入事業において、空き教室等の事情で設置が見送られた教室が特別支援教室の増級により教室となり、設置の必要が生じました。これにより、児童の学習環境の改善を図ることができました。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	211

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0190130	【明許】穂高西小学校施設改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
138,749,000	125,780,600	0	12,968,400	90.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
119,130,000		学校施設環境改善交付金	22,530,000		
		学校施設整備事業（特例債・施設）	49,200,000		
		学校施設改修事業（国土強靭化債）	47,400,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

建設時から改修が行われていない穂高西小学校のトイレを令和６年度から令和８年度にかけ、全面改修します。令和６年度は第Ｉ期工事として北校舎１～３階、南校舎１～２階トイレの改修を行い、タイル張りの湿式トイレを長尺塩ビシート張りの乾式トイレへ改修するとともに、和式トイレの洋式化を行い、施設の環境改善を図ることができました。

１　設計監理委託料　　3,680,600円

２　工事請負費　　122,100,000円

上記の評価と課題等

タイル張りのトイレを改修することで、トイレの臭気や湿気の解消につながること、また、トイレの洋式化も図られることから積極的に整備を進めていきます。
工事期間中はトイレの使用ができず、複数年の工事が必要となることから、学校と調整しながら生徒への影響を最小限にして進める必要があります。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	211

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0190360	【事故】【明許】三郷小学校施設改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
125,862,000	33,838,000	0	92,024,000	26.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
33,838,000		学校施設整備事業（特例債・施設）	33,838,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市学校施設長寿命化計画で定めた実施計画により、建設から50年以上が経過した三郷小学校校舎の耐用年数を延長させるため、長寿命化改良工事を実施しています。工事にあたり、工事期間中であっても授業を続けられるよう、仮設校舎を借上げました。本体工事は機械設備工事が入札不調により契約を締結することができませんでしたが、建築主体工事に包含する形で変更契約を行い、工事に着手することができました。

１　設計監理委託料　　2,750,000円

２　工事請負費　　31,088,000円

上記の評価と課題等

長寿命化改良工事のうち機械設備工事が入札不調により契約を締結することができませんでしたが、建築主体工事に包含する形で変更契約を行い、工事に着手することができました。令和６年度中に普通教室棟１棟と特別教室棟１棟の工事が完了し、供用が開始されました。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	211

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	中学校費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	01	学校管理費			
	事業	0110205	中学校総務管理費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
256,891,000	241,657,990	0	15,233,010	94.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
804,727		公共施設目的外使用料（学校教育課）	111,790		
		その他雑入（学校教育課）	32,797		
		中学校公衆電話料	63,140		
		公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金	597,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

報償費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費等学校別に予算を編成した方が執行管理上効率的と思われる事業費については各学校別予算とし、一括管理した方が効率的と考えられる事業費について、総務管理費として管理しました。

1　中学校総務管理費（一括管理）

（１）学校事務員・学校庁務員・図書館司書の配置・中学校部活動指導員

中学校に市費職員として、事務員（3人）・庁務員（7人）・学校図書館司書（7人）（会計年度任用職員）を配置し、学校運営の円滑化を図っています。　49,578,736円

[事務員・庁務員・学校図書館司書　報酬・職員手当・費用弁償(通勤費)　49,029,597円
事務員・庁務員・学校図書館司書・支援員　費用弁償(出張旅費)　549,139円]

（２）主な委託事業

業務名	決算額	内容等
学校施設保守業務等	12,875,000 円	警備業務、自家用電気工作物保安、プール施設点検、消防用設備点検、防火設備点検、地下タンク保守、エレベータ保守、FFストーブ等

2　市内７中学校の総務管理費

（１）市内中学校の生徒数等(R6.5.1現在 ｸﾗｽ数には特別支援学級数を含む)　() 内R5年度

学校名	児童数	クラス数	学校名	児童数	クラス数
豊科南中学校	316（319）	14（14）	三郷中学校	493（490）	21（21）
豊科北中学校	353（364）	17（17）	堀金中学校	240（253）	11（12）
穂高東中学校	438（443）	18（19）	明科中学校	161（181）	9（ 8）
穂高西中学校	378（378）	17（16）			
			合計	2,379（2,646）	107（107）

予算				総合計画		
	款	10	教育費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	中学校費		基本方針	学び合い人と文化を育むまち
	目	01	学校管理費			
	事業	0110205	中学校総務管理費		基本施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（２）　各中学校には、実情に応じた予算を配当し、執行を行いました。

節名称	決算額	主な内容
07　報償費	835,700 円	講師謝礼他
10　需用費	94,751,508 円	学校管理用消耗品、燃料費、施設修繕、光熱水費、印刷製本、物品修繕外
11　役務費	7,813,822 円	通信運搬費、マット等のレンタル、楽器調整、庭木の剪定、クリーニング外
12　委託料	3,067,845 円	粗大ごみ処理、庭木の伐採
13　使用料及び賃借料	459,338 円	コピー機使用料、学校田等賃借料
17　備品購入費	9,205,925 円	生徒用の机椅子、シュレッダー外
合　　計	116,134,138 円	※７中学校の総額

（３）　学校用地の賃借　　1,309,795円
　学校運営のために必要な学校用地及び駐車場・スクールバス停用地の借用

（４）　カラー複合機の借上げ　　4,144,800円
　市内7中学校の職員室・事務室の印刷機器をカラー複合機に入れ替えました。

（５）　管理備品等の購入　5,556,430円
　石油温風暖房機、公衆電話機

（６）災害共済給付掛金　　2,219,965円
生徒の「学校の管理下」(登下校を含む)における災害等の対策として、日本スポーツ振興センターの災害給付制度に加入しています。

加入者数	共済掛金	災害発生件数	給付件数	給付額
2,379人	2,219,965円	199件	374件	2,754,851円

３　中学校情報教育推進事業（学校ICT事業の推進）
・学校システム管理（委託料）　　8,871,302円
・教育用(パソコン教室)及び校務用パソコン等のリース(借上料)　　24,767,996円
　※令和６年度に豊科・三郷地域の校務用パソコン、プリンタ等を更新
・自動採点システム使用料　　924,000円
・校務支援システム負担金　　4,153,800円

上記の評価と課題等

学校生活環境を快適なものとするため、市内７中学校の適正な管理運営を実施しました。
生徒数は、R５年度は対前年比増（37人増）でしたが、R６年度は減少(R5：2,428人、R6：2,379　49人減)となりました。学級数は同数（107学級）でした。
GIGAスクール構想に基づいて整備したICT機器を活用し、引き続きICTを活用した教育の推進を図っていきます。
学校運営に必要な経費を計上支出することで学校生活や学習活動を支える条件整備など、きめ細やかな対応が行えました。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	213

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	中学校費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	教育振興費			
	事業	0110245	中学校教育振興費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
109,056,000	104,488,983	0	4,567,017	95.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,784,310		特別支援教育就学奨励費補助金	2,324,000	理科教育設備整備費補助金	1,229,000
		要保護児童生徒援助費補助金	61,000	指定寄付金	839,000
		被災児童生徒就学等支援事業補助金	91,310		
		中学校部活動指導員任用事業補助金	1,240,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　中学校就学援助事業

（１）要保護・準要保護児童生徒就学援助費　　32,463,767円

経済的理由によって就学が困難と認められる生徒に対して就学援助費を支給しました。

対象経費:学用品費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費等

(支給実績)

要保護生徒		準要保護生徒		合　　計	
2人	121,820円	287人	32,341,947円	289人	32,463,767円

※要保護生徒の国庫補助対象経費：修学旅行費（国庫補助率：対象経費の1/2)

※要保護生徒は修学旅行費のみが対象

※準要保護のうち被災生徒　1人、支給額　91,990円（県補助率10/10）

（２）特別支援教育就学援助費　　対象生徒数:85人　支給額:5,557,716円

特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して、就学援助費を支給しました。

対象経費:学用品費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費等

※国庫補助率：対象経費の1/2

(新入学児童生徒学用品費に市独自加算があり、独自加算分は補助対象外)

- 要保護とは生活保護受給者(年度内廃止者含む)
- 準要保護とは所得要件(世帯収入)
- 特別支援教育就学奨励費とは特別支援学級在籍かつ所得要件(世帯収入)

2　中学校教科用指導書等購入事業

（１）人権教育副読本「あけぼの」（中学生用）の購入　1,000円

（２）教科書改訂に伴う教師用教科書及び指導書の購入　20,920,364円

・４年に１度の中学校教科書用図書の改訂に伴い、令和７年度から使用する教師用教科書及び指導書の購入

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	中学校費		基本方針	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	教育振興費			
	事業	0110245	中学校教育振興費		基本施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３ 市内７中学校

学校で必要な教材用消耗品、教材備品、児童用図書を購入して学習環境の整備を進めました。

節名称	決算額	主な内容
10　需要費	14,394,518 円	教育事業を進めるために必要な消耗品
17　備品購入費（教材）	7,651,303 円	吹奏楽等楽器、理科振興備品、卓球台、ミシン、サッカーゴール、譜面台外
17　備品購入費（図書）	6,465,838 円	図書館配備図書　達成率107.38％
合計	28,511,659 円	

※達成率：国が目標と定めた蔵書数（学校図書館図書標準）に対しての達成率

４　　地域部活動推進事業

・中学校教諭の部活動負担の軽減、部活動の地域移行の進展を目的として部活動指導員を雇用しました。

・小学校課外クラブ活動と中学校部活動について、技術的指導者として学校外部の指導者を派遣します。また、朝の自主練習を実施した際に地域の見守りとして、巡回員を派遣します。

・部活動の地域移行の取り組みにより誕生した「地域クラブ」への支援のため、地域クラブの指導者謝礼を負担しました。

＜令和６年度 実績＞

部活動指導員	12名	1,991,536円
部活動外部指導者総数	42名	1,344,700円
朝の自主練習巡回員総数	31名	220,150円
地域クラブ指導者	34名	2,005,000円

上記の評価と課題等

生徒が安心して教育を受け、学校生活を送れるよう、経済的支援や、学習面・生活面における支援を必要とする家庭について、学校長等と連携しながら対応していきます。

学校別の教育振興費消耗品及び備品購入費は、基本額・人数割・クラス割により予算額を算出し配当しています。また、図書購入費は達成率を基に予算額を算出して配当しています。

配当された予算内で必要な教材や備品等を購入していますが、楽器など高額な備品で老朽化が著しいものについては、一度に整備することが困難であるため、学校と協議・調整を行いながら計画的に購入しています。

地域部活動推進事業では、地域クラブの指導者謝礼の負担を中心として支援を続けていきます。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育指導室

決算書ページ	215

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	中学校費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	教育振興費			
	事業	0110250	中学校通級指導教室事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
435,000	425,361	0	9,639	97.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　LD等通級指導教室「まなびの教室」の運営
※LDとは、Learning Disabilitiesの略、学習障がいを意味します。

設置校：穂高東中学校２教室、三郷中学校１教室
サテライト校：穂高西中学校１教室、豊科北中学校１教室、堀金中学校１教室
「まなびの教室」は、通常の学級に在籍している情緒障がい・発達障がい・学習障がい等を有する生徒に対し、各教科等の指導は主として通常の学級で行いつつ、個々の障がいの状態に応じた特別の指導を通級指導教室にて実施しています。
県から担当教員３人が配置され、通級指導や教育相談にあたりました。

２　令和６年度通級及び相談支援実績

	通級人数	教育相談
まなびの教室	40人	26人
合　計		66人

上記の評価と課題等

中学校では、通常学級の授業や部活動を大切にしている生徒もいるため、学校生活に配慮しながら通級による指導を実施しています。令和６年度から「まなびの教室」は２教室（穂高東中１、三郷中１）から３教室（穂高東中２、三郷中１）に増設され、サテライト教室も３教室に拡大（穂高西中１、豊科北中１、堀金中１）設置としたことで、市内中学校から広く教育相談を受けることができました。通級指導教室での学びは、在籍校（担任や学級）、家庭等と連携し、継続的に指導・支援することで、その子どもの日常生活におけるコミュニケーションをはじめとした力に繋がります。進路等を含め、本人の願いを軸にしながら、支援者間で連携を図るよう努めます。通級指導教室での学びを、本人の日常生活でも発揮できる状態（汎化）を目指して、指導・支援に努めます。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	215

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	中学校費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0110285	中学校施設維持修繕事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
30,410,000	29,276,050	0	1,133,950	96.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市内中学校７校について、生徒の安全・安心の学校施設環境を維持するための修繕を実施しました。

1　施設修繕　　18,319,601円（ガラス破損などの軽微なものは学校予算にて対応）

主な修繕	件数	決算額	実施校
照明修繕（蛍光灯からLED照明へ）	12件	2,457,004円	豊科南中学校外
プール関連設備修繕	５件	842,600円	三郷中学校外
給排水設備修繕	５件	601,513円	明科中学校外
その他修繕	60件	14,418,484円	

2　業務委託　　1,904,489円

主な業務委託	件数	決算額	内容等
草刈・剪定作業	11件	930,989円	シルバー人材センター外
設計監理業務委託	１件	715,000円	体育館LED化工事設計
公立学校施設台帳作成	１件	258,500円	市内全中学校

3　工事請負費　　7,399,700円

主な工事	件数	決算額	実施校
空調機改修工事	２件	1,709,400円	豊科北中学校外
教室仕切り壁設置工事	２件	1,650,000円	豊科南中学校外
放送設備改修工事	１件	528,000円	豊科南中学校
その他工事	５件	3,512,300円	

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	中学校費		基本方針	学び合い人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0110285	中学校施設維持修繕事業		基本施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

4　学校施設の点検業務

項　目		頻　度
建築物定期調査	建築基準法12条に基づく、建築物及び建築設備の点検	３年に１度
防火設備点検	シャッターの動作及び動作制御盤やシャッターと連動している煙感知器の保守点検	毎年
消防用設備点検	消防法に規定される設備、機器（制御盤、感知器及び消火栓設備）等の保守点検	毎年
昇降機保守点検	常用エレベーターの保守点検	毎年
自家用電気工作物点検	自家用電気工作物の保安管理	毎年
プール設備点検	水泳プール循環機等の点検	毎年
高架水槽・受水槽清掃点検	学校の飲料水を清潔に保つための清掃・点検	毎年
空調機定期点検	フロン排出抑制法に基づく空調機定期点検	３年に１度

上記の評価と課題等

学校施設を常に健全な状態に保ち、安全安心で快適な教育環境を維持するためには、老朽化や機能の低下が生じる前に予防的な修繕を行う必要があります。従来の事後保全での整備と比較して施設を長く使用することができる「学校施設の長寿命化」を図るうえで「計画保全」の考え方が重要になります。

効率的、効果的な保全を行うためには、その判断材料となる施設の定期的な点検業務を確実に行っていくことが重要です。

本市の学校施設では、点検業務を着実に実施し活用していきます。また、施設の基礎情報や保守記録とあわせ、点検結果の情報を集積し、一元的に管理しています。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	215

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	中学校費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0110290	中学校施設改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
108,464,000	15,532,000	0	92,932,000	14.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

豊科南中学校、三郷中学校：校内放送設備の老朽化に伴い、運用に支障が出てきていることから更新改修工事を行いました。

三郷中学校：３棟１階廊下の塗床の劣化が著しいことから、研磨のうえ長尺塩ビシート張り工事を行いました。

【繰越明許事業】　学校施設環境改善交付金の前倒し交付により令和７年度に繰越
三郷中学校：令和６年度につづき、老朽化したトイレの改修及び洋式化工事を行います。

1　業務委託　　484,000円

業務名	決算額
三郷中学校：３棟１階廊下改修工事　監理業務委託	484,000円

2　工事請負費　　15,048,000円

工事名	決算額
豊科南中学校：校内放送設備改修工事	3,850,000円
三郷中学校：３棟１階廊下改修工事	6,798,000円
三郷中学校：校内放送設備改修工事	4,400,000円

上記の評価と課題等

豊科南中学校、三郷中学校の校内放送設備が老朽化し運用に支障が出ていることから、更新改修し滞りなく全校放送ができる環境を整えることができました。

三郷中学校では、３棟の廊下床の劣化が進んでいましたが、階毎に順次改修工事を行ってきました。今年度は１階廊下床の改修工事を行い、学校環境の改善及び機能向上を図ることができました。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	215

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0190140	【明許】三郷中学校施設改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
71,180,000	61,369,000	0	9,811,000	86.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
57,960,000		学校施設環境改善交付金	11,960,000		
		学校施設整備事業（特例債・施設）	22,500,000		
		学校施設改修事業（国土強靭化債）	23,500,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

三郷中学校のトイレを令和６年度から令和７年度にかけ、全面改修します。令和６年度は第Ⅰ期工事として南校舎トイレを中心に改修を行い、タイル張りの湿式トイレを長尺塩ビシート張りの乾式トイレへ改修するとともに、和式トイレの洋式化を行い、施設の環境改善を図ることができました。

１　設計監理委託料　　2,090,000円

２　工事請負費　　59,279,000円

上記の評価と課題等

タイル張りのトイレを改修することで、トイレの臭気や湿気の解消につながること、また、トイレの洋式化も図られることから積極的に整備を進めていきます。
工事期間中はトイレの使用ができず、複数年の工事が必要となることから、学校と調整しながら生徒への影響を最小限にして進める必要があります。

令和７年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	215

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0190150	【明許】堀金中学校施設改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
43,890,000	38,830,000	0	5,060,000	88.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
36,206,000		学校施設環境改善交付金	5,006,000		
		学校施設整備事業（特例債・施設）	21,400,000		
		学校施設改修事業（国土強靭化債）	9,800,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

堀金中学校のトイレを令和４年度から令和６年度にかけ、全面改修しました。令和６年度は第Ⅲ期工事として北校舎１～２階のトイレの改修を行い、タイル張りの湿式トイレをビニールクロス張りの乾式トイレへ改修するとともに、和式トイレの洋式化を行い、施設の環境改善を図ることができました。

１　設計監理委託料　　1,430,000円

２　工事請負費　　37,400,000円

上記の評価と課題等

老朽化したタイル張りのトイレを改修により、トイレの臭気や湿気の解消しすることができました。またトイレの洋式化により、学校環境の改善及び機能向上を図ることができました。今後も積極的に老朽化したトイレの改修を進めていきます。

令和７年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書ページ	201

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	04	給食センター費			
	事業	0110045	給食センター総務費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
739,870,000	734,288,984	0	5,581,016	99.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
498,750,898		学校給食費（現年分）	439,267,000		
		学校給食費（滞納繰越分）	1,058,000		
		物価高騰対応重点支援地方創成臨時交付金（前年度分）	52,898		
		物価高騰対応重点支援地方創成臨時交付金（推奨事業メニュー分）	58,373,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　市内４学校給食センターの運営体制

４学校給食センターの運営に係る人件費等の適正な執行により円滑な給食運営が行えました。

※令和6年４月現在

	正規職員等	会計年度任用職員	県栄養士	合計
北部学校給食センター	1人	27人	2人	30人
堀金学校給食センター	1人	4人	1人	6人
中部学校給食センター	3人	25人	2人	30人
南部学校給食センター	1人	23人	2人	26人
合　計	6人	79人	7人	92人

2　地産地消の推進

（1）地元産食材の使用等

月１回「安曇野の日」を設定し、わさびコロッケやりんごナポリタンなどの地元産食材を使用した献立のほか、かぼちゃ団子などの郷土食や行事食を取入れた献立を提供できました。

また、安曇野市に縁のある有名店「新宿中村屋」の中村屋カリーを年２回学校給食で提供しました。

（2）生産者等との交流

生産者団体等（農業者）やＪＡと地域食材について情報交換を行い、季節を感じることができる地元産農作物の活用に努めることができました。

3　安全な食材への取り組み

児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供するため、各給食センターで生産地の確認や成分表による含有物質の確認を行う等、給食として提供する食材の安全性を確認しました。

4　学校給食費の額の改定

物価高騰等による影響に伴い、令和５年度に続き令和６年４月から学校給食費の額を改定しました。なお、引き続き保護者負担額は据え置き、増額分は公費負担としています。

給食費単価（１食）	小学校	中学校
改定後（R6年度）	320円（280円）	375円（330円）
改定前（R5年度）	300円（280円）	350円（330円）
増減	20円（0円）	25円（0円）

（　）内は保護者負担額

5　学校給食費の徴収

給食費の口座振替や督促状の発送等の事務手続を、管理システムにより一元化して処理しました。

上記の評価と課題等

職員の健康管理、保菌検査、衛生管理指導、異物混入等防止の徹底を図り、安全・安心でおいしい給食の提供ができました。また、季節を感じる地元産農産物等をできるだけ使用する等、地産地消や食育を進めることができました。

公費（物価高騰対応重点支援地方創成臨時交付金等）を投入し、食材費高騰による児童・生徒の給食費増額補助（保護者の負担軽減）と、給食の質の確保ができました。また給食費の値上げを検討し、実態にあった給食費を設定することができました。

令和７年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書ページ	203

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	04	給食センター費			
	事業	0110050	北部給食センター費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
78,837,000	76,294,123	0	2,542,877	96.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
57,750		食用廃油売渡し収入	57,750		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１ 施設管理、衛生管理の取り組み

（１）施設管理

北部給食センターは平成24年に稼働し、排水処理装置及び厨房機器の老朽化による故障が増えてきておりますが、保守点検業務を実施し、不具合等を早期に発見し修繕等の対応をしています。

（２）衛生管理

食中毒対策と感染症対策として、職員の日々の健康確認はもとより、来所者にも７日前までの健康チェックを求めるなど予防対策を実施すると共に調理前食品の衛生管理を徹底しています。

２ 食育に関する取り組み

（１）給食だよりの発行、地産地消の推進

その日の食材の特徴、豆知識「きゅうしょくひとくちメモ」を掲載した献立表を各家庭へ提供し、児童・生徒が食について興味を持つための一助となりました。

栄養教職員による学校訪問を行い、児童・生徒への食育・給食指導を行いました。

地産地消を念頭に、お米は地元穂高産を使用、地元野菜の購入等、安心・安全な食材を給食に提供しました。また、有機米等の提供を年４回実施しました。

（２）給食センター視察・試食・体験学習の受け入れ

穂高北小、南小、西小の保護者による施設見学会の受け入れを行いました。また、職場体験学習で穂高西中学校生徒２名の受け入れを行いました。

３ アレルギー対応

食物アレルギー性疾患の児童・生徒10名へのアレルギー対応食（対象食材の完全除去食、あるいは代替食）の提供を行いました。また、アレルギー室、一般調理室とも連携を図り、調理過程でのアレルギー食材混入防止対策が定着できました。学校の協力のもと、中途からの児童、生徒にも三者協議を経てスムーズに対応食の提供ができました。

上記の評価と課題等

感染予防対策も含めた職員の健康管理はもとより、保菌検査、衛生管理指導、異物混入等防止の徹底を図り、安全・安心でおいしい給食の提供に心がけていきます。

季節を感じる地元産農産物等をできるだけ使用した給食を提供する等、地産地消と食育を進めます。

令和７年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書ページ	203

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	04	給食センター費			
	事業	0110055	堀金給食センター費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
27,311,000	24,514,803	0	2,796,197	89.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,920		食用廃油売渡し収入	7,920		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１ 施設管理、衛生管理の取り組み

（１）施設管理

堀金学校給食センターは、令和５年度末から令和６年９月末にかけて厨房機器等更新工事を行いました。その間の給食提供については、堀金小学校分を中部学校給食センター、堀金中学校分を北部学校給食センターで調理し提供しました。（調理員も堀金からそれぞれ派遣）

コンテナ配送車更新購入（7,497,810円）

（２）衛生管理

食中毒対策と感染症対策として、職員の日々の健康確認はもとより、来所者にも７日前までの健康チェックを求めるなど予防対策を実施すると共に調理前食品の衛生管理を徹底しています。

２ 食育に地産地消の取組みと推進

（１）食育の推進

毎日の献立表に給食だよりを掲載し、給食に関する情報を各家庭に発信すると共に、各クラスに「安曇野の日」給食の特色情報を提供するお便り「Happy　Kitchen」を随時発行しました。

栄養士による学校訪問を行い、児童・生徒への食育・給食指導を行いました。

地産地消を念頭に、お米は地元穂高産を使用、地元野菜の購入等、安心・安全な食材を給食に提供しました。また、有機米等の提供を年４回実施しました。

（２）地産地消の推進

地元農家より出荷された農産物を給食として提供しました。Instagram等を活用し農家さんの紹介等を行いました。

（３）給食センター視察・試食・体験学習の受け入れ

給食に対する理解を深めていただくことを目的として、毎年実施している小・中学校の保護者の試食会を行いました。視察ができない代わりに調理室内を撮影した動画を見ていただきました。

３ アレルギー対応

食物アレルギー性疾患の児童・生徒３名へのアレルギー対応食（対象食材の完全除去食、あるいは代替食）の提供を行いました。また、アレルギー室、一般調理室とも連携を図り、調理過程でのアレルギー食材混入防止対策が定着できました。学校の協力のもと、中途からの児童、生徒にも三者協議を経てスムーズに対応食の提供ができました。

上記の評価と課題等

感染予防対策も含めた職員の健康管理はもとより、保菌検査、衛生管理指導、異物混入等防止の徹底を図り、安全・安心でおいしい給食の提供に心がけていきます。

季節を感じる地元産農産物等をできるだけ使用した給食を提供する等、地産地消と食育を進めます。

令和７年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書ページ	205

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	04	給食センター費			
	事業	0110060	中部給食センター費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
71,934,000	70,416,440	0	1,517,560	97.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
189,607		太陽光発電売電収入	101,167		
		食用廃油売渡し収入	88,440		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１ 施設管理、衛生管理の取り組み

（１）施設管理

中部学校給食センターは、平成19年８月に稼働し、施設及び設備等にも老朽化による不具合・故障等が発生しましたが、施設及び厨房機器等保守点検業務を委託する中で、修繕等の初期対応を行いました。

（２）衛生管理

食中毒対策と感染症対策として、職員の日々の健康確認はもとより、来所者にも７日前までの健康チェックを求めるなど、予防対策を実施すると共に調理前食品の衛生管理を徹底しました。

２ 食育の推進

（１）給食だよりの発行、地産地消の推進

週1回発行する「きゅうしょくものしりだより」に給食に関する特色ある情報を掲載し、児童・生徒が食について興味を持つための一助となりました。また、地元農家より出荷された農産物を使用した安心・安全な給食を提供できました。

有機米等の提供を年４回実施しました。

６月より栄養教職員が学校訪問を実施し、児童・生徒へ食育・給食指導を行いました。

（２）給食センター視察・試食・体験学習の受け入れ

職場体験学習で中学生２名を受け入れました。

３ アレルギー対応

食物アレルギー性疾患のある児童・生徒９人へのアレルギー対応食（対象食材の完全除去食、あるいは、代替食）の提供を行うと共に、アレルギー調理室のみならず一般調理室とも連携を取り、調理過程でのアレルギー食材混入防止策を徹底しました。

上記の評価と課題等

職員の健康管理はもとより、保菌検査、衛生管理指導、異物混入防止等の徹底を図り、引き続き安全・安心でおいしい給食の提供に心がけていきます。

季節を感じる地元産農産物等をできるだけ使用した給食を提供するなど、地産地消や食育を進めます。

令和７年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書ページ	205

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	04	給食センター費			
	事業	0110065	南部給食センター費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
92,116,000	91,247,289	0	868,711	99.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
163,086		太陽光発電売電収入	109,296		
		食用廃油売渡し収入	53,790		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１ 施設管理、衛生管理の取り組み

（１）施設管理

南部給食センターは平成19年８月に稼働しており、施設及び厨房機器の老朽化による不具合、故障等が発生してきています。そのような状況の中、年１回の保守点検業務を実施し、不具合等を早期に発見し、修繕等の対応が出来ました。

（２）衛生管理

食中毒対策と感染症対策として、日々の健康確認はもとより、来所者にも過去7日間の健康チェックを求めるなど予防対策を実施するとともに、調理前食品の衛生管理を徹底しました。

２ 食育に関する取り組み

（１）給食だよりの発行、地産地消の推進

食材の特徴、調理する過程及び食材クイズ等を記載した「きゅうしょくゆうびん」を毎日発行しました。

ＪＡを通して市内の野菜生産農家より安心・安全な野菜を購入し、給食用食材として利用し提供できました。特に主食の米は全量安曇野産を使用しています。栄養士の学校訪問を実施することができました。

（２）給食センター視察・試食・体験学習の受け入れ

給食に対する理解を深めていただくことを目的として小学校の保護者等の視察・試食会にPTA17人の皆様を受入れし、また、職場体験で中学生６名を受け入れました。

（３）学校と連携した食育の推進

学校教諭と連携して栄養教職員が授業へ参画し、希望献立や授業で作成した献立を提供するなど、児童・生徒への食に関する指導を進めることができました。

３ アレルギー対応

食物アレルギー性疾患の児童17名へのアレルギー対応食（対象食材の完全除去食、あるいは代替食）の提供を行いました。また、アレルギー室のみならず一般の調理室とも連携が取れ、調理過程でのアレルギー食材の混入防止策が定着できました。

上記の評価と課題等

感染症対策も含めた職員の健康管理はもとより、保菌検査、衛生管理指導、異物混入等防止の徹底を図り、安全・安心でおいしい給食の提供に心がけていきます。

季節を感じる地元産農産物等をできるだけ使用した給食を提供するなど、地産地消や食育を進めます。

令和７年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書ページ	207

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	1	教育総務費		目標	学び合い　人と文化を育むまち
	目	4	給食センター費			
	事業	0110067	給食センター改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
332,312,000	332,311,600	0	400	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
301,700,000		給食センター設備更新事業（特例債）	301,700,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　事業概要

「小中一貫教育」の趣旨を踏まえ、稼働後18年（平成17年４月稼働）を経過し、４センターの内、最も老朽化した堀金学校給食センターについて、児童・生徒に安全・安心な給食を提供をする事を目的に、設備更新事業を実施しました。

２　取り組み状況

○事業名　令和５年度（債務負担行為）堀金学校給食センター設備更新事業　厨房機器等更新工事
○工期　　令和５年９月22日～令和７年１月31日
○事業費
　設計監理委託料　　6,661,000円
　工事請負費　　325,650,000円(契約額461,450,000円　令和５年度支払い135,800,000円)
　合計　　332,311,000円

上記の評価と課題等

令和５年度末から令和６年９月末にかけて厨房機器等更新工事を行い、調理器具、床、天井、外壁、キュービクル（新設）等が更新されました。

今後は、厨房機器等の維持管理に努め、引き続き安全・安心な給食提供を実施します。

令和７年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	社会教育係

決算書ページ	219

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	01	社会教育総務費			
	事業	0110305	社会教育総務費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
256,827,000	254,580,617	0	2,246,383	99.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

社会教育の推進を図り、活力ある人づくり地域づくりに資するため、次の事業を行いました。

1　社会教育委員の会議　（決算額：220,607円）

社会教育法に基づき、社会教育に関する助言等をいただくため、社会教育委員12名を置き、各種事業について協議しました。

（１）安曇野市社会教育委員の会議　２回
- 市生涯学習事業の検討、進捗状況の管理

（２）中信地区社会教育委員連絡協議会 安曇野市ブロック研修
- 教育委員との懇談会開催に向けた検討

（３）中信地区社会教育委員連絡協議会　研修会担当
- 開催担当市として、コミュニティースクール事業「拾ケ堰クリーン大作戦」を紹介

2　生涯学習推進計画

第２次安曇野市生涯学習推進計画後期計画（令和５年度～令和９年度）は、「ふるさと安曇野をまるごと学びの場にして生きる」を基本理念に、学習機会の充実と学習成果の活用に関する62の施策項目が掲げられています。

計画の推進にあたり、社会教育委員会議において進捗状況を確認し、評価及び検証を行いました。

また、令和６年度の施策指標及び成果指標を設定し、各施策の推進に取り組みました。

上記の評価と課題等

社会教育委員の会議において、生涯学習課事業の計画や実績について協議し、各種事業の改善につなげることができました。

第２次安曇野市生涯学習推進計画後期計画に基づき、生涯学習の推進を図ります。

令和７年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	社会教育係

決算書ページ	219

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	01	社会教育総務費			
	事業	0110308	生涯学習推進費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,437,000	2,694,990	0	742,010	78.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
14,000		地域日本語教育推進補助金	14,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市生涯学習推進計画に基づき、健康で豊かな生涯学習社会の実現に向け各種事業に取り組みました。

1　生涯学習講座実施事業（決算額：1,377,143円）
(1) 市民大学講座　信州大学編（全５回）
信州大学との包括的連携事業として大学の協力をいただき、講座を開催しました。
受講者数：延べ201人
(2) 安曇野アカデミー（全５回）
「長編大河小説『安曇野』」や「安曇野の伝説民話」をテーマに、講演（４回）とフィールドワークを実施しました。
受講者数：延べ292人
(3) 学校開放講座（19講座69回）
市内の小中学校、高等学校の協力により、学校施設を会場に教員等が講師となり開催しました。
受講者数：延べ377人
(4) 日本語教室（毎週１回、豊科・穂高・三郷・明科地域で実施）
市内在住の外国人を対象とした日本語教室を市民ボランティアの協力により実施しました。
開催数：延べ170回　受講者数：延べ1,206人
(5) 日本語教室ボランティア講習会・日本語ボランティアきっかけ講座（各２回）
日本語指導スキルの講習会と、日本語ボランティアに興味のある方向けの講座を開催しました。
受講者数　　ボランティア講習：延べ４人、きっかけ講座：延べ16人
(6) オンラインモデル日本語教室（全15回）
県モデル事業として、オンラインでの日本語教室を開催しました。
受講者数：延べ114人

2　社会教育団体支援事業（決算額：1,317,847円）
各地域芸術文化協会等社会教育団体の運営支援として、８団体に補助金を交付しました。

上記の評価と課題等

市民ニーズや時代の潮流に即した講座を開催することで多くの参加をいただき、特に学校開放講座では前年度から回数約1.5倍・受講者数約1.4倍と増加しました。
令和５・６年度に県モデル事業として実施したオンライン日本語教室を、令和７年度は市の事業として実施します。

令和７年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	社会教育係

決算書ページ	229

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	03	人権教育推進費			
	事業	0110365	人権教育推進事業		施策	共生社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,973,000	2,167,731	0	805,269	72.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
36,000		人権教育促進事業補助金	36,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市人権教育・啓発推進計画に基づき、人権教育の推進に向けて全市的に啓発事業に取り組むとともに、各地域の人権教育推進協議会等と地区公民館での取り組みを推進しました。

１　人権教育推進事業
（１）人権教育推進委員及び人権教育指導員　（決算額：1,732,500円）
①市小委員会・合同委員会：各２回開催（参加者:延べ422人）
②５地域人権教育推進協議会：各地域２回開催（参加者:延べ435人）
（２）企業人権教育推進協議会　（決算額：2,000円）
35企業68事業所が加入。
①総会及び研修会（参加者:29人）
②企業人権啓発講演会（参加者:150人）
（３）人権教育集会所管理　（決算額：272,597円）
市内２か所（穂高・堀金）の集会所の管理を行うともに、施設が老朽化し使用実績も少ないことから、令和６年度末をもって両施設を廃止しました。

上記の評価と課題等

講演会や研修会を開催し、多くの方に人権意識を高めていただく機会となりました。
市民一人ひとりが様々な人権問題について正しい理解と認識を深めていただくため、地域公民館主催・地区公民館主催の人権学習会などを通じ、地域に密着した人権教育活動を推進していきます。
廃止した人権教育集会所については、令和８年度解体工事に向けて、７年度に解体設計を行います。

令和７年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	社会教育係

決算書ページ	231

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	04	青少年健全育成費			
	事業	0110371	二十歳の集い実施事業		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,060,000	4,210,500	0	849,500	83.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

二十歳となる若者を一堂に迎えて祝福するとともに、二十歳としての自覚と誇りをもって前進することを念願して、安曇野市二十歳の集いを挙行しました。

今回はテーマを「つなぐ ～志を継ないでゆく次への一歩～ ～私を私らしくしてくれた繋がりに感謝～」とし、テーマに関連した３つの交流企画（感謝のメッセージカード、トランプdeマッチング、決意の一枚）を実施しました。また、記念品として式典当日の写真等を収めた「記念冊子」を作成・配布しました。

１　二十歳の集い

（１）　開　催　　令和７年１月12日（日）
（２）　主　催　　安曇野市、安曇野市教育委員会、安曇野市二十歳の集い実行委員会（委員10人）
（３）　対象者　　968人
（４）　参加者　　700人（72.3%）
（５）　主な経費　　・駐車場等誘導業務委託　247,500円
・会場設営委託　1,815,000円
・写真撮影・記念冊子作成委託　　1,637,548円

上記の評価と課題等

参加者においては高い満足度（参加者アンケート：大変良い63%、良い34%）を得ることができ、社会参加と明るく豊かな社会づくりへの積極的な意識・態度を養う契機となりました。

式典の企画・運営にあたる実行委員実行委員の次なるステップとして、実行委員を務めた経験を次の世代へつなげられるよう、サポートスタッフとして下の世代の支援をする循環づくりを目指します。

令和７年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	社会教育係

決算書ページ	231

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110380	中央公民館事業費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
41,106,000	39,801,270	0	1,304,730	96.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
30,700,000		地域振興基金繰入金	30,700,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市公民館の理念の下、５地域の公民館と連携を取りながら、全市的な事業展開を図りました。

1　公民館運営審議会(決算額：112,000円)
　公民館運営審議会（委員12人）を３回開催し、公民館事業の計画・実績に意見を頂きました。
2　第18回安曇野市公民館大会（決算額：71,300円）
　５月16日（日）に開催し、功労者・公民館報表彰、事例発表及び講演会を行いました。
　参加者：232人
3　公民館報（決算額：2,011,487円）
　年４回発行し、地域のグループ、地域公民館・地区公民館の活動などを掲載しました。
4　第14回安曇野市総合芸術展（決算額：211,400円）
　３月６日（木）～14日（金）に各地域文化祭の出展作品から選考された132点を展示しました。
　入場者：427人
5　生涯学習情報誌（決算額：671,500円）
　年２回、計2,000部発行し、講座情報、サークルやリーダーバンク等の人財情報、施設情報のほか、おすすめ講座のレポート等を掲載しました。
　また、YouTube「Linkニュース」での情報発信を始めました。
6　地区公民館支援（決算額:33,147,548円）
　地区公民館活動補助金として98地区公民館に30,731,710円の補助を行い、活動を支援しました。
　地区公民館建設補助金として２地区公民館に2,415,838円の補助を行いました。
　また、市ホームページに地区公民館のサイトを立ち上げ、情報共有を図りました。
7　公民館講座（決算額：1,462,000円）
　５地域の公民館が、地域の文化・歴史・特性を生かした講座を開催しました。
8　明科地域木戸公民館用地測量（決算額：341,000円）
　令和７年度実施の木戸公民館擁壁補強工事に伴い、用地測量を行いました。

上記の評価と課題等

情報共有の推進など地区公民館活動の支援を行い、事業の活発化を図りました。
物価高騰等に対応するため、地区公民館建設補助金の拡充を検討し、地区公民館支援を進めます。

令和７年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	豊科生涯学習係

決算書ページ	233

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110385	豊科公民館管理費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
23,075,000	21,937,508	0	1,137,492	95.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,706,850		豊科公民館使用料	3,663,640		
		豊科公民館雑入（コピー代）	43,210		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　概要

施設を快適に利用していただけるよう、日常清掃、設備の保守点検、修繕等を行い、適正な維持管理に努めました。

2　主な経費

（1）光熱水費　（単位：円）

令和４年度	令和５年度	令和６年度
3,969,250	3,240,037	5,076,425

（2）管理委託料　（単位：円）

令和４年度	令和５年度	令和６年度
9,667,741	10,149,431	10,127,082

3　施設利用者数の推移　（単位：人）

令和４年度	令和５年度	令和６年度
27,871	32,388	36,733

上記の評価と課題等

利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう維持管理に努めていきます。

令和７年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	豊科生涯学習係

決算書ページ	233

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110390	豊科公民館事業		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,934,000	5,213,013	0	720,987	87.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
27,800		豊科公民館雑入（講座受講料）	27,800		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　概要

市民の主体的な「学び」と「実践」を支援するとともに、地区公民館や団体等と連携・協働を深め、地域づくりを推進しました。

市民参加型のピアノリレーコンサートなどを開催し、ホールの利活用推進に努めました。

２　主な事業

（１）第19回豊科地域文化祭（10月25日～11月10日）　出展・出演者数：548人

・菊花展　・短歌大会　・芸能発表会

・華道、書道展　・俳句大会　・一般作品展

（２）主な開設講座

講座名	開催数（回）	参加人数（人）
第61・62回童謡祭り・第44回作詞作曲コンクール	3	360
出会い・ふれあい・生きがいセミナー	3	36
ふるさと探訪講座	2	29
豊科の宝講座	2	33
ICT講座	4	30

（３）地区公民館支援　　役員研修会　開催回数：１回　　参加者数：90人

（４）体育事業

・球技大会（ソフトボール・ワンバウンドふらば～るバレー）を開催しました。

・第19回豊科地域さわやか市民運動会を開催しました。

・ボッチャ大会を開催しました。

３　主な事業経費

・公民館事業報償費（サポート委員謝礼・文化祭・運動会等記念品）　866,338円

上記の評価と課題等

事業の継続性を大事にしながら、フレイル対策など時代に即したものへと展開し、地域づくりと人づくりを進めます。

令和７年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	穂高生涯学習係

決算書ページ	235

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110395	穂高公民館管理費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
36,980,000	35,992,880	0	987,120	97.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,372,867		穂高公民館使用料	1,157,580		
		穂高公民館雑入（自販機・印刷機）	215,287		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　概要

施設を快適に利用していただけるよう、日常清掃、設備の保守点検、修繕等を行い、適正な維持管理に努めました。

2　主な経費

（1）光熱水費(電気料・上下水道料・ガス料)　（単位：円）

令和4年度	令和5年度	令和6年度
8,769,074	7,619,286	11,180,415

（2）管理委託料（床清掃・エレベーター保守・警備業務・施設管理ほか）　（単位：円）

令和4年度	令和5年度	令和6年度
9,684,555	10,177,701	10,831,563

3　施設利用者数の推移　（単位：人）

令和4年度	令和5年度	令和6年度
28,471	28,977	33,926

上記の評価と課題等

利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう維持管理に努めていきます。

令和７年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	穂高生涯学習係

決算書ページ	235

予算				総合計画		
	款	10	教育費	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費	目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	05	公民館費		
	事業	0110400	穂高公民館事業	施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,940,000	4,803,858	0	136,142	97.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
107,643		穂高公民館雑入（講座受講料）	107,643		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　概要

公民館事業は、人々が学び、その成果を生かす環境を整え、より良いまちづくりを進めるための事業の一つとなっている。穂高納涼祭を開催し市民が繋がりを深め、親睦と交流を図ることができた。同じく6月と10月に球技大会を開催し、運営では競技に精通した市民の協力を得ることにより、当日の競技進行等をスムーズに進めることができ協働が図られた。講座では市職員を講師にする等コスト低減に努めた。

２　主な事業

（１）穂高地域文化祭（10月25日～27日）

・盆栽・山野草展　・あづみ野菊花展
・総合美術展・芸能祭り　｝31団体・400人　｝来場者数：1,482人

（２）主な開設講座

講座名	開催数（回）	参加人数（人）
健康づくり講座	31	587
自然体験・環境講座	5	102
季節のコンサート	3	209
文化教養講座	3	53
趣味の講座	21	275

（３）6月 9人制バレーボール　参加7チーム（7公民館）延べ53人

（４）6月 ソフトボール　参加23チーム（23公民館）延べ318人

（５）8月 穂高納涼祭（ステージ発表・盆踊り）　来場者およそ1,628人

（６）11月 ソフトバレーボール（3カテゴリー）参加39チーム（22公民館）延べ300人

３　主な事業経費

・穂高地域文化祭（パンフレット印刷代、会場設営経費ほか）：801,000円
・公民館総合補償制度加入掛金：194,000円

上記の評価と課題等

事業の継続性を大事にしながら、フレイル対策など時代に即したものへと展開し、地域づくりと人づくりを進めます。

令和７年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	三郷生涯学習係

決算書ページ	237

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110405	三郷公民館管理費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
426,421,000	425,489,228	0	931,772	99.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
376,384,549		三郷公民館使用料	200,140		
		三郷公民館雑入（コピー・自販機等）	284,409		
		公民館等長寿命化事業（特例債）	375,900,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　概要

施設を快適に利用していただけるよう、日常清掃、設備の保守点検、修繕等を行い、適正な維持管理に努めました。

公共施設再配置計画10年計画に基づき、三郷公民館（三郷保健センター）の長寿命化工事を実施しました。

2　主な経費

（１）管理委託料（施設管理及び清掃、エレベーター保守）　（単位：円）

令和４年度	令和５年度	令和６年度
4,376,464	5,075,686	2,361,881

（２）三郷公民館借地料　2,673,936円

（３）三郷公民館長寿命化事業

監理業務委託　9,350,000円

工事請負費　410,300,000円

3　施設利用者数の推移　（単位：人）

令和４年度	令和５年度	令和６年度
38,849	47,751	11,499

上記の評価と課題等

利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう維持管理に努めていきます。

令和７年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	三郷生涯学習係

決算書ページ	237

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110410	三郷公民館事業		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,406,000	5,038,666	0	367,334	93.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
32,000		三郷公民館雑入（講座受講料）	32,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　概要

地域が抱える様々な課題への対応などについて、学習機会を企画・提供し、事業を行ってきました。

2　主な事業

（１）三郷祭（10月12日～11月15日）

・文化産業展　　来場者数：　600人
・市民運動会　　来場者数：1,200人
・ふれあいコンサート　　来場者数：　233人
・菊花展　　来場者数：　350人
・芸能発表会　　【中止】

（２）主な開設講座

講座名	開催数（回）	参加人数（人）
生きがい講座	8	148
親子支援講座	6	65
健康長寿講座	19	360
教養講座	9	288
ICT講座	3	35

（３）地区公民館支援

①役員研修会

地区公民館活動への参考とするため、スポーツ推進委員の指導の下、ニュースポーツの体験研修を実施しました。

②普通救命講習会

（４）体育事業

・５月及び２月に三郷地域スポーツ大会を開催しました。競技種目は、いずれも「ボッチャ」です。

3　主な事業経費

・公民館事業報償費（三郷祭及びスポーツ大会協力者謝礼、記念品）　923,081円

上記の評価と課題等

事業の継続性を大事にしながら、フレイル対策など時代に即したものへと展開し、地域づくりと人づくりを進めます。

令和７年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	堀金生涯学習係

決算書ページ	237

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110415	堀金公民館管理費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,858,000	4,461,282	0	396,718	91.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,218,386		堀金公民館使用料	2,151,560		
		堀金公民館雑入（コピー）	66,826		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　概要

公民館を快適に利用できるよう、運営・維持管理を行いました。

2　主な経費

（1）光熱水費(上下水道料・ガス料)　（単位：円）

令和４年度	令和５年度	令和６年度
93,564	99,161	112,687

（2）管理委託料（清掃及び施設管理ほか）　（単位：円）

令和４年度	令和５年度	令和６年度
2,806,924	2,927,897	3,106,056

3　施設利用者数の推移　（単位：人）

令和４年度	令和５年度	令和６年度
37,105	40,331	44,047

上記の評価と課題等

利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう維持管理に努めていきます。

令和７年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	堀金生涯学習係

決算書ページ	239

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110420	堀金公民館事業		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,941,000	4,458,323	0	482,677	90.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
103,200		堀金公民館雑入（講座受講料）	103,200		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　概要

地域の学習や交流の場であるとともに、地域づくりの拠点としての役割を果たすため、多様化する市民ニーズに対応する各種の事業の企画や実施及び地区公民館の支援を行いました。

2　主な事業

（１）堀金地域文化祭（11月1日～3日）
- 芸能発表会（17団体/計144人）
- 作品展（42団体/計1,000人）

来場者数　：　1,350　人

（２）開設講座

講座名	開催数（回）	参加人数（人）
地域文化・歴史講座	27	618
趣味の講座	29	238
健康づくり講座	12	50
子ども公民館講座	3	99

（３）公民館報「常念の里」発行　　12回

（４）地区公民館支援　公民館関係者研修会研修会　1回　　参加者数：54人

3　主な体育事業
- スポーツ大会（みんなでスポーツin常念・駅伝大会・冬期スポーツ大会）

4　主な事業経費
- 公民館事業報償費（サポート委員謝礼・文化祭等記念品）　852,977円
- 公民館総合補償制度加入掛金：194,000円

上記の評価と課題等

事業の継続性を大事にしながら、フレイル対策など時代に即したものへと展開し、地域づくりと人づくりを進めます。

令和７年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	明科生涯学習係

決算書ページ	239

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110425	明科公民館管理費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,234,000	4,045,263	0	188,737	95.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,199,798		明科公民館使用料	959,560		
		明科公民館雑入（コピー等）	240,238		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　概要

施設利用方法を周知、徹底し、安全な施設管理を図ることができました。
施設、備品等の点検や修理を行い、安心して利用できる環境を整備することができました。
施設利用システムにより適正な受付と事務の効率化を図ることができました。
利用者の要望や意向に添えるよう、施設案内及び情報提供を行うことができました。
利用者の使用日誌を活用し、光熱水費の節減に努めました。

2　主な経費

（１）光熱水費（ガス料）　（単位：円）

令和４年度	令和５年度	令和６年度
15,787	15,440	23,078

（２）管理委託料（清掃及び施設管理ほか）　（単位：円）

令和４年度	令和５年度	令和６年度
2,589,497	2,719,747	2,828,573

3　施設利用者数の推移　（単位：人）

令和４年度	令和５年度	令和６年度
19,557	14,977	17,991

上記の評価と課題等

今後も利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう維持管理に努めます。

令和７年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	明科生涯学習係

決算書ページ	239

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110430	明科公民館事業		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,370,000	4,097,618	0	272,382	93.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
30,400		明科公民館雑入（講座受講料）	30,400		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　概要

地区公民館役員を対象に、定期会議を開催し地域づくりの向上を図ることができました。

市民主体の地域づくり団体等との協働により、地域課題に目を向けた講座や学習会を企画、運営することができました。

スポーツ大会等の企画、運営に市民主体の実行委員会を組織し、長期的視野に立った事業運営をすることができました。

２　主な事業

（１）明科地域文化祭（11月１日～11月３日）

・展示発表（11団体・７個人）　　出展者数　：　808 人

・お楽しみサロン（参加団体：４団体）　　出場者数　：　78 人

・芸能発表会（参加団体：18団体）　　出演者数　：　150 人

（２）開設講座

講座名	開催数（回）	参加人数（人）
地域文化・歴史講座	12	248
ゆとりと生きがい講座	10	333
地域食材活用講座・ＩＣＴ講座など	21	406

３　新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した主な事業

明科地域市民運動会、区長、地区公民館役員研修会

４　主な事業経費

・文化祭報償費　　：139,659円

・公民館総合補償制度加入掛金：194,000円

今後も事業の継続性を大事にしながら、フレイル対策やICTなど時代に即したものへの展開し、地域づくりならびに人づくりを進めます。

令和７年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化振興担当

決算書ページ	219

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	01	社会教育総務費			
	事業	0110310	文化振興費		施策	文化・芸術活動の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
564,003,000	561,411,790	0	2,591,210	99.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
403,818,637		安曇野市文化振興基金利子	69,120	交流学習センター講座受講料	193,800
		名誉市民田淵行男顕彰基金利子	3,582	高橋節郎記念美術館電気料	2,355,457
		ちくに生きものみらい基金利子	102,008	豊科近代美術館大規模修繕工事事業（特例債）	273,800,000
		ちくに生きものみらい基金繰入金	654,670	安曇野高橋節郎記念美術館施設整備事業（特例債）	113,500,000
		安曇野市文化振興基金繰入	8,660,000	文化団体補助事業（過疎債ソフト）	4,400,000
		美術館グッズ等販売	80,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

「第２次文化振興計画」に掲げた施策の実現に向け諸事業を実施しました。
諸団体への補助、協働による事業実施などを通じて、市民が多様な文化芸術に親しむ機会を創出しました。

１　芸術教育普及事業

(1) 東京藝術大学との交流事業（楽器演奏指導・コンサート）　参加延べ人数307人
　第１回：10月12日　堀金中学校、10月13日　豊科北中学校・穂高西中学校・明科中学校、
　　10月14日　市民対象コンサート
　第２回：２月15日　豊科南中学校・リーダーズバンド

(2) 能楽教室　　平成13年から市内小中学校で開催しています。　令和６年度：参加延べ人数501人
　６月18日　穂高東中学校　、　６月19日　穂高南小学校

(3) 新進音楽家オーディション及び選出者のコンサート
　ア あづみの新進音楽家公開オーディション　７月７日　一般13人　ジュニア25人　、入場者42人
　イ あづみの新進音楽家コンサート　12月７日　出演者４組６人　、入場者166人
　ウ あづみのジュニアクラシック音楽会　３月15日　出演者11組14人　、入場者152人
　エ ０歳からのミニコンサート　入場者延べ人数200人　第１回　５月31日、第２回　11月８日

(4) ピアニスト日南由紀子さんによる中学校でのワークショップ・コンサート
　10月21日・22日　三郷小学校　参加者161人

(5) 熊井啓監督顕彰事業　参加延べ人数258人
　ア「日本の黒い夏　冤罪」映画上映会　９月28日
　イ ミニ上映会　　５月15日　「日本列島」、　２月13日　「帝銀事件　死刑囚」
　ウ 常時上映　　熊井啓記念館において希望者に随時上映しました。

(6) 美術館博物館年間ガイド／パスポート（保護者１名が入館無料となる）の発行
　市内小中学校の児童・生徒に配布しました。　利用者1,104人

(7) 東京藝術大学安曇野アーティスト・イン・レジデンス
　長野県・東京藝術大学・安曇野市の連携により若手芸術家３名の滞在制作を市内で行いました。
　ア　ワークショップ　参加者224人
　　穂高商業高校　６月28日、７月10日　アート関連授業へのアドバイス
　　安曇野高橋節郎記念美術館　７月２日～11月12日　土製ポストに手紙を投函するプロジェクト
　　豊科高校　８月９日　美術部員との交流、講義
　　一般市民対象　８月10日、９月20日　漆芸ワークショップ
　　10月12日　作品鑑賞の体感型ワークショップ
　　明北小学校　９月４日　手紙を校庭に埋め植樹するプロジェクト

予算				総合計画		
	款	10	教育費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		基本方針	学び合い人と文化を育むまち
	目	01	社会教育総務費			
	事業	0110310	文化振興費		基本施策	文化・芸術活動の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

豊科東小学校　９月５日～６日　手紙を書いて校庭に埋めるプロジェクト
９月６日、９月25日、10月７日　校庭の粘土で像を制作・野焼き・飾り付け
イ　展覧会　10月12日～22日
(8) 京都芸術大学連携アートプロジェクト
京都芸術大学と安曇野市の連携に基づき同大大学院生10人が市内でアートプロジェクトを実施しました。
ア　市内高校生との作品の共同制作等　参加者137人
南安曇農業高校　７月25日、８月15日　古い農具を用いた共同制作
９月12日　菌類の活動を視覚的に表現
１月14日　オリジナルのブドウの保護袋を共同制作
１月15日　ブドウの蔓のリースを飾り付ける
穂高商業高校　１月10日　息をテーマにした映像を撮影
一般対象ワークショップ　９月28日　飛行機「神風号」のオリジナル缶バッジ制作
イ　展覧会　前期：９月23日～10月１日、　後期：１月19日～２月２日
芸術教育普及事業決算額　(10,496,741円)

２　諸団体との協働事業
(1) 第20回あづみの公園早春賦音楽祭　５月12日　入場者5,760人　補助金1,200,000円
(2) 第33回信州安曇野薪能　８月24日　入場者498人　補助金8,000,000円
(3) 『安曇野文化』刊行　51～54号　補助金2,000,000円
(4) 第61回童謡祭り　５月６日　、　第62回童謡祭り　２月22日　２回分補助金500,000円
(5) 美術館博物館連携事業　市内公立・私立の博物館・美術館が連携して以下の事業を行いました。
ア　ギャラリートークリレー　15館において来館者への解説を実施しました。
10月26日～11月４日　参加者654人
イ　学校ミュージアム　収蔵資料を市内の学校に持ち込み鑑賞事業を実施しました。参加者735人
穂高西小学校　11月20日、　明科小学校　11月29日、　穂高東中学校　１月23日、
豊科南中学校　１月24日
ウ　学芸員研修会　２月18日　アーカイブス研修を行いました。参加者16人
エ　信州大学と連携し、学生による市内美術館の見学・意見交換会、資料の調査・研究・大学内での展示に協力しました。参加者50人
美術館見学・意見交換会　11月24日、　大学内での展示　１月21日～２月２日
(6) 第７回田淵行男賞作品公募　12月１～２月28日作品募集　一般の部75点、ジュニアの部22点
山岳・自然関係の写真を募集し、審査を経て入賞作品を選定しました。（R6は市からの支出なし、R7に入賞作品の巡回展開催）

３　財政支援団体への補助金交付
(1) 公益財団法人安曇野文化財団運営補助　　補助金8,046,000円
(2) 一般財団法人井口喜源治記念館運営補助　補助金1,400,000円
４　資料受納・収集・整理事務
美術資料等選定委員会の審査を経た美術作品等の収集・整理を行いました。
５　ちくに生きものみらい基金充当事業　実施件数19件　参加者数962人
学級単位等で行う自然観察会用のバスと講師の手配及び費用負担をし、併せて博物館等の利用促進も図りました。
６　博物館・美術館等の管理運営
(1) 博物館協議会　第１回：５月17日　　第２回：10月29日　　第３回：３月18日
登録博物館４館及び類似施設５館の管理運営状況等について協議を行いました。
(2) 美術資料等選定委員会　　３月18日
豊科近代美術館（R7.4.1から安曇野市美術館）の資料収集について協議しました。
７　文化振興基金積立　　将来の文化振興事業の実施、博物館の修繕に備え積み立てを行いました。
14,000,000円

予算				総合計画		
	款	10	教育費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		基本方針	学び合い人と文化を育むまち
	目	01	社会教育総務費			
	事業	0110310	文化振興費		基本施策	文化・芸術活動の推進

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

8　指定管理委託料

施設名	指定管理者	指定管理委託料（円）
豊科近代美術館※	公益財団法人安曇野文化財団	34,651,000
田淵行男記念館		14,592,000
飯沼飛行士記念館		2,629,000
穂高陶芸会館		7,250,000
髙橋節郎記念美術館		26,280,000

※令和７年４月１日から安曇野市美術館

9　施設修繕等

経年劣化が認められた施設の修繕等を行いました。主な内容は以下のとおりです。

施設名	修繕等内容	修繕費（円）
豊科近代美術館※	新館トラックヤードシャッター修繕	630,850
髙橋節郎記念美術館	自動ドア修繕	495,000
穂高陶芸会館	軒天井修繕	426,800
穂高陶芸会館	防火シャッター修繕	385,000
穂高陶芸会館	建具修繕	329,780
豊科近代美術館※	エレベーターバッテリー修繕	268,400

10　文化施設長寿命化

公共施設長寿命化計画に基づき、文化施設の改修工事設計業務を実施しました。

(1) 豊科近代美術館大規模修繕工事事業（債務負担行為）
　大規模改修工事　　契約額 720,500,000円　（R6：288,200,000円前払い）
　工事監理業務委託　契約額　18,150,000円　（R6：0円）

(2) 髙橋節郎記念美術館空調設備等改修工事
　空調機器更新工事　120,956,000円
　工事監理業務委託　　3,300,000円

上記の評価と課題等

「第２次文化振興計画」に基づき諸事業を行い、市民が多様な文化芸術に親しむ機会を創出することができました。東京藝術大学と連携したアーティスト・イン・レジデンスは、前年より多数のプログラムを行い事業を拡大させることができました。また、今後の文化振興の拠点とするため美術館等の長寿命化工事を行いました。

今後、鐘の鳴る丘集会所を芸術家や学生等の滞在制作や市民との交流の拠点として活用していくにあたり、運営方法を確立し、活性化を図っていく必要があります。

市民の自主的な文化・芸術活動や文化的暮らしの実現に向け、様々な取組みを支援し、連携と参画を促進していきます。

令和７年度	
部	教育部
課	文化課
係等	博物館担当

決算書ページ	221

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	01	社会教育総務費			
	事業	0110320	郷土博物館費		施策	歴史・文化遺産の継承

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
225,073,000	218,837,558	0	6,235,442	97.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
168,523,105		郷土博物館等使用料	197,100	旧合併特例事業債	167,200,000
		郷土博物館刊行物頒布代	283,300	公共施設目的外使用料	259,974
		郷土博物館雑入	40,620	建物総合損害共済金	408,000
		ちくに生きものみらい基金繰入金	134,111		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

年間の総利用者数は、豊科郷土博物館9,422人、穂高郷土資料館770人でした。

夏季企画展「絵図から何がわかるか！…安曇野の江戸時代をみる」では、江戸時代の安曇野地域の絵図を展示しました。また企画展で展示ができなかった江戸時代や明治初期の大きな絵図を見る機会を設ける等、好評でした。春季企画展「食卓の風景　食と家族の80年」では、戦後の食卓の変化や食卓に象徴される現代の様々な家族の形を再現した展示を行いました。昔のカレーを再現したものと現在のカレーを食べ比べてみる企画では、子どもたち10人を含めて36人の参加がありました。

豊科郷土博物館の企画展に合わせて展示内容の解説を兼ねた「ふるさと安曇野きのうきょうあした」No.29及びNo.30、博物館の活動を記録した「年報令和５年度版」、博物館の調査研究成果をまとめた『紀要第12号』及び『博物館ブックレット６　安曇野自然観察フィールドガイドvol.２』を発行しました。

平成27年度に策定した「安曇野市新市立博物館構想」を再検討するため、「安曇野市新市立博物館整備方針検討委員会」で会議を４回開催し、新市立博物館の規模や既存博物館施設の統廃合、また各施設のコンセプト等を検討しました。

コンパクト展示は全17回、延べ610日間実施しました。パネル等が傷んできた古いものを整理しつつ、掛軸状のバナーに作り変えており、現在44のテーマが展示可能となっています。

穂高鐘の鳴る丘集会所について、アーティストインレジデンスの拠点としての活用を図るため、耐震改修や外装・内装の修繕、照明器具や空調の設置工事等を実施しました。

上記の評価と課題等

豊科郷土博物館及び穂高郷土資料館では、子ども向けや親子対象の取組みにも力を入れています。夏休みイベントとして、両館で勾玉づくり体験を行っています。穂高郷土資料館が休館する冬季には、郷土博物館で資料館の民具を活用した「昔の暮らしin博物館」を開催し、４日間で148人（このうち子ども58人）の参加がありました。また豊科北中学校をはじめとする市内小中学校及び高校への出前講座も38回実施しました。

春季企画展「食卓の風景　食と家族の80年」は、戦後から現在までの食卓の移り変わりを振り返り、献立の変遷だけでなく家族のあり方の変化についても考えさせられる展示で、子どもたちからお年寄りまで幅広い年齢層の入館者がみられました（令和６年度中の入館者（令和７年２月22日(土)～３月31日(月)812人、５月18日(日)まで開催））。

令和７年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化財保護係

決算書ページ	223

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	01	社会教育総務費			
	事業	0110325	文化財資料センター費		施策	歴史・文化遺産の継承

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,296,000	4,531,469	0	764,531	85.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市文化財資料センターでは、市が所有する考古資料、歴史資料の整理を行うとともに適正な収蔵に努めています。これらの整理作業は、埋蔵文化財報告書の刊行や博物館事業につながり、豊科郷土博物館等で開催する企画展や、コンパクト展示などで市民の皆さんへ還元されます。

また、発掘調査時は出土遺物、図面の整理を行う前線基地として当センターは機能します。

令和６年度事業　-考古・歴史資料の整理-

発掘・試掘調査等で出土した遺物の洗浄、注記、復元、図化等整理作業を行いました。

また、歴史資料・書籍等の目録作成を行いました。

上記の評価と課題等

昭和58年に建設された穂高町給食センターを平成24年度に改修工事を行い、収蔵庫として活用しています。年々増加する埋蔵文化財の出土遺物を効率よく整理し収納していきます。

令和７年度	
部	教育部
課	文化課
係等	博物館担当

決算書ページ	223

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	01	社会教育総務費			
	事業	0110335	貞享義民記念館事業		施策	歴史・文化遺産の継承

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
20,380,000	18,413,033	0	1,966,967	90.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
418,692		貞享義民記念館使用料	248,632		
		義民館刊行物等頒布代	63,300		
		義民館雑入	106,760		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和６年度の総利用者数は、5,473人でした。

自主企画展では、「人権ポスターパネル展」、「安曇野から考える人権展」を開催しました。また市と京都芸術大学が連携したアートプロジェクトの会場となって「AKAP2024-夏展」が開催されました。

他団体の出展者と貞享義民記念館が共同して行う企画公募展は、全12回開催しました。

講座は、臨地講座を「水野氏と松本城下町ウォーク」と「貞享騒動旧跡巡り」の２回、座学では、館長による基礎講座を２回、「古文書講座『赤蓑談』を読もう」を８回実施しました。また夏休み親子講座として「大きな紙に思いっきり描こう」「消しゴムハンコでオリジナルバッグを作ろう」「回る行燈を作ろう」を行いました。

市内の地区公民館等で実施する人権教育の一助として出前講座を行っており、令和６年度は市内９ヶ所の地区公民館と、池田町の人権教育推進教委議会へ出向きました。さらに、三郷地域の３区及び松本市の島内公民館へ出向き、歴史講座を行いました。

上記の評価と課題等

親子対象講座を充実させ、チラシやポスターのデザインや広告に力を入れたことにより、講座参加者の増加が認められました。近年、歴史学習や人権教育の講座で市内外の地区公民館等への出前講座の機会が増えていることは広報活動の成果によるものと思われます。

一方で、貞享騒動や人権教育をテーマにした講座を受講する来館者はまだ少ないままです。貞享騒動の顕彰や「生きる権利の主張」といった館が掲げるテーマについて、理解していただける来館者を増やす努力が必要です。

令和７年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化振興担当

決算書ページ	225

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	01	社会教育総務費			
	事業	0110340	交流学習センター等管理費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
252,583,000	248,413,337	0	4,169,663	98.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
132,544,940		穂高交流学習センター使用料	2,670,565	その他教育費雑入（交流学習センター等）	145,690
		三郷交流学習センター使用料	90,570	明科子どもと大人の交流学習施設利用料	1,484,590
		学習館使用料	394,760	豊科交流学習センター施設利用料	7,169,765
		建物総合損害共済金	589,000	明科交流学習施設事業（過疎債）	120,000,000

主要な施策（事務事業）の成果の概要

施設の定期点検や修繕を行い、利用しやすい環境づくりをしました。

1　交流学習センター及び学習施設利用状況

(1)総入館者数（人）

施設名	令和5年度	令和6年度	比較	割合（%）
穂高交流学習センター	228,010	221,336	-6,674	97.1
三郷交流学習センター	66,439	76,017	9,578	114.4
明科子どもと大人の交流学習施設	57,024	57,630	606	101.1

(2)稼働率（%）　　稼働率＝年間利用時間／年間利用可能時間

施設名	令和5年度	令和6年度	比較	割合（%）
穂高交流学習センター	38.87	39.36	0.49	101.3
三郷交流学習センター	19.46	45.74	26.28	235.0
明科子どもと大人の交流学習施設	52.03	49.36	-2.67	94.9

2　主な管理内容・経費

施設修繕費　9,316,450円（空調屋外機、移動観客席、防犯カメラ、館内建具等）

光熱水費　37,010,507円

管理委託料　30,003,893円（清掃業務、窓口業務、消防用設備等点検業等）

3　明科子どもと大人の交流学習施設空調機器更新事業

工事監理業務　1,980,000円　　空調機器更新工事　134,387,000円

4　指定管理委託料

施設名	指定管理者	指定管理委託料（円）
豊科交流学習センター	公益財団法人安曇野文化財団	10,522,000

上記の評価と課題等

今後も学習の拠点として、芸術文化の発展に向けた市民の自発的な活動の場を提供するとともに、市民が情報と知識を入手し、利用することが出来る施設として適切かつ円滑な管理運営に努めます。

令和７年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化財保護係

決算書ページ	225

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	文化財保護費			
	事業	0110355	文化財保護費		施策	歴史・文化遺産の継承

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
17,393,000	14,871,483	0	2,521,517	85.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,566,000		文化芸術振興費補助金	2,266,000		
		地域伝統芸能等保存事業助成金	300,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

●文化財保全事業（11,476,968円）

１　文化財保護審議会（２回開催）

諮問に係る審議の外、事業の進捗状況等を報告し、文化財保護事業の方向性について審議しました。

２　安曇野市文化財保存活用地域計画の策定（7,227,000円）

地域に伝わる伝統行事や、文化財などの今後の保存活用に関する具体的方策を定める計画策定に取り組みました（３年間計画策定の２年目）。令和８年３月完成予定。

３　指定文化財保護のための補助事業（3,336,302円）

（１）無形民俗文化財保存伝承事業…お船祭り、道祖神祭りほか計11件（1,205,687円）

（２）文化財防災設備設置及び維持管理ほか計10件（219,915円）

（３）修理及び復旧、附帯物修理ほか計６件（1,910,700円）

４　史跡等の維持管理

上原古墳、前の髪古墳、穂高古墳群Ｂ４号墳他の除草作業等を、市民団体・地区の皆さんの協力をいただきながら実施しました。

●地域史研究と文化財保存・活用（502,118円）

市内の建造物調査委託業務（496,188円）

信州大学との包括的連携協定に基づき、信州大学工学部建築学科梅干野研究室に依頼して、市内の神社本殿他の建築調査をしました。

上記の評価と課題等

今後も指定文化財への支援を続けるとともに、地域史研究の成果を市民へ還元し、文化財の保存・継承・保護意識の醸成へつなげていきます。また、少子高齢化に起因する文化財の管理者、所有者等の担い手不足などの課題について検討し、安曇野市文化財保存活用地域計画の策定を進めていきます。

令和７年度	
部	教育部
課	文化課
係等	博物館担当

決算書ページ	227

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	文化財保護費			
	事業	0110357	文書館費		施策	歴史・文化遺産の継承

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
34,325,000	29,645,419	0	4,679,581	86.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
236,470		文書館刊行物頒布代	226,640		
		文書館雑入	9,830		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

文書館の年間利用者数は、2,028人（閲覧・講座・講演会・電話での相談・視察研修等を含む）、臼井吉見文学館の総利用者数は2,360人でした。

文書館の公開点数は、令和６年度末日現在で、公文書56,735点（年間5,248点の増加）、地域資料58,307点（年間5,942点の増加）、合計115,042点（年間11,190点の増加）となっています。特に堀金の山口家の古文書12,902点の整理が完了しました。

文書館の前期企画展では、これまでの市内の区有文書収集の成果を報告する「今に繋ぎ、伝えてきた区の史実」を開催しました。後期企画展では「小説『安曇野』完結50周年企画『邂逅』」、「『堀金の宝』刊行記念展」を開催しました。

臼井吉見文学館では、年２回の講演会を実施しています。７月12日の吉見の命日「れんげ忌」に合わせて開催する講演会では、エッセイストの阿川佐和子氏に「文士の子どもに生まれて」と題して父・阿川弘之氏の思い出を語っていただき、465人の参加者がありました。３月の講演会には上智大学教授の佐藤卓己氏を講師に迎え、「『言論統制』増補版の射程～ブラックリストと投書階級～」と題して近年の社会問題を取上げました。

『安曇野市誌』編さん事業では、専門調査会（民俗部会）を７回開催し、巡見や聞き取り等の調査とともに、民俗資料編（明科地域）の執筆や、民俗編（本編）の内容を検討しました。
専門調査会（考古部会）も３回開催し、考古資料編の執筆に向けた調査計画の検討等を行いました。
また市誌編さん委員会の承認を経て、専門調査会（自然部会）を発足させ、第１回部会を開催しました。

上記の評価と課題等

文書館では、市内の古文書等の地域資料の収集を行っています。近年、古民家の取壊しや旧家の代替わりに伴い、古文書に関する相談も増えています。地域の歴史を伝える古文書や区有文書が散逸しないよう、市内の旧家や各行政区への呼びかけを行ったり、流出している古文書の買戻しを行っています、

令和７年３月に政策経営課により臼井吉見の小説『安曇野』が復刊されました。文書館も販売に協力し、年度末までの１ヶ月間で文書館だけで202セットを売上げました。

『安曇野市誌』の編さんでは、民俗資料編の調査・執筆に遅れが見られますが、令和６年度に刊行された『安曇野市版レッドデータブック改訂版』のデータを活用するため、自然部会を発足させました。

令和７年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化財保護係

決算書ページ	229

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	文化財保護費			
	事業	0110360	埋蔵文化財発掘調査事業		施策	歴史・文化遺産の継承

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
27,700,000	24,461,444	0	3,238,556	88.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
15,332,000		埋蔵文化財発掘調査委託料	15,332,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　発掘調査の報告書を刊行しました（297,000円）
「明科遺跡群古殿屋敷遺跡第４次発掘調査報告書　第31集」

２　文化財保護法に基づき、周知の埋蔵文化財包蔵地内での土木工事等に関し、発掘・試掘調査、工事立会い等を実施しました。（掘削重機借上料879,239円）
（１）公共・民間の事業開発に伴う発掘調査、試掘調査
・発掘調査１件（明科遺跡群明科廃寺）、試掘調査９件
（２）文化財保護法に基づく事務手続き
・第94条関係（公共事業）…39件　　・第93条関係（民間事業）…99件
（３）埋蔵文化財包蔵地の照会…693件

３　明科遺跡明科廃寺の第６次調査を実施しました（14,762,000円）
国道19号歩道拡幅工事に伴い、明科廃寺の発掘調査をしました。
11月５日から12月25日までの間調査を実施し、古代瓦を中心に約423kgの遺物が出土しました。

４　遺物整理及び保存処理分析（保存処理等業務委託　813,736円）
発掘調査等により出土した遺物の保存・活用を図るため、遺物整理作業及び保存処理・分析を行いました。また、市教育会から寄贈された金属製品等の保存処理（専門機関へ委託）を行いました。

上記の評価と課題等

文化財保護法に基づく届出・通知も適正に処理することができましたが、今後も引き続き開発側に対し、埋蔵文化財の保護についての研修会等を行うなど、無届工事などで遺跡等の破壊が行われないよう啓発活動を推進していきます。

令和７年度	
部	教育部
課	文化課
係等	図書館係

決算書ページ	241

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	06	図書館費			
	事業	0110435	図書館費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
187,749,000	182,264,396	0	5,484,604	97.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,930,233		指定寄付金	100,000		
		市町村振興協会交付金	2,693,113		
		図書カード再発行手数料	18,200		
		図書館コピー使用料	118,920		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　令和６年度図書館利用状況

	中央	豊科	三郷	堀金	明科	合計	Ｒ５実績	比較
所蔵冊数＊	229,221	85,093	53,594	47,776	49,099	464,783	458,883	5,900
登録者数＊（人）	17,431	7,711	3,795	1,561	1,834	32,332	40,376	-8,044
開館日（日）	286	285	285	286	241			
利用者数＊（人）	103,740	31,881	24,138	11,891	5,751	177,401	179,930	-2,529
貸出点数（点）	400,101	117,139	103,880	49,460	20,266	690,846	713,351	-22,505

＊所蔵冊数：視聴覚資料を除く

＊登録者数：個人登録者数　　利用者数：利用者カードで本を借りた延べ人数

2　主な事業

（１）図書館資料収集事業　備品購入費：19,369,142円　　購入点数（視聴覚資料含む）：9,036点

〈内訳〉○通常図書購入等　18,812,074円

○学校図書館調べ学習用図書の購入　557,068円

（２）市町村と県による協働電子図書館「デジとしょ信州」への登録推進　　負担金：345,238円

安曇野市　　Ｒ６登録者数　897人（全登録者数　1,537人）　　貸出件数　9,381冊

（３）各種おはなし会、図書館講座、上映会等の開催　　報償費・需用費：307,921円

読書推進のための講座など、各種イベントを開催しました。　　延べ参加人数　4,071人

（４）中央図書館開館15周年記念講演会　　参加人数　110人　　報償費：100,000円

講師：磯野　真穂さん（安曇野市出身・人類学者）

「本を書く人は何を考えているのか」をテーマに熱意溢れる講演をいただき、大変好評でした。

（５）市内小中学校、施設等との連携事業

①小中学校との連携　・調べ学習用図書の整備　1,365冊（Ｒ６購入：175冊）

・学校配本　調べ学習に必要な資料の選書及び配本　2,027冊

・小中学校新１年生の登録の推進（申込書の配布）

学校司書及び司書教諭との交流を図り、学校の要望に沿えるよう連携を進めています。

予算				総合計画		
	款	10	教育費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		基本方針	学び合い人と文化を育むまち
	目	06	図書館費			
	事業	0110435	図書館費		基本施策	生涯を通じた学びの創出

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

②おでかけ図書館　　参加イベント数：12件　　利用者総数（イベント参加数）：623人
環境課や公民館、文書館など市主催イベントに参加し、関連本の展示や貸出しを行いました。本を紹介することで、更なる学びの機会となっています。

③図書展示
テーマや時事的な展示に加え、市主催イベント等に興味を持っていただけるよう関連本の展示を行いました。

④３市（安曇野・松本・塩尻）連携展示　　テーマ「３つの市のご当地じまん」

（６）ブックスタート・セカンドブック事業（絵本のプレゼント）　　報償費：1,438,016円
①ブックスタート事業（４カ月健診時）　　実施回数：24回　　452人
②セカンドブック事業（２歳児健康相談時）　　実施回数：24回　　564人

（７）読書支援サービス　　朗読協力者（有償ボランティア）：19人　　報償費：237,500円
①広報「あづみの」（DAISY録音図書）の製作　　利用者：３人及びホームページへのアップ
②朗読協力者研修会：年11回開催
③録音図書及び点字図書の相互貸借貸出サービス　　貸出数：79点

（８）図書館フェスタの開催
期間：９月７日（土）～８日（日）（リサイクルフェア中央館のみ14日（土）まで）
①講演会　　宮下すずかさん講演会　　参加人数：79人
②各種イベント　　おはなし会・ビブリオバトル・ワークショップなど　　参加人数：143人
③リサイクルフェア　　来場者数：3,879人　　リユース数：9,133冊

（９）図書館配本事業　　年間303日運行　　委託料：3,932,940円
①図書館間の予約本及び返却本の集配
②団体貸出として、認定こども園、児童館、福祉施設などへの配本　　30団体：19,380冊

（10）図書館協議会の開催　　年３回　　報酬：84,000円

（11）データベースの提供　　使用料：660,000円
信濃毎日新聞統合データベース、館報情報検索サービス等：４種

（12）レファレンスサービスの充実　　年間利用総数：7,456件

（13）図書館の利用促進及びＰＲ
○読書通帳の配布　　配布数：1,621冊　　100冊到達者：74人
○市ホームページ・Ｘ（エックス）・LINEからの情報発信
○図書館だよりの発行：各世代（一般・子ども・ヤング）に向け月１回　　等

上記の評価と課題等

資料収集については、特に中央図書館が開館から年数が経過し、古い資料が多くあるため、計画的に購入し,入れ替えを行っています。市町村と県による協働電子図書館「デジとしょ信州」への学校を通じた登録も進めており、登録者数が徐々に増加しています。

利用者数や貸出冊数がなかなか伸びていないのは、コロナ過以降、電子書籍への移行やインターネットからの情報入手など、読書環境の変化も影響しているものと思われます。利用者ニーズの把握とサービス提供の在り方を考えるとともに、読書が困難な方へのサービスの充実に努めます。

令和７年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども家庭相談担当

決算書ページ	103

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103060	児童発達支援事業		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
23,482,000	22,833,876	0	648,124	97.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,832,000		児童虐待防止対策等総合支援事業国庫補助金	1,832,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

子ども発達支援相談室では、０歳～18歳までの発達等に心配のある子ども及び保護者に対し、子どもの最善の利益を考慮しながら、健やかな発達を支援しています。関係機関との連携により、育ちの躓きを早期発見し相談や検査などを行い、必要に応じて療育支援を行うとともに、切れ目のない支援を目指します。さらに、18歳以降の次のライフステージに繋げ、安心して生活できるよう、主に専門職の職員が相談事業、療育支援事業、地域のネットワークの構築を行っています。

１　主な事務費

（１）相談事業等　　18,614,145円　　会計年度任用職員報酬、手当・備品購入費

（２）療育支援事業　　2,664,971円　　遊びの教室・学習会等報償費

２　相談事業

令和6年度は10月～3月までの間、言語聴覚士の1名増員があり、相談実人数は650人、延べ件数1,905人と増加しました。小中学生の相談件数は年々増加傾向にあり、発達検査の実施や支援会議の出席が多くなっています。相談内容は発達だけでなく、育児の悩みや家庭環境など複合した課題を抱えている対象者が増えています。また就学以降は発達以外に不登校傾向や集団不適応の相談も多く、関係機関と連携して継続的な支援を進めています。

（１）相談実人数

令和4年度		令和5年度		令和6年度	
実人数	（内）新規	実人数	（内）新規	実人数	（内）新規
416人	165人（39.7%）	584人	329人（56.3%）	650人	271人（41.7%）

（２）年代別相談延べ件数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
未就園児	128	118	78
就園児	570	582	589
小学生	305	678	839
中学生	102	225	255
高校生	97	123	120
その他	17	7	24
計	1,219	1,733	1,905

（３）相談内容別延べ件数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
発　達	1,074	1,557	1,716
身　体	2	12	4
知　的	17	40	27
精　神	5	16	9
重度心身障害	0	0	0
その他	121	108	149
計	1,219	1,733	1,905

予算				総合計画		
	款	03	民生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103060	児童発達支援事業		基本施策	子どもを育む環境の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（４）方法別相談延べ件数

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
家庭訪問	24	2.0%	25	1.4%	42	2.2%
関係機関訪問	219	18.0%	248	14.3%	363	19.1%
来所相談	614	50.4%	753	43.5%	709	37.2%
電話相談	48	3.9%	123	7.1%	101	5.3%
支援会議	88	7.2%	125	7.2%	199	10.4%
発達検査（含報告）	210	17.2%	454	26.2%	467	24.5%
その他	16	1.3%	5	0.3%	24	1.3%
計	1,219		1,733		1,905	

（５）発達検査件数

	対象	令和4年度	令和5年度	令和6年度
WISC-Ⅳ	５歳以上	36件	196件	166件
新版K式	主に５歳未満	72件	63件	69件

３　療育支援事業

支援対象者が増加し参加希望者も増えているため、新たな事業を実施したり、回数を増やしたりしました。教室は１人当たりの参加回数の上限を決めるなどにより、新規希望者も参加できるよう対応しています。学習会は各園で開催し、多くの保護者が参加できるようにしました。

事業名	内容	対象	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数
遊びの教室	発達等での小集団体験	１歳児	28	248人	36	277人	33	243人
		２歳児	30	202人	36	308人	30	258人
運動発達相談日	運動発達面の個別相談	０～２歳	23	117人	23	126人	32	127人
ことばの相談日	言語面での個別相談	２歳～	13	21人	21	36人	19	29人
発達相談日（令和4年度より）	発達全般での個別相談	０～３歳	44	109人	45	109人	57	147人
親子で遊ぼう教室（令和5年度より）	親子の遊び体験・講話・相談	7～8ヵ月児			8	108組	12	170組
保護者向け学習会	子育て・発達についての講話	主に就学前の保護者等	11	252人	19	410人	20	1,365人
ペアレントトレーニング	個別・小集団での子育ての学び	年中～小6の保護者	21	24人	37	53人	30	54人

上記の評価と課題等

事業を通じて、子どもや保護者に相談支援の継続をするとともに、関係機関等との連携に努めました。発達に心配があり、医療や療育につなげることが望ましい子どもも多くなっており、また保護者や関係機関からの相談ニーズもあるため、各事業の希望者が増加しています。

対象者から困り感があった時に、個々の状況に応じて支援することで、二次的な問題の予防に繋がるため、事業の実施及び検討を行う必要があります。子どもの成長とともに、多くの関係機関が関わるため、切れ目のない支援を目指し、関係機関等との連携に努める必要があります。

令和７年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども家庭相談担当

決算書ページ	105

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103085	ひきこもり対応推進事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,550,000	8,411,565	0	138,435	98.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,433,000		ひきこもり対策推進事業補助金	3,433,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　相談件数（子ども家庭支援課受付）

（１）　当事者の年齢別（月別実数の合計）

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	不明	合計
人数	48	22	28	22	28	3	1	152

（２）　相談手法別（延件数）

来所	電話	訪問・その他	合計
67	76	156	299

２　家族交流会　年４回開催

３　ひきこもりについて知っていただくための講演会　令和６年11月14日　開催
　　演題：「自分らしく充実した人生を送ることができるように、地域でできることは？」
　　講師：認定NPO法人侍学園スクオーラ・今人　理事長　長岡　秀貴　氏
　　参加人数：31名

４　関係機関連携会議　令和７年２月26日　開催
　　支援を行う関係機関の連携強化・情報共有を目的として開催
　　参加機関：まいさぽ安曇野、関係するNPO法人、庁内関連各課等

５　委託による相談支援
　　①　訪問・就労支援・・・２カ所のNPO法人に委託
　　②　相談窓口設置・・・３カ所のNPO法人に委託
　　③　居場所支援・・・３カ所のNPO法人に委託

上記の評価と課題等

専任の担当保健師を配置し、当事者や家族、関係者に対して相談支援を実施しました。家族交流会につきましては、ひきこもり者のいる家族が集まり、年４回交流や生活のサポート等についての学習を行いました。啓発講演会につきましては、外部の講師を招聘し市民の方や支援機関の職員等を対象とし開催しました。その他、３カ所のNPO法人に各種相談支援業務の委託を行い、複数の相談窓口を設置し、相談しやすい体制の整備に努めています。

令和７年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども家庭相談担当

決算書ページ	107

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103100	母子福祉事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,195,000	4,553,820	0	641,180	87.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,558,000		児童入所施設措置費等国庫負担金	880,000		
		困難な問題を抱える女性支援推進事業費国庫補助金	1,678,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　女性保護事業

女性保護事業について、相談事業を実施し、離婚や配偶者間暴力についての相談を多く受け付けました。相談者の安全が危惧される場合は、警察等とも連携し、相談支援を行いました。

（１）女性相談件数　（単位：件）

相談方法	年度	人間関係				経済関係	医療関係	その他	合計
		夫等	子ども	親族	交際相手・その他				
訪問面談（実人数）	Ｒ６	7	0	1	1	2	0	1	12
来所面談（実人数）		112	5	34	3	31	1	4	190
電話相談（延人数）		209	6	29	7	46	17	28	342

（２）配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数　延べ216件

２　母子福祉事業

母子福祉事業については、ひとり親家庭への相談事業を実施しました。相談内容としては、経済的支援に関する相談を多く受付けました。必要に応じて関係機関と連携し支援を行いました。

（１）ひとり親相談件数　（単位：延べ件数）

内容／年度	生活一般					児童	経済関係	その他	合計
	住宅	医療	家庭紛争	就労	養育費他				
Ｒ６	1	11	2	6	18	2	118	0	158

上記の評価と課題等

担当相談員及び担当職員を配置し、相談者に寄り添った支援が行えたと考えます。複数の課題を抱える相談者が多く、支援に際しては地区担当保健師や社会福祉協議会など関係する部局と連携しながら支援を行いました。効果的な支援を行うため、今後とも担当職員の資質向上に努めます。

令和７年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども子育て政策係

決算書ページ	113

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0103230	児童福祉総務費		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,038,193,000	2,030,698,099	0	7,494,901	99.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,438,289,381		児童扶養手当国庫負担金	88,678,630	児童福祉施設入所負担金判定委託金	14,760
		児童手当国庫負担金	1,108,014,439	ふるさと寄附基金繰入金	22,000,000
		母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金	2,390,000	児童手当返還金	50,000
		子ども・子育て支援交付金（国）	17,625,000	児童手当過年度返還金	80,000
		児童手当県費負担金	190,705,662	児童扶養手当返還金	195,190
		こどもの生活・学習支援事業補助金	1,231,000	児童扶養手当過年度返還金	586,700
		子ども・子育て支援交付金（県）	6,718,000	（地方消費税交付金（社会保障財源化分））	(107,000,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　家庭児童相談事業

支援が必要な子どもの把握や支援体制の確立の際は要保護児童地域対策協議会の枠組みを活用し、家庭児童相談室を調整役として円滑な支援を行いました。深刻な事案があった際は、児童相談所や警察署と連携し対応を行いました。

（１）　新規児童相談件数　（単位：件）

年度	児童虐待	養育不安等	育児	不登校	非行	障がい	その他	合計
Ｒ６	89	188	32	2	9	2	6	328
Ｒ５	92	174	24	5	6	4	12	317

（２）児童相談所と連携した対応　（単位：件）

年度	一時保護対応	児童福祉司指導	児童家庭センター指導	児相から市への協力要請	訓告・誓約	合計
Ｒ６	37	0	1	48	0	86
Ｒ５	55	7	2	50	2	116

２　児童手当給付事業

家庭の生活安定、児童の健全育成を図ることを目的に、年度末で18歳以下の児童を養育する保護者に対して、児童手当法に基づき児童手当を支給しました。

○実績　（単位：円）

年度	延児童数	支給額	国庫負担金	県費負担金	一般財源
Ｒ６	128,030人	1,485,850,000	1,108,014,439	190,705,662	187,129,899
Ｒ５	119,660人	1,305,190,000	905,577,332	200,067,831	199,544,837

予算				総合計画		
	款	03	民生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0103230	児童福祉総務費		基本施策	子どもを育む環境の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　児童扶養手当給付事業

ひとり親家庭等の生活安定と自立促進・児童福祉の増進を図ることを目的に、児童扶養手当法に基づき、年６回（５月・７月・９月・11月・１月・３月）児童扶養手当を支給しました。

○実績　（単位：円）

年度	延児童数	支給額	国庫負担金	一般財源
Ｒ６	9,237人	265,236,410	88,678,630	176,557,780
Ｒ５	9,171人	258,091,350	86,239,712	171,851,638

４　母子家庭等対策総合支援事業

ひとり親家庭の経済的安定を図るため、就業に有利な資格・技術を身につけるための養成機関での修業を支援する取組みを行いました。

○実績　（単位：円）

事業名	利用者数	支給額
自立支援教育訓練給付金事業	2人	424,000
高等職業訓練促進給付金事業	2人	1,774,000

５　子育て応援手当給付事業（市独自事業）

教育・保育施設等を利用せず、第２子以降の就学前児童を家庭で保育する養育者に対して、児童１人あたり月額3,000円を支給し、子育て家庭への経済的負担の軽減を図りました。

○実績　（単位：円）

年度	延児童数	支給額
Ｒ６	7,354人	22,062,000
Ｒ５	7,965人	23,895,000

６　こどもの生活・学習支援事業

ひとり親家庭等の児童の受験費用に対して支援金を給付することより、進学に向けたチャレンジを支援しました。

○実績　（単位：円）

区分	延児童数	支給額
大学等受験料支援金	41人	1,520,230円
大学等模試受験料支援金	６人	45,000円
高校等模試受験料支援金	14人	77,200円

予算				総合計画		
	款	03	民生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0103230	児童福祉総務費		基本施策	子どもを育む環境の充実

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

７　ファミリー・サポート・センター事業

相互の信頼関係を構築し地域主体で子育て世代を支える援助活動として、児童の援助を行いたい者と援助を受けたい者を組織化し、登録会員間の調整役として運営しました。

（１）支援件数　会員1,342人（協力157人・依頼1,154人・両方31人）（単位：件）

年度	計
Ｒ６	2,363
Ｒ５	1,753

（２）子ども子育て支援交付金（子育て援助活動支援事業）（単位：円）

総事業費	国庫補助金	県費補助金	一般財源
10,251,000	3,320,000	3,320,000	3,611,000

上記の評価と課題等

家庭児童相談事業については、新規の相談件数は増加傾向にあります。こども家庭センターを設置し、母子保健部門との連携強化を図り、妊娠・出産期からの継続支援に努めています。

子育て家庭への各種手当の支給事業を実施することにより、子育て家庭の生活安定、児童の健全育成を図ることができました。

ファミリー・サポート・センター事業は、多くの需要がありながらも地域力を活かし、安定した支援サービスの提供ができています。子育て家庭を取り巻く課題が多様化しており、利用者の積極的な利用を促進するため、委託事業者と協力しながら事業強化を図っていきます。

令和７年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども子育て政策係

決算書ページ	113

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0103240	児童遊園管理費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,946,000	3,881,900	0	64,100	98.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
0					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　市内児童遊園内遊具の撤去・更新事業

市内１３２ある児童遊園（小規模公園）の遊具について、必要に応じて撤去・更新を行っています。令和６年度は以下の事業を実施しました。

（１）遊具更新

場　　所　　柳原公園（豊科　熊倉）

実施内容　　既存遊具撤去、２連ブランコ・ブランコ用安全柵・すべり台の設置、フェンス改修

（２）遊具撤去

場　　所　　寺所公民館遊園地

実施内容　　すべり台撤去

（３）遊具修繕

場　　所　　重柳遊園地ほか全15園

実施内容　　ブランコ・すべり台、シーソー、鉄棒　修繕

上記の評価と課題等

令和７年３月に結果がでた遊具安全点検（規準診断）において多くの児童遊園遊具に使用不可判定が出され、全１３２公園の内８２公園に使用不可判定遊具があることが判明しました。その判定が出た遊具は、現時点（令和７年５月時点）では立入禁止テープと看板により使用ができないように処置してあります。

早急に更新・撤去を進めていきますが、利用がない遊園については以降の管理しやすさも考慮し、撤去の上利用目的転用も検討していきます。

令和７年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子育て給付係

決算書ページ	115

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0103242	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
53,438,000	6,689,800	46,746,000	2,200	12.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
459,800		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（低所得世帯支援枠分）	346,500		
		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（推奨事業メニュー分）	113,300		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　物価高騰対応重点支援給付金（子育て世帯分）給付事業【繰越明許】

物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯を支援する取組の一つとして、福祉部所管の給付金「物価高騰対応重点支援給付金（住民税非課税世帯・３万円）」を受給する世帯に対して「こども加算分」として対象児童一人あたり20,000円の給付金給付事業に着手し、事務費の一部を支出しました。

当事業は、令和７年度に繰越して令和７年４月から給付を実施しており、令和６年度の執行は電算システム改修に係る事務事業委託料と印刷製本費の一部です。

【実績】（１）事業費　346,500円（印刷製本費：34,100円　システム対応業務委託：312,400円）

２　子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)給付事業【繰越明許】

物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯を支援する取組の一つとして、ひとり親世帯等に対して対象児童一人あたり10,000円の給付金給付事業に着手し、事務費の一部を支出しました。

当事業は、令和７年度に繰越して令和７年５月から給付を実施しており、令和６年度の執行は電算システム改修に係る事務事業委託料と印刷製本費の一部です。

【実績】（１）事業費　113,300円（印刷製本費：25,300円　システム対応業務委託：88,000円）

３　令和５年度 子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)給付事業

令和５年度子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)給付事業国庫補助金の確定により、受入済額と確定額の差額分を返還しました。国庫補助金返還金　800,000円

４　令和５年度 子育て世帯生活支援特別給付金(その他世帯分)給付事業

令和５年度子育て世帯生活支援特別給付金(その他世帯分)給付事業国庫補助金の確定により、受入済額と確定額の差額分を返還しました。国庫補助金返還金　5,430,000円

上記の評価と課題等

食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対する特別給付金を速やかに給付するための準備を進めることができました。

令和７年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子育て給付係

決算書ページ	115

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0103243	物価高騰家計支援給付金給付事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
13,299,000	13,296,412	0	2,588	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
13,296,412		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（給付金・定額減税一体支援枠）	13,296,412		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　令和６年度物価高騰家計支援給付金(子育て世帯分)給付事業

食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯を支援する取組の一つとして、令和６年度、新たに福祉部所管の給付金「物価高騰家計支援給付金（住民税均等割非課税世帯、又は、住民税均等割のみ課税世帯・10万円）」を受給する世帯に対して「こども加算分」として対象児童一人あたり50,000円の給付金を支給し、経済的負担の軽減を図りました。

【実績】（１）受給者　164人（対象児童 260人）
（２）支給額　13,000,000円
（３）事業費　13,296,412円
【内訳】給付金：13,000,000円　職員諸手当：52,430円　消耗品：16,483円
郵送料：37,529円　手数料：21,670円　システム対応業務委託：168,300円

上記の評価と課題等

食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対して特別給付金を支給することで、経済的負担の軽減を図ることができました。

令和７年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども子育て政策係

決算書ページ	115

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0103280	児童クラブ整備事業		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
48,778,000	48,774,370	0	3,630	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
35,000,000		ふるさと寄附基金繰入金	25,000,000		
		児童クラブ整備事業（過疎債）	10,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　児童クラブ受入れ施設の確保

放課後児童クラブの受け入れを６年生まで拡充するため、学校内余裕教室の改修、児童館など市関連の校外施設を転用など、児童クラブ専用施設の確保を進めています。

令和６年度は以下の施設の改修を行いました。

（１）豊科東小学校　児童クラブ

・被服室を児童クラブ室に改修

（２）明南小学校　児童クラブ

・普通教室１室及び特別教室１室を児童クラブ室に改修

上記の評価と課題等

小学校単位に設置している10の児童クラブの内、８つの児童クラブで６年生までの受け入れ拡大が完了しています。

三郷小児童クラブは、学校校舎長寿命化工事に併せて教室改修工事を行い児童クラブ室を整備していきます。また、豊科南小児童クラブは、今後予定されている校舎長寿命化工事を考慮し児童クラブ室の確保の検討を進めていきます。

現在、児童数は減少傾向でありますが、児童クラブの利用ニーズは増加傾向です。将来的なニーズ量を見込み、必要に応じた受け入れ体制を構築していくため、今後も検討を進めていきます。

令和７年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども子育て政策係

決算書ページ	115

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0103285	地域子育て支援拠点事業		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,000,000	1,000,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
0					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　安曇野市地域子育て支援拠点事業実施支援補助金

身近な場所に子育て中の親子が気軽に集え、打ち解けた雰囲気の中で相互の交流を行い、子育ての不安や悩みを安心して相談できる拠点施設の需要が高まっていることから、拠点施設を運営する団体を支援し、その居場所の充実を目指します。

（１）令和６年度交付実績　　２件　1,000,000円

（２）申請事業者
- ＮＰＯ法人子育て支援ぱおぱお（三郷地域）　年間延べ1,772名利用
- おもちゃの広場安曇野（穂高地域）　　年間延べ86名利用

●地域子育て支援拠点施設とは

子育て中の親子が気軽に集い交流や子育ての悩み相談などができる場所。３歳未満児の６～７割は家庭で子育てしている現状や核家族化・地域のつながり希薄化の進行から、子育ての孤立化などの問題が発生。それら問題を解消する施設として期待されている。

上記の評価と課題等

前年比+１件の申請となりました。申請まではいかずとも、本事業について数件の団体から相談があり事業者側においても関心が高まっていることを感じます。

次年度以降は、より施設の充実が図れることから、国及び県の補助を受けて行う補助事業の追加についても検討を進めていきます。

令和７年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子育て給付係

決算書ページ	115

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0190050	【明許】物価高騰家計支援給付金給付事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
98,151,000	53,449,107	0	44,701,893	54.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
53,449,107		【明許】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（給付金・定額減税一体支援枠）	53,449,107		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　【明許】令和５年度物価高騰家計支援給付金(子育て世帯分)給付事業

食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯を支援する取組の一つとして、福祉部所管の給付金「安曇野市物価高騰家計支援追加給付金（住民税均等割非課税世帯・７万円）」又は「安曇野市物価高騰対策支援金（住民税均等割のみ課税世帯・10万円）」を受給する世帯に対して「こども加算分」として対象児童一人あたり50,000円の給付金を支給し、経済的負担の軽減を図りました。

【実績】（１）受給者　645人（対象児童 1,058人）
（２）支給額　52,900,000円
（３）事業費　53,449,107円
【内訳】給付金：52,900,000円　報酬：273,639円　職員諸手当：70,489円
通勤手当：7,400円　消耗品：24,909円　郵送料：101,500円　手数料：71,170円

上記の評価と課題等

食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対して特別給付金を支給することで、経済的負担の軽減を図ることができました。

令和７年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	児童青少年係

決算書ページ	117

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	児童館費			
	事業	0103260	児童館運営費		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
370,985,000	368,437,415	0	2,547,585	99.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
142,914,110		児童クラブ負担金	36,327,110		
		児童クラブ負担金滞納繰越分	21,000		
		子ども・子育て支援交付金（国庫）	53,283,000		
		子ども・子育て支援交付金（県費）	53,283,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市社会福祉協議会への指定管理により、市内９児童館において、下記の児童館事業および児童クラブ事業を実施しました。

１　指定管理委託料　　９児童館計　352,760,000円
２　児童館事業
　来館者数　78,312人（児童クラブ利用者を除く。前年実績82,020人）
　（１）子育て支援事業　　キッズパーク（乳幼児親子サークル）
　　みんなあつまれ（乳幼児イベント）、おさがり会
　（２）子育て相談事業　　育児相談、子育て勉強会
　（３）地域ふれあい事業　　ふれあい農園、地域ボランティア事業（読み聞かせ）
　　移動児童館、児童館祭り、地域の方の知恵袋（遊びや料理の継承）
　（４）青少年育成事業　　チャレンジタイム（小学生の遊びの場）、お楽しみ企画（長期休み）
３　児童クラブ事業
　放課後や土曜日、休校日に、就労等の事情で保護者が家庭にいない小学生児童の保護及び健全育成を図るために設置しました。
　（１）設置数　　18か所（市児童クラブ実施要綱）
　（２）児童クラブ登録数（年度末時点）
　　放課後の利用者　　925人
　　長期休業中のみの利用者　　482人
　（３）年間延べ利用者数　　167,616人（前年実績146,675人）

上記の評価と課題等

児童館来館者数は、コロナ以前の水準に戻りました。安曇野市における地域子育て支援拠点（子育て相談や交流促進）としての児童館機能の充実を図ります。一層の児童館の利用促進のために移住相談、転入、乳幼児健診等の機会を捉え、児童館のＰＲを強化します。
児童クラブ事業は、子育て世代の就労促進や核家族化により年々、利用希望者が増加しています。今のニーズの上昇基調が落ち着くまで、クラブ室の整備、支援員等の人員確保による受入拡大に努めます。

令和７年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	児童青少年係

決算書ページ	117

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	児童館費			
	事業	0103270	児童館整備事業		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
202,816,000	201,882,680	0	933,320	99.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
177,988,000		次世代育成支援対策施設整備交付金（国）	20,944,000		
		次世代育成支援対策施設整備交付金（県）	20,944,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	15,000,000		
		児童館建設事業（こども債）	121,100,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　豊科児童館整備事業

令和６年度、既存施設の解体工事が完了となり、新築工事を進めています。今後も順調に進めば令和７年９月には竣工、同年11月利用開始となります。財源は、国県交付金及びこども・子育て支援事業債を活用しました。

○新築分
・令和６年９月３日　新築工事　契約議決　329,417,000円　※R7までの債務負担行為
・令和６年９月25日　新築工事　前払　131,000,000円

2　南穂高児童館エアコン更新事業

老朽化により効かなくなっていたエアコンを更新し、施設環境の改善を図りました。財源は、国県交付金、ふるさと寄附基金繰入金を活用しました。

○エアコン更新分
・令和６年７月８日　契約　47,300,000円
・令和６年12月18日　変更契約　増額110,000円
・令和７年１月27日　エアコン更新工事　支出　47,410,000円

上記の評価と課題等

1　豊科中央児童館の現地建替

工事は、概ねスケジュール通り進捗しています。設計・施工者及び社会福祉協議会等関係者と連携し、竣工を目指します。

2　南穂高児童館のエアコン更新

予定通り完了しました。

令和７年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども子育て政策係

決算書ページ	119

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	保育所費			
	事業	0103305	保育政策費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,447,000	2,384,430	0	62,570	97.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
0					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　あづみの自然保育ブランディング事業

市内一部の認定こども園では、園児に田植えから世話、収穫までの一連の米作りを体験してもらう取り組みを行っています。足を泥だらけにして田んぼ作業をし、その作業の話をおうちの方と話し、自ら作った米を味わう。園児たちに安曇野の象徴である田んぼへの愛着を高めてもらうことこそ、安曇野自然保育推進の取り組みの核と捉えています。

またその作業風景などをＳＮＳにより情報発信し、安曇野市の保育に関心を寄せる市内外の皆さんにもＰＲをし、観光客や移住者誘致に繋げる取り組みも行っています。

令和６年度は、穂高有明あおぞら認定こども園では園庭に設置してあるミニ田んぼにより、その他９園では、タライを使用したプチ田んぼにより田んぼ体験を行いました。

（１）園庭ミニ田んぼ・プチ田んぼ事業

・園庭ミニ田んぼ　１園（穂高有明あおぞら認定こども園）

・園庭プチ田んぼ　９園（豊科南認定こども園、穂高幼稚園ほか）

（２）自然保育の情報発信

●ＳＮＳを活用した情報発信（開設時よりR7.6まで）

・インスタグラム　356投稿　フォロワー数　640人

・フェイスブック　290投稿　フォロワー数　122人

・Ｘ（旧ツイッター）　フォロワー数　157人

・ｙｏｕｔｕｂｅ　19本　1,920回視聴

上記の評価と課題等

園児や保護者が自然に触れ、郷土愛を育む機会を創出し、安曇野ならではの自然保育の取り組みを市内外に向けて効果的に情報発信ができました。今後も各園の特色を活かし、継続的な取り組みとなるよう体制を整えていきます。

令和７年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども家庭相談担当

決算書ページ	199

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110031	教育相談事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,808,000	4,480,285	0	327,715	93.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
0					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　教育相談事業

教育相談室に教育相談員を配置しています。主に学校生活に関連する相談を受け、必要な助言等を行いました。

（１）相談対象者の年齢別相談件数（延べ件数）

年度	0～６歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19歳以上	不明・その他	合計
R６	72	14	20	3	25	0	134
R５	44	40	21	3	72	3	183

（２）主訴別相談件数（延べ件数）

年度	性格行動	不登校	進路	育児・しつけ	いじめ	障がい	学校・園生活	その他	合計
R６	109	18	2	6	0	24	85	0	244
R５	140	40	3	0	1	20	79	8	291

上記の評価と課題等

教育相談員が面談や電話により、不登校や人間関係など学校生活に関する相談を中心に相談業務を実施しました。必要に応じて、学校や中間教室等の関係機関とも連携し支援を行いました。

令和７年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	児童青少年係

決算書ページ	229

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	04	青少年健全育成費			
	事業	0110370	青少年健全育成費		施策	家庭・地域との連携の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
117,767,000	114,988,455	0	2,778,545	97.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
95,892,390		青少年育成基金利子	76,000		
		参加者負担金	616,390		
		洞合公園整備事業（特例債）	95,200,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　青少年育成環境整備事務
（１）街頭巡回　　３回（夏休み8/19、冬休み1/6・7、春休み3/24・27）
（２）街頭啓発　　２回（7/1　市内７中学校、11/1 JR駅前）
（３）青少年センターだより　　３回（６月、10月、２月発行）
（４）青少年センター講演会　　26名参加　（７/13）
　　「みんなの情報モラル講座」ソフトバンク株式会社　千野敬子氏

２　青少年体験事業
（１）夏休み体験ラボ　３講座 38名参加
　　（7/21リバーボート親子体験会、8/1葉脈のキーホルダー、8/7ダンス体験）
（２）冬季親子体験ラボ　２講座 30名参加
　　（12/1マカロンタワー、2/8アップルパイづくり）
（３）親子プログラミング教室　８回 196名参加（10/26～27、11/9～10 ）
（４）信大プログラミング講座　３回受講　親子８組参加（9/7～8、9/21）
（５）ジュニアリーダー養成講座　２回 計82名参加（9/14、12/8）
（６）子ども文化祭　　出演・出展者183名（ステージ発表11/23、作品展示11/16～23）
（７）友好都市交流　　江戸川区花火大会（訪問）親子12組参加（8/24～25）
　　真鶴町交流事業（訪問）小学生14名参加（8/8～9）
　　福岡市東区（訪問）小学生７名参加（9/14～16）
　　武蔵野市交流事業（訪問）親子９組参加（1/18～19）

３　子ども会育成会支援事務
　地域における子どもたちの自主的な活動を推進し、地区子ども会育成会活動の活発化を目的に補助金の交付を行いました。
・令和６年度補助実績　6,192,200円　育成会96地区に補助

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		基本方針	学び合い人と文化を育むまち
	目	04	青少年健全育成費			
	事業	0110370	青少年健全育成費		基本施策	家庭・地域との連携の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　黒沢洞合自然公園整備事業
令和６年度は、黒沢洞合自然公園整備検討委員会で決定された基本構想を基に、検討委員会や南安曇農業高等学校との協議を重ねながら、実施設計に着手・完了しました。
造成工事も始まり、令和７年度内の完成に向け進捗していきます。

（１）安曇野市黒沢洞合自然公園整備検討委員会（２回開催）
第１回（６月）・・・実施設計について
第２回（２月）・・・工事の進捗、完成後の管理について

（２）南安曇農業高等学校との共同研究
キショウブの除去実験、ニセアカシア巻枯らし実験（５回）

（３）実施設計の完成
委託先：株式会社ＫＲＣ あづみの事務所　　令和６年３月～令和７年１月

（４）工事の着工
契約先：株式会社振興建設（土木工事）　令和７年２月～令和８年３月
株式会社川上産業（造園工事）　令和７年２月～令和８年３月
＊新トイレ設置工事等については令和７年度に実施予定

上記の評価と課題等

社会を創る担い手となるきっかけづくりを主眼に、信州大学　理事・副学長を講師に招き、プログラミング教室を実施したところ、参加者から大変好評をいただきました。青少年体験事業はこうした社会情勢にあった企画も取り入れていく視点も必要と感じました。
コロナ禍で縮小していた友好都市との青少年交流も本格再開となり、参加した児童の笑顔が印象的でした。友好都市とのご縁をきっかけに、他の地域の特色や人に触れることで、視野を広げてもらえるよう事業を工夫してまいります。
黒沢洞合自然公園整備事業は順調に進捗しており、引き続き工期内での竣工となるよう進めていきます。以降は、希少種の保全を目的とした維持管理について検討を進め、自然公園として有効に活用していけるよう体制を整えていきます。南安曇農業高等学校との共同研究についても引き続き取り組み、さらなる相互の協力体制を築いていきます。

令和７年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	児童青少年係

決算書ページ	231

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	04	青少年健全育成費			
	事業	0110375	放課後・家庭教育推進費		施策	家庭・地域との連携の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,691,000	7,515,534	0	1,175,466	86.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,384,000		放課後こどもプラン補助金	3,384,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　放課後子ども教室

放課後の児童の安全安心な居場所として、また、地域の大人と交流を図りながら思い切り遊ぶ機会として、小学校で放課後子ども教室「わいわいランド」を開催しました。

学校名（小学校）	登録児童数（人、当初）	開催日数（日）	参加延べ児童数（人）	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ（人）	サポーター（人）
豊科南	112	18	1,543	2	12
豊科北	108	19	1,726	2	11
豊科東	43	19	765	1	8
穂高南	180	27	4,107	2	22
穂高北	176	24	3,596	3	24
穂高西	146	29	3,448	2	21
三郷	151	25	2,950	2	26
堀金	119	26	2,578	3	20
明南	65	24	1,362	2	14
明北	48	29	1,219	2	12
合計	1,148	240	23,294	21	170

※「コーディネーター」放課後子ども教室の調整役として各教室の実質的な運営を行います。
「サポーター」教育活動サポーター。子ども10人位に対して１人を目安に配置します。

上記の評価と課題等

令和６年度も社会教育指導員及びスタッフ、学校関係者の見守りにより、大きな事故なく有意義な時間を過ごせていたと評価しています。また、本事業の評価点検は、形式的なものではなく、学校ごとのスタッフ会により都度改善がなされています。わいわいランドは、多くの皆さまのご厚意により成り立っている事業です。今後も連絡調整を密に事業を進めてまいります。

令和７年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園担当

決算書ページ	117

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	保育所費			
	事業	0103290	公立認定こども園整備費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
123,929,000	122,382,383	0	1,546,617	98.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
96,200,000		保育所建設事業（特例債）	7,400,000		
		保育所施設整備事業（こども債）	88,800,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

実施計画に沿って、園舎の建替えや改修に向けた調査・設計、工事等を実施し、安定的な保育サービスを提供するための施設整備を推進しました。

1　主な委託業務

（1）令和５年度（債務負担行為）三郷西部認定こども園建設事業園庭整備工事監理業務委託　330,000円
（2）令和６年度　豊科認定こども園改修事業大規模改修工事設計業務委託　2,970,000円
（3）令和６年度　南穂高認定こども園園舎改修工事監理業務委託　2,102,100円
（4）令和６年度　三郷東部認定こども園建設事業既存園舎解体工事設計業務委託　2,530,000円

2　主な工事

（1）令和５年度（債務負担行為）三郷西部認定こども園建設事業　園庭整備工事　6,820,000円
（2）令和６年度　三郷西部認定こども園仮園庭解体工事　3,674,000円
（3）令和６年度　穂高認定こども園改修事業ボイラー更新等工事　27,379,000円
（4）令和６年度　南穂高認定こども園園舎改修工事　70,697,000円

上記の評価と課題等

三郷西部認定こども園建設事業の第二期工事である旧園舎解体とプール、外構工事が完了しました。
また、三郷東部認定こども園建設事業は、引き続き建設作業を行い、令和７年５月に園舎本体工事を完成させ、令和７年８月の開園を予定しています。
今後も子育て支援の拠点となる認定こども園及び幼稚園の施設整備を計画的に進めていきます。

令和７年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園担当

決算書ページ	117

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	保育所費			
	事業	0103300	保育企画費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
901,117,000	893,967,475	0	7,149,525	99.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
645,005,695		保育児童保育料	2,533,040	子どものための教育保育給付費地方単独費用補助金	4,923,000
		子どものための教育保育給付費負担金（国・県）	566,900,358	保育対策総合支援事業補助金	6,000
		子育てのための施設等利用給付費負担金（国・県）	13,668,000	保育料軽減事業補助金	9,502,000
		子どものための教育保育給付費負担金前年度精算分（国・県）	2,085,822	一時的保育料	8,360,300
		子育てのための施設等利用給付費負担金前年度精算分（国・県）	3,559,275	病児・病後児保育利用料	18,900
		子育て支援総合助成金	503,000	子ども子育て支援交付金（国・県）	23,894,000
		保育士加配支援事業補助金	9,052,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　私立の教育・保育施設等（保育所、幼稚園、認定こども園、地域型保育事業）及び市外公立園に施設型給付費又は地域型保育給付費を支給しました。

対象施設	区分	給付費	利用児童数 ※利用最終月
細萱保育園	保育所	63,836,370円	48人
認定やまぶきこども園	認定こども園	105,229,420円	77人
花園認定こども園	認定こども園	85,254,820円	62人
あづみ野おとぎ保育園	地域型保育（小規模保育事業）	41,548,680円	17人
あづみ野第２おとぎ保育園	地域型保育（小規模保育事業）	37,532,110円	18人
あづみ野第３おとぎ保育園	地域型保育（小規模保育事業）	40,860,390円	19人
ニチイキッズ安曇野保育園	地域型保育（小規模保育事業）	51,330,310円	22人
ニチイキッズ穂高保育園	地域型保育（小規模保育事業）	55,421,550円	22人
サンライズキッズ保育園安曇野園	地域型保育（小規模保育事業）	48,745,940円	22人
サンライズキッズ保育園豊科園	地域型保育（小規模保育事業）	42,945,110円	20人
穂高みらいく保育園	地域型保育（小規模保育事業）	36,725,920円	18人
スクルドエンジェル保育園安曇野豊科園	地域型保育（小規模保育事業）	46,929,510円	22人
ハートフルキッズ豊科保育園	地域型保育（小規模保育事業）	42,395,250円	19人
きらり穂高病院保育園	地域型保育（事業所内保育事業）	34,556,090円	24人
保育室モモ	地域型保育（家庭的保育事業）	17,928,900円	5人
松本短大幼稚園	認定こども園	80,660円	1人
松本シュタイナー認定こども園ひなたぼっこ	認定こども園	9,395,980円	5人
ISN島内キャンパス	認定こども園	6,207,750円	11人
松本光明幼稚園	認定こども園	261,360円	1人
白百合幼稚園	認定こども園	962,620円	1人
松本青い鳥幼稚園	幼稚園	94,750円	1人
やよい認定こども園	認定こども園	727,960円	1人
認定こども園かんぎおん	認定こども園	216,290円	1人
認定こども園ふたご	認定こども園	180,000円	1人
松本いずみ幼稚園	幼稚園	183,540円	1人
はなのき保育園	保育所	126,070円	1人
あやめ保育園	保育所	461,070円	1人
みなと保育園	保育所	2,082,780円	2人
計		772,221,200円	443人

予算				総合計画		
	款	03	民生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	保育所費			
	事業	0103300	保育企画費		基本施策	質の高い保育・幼児教育の実現

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

２　幼児教育・保育の無償化に伴い、子育てのための施設等利用給付を行いました。
（１）一時預かり事業　46,000円
（２）認可外保育施設等　13,278,100円
（３）新制度未移行園　4,729,150円
（４）ファミリー・サポートセンター事業　129,350円
（５）国立大学付属幼稚園　177,600円
（６）１号認定預かり保育料　327,050円

３　広域保育の状況

区分	児童数	０歳	１歳	２歳	３歳	４歳	５歳
市外への委託	23 人		1 人	3 人	7 人	7 人	5 人

４　一時預かり事業の利用状況

登録者数	月平均利用者数	延べ利用者数
168 人	216.8 人	2,602 人

５　病児・病後児保育事業の利用状況

登録者数	月平均利用者数	延べ利用者数
100 人	21.5 人	258 人

６　認可外保育施設等に補助金を交付しました。　（単位：円）

対象施設	児童処遇向上（保育分）	児童処遇向上（施設整備分）	衛生・安全対策	信州やまほいく保育料負担軽減	補助金合計
保育室モモ	299,424	116,079	10,000		425,503
野外保育森の子	2,480,356	131,572	0	434,150	3,046,078
自由保育所ひかりの子	1,359,952	0	0	1,051,100	2,411,052
安曇野シュタイナーこども園おひさま	1,339,670	179,200	0	68,550	1,587,420
託児所アッパレはうす	608,384	3,453	0		611,837
計	6,087,786	430,304	10,000	1,553,800	8,081,890

上記の評価と課題等

子ども・子育て支援法に基づいて子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう、子ども及びその保護者、保育施設に対して必要な支援事業を計画的に実施しました。
一時預かり事業については、市公式LINEを用いた電子申請が可能となったこと等を受けて利用者が増加し、ニーズに対応しています。
また、認可外保育施設へ補助金を交付することで多様な保育の実施や児童の処遇向上を図りました。

令和７年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園担当

決算書ページ	119

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	保育所費			
	事業	0103310	認定こども園管理費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,941,898,000	1,928,017,615	0	13,880,385	99.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
165,519,525		保育児童保育料	98,576,790	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業補助金	224,000
		突発長時間保育料	850,800	保育料軽減事業補助金	13,878,000
		保育児童保育料滞納繰越金	874,160	西穂高認定こども園太陽光発電売電	581
		突発長時間保育料滞納繰越金	8,800	保育所施設整備事業（こども債）	36,600,000
		他市町村保育児童保育料	3,197,594	電源立地地域対策交付金	10,896,000
		保育料督促手数料	12,800	企業版ふるさと納税	400,000

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　公立認定こども園（18園）で教育・保育を実施しました。

（１）利用状況　（単位：人）

施設名	定員	利用児童数	年齢別内訳 ※令和7年３月１日時点					
			０歳	１歳	２歳	３歳	４歳	５歳
豊科認定こども園	150	124	2	10	12	29	43	28
豊科南部認定こども園	160	145	1	11	12	39	45	37
南穂高認定こども園	190	177	3	12	22	40	50	50
たつみ認定こども園	105	112	3	9	12	21	39	28
アルプス認定こども園	100	99	5	9	12	21	26	26
上川手認定こども園	80	44	1	5	6	11	10	11
有明の森認定こども園	160	96	2	9	12	21	29	23
有明あおぞら認定こども園	160	123	3	9	12	34	33	32
西穂高認定こども園	220	234	7	11	24	60	62	70
北穂高認定こども園	90	73	1	8	9	23	18	14
穂高認定こども園	200	204	5	12	12	59	60	56
三郷北部認定こども園	150	117	4	5	18	29	34	27
三郷南部認定こども園	160	142	3	7	20	32	39	41
三郷東部認定こども園	170	133	7	5	14	30	37	40
三郷西部認定こども園	70	55	3	6	12	9	13	12
堀金認定こども園	250	215	5	13	22	56	58	61
明科北認定こども園	90	30	1	4	5	7	7	6
明科南認定こども園	130	107	2	9	16	29	28	23
計	2,635	2,230	58	154	252	550	631	585

予算				総合計画		
	款	03	民生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	保育所費			
	事業	0103310	認定こども園管理費		基本施策	質の高い保育・幼児教育の実現

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（２）保育方針等

ア　職員体制（18園中２園委託）

園長16人、主任保育士16人、保育士63人

会計年度任用職員283人（保育士227人、保育補助35人、看護師3人、事務補助18人）

計378人

イ　保育理念

一人ひとりの子どもを大切にしながら、子どもにとって最もふさわしい生活の場を保障し、家庭や地域から信頼される認定こども園を目指しています。

ウ　保育目標

○命（自分・人・生物）や物を大切にする子ども
○あいさつができる子ども
○元気に遊ぶ子ども
○意欲的に取り組み、やりぬこうとする子ども
○友だちと力を合わせ、認め合える子ども
○人の話を聴き、自分の気持ちを伝えたり、表現できる子ども
○自然の中で豊かな感性を育み、表現できる子ども

２　広域保育の状況

区分	児童数	０歳	１歳	２歳	３歳	４歳	５歳
市外からの受け入れ	4 人		1 人		2 人	1 人	

３　公立認定こども園（18園）の施設管理

施設修繕、物品修繕、各種器具点検調整、緊急非常通報警備、消防設備点検、電気工作物点検、除雪、必要工事等を実施しました。

（１）主な修繕

消防設備修繕（北穂高認定こども園）　1,032,900円
業務用エコキュート修繕（三郷南部認定こども園）　286,000円
電動水抜き栓修繕（明科北認定こども園）　479,600円

（２）主な委託業務

認定こども園芝生化事業豊科認定こども園他４園園庭整備工事設計業務委託　5,170,000円
保育業務支援システム運用保守業務委託　5,346,000円
明科北認定こども園保育業務委託料　53,855,077円
三郷西部認定こども園保育業務委託料　49,657,000円
三郷南部認定こども園園庭芝生初期養生管理業務委託　704,000円

（３）主な工事

ボイラー更新工事（有堀金認定こども園）　3,542,000円
令和５年度（債務負担行為）認定こども園芝生化事業
　三郷南部認定こども園　園庭整備工事　17,116,000円
令和５年度（債務負担行為）認定こども園芝生化事業
　三郷北部認定こども園　園庭整備工事　20,262,000円

予算				総合計画		
	款	03	民生費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	保育所費			
	事業	0103310	認定こども園管理費		基本施策	質の高い保育・幼児教育の実現

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　認定こども園（18園）の運営管理

認定こども園の運営に必要な保育用品等を購入するとともに、施設の適切な維持管理を行うことができました。

（単位：円）

施設名	報償費	需用費	役務費	委託料	使用料及び賃料	備品購入費
豊科認定こども園	30,000	6,321,545	347,308	137,445	15,287	716,199
豊科南部認定こども園	30,000	5,930,011	264,478	90,860	11,122	499,400
南穂高認定こども園	30,000	7,518,136	236,072	29,645	17,698	341,880
たつみ認定こども園	30,000	4,617,847	347,421	73,920	26,579	283,930
アルプス認定こども園	30,000	4,305,631	209,844	84,700	16,175	179,960
上川手認定こども園	26,000	4,054,732	170,940	34,650	26,400	638,220
有明の森認定こども園	30,000	5,808,035	195,441	109,120	28,771	50,600
有明あおぞら認定こども園	0	5,764,860	332,384	61,380	92,136	459,200
西穂高認定こども園	30,000	9,111,819	296,687	574,640	12,608	979,000
北穂高認定こども園	0	4,577,931	187,123	20,460	39,600	808,379
穂高認定こども園	30,000	7,979,702	284,571	20,460	37,294	195,800
三郷北部認定こども園	30,000	6,287,773	509,528	105,600	16,728	147,169
三郷南部認定こども園	30,000	6,250,196	207,224	220,110	46,698	214,050
三郷東部認定こども園	30,000	6,381,747	165,522	59,400	39,600	282,000
三郷西部認定こども園	84,000	4,121,078	321,771	119,130	18,618	388,300
堀金認定こども園	30,000	10,439,601	450,234	112,530	69,292	265,980
明科北認定こども園	40,000	3,948,344	357,434	88,165	83,813	0
明科南認定こども園	30,000	5,666,562	336,787	87,395	22,534	121,000
計	540,000	109,085,550	5,220,769	2,029,610	620,953	6,571,067

上記の評価と課題等

児童福祉法及び子ども・子育て支援法に基づき、公立認定こども園の適正な管理運営に努め、幼児期の教育・保育を一体的に提供しています。

子どもたちが安心で快適な生活を送れる保育環境の整備に努め、保育担当と各園が連携して事業を実施することで、施設の維持・保全に安全かつ迅速に対応できました。

保育業務支援システム（コドモン）の運用によって保護者に必要な情報をスムーズに提供することができています。

令和７年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園担当

決算書ページ	121

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	保育所費			
	事業	0103320	認定こども園給食運営費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
411,150,000	404,114,893	0	7,035,107	98.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
88,187,410		保育児童保育料	54,634,660		
		子ども・子育て応援市町村交付金	5,020,000		
		認定こども園職員給食代	28,532,750		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

業務の安全面・衛生面に留意し、民間活力を生かした効率的な給食調理業務の運営及び食育の推進を図るため、公立認定こども園18園の給食調理業務を民間委託しました。また、私立認定こども園等で提供する給食の材料費高騰に伴う増額分の負担事業として補助金を交付しました。

１　主な委託業務
（１）給食調理等業務委託（Aグループ）　35,230,800円
　穂高、西穂高、北穂高
（２）給食調理等業務委託（Bグループ）　38,471,400円
　有明の森、有明あおぞら、堀金
（３）給食調理等業務委託（Cグループ）　35,944,700円
　三郷北部、三郷南部・三郷東部・三郷西部
（４）給食調理等業務委託（Dグループ）　36,709,200円
　豊科、豊科南部、たつみ、アルプス
（５）給食調理等業務委託（Eグループ）　31,900,000円
　南穂高、上川手、明科北、明科南

２　主な補助金
（１）給食材料費補助金（私立認定こども園等）　3,477,275円
（２）給食材料費補助金（認可外保育施設）　63,595円

上記の評価と課題等

市と給食調理業務委託業者との連携により、日常的な衛生管理と点検を実施することで、安全・安心でおいしい給食作りに努めました。
今後も子どもたちの健やかな発育・発達を目指し、栄養バランスに配慮した給食を提供していきます。
私立認定こども園等に給食材料費補助金を交付したことで、給食費の値上げをせずに、園児にこれまでどおりの栄養バランスを保った給食を提供することができました。

令和７年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園担当

決算書ページ	217

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	幼稚園費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	幼稚園費			
	事業	0110295	穂高幼稚園運営費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
71,216,000	67,119,684	0	4,096,316	94.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
861,480		幼稚園預かり保育料	62,000		
		建物総合損害共済金	799,480		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　公立幼稚園で教育・保育を実施しました。

ア　職員体制

園長１人、主任教諭１人、教諭２人

会計年度任用職員７人　（教諭４人、看護師１人、保育補助１人、事務補助１人）

計11人

イ　教育目標　『たくましく　しなやかな　心と体を育む』

ウ　教育重点

〇安心した環境の中で、一人ひとりが輝いて過ごす

〇幼児期の「学び」は「環境を通した遊び」であること

〇様々な事物や人との関わりの中で、豊かな人間性を育む

２　入園児数等　（令和７年３月１日現在）

	３歳児	４歳児	５歳児	合計
園児数	28人	31人	17人	76人

３　施設の維持管理、修繕・工事

（１）主な修繕

遊具再塗装修繕　441,320円　（山型雲梯、登り棒、太鼓橋、2連ｼｰｿｰ）

（２）主な工事

プールフェンス等改修工事　4,048,000円

上記の評価と課題等

幼児期の遊びや豊かな経験が人生の基盤を作るため、地域の方や専門分野の方を招き総合的な幼児教育・保育に取り組みました。

また、幼児期の学びである「環境を通した遊び」として、自然と触れ合い、命の大切さを学ぶ機会を積極的に取り入れました。

今後は多様性の尊重やインクルーシブ保育を推進し、子どもたちが対等な関係性を保ちながら助けあえるクラスづくりを行っていきます。

令和７年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園担当

決算書ページ	217

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	幼稚園費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	幼稚園費			
	事業	0110300	穂高幼稚園給食運営費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
13,854,000	13,130,380	0	723,620	94.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,103,310		子ども・子育て応援市町村交付金	228,000		
		幼稚園給食費	1,875,340		
		幼稚園職員給食代	999,970		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

業務の安全面・衛生面に留意し、民間活力を生かした効率的な給食調理業務の運営及び食育の推進を図るため、給食調理業務を民間委託しました。

○　主な委託業務
給食調理等業務委託業務（Bグループ）　6,639,600円

上記の評価と課題等

市と給食調理業務委託業者との連携により、日常的な衛生管理と点検を実施することで、安全・安心でおいしい給食作りに努めました。
今後も子どもたちの健やかな発育・発達を目指し、栄養バランスに配慮した給食を提供していきます。

特別会計
部・課別の成果と評価

国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計

1　事業概要

（1）年度末の被保険者数は17,522人で、前年度と比較して649人減少しました。世帯数も前年度と比較して285世帯減少しています。市全体の世帯数に対する加入割合は27.9%、被保険者数での加入割合は18.3%と前年度と比較して、共に減少しています。

（2）財政面の歳入については、令和６年度において、国民健康保険税の現年度調定額が約770万円減少し、税収は約1,550万円の減収となりました。収納率は96.84%で、前年度と比較し0.44%減少しました。これは、社会保険の加入要件の緩和に伴う被保険者が減少したためと考えられます。

歳出については、保険給付費が約1億4,400万円、県への納付金も約1億2,700万円減少しました。

特定健診事業では、集団健診を３日間の休日健診を含めて合計19日間、個別医療機関での健診を市内35医療機関において実施しました。継続受診を勧奨するため、申込がない方への通知のほか健康推進課と国保年金課で連携した電話勧奨を行いました。特定健診の受診率は毎年10月の法定報告終了後に速報値が発表されますが、現時点の見込みでは昨年並みの47%前後となる見通しです。

国民健康保険支払準備基金の年度末基金残高は、285,626,512円です。

2　加入状況

	国保加入者		加入割合		国保１世帯当たり被保険者数
	世帯数	被保険者数	世帯数	被保険者数	
７年３月末	11,765世帯	17,522 人	27.9%	18.3%	1.49人
６年３月末	12,050世帯	18,171 人	28.9%	18.9%	1.51人
増　減	△285世帯	△649人	△1.0%	△0.6%	△0.02

3　経理状況

歳入総額9,386,862,305円、歳出総額9,262,296,629円となり、収支差引額は124,565,676円です。

4　歳入状況

（１）歳入内訳　　（単位:円、％）

区　分	保険税	県支出金	繰入金	その他の収入	合　　計
令和6年度	1,785,852,495	6,769,212,765	706,152,195	125,644,850	9,386,862,305
令和5年度	1,806,528,171	6,900,949,784	756,967,799	129,457,989	9,593,903,743
増　減	△20,675,676	△131,737,019	△50,815,604	△3,813,139	△207,041,438
伸び率	98.1%	93.3%	97.1%	97.8%	98.1%
構成比	19.0%	72.1%	7.5%	1.3%	100.0%

一般会計からの繰入金は556,152,195円で、内訳は次の表のとおりです。

区　　分	令和６年度決算額（円）
保険基盤安定分	450,690,840
未就学児均等割保険税負担金	3,492,500
産前産後保険税繰入金	1,332,212
出産一時金分	10,804,460
財政安定化支援事業	33,135,183
事務費分	56,697,000
合　　計	556,152,195
前年度比較増減	△50,815,604

5 国民健康保険税の状況

（1）現年度分　　（単位：円・％・千円）

年度	調定額 ①	収入済額 ②	不納欠損額③	収入未済額 ①-②-③=④	収納率 ②/①	未済額の年度比較
6	1,803,733,500	1,746,671,681	0	57,061,819	96.84	7,750
5	1,811,459,700	1,762,148,055	0	49,311,645	97.28	4,138
4	1,838,987,800	1,793,813,925	0	45,173,875	97.54	1,163

※未済額の年度比較＝当該年度－前年度

（2）滞納繰越分　　（単位：円・％・千円）

年度	調定額 ①	収入済額 ②	不納欠損額③	収入未済額 ①-②-③=④	収納率 ②/①	未済額の年度比較
6	146,781,052	39,180,814	15,912,542	91,687,696	26.69	△8,242
5	153,839,521	44,380,116	9,530,098	99,929,307	28.85	△8,499
4	174,386,710	51,403,023	14,555,341	108,428,346	29.48	△22,119

※未済額の年度比較＝当該年度－前年度

（3）現年度分＋滞納繰越分　　（単位：円・％・千円）

年度	調定額 ①	収入済額 ②	不納欠損額③	収入未済額 ①-②-③=④	収納率 ②/①	未済額の年度比較
6	1,950,514,552	1,785,852,495	15,912,542	148,749,515	91.56	△491
5	1,965,299,221	1,806,528,171	9,530,098	149,240,952	91.92	△4,361
4	2,013,374,510	1,845,216,948	14,555,341	153,602,221	91.65	△20,956

※未済額の年度比較＝当該年度－前年度

（４）現年度分内訳　　（単位：円・％）

区　分		調定額 ①	収入済額 ②	不納欠損額 ③	収入未済額 ①-②-③=④	収納率 ②/①
一般	医療分	1,169,118,606	1,133,759,502	0	35,359,104	96.98
	支援分	487,158,363	472,264,075	0	14,894,288	96.94
	介護分	147,456,531	140,648,104	0	6,808,427	95.38
	合　計	1,803,733,500	1,746,671,681	0	57,061,819	96.84
退職	医療分	0	0	0	0	－
	支援分	0	0	0	0	－
	介護分	0	0	0	0	－
	合　計	0	0	0	0	－
合計	医療分	1,169,118,606	1,133,759,502	0	35,359,104	96.98
	支援分	487,158,363	472,264,075	0	14,894,288	96.94
	介護分	147,456,531	140,648,104	0	6,808,427	95.38
	合　計	1,803,733,500	1,746,671,681	0	57,061,819	96.84

（５）滞納繰越分内訳　　（単位：円・％）

区　分		調定額 ①	収入済額 ②	不納欠損額 ③	収入未済額 ①-②-③=④	収納率 ②/①
一般	医療分	91,304,903	24,478,418	9,915,448	56,911,037	26.81
	支援分	36,721,046	10,069,467	4,082,917	22,568,662	27.42
	介護分	18,354,036	4,632,929	1,914,177	11,806,930	25.24
	合　計	146,379,985	39,180,814	15,912,542	91,286,629	26.77
退職	医療分	244,871	0	0	244,871	0.00
	支援分	87,883	0	0	87,883	0.00
	介護分	68,313	0	0	68,313	0.00
	合　計	401,067	0	0	401,067	0.00
合計	医療分	91,549,774	24,478,418	9,915,448	57,155,908	26.74
	支援分	36,808,929	10,069,467	4,082,917	22,656,545	27.36
	介護分	18,422,349	4,632,929	1,914,177	11,875,243	25.15
	合　計	146,781,052	39,180,814	15,912,542	91,687,696	26.69

（６）国保税の減免・軽減の状況

① 減免の状況　　令和７年３月31日現在

区　分	規則第２条 該　当 （災害）	規則第４条 該　当 （生活保護該当）	規則第５条 該　当 （生活困窮）	規則第６条 該　当 （給付制限）	規則第７条 該　当 （旧被扶養者）
該当件数	0　件	12　件	0　件	6　件	79 件

② 軽減の状況　　令和７年３月31日現在

国保加入世帯数（A）	軽減区分	世帯数（B）	被保険者数	B／A
11,765　世帯	７割軽減	3,297世帯	4,252人	28.02%
被　保　険　者　数	５割軽減	1,768世帯	2,829人	15.03%
17,522　人	２割軽減	1,310世帯	2,214人	11.13%

②　倒産・解雇・雇い止め等による失業者（非自発的失業者）の軽減申請数等の状況

令和７年３月31日現在

非自発的失業者数（年間申請者数）	年度末現在の非自発的失業者数
148　人　（令和５年度：160人）	228　人　（令和５年度：295人）

（７）滞納処分状況

悪質と判断される滞納者に対しては、税の公平性の観点から処分を行っています。

① 資格確認書等の制限　　令和７年３月31日現在

特別療養費の支給対象			
世帯数	63 世帯	被保険者	87人（うち16人）※

※（うち16人）は、特別療養費の支給対象世帯のうち、18歳未満の被保険者（18歳の誕生日以降、最初の３月31日までの間を含む）及び公費による医療費の助成を受けている被保険者数で、資格確認書等が交付されています。

② 差押及び分納誓約

国民健康保険税の滞納整理は収納課が所管し、効果的・効率的な収納体制が取られています。

③ 令和６年度国民健康保険税不納欠損　　令和７年３月31日現在

不納欠損事由		人数(人)	総件数	金額(円)
時効 執行停止を伴わないもの		2	6	36,900
即時欠損 法第15条の7第5項		0	0	0
執行停止後3年経過 法第15条の7第4項	無財産(同条第1項1号)	35	1,208	14,368,288
	生活困窮(同条第1項2号)	6	80	329,240
	所在不明(同条第1項3号)	10	53	516,066
時効（執行停止3年経過前） 法第18条第1項		14	96	662,048
合計		67	1,443	15,912,542

（８）口座振替の状況

令和６年度最終納期（第12期）の口座振替は、課税世帯数11,765世帯中、7,065世帯が利用しており、第12期での口座振替利用率は60.05％になっています。

また、口座振替成功率は再振替後、約98.96％（87,787件/88,707件）で、収納率を上げるうえで大きな役割を果たしており、今後も口座振替の勧奨に努めていきます。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	263

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	1100010	一般管理費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
33,064,000	33,053,830	0	10,170	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
33,053,830		社会保険・税番号制度システム整備費補助金	4,973,000		
		事務費繰入金	28,080,830		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険事業の安定運営のための事務的経費を支出しました。

主な事務経費

単位：円

予算科目（節）	予算額	予算執行額	予算残	執行内容
報酬	10,069,000	10,063,339	5,661	会計年度任用職員報酬
職員手当等	3,810,000	3,809,386	614	会計年度任用職員諸手当
旅費(費用弁償)	345,000	344,940	60	会計年度任用職員通勤費
需用費(消耗品費)	521,000	520,531	469	事務用消耗品
需用費(印刷製本費)	58,000	57,090	910	封筒作成等
役務費（手数料等）	8,248,000	8,247,063	937	共同電算処理手数料等
委託料(事務事業委託)	9,285,000	9,284,845	155	被保険者証等発行業務委託等
使用料	9,000	8,460	540	有料道路使用料等
備品購入費	50,000	49,500	500	事務備品購入
負担金	669,000	668,676	324	オンライン資格確認等システム運営負担金
合　計	33,064,000	33,053,830	10,170	

上記の評価と課題等

事務経費により国民健康保険事業の安定運営が図られました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	263

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	連合会負担金			
	事業	1100020	連合会負担金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,298,000	3,297,524	0	476	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,297,524		事務費繰入金	3,297,524		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険事業の適正かつ安定的な運営のため、長野県国民健康保険団体連合会へ負担金の納入を行いました。

上記の評価と課題等

国保連合会からの負担金請求に基づき適正に支出しました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	263

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	賦課徴収費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	賦課徴収費			
	事業	1100040	賦課徴収費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,277,000	8,273,348	0	3,652	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
8,273,348		督促手数料	898,073		
		事務費繰入金	7,375,275		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

賦課徴収費の活用により、国民健康保険税の課税業務が円滑に進められ、国保税の適正な賦課ができました。

＜賦課徴収費の予算内容＞　　単位：円

予算科目（節）	予算額	予算執行額	予算残	主な執行内容
需用費（消耗品費）	100,000	99,738	262	事務用消耗品
需用費（燃料費）	10,000	9,111	889	公用車燃料代
需用費（印刷製本費）	762,000	761,310	690	国保税通知用封筒印刷等
役務費	10,000	9,150	850	公用車 廃車手数料
委託料	7,395,000	7,394,039	961	納税通知書作成封入封緘等
合　計	8,277,000	8,273,348	3,652	

上記の評価と課題等

国民健康保険税の賦課徴収業務を適正に行うことができ、安定した事業運営を行えました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	265

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	運営協議会費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	運営協議会費			
	事業	1100050	運営協議会費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
177,000	176,100	0	900	99.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
176,100		事務費繰入金	176,100		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険運営協議会開催状況

令和６年８月１日　　第１回 国民健康保険運営協議会
安曇野市国民健康保険税条例の一部改正について
令和５年度安曇野市国民健康保険事業報告について

令和６年１１月１２日　　国民健康保険運営協議会委員等研修会　　於：安曇野市
長野県の国民健康保険等の現状について
国保の現状と保険者努力支援制度の重要性について

令和７年２月６日　　第２回 国民健康保険運営協議会
安曇野市国民健康保険条例の一部改正について
令和７年度安曇野市国民健康保険事業特別会計予算（案）について

上記の評価と課題等

運営協議会から、国民健康保険事業の運営に対して、ご意見をいただきました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	265

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	趣旨普及費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	趣旨普及費			
	事業	1100060	趣旨普及費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
63,000	62,590	0	410	99.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
62,590		事務費繰入金	62,590		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険制度説明用パンフレットの作成購入により、市民に対して国民健康保険制度の説明や案内が円滑に行えました。

周知用パンフレット

70歳からのお医者さんのかかり方	600部
資格確認書を交付します	500部
資格情報通知書を交付します	300部

上記の評価と課題等

事務経費により市民に対して、国民健康保険事業の制度説明が円滑に行われました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	265

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	療養諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般被保険者療養給付費			
	事業	1100071	一般被保険者療養給付費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,706,934,000	5,706,933,469	0	531	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,706,933,469		普通交付金	5,706,933,469		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

一般被保険者療養給付費の支出状況

一般被保険者療養給付費						
	件数（件）	対前年増減（件）	対前年比（%）	金額（円）	対前年増減（円）	対前年比（%）
令和４年度	347,578	309	100.1	5,811,148,402	△ 83,877,167	98.6
令和５年度	344,563	△ 3,015	99.1	5,851,660,989	40,512,587	100.7
令和６年度	330,526	△ 14,037	95.9	5,706,933,469	△ 144,727,520	97.5

上記の評価と課題等

国保連合会からの請求に基づき適正に支出しました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	265

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	療養諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	一般被保険者療養費			
	事業	1100091	一般被保険者療養費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
47,242,000	47,241,159	0	841	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
47,241,159		普通交付金	47,241,159		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

一般被保険者療養費の支出状況

一般被保険者療養費						
	件数（件）	対前年増減（件）	対前年比（%）	金額（円）	対前年増減（円）	対前年比（%）
令和４年度	7,393	29	100.4	47,406,586	△ 1,432,637	97.1
令和５年度	7,485	92	101.2	50,529,591	3,123,005	106.6
令和６年度	7,383	△ 102	98.6	47,241,159	△ 3,288,432	93.5

上記の評価と課題等

療養費は、療養給付費の補完的事業です。

国保連合会からの請求に基づき適正に支出しました。また、被保険者からの申請によるものは、国保連合会で審査のうえ支給決定を行い適正に支出しました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	265

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	療養諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	05	審査支払手数料			
	事業	1100111	審査支払手数料		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
20,991,000	20,990,520	0	480	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
20,990,520		普通交付金	20,990,520		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国保連合会において診療報酬請求明細書の点検審査を行い、審査手数料の支出を行いました。

年　度	審査件数	対前年増減（件）	対前年比（%）
令和４年度	354,809	1637	100.5
令和５年度	349,521	△ 5,288	98.5
令和６年度	335,997	△ 13,524	96.1

上記の評価と課題等

国保連合会において、医療費請求審査が円滑かつ的確に行われ、請求に基づき手数料を適正に支出しました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	265

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	高額療養費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般被保険者高額療養費			
	事業	1100121	一般被保険者高額療養費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
892,259,000	892,258,576	0	424	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
892,258,576		普通交付金	892,258,576		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

一般被保険者高額療養費の支出状況

一般被保険者高額療養費						
	件数（件）	対前年増減（件）	対前年比（%）	金額（円）	対前年増減（円）	対前年比（%）
令和４年度	15,413	34	100.2	822,365,505	△ 36,370,126	95.8
令和５年度	15,742	329	102.1	885,124,177	62,758,672	107.6
令和６年度	15,354	△ 388	97.5	892,258,576	7,134,399	100.8

上記の評価と課題等

国保連合会からの請求に基づき適正に支出しました。また、被保険者からの申請によるものは、審査のうえ支給決定を行い適正に支出しました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	265

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	高額療養費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	一般被保険者高額介護合算療養費			
	事業	1100135	一般被保険者高額介護合算療養費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
749,000	748,905	0	95	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
748,905		普通交付金	748,905		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

一般被保険者高額介護合算療養費の支出状況

一般被保険者高額介護合算療養費						
	件数（件）	対前年増減（件）	対前年比（%）	金額（円）	対前年増減（円）	対前年比（%）
令和４年度	39	7	121.9	961,837	214,850	128.8
令和５年度	41	2	105.1	872,287	△ 89,550	90.7
令和６年度	31	△ 10	75.6	748,905	△ 123,382	85.9

上記の評価と課題等

被保険者からの申請により審査のうえ支給決定を行い、適正に支出しました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	267

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	移送費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般被保険者移送費			
	事業	1100141	一般被保険者移送費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
0	0	0	0	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

負傷・疾病等により移動が困難な被保険者が、医師の指示により一時的・緊急的な必要性があって移送された場合に支給します。

上記の評価と課題等

令和６年度は支払いがありませんでした。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	267

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	出産育児諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	出産育児一時金			
	事業	1100161	出産育児一時金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
16,207,000	16,206,690	0	310	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
10,804,460		出産育児一時金繰入金	10,804,460		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険被保険者が出産したときに、出産育児一時金の支給を行いました。

区　分	件数（件）	金額（円）
令和４年度	39	16,205,030
令和５年度	39	18,739,880
令和６年度	32	16,206,690

上記の評価と課題等

国保連合会からの請求に基づき適正に支出しました。また、被保険者からの支給申請によるものは、審査のうえ支給決定を行い適正に支出しました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	267

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	出産育児諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	審査支払手数料			
	事業	1100162	審査支払手数料		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
7,000	6,300	0	700	90.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

出産育児一時金に係る審査支払手数料を国保連合会へ支出しました。

年　度	件数（件）
令和４年度	36
令和５年度	36
令和６年度	30

上記の評価と課題等

国保連合会からの請求に基づき適正に支出しました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	267

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	葬祭諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	葬祭費			
	事業	1100171	葬祭費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,060,000	3,060,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険被保険者が死亡し葬儀を執り行った場合、葬祭執行者に葬祭費の支給を行いました。

区　分	件数（件）	金額（円）
令和４年度	111	3,330,000
令和５年度	114	3,420,000
令和６年度	102	3,060,000

上記の評価と課題等

葬祭執行者からの支給申請により、審査のうえ支給決定を行い適正に支出しました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	267

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	06	精神諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	精神給付金			
	事業	1100181	精神給付金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
19,963,000	19,962,624	0	376	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険被保険者で障害者総合支援法による精神通院医療受給者が、受給者本人が指定した医療機関で受診した場合、自己負担分に係る費用を現物給付による支給を行いました。

区　分	件数（件）	金額（円）
令和４年度	16,909	19,777,343
令和５年度	17,007	20,042,022
令和６年度	17,292	19,962,624

上記の評価と課題等

国保連合会からの請求に基づき適正に支出しました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	267

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	07	傷病手当諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	傷病手当金			
	事業	1100182	傷病手当金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
0	0	0	0	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

給与の支払いを受けている国保加入者が、新型コロナウイルス感染症に感染した、または発熱等の症状があり感染が疑われることにより、療養のため勤務できず、給与を受けることができなかった時に給与の３分の２の額を傷病手当金として支給をしました。

区　分	件数（件）	金額（円）
令和４年度	30	785,043
令和５年度	1	9,080
令和６年度	0	0

＊令和５年５月７日までに感染した方が対象

上記の評価と課題等

令和６年度は支払いがありませんでした。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	267

予算				総合計画		
	款	03	国民健康保険事業費納付金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	医療給付費分		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般被保険者医療給付費分			
	事業	1100371	一般被保険者医療給付費分		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,434,957,000	1,434,956,950	0	50	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
487,490,735		保険者努力支援分	53,890,000	未就学児均等割保険税繰入金	2,492,500
		特別調整交付金	10,907,000	産前産後保険税繰入金	1,001,212
		保険基盤安定事業（軽減分）	184,421,350	財政安定化支援事業	33,135,183
		保険基盤安定事業（支援分）	106,643,490	基金繰入金	95,000,000

主要な施策（事務事業）の成果の概要

長野県へ国民健康保険事業費納付金を支出しました。

区　分	支出額（円）	対前年増減額（円）	対前年比（%）
令和４年度	1,641,271,549	△ 31,568,895	98.1
令和５年度	1,548,508,727	△ 92,762,822	94.3
令和６年度	1,434,956,950	△ 113,551,777	92.7

上記の評価と課題等

長野県からの請求に基づき適正に支出しました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	269

予算				総合計画		
	款	03	国民健康保険事業費納付金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	後期高齢者支援金等分		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般被保険者後期高齢者支援金等分			
	事業	1100391	一般被保険者後期高齢者支援金等分		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
625,391,000	625,390,769	0	231	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
160,606,000		保険基盤安定事業（軽減分）	75,560,000	基金繰入金	40,000,000
		保険基盤安定事業（支援分）	43,715,000		
		未就学児均等割保険税繰入金	1,000,000		
		産前産後保険税繰入金	331,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

長野県へ国民健康保険事業費納付金を支出しました。

区　分	支出額（円）	対前年増減額（円）	対前年比（%）
令和４年度	578,671,686	△ 10,791,212	98.2
令和５年度	635,406,868	56,735,182	109.8
令和６年度	625,390,769	△ 10,016,099	98.4

上記の評価と課題等

長野県からの請求に基づき適正に支出しました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	269

予算				総合計画		
	款	03	国民健康保険事業費納付金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	介護納付金分		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護納付金分			
	事業	1100411	介護納付金分		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
211,878,000	211,877,489	0	511	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
55,351,000		保険基盤安定事業（軽減分）	25,512,000		
		保険基盤安定事業（支援分）	14,839,000		
		基金繰入金	15,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

長野県へ国民健康保険事業費納付金を支出しました。

区　分	支出額（円）	対前年増減額（円）	対前年比（%）
令和４年度	206,123,158	△ 1,515,256	99.3
令和５年度	215,165,174	9,042,016	104.4
令和６年度	211,877,489	△ 3,287,685	98.5

上記の評価と課題等

長野県からの請求に基づき適正に支出しました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	269

予算				総合計画		
	款	04	保健事業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健事業費			
	事業	1100250	保健事業費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
11,908,000	11,631,273	0	276,727	97.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
11,631,273		保険者努力支援分	3,929,000		
		県繰入金（2号分）	2,420,000		
		事務費繰入金	5,282,273		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　安曇野市国民健康保険高額療養費資金貸付規則により、高額療養費支給見込額の８割を貸付する事業です。令和６年度申請がありませんでした。

２　後発医薬品（ジェネリック医薬品）の活用を促進するため、当該医薬品の利用により軽減差額が200円以上となる被保険者を対象に、通知を送付しました。
　年２回（８月および２月）・・・合計279通

３　安曇野市国保健康ポイント制度実施要綱により、平成30年度から開始しています。
　自らが楽しみながら健康づくりを行い、健康意識を高め、健診等の受診率向上を目指すことを目的に、対象となる健診（検診）を受診することでポイントが貯まり、年度末の集計により500ポイントごと500円の割引券を郵送します。
　ポイント券は次年度の健（検）診等受診時に割引券として使用できるほか、市内の農産物直売所や喫茶および入浴施設等で利用できるよう配布しました。ポイント券未利用者に対しては、利用勧奨を含めたアンケート調査を行い、利用施設等を検証しました。

・配布実績：計 5,401枚（前年度比 123枚減）、4,687人（155人減）
　500ポイント割引券・・・3,991人 × 1枚 ＝ 3,991枚
　1,000ポイント割引券・・・ 678人 × 2枚＝ 1,356枚
　1,500ポイント割引券・・・ 18人 × 3枚 ＝ 54枚
・使用実績：計 4,353枚（2,176,500円）　使用率：80.6%　（前年比3.8%増）

上記の評価と課題等

高額療養費貸付金は、申請がありませんでした。

健康意識を高め、健診受診率向上に繋げるための国保健康ポイント制度普及に努め、ポイント割引券の利用を促すとともに、ポイント割引券の利用範囲の拡大などで利便性を高めます。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	269

予算				総合計画		
	款	04	保健事業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	特定健康診査等事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	特定健康診査等事業費			
	事業	1100249	特定健康診査等事業費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
124,269,000	124,261,480	0	7,520	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
43,220,000		特定健康診査等負担金	22,364,000		
		保険者努力支援分	7,532,000		
		事務費繰入金	11,982,000		
		特定健診等個人負担金	1,342,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　事業の成果

生活習慣病の発症および重症化予防のため、健康診査の実施及び人間ドックの助成を行いました。受診機会の確保のため、健診未受診者へ通知等による個別の受診勧奨を行い、ながの電子申請を活用した24時間の健診受付体制を継続しました。集団健診は３日間の休日健診を含めて19日間実施しました。

	令和４年度（報告値）	令和５年度（報告値）	令和６年度（推計値）
受診率(%)	47.5%	47.3%	46.2%
対象者数(人)	14,022	14,218	13,123
受診者数(人)	6,667	6,730	6,066

報告値：通年国保に加入した40歳から74歳(年度末)を受診者として、翌年10月に法定報告します。

特定健康診査等　受診状況内訳　（人）

	令和４年度	令和５年度	令和６年度
集団健診	1,552	1,436	1,382
個別健診	2,308	2,290	2,207
人間ドック	2,513	2,498	2,474
内訳)一日ドック	2,394	2,393	2,378
内訳)一泊ドック	119	105	96
脳ドック	797	767	667
再)特定健診含	14	20	21
みなし健診	767	974	331
計	7,937	7,965	7,061

特定健康診査の集団健診及び人間ドック受診者には40歳未満の受診者を含みます。

上記の評価と課題等

団塊世代の後期高齢者医療への移行などにより受診者数は減少しましたが、対象者数も減少が見込まれるため、法定報告による健診受診率は昨年度同様の47%台を見込んでいます。若年期からの生活習慣病の発症・重症化予防と介護予防のため、引き続き健診受診を勧奨し、必要な保健指導の実施による医療費増加の抑制と健康寿命の延伸を目指します。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	271

予算				総合計画		
	款	05	積立金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	積立金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	基金積立金			
	事業	1100261	基金積立金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
30,000,000	30,000,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険支払準備基金保有額状況

単位：円

区　分	令和４年度	令和５年度	令和６年度
基金取崩額	60,000,000	150,000,000	150,000,000
基金積立額	25,872,058	10,913,539	30,838,190
年度末基金保有額	543,874,783	404,788,322	285,626,512

上記の評価と課題等

令和６年度は、基金の取り崩しにより基金残高が減少しました。安定的な運営のために一定程度の残高を保有する必要があります。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	271

予算				総合計画		
	款	05	積立金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	積立金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	基金積立金利子			
	事業	1100266	基金積立金利子		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
839,000	838,190	0	810	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
838,190		基金積立金利子	838,190		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

会計課から示された基金運用利息配分表により、支払準備基金への積立てを行いました。

令和６年度利息による積立額・・・838,190円

上記の評価と課題等

会計課から示された基金運用利息額を適正に積立てました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	271

予算				総合計画		
	款	06	公債費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	公債費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一時借入金利子			
	事業	1100275	一時借入金利子		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
0	0	0	0	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

一時的資金不足に対する借入金利子の支払いです。

上記の評価と課題等

令和６年度借入金はありませんでした。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	271

予算				総合計画		
	款	07	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金利子及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般被保険者保険税還付金			
	事業	1100281	一般被保険者保険税還付金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,757,000	5,756,400	0	600	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

資格喪失、所得更正等の事由により過年度へ遡及して国保税の減額更正がされ、還付が必要となる納税義務者に対し、迅速な対応ができました。

	還付した額（内）充当額（円）			還付対象者（人）	充当対象者（人）
令和４年度	4,863,033	（内）	403,333	105	42
令和５年度	4,424,167	（内）	207,500	103	21
令和６年度	5,756,400	（内）	229,600	88	21

上記の評価と課題等

地方税法の規定に基づき、国保税の還付事務が適切に遂行できました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	271

予算				総合計画		
	款	07	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金利子及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	退職被保険者等保険税還付金			
	事業	1100291	退職被保険者等保険税還付金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
0	0	0	0	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

地方税法の規定に基づき支払いをします。

上記の評価と課題等

令和６年度は支払いがありませんでした。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	273

予算				総合計画		
	款	07	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金利子及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	一般被保険者還付加算金			
	事業	1100301	一般被保険者還付加算金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
48,000	47,300	0	700	98.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国保税の還付金（過誤納金）が発生した場合、地方税法第17条の4の規定に基づき、国保税が納入された日の翌日から起算して支払いが決定された日までの間の日数に応じ、年0.9%（令和３年１月１日から令和３年12月31日までの期間は年1.0%、平成30年１月１日から令和２年12月31日までの期間は年1.6%）の割合を乗じて計算した額を、還付すべき税額に加算します。

	還付した額（内)充当額（円）			還付対象者（人）	充当対象者（人）
令和４年度	50,500	（内）	0	4	0
令和５年度	16,200	（内）	0	6	0
令和６年度	47,300	（内）	0	11	0

上記の評価と課題等

地方税法の規定に基づき、適切に国保税の過誤納金に対する還付加算金の事務処理ができました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	273

予算				総合計画		
	款	07	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金利子及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	04	退職被保険者等還付加算金			
	事業	1100311	退職被保険者等還付加算金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
0	0	0	0	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

地方税法の規定に基づき支払いをします。

上記の評価と課題等

令和６年度は支払いがありませんでした。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	273

予算				総合計画		
	款	07	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金利子及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	05	保険給付費等交付金償還金			
	事業	1100315	保険給付費等交付金償還金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
65,266,000	65,265,143	0	857	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
48,876,800		療養給付費等返還金	48,876,800		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

償還金内訳

令和５年度国民健康保険保険給付費等交付金普通交付金返還金	64,147,877円	県から交付された国民健康保険保険給付費等交付金普通交付金について、実績に基づき超過分の返還を行いました。
令和４年度退職被保険者等に係る国民健康保険事業費納付金精算金	1,031,266円	退職被保険者等に係る国民健康保険事業費納付金について確定額に基づき精算金を県に支払いました。
令和５年度健康保険組合等出産育児一時金臨時補助金返還金	86,000円	県から交付された健康保険組合等出産育児一時金臨時補助金について、実績に基づき超過分の返還を行いました。

上記の評価と課題等

実績報告書提出後、県からの返還請求に基づき適正に返還処理を行いました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	273

予算				総合計画		
	款	07	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金利子及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	06	一般被保険者返納金還付金			
	事業	1100361	一般被保険者返納金還付金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
0	0	0	0	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

資格喪失後受診などによる返納金が過納となった場合に支払いをします。

上記の評価と課題等

令和６年度は支払いがありませんでした。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	273

予算				総合計画		
	款	08	予備費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	予備費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	予備費			
	事業	1100340	予備費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
101,914,000	0	0	101,914,000	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

一般管理費　備品購入費に　１件　50,000円を充用しました。

上記の評価と課題等

壊れた備品の買替え支払いのため、やむを得ないものとして充用により対応しました。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計

1　事業概要

後期高齢者医療制度は、高齢者が安心できる適切な医療の確保を目的として創設されました。平成 20 年の制度施行以来、新たな保険料負担に対する激変緩和措置として、一定の条件に該当する方の保険料に対し軽減措置を実施してきましたが制度の持続性を高めるため、世代間・世代内の負担の公平を図り、負担能力に応じた負担をしていただく観点により平成 29 年度から見直しが実施され、令和４年 10 月 1 日からは一定以上の所得のある世帯の方に対する窓口負担割合の２割化が新設されました。

後期高齢者医療制度は、長野県後期高齢者医療広域連合が保険者として事業の運営を行い、長野県内全市町村で構成されています。

広域連合と市町村で役割分担が明確化されており、保険料については広域連合が賦課し、市町村が徴収をすることとなっています。

市町村は特別会計を設け、徴収した保険料や決められた事務的経費などを広域連合へ納付します。

2　加入状況　（令和７年３月 31 日現在）

	後期高齢者被保険者数		全人口に占める被保険者の加入割合
	全被保険者数	内障害認定	
令和 6 年度	18,304 人	138 人	19.2 %
令和 5 年度	17,846 人	161 人	18.9 %
令和 4 年度	17,238 人	189 人	17.9 %

3　一人当りの年間医療費の状況

令和 6 年度	902,224　円
令和 5 年度	883,695　円
令和 4 年度	860,069　円

※令和６年度は速報値。

4　歳入状況

(1)　歳入内訳　（単位:円）

区　　分	特別徴収保険料（現年分）①	普通徴収保険料（現年分）②	普通徴収保険料（滞納繰越分）③	督促手数料④	小計(⑤) ①＋②＋③＋④
令和 6 年度	827,787,600	459,010,500	1,434,306	162,400	1,288,394,806
令和 5 年度	734,006,200	362,973,404	1,080,660	144,100	1,098,204,364
令和 4 年度	702,962,900	350,392,000	1,236,848	150,400	1,054,742,148

区　　分	国庫補助金⑥	事務費繰入金⑦	保険基盤安定繰入金⑧	繰越金⑨	保険料還付金還付加算金⑩	延滞金⑪	合　　計 (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪)
令和 6 年度	0	46,905,127	308,187,839	33,663,891	727,300	49,000	1,677,927,963
令和 5 年度	0	45,296,522	275,869,414	34,182,559	825,700	75,100	1,454,453,659
令和 4 年度	0	37,351,530	263,288,168	28,590,942	473,800	24,100	1,384,470,688

(2)　一般会計繰入金内訳　　（単位:円）

区　　分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
保険基盤安定繰入金	308,187,839	275,869,414	263,288,168
広域連合事務費分	40,925,627	39,881,322	32,281,630
特別会計事務費分	5,979,500	5,415,200	5,069,900
合　　計	355,092,966	321,165,936	300,639,698

(3)　保険料収納状況

ア保険料率　均等割額：６・７年度　44,365 円　（４・５年度　40,907 円）

所得割率：６・７年度　9.45 ％　（４・５年度　8.43%）

イ保険料収納率等の推移

特別徴収：現年度分　　（単位：円・%）

年度	調 定 額①	収入済額②	不　納 欠損額③	収　入 未済額 (①-②-③)	収納率 ②/①	未済額の 年度比較	備　考
6	825,884,300	827,787,600	0	△1,903,300	100.23		還付未済
5	733,240,200	734,006,200	0	△766,000	100.10		還付未済
4	701,933,500	702,962,900	0	△1,029,400	100.15		還付未済

※未済額の年度比較＝当該年度―前年度

普通徴収：現年度分　　（単位：円・%）

年度	調 定 額①	収入済額②	不　納 欠損額③	収　入 未済額 (①-②-③)	収納率 ②/①	未済額の 年度比較	備 考
6	461,960,200	459,010,500	0	2,949,700	99.36	1,305,004	
5	364,618,100	362,973,404	0	1,644,696	99.55	223,996	
4	351,812,700	350,392,000	0	1,420,700	99.60	△435,698	

※未済額の年度比較＝当該年度-前年度

現年度分計　（特別徴収＋普通徴収）　　（単位：円・%）

年度	調 定 額①	収入済額②	不　納 欠　損 額③	収　入 未済額 (①-②-③)	収納率 ②/①	未済額の 年度比較	備 考
6	1,287,844,500	1,286,798,100	0	1,046,400	99.92	167,704	
5	1,097,858,300	1,096,979,604	0	878,696	99.92	487,396	
4	1,053,746,200	1,053,354,900	0	391,300	99.96	△1,177,598	

※未済額の年度比較＝当該年度-前年度

滞納繰越分　　（単位：円・%）

年度	調 定 額①	収入済額②	不　納 欠損額③	収　入 未済額 (①-②-③)	収納率 ②/①	未済額の 年度比較	備 考
6	5,169,156	1,434,306	148,500	3,586,350	27.75	158,690	
5	5,323,020	1,080,660	814,700	3,427,660	20.30	△354,160	
4	5,435,168	1,236,848	416,500	3,781,820	22.76	286,950	

※未済額の年度比較＝当該年度-前年度

現年度分計＋滞納繰越分　　（単位：円・％）

年度	調 定 額①	収入済額②	不 納 欠損額③	収 入 未済額 (①-②-③)	収納率 ②/①	未済額の 年度比較	備 考
6	1,293,013,656	1,288,232,406	148,500	4,632,750	99.63	326,394	
5	1,103,181,320	1,098,060,264	814,700	4,306,356	99.54	133,236	
4	1,059,181,368	1,054,591,748	416,500	4,173,120	99.57	△890,648	

※未済額の年度比較＝当該年度-前年度

(4)　保険料の軽減状況（令和７年３月 31 日：**被保険者数　18,304　人**）①

均等割　軽減区分	一般(人)②	被扶養者 (人)③	小　計(人) (②+③) ④	割合(%) ④/①
7　割　軽　減	6,739	602	7,341	40.10
5　割　軽　減	3,296	90	3,386	18.50
2　割　軽　減	2,400	46	2,446	13.36
合　　計	12,435	738	13,173	71.97

※　後期高齢者医療保険制度加入直前に被用者保険（国保.国保組合は対象外）の被扶養者であった被保険者については、所得割がかからず、制度加入から２年間は５割軽減となります。

(5)　滞納処分状況

a　被保険者証の制限　　令和７年３月 31 日現在

	短 期 被 保 険 者 証				資格証明書
	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	合　計	
世　帯　数	0	0	0	0	0
被保険者数(人)	0	0	0	0	0

※短期者証有効期限：なし

b　差　押　平成 23 年度から、後期高齢者医療保険料の滞納整理を収納課の所管とし、効果的・効率的な収納体制が取られています。

c　分納誓約について　　同上

d　令和６年度後期高齢者医療保険料不納欠損状況　　令和７年３月 31 日現在

不 納 欠 損 事 由	人数 (人)	総 期数 (件)	金　額(円)
時　　効　執行停止を伴わないもの	3	10	73,300
即 時 欠 損　法第 15 条の 7 第 5 項			
時　　効（執行停止済）	4	10	75,200
合　　計	7	20	148,500

5　経理状況

歳入総額 1,677,927,963 円、歳出総額 1,633,356,952 円となり、収支差引額は 44,571,011 円です。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	285

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	2600010	一般管理費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,000	4,356	0	644	87.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,356		事務費繰入金	4,356		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

後期高齢者医療制度は、長野県後期高齢者医療広域連合と市町村が、事業運営に係る事務分担を明確にして、運営されています。

１　被保険者証の交付事務
申請・各種届出の受付、広域連合への申請書等の送付、端末への情報入力、広域連合から送付された資格確認書等の被保険者への交付などを行います。

２　医療給付事務
所得・世帯状況の把握、負担区分判定等の広域連合との連携処理（負担区分判定に必要な情報等の送付）などを行います。

３　保険料の賦課・徴収に係る事務
保険料の徴収、保険料の減免・徴収猶予に係る申請の受付等を行います。

上記の評価と課題等

被保険者証の交付、高額介護合算療養費等給付関係の申請受付事務等が順調に遂行できました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	285

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	徴収費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	徴収費			
	事業	2600030	徴収費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,111,000	6,109,055	0	1,945	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,109,055		事務費繰入金	5,946,655		
		督促手数料	162,400		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

事務費の確保により、後期高齢者医療保険料徴収事務を行いました。

・納付書等封入封緘業務委託　　5,626,043円

上記の評価と課題等

収納課との連携等により、適切かつ効率的な保険料徴収事務が行われ、現年度分については、99.92%となりました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	285

予算				総合計画		
	款	02	後期高齢者医療広域連合納付金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	後期高齢者医療広域連合納付金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	後期高齢者医療広域連合納付金			
	事業	2600070	広域連合納付金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,626,517,000	1,626,516,041	0	959	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
349,141,955		事務費繰入金	40,954,116		
		保険基盤安定繰入金	308,187,839		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

後期高齢者医療保険の保険者である『長野県後期高齢者医療広域連合』へ、法令等で定められた納付金を納入することにより、健全な運営が保たれています。

１　保険料納付金　1,277,402,575円
広域連合と市町村の役割分担が明確化されており、広域連合は保険料の賦課、市町村は保険料の徴収事務を担うこととされており、市町村は徴収した保険料等については、特別会計を設け、広域連合へ納付します。（高齢者の医療の確保に関する法律第105条）

２　保険基盤安定納付金　308,187,839円
低所得者等の保険料軽減分について、市町村と県が公費で負担します。(県3/4・市1/4)
市町村は、広域連合の条例の定めるところにより、減額した保険料相当分を特別会計へ繰り入れ、広域連合へ納付します。（高齢者の医療の確保に関する法律第99条）

３　事務費負担金　40,925,627円
事業運営に係る共通経費として、前年度10月1日現在の人口を基準に、市町村均等割10%、人口割45%、高齢者人口割45%で算定した額を、広域連合へ納付します。(広域連合規約第17条)

上記の評価と課題等

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、決められた納付金を適正に納入することができました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	285

予算				総合計画		
	款	03	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保険料還付金			
	事業	2600080	保険料還付金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
728,000	727,500	0	500	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

所得の減額更正等により、過年度へ遡及して保険料の減額更正が行われ、それに伴い発生する保険料の還付事務を適切に遂行することができました。

後期高齢者医療被保険者還付金の推移　（単位：円・人）

	還付した額（内)充当額		還付対象者	充当対象者
令和４年度	474,600	（内）34,600	47	8
令和５年度	826,000	（内）　3,800	127	2
令和６年度	727,500	（内）10,600	138	2

上記の評価と課題等

地方税法の規定に基づき、保険料の還付事務が適切に遂行できました。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	285

予算				総合計画		
	款	03	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	還付加算金			
	事業	2600085	還付加算金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
0	0	0	0	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

後期高齢者医療保険料（以下「保険料」という）の還付金（過誤納金）が発生した場合、地方税法第17条の4の規定に基づき、保険料が納付された翌日から起算して支払いが決定された日までの間の日数に応じて、年 0.9%（令和３年１月１日から令和３年12月31日までの期間は年1.0%、平成30年１月１日から令和２年12月31日までの期間は年1.6%）の割合を乗じて計算した額を、還付すべき過誤納額（保険料）に加算します。

上記の評価と課題等

還付加算金の該当となる還付金はありませんでした。

令和７年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	285

予算				総合計画		
	款	04	予備費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	予備費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	予備費			
	事業	2600150	予備費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
39,850,000	0	0	39,850,000	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

予備費の執行はありませんでした。

上記の評価と課題等

予備費の執行はありませんでした。

介護保険特別会計

介護保険特別会計　概要

1　要介護認定者と介護給付の状況

令和７年３月末における第１号被保険者数（65 歳以上）は 30,661 人で、前年の同時点より 0.09%減少しました。増加率は前年と 0.36%減少となりました。

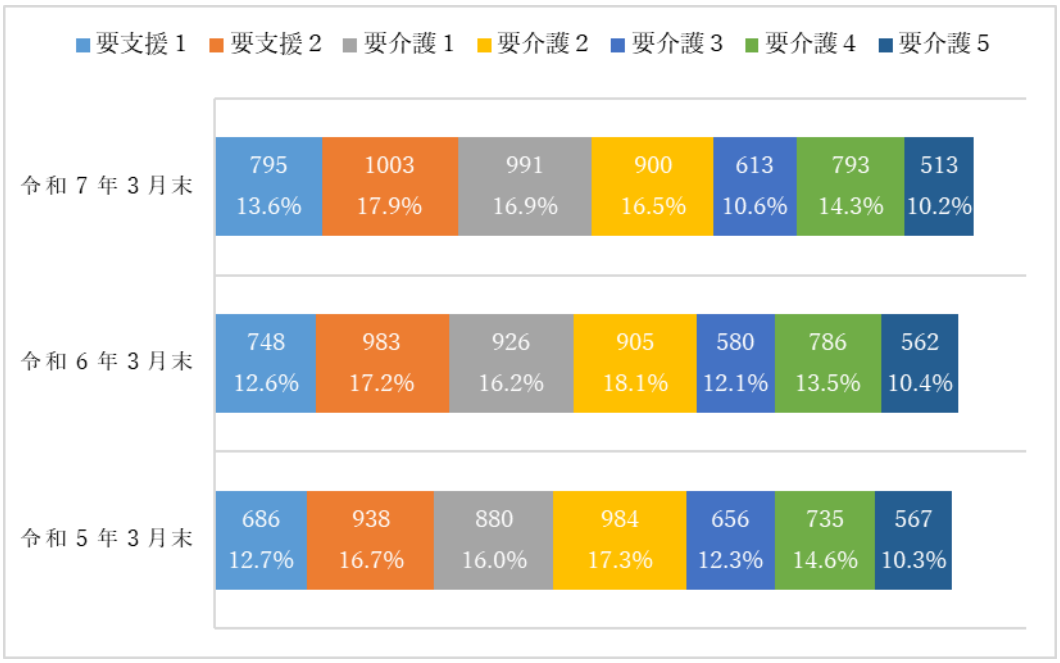
第１号被保険者数の推移（介護保険事業状況報告）　（人）

	令和５年３月末	令和６年３月末	令和７年３月末
65 歳～74 歳	13,470	12,939	12,417
75 歳～84 歳	11,198	11,787	12,233
85 歳以上	5,937	5,962	6,011
合計	30,605	30,688	30,661

また同時点の、第１号被保険者における要介護・要支援認定者数は、5,608 人で、前年に比べ 118 人（2.15%）増加しており、ここ４年間は増加しています。第１号被保険者数に対する認定者数の割合（認定率）は、18.32%と前年の 17.89%に対して 0.43 ポイント増加しました。

また、介護度別にみると、要支援・要介護１・２の認定者数は 3,689 人で前年に比べ 127 人増加しました。介護度の高い認定者数（要介護 3～5）は 1,919 人で前年に比べ９人減少となりました。

第１号被保険者の要介護認定者数の推移（介護保険事業状況報告）　（人）



介護給付の受給者は、居宅サービス等の受給者が 3,771 人で前年より 107 人増加、地域密着型サービス受給者は 1,114 人で前年より 26 人増加、施設サービス受給者が 822 人で前年より８人減少となりました。

介護給付の受給者(介護保険事業状況報告)(人)

	令和５年３月分	令和６年３月分	令和７年３月分
居宅介護（介護予防）サービス受給者数	3,638	3,664	3,771
地域密着型（介護予防）サービス受給者数	1,120	1,088	1,114
施設介護サービス受給者数	830	830	822

２　介護予防・日常生活支援総合事業の状況

この事業は、要支援者等に対して、要介護状態等となることの予防又は要介護状態の軽減若しくは重度化防止及び地域における自立した日常生活の支援を実施することにより、一人ひとりが活動的で生きがいのある生活を送ることができるようになることを目的としています。

(1)総合事業各年度の3月末における利用者数(人)

サービス種類	令和４年度末	令和５年度末	令和６年度末
訪問介護相当サービス	236	268	230
訪問型サービスＡ	81	71	71
通所介護相当サービス	666	757	767
通所型サービスＡ	71	61	74
合計	1,054	1,157	1,142

(2)介護予防普及啓発事業の参加延べ人数(人)

サービス種類	令和４年度	令和５年度	令和６年度
拠点介護予防教室	439	588	738
認知機能向上教室	421	513	494
複合型介護予防教室（運動機能向上教室）	1,630	1,827	1,030
口腔機能向上教室	525	291	346
合計	3,015	3,219	2,608

(3)介護予防体操動画配信事業の参加延べ人数(人)

介護予防体操動画配信事業	－	1,664	2,026

３　歳入歳出の状況

（１）　決算額

	令和４年度決算額	令和５年度決算額	**令和６年度決算額**
歳入総額	9,925,408,585 円	10,121,514,791 円	**10,351,523,359 円**
歳出総額	9,700,938,238 円	9,831,042,171 円	**10,145,473,443 円**
歳入歳出差引額	224,470,347 円	290,472,620 円	**206,049,916 円**

（２） 歳入

ア　主な歳入　　（単位：千円）

年度	保 険 料	国庫支出金	支払基金交付金	県支出金	繰 入 金
令和６年度	2,200,630	2,400,757	2,595,873	1,438,194	1,399,065
令和５年度	2,148,706	2,364,124	2,566,424	1,423,495	1,369,791
令和４年度	2,132,166	2,309,020	2,529,099	1,355,467	1,339,908

※償還金を含む金額です。

イ　介護保険料の内訳

	年度	調定額 ①　(円)	収入済額 ②　(円)	収納率 ②/①	不納欠損額 (円)	収入未済額 (円)
現年度分特別徴収	6	2,022,342,280	2,024,015,330	100.0%	0	△1,673,050
	5	1,979,760,380	1,981,273,280	100.0%	0	△1,512,900
	4	1,976,704,680	1,977,810,560	100.0%	0	△1,105,880
現年度分普通徴収	6	177,698,590	173,644,650	97.72%	0	4,053,940
	5	167,760,960	163,617,289	97.53%	0	4,143,671
	4	156,058,800	151,709,920	97.21%	0	4,348,880
滞納繰越分	6	9,617,266	2,970,871	30.89%	400,060	6,246,335
	5	9,912,236	3,816,294	38.50%	617,407	5,478,536
	4	11,131,482	2,646,308	23.77%	2,947,458	5,537,716
合　計	6	2,209,658,136	2,200,630,851	99.59%	400,060	8,627,225
	5	2,157,433,576	2,148,706,863	99.60%	617,407	8,109,307
	4	2,143,894,962	2,132,166,788	99.45%	2,947,458	8,780,716

＊現年度分特別徴収の収入未済額△1,673,050 円は、年度途中で死亡された方などの保険料ですが、年金保険者（日本年金機構等）への返納手続きを要する場合もあり、令和６年度末時点では還付未済となっています。

ウ　介護保険料の減免実績

年度	件数	減免額
令和６年度	０件	０円

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	303

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	3100010	一般管理費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
18,308,000	18,302,907	0	5,093	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
18,302,907		介護保険審査支払等システム改修経費補助金	3,287,000		
		事務費繰入金	14,133,907		
		事務費繰越金	882,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　地域密着型事業所等の指導・管理
・令和６年度の指定更新および中間年における運営指導
指定更新　　地域密着型事業所（1事業所）　居宅介護支援事業所（4事業所）
中間年　　地域密着型事業所（11事業所）　居宅介護支援事業所（3事業所）
その他指導　地域密着型事業等（９事業所）　居宅介護支援事業所（１事業所）

2　介護事業者台帳システム「介護台帳LIGHT」使用
年間：令和６年４月１日～令和７年３月31日　330,000 円（使用料）

3　介護保険システムの改修
・介護報酬改定に伴う介護保険システム（Reams.NET)の改修　4,884,000 円
高額介護サービス判定、高額合算、償還払い、自己作成ケアプラン登録等の機能追加
・介護報酬改定に伴う地域包括支援システムの改修　1,153,900 円
支援計画登録、給付管理、請求管理、サービス利用票等の作成等の機能を追加
・介護報酬改定に伴う介護保険システム（Reams.NET)の改修　536,800 円
保険料における所得基準(80万円の基準)、高額介護サービス・補足給付における所得基準(80万円の基準)を改正し80.9万円とする制度改正に係るシステム改修

4　特定個人情報データ標準レイアウト改版分　353,100 円
マイナンバーの情報連携に用いるデータ標準レイアウトが、令和６年６月に改版が行われ、対応するために介護保険システム（Reams.NET）の情報照会で使用する事務手続のマスタの最新化を行いました。

上記の評価と課題等

新規指定申請に伴う現地確認・その他事業所の運営確認のための運営指導を行いました。定期的に実施している指定更新及び中間年に行う地域密着型事業所等の運営指導も行いました。今後も事業所の適切な管理運営を図る必要性から、定期的に行っていきます。

介護事業者台帳システムを継続活用することにより、指定事業者管理が一元化できています。また県とのデータ連携を定期的に行うことで、情報の正確性が得られています。今後、電子申請ｻｰﾋﾞｽの活用を進めることで、事務の効率化に繋げていきます。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	303

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	徴収費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	賦課徴収費			
	事業	3100020	賦課徴収事務費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,256,000	5,253,134	0	2,866	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,253,134		督促手数料	240,515		
		事務費繰入金	4,867,065		
		事務費繰越金	83,154		
		延滞金	62,400		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　納入開始通知書封入封緘業務・代行プリント・帳票作成業務委託　委託料　　4,991,019 円

2　督促状　　2,711 件　　(前年度2,735 件)

上記の評価と課題等

前年度と比較し、督促状発送件数が0.87%減少しました。引き続き口座振替登録を推奨する等、督促状発送件数の削減に努め、滞納額の削減を目指します。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	認定調査係

決算書ページ	303

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	介護認定審査会費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	認定調査費等			
	事業	3100030	認定調査費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
81,817,000	81,804,571	0	12,429	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
81,804,571		事務費繰入金	81,776,299		
		雑入	28,272		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

介護保険申請に基づき、認定調査員が認定調査票を基に本人や家族から被保険者の心身の状況および介護の状況等を聞き取り、要介護認定に必要な基礎的調査を実施しました。その調査票と主治医意見書を基に、松本広域連合にて要介護認定の審査判定を実施していますが、認定調査員の研鑽もあり、継続して質の高い調査票作成事務を行うことができています。

1　要介護・要支援認定申請件数

年度比較	初回	区分変更	更新	再申請(外)	転入等	計
令和６年度	1,609 件	658 件	1,654 件	188 件	63 件	4,172 件
令和５年度	1,442 件	577 件	2,800 件	165 件	44 件	5,028 件
令和４年度	1,490 件	586 件	1,805 件	148 件	1,404 件	5,433 件

※令和４年度の「転入等」には、有効期間を１年間延長した1,361件を含む。

2　主治医意見書の作成依頼件数

年度比較	在宅・新規 @5,000円	施設・新規 @4,000円	在宅・継続 @4,000円	施設・継続 @3,000円	計	作成料
令和６年度	1,451 件	1,076 件	1,175 件	280 件	3,982 件	18,808,900 円
令和５年度	1,718 件	1,102 件	1,819 件	314 件	4,953 件	23,337,600 円
令和４年度	1,252 件	1,021 件	1,124 件	293 件	3,690 件	17,290,900 円

3　業務委託、業務受託

県外の介護保険施設等を利用する被保険者を対象に、認定調査の業務委託を現地の居宅介護支援事業所等に委託するとともに、状態が安定している更新申請の被保険者を対象に個人委託しました。また、他市町村等からの認定調査を受託しました。

（委託）行政委託　10件　　事業所等委託　13件　　個人委託　559件
（受託）行政受託　13件　　２号生保受託　4件

上記の評価と課題等

今後も公平・公正且つ効率的な認定調査を実施するとともに、認定調査技術の向上に努め質の高い認定調査を実施します。

高齢者人口の増加に伴い、申請件数も増加傾向にあります。引続き認定調査の指定市町村事務受託法人への委託も検討するなど、認定調査結果が一日でも早く確定することが大切です。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	305

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	介護サービス等諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護サービス等諸費			
	事業	3100070	介護サービス等諸費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,841,087,000	8,841,086,124	0	876	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,882,912,944		介護給付費負担金(国)	1,603,453,967	介護給付費繰入金	1,104,956,946
		介護給付費負担金(県)	1,269,430,966	現年度分調整交付金	441,137,510
		介護給付費交付金	2,386,705,167	第３者納付金	1,468,690
		低所得者保険料軽減繰入金	75,737,889	返納金	21,809

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　給付額の種類別受給者延べ人数内訳（介護保険事業状況報告）

（単位：人）

年度比較	令和４年度	令和５年度	令和６年度
居宅サービス	44,367	44,257	45,215
地域密着型サービス	13,672	13,220	13,139
施設サービス	10,101	9,913	9,833
合　　計	68,140	67,390	68,187

2　給付額の種類別給付額内訳

（単位：円）

年度比較	令和４年度	令和５年度	令和６年度
居宅サービス	3,785,059,662	3,857,201,451	3,998,461,434
前年度比	100.1%	101.9%	103.7%
地域密着型サービス	1,934,577,749	1,922,532,762	1,969,813,490
前年度比	99.0%	99.4%	102.5%
施設サービス	2,838,704,796	2,845,327,939	2,872,811,200
前年度比	102.0%	100.2%	101.0%
合　　計	8,558,342,207	8,625,062,152	8,841,086,124
前年度比	100.5%	100.8%	102.5%

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	介護サービス等諸費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護サービス等諸費			
	事業	3100070	介護サービス等諸費		基本施策	高齢者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　居宅サービス給付額の種類別内訳　　（単位：円）

サービス種類	令和４年度	令和５年度	令和６年度
居宅介護サービス費	3,104,538,080	3,174,946,198	3,291,188,910
前年度比	100.1%	102.3%	103.7%
居宅介護福祉用具購入費	8,053,260	8,317,354	10,073,152
前年度比	82.0%	103.3%	121.1%
居宅介護住宅改修費	11,295,311	10,163,985	11,896,724
前年度比	89.5%	90.0%	117.0%
居宅介護サービス計画費	415,870,905	405,830,492	408,482,243
前年度比	100.9%	97.6%	100.7%
介護予防サービス費	178,531,685	187,781,406	200,974,130
前年度比	99.3%	105.2%	107.0%
介護予防福祉用具購入費	3,944,539	4,467,718	4,366,048
前年度比	127.0%	113.3%	97.7%
介護予防住宅改修費	9,283,756	10,189,201	11,429,226
前年度比	100.8%	109.8%	112.2%
介護予防サービス計画費	53,542,126	55,505,097	60,051,001
前年度比	102.5%	103.7%	108.2%
合　　計	3,785,059,662	3,857,201,451	3,998,461,434
前年度比	100.1%	101.9%	103.7%

上記の評価と課題等

総給付額は、微増傾向にあり、令和６年度は2.5%増加しました。居宅等サービスは受給者の人数は増加し、給付額が3.7%増加しています。施設サービスは受給者は減少、給付費は微増しています。特養への入所について、介護度が高い方の入所が優先されたためと思われます。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	305

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	その他諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	審査支払手数料			
	事業	3100080	審査支払手数料		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,854,000	8,853,004	0	996	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,822,556		介護給付費負担金(国)	1,607,429	介護給付費繰入金	1,107,696
		介護給付費負担金(県)	1,272,578	現年度調整交付金	442,231
		介護給付費交付金	2,392,622		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険団体連合会への審査委託支払金額・件数

年度比較	令和４年度	令和５年度	令和６年度
支払金額	8,720,648 円	8,724,592 円	8,853,004 円
対象件数	150,356 件	150,424 件	152,638 件

・令和６年度は前年度比1.47%増加しました
・審査単価　58円/1件

上記の評価と課題等

令和６年度の審査件数は前年度に比べ微増となりました。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	305

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	高額介護サービス等費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	高額介護・予防サービス費			
	事業	3100090	高額介護・予防サービス費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
196,849,000	196,845,362	0	3,638	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
148,527,474		介護給付費負担金(国)	35,700,645	介護給付費繰入金	24,601,689
		介護給付費負担金(県)	28,263,677	現年度調整交付金	6,821,856
		介護給付費交付金	53,139,607		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

サービス利用者の１か月の費用負担（１～３割負担）が、負担上限額を超えたときに支給するものです。

年度比較	令和４年度	令和５年度	令和６年度
給付費	176,274,578 円	184,288,636 円	196,845,362 円
対象件数	15,185 件	15,257 件	15,597 件

・給付費の前年度比では、令和５年度は4.5%増加、令和６年度は6.8%増加しました。
・対象件数の前年度比では、令和５年度は0.47%増加し、令和６年度は2.2%増加しました。

上記の評価と課題等

令和３年度の制度改正により、自己負担限度額の上限が上がり、減少傾向であったが、令和５年度から給付費並びに件数が増加に転じました。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	305

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	特定入所者介護サービス等費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	特定入所者介護・予防サービス費			
	事業	3100095	特定入所者介護・予防サービス費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
154,398,000	154,397,353	0	647	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
118,851,877		介護給付費負担金(国)	28,002,108	介護給付費繰入金	19,296,546
		介護給付費負担金(県)	22,168,858	現年度調整交付金	7,703,857
		介護給付費交付金	41,680,508		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

施設入所者やショートステイ利用者の低所得者対策として、食費、居住費（滞在費）に係る費用の一部（利用者負担限度額と施設が定める基準額の差額）を給付しました。

年度比較	令和４年度	令和５年度	令和６年度
給付金額	169,453,578 円	167,642,594 円	154,397,353 円
負担限度額認定者	767 人	718 人	714 人

（負担限度額認定者数は高齢者介護課調べ）

・給付費の前年度比では令和５年度は1.1%減少、令和６年度は7.9%減少しました。
・認定者の前年度比では令和５年度は6.39%減少し、令和６年度は0.56%減少しました。

上記の評価と課題等

給付費の減少は、令和３年度の制度改正により認定基準となる要件及び区分が改正された影響が残っていると推察されます。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	305

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	高額医療合算介護サービス等費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	高額医療合算介護・予防サービス費			
	事業	3100096	高額医療合算介護・予防サービス費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
28,270,000	28,269,559	0	441	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
21,761,319		介護給付費負担金(国)	5,127,078	介護給付費繰入金	3,533,123
		介護給付費負担金(県)	4,059,032	現年度調整交付金	1,410,546
		介護給付費交付金	7,631,540		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

同一世帯内で１年間の医療及び介護の両制度における自己負担額の合算額が高額になった場合に、合算算定基準額の上限額を超える部分について給付しました。

年度比較	令和４年度	令和５年度	令和６年度
給付費	25,093,655 円	26,686,669 円	28,269,559 円
対象件数	850 件	848 件	941 件

上記の評価と課題等

給付費、件数ともに前年度に比べ5.93%、10.97%増加し，コロナ禍前の水準に戻ってきました。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	307

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	介護予防事業		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般介護予防事業費			
	事業	3100102	一般介護予防事業費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
26,342,000	24,510,632	0	1,831,368	93.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
18,873,185		地域支援交付金（新総合事業）	4,902,126	総合事業現年度分調整交付金	1,225,531
		支払基金支援交付金現年度分	6,617,870		
		地域支援県交付金（新総合事業）	3,063,829		
		地域支援事業繰入金（新総合事業）	3,063,829		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

65歳以上の方が、介護予防の知識を身につけ、地域の身近な場所で、人との繋がりを通して介護予防活動に継続して取り組めるよう以下の事業を実施しました。

1　介護予防把握事業　（報償費、委託料他：3,080,350円）

（1）対象者実態把握

健診未受診かつ医療・介護サービス未利用等の方を対象に、訪問にて健康状態を把握するとともに、介護予防活動の普及啓発をしました。

	対象者数	訪問実施者数
令和６年度	101 人	79 人（78.2%）
令和５年度	106 人	81 人（76.4%）
令和４年度	70 人	60 人（85.7%）

（2）シニア歯科健康診査

	対象者数	受診者数
令和６年度	3,717 人	487 人（13.1%）
令和５年度	4,084 人	525 人（12.9%）

2　介護予防普及啓発事業（報酬、委託料他：12,104,582円）

介護予防に関する啓発活動・介護予防教室・認知症予防教室・口腔機能改善事業等を行いました。教室終了後も継続して介護予防活動に取り組めるよう参加者に対して情報提供と相談支援等を行いました。介護予防体操動画配信事業では、オンラインによる介護予防体操動画配信コンテンツを提供し、自宅や通いの場での活用を推進しました。

年度比較		教室等講座種別数	開催回数	参加実人員	参加延人員
令和６年度	介護予防教室等	5 教室等	160 回	355 人	2,608 人
	出前講座等	3　講座	16 回	282 人	282 人
	動画配信事業			（※）2,026 人	
令和５年度	介護予防教室等	6 教室等	237 回	500 人	3,219 人
	出前講座等	3　講座	10 回	109 人	109 人
	動画配信事業			（※）1,664 人	
令和４年度	介護予防教室等	5 教室等	253 回	528 人	3,015 人
	出前講座等	3　講座	14 回	272 人	272 人

（※）令和５年度からの延べ人数

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	介護予防事業		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般介護予防事業費			
	事業	3100102	一般介護予防事業費		基本施策	高齢者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　地域介護予防活動支援事業（報償費、補助金他：9,287,600円）

近隣住民が気軽に集まり地区単位で介護予防教室等を開催する自主グループ（通いの場）の活動内容の把握を行い、必要な住民に情報提供を行いました。また、７か所で新たな自主グループの立ち上げ支援を行いました。

（１）通いの場等の把握

年度比較	通いの場等の数	参加する高齢者数	参加率
令和６年度	340 か所	2,883 人	8.1 %
令和５年度	321 か所	2,624 人	7.6 %
令和４年度	268 か所	2,231 人	7.4 %

＊参加率は、毎年４月１日高齢者人口に対する割合

＊通いの場の数は月１回未満の活動団体も含む

＊参加する高齢者数は月１回以上参加する者の人数

（２）自主グループ活動支援事業　　新規自主グループ立ち上げ支援

年度比較	実施個所数	実施回数	参加実人員	参加延人員
令和６年度	7 か所	96 回	146 人	1,569 人
令和５年度	3 か所	116 回	42 人	1,361 人
令和４年度	0 か所	0 回	0 人	0 人

（３）アクティブシニアがんばろう事業

年度比較	団体数
令和６年度	94
令和５年度	85
令和４年度	82

※令和６年度より長寿福祉係より担当移管

４　高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業（決算：健康推進課計上）

健康推進課、国保年金課と当課におけるプロジェクト会議を実施し、KDB（国保データベース）システム等の分析、健康課題、対象者の明確化など保健事業と介護予防の一体的な事業を展開しました。

当課としては、通いの場等においてフレイル全般、認知症、栄養、口腔機能向上等の介護予防講座と健康相談、後期高齢者質問票による健康状態の把握を行いました。

年度比較		開催通いの場数	回数	実人員	延べ人員
令和６年度	健康教育・健康相談※	28か所	28 回	423 人	423 人
	健康状態把握(再掲)	9か所	9 回	120 人	120 人
令和５年度	健康教育・健康相談※	18か所	18 回	206 人	206 人
	健康状態把握(再掲)	5か所	5 回	90 人	90 人
令和４年度	健康教育・健康相談※	19か所	21 回	342 人	342 人
	健康状態把握(再掲)	5か所	5 回	72 人	72 人

※令和４年度からは、健康教育、健康相談を一体的に実施

上記の評価と課題等

生活面・運動面・栄養面・口腔面の機能維持向上について各分野の専門職が連携して普及啓発を行いました。

介護予防のための体操の動画配信を実施し、自宅や通いの場で介護予防のための運動をできる体制を整備しました。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業では、75歳以上の高齢者を対象に健康教育や健康状態の把握、フレイル予防のためのポピュレーションアプローチを実施しました。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	307

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費			
	事業	3100106	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
108,618,000	107,435,878	0	1,182,122	98.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
84,291,745		地域支援交付金（新総合事業以外）	41,362,813		
		地域支援県交付金（新総合事業以外）	20,681,406		
		地域支援事業繰入金（新総合事業以外）	20,681,406		
		介護予防サービス計画費収入	1,566,120		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

地域包括支援センターは、市が設置主体となり、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員等を配置して、３職種のチームアプローチにより、住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする施設です。

地域包括支援センターを市内３か所（市役所、穂高支所、三郷支所）に設置しています。運営については、中央地域包括支援センター（豊科・明科地域担当）を市直営で運営し、北部地域包括支援センター（穂高地域担当）は平成25年度から、南部地域包括支援センター（三郷・堀金地域担当）は平成23年度から委託で運営しています。

１　地域包括支援センターの業務内容

（１）包括的支援事業

介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的･継続的ケアマネジメント支援業務の４業務を実施しました。

（２）指定介護予防支援事業

要支援認認定者及び事業対象者（介護予防のために何らかの支援が必要と判断された方）に対する介護予防支援業務を実施しました。

２　中央地域包括支援センター（担当地域：豊科・明科）（上段：相談支援延べ件数 下段：割合）

事業	指定介護予防支援	包括的支援					合計	前年度比
業務	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	総合相談	権利擁護	包括的・継続的ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	その他		
令和６年度	1,530		2,142	193	203	143	4,211	137.1%
	36.3%		50.9%	4.6%	4.8%	3.4%	100%	
令和５年度	1,256		1,439	130	85	162	3,072	86.0%
	40.9%		46.8%	4.2%	2.8%	5.3%	100%	
令和４年度	1,323		1,906	88	70	184	3,571	103.1%
	37.0%		53.4%	2.5%	2.0%	5.2%	100%	

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費			
	事業	3100106	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業		基本施策	高齢者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　南部地域包括支援センター（担当地域：三郷・堀金）（上段：相談支援延べ件数 下段：割合）

事業	指定介護予防支援	包括的支援					合計	前年度比
業務	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	総合相談	権利擁護	包括的・継続的ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	その他		
令和６年度	1,447		857	130	47	14	2,495	83.0%
	58.0%		34.3%	5.2%	1.9%	0.6%	100%	
令和５年度	1,943		935	76	32	20	3,006	87.3%
	64.6%		31.1%	2.5%	1.1%	0.7%	100%	
令和４年度	2,377		885	66	93	21	3,442	75.5%
	69.1%		25.7%	1.9%	2.7%	0.6%	100%	

４　北部地域包括支援センター（担当地域：穂高）（上段：相談支援延べ件数 下段：割合）

事業	指定介護予防支援	包括的支援					合計	前年度比
業務	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	総合相談	権利擁護	包括的・継続的ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	その他		
令和６年度	3,677		1,920	147	271	71	6,086	102.8%
	60.4%		31.5%	2.4%	4.5%	1.2%	100%	
令和５年度	3,966		1,531	181	197	44	5,919	98.7%
	67.0%		25.9%	3.1%	3.3%	0.7%	100%	
令和４年度	3,678		1,820	181	304	16	5,999	103.5%
	61.3%		30.3%	3.0%	5.1%	0.3%	100%	

５　民間の指定居宅介護支援事業所への委託料（総合事業直営分）　（但し過誤精算分を含む）

年度	新規	継続	金額
令和６年度	85 件	1,741 件	8,307,460 円
令和５年度	74 件	1,868 件	8,706,500 円
令和４年度	82 件	1,840 件	8,663,500 円

上記の評価と課題等

支援件数の合計は中央包括と北部包括で増加し南部包括は減少しています。権利擁護に関する相談は中央包括と南部包括で増加し、北部包括でやや減少となっています。業務の割合については、委託包括の南部包括と北部包括では介護予防支援・予防給付ケアマネジメントの件数が最も高く、直営の中央包括では総合相談が最も高くなっています。

令和７年度から市直営で運営してきた中央地域包括支援センターを委託へ変更し、市内３か所の地域包括支援センターを全て委託で運営します。今後も高齢者の総合相談窓口として体制強化に努めるとともに、地域包括ケア推進に向け、委託包括と連携を図りながら各事業を継続して実施していく必要があります。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	307

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	任意事業費			
	事業	3100107	任意事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,119,000	7,450,218	0	668,782	91.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,754,019		地域支援交付金（新総合事業以外）	2,868,333		
		地域支援県交付金（新総合事業以外）	1,434,166		
		地域支援事業繰入金（新総合事業以外）	1,434,166		
		雑入	17,354		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　家族介護支援事業　　（扶助費：6,330,113円）

重度要介護者を介護する家族等の支援を行うことを目的として実施しました。

（1）家族介護用品購入助成事業

年度比較	令和４年度	令和５年度	令和６年度
利用者数	202 人	176 人	163 人
決算額	8,114,027 円	7,714,060 円	6,330,113 円

（2）介護慰労金支給事業

令和６年度の申請はありませんでした。

2　介護給付費適正化事業　　（報償費、消耗品費：13,144円）

（1）ケアプラン点検の実施

長野県介護支援専門員協会からの講師の派遣を受け、介護給付費の適正化のためのケアプラン点検を行いました。あわせて、該当事業所への保険者によるコンプライアンスの確保に関する点検も実施しました。また、点検内容の講評及び自立支援に資するケアプラン作成のための講習会を開催しました。

年度比較	令和４年度	令和５年度	令和６年度
点検件数	142 件	102 件	101 件
点検を受けた介護支援専門員	33 人	26 人	30 人
点検を受けた事業所数	12 事業所	14 事業所	12 事業所

（2）ケアプラン検証会議

訪問介護における生活援助中心型サービスの利用回数が基準回数以上のケアプランについて、利用者の自立支援・重度化防止や地域資源の有効活用等の観点から、リハビリ専門職（理学療法士）にも参加いただき、多職種協働による検証会議を開催しました。

年度比較	令和４年度	令和５年度	令和６年度
検証会議件数	5 件	4 件	2 件

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	任意事業費			
	事業	3100107	任意事業		基本施策	高齢者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　認知症サポーター等養成事業　　（報償費、消耗品費：126,520円）

認知症を理解し、認知症の人と家族を支える認知症サポーターを養成する講座を開催しました。

年度比較	開催回数	参加者数	サポーター累計	決算額
令和６年度	18 回	327 人	8,114 人	126,520 円
令和５年度	19 回	326 人	7,787 人	71,510 円
令和４年度	14 回	177 人	7,461 人	112,720 円

４　介護相談員派遣事業　　（報償費、負担金、保険料他：940,305円）

介護サービスを利用する高齢者や家族から介護サービスに関する不安、疑問等の相談等に応じ、その解決のためにサービス事業者や行政との橋渡しを行い、介護サービスの質の向上を図るため４人の介護相談員を施設等へ派遣しています。本年度は、直接施設への訪問を実施しました。

また、介護相談員には活動に必要な知識の習得のために研修会に参加いただいています。

年度比較	開催回数			開催施設数			
	計	訪問	オンライン	計	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	有料老人ホーム
令和６年度	84 回	84 回	0 回	8 施設	4 施設	1 施設	3 施設
令和５年度	47 回	38 回	9 回	8 施設	4 施設	1 施設	3 施設
令和４年度	39 回	0 回	39 回	7 施設	5 施設	2 施設	―

５　成年後見制度利用支援事業　　（役務費、扶助費：40,136円）

成年後見制度の市長申立てが必要な高齢者の審判にかかる費用負担等について、令和６年度は、６件と増加しました。

年度比較	市長申立て件数	報酬助成件数
令和６年度	6件	0件
令和５年度	0件	0件
令和４年度	3件	0件

上記の評価と課題等

家族介護用品購入助成事業は、利用者数、使用率（使用枚数/交付枚数）共に減少しましたが、家族介護者の経済的な負担軽減を図ることができています。

ケアプラン点検は、介護支援専門員の資質向上、スキルアップのために有効であり、適正なサービス提供から給付の適正化につながる効果が期待できます。

認知症サポーター養成講座について、市の主催はオレンジキャンペーン時と市議会議員等を対象とした３回でしたが、依頼等により18回の開催となりました。コロナ禍も落ち着き、申し込みも増加していますが、より多くの年代に普及啓発していけるよう、小中学校や市内企業等と連携していく必要があります。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	309

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			
	事業	3100112	在宅医療・介護連携推進事業費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,420,000	1,115,220	0	304,780	78.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
858,717		地域支援交付金（新総合事業以外）	429,359		
		地域支援県交付金（新総合事業以外）	214,679		
		地域支援事業繰入金（新総合事業以外）	214,679		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療・介護連携推進事業を実施しました。

地域包括ケアシステムの実現に向けて、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築のため、安曇野市医師会、介護保険事業所等と協働し、在宅医療・介護連携事業を実施しています。

（１）安曇野市医師会への委託業務（委託料：136,000円）

在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために事業の一部を医師会へ委託する中で、在宅医療連携推進協議会全体会議を１回開催し、在宅医療・介護連携のための情報共有、課題について意見交換を行いました。

医療・介護関係者の人材育成のための研修として、安曇野市介護保険業務継続計画研修会を開催しました。災害時の状況等から事業所が備えておくとよいことや、発災時を想定したシュミレーション訓練をしました。

（２）安曇野市介護保険・高齢者福祉サービスガイドの増刷（需用費：961,400円）

在宅医療・介護連携のために、令和４年度に作成した「安曇野市介護保険・高齢者福祉サービスガイドブック（連携マップ付き）」について、令和６年度介護報酬改定、認知症の取組及び在宅医療の取組を拡充して更新しました。2,000部増刷し、関係者へ配布しました。

上記の評価と課題等

第９期介護保険事業計画に基づき、在宅医療推進協議会で確認された「ACP、リビングウィルの取組」と「多職種連携の取組」を柱に事業を進めます。リビングウィル（事前指示書）については、医師会を中心に様式検討を進め、令和８年１月からの運用開始に向けて準備をします。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	309

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			
	事業	3100113	生活支援体制整備事業費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
7,516,000	7,437,970	0	78,030	99.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,727,236		地域支援交付金（新総合事業以外）	2,863,618		
		地域支援県交付金（新総合事業以外）	1,431,809		
		地域支援事業繰入金（新総合事業以外）	1,431,809		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

地域包括ケアの推進に向けて、生活支援体制整備事業を実施しました。（委託料他；7,437,970円）

1　生活支援コーディネーターの取組

市全体を第１層、旧町村を単位とする日常生活圏域を第２層とし、生活支援コーディネーターは第１層に１人、第２層の５地域にそれぞれ１人ずつ配置しています。各地域の課題を把握し、その課題の解決にむけた活動に取り組みながら、地域共生社会の実現を目指しました。

2　協議体の取組

コーディネーターが主体となり、介護予防・生活支援サービス提供団体等を委員とする協議体を必要に応じて地域に設置し会議を開催しました。

第１層協議体会議 開催回数：２回 内容：生活支援体制整備事業の実施状況について

第２層協議体会議 開催回数：21回 内容：各団体の取組報告、地域主催サロンの支援、認知症の方にやさしい地域づくり、支え合いの仕組みづくりについて

3　協議体研修会及び地域支え合い推進フォーラム

	協議体研修会	地域支え合い推進フォーラム
開催日	令和６年10月７日(月)	令和７年２月22日(土)
テーマ	地域とのかかわり方～住民主体の地域づくり～	超高齢社会のおひとり様問題を「つながる地域」で乗り越える
内　容	住民が主体となって協議体を立ち上げた南アルプス市の事例を学ぶ（南アルプス市コーディネーターとの懇談）	講演及び地域の団体、企業の活動紹介
参加者	生活支援コーディネーター、２層協議体委員、市社協職員、市職員　計14名	生活支援コーディネーター、区長、民生委員、シニアクラブ会員、介護保険事業者、民間事業者、市職員等　138名

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			
	事業	3100113	生活支援体制整備事業費		基本施策	高齢者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　通いの場・生活支援サービスガイドブックの増刷（印刷製本費：93,500円）

介護予防・フレイル予防に取り組むきっかけにしていただくため、地域の「通いの場」や高齢者の生活を支える「生活支援サービス」の情報（掲載団体数291）をまとめたガイドブック（R5作成）を増刷しました。150部増刷し、ケアマネに配布したほか、市民、関係者、市窓口で周知しました。

上記の評価と課題等

生活支援コーディネーターの配置と協議体の設置により、身近な地域でのネットワークの仕組みづくりや、高齢者が地域で安心して生活するための地域課題を検討し、軽作業やサロンの立ち上げなどの地域支え合い活動を始めています。今後も、地域において支え合いや助け合いを広げるため、庁内関係部署と連携して協議体活動を進め、地域包括ケア体制の充実を図ります。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	309

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			
	事業	3100114	認知症総合支援事業費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,250,000	465,969	0	784,031	37.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
358,796		地域支援交付金（新総合事業以外）	179,398		
		地域支援県交付金（新総合事業以外）	89,699		
		地域支援事業繰入金（新総合事業以外）	89,699		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

地域包括ケア推進に向けて、認知症総合支援事業を実施しました。

1　認知症初期集中支援事業（報酬、負担金他：191,780円）

平成29年12月に認知症初期集中支援チームを設置以降、月１回チーム員会議を開催し、医療機関への受診や介護サービス等に繋がっていない認知症の方に対する支援を行っています。

平成30年７月から月１回相談会を設け、令和６年度は延べ５件の相談があり、認知症専門医への受診や支援（介護サービス利用等）につなぐなど、より初期の段階から早期解決に向けた対応を行いました。

年度比較		令和４年度	令和５年度	令和６年度
チーム員会議	実施回数	11 回	9 回	5 回
	年度中新規支援件数	2 人	1 人	0 人
	年間訪問延べ件数	10 回	5 回	0 回
相談会	実施回数	11 回	7 回	5 回
	年度中相談実人員	16 人	13 人	5 人
	年度中相談延人員	18 人	13 人	5 人

2　認知症カフェ運営助成（補助金：60,000円）

市内で開催している認知症カフェ５団体のうち、補助金の活用の実績は１件でした。

年度比較	令和４年度	令和５年度	令和６年度
補助件数	1 件	0 件	1 件

3　オレンジキャンペーンの実施（旅費、負担金他：214,189円）

認知症の方が、周囲の理解と協力のもと住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、９月の世界アルツハイマー月間に合わせ、認知症地域支援推進員が中心となり安曇野市オレンジキャンペーンを実施しました。

内容としては、認知症に関する映画の上映会（85名参加）、認知症サポーター養成講座（48名参加）、本庁舎東側ベランダへ懸垂幕の設置、市役所１階西側ロビーに認知症に関する展示及び啓発資料の配布を行いました。また、市内５地域の図書館と連携し、認知症に関する文献とオレンジキャンペーンの紹介展示を実施するとともに、広報あづみのへ記事を掲載し認知症月間について周知しました。

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		基本目標	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			
	事業	3100114	認知症総合支援事業費		基本施策	高齢者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

4　高齢者見守りシール交付事業（需用費：０円）

認知症症状を有する人の安全の確保及び介護者等の精神的負担の軽減を図るために、高齢者見守りシール事業を令和４年度から実施しています。医療介護関係者、区長、民生委員等に周知し、令和６年度は新たに４件交付しました。

5　認知症サポーターステップアップ講座・チームオレンジ（０円）

認知症サポーターを対象に、認知症に関する正しい知識をさらに深め、認知症の人を地域で見守り支える人を育成するため、認知症サポーターステップアップ講座を開催しました。

地域の認知症の人やその家族のニーズとステップアップ講座の受講者を中心とした支援をつなぐ仕組みであるチームオレンジの活動を各地域へ広げていきます。

認知症サポーターステップアップ講座

	令和６年度
開催回数	2 回
受講実人員	22 人
受講延人員	22 人

上記の評価と課題等

認知症の人ができる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症本人とその家族の視点に立ち、認知症への理解を深めるための啓発を継続します。また、早期に医療や介護サービス等に繋がるよう引き続き、地域包括支援センター、ケアマネジャー、民生児童委員等と連携を図り支援を行っていきます。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	309

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			
	事業	3100116	地域ケア会議推進事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
176,000	80,620	0	95,380	45.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
62,076		地域支援交付金（新総合事業以外）	31,038		
		地域支援県交付金（新総合事業以外）	15,519		
		地域支援事業繰入金（新総合事業以外）	15,519		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

保健、医療、福祉サービス及び社会資源の総合調整を行い、これらのサービスを必要とする市民に総合的にサービス提供を行う安曇野市地域包括ケアの推進に向けて、安曇野市地域包括ケア推進会議を開催しました。

また、中央地域包括支援センターにおいて、要支援者等の生活行為の課題解決、重度化防止や自立支援を目指して、多職種からの専門的な助言を得る自立支援型地域ケア会議を開催しました。

１　地域包括ケア推進会議　　（報償費：45,500 円）

(1) 開催日　令和６年12月２日

(2) 協議事項

・地域包括ケア推進の取組について
・安曇野市版リビングウィルの作成について
・地域包括ケア推進体制の見直しについて　他

２　自立支援型地域ケア会議　（報酬費：13,680円）

(1) 開催日　令和６年12月18日

(2) ２事例検討

※　北部、南部地域包括支援センターにおいても実施

上記の評価と課題等

地域包括ケア推進会議では、これまでの地域包括ケアの取組を評価し、住み慣れた地域で自分らしく最期まで暮らし続けられるよう、医療、介護、福祉、地域の関係者とともに、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備に向けた方策の協議を進めます。

自立支援型地域ケア会議は、ケアマネジメント力やケアの質の向上等のために、令和７年度からは市主催により定例化して実施していきます。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	311

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	介護予防・日常生活支援総合事業		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護予防・日常生活支援総合事業			
	事業	3100104	介護予防ケアマネジメント事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
16,151,000	15,703,592	0	447,408	97.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
12,193,224		地域支援交付金（新総合事業）	3,140,718	総合事業現年度分調整交付金	785,179
		支払基金支援交付金現年度分	4,239,969	雑入	101,460
		地域支援県交付金（新総合事業）	1,962,949		
		地域支援事業繰入金（新総合事業）	1,962,949		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市から社会福祉協議会に委託している北部地域包括支援センター及び南部地域包括支援センターが行う介護予防ケアマネジメント費については負担金として国保連へ支出しました。
また、サービスC（短期集中サービス）単独利用者の介護予防ケアマネジメント費を担当包括へ委託料として支払いました。

1　介護予防ケアマネジメント費負担金（県国保連に支出分）

年度	負担金額
令和６年度	15,647,402 円
令和５年度	16,200,960 円
令和４年度	14,472,486 円

2　介護予防ケアマネジメント（サービスC単独利用）委託料

年度	負担金額
令和６年度	56,190 円

上記の評価と課題等

介護予防ケアマネジメント負担金に関わり、令和６年度に介護予防ケアマネジメント作成の手引きを検討し、令和７年４月から施行しました。これにより各包括の委託運用を可能な限り統一し、適正なケアマネジメントのもと利用者支援ができる体制を整えました。
短期集中的に専門職が関り機能改善を図るサービスであるサービスCを令和６年度から実施しています。引き続き、事業所・利用者の拡大を図り、効率的な介護予防を図ります。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	311

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	介護予防・日常生活支援総合事業		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護予防・日常生活支援総合事業			
	事業	3100105	介護予防生活支援サービス事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
321,233,000	320,952,137	0	280,863	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
264,276,248		地域支援交付金（新総合事業）	64,190,427	総合事業現年度分調整交付金	16,047,606
		支払基金支援交付金現年度分	86,657,076	保険者機能強化推進交付金	1,753,105
		地域支援県交付金（新総合事業）	40,119,017	介護保険保険者努力支援交付金	15,390,000
		地域支援事業繰入金（新総合事業）	40,119,017		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

介護予防及び地域における自立した日常生活支援を行い、活動的で生きがいのある生活を送ることができるよう、介護予防・生活支援サービス事業を実施しました。

利用実績は以下のとおりです。　　（上段：決算額、下段：延べ利用者数）

サービス種類		令和４年度	令和５年度	令和６年度
第一号訪問事業	訪問介護相当サービス（旧予防給付と同等サービス）	62,601,148 円 2,937 人	64,648,302 円 3,004 人	63,822,901 円 2,915 人
	訪問型サービスＡ（人員基準を緩和した生活援助）	9,489,696 円 1,007 人	9,155,924 円 921 人	8,234,442 円 866 人
	訪問型サービスＣ（運動機能向上短期集中サービス）	0 円 0 人	30,560 円 4 人	22,920 円 3 人
	訪問型サービスＣ（口腔機能向上短期集中サービス）	－ 円 4 人	7,000 円 8 人	52,500 円 15 人
第一号通所事業	通所介護相当サービス（旧予防給付と同等サービス）	196,571,241 円 7,691 人	223,825,472 円 8,800 人	237,045,664 円 9,445 人
	通所型サービスＡ（人員基準を緩和したサービス）	11,008,825 円 945 人	9,878,733 円 763 人	10,900,440 円 751 人
	通所型サービスＣ（運動機能向上短期集中サービス）	0 円 0 人	0 円 0 人	654,050 円 140 人

＊訪問型サービスＣ（口腔）は、令和５年度途中まで当課の会計年度任用職員（歯科衛生士）が実施し、以降は在宅歯科衛生士へ報償費として支払っています。

上記の評価と課題等

通所介護相当サービスは利用者数、決算額とも増加している一方で、通所型サービスＡは決算額は令和５年度から令和６年度にかけて増加しましたが、利用者数は一貫して減少しています。多様なサービスの推進に向けて通所型サービスＡの事業所の普及及び利用者拡大を図り、持続可能な事業運営を図ります。

短期集中的に専門職が関わり機能改善を図るサービスであるサービスＣは、通所型を令和６年度に２か所で実施し、農閑期の高齢者が来春も元気でいられるよう支援しました。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	311

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	その他諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	審査支払手数料等			
	事業	3100082	高額介護予防サービス費相当事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,610,000	1,425,015	0	184,985	88.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,097,259		地域支援交付金（新総合事業）	285,003	総合事業現年度分調整交付金	71,250
		支払基金支援交付金現年度分	384,754		
		地域支援県交付金（新総合事業）	178,126		
		地域支援事業繰入金（新総合事業）	178,126		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

総合事業サービス利用者の費用負担が、負担上限額を超えた場合に上限額との差額を支給しました。

年度比較		令和４年度	令和５年度	令和６年度
高額総合事業サービス費	事業費	533,321 円	639,633 円	891,188 円
	件数	228 件	232 件	291 件
高額医療合算総合事業サービス費	事業費	490,105 円	365,981 円	533,827 円
	件数	29 件	26 件	29 件
合計	事業費	1,023,426 円	1,005,614 円	1,425,015 円
	件数	257 件	258 件	320 件

高額総合事業サービス事業費は、利用者の１か月の費用負担（１～３割負担）が上限額を超えた場合に支給しました。

高額医療合算総合事業サービス費は、利用者の同一世帯内で１年間の医療及び介護の両制度における自己負担額（８月１日から翌年７月31日の間）の合計が上限額を超えた場合に支給しました。

上記の評価と課題等

高額総合事業サービス費及び高額医療合算総合事業サービス費は、利用件数が増えたため前年度より増加しています。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	311

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	その他諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	審査支払手数料等			
	事業	3100117	地域支援事業審査支払手数料		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,201,000	1,005,430	0	195,570	83.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
842,047		地域支援交付金（新総合事業）	201,086	総合事業現年度分調整交付金	50,271
		支払基金支援交付金現年度分	271,466		
		地域支援県交付金（新総合事業）	159,612		
		地域支援事業繰入金（新総合事業）	159,612		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国保連合会に対し、介護予防・日常生活支援総合事業分の審査支払手数料を支払いました。

年度比較	令和４年度	令和５年度	令和６年度
支払金額	910,716 円	986,464 円	1,005,430 円
支払件数	15,702 件	17,008 件	17,335 件

＊審査単価　58円/1件

上記の評価と課題等

審査件数は利用者の増加により増加しています。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	311

予算				総合計画		
	款	04	介護サービス事業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	介護予防支援事業		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護予防支援事業			
	事業	3100108	介護サービス事業費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
20,659,000	20,658,180	0	820	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
20,658,180		介護予防サービス計画費収入	20,658,180		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市直営の中央地域包括支援センターは指定介護予防支援事業所として、介護予防支援業務を実施しています。要支援１・２の方を対象に介護予防サービス計画の作成、介護予防サービス事業者等関係機関との連絡調整を行いました。この指定介護予防支援業務は一部を民間の指定居宅介護支援事業所へ委託しており、令和６年度末において33事業所に委託しました。

介護予防サービス計画費の収支状況

１　民間の指定居宅介護支援事業所への委託料　（支出）　（但し過誤精算分を含む）

年度	新規	継続	金額
令和６年度	147 件	4,479 件	20,658,180 円
令和５年度	156 件	4,456 件	20,537,000 円
令和４年度	116 件	4,364 件	19,681,250 円

２ 介護予防サービス計画費収入　（収入）　（但し過誤精算分、電子証明書発行手数料を含む）

年度	新規	継続	金額	
令和６年度	134 件	4,727 件	22,224,300 円	※
令和５年度	139 件	4,680 件	21,829,380 円	
令和４年度	109 件	4,646 件	21,537,900 円	

※残額の1,566,120円を包括的・継続的ケアマネジメント支援事業に充当

上記の評価と課題等

指定居宅介護支援事業所への委託料及び介護予防サービス計画費収入は年々増加しています。令和７年度より直営地域包括支援センターの運営が外部委託になるため、今後は月遅れ等の理由によるもの以外は皆減となります。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	311

予算				総合計画		
	款	05	保健福祉事業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健福祉事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健福祉事業費			
	事業	3100118	保健福祉事業費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,511,000	6,212,895	0	298,105	95.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,212,895		保険者機能強化推進交付金	6,212,895		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　支え合い整備事業補助金

生活支援や介護予防の取り組みを始めたい団体への備品購入や施設整備への補助を行い、活動の立ち上げを支援しました。１団体に補助を行い、累計33団体になりました。

年度比較	令和４年度	令和５年度	令和６年度
交付額	650,900 円	300,000 円	136,100 円
補助団体数	3 件	1 件	1 件

【令和６年度補助団体】

団体名	事業内容	主な補助内容	補助対象経費	補助金額
真々部区	高齢者サロン	備品購入	272,250 円	136,100 円

※備品購入…カラオケマイク、スピーカー等

2　介護用品支給事業

重度要介護高齢者(要介護3以上)を在宅介護している家族等に、介護用品購入の際に利用できる助成券を交付し、介護負担の軽減を支援しました。

年度比較	令和４年度	令和５年度	令和６年度
利用者数	653 人	640 人	619 人
決算額	6,194,639 円	5,953,262 円	5,846,711 円

※令和６年度より一般会計から介護保険特別会計へ事業を移管しています。

上記の評価と課題等

支え合い整備事業補助金については、高齢者も含めた地域住民が自ら活動し、それが生きがいを持って生活することにつながるなど、地域の活動の拠点等に補助することで、地域共生社会の実現に向けた取組になっています。

今後、このような取組を先進例としながら、各地域の生活支援コーディネーターとも連携し、他の地域でのサロン活動の新規立上や活動の推進を支援していきます。

介護用品支給事業は、在宅介護者の支援という趣旨をより明確にするため、令和６年度から有料老人ホーム等に入所している方を対象外（前年度決定者には経過措置あり）としたことから要件該当者は微増にとどまっています。また、入所や死亡等により使用枚数が減少していることが考えられます。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	313

予算				総合計画		
	款	06	基金積立金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	基金積立金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護保険支払準備基金積立金			
	事業	3100110	介護保険支払準備基金		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
82,589,000	82,588,742	0	258	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,363,787		支払準備基金利子	2,363,787		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和５年度の給付費繰越金から介護給付費負担金返還分、支払基金交付金返還分を除いた余剰金を基金として積立てました。

基金積立金額

年度	利子	積立額	基金残額
令和６年度	2,363,787 円	80,224,956 円	1,224,135,968 円
令和５年度	1,685,589 円	136,347,000 円	1,141,547,225 円
令和４年度	1,303,762 円	138,073,000 円	1,003,514,636 円

上記の評価と課題等

令和６年度の積立残額は、1,224,135,968円で、昨年度より82,588,743円増えています。

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	313

予算				総合計画		
	款	07	公債費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	公債費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	利子			
	事業	3100120	一時借入金利子		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
0		0	0	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

一時借入は行いませんでした。

上記の評価と課題等

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	313

予算				総合計画		
	款	08	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	償還金及び還付加算金			
	事業	3100140	第１号被保険者保険料還付金		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,548,000	1,547,460	0	540	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

過年度分保険料の過誤納分を還付しました。

1　還付金　　161 件　　1,547,460 円

上記の評価と課題等

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	313

予算				総合計画		
	款	08	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	償還金及び還付加算金			
	事業	3100141	償還金		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
198,067,000	198,066,101	0	899	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国庫負担金、県費負担金及び支払基金交付金の超過交付分の返還を行いました。

1　令和６年度中の返還金内訳

令和５年度介護給付費負担金（国庫）	108,164,570 円
令和５年度介護給付費県費負担金	59,647,148 円
令和５年度支払基金交付金	30,254,383 円
合　計	198,066,101 円

2　＜参考＞返還金の状況

令和６年度	198,066,101 円
令和５年度	72,223,089 円
令和４年度	81,120,414 円

上記の評価と課題等

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	313

予算				総合計画		
	款	08	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	償還金及び還付加算金			
	事業	3100142	地域支援事業返還金		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
14,006,000	14,005,370	0	630	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

地域支援事業に係る国庫負担金、県費負担金及び支払基金交付金の超過交付分の返還を行いました。

1　令和６年度返還金内訳

年度比較	返還額
令和５年度地域支援事業交付金（国庫）	6,884,227 円
令和５年度地域支援事業交付金（県費）	4,670,314 円
令和５年度地域支援事業支援交付金（支払基金分）	2,450,829 円
計	14,005,370 円

2　＜参考＞返還金の状況

年度比較	返還額
令和６年度	14,005,370 円
令和５年度	22,384,562 円
令和４年度	16,957,383 円

上記の評価と課題等

令和７年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	313

予算				総合計画		
	款	09	予備費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	予備費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	予備費			
	事業	3100150	予備費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
194,057,000		0	194,057,000	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和６年度中に交付を受けた介護給付費負担金国庫支出金、介護給付費負担金県支出金、介護給付費交付金（支払基金交付金）及び地域支援事業関連交付金について、交付確定が翌年度（令和７年度）になることから、超過交付返還見込額を予備費として予算確保したものです。

また、介護保険料について、令和６年度介護保険事業の実績に基づき、第１号被保険者の事業費負担割合を超えて収入があった介護保険料について、予備費として予算確保したものです。

≪参考≫令和７年度返還金見込み額

返還金見込み内訳	金額（千円）
介護給付費負担金国庫支出金返還金	94,213,773
介護給付費支払基金交付金返還金	40,601,889
介護給付費負担金県支出金	2,039,556
地域支援事業交付金（国庫）返還金	6,027,666
地域支援事業支払基金交付金返還金	4,140,257
地域支援事業交付金（県費）返還金	3,398,421
合　　計	150,421,562

上記の評価と課題等

令和７年度に返還金額が確定します。返還後の余剰金は、令和７年度に介護保険支払準備基金に積立てます。

山林財産区特別会計

上川手山林財産区特別会計

事業概要

上川手山林財産区が所有する山林の財産管理を目的に、管理会を開催し事業方針を定め、下草刈り等計画的な森林施業を行っています。また、山林財産区内の墓地の保安林解除に伴う事務処理を進めるほか、財産区が所有する山林内で行われる光城山 1000 人ＳＡＫＵＲＡプロジェクトでは、会議への出席と現地での作業を行い事業の推進に努めています。

・管理会を開催し、予算及び事業計画を協議する。

・山林財産区内の墓地所有者団体との管理に関する契約を進める。

・光城山 1000 人 SAKURA プロジェクトへの協力を行い、現地踏査の実施や、植林や除伐等により森林の適切な管理を行う。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	325

予算				総合計画		
	款	01～03	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	1	総務管理費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01～03				
	事業	51	安曇野市上川手山林財産区特別会計		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,412,000	1,136,825	0	1,275,175	47.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
31,325		基金利子	31,325		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

・森林面積170haの管理にあたり、管理会を開催し事業に取り組みました。
・墓地問題解決に向け管理会と話し合い、費用負担等を決定ました。
・光城山1000人ＳＡＫＵＲＡプロジェクトでの会議出席と現地作業を行い、事業の推進に努めました。

上記の評価と課題等

管理会を行い、財産区の財産について適正に管理されています。
財産区区域内に墓地が存在していることから、墓地所有者団体との間で管理に関する契約の締結が必要です。

北の沢山林財産区特別会計

事業概要

北の沢山林財産区が所有する山林の財産管理を目的に設置し、管理会を開催し事業方針を定め、除伐、間伐等の計画的な森林施業を行っています。また、所有地内には水源林分収造林 142ha の山林があり、水源林の維持のため下刈や間伐等を行い、計画的に森林を管理しています。

・管理会を開催し、予算及び事業計画を協議する。

・山林現地踏査の実施。

・水源林分収造林の適切な管理を行い、森林の公益的機能を維持する。

・森林経営計画により、林業事業体による伐出・地拵え、植林等の森林整備を進める。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	337

予算				総合計画		
	款	01～03	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	1	総務管理費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01～03				
	事業	52	安曇野市北の沢山林財産区特別会計		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
841,000	233,582	0	607,418	27.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
23,832		基金利子	23,832		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

・森林面積335haの管理にあたり、管理会を開催し事業に取り組みました。
・現地踏査を行い、林内の状況を確認し、下草刈り等を行い適切な管理に努めました。
・森林経営計画により、林業事業体による伐出・地拵え、植林等の森林整備が行われました。

上記の評価と課題等

管理会を行い、財産区の財産について適切に管理されています。
森林経営計画により、計画的に森林整備が行われました。

有明山林財産区特別会計

事業概要

有明山林財産区が所有する山林の財産管理を目的に設置し、管理会を開催し事業方針を定め、計画的に森林管理を行っています。

・管理会を開催し、予算及び事業計画を協議する。

・管理山林内の砂防事業に協力し、山林現地踏査を実施。

・山林現地踏査の実施。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	349

予算				総合計画		
	款	01～02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	1	総務管理費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01～02				
	事業	53	安曇野市有明山林財産区特別会計		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,205,000	2,841,960	0	363,040	88.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
70,800		基金利子	70,800		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

・森林面積316haの管理にあたり、管理会を開催し事業に取り組みました。
・砂防事業（天満南沢）に伴う、現場立会いを実施するとともに現地踏査を行い、山林内の状況を確認し、適切な管理に努めました。

上記の評価と課題等

管理会を行い、財産区の財産について適切に管理されています。

富士尾沢山林財産区特別会計

事業概要

富士尾沢山林財産区が所有する山林の財産管理を目的に、管理会を開催し事業方針を定め、下草刈り等計画的な森林管理を行っています。また、所有地内には天然林があり、森林の公益的機能を高めるため、現地踏査により、間伐等を計画し適切な管理をしています。

・管理会を開催し、予算及び事業計画を協議する。

・山林現地踏査の実施。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	361

予算				総合計画		
	款	01～02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	1	総務管理費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01～02				
	事業	54	安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
683,000	211,299	0	471,701	30.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
8,799		基金利子	8,799		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

・森林面積119haの管理にあたり、管理会を開催し事業に取り組みました。
・管理会において、次年度事業の実施を確認しました。

上記の評価と課題等

管理会を行い、財産区の財産について適切に管理されています。

穂高山林財産区特別会計

事業概要

穂高山林財産区が所有する山林の財産管理を目的に、管理会を開催し事業方針を定め、下草刈り等計画的な森林管理を行っています。

・管理会を開催し、予算及び事業計画を協議する。

・山林現地踏査の実施。

令和７年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	373

予算				総合計画		
	款	01～02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	1	総務管理費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01～02				
	事業	55	安曇野市穂高山林財産区特別会計		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
770,000	290,929	0	479,071	37.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,099		基金利子	7,099		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

・森林面積2haの管理にあたり、管理会を開催し事業に取り組みました。
・現地踏査を行い、林内の状況を確認し、下草刈り等を行い適切な管理に努めました。

上記の評価と課題等

管理会を行い、財産区の財産について適切に管理されています。

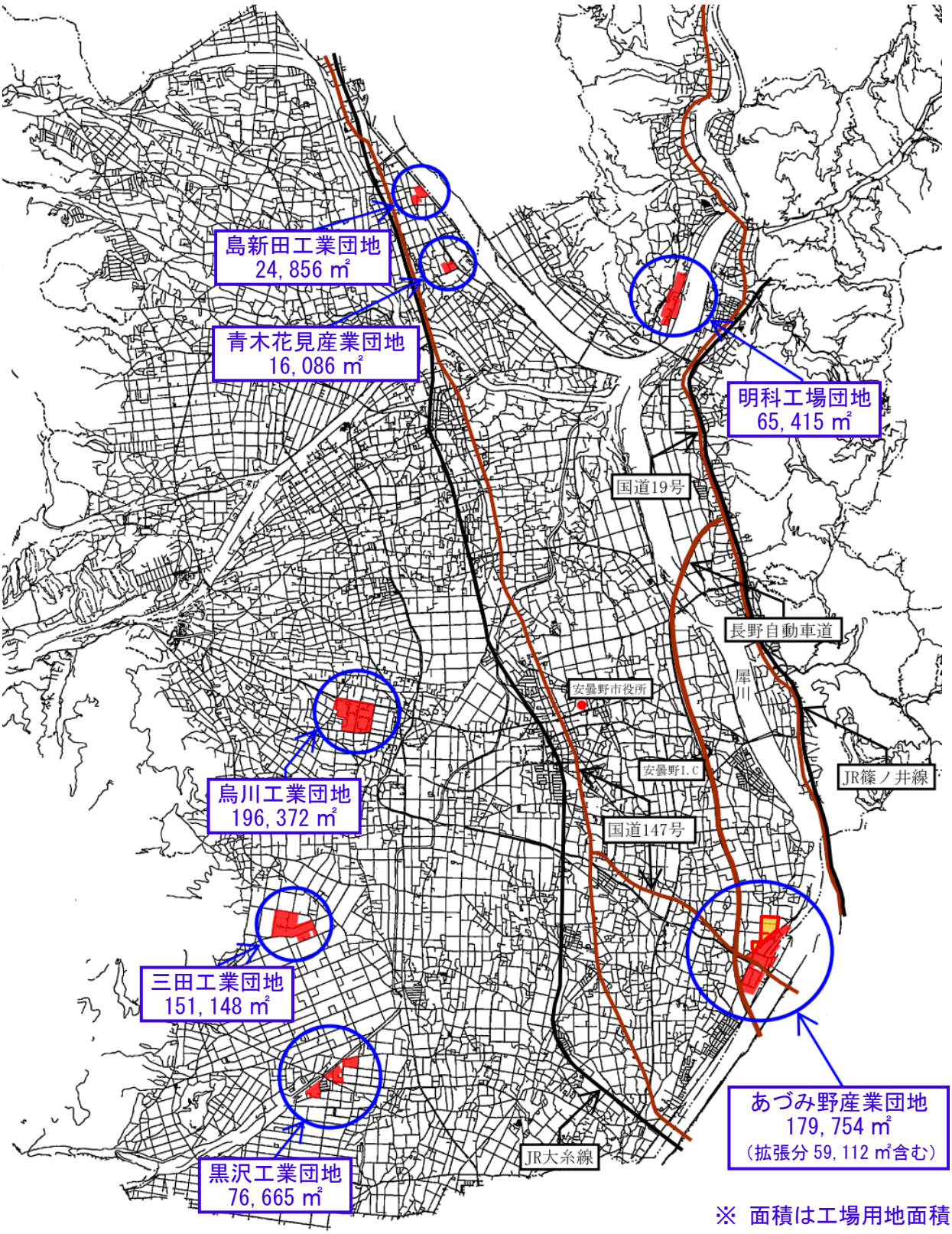
産業団地造成事業特別会計

産業団地造成事業特別会計

事業概要

この特別会計は、企業誘致による雇用の促進や移住定住を促すため、産業団地造成事業の管理運営を目的に設置し、産業団地の造成と分譲区画の売却、また、既存の産業団地の維持管理に関する事業を行います。市内には７箇所の産業団地があり、全ての分譲地が販売済みになっています。

令和５年度より、「新たな産業用地」の確保に向け、官民連携による産業団地開発に着手しました。



※ 面積は工場用地面積

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	385

予算				総合計画		
	款	01	産業団地事業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	産業団地事業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	産業団地事業費			
	事業	6100010	産業団地建設事業費		施策	商工業の振興

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,619,000	4,547,977	0	71,023	98.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,619,309		一般会計繰入金	4,559,000		
		前年度繰越金	60,309		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　産業団地建設事業

あづみ野産業団地等、市内７ヶ所の産業団地等の必要となる施設の維持管理を実施しました。

委託料
- あづみ野産業団地内除草業務　　一式　　120,717円
- あづみ野産業団地雨水浸透水路清掃ほか業務　　976,800円

工事請負費
- あづみ野産業団地雨水排水施設機能改善ほか工事　2,431,000円
- 島新田工業団地排水機能改善工事　924,000円

市内７ケ所の産業団地等には空き区画がなく、産業振興等の上で課題となっており、既存の産業団地・工業団地を拡張し、新たな産業用地を造成して解決を図るべく、新たな産業団地に関する整備方針を策定しました。実現可能な候補地として将来的に、松本糸魚川連絡道路が整備され、交通アクセスの優位性が期待される「青木花見産業団地及び島新田工業団地の周辺地」を調査対象地として設定し、地権者意向確認や農地状況調査、地元説明会を通して、開発候補地の絞り込みを行いました。

今回の開発では、民間事業者の資金力や開発ノウハウを活かし、企業進出のチャンスを逃すことがないようスピード感のある「官民連携による開発」を行うこととしており、令和６年３月に開発事業者である株式会社ヤマウラ及び株式会社d-ネクストと官民連携協定を締結しました。

新たな産業団地に進出する企業の誘致を進め、令和７年３月に第１期開発にエントリーする企業の募集を行いました。

上記の評価と課題等

新たな企業誘致等により産業の振興を図るとともに、市民及び就労世代の移住希望者の就業先を確保し、雇用の促進と移住定住を推進していく必要があります。

また、開発にあたっては、庁内関係各課との情報共有・調整等を行い、地権者や地元区の同意、国・県及び関係機関等との協議を行い進めていく必要があります。

有明荘特別会計

令和６年度　有明荘特別会計の概要

観光宿泊施設（安曇野市有明荘）について、指定管理制度による民間事業者のノウハウを生かした運営を行うことで、業務のスリム化、経営の効率化及びサービスの向上を図ることにより、交流人口の拡大及び市民福祉の向上を図りました。

令和６年度は例年どおり４月 20 日に営業を開始し､11 月４日までの 198 日間営業を行い、入浴者と宿泊者の受け入れを行い誘客に努めました。

令和５年度には、令和元年度のコロナ禍以前と同等の宿泊者数に回復し、３年度ぶりに納付金が全額納められ、令和６年度も新型コロナ第５類への移行により更に宿泊者数が増加するなど客足が回復傾向にありましたが、最低賃金の上昇による人件費の高騰や食材費、燃料費等資材の高騰など、社会情勢の大きな変動により厳しい経営状況となったことから、指定管理者との協議により令和６年度の納付金を全額免除しました。

令和７年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書ページ	397

予算				総合計画		
	款	01	施設事業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	施設事業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	施設事業費			
	事業	7100001	有明荘施設管理費		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
16,193,000	16,187,861	0	5,139	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
16,188,000		一般会計繰入金	16,188,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市有明荘について、指定管理者制度を活用し、民間事業者の視点による業務のスリム化及び効率化を図りサービスの向上に努めました。

令和６年度は４月20日から11月４日までの198日間営業を行い、日帰り入浴利用者と宿泊者の誘客、受け入れに努めました。

利用者数について、令和元年が宿泊4,024人、入浴10,562人に対して、令和６年度は宿泊5,008人、入浴9,871人とほぼコロナ禍前の利用状況まで回復しました。

最低賃金の上昇による人件費や燃料費、食材費等物価高騰の影響により市に納付する納付金3,620千円を全額免除しました。

○有明荘の概要

指定管理者	株式会社燕山荘		
指定期間	平成28年４月１日　から　令和９年３月31日　まで		
指定管理料	なし	市への納付金	全額免除（3,620,000円）
利用者数	宿泊者数　5,008人（前年度比 +798人） 入浴者数　9,871人（前年度比 -197人）		
主な修繕	雨漏り他修繕　1,135,596円　　エントランス防水修繕 908,600円 ベランダ防水修繕　978,120円		
主な工事	照明LED化工事　2,174,700円		

上記の評価と課題等

指定管理者による、民間の経営ノウハウを活用した施設運営を行うことで、業務のスリム化及びサービスの向上が図れ宿泊者の９割以上を占める登山客から高い評価を得ています。

しかし、施設の老朽化による修繕費の増加、設備等が他の民間施設に比べて古いなどの評価も見受けられることから、こまめな点検と改修が必要と考えます。また、行政と指定管理者の二重の管理は、制約等も多く柔軟性に欠けることから、民間譲渡に向け関係機関との調整を進めます。